北埋調報333

ふくしまちょう
福島町

館崎遺跡
（たてさきいせき）

－北海道新幹線建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書－

第３分冊

石器編

平成28年度

公益財団法人　北海道埋蔵文化財センター

ふくしまちょう
福島町

館崎遺跡
（たてさきいせき）

－北海道新幹線建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書－

第３分冊

石器編

平成28年度

公益財団法人　北海道埋蔵文化財センター

目　　次

【第３分冊】石器編
目次
記号等の説明

Ⅵ　館崎遺跡の石器・石製品等 …… 1
1　石器・石製品等の概要 …… 1
2　剝片石器・剝片 …… 6
3　礫石器 …… 27
4　石製品 …… 52
5　有意の礫・礫・その他、写真掲載の石器等 …… 219
6　小括 …… 250
一覧表
引用・参考文献
報告書抄録

挿図目次

図Ⅵ－1　石鏃（1） …… 70
図Ⅵ－2　石鏃（2） …… 71
図Ⅵ－3　石鏃（3） …… 72
図Ⅵ－4　石鏃（4） …… 73
図Ⅵ－5　石鏃またはナイフ（1） …… 74
図Ⅵ－6　石鏃またはナイフ（2） …… 75
図Ⅵ－7　石鏃またはナイフ（3） …… 76
図Ⅵ－8　石鏃またはナイフ（4） …… 77
図Ⅵ－9　石鏃またはナイフ（5） …… 78
図Ⅵ－10　石鏃またはナイフ（6） …… 79
図Ⅵ－11　石鏃またはナイフ（7） …… 80
図Ⅵ－12　石鏃またはナイフ（8） …… 81
図Ⅵ－13　石鏃またはナイフ（9）、ナイフ（1） …… 82
図Ⅵ－14　ナイフ（2）、石錐（1） …… 83
図Ⅵ－15　石錐（2） …… 84
図Ⅵ－16　石錐（3） …… 85
図Ⅵ－17　石錐（4） …… 86
図Ⅵ－18　石錐（5） …… 87
図Ⅵ－19　石錐（6） …… 88
図Ⅵ－20　石錐（7） …… 89
図Ⅵ－21　つまみ付きナイフ（1） …… 90
図Ⅵ－22　つまみ付きナイフ（2） …… 91
図Ⅵ－23　つまみ付きナイフ（3） …… 92
図Ⅵ－24　つまみ付きナイフ（4） …… 93
図Ⅵ－25　つまみ付きナイフ（5） …… 94
図Ⅵ－26　つまみ付きナイフ（6） …… 95
図Ⅵ－27　つまみ付きナイフ（7） …… 96
図Ⅵ－28　つまみ付きナイフ（8） …… 97
図Ⅵ－29　つまみ付きナイフ（9） …… 98
図Ⅵ－30　篦状石器（1） …… 99
図Ⅵ－31　篦状石器（2） …… 100
図Ⅵ－32　篦状石器（3） …… 101
図Ⅵ－33　篦状石器（4） …… 102
図Ⅵ－34　篦状石器（5） …… 103
図Ⅵ－35　篦状石器（6） …… 104
図Ⅵ－36　篦状石器（7） …… 105
図Ⅵ－37　篦状石器（8） …… 106

図Ⅵ－38　スクレイパー（1）…… 107
図Ⅵ－39　スクレイパー（2）…… 108
図Ⅵ－40　スクレイパー（3）…… 109
図Ⅵ－41　スクレイパー（4）…… 110
図Ⅵ－42　スクレイパー（5）…… 111
図Ⅵ－43　スクレイパー（6）…… 112
図Ⅵ－44　スクレイパー（7）…… 113
図Ⅵ－45　スクレイパー（8）…… 114
図Ⅵ－46　スクレイパー（9）…… 115
図Ⅵ－47　スクレイパー（10）…… 116
図Ⅵ－48　スクレイパー（11）…… 117
図Ⅵ－49　スクレイパー（12）…… 118
図Ⅵ－50　スクレイパー（13）…… 119
図Ⅵ－51　スクレイパー（14）…… 120
図Ⅵ－52　スクレイパー（15）…… 121
図Ⅵ－53　スクレイパー（16）…… 122
図Ⅵ－54　スクレイパー（17）…… 123
図Ⅵ－55　両面調整石器（1）…… 124
図Ⅵ－56　両面調整石器（2）…… 125
図Ⅵ－57　両面調整石器（3）…… 126
図Ⅵ－58　両面調整石器（4）…… 127
図Ⅵ－59　両面調整石器（5）…… 128
図Ⅵ－60　両面調整石器（6）…… 129
図Ⅵ－61　両面調整石器（7）…… 130
図Ⅵ－62　両面調整石器（8）…… 131
図Ⅵ－63　楔形石器、Rフレイク、剥片…… 132
図Ⅵ－64　石核（1）…… 133
図Ⅵ－65　石核（2）…… 134
図Ⅵ－66　石核（3）…… 135
図Ⅵ－67　石核（4）…… 136
図Ⅵ－68　石核（5）…… 137
図Ⅵ－69　石核（6）…… 138
図Ⅵ－70　石核（7）…… 139
図Ⅵ－71　石核（8）…… 140
図Ⅵ－72　石核（9）…… 141
図Ⅵ－73　石核(10)…… 142
図Ⅵ－74　石核(11)…… 143
図Ⅵ－75　石核(12)…… 144
図Ⅵ－76　石核(13)…… 145
図Ⅵ－77　石核(14)…… 146
図Ⅵ－78　石核(15)…… 147
図Ⅵ－79　石核(16)…… 148
図Ⅵ－80　石核(17)…… 149
図Ⅵ－81　石斧（1）…… 150
図Ⅵ－82　石斧（2）…… 151
図Ⅵ－83　石斧（3）…… 152
図Ⅵ－84　石斧（4）…… 153
図Ⅵ－85　石斧（5）…… 154
図Ⅵ－86　石斧（6）…… 155
図Ⅵ－87　たたき石（1）…… 156
図Ⅵ－88　たたき石（2）…… 157
図Ⅵ－89　たたき石（3）…… 158
図Ⅵ－90　たたき石（4）…… 159
図Ⅵ－91　たたき石（5）…… 160
図Ⅵ－92　たたき石（6）…… 161
図Ⅵ－93　たたき石（7）…… 162
図Ⅵ－94　たたき石（8）…… 163
図Ⅵ－95　たたき石（9）…… 164
図Ⅵ－96　たたき石(10)…… 165
図Ⅵ－97　たたき石(11)…… 166
図Ⅵ－98　すり石（1）…… 167
図Ⅵ－99　すり石（2）…… 168
図Ⅵ－100　すり石（3）…… 169
図Ⅵ－101　すり石（4）…… 170
図Ⅵ－102　すり石（5）…… 171
図Ⅵ－103　扁平打製石器（1）…… 172
図Ⅵ－104　扁平打製石器（2）…… 173
図Ⅵ－105　扁平打製石器（3）…… 174
図Ⅵ－106　扁平打製石器（4）…… 175
図Ⅵ－107　扁平打製石器（5）…… 176
図Ⅵ－108　扁平打製石器（6）…… 177
図Ⅵ－109　扁平打製石器（7）…… 178
図Ⅵ－110　北海道式石冠（1）…… 179
図Ⅵ－111　北海道式石冠（2）…… 180
図Ⅵ－112　北海道式石冠（3）…… 181
図Ⅵ－113　北海道式石冠（4）…… 182

図Ⅵ－114　北海道式石冠（5）…… 183
図Ⅵ－115　北海道式石冠（6）、石錘（1）…… 184
図Ⅵ－116　石錘（2）…… 185
図Ⅵ－117　石錘（3）、礫器 …… 186
図Ⅵ－118　石鋸、砥石（1）…… 187
図Ⅵ－119　砥石（2）…… 188
図Ⅵ－120　砥石（3）…… 189
図Ⅵ－121　砥石（4）…… 190
図Ⅵ－122　台石石皿（1）…… 191
図Ⅵ－123　台石石皿（2）…… 192
図Ⅵ－124　台石石皿（3）…… 193
図Ⅵ－125　台石石皿（4）…… 194
図Ⅵ－126　台石石皿（5）…… 195
図Ⅵ－127　台石石皿（6）…… 196
図Ⅵ－128　台石石皿（7）…… 197
図Ⅵ－129　台石石皿（8）…… 198
図Ⅵ－130　台石石皿（9）…… 199
図Ⅵ－131　台石石皿（10）…… 200
図Ⅵ－132　台石石皿（11）…… 201
図Ⅵ－133　台石石皿（12）…… 202
図Ⅵ－134　台石石皿（13）…… 203
図Ⅵ－135　台石石皿（14）…… 204
図Ⅵ－136　台石石皿（15）…… 205
図Ⅵ－137　台石石皿（16）…… 206
図Ⅵ－138　台石石皿（17）…… 207
図Ⅵ－139　台石石皿（18）…… 208
図Ⅵ－140　石製品等（1）　岩偶（1）…… 209
図Ⅵ－141　石製品等（2）　岩偶（2）…… 210
図Ⅵ－142　石製品等（3）　玦状耳飾（1）…… 211
図Ⅵ－143　石製品等（4）　玦状耳飾（2）…… 212
図Ⅵ－144　石製品等（5）　玦状耳飾（3）…… 213
図Ⅵ－145　石製品等（6）　玦状耳飾（4）、
垂飾・玉類（1）… 214
図Ⅵ－146　石製品等（7）　垂飾・玉類（2）、
円板状石製品 …… 215
図Ⅵ－147　石製品等（8）　三角形石製品、
三脚・四脚石器（1）… 216
図Ⅵ－148　石製品等（9）　三脚・四脚石器（2）、
異形石器（1）…… 217
図Ⅵ－149　石製品等（10）　異形石器（2）…… 218
図Ⅵ－150　石製品等（11）　鳥帽子形石器（1）… 219
図Ⅵ－151　石製品等（12）　鳥帽子形石器（2）… 220
図Ⅵ－152　石製品等（13）　鳥帽子形石器（3）… 221
図Ⅵ－153　石製品等（14）　鳥帽子形石器（4）… 222
図Ⅵ－154　石製品等（15）　鳥帽子形石器（5）… 223
図Ⅵ－155　石製品等（16）　偏縁有溝石器（1）… 224
図Ⅵ－156　石製品等（17）　偏縁有溝石器（2）… 225
図Ⅵ－157　石製品等（18）　偏縁有溝石器（3）… 226
図Ⅵ－158　石製品等（19）　偏縁有溝石器（4）、
長板状石製品（1）… 227
図Ⅵ－159　石製品等（20）　長板状石製品（2）… 228
図Ⅵ－160　石製品等（21）　長板状石製品（3）… 229
図Ⅵ－161　石製品等（22）　長板状石製品（4）… 230
図Ⅵ－162　石製品等（23）　石棒（1）…… 231
図Ⅵ－163　石製品等（24）　石棒（2）…… 232
図Ⅵ－164　石製品等（25）　石棒（3）…… 233
図Ⅵ－165　石製品等（26）　石棒（4）…… 234
図Ⅵ－166　石製品等（27）　石棒（5）…… 235
図Ⅵ－167　石製品等（28）　石製品（1）…… 236
図Ⅵ－168　石製品等（29）　石製品（2）…… 237
図Ⅵ－169　石製品等（30）　石製品（3）、
線刻礫（1）…… 238
図Ⅵ－170　石製品等（31）　線刻礫（2）、穿孔された
礫、有孔礫（1）…… 239
図Ⅵ－171　石製品等（32）　有孔礫（2）…… 240
図Ⅵ－172　石製品等（33）　有孔礫（3）、石製品（4）、
変わり石、礫 …… 241
図Ⅵ－173　石製品等（34）　軽石製品（1）…… 242
図Ⅵ－174　石製品等（35）　軽石製品（2）…… 243
図Ⅵ－175　石製品等（36）　軽石製品（3）…… 244
図Ⅵ－176　石製品等（37）　軽石製品（4）…… 245
図Ⅵ－177　石製品等（38）　軽石製品（5）…… 246
図Ⅵ－178　石製品等（39）　軽石製品（6）…… 247
図Ⅵ－179　石製品等（40）　軽石製品（7）、
寛永通宝 …… 248

図Ⅵ－180　石器・石製品模式図 …… 249
図Ⅵ－181　住居跡床面据え付けの台石石皿 … 257
図Ⅵ－182　住居跡中央ピット出土石器（1）… 258
図Ⅵ－183　住居跡中央ピット出土石器（2）… 259
図Ⅵ－184　岩偶の大きさの比較図 …… 260
図Ⅵ－185　玦状耳飾・鏃状垂飾 …… 260
図Ⅵ－186　石製品出土分布（1） …… 262
図Ⅵ－187　石製品出土分布（2）、
　石器・石製品接合状況 …… 263
図Ⅵ－188　烏帽子形石器・側縁有溝石器 …… 264
図Ⅵ－189　長板状石製品 …… 265
図Ⅵ－190　石棒 …… 266

表目次

表Ⅵ－1　器種別・石材別出土石器・石製品等
　出土点数一覧 …… 3
表Ⅵ－2　住居跡中央ピット出土石器等点数一覧
　…… 259
表Ⅵ－3　玦状耳飾観察表 …… 261
表Ⅵ－4　烏帽子形石器観察表 …… 265
表Ⅵ－5　側縁有溝石器観察表 …… 265
表Ⅵ－6　長板状石製品観察表 …… 265
表Ⅵ－7　掲載石器・石製品等一覧 …… 267
表Ⅵ－8　盛土遺構等出土石器・石製品等
　点数一覧 …… 284
表Ⅵ－9　遺構出土石器・石製品等点数一覧
　（住居跡・土坑・配石列・甕壙跡）… 296
表Ⅵ－10　遺構出土石器・石製品等点数一覧
　（Tピット・焼土・集石・フレイク集中・
　小ピット・杭列） …… 303

記号等の説明

1．実測図の縮尺は原則として以下のとおりである。個々にスケールを付した。
　剝片石器・石製品　1：2　　礫石器・大形の石製品　1：3　　台石石皿　1：4
2．実測図の縁辺の「∨－∨」は使用によるたたき痕・敲打痕範囲を、「｜←→｜」は使用によるすり痕・磨滅範囲を示している。石製品の一部では、加工による敲打・研磨範囲を示すために同様に用いた場合がある。
3．剝片石器の使用による光沢と、礫石器の使用による摩耗・磨滅の範囲は、スクリーントーンで示した。剝片石器で磨滅により剝離稜線を消失した部分は斜線で示した。アスファルト付着範囲は黒塗りで示した。アスファルト以外の付着物、光沢・摩耗以外の器表面変化のあるものは必要に応じてスクリーントーンで示し、その内容を本文中に記載した。
4．展開面の呼称は図正面・図裏面とした場合がある。なお、「裏面」には通常「表面（おもて）」が対応するが、「表面（ひょうめん）」と区別する必要から、「正面」を用いた。形態の特殊なものについては、図Ⅵ－180に示す部位名称を使用した。
5．計測の単位は、大きさはmm、重量はgとした。重量はおおむね、剝片石器は0.1g単位、礫石器は1g単位、5000gを超えるものは100g単位で計測した。（　）は現存の値を示した。
6．掲載番号2001以降は、写真・一覧表のみ掲載したものである。
7．礫の円磨度の表記は、『新版地学ハンドブック』（大久保・藤田1984）に拠り、角礫・亜角礫・亜円礫・円礫と表現した。
8．色調の表記は、原則的に『新版標準土色帳』（小山・竹原2004）および『マンセルシステムによる色彩の定規　拡充版』（財団法人日本色彩研究所2008）に拠った。

Ⅵ　館崎遺跡の石器・石製品等

1　石器・石製品等の概要

3か年の調査で483,483点の石器・石製品等が出土した。重さでは18.96ｔにのぼる。内訳は、剥片石器29,154点、礫石器6,674点、剥片373,970点、有意の礫832点、礫・礫片72,503点、石製品345点、その他５点である。詳細は表Ⅰ－４、表Ⅵ－１に記載した。

出土石器の組成は、Ｒフレイク・石核・剥片・有意の礫・礫を除いた定形的な石器でみると、スクレイパーが6,949点（38.5％）と突出して多く、たたき石2,037点（11.3％）、扁平打製石器1,940点（10.7％）、石鏃1,305点（7.2％）と続いている。石製品は、岩偶４点・玦状耳飾56点のほか、垂飾類・異形石器・鳥帽子形石器（石冠）・側縁有溝石器・「長板状石製品」・石棒などが出土した。

出土状況は、盛土遺構・盛土遺構相当の遺構覆土・遺構覆土からの出土が大半である。特に、前期末葉～中期前葉のＢ盛土から出土したものが多い。遺構に明瞭に伴うものは少なく、住居跡の床面に据え付けられた台石石皿、住居跡中央ピット出土のまとまり、人骨に共伴した副葬品、墓の可能性のある土坑底面の台石石皿・礫にほぼ限られる。

石器の所属時期については、遺構や土器の出土状況から、縄文時代前期後葉～中期中葉（以下「前期～中期」）が大部分で、後期前葉（以下「後期」）が少数、ほかに早期もわずかに含むと考えられる。現地調査において後期の盛土遺構ないし遺物包含層と認識した取り上げ層位「ｍ１層」の出土石器等は8,254点で、出土石器全体の1.7％である。ｍ１層については、堆積状況や出土遺物の精査により、前期～中期に形成されたｍ２層も含んでいたことがわかった。また、館崎遺跡では後期において、前期～中期に堆積したＣ盛土などを掘り込んで遺構が構築されており、その際に前期～中期の遺物の混入があったことも想定される。逆に、後期に所属する石器は多く見積もってｍ１層出土点数であり、総数の1.7％にすぎない。そのため、少々大雑把ではあるが、これを含めた総数で組成を考えても、おおむね前期～中期の石器組成を反映していると判断される。

以上のような出土状況から、石器の掲載は、住居跡などの遺構・盛土遺構・自然堆積の遺物包含層等を一括し、器種ごとに行った。遺構に伴う可能性の高いものについては、Ⅳ章の各遺構図に掲載番号を記載した。また、形態的な特徴や出土層位の偏りによって所属時期をある程度特定できるものについてはその都度記載した。なお、掲載石器については、表Ⅳ－６に基づいて、出土土層の堆積時期を表Ⅵ－７に記載した。表Ⅳ－６は、土層の堆積状況と土器の出土傾向から、土層の堆積時期を推定したものである。石器は、原則的には出土した土層の堆積時期に所属すると想定されるが、館崎遺跡は遺構の構築・盛土の堆積が同一地点で繰り返されたために、新しい時期の土層ほど、遺構構築時に掘り返された古い時期の石器が混入する傾向が強くなると考えられる。あくまで土層の堆積時期であり、上記のような混入の可能性があることについては注意が必要である。

なお、今回の石器の整理については、現地での一次整理から報告書刊行に至るまで、８年間に複数人が携わることとなった。報告書の取りまとめにあたって、器種分類・石材の確認や細別を行い、分類基準などの統一に努めたが、出土量が膨大なこともあり、すべてを確認することはできなかった。そのため、分類の基準や石材の同定に幅が生じてしまった部分があり、実測図の表現にも統一できなかった部分がある。また、各器種の細別については、台帳上の記録と報告上の記載を統一するため、作業中に便宜的に用いた記号等をそのまま報告書の記載に使用した。そのため、器種によって使用する記号やその階層が異なったり、記載の際に記号の並びが前後するものがあることをお断りしておく。

石材（図版212・213）

全点について肉眼・ルーペ・20倍の実体顕微鏡での簡易的な同定を行った。代表的なものの一部は石材同定を、黒曜石の代表的な石材の一部は原産地同定を依頼した（Ⅸ章7～10節）。

石材名として使用した名称は、表Ⅵ－1のとおりである。代表的なものを図版212・213に示した。考古学的な慣例による名称や、特徴的な石材について今回に限定して使用した名称もあり、岩石学的な名称とは必ずしも一致しない。

頁岩には珪化作用の強いものや弱いもの、風化して泥岩質となったものなどもあるが、変化が漸移的であり個体中に併存することもあるため、集計上は頁岩に一括した。頁岩（層理）としたものは、層理が明瞭な頁岩で、珪質のものと珪質ではない泥岩質のものがある。珪質のものは植物の葉などの化石を含むことがある。剝片石器には使用されない。頁岩（多孔質）としたものは、外見は頁岩に類似するが、多孔質で軽い石材。珪化岩は、半透明～不透明で白色・赤色・緑色・褐色などを呈する珪質の石材。半透明のものはメノウ質頁岩とも呼ばれるもの、赤色や緑色の濃色のものはジャスパー・碧玉とされる。珪質岩は、頁岩・珪化岩には含まれない、珪質の岩石に使用した。珪質砂岩は、褐灰色（10YR5/1～4/1）を呈し石英の結晶を多く含む石材。白色泥岩は、おおむね灰白色（5Y8/1）を呈する軟質・多孔質の石材で、凝灰岩ないしは泥岩と思われるが判別の困難なものに対し、他の凝灰岩・泥岩と区別するために使用した。緻密安山岩は、おおむね暗灰色（N3）を呈する斑晶のごく少ない安山岩に使用した。普通角閃石岩は角閃石を多量に含む深成岩の一種。なお、「珪質砂岩」「普通角閃石岩」については、Ⅸ章10節において同定されたものである。頁岩（多孔質）や白色泥岩などの軟質の石材が剝片石器に少数であるが一定数みられた。アスファルトが付着するものがあることから、実用品とも考えられる。

安山岩は、石基が灰色で、主に長石・角閃石などの斑晶を含むものが多いが、石基が赤みを帯びるもの、石基が褐色や灰色で長石の斑晶が目立つもの、石基が緻密で礫表面が滑らかなもの、礫表面に細かいざらつきがあるものなど、多様なものがみられた。安山岩・玄武岩には、円磨された亜円～円礫と、板状節理による角～亜角礫がある。安山岩は前者が、玄武岩は後者が多い。閃緑岩（緑色）・ドレライトとしたものは、緑色の濃淡と白色からなる細粒モザイク状の組織の石材で、両者は肉眼的に非常によく似ている。ドレライトの特徴とされる「オフィチック組織」が観察されたものをドレライト、観察されなかったものを閃緑岩（緑色）としたが、肉眼観察のみでは明瞭な区分は困難であったため、両者は混在している可能性がある。花崗岩としたものは、典型的な花崗岩は少なく、花崗閃緑岩を多く含む。風化による剝落の著しいものも多い。砂岩には、固結が強く硬質なものと、固結が弱くもろいものがある。礫表面が風化によって剝落したものがあり、点から面まで様々な剝落痕がみられる。剝落面には細かい凹凸があり、たたき痕との判別の困難な場合があった。珪質の礫のうち石英の結晶が明瞭に認められるものを石英岩としたが、風化面ではチャートとの区別は困難であり、チャートとした中にも石英岩が多く含まれているとみられる。

泥岩・頁岩に化石を含むものが少数ある。確認できたものは、魚類の鱗？・椎骨、二枚貝、植物の葉・茎あるいは枝？、マキヤマ・チタニィ、有孔虫、珪藻・海綿骨針などがある。図版228～230に写真を掲載した。詳細な同定によって、産地をある程度特定できる可能性がある。

石材の組成は、剝片を除いた剝片石器では87％が頁岩、10％が珪質砂岩で、この2種で大多数を占める。黒曜石は0.8％で、器種により比率に差がある。石斧の石材は、アオトラ石と呼ばれる緑色泥岩が主体で、青色片岩・ドレライトもやや多い。礫石器は安山岩が主体で、玄武岩・砂岩・チャートがやや多く、器種により組成が異なる。砥石は砂岩・凝灰岩が主体である。剝片は、88％が頁岩、

表Ⅵ－１　器種別・石材別　出土石器・石製品等出土点数一覧

石材/器種	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	垂飾	玉	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	四脚石器	異形石器	烏帽子形石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	石製品	線刻礫	軽石製品	加工痕のある礫	アスファルト付着礫	原石	含珪藻礫	球状礫	変わり石	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	小礫	赤色顔料	寛永通宝	計
頁岩	1067	410	6	413	728	299	6125	776	62	3	11840	3784	328790		14		14		1		1									2	1	8								5		68				6					523				354946
珪質砂岩	82	29		37	53	35	728	89	6	1	1379	375	40215		9		1															2										2									39				43082
黒曜石	87	12		7	44	1	7	6	13	4	59	4	1217																			21																							1482
珪化岩	39	3		4	15	1	34	9	3		69	35	1182	1	1		1															1										10									21	5			1434
玉髄	13			6	1	1	6	4	1		15	9	730		2																											24									6	2			820
珪質岩	2			1	2		4	1			13	8	54		9						1																					2									131	4			232
頁岩（多孔質）		2		1			1					1																																											5
緻密安山岩	4	5		2	1	4	6				3		39	1																																									65
緑色泥岩（アオトラ石）														247	5																						1														3				256
ドレライト														52	6	2	1	11				1																		1											1				75
青色片岩													6	98	1																																								105
緑色片岩														3																																									3
黒色片岩														9																																									9
片岩													2	3																										1											11				17
ロジン岩														1																																									1
安山岩	1					2	6	3			6		339	26	964	583	717	304	23	5	6	14	480										2	11	15	11	2			47	1			1	11	4					13740	34307			51631
玄武岩							1	1			3		168	5	37	56	866	43	3		3	3	34											1		3				29		5		1							711	3			1976
デイサイト													5	1	1		4	3	1																																				15
流紋岩	1						1					1	4		3	2	19	3										1														1				1					5				42
ひん岩														2		2	67	17					1																	2											1				92
石英斑岩													1																																						1				2
閃緑岩													2	3	26	14	9	26	3			2	10													1				2											27				125
閃緑岩（緑色）																		11																																					11
斑糲岩									1				1	5	3	8	4	7		1			11																	2											16				59
花崗岩													66	2	39	13	2	19	3				32													2								1							132				311
普通角閃石岩														1		1	7						1																																10
チャート	1	3		2	1	1	23	3	1		62	33	754		412	1		1	1	1										1										1	1				1						4725	1112			7141
石英岩													1		21																																				67	10			99
砂岩											5		16	10	184	25	38	5	3	1		114	81						1				1			2	2	3		13					4	5					1581	151			2245
砂岩/泥岩															1																																								1
泥岩		3				1		2			9	9	66	20	49	5	21					7						2			1		1				4	1		10		4			2	128					2925	255			3525
泥岩（含珪藻）																												1															4								1				6
白色泥岩	7	13			1	1	2	6				1	38	1	47	4	55		6			8	2	1				1	1	1							14	1		33				1	1	5					9				260
白色泥岩（有孔礫）															1				1									1																											3
頁岩（原礫）													11		1		18					1						3												2		1									3				40
礫岩													41		5	1	11																1							3											21				83
凝灰岩	1							3			1	3	15	1	75	4	26	2	2		8	44	24	3				10					2			3	7	5		17				1	1	203					2270	330			3061
緑色凝灰岩														1																																									1
凝灰角礫岩															2		8						4						1																						1				16
ホルンフェルス		1					1					2	19	1	13	2	3		3				4														1			2											140				192
粘板岩		4		2			3	1			6	2	180		100	4	31		4	1													2			1				5											1657	6639			8645
片麻岩															2	3		48																																	8				61
緑色岩？																	2																																						2
滑石													3												51	9	1										4					1													69
ネフライト（トレモラ閃石岩）																									5	1																													6
ヒスイ（オンファス輝石岩）																										1																													1
コハク																											6																												6
軽石													2																										101	1						1	100								205
スコリア																																																27							27
マンガン？																																																		3					3
多種																																																				838			838
不明・その他							1		1		3	2	3	6	1	1	15	5					1														2					4		2		15			3		71		4	1	141
計	1305	485	6	475	844	346	6949	906	88	8	13473	4269	373970	500	2037	731	1940	505	54	9	19	194	685	4	56	11	7	19	3	4	2	32	9	12	15	23	37	10	101	176	2	122	4	7	20	368	100	27	3	3	28647	43656	4	1	483483
	剥片石器 403124													礫石器 6674										石製品 345																有意の礫 832											礫 72503		その他5		

11％が珪質砂岩である。玦状耳飾・垂飾類に関連する可能性のある滑石の剥片が３点出土している。

黒曜石は、定形剥片石器全体での比率は0.8％であるが、石鏃では７％、つまみ付きナイフで５％、楔形石器で15％、異形石器では66％と、高い比率を示す。一方、石核では0.1％、剥片では0.3％と、これらと比較して明瞭に低い。こうしたことは、遺跡内では黒曜石による石器製作は非常にまれであったことを示しており、黒曜石製の石器は主に製品として入手されたものと推定される。

黒曜石の原産地は、肉眼観察では赤井川産・白滝産が多数を占めるとみられた。原材産地同定の結果、20点中赤井川産が13点、所山産が４点、十勝産、青森県産、長野県産が１点ずつと同定された（Ⅸ章７節）。また、各器種に共通して、器表面に、風化したような曇り、細かな傷・擦痕、剝離稜線の摩耗、側縁の摩耗などがみられる。側縁の摩耗は使用痕とも考えられるが、他の部位については、運搬などによる石器同士の接触などの可能性が考えられる。

強化処理

脆弱であった凝灰岩製の岩偶（掲載番号1325）とコハク製の玉（同1391）については、薬品の含浸による強化処理を行った。岩偶はOH－100、コハク製の玉はパラロイドB 72を使用した。

使用痕

光沢・摩耗・線条痕が確認された。光沢は、石槍またはナイフ11点（器種内の2.3％、以下同）・石錐６点（1.3％）・つまみ付きナイフ93点（11.0％）・篦状石器36点（10.5％）・スクレイパー1,036点（14.9％）・両面調整石器１点（0.1％）・楔形石器２点（2.3％）・Ｒフレイク10点（0.1％）・石斧９点（1.8％）・フレイク１点にみられた。つまみ付きナイフ・篦状石器・スクレイパーに多い。刃部にみられるものは、つまみ付きナイフ・スクレイパー・篦状石器・Ｒフレイクである。つまみ付きナイフ・スクレイパー・Ｒフレイクでは外湾～直線状の刃部の裏面にみられるものが多い。篦状石器では刃部の裏面に多く、比較的広い範囲にみられる。こうした光沢は、イネ科植物の刈取りなどに伴って形成されるとされる（坂本2002）。体部に光沢がみられるものは、石槍またはナイフ・石錐・篦状石器・スクレイパー・石斧である。石錐・楔形石器以外では、体部の最厚部・稜部にみられることが多く、着柄・支持、鞘の装着などによる可能性が考えられる。石錐・楔形石器では調整された縁辺などにみられ、スクレイパーなどが転用されたものと考えられる。

摩耗は、石鏃10点（0.8％）・石槍またはナイフ15点（3.1％）・石錐130点（27.4％）・つまみ付きナイフ17点（2.0％）・篦状石器８点（2.3％）・スクレイパー66点（0.9％）・両面調整石器４点（0.4％）・楔形石器２点（2.3％）・Ｒフレイク６点（0.0％）・石斧２点（0.4％）・異形石器13点（40.6％）で確認された。線条痕を伴う場合もある。刃部・機能部にみられるものと、体部にみられるものがあり、器種や付着位置の傾向は光沢と類似する。つまみ付きナイフ・篦状石器・スクレイパー・Ｒフレイク・石斧では、主に刃部にみられる。石錐は機能部に回転運動による摩耗がみられる。石鏃・石槍またはナイフは、側縁と体部の最厚部・稜部にみられる。スクレイパーも体部にもみられるものがある。異形石器では、使用によるものかは判然としないが、半数近くで側縁や体部にみられた。

線条痕は、つまみ付きナイフ１点・スクレイパー３点・篦状石器２点・石斧15点にみられた。つまみ付きナイフ・篦状石器では刃縁に直交する。スクレイパーでは刃縁に直交するものと並行するものがあり、直交するものは、片面の場合と両面の場合がある。石斧では、刃縁に直交ないしは斜交し、片面のみのものと両面にみられるものがある。

アスファルトの付着

アスファルトの付着は、石鏃290点（器種内の22.2%、以下同）・石槍またはナイフ９点（1.9%）・石錐25点(5.3%)・つまみ付きナイフ１点(0.1%)・篦状石器１点(0.3%)・スクレイパー５点(0.1%)・両面調整石器１点（0.1%）・楔形石器２点（2.3%）・Ｒフレイク４点・フレイク１点・礫２点にみられた。Ｒフレイク・石核を除いた定形剝片石器でみると、11,412点のうち3.0%を占める。有茎の石鏃では827点中278点（34%）、三角形で強い凹基の石鏃では７点中４点（57%）と、高い比率を示す。石槍またはナイフでは有茎石鏃形のものと無茎のもの、石錐では棒状のものと石鏃を転用したものにみられ、これらは着柄目的と考えられる。１点のみ確認されたつまみ付きナイフではつまみ部に付着しており、ひもの固定のためと考えられる。これら以外の器種では、付着位置が不定であり、偶発的に付着したものであろう。

石鏃について、出土土層の堆積時期が限定できるものでみると、前期後葉では出土石鏃２点中アスファルト付着石鏃０点で０%、以下同様に、前期末葉では128点中12点で９%、中期初頭では120点中25点で21%、中期前葉では163点中50点で31%、中期中葉では22点中９点で41%、後期前葉では55点中25点で46%である。前期末葉からアスファルトの使用がみられ、中期中葉にかけて加速度的に増加し、後期前葉ではさらに頻繁に使用されたことがわかる。

出土状況

遺構に伴うと判断されるものは前述のとおり、住居跡の床面に据え付けられた台石石皿（図Ⅵ－181）、住居跡中央ピット出土のまとまり（図Ⅵ－182・183）、人骨に共伴した副葬品、墓の可能性のある土坑底面の台石石皿・礫にほぼ限られる。住居跡中央ピット出土の石器は、台石石皿・たたき石・扁平打製石器を中心とする。また、TH－30（旧）HP２からは、石斧２点が刃部を上にした状態で出土している（956・957）。TP－119では、石核１点・たたき石３点・扁平打製石器１点・北海道式石冠２点・台石石皿１点など（2068～2074）がまとまって出土している。

盛土遺構では、Ｈ２区のＢ・C'盛土相当の（TH－57）覆土から、黒曜石製のつまみ付きナイフ４点（419・420・424・482）と異形石器１点（1436）が重なり合って出土した（図版８）。また、Ｂ12区ではＣ盛土相当の（TH－60）覆土から、緑色泥岩（アオトラ石）製の石斧４点（950・958・962・963）と頁岩製のスクレイパー（730）・石核（898）・フレイクがまとまって出土した（図版204）。

接合状況

接合作業については、Ｒフレイク・剝片・礫を除く同一器種内で行った。そのうち、発掘区で４区画以上離れた接合例は10例を確認した。図Ⅵ－187に分布図を示した。礫石器や比較的大形の石製品に多く、剝片石器は石槍またはナイフの１点である。各器種１～２例で、器種による偏りはみられない。出土層位は、Ｂ盛土相当層同士の例が比較的多く、平面分布もＢ盛土の範囲とおおむね重なる。遠距離接合の原因には、意図的に離れた場所に廃棄する場合と、遺構構築による土の移動に伴うような偶然の場合が考えられる。今回は礫の接合作業は行っていないが、礫には被熱・非被熱を含め割れたものが多くあり、接合例が増える可能性がある。また、フレイク集中には同一母岩とみられる剝片を多数含むものがあった。木古内町大平遺跡は、前期の盛土遺構を伴う集落遺跡であり、両面調整石器などの製作に関わる接合資料が多数得られている（『大平遺跡（２）』北埋調報321、『大平遺跡（３）』北埋調報328）。館崎遺跡でも接合作業によって同様の成果が得られる可能性がある。

全面が摩耗した石器

器表面の全面が摩耗した石器が41点確認された。内訳は、石槍またはナイフ1点（202）、つまみ付きナイフ10点（419・420・424・463）、篦状石器1点（588）スクレイパー10点（659）、両面調整石器1点（820）、Rフレイク5点（866）、石核2点（903）、石斧4点、たたき石（石核転用）1点、扁平打製石器2点、北海道式石冠1点、異形石器4点（1436・1440・1443・1444）である。形態や加工から人為的な石器と判断されるが、全体が著しく摩耗して、頁岩製の剥片石器や石斧の場合は全体に淡い光沢を帯び、黒曜石の場合は曇りが生じている。剥離の稜線が丸みを帯び、リングは不明瞭である。器表面の凹凸による摩耗の差は顕著ではない。摩耗した面より新しい未風化の剥離や敲打痕が観察されることもある（588・903）。石材は、黒曜石製はつまみ付きナイフ7点（うち3点はまとまって出土した419・420・424）、異形石器3点、Rフレイク3点の計13点、他の剥片石器は頁岩・珪質砂岩製、石斧は緑色泥岩（アオトラ石）・黒色片岩・安山岩製、礫石器は安山岩・砂岩製・頁岩であり、館崎遺跡では一般的な石材である。砂浜や砂丘などで風化・摩耗した石器を採集し、場合によっては再利用したものと考えられる。黒曜石製のものついては、石材の項で触れたように、石器同士の接触による可能性も考えられる。

2　剥片石器・剥片

剥片石器は29,154点、剥片は373,970点出土した。剥片石器の内訳は、Rフレイク13,473点（剥片石器内の比率46.2%、以下同）・スクレイパー6,949点（23.8%）・石核4,269点（14.6%）で8割以上を占め、他は石鏃1,305点（4.5%）、両面調整石器906点（3.1%）、つまみ付きナイフ844点（2.9%）、石槍またはナイフ485点（1.7%）、石錐475点（1.6%）、篦状石器346点（1.2%）、楔形石器88点（0.3%）、剥片石器片8点（0.03%）、ナイフ6点（0.02%）である。

剥片石器の石材は88%が頁岩、10%が珪質砂岩で、この2種で98%を占める。他には、黒曜石が0.8%、以下珪化岩・チャートがやや多く、玉髄・珪質岩・白色泥岩・泥岩・緻密安山岩・粘板岩・安山岩・凝灰岩・砂岩・玄武岩・ホルンフェルス・流紋岩などが少数みられる。Rフレイク・石核を除いた定形石器でみると、87%が頁岩、9%が珪質砂岩で、黒曜石2%、以下1%未満の珪化岩・チャート・玉髄・白色泥岩・緻密安山岩などがみられる。黒曜石の比率がやや高くなる。黒曜石の比率は器種によって異なり、楔形石器15%、石鏃7%、つまみ付きナイフ5%が高く、石槍またはナイフ2%、石錐1%が中間的で、両面調整石器0.7%、篦状石器0.3%、スクレイパー0.1%が低い。つまみ付きナイフでは両面加工のものなど、特定の形態で特に黒曜石の比率が高い。また、剥片石器と共通の石材を使用する異形石器では、32点中21点（66%）が黒曜石製である。剥片は、88%が頁岩、11%が珪質砂岩、黒曜石が0.3%で、以下珪化岩・チャート・玉髄が少数、安山岩・粘板岩・玄武岩・泥岩・花崗岩・ホルンフェルス・珪質岩・白色泥岩・礫岩などがわずかにある。黒曜石は、定形的な剥片石器では2%であったのに対し、剥片では0.3%と、明瞭に比率が低い。安山岩・玄武岩・花崗岩などは主に礫石器に用いられる石材であり、扁平打製石器や北海道式石冠の加工に伴うものとみられる。

石鏃（1～120・2009、図Ⅵ－1～4、表Ⅵ－7、図版370・371・432）

1,305点出土し、120点は図化、1点は写真と一覧表のみ掲載した。形態から、以下の細別を設けた。

A類：有茎のもの：827点（63%）：1～67
　1：平基：209点（16%）：1～20
　2：凹基：49点（4%）：21～27
　3：凸基：509点（39%）：28～62
　4：片側縁のみ段を作り出すもの
　　：23点（2%）：63～66
　1～3の組み合わせのもの：36点（3%）

B類：無茎のもの：21点（2%）：68～78
　1：平基：5点：68～70
　2：凹基：8点：71
　3：強凹基：7点：72～78
　その他：1点
C類：木葉形～菱形のもの：178点（14%）
　：79～108
D類：木葉形円基のもの
　：10点（1%）：109～113
G類：五角形凹基のもの：1点：114
H類：五角形のもの：27点（2%）：115・116
E類：未成品など：175点（13%）：117～120
F類：破片：60点（5%）

このほか、側縁の形態については a：直線、b：外湾、c：内湾、d：基部側で外湾して先端側では内湾するもの、とした。

有茎が多数を占め、木葉形～菱形がやや多い。また、未成品が13%を占める。有茎では、凸基が多数で、平基がやや多く、凹基は少ない。側縁は外湾するものが多数、直線的なものがやや多く、内湾するものは少ない。基部側で外湾し先端側で内湾するものは少数あり、凹基では平基・凸基に比べて比率が高い。これ以外では、基部と側縁形態の明瞭な関連はみられない。無茎は少数で、特に、基部が直線的に逆Ｖ字形に湾入する72の形態は1点のみの出土であった。72は後述のとおり、長野県産黒曜石製と推定された。また、無茎で基部が強く内湾し、側縁が外湾するもの（74～78）はアスファルトの付着率が高い。

出土層位から、有茎で長身のものは後期前葉に、有茎で体部が比較的短めで、側縁の外湾が明瞭なもの（5・39・46など）は中期に伴う傾向がうかがえた。木葉形～菱形のものは3点を除き、前期後葉～中期前半、あるいはそれ以前の土層から出土している。三角形で基部の内湾の強いものはおおむね前期後葉～中期前半とみられる。

石材は頁岩が87%を占め、黒曜石7点%・珪質砂岩6%・珪化岩2%・玉髄1%がやや多い。他には白色泥岩・緻密安山岩・珪質岩・流紋岩などがわずかに見られる。定形剥片石器全体でみた石材組成と比較して、頁岩・珪質砂岩がやや少なく、黒曜石がやや多い傾向にある。なお、黒曜石製の72は、原材産地推定の結果、長野県の観音沢産との結果を得た（Ⅸ章7節）。極めて透明度が高く、不定形の夾雑物を含むが、基質の均質な石材である。

アスファルトの付着するものは289点（22%）ある。有茎278点、無茎4点、木葉形～菱形6点、その他1点である。有茎は基部・側縁形態による偏りはない。無茎では凹基に偏り、特に湾曲の強いものは7点中4点に付着する。所属時期については1節に記載した。

有茎で平基と凸基のものに、側縁の体部下端やその付近の両面に摩耗がみられるものがやや多い。

なお、石錐として掲載した320～335は石鏃を転用したもので、320～330は有茎、331～333は無茎、334は五角形、335は木葉形。332は側縁の基部近くにノッチをもつ。

有茎のもの（1～67）

ア）有茎平基のもの（1～20）

1～4は側縁が直線的なもの、5～17は側縁が外湾するもの、18～20は基部側で外湾して先端側では内湾するもの。7は塊状のアスファルトが付着する。11は側縁下端とその周辺の両面に摩耗がみられる。18は先端を細く整形しており、明瞭な摩耗はみられないが石錐に転用された可能性がある。

イ）有茎凹基のもの（21～27）

21～24は側縁が外湾するもの、25～27は基部側で外湾・先端側で内湾するもの。24は側縁が摩耗する。

ウ）有茎凸基のもの（28～62）

28～36は側縁が直線的なもの、37～59は側縁が外湾するもの、60は側縁が内湾するもの、61・62

は側縁が基部側で外湾、先端側で内湾するもの。

28～31は体部の幅：長さ＝1：1～2、32～36は1：2以上で長身のもの。28は、右側縁下端角と、基部から茎部にかけての両面の剥離稜線に摩耗がみられる。31は側縁下半の側縁と両面に摩耗が顕著である。34は側縁下端角とその付近の両面に、35は側縁下端角と正面に摩耗がみられる。36は厚手である。

37～45は体部の幅：長さ＝1：1～2、47～58は1：2以上で長身のもので、厚手が多い。39は透明感に乏しい灰色の黒曜石製。最大幅部の側縁に摩耗がみられる。40は正面にアスファルトが厚く残存する。48・50・52～57はアスファルトの残存が良好で、使用時の塗布範囲が明瞭である。48の左側縁は欠損しているが、剝離面にアスファルトが付着しており、そのまま使用されたとみられる。55は右側縁下端に二枚貝と思われる化石鏃型の一部がみられる。59は茎が不明瞭なもの。

61は最大幅付近の左右の側縁と、右側縁の裏面側、最厚部の両面の剝離稜線に摩耗がみられる。

エ）片側縁のみ段を作り出す、有茎と無茎の中間的な形態のもの（63～66）

63～65は側縁が直線的なもの、66は側縁が外湾するもの。64は体部下半の側縁の摩耗が顕著で、右側縁ぎわ両面の剝離稜線にも摩耗がみられる。黒曜石製で器表面に曇りがあり、横方向の擦痕が多くみられる。

オ）その他（67）

67は石槍またはナイフを再利用したと思われるもので、茎の直上からほぼ正三角形に体部を整形している。

無茎のもの（68～78）

68～70は平基、71は凹基、72～78は強い凹基のもの。68・71・72・73は側縁が直線的なもの、69・70・74～78は側縁が外湾するもの。

71は全体に熱による弾けがみられる。72は基部が深く直線的に抉れ、全体として逆Ｖ字状を呈する。この形態の石鏃は1点のみの出土である。極めて透明度が高い黒曜石製で、原材産地推定の結果、長野県の観音沢産との結果を得た（Ⅸ章7節）。73は深くＵ字形に基部が抉れるもの。熱による弾けが全体にみられる。76・77はアスファルトの痕跡が明瞭で、使用の際の塗布範囲を示すとみられる。78の右下端は欠損したと思われるが、破断面にアスファルトが付着していることから、そのまま使用されたものとみられる。

木葉形～菱形のもの（79～108）

79～94は木葉形、95～108は菱形のもの。

79～84は最大幅が下半にあるもの、85～94は最大幅が中央付近にあるもの。94は大形で加工が粗雑であり、未成品の可能性がある。95～103は最大幅が下半にあるもの、104～106は最大幅が中央付近にあるもの、107・108は厚手で最大幅が上半にあるもの。98・99は、最大幅部がわずかに張り出す。104は裏面上半部にアスファルトが付着するが、偶発的なものとみられる。

木葉形円基のもの（109～113）

111は、先端へ向かって湾曲する形態がサメの歯に類似するようにも思われるもの。

基部に抉りのある五角形のもの（114）

五角形のもの（115・116）

116は下端部に光沢がみられる。先端が平坦に成形されており、石鏃ではない可能性もある。

未成品（117～120）

117～120はTH－22HP1からまとまって出土したもの。

石槍またはナイフ（121～211・2010・2011、図Ⅵ－5～13、表Ⅵ－7、図版371～373・432）

485点出土し、91点を図化、2点は写真と一覧表のみ掲載した。形態により、以下の細別を設けた。

A類：有茎のもの：51点（12%）：121～151

1：有茎石鏃を大きくした形態のもの。おおむね6cm程度（121～131）。

2：厚みがあり、長さ：幅＝2：1程度のもので、銛先鏃の可能性があるもの（132）。

3：茎が不明瞭なもの、その他（148～151）

4：茎がややくびれて下端部が張り出すもので、茎が短いもの（133～144）

5：茎がややくびれて下端部が張り出すもので、茎が長いもの（145～147）

B類：無茎のもの：189点（39%）：152～197

1：細身で厚いもの。おおむね、長さ：幅＝3：1以下、幅：厚＝2：1以上のもの（152～163）

2：幅広で薄いもので、木葉形のもの（164～180）

3：幅広で薄いもので、基部が舌状～平坦なもの、基部が不整形のもの（181～194）。

4：先端部のみ先鋭に調整されるもの（196・197）

5：その他（195）

C類：破片：200点（41%）：202～204

D類：左右非対称のもの：10点（2%）：198～201

E類：縁辺のみ両面調整するもの：12点（2%）

F類：扁平な円礫の周縁を加工し、短い茎をもつもので、粘板岩や白色泥岩が主体のもの：11点（2%）

1：粘板岩・ホルンフェルス製で、茎の下端が丸みをもち、側縁が外湾するもの（205～207）

2：泥岩・白色泥岩製で、茎の下端が張り出し、側縁は直線的～外湾するもの（208～211）

G類：その他：6点（1%）

破片が多く約4割を占め、欠損が頻繁であったことがうかがえる。幅広で薄手のものが主体で、細身で厚手のものや有茎石鏃を大きくした形態のもの、不明瞭な茎をもつものもやや多い。A4・5類は出土層位から、前期～中期のものとみられる。F類は少数だが特徴的で、石材は他のものと異なり、粘板岩・白色泥岩を用いている。特に白色泥岩は軟質であり、模造品の可能性がある。出土層位から前期～中期に属するとみられる。

石材は、頁岩86%、珪質砂岩6%、黒曜石2%、白色泥岩2%、緻密安山岩1%で、他には粘板岩・珪化岩・チャート・泥岩・ホルンフェルスが少数ある。定形剝片石器全体でみた石材組成と比較して、頁岩・珪質砂岩がやや少なく黒曜石がやや多い。白色泥岩・緻密安山岩は少数であるが、他の器種よりも多用される。なお、黒曜石製の203・204は原材産地同定の結果、いずれも赤井川産との結果が得られた（Ⅸ章7節）。

アスファルトの付着は、有茎石鏃を大きくした形態のものに4点、木葉形のものに4点みられる。前者は着柄を目的としたと考えられるが、後者は付着位置から、着柄目的のものと偶発的なものがあるようである。

なお、石鏃として掲載した336～342は石槍またはナイフを石鏃に転用したもので、336～338はA1類、339はA4類、340はB2類が転用されている。341は再加工が進行しており、石槍またはナイフとしての形態が不明のもの、342は未成品を転用したとみられるものである。

有茎のもの（121～151）

ア）有茎石鏃を大きくした形態のもの（121～131）

127は側縁下部に摩耗がみられる。

イ）厚みがあり、長さ：幅＝２：１程度で、銛先鏃の可能性のあるもの（132）

132は球顆が帯状に多量に含まれる黒曜石製。

ウ）茎がややくびれて下端部が張り出すもので、茎が短いもの（133～144）

基部下端は、弧状のもの（135など）と、Ｖ字形のもの（134など）、中間的なものがある。133は縁辺が明瞭に摩耗し、左側縁では幅１㎜を越えるやや凸の面を形成している。縦方向の線条痕が断続的にみられ、裏面の上端右側縁で明瞭である。134・139は茎部下端の張り出しが顕著。両面の稜部に光沢がみられる。140は図示していないが、裏面の中央よりやや右上に小範囲の強い光沢がみられる。

エ）茎がややくびれて下端部が張り出すもので、茎が長いもの（145～147）

茎部下端はおおむねＶ字形である。145は両面の稜部に光沢がある。

オ）茎が不明瞭なものなど（148～151）

148は菱形を呈し、基部端につまみ様の張り出しをもつもの。黒曜石製で、両面の稜部に、剥離稜線の摩耗や器表面の磨りがみられる。149～151は不明瞭な茎をもつもの。149は両面に弱い光沢がある。150は作りが粗雑で先端は丸みがあり、未成品の可能性もある。

無茎のもの（152～197）

ア）細身で厚いもの（152～163）

152～155は基部が尖る木葉形を呈するもの、156～163は基部が尖らず、平坦・舌状など多様なものをまとめた。156は基部にアスファルトの痕跡が明瞭に残り、体部から先端部にも転々とアスファルトが付着している。158は、図示していないが、両面の稜部に光沢がみられる。161はチャート製で、左側縁上半の縁辺から裏面の縁辺ぎわ、右側縁上部が摩耗している。また、正面上部の右側縁近くに、縦方向の線条痕のある摩耗がみられる。摩耗は剥離の後に形成されている。163は裏面の中ほど、上部右側縁ぎわに光沢がみられる。上部の光沢は非常に強い。

イ）幅広で薄く、木葉形のもの（164～180）

164～168はやや幅狭で長身のもの、169～177はやや幅広のもの、178・179は先細り形状のもの。167は、図示していないが正面上方の稜に光沢がみられる。172・175・179は平面形がやや不整で剥離も大きく粗雑であり、未成品の可能性がある。173は20数m離れたTH－４覆土とⅠ５区m２層の破片が接合したもの（図Ⅵ－187）。178は正面中ほどの稜に強い光沢がある。

ウ）幅広で薄く、基部が舌状～平坦あるいは不整形のもの（181～194）

181～186は基部が整形されるもの、187～194は基部が整形されないもの。189は平面形がやや不整で剥離も大きく粗雑であり、未成品の可能性がある。190は裏面の左半の剥離は風化している。図示していないがこの部分には明瞭な光沢がみられ、縁辺も直線的に整っており、スクレイパーを再利用した可能性がある。191は裏面上方にアスファルトとみられる黒褐色の付着物が斑点状にみられるが、偶発的なものと考えられる。192～195は白色泥岩製。193は左右側縁が明瞭に摩耗し、縦方向の線条痕が認められる。体部両面の上半部にも小さな摩耗面がみられる。側縁の摩耗部はやや凸面で、左側縁上部では、正面の摩耗面とで稜をなす部分もある。

エ）先端部が先鋭に調整されるもの（196・197）

196・197は体部の調整はやや粗く、先端部のみ入念に調整される。未成品の可能性もある。

オ）その他

195は端部を欠失し形態の不明なもの。

左右非対称のもの（198～201）

198・200は側縁を中心としたやや粗い加工で、未成品の可能性もある。201は頁岩の硬質部と風化部にまたがる部分を素材とするもの。先端の入念な調整がなされる部分が硬質部で、これ以下は明黄褐色（2.5Y7/6）を呈し、多孔質で軟質の風化部である。

破片（202～204）

202は全面が著しく摩耗したもの。折損面は摩耗していない。斜線部では摩耗により剝離稜線が消失しているほか、総じて剝離稜線やリングは不明瞭である。203・204は黒曜石製。いずれも側縁が摩耗して平坦化している。203は裏面にも摩耗面（斜線部）・器表面の曇り（スクリーントーン）がみられる。204は正面に摩耗面がみられる。

扁平な円礫の周縁を加工したもので、短い茎をもつもの（205～211）

ア）茎の下端が丸みをもつもの（205～207）

暗青灰色系（5BG4/1前後）の色調を呈する粘板岩・ホルンフェルス製。側縁は外湾する。

イ）茎の下端が張り出すもの（208～211）

白色泥岩が主体。黄色味のある灰白色系の色調（2.5Y7/2、10YR7/2、10YR8/4等）を呈する。側縁は直線なものが多いが、208では外湾する。208は剝離調整の後、両面が研磨される。209は灰黄褐色（10YR4/2）の泥岩製。側縁の上半は研磨されて断面U字形をなし、縦～やや斜め方向の擦痕が明瞭である。先端部の両面にも研磨面がみられる。211は黒っぽくすすけたような色調の部分があり、被熱したとみられる。

ナイフ（212～214、図Ⅵ－13・14、表Ⅵ－7、図版374）

6点出土し、3点図化・掲載した。すべて頁岩製である。

212は刃部が内湾するもの、213は刃部が直線のもの、214は刃部が外湾するもの。214は正面中央部の器体の最厚部に光沢がみられる。

石錐（215～347・2012、図Ⅵ－14～20、表Ⅵ－7、図版374・375・432）

475点出土した。133点は図化、1点は写真と一覧表のみ掲載した。形態により、以下の細別を設けた。

A類：体部の全周が両面調整されるもの：82点（17%）：215～248

1：棒状のもの（215～223）

2：木葉形のもの（224～242）

3：調整がやや粗いもの（243～248）

B類：つまみ部をもつもの：7点（1%）：249

C類：素材の形状を大きく変えずに、機能部のみ作出したもの：300点（63%）：250～319

1：機能部が小さく突出するもの（257～262）

2：機能部が尖頭状のもの（263～316）

3：機能部が鈍角で厚いもの（317～319）

4：機能部が大きく突出するもの（250～256）

D類：他石器からの転用品：58点（12%）：320～346

1：石鏃からの転用品（320～335）

2：石槍またはナイフからの転用品（336～342）

3：つまみ付きナイフからの転用品（343～346）

E類：その他：28点（6％）：347

素材の剝片の形状を大きく変えずに、機能部のみ作出したものが主体で、形態の変化に富む。両面調整の棒状～木葉形のもの、他石器からの転用品がやや多い。転用品は石鏃からの転用が大半で、他に石槍またはナイフとつまみ付きナイフがある。転用する際には、元の形態をそのまま用いるもの（320～327など）と、機能部を多少調整するもの（328など）、形態を大きく変えるもの（336・341）がある。破片の折れ面を利用するものもみられる（296）。このほか、幅1㎜ほどのごく小さな突出部をもつものが少数ある（258・259）。特定の用途があったものと想定される。

石材は、頁岩87％、珪質砂岩8％、黒曜石1％、玉髄1％で、他に珪化岩・チャート・緻密安山岩・結板岩が少数ある。定形剝片石器全体でみた石材組成と比較して、黒曜石・玉髄の使用がやや多い傾向にある。なお、黒曜石製の223は原材産地同定により、所山産の結果を得た（Ⅸ章7節）。

基部にアスファルトが付着するものが、両面調整の棒状～木葉形のものに5点、石鏃・石槍またはナイフの転用品に20点確認された。着柄目的とみられるが、転用品では、転用前の石鏃などとしての柄の装着による場合もあると考えられる。

使用痕として、機能部に摩耗がみられるものが30点（27％）ある。側縁が摩耗するものが多いが、使用が進んで正面・裏面も摩耗し、先端が円錐形をなすようなものがまれにある（221など）。線条痕が確認されるものはすべて横方向である。線条痕がみられず非常に滑らかなものや、光沢のあるものもある。

体部の全周が両面調整されるもの（215～248）

ア）棒状のもの（215～223）

217は側縁に摩耗面がある。横方向の線条痕が顕著。221の下端の機能部には整った円錐形の摩耗面がある。滑らかで線条痕は確認できない。222は上下端の機能部側縁に幅広い摩耗面がみられる。滑らかでわずかに横方向の線条痕が確認できる。

イ）木葉形のもの（224～242）

224～234は厚手のもの、235～242は薄手のもの。224の裏面中ほど左半の剝離面、239の両面の大きな剝離面には、図示していないが光沢がみられる。228の裏面にも光沢があり、いずれも周縁調整が光沢より新しい。スクレイパーやつまみ付きナイフなどの再加工の可能性がある。235は上端機能部の摩耗が顕著で、横方向の線条痕が確認できる。形態から、石鏃C類を転用した可能性がある。

ウ）体部の全周が両面調整されるが、調整がやや粗いもの（243～248）

逆三角形に近い形状で、比較的厚手・大形のものが多い。

つまみ部をもつもの（249）

249はつまみ部も比較的丁寧に整形される。

素材の形状を大きく変えずに、機能部のみ作出したもの（250～319）

ア）機能部が大きく突出するもの（250～256）

250・255は、機能部が長く棒状に加工されることにより、相対的に体部がつまみ状を呈する。

イ）機能部が小さく突出するもの（257～262）

257は機能部側縁と正面に広く摩耗面がある。横方向の線条痕が顕著。259・260は複数の機能部をもつ。259の機能部は非常に細く華奢である。261・262は機能部を垂直としたときに体部が横長になるもの。261は、左機能部の正面稜線・裏面側縁ぎわ、右機能部の正面に摩耗がみられる。また、正面の右上隅の稜線とその裏に位置する稜線も摩耗しており、ここも機能部の可能性がある。262は機能部の摩耗面は正面下端から裏面にかけて広がっている。機能部の縦断面形はU字形で、裏面の摩耗

面は平面的に広がっている。左側縁の摩耗も、正面から裏面にかけて、断面U字形に形成されている。石錐というよりむしろ、石鋸的な使用方法であった可能性がある。

ウ）機能部が尖頭状のもの（263～316）

263～273は棒状のもの、274～281は木葉形のもの、282～312は逆三角形・ひし形・長方形状のもの、313～316は大形のもの。

264は機能部の先端・側縁・正面稜線が摩耗する。266・267は下端縁辺に摩耗がみられ、丸みのある形状を呈する。274はほぼ未加工の剝片を用い、側縁から裏面に整った円錐形の摩耗面が形成されている。278の左側縁の摩耗は体部中ほどにまでおよぶ。275の機能部は細く、C1類に類似する。282～290は厚手のもので、全体形はおおむね逆三角形を呈する。291～312は薄手のもの。283は側縁から正面にかけて、横方向の線条痕の明瞭な摩耗面が形成される。284は右側面にアスファルトが付着するが、偶発的なものと思われる。285は側縁から下端縁辺が摩耗し、尖り気味の形状を呈する。289は右側縁が直線的に入念に加工されており、スクレイパーの刃部に類似する。291～302は全体形がおおむね逆三角形・菱形のもの、303～312は縦長のもの。294・296・297などは素材の剝片の折れを利用したもの。296はつまみ付きナイフのつまみ付近の折損破片を再利用したもの。298・299は側縁の加工がスクレイパーの刃部に類似しており、スクレイパーと併用あるいは転用されたとみられる。298は裏面縁辺に光沢がある。

エ）機能部が鈍角で厚いもの（317～319）

他石器からの転用品（320～346）

ア）石鏃からの転用品（320～335）

320～330は有茎石鏃（石鏃A類）の先端を機能部として転用したもの、331～333は無茎石鏃（石鏃B類）を転用したもの、334は五角形の石鏃（石鏃H類）を転用したもの、335は木葉形の石鏃（石鏃C類）を転用したもの。321・323・324は上下両端に摩耗がみられる。321の下端の機能部の摩耗面は側縁・先端・両面の一部に連続的にみられ、尖り気味の円錐形を呈する。横方向の線条痕が認められる。324の上端の摩耗面には横方向の線条痕が顕著。325・327・330の下端機能部の摩耗は側縁から先端に連続的にみられ、325は正面観V字形、327・330は半円形を呈する。327は塊状のアスファルトが残存する。328は石鏃の先端を加工して機能部としている。331は三角形凹基の石鏃の基部右端を加工して機能部としたもの。332は長身で基部にノッチのある無茎凹基の石鏃を転用したもの。側縁から先端にかけて再加工がなされたため、剝離面に風化の差がみられる。333は無茎で基部の大きく内湾する石鏃の先端を機能部として転用したもの。334は五角形の長身の石鏃の基部を転用したもの。機能部側縁から下端に連続的に摩耗がみられ、正面観は角形を呈する。335は木葉形の石鏃の先端を加工して機能部としたもの。

イ）石槍またはナイフからの転用品（336～342）

336～338は有茎石鏃を大きくした形態のものを、339は短い茎の下端が張り出すものを、340は無茎で幅広・薄手で木葉形のものを転用したもの。341は再加工が顕著で元の形態が不明なもの、342は未成品を転用したもの。336は体部を細身に再加工している。摩耗部は光沢が強い。338・339の摩耗は機能部側縁から先端に連続的にみられ、338は正面観が半円形、339はU字形を呈する。341は両端を加工して機能部としている。342は裏面右下の節理面で欠損した未成品を転用したもの。

ウ）つまみ付きナイフからの転用品（343～346）

343は両面加工のミニチュア製品、344は縦型周縁加工、345は斜型のものの先端を機能部として転用したもの。346は横型のものの一端を機能部としたもので、図の上辺左右両端がつまみ状に作り出

されている。

その他（347）

347は剝片の折れ面を加工せずに利用したもの。機能部の摩耗は刃縁から先端に連続的にみられる。

つまみ付きナイフ（348～500、図Ⅵ－21～29、表Ⅵ－7、図版376～378）

844点出土し、153点図化・掲載した。形態により、以下の細別を設けた。

A類：縦型：389点（46%）：348～424

B類：横型：41点（5%）：455～460

C類：斜形。つまみ部と体部の軸が斜交するもの：195点（23%）：425～449

D類：全体形がおおむね長方形を呈し、その角につまみ部が位置するもの：17点（2%）：450～454

H類：短型。体部の長さ：幅＝1：1程度：36点（4%）：461～477

E類：ミニチュアあるいは模造品と考えられるもの：32点（4%）：478～488・490

おおむね4cm以下とした前者が主で、A～D類の各細別に対応するものがみられる。

F類：破片：129点（15%）：489・491～500

G類：その他：5点

このほか、体部調整の程度については、1：器体調整がわずかで不定形、2：周縁調整、3：背面全面調整、4：背面全面と腹面の一側縁を調整、5：両面全面調整、6：体部先端のみ錐状に加工するもの、とした。4は腹面調整が背面に先行するものが主体である。

縦型が約半数を占め、斜型も多い。いずれの形態も周縁調整が主体で、つまみ部以外の加工が少ないものも多い。縦型には周縁加工のほか、両面調整、背面全面調整、背面全面と腹面一縁辺を調整するものがある。背面全面と腹面一縁辺を調整するものは、形態から早期のものとみられ、P・P'盛土、下部Ⅲ層相当層出土のものが多いことと整合的である。短型とミニチュアの出土が目立つ。ミニチュアは、明らかに小形ながら通常の大きさの形態をほぼ網羅している。出土層位から前期～中期のものとみられる。破片には短型の粗雑なものや未成品を含む可能性がある。

石材は、頁岩86%が主体で、ほかには珪質砂岩6%、黒曜石5%、珪化岩2%などがある。定形剝片石器全体でみた石材組成と比較して、黒曜石の比率がやや高く、特に縦型両面加工では28%、短型では19%、ミニチュア等では34%と顕著である。黒曜石の一部は原材産地同定を行い、421は球顆の多い石材で赤井川産、469わずかに球顆を含み赤井川産、422・491は所山産との結果を得た（Ⅸ章7節）。

光沢は93点で確認された。腹面側縁に明瞭な光沢がみられるものが多い。摩耗は17点で確認され、主に刃部縁辺にみられる。

アスファルトの付着は1点で確認された（437）。つまみ部に付着している。

なお、石錐として掲載した以下のものはつまみ付きナイフを転用したもので、343は両面調整のミニチュア製品、344は縦型周縁調整、345は斜型で背面全面と腹面一側縁を調整するものの下端を、346は横型の一端を機能部としたものである。

縦型（348～424）

ア）背面全面と腹面の一側縁を調整するもの（348～361）

背面の剝離に先行して、腹面右側縁～下辺の剝離が加えられているものが大部分である。358～360は腹面の両側に剝離がなされる。腹面左側に明瞭な光沢がみられるものが多い。349はつまみ部の上辺と左側縁から下辺にかけて摩耗している。左側縁の抉入部にも回り込んでみられる。腹面左側は比

較的広範囲に、右側にも図示していないが狭い幅で光沢範囲が認められる。356は下端が錐状に再加工されており、石錐に転用されたものとみられる。360の上端はつまみが欠損したものではなく、剥片剥離の際の打面である。つまみ付きナイフではないが、他の器種には該当せず、製作方法・つまみ以外の形態・大きさがつまみ付きナイフと共通するため、ここに含めた。361は下端部破片で、かなり大形と想定される。

イ）器体調整がわずかで不定形のもの（362～366）

ウ）体部の先端を錐状に加工するもの（367・368）

エ）周縁調整のもの（369～405）

体部形態は、369～382は長方形状、383～388は半円形状、389～391は側縁が外湾して下部が幅広のもの、392は側縁が内湾して下部が幅狭のもの、393・394は長身・厚手で横断面形が三角形、395・396は長身・厚手で、横断面形が台形、397は下半部が緩く湾曲するもの、398・399は全体が湾曲するもの、400～402は長方形でやや短いもの、403～405はその他の形態のもの。369は腹面にも粗い加工が加えられるもの。下端部は搔器様に調整される。370～373は下端まで調整されるもの。373は下端部を突出させており、石錐に転用あるいは兼用していた可能性がある。376は図示していないが、腹面下部に淡い光沢がみられる。379も腹面左側縁に光沢がある。380は図示した部分の光沢が特に強く、それ以外に背面の中央部と腹面のつまみ部以外の広範囲に光沢がみられる。382の腹面の光沢は非常に強い。383は下端がやや搔器様に加工され、腹面の光沢は明瞭なのは図示の範囲で、淡い光沢は下端にも及んでいる。384は背面中央の最厚部にも光沢がみられる。387はつまみ部が二股状に整形される。腹面の左側縁ぎわを中心に、広範囲に斑状に淡い光沢がみられる。399は褐色の珪化岩製で、枝あるいは茎などとみられる植物化石を含む。403は背面右側縁と腹面左側縁に光沢がみられ、腹面の光沢は明瞭である。404の背面にはリングの高まりに光沢がみられる。405は下端が尖頭状に、左側縁下半は抉入状に加工される。

オ）背面全面調整のもの（406～409）

体部形態は、406は長方形状、407は尖頭状、408は湾曲するもの、409は下半部が緩やかに湾曲するもの。408の右側縁は明瞭に内湾し、横断面形は急角度。409は右側縁～下辺の刃部縁辺が摩耗する。

カ）両面全面加工のもの（410～424）

黒曜石の比率が28％と高い。410～415・419～421は体部が尖頭状のもの、416～418・422～424は尖頭状でないもの。419～424は黒曜石製で、410～418の頁岩製のものより小形である。419・420・424はミニチュアの482とともに重なり合って出土した（図版８）。いずれも全面が摩耗して器表面に曇りがみられ、剥離稜線は不明瞭で、縁辺などに摩耗面が形成されている部分もある。420は、明瞭に風化した面と、風化しているが比較的新鮮な剥離があり、後者は腹面の抉入部や右側縁の両面にみられ、再加工されたものと考えられる。421は球顆を非常に多く含むため、器表面の観察が困難である。422も全面に曇りや傷がみられ、スクリーントーンで示した部分は明瞭に摩耗している。423は被熱により光沢を失っている。被熱層より新しい剥離が側縁にわずかにみられる。

斜型（425～449）

425～430は器体調整がわずかで不定形のもの、431～449は周縁調整のもので、体部形態は、湾曲するもの、半円形状のものが多い。431はつまみ部が二股状。433は頁岩の非風化部と風化部の境界付近を使用したもので、上２/３ほどが風化部である。435は腹面左側縁に淡い光沢がみられる。437はつまみ部にアスファルトの痕跡が残る。446はつまみ部の下位にも抉入部がみられる。

長方形の角につまみをもつもの（450～454）

450は器体調整がわずかなもの、451～454は周縁調整のもの。451は左側縁が摩耗する。摩耗は凹部にもおよび、側縁付近の正面・裏面では摩耗により剝離稜線が不明瞭になっている。摩耗部の断面形態は先が丸いV字形で、石鋸的な使用による使用痕と考えられる。

横型（455～460）

すべて周縁調整のもの。455・456は体部が横長のもの、457～460は三角形基調のもの。457・458は下辺や側縁が摩耗する。いずれも摩耗部の断面形はU字形であり、また458では両面にも摩耗がみられる。石鋸的な使用によるものと考えられる。

短型（461～477）

黒曜石の比率が19％と高い。461～467は器体調整がわずかなもの。462・463は黒曜石製。462の剝離稜線はほとんどが摩耗しており、全体に曇りがある。腹面のつまみ部には傷がみられる。463は全面に曇り・擦痕・傷が著しく、側縁や剝離稜線が明瞭に摩耗する。3㎜前後の球顆が目立つ石材。468～477は周縁調整のもの。468はTP－73の人骨脇から出土したもの。469は黒曜石製で、全体にやや曇り、擦痕や傷がみられる。背面の剝離稜線や側縁、裏面下辺の直線部が摩耗する。470は左側縁から下辺にかけて厚みがあり、掻器様である。471は下辺の刃部の断面形態は角形に近く、摩耗がみられる。また、刃部に直交する線条痕が観察される。472は左側縁が摩耗し、その付近の両面にはわずかに光沢がみられる。477は下端の刃部が急角度で掻器様である。

ミニチュア・模造品とみられるもの（478～488・490）

黒曜石の比率が34％と高い。478～488はミニチュアで、それぞれ通常の大きさのつまみ付きナイフの形態を模しており、478はA４形、479～481はA１形、482・483はA２形、484・485はA５形、486はC２形、487はD２形、488はB２形。479は非常に透明度の高い黒曜石製で、曇りや傷はみられない。480・482は球顆が目立つ黒曜石製で、480は曇りや傷はほとんどない。482は全体に曇りがあり、剝離稜線や側縁が摩耗する。484は灰色の縞と小さな球顆を少量含む黒曜石製。485は灰白色（2.5Y8/2）と赤褐色（10R5/3）を呈する珪化岩製。486は黒曜石製で、曇りは目立たないが、擦痕や剝離稜線の摩耗がみられる。490は模造品とみられるもので、軟質石材である白色泥岩あるいは頁岩風化部を素材とする。

破片（489・491～500）

体部中ほどで折損した破片が多く出土している。H類：短型の素材である可能性もある。492・493・494・500は裏面からの折れ、491・495・496・497・499は正面からの折れによる。489はつまみ部が異形のもの。492はつまみ部の抉りが２段作出されている。493は図示していないが、両面の広範囲に淡い光沢がみられる。

箆状石器（501～594、図Ⅵ－30～37、表Ⅵ－７、図版379～381）

346点出土し、94点図化・掲載した。形態により以下の細別を設けた。器種・石材・使用痕などの再確認は全点について行い、細別は346点中201点について行った。

A類：体側に段をもたないもの（501～591）

Ⅰ：短冊形（ａ）～撥形（ｂ）。刃部の正面観は直線的～緩く外湾するものが多い（501～523）

Ⅱ：楕円～滴形。刃部の正面観は緩く外湾～外湾するものが多い（524～559）

Ⅲ：三角形。刃部の正面観は直線的～緩く外湾するものが多い（560～567）

Ⅳ：棒状。厚手で、最大幅が体部にあり、細い紡錘形を呈する場合もある。刃部の正面観は舌状のもの

が多い（568～586）

Ⅴ：その他（587～591）

B類：体側に段をもつもの（592～594）

C類：形態の不明な破片、未成品など

このほか、刃部形態について、1類：刃縁が腹面側に湾曲し、急角度（約2割）、2類：丸のみ状（約2割）、3類：角度が緩いもの（約4割）、4類：刃縁が直線的で急角度（約1割）、5類：刃部調整されないが使用痕があるもの（わずか）、6ⅰ類：舌状で急角度、6ⅱ類：舌状で角度の緩いもの（6類合計で約1割）、とした。

短冊形～撥形、楕円形～滴形のものが主体で、細い紡錘状～棒状のものがやや多く、三角形のものは少ない。体側に段をもつものは図示した3点のみである。

形態と刃部形態の関係は、短冊形～撥形では刃部形態2・3類が多く1類が少なく、楕円形～滴形では1・3類が多く2類が少ない傾向にある。棒状では6類が6割以上で、主体をなす。

石材は、頁岩が86%、珪質砂岩が10%で、他に緻密安山岩が3点、安山岩が2点、黒曜石・珪化岩・チャート・玉髄などが1点ずつみられる。定形剥片石器全体でみた石材組成と比較して、黒曜石の比率が明瞭に低い。

光沢は36点で確認した。位置は、腹面の刃部付近、腹面のやや広範囲、両面中軸の最大厚部付近などである。摩耗は8点で確認され、刃部、側縁などにみられる。線条痕は508・515・520・585の4点で確認され、いずれも刃縁に直交する。

体側に段をもたないもの（501～591）

ア）短冊形のもの（501～515）

501～507は刃部形態2類、508～513は3類、515は6ⅱ類、514は刃部調整が粗く未成品とみられるもの。508は背面の最厚部に光沢があり、その刃部付近では縦方向の線条痕が観察される。510は両端に刃部をもつ。背面の上端、刃縁に接するごく狭い範囲に光沢がある。515は腹面の広範囲に光沢がみられる。刃縁が摩耗し、その付近の両面では剝離稜線に摩耗面がある。摩耗部の断面形態は、先が丸いV字形。図示していない右側面は自然面で、下半部には光沢と、水平よりやや右下がりの線条痕が認められる。

イ）撥形のもの（516～523）

516・517は刃部形態1類、518は2類、519・520は3類、521～523は4類。516・517は背面刃部側の最厚部に光沢がある。520は石斧を転用したとみられるもの。刃縁がわずかに摩耗する。刃縁に直交する線条痕が観察される。521は背面中軸の最厚部に光沢があり、腹面の刃部付近には非常に強い光沢がある。522は背面刃部近くに光沢がある。

ウ）楕円形～滴形のもの（524～559）

524～532は刃部形態1類、533～536は2類、537～555は3類、556～559は4類。525・527は腹面刃部付近に斑状に光沢がある。530は左側縁に摩耗がみられる。531は腹面中軸上の上下に淡い光沢がある。535は両面にアスファルト様の黒色物が付着するが、偶発的とみられる。538は腹面の刃部に強い光沢があるほか、正面中軸部にも光沢がみられる。539は両端に刃部をもつ。541は腹面右半の広範囲に光沢があり、スクレイパーからの転用とみられる。543は刃部が明瞭に摩耗する。摩耗は両面におよび、摩耗部の断面形態は先が丸いV字形。547は側縁上半が明瞭に摩耗する。左側縁では刃縁に、右側縁では主に背面側に摩耗面がある。双方とも、摩耗面の断面形はやや外湾し、光沢があり、擦痕は観察されない。552は基部の両面にアスファルトが付着する。551・554はやや作りが粗雑で、

特に刃部は不整形であり、未成品かもしれない。558は背面最厚部と腹面上端にやや強い光沢がある。

エ）三角形のもの（560～567）

560は刃部形態1類、561～564は3類、565は4類、566は5類、567は未成品とみられるもの。564は刃縁と側縁の変換点付近に摩耗がみられる。左端の摩耗部の断面形はU字形、右端は背面側のみ摩耗している。566の刃部は未加工で、刃こぼれがみられる。背面中ほどやや左寄りの小範囲と、腹面刃部付近のリングの高まりに淡い光沢がある。567は刃縁に平坦な面が残っており、未成品とみられる。

オ）棒状のもの（568～586）

568～571は刃部形態6ⅰ類、572～581は6ⅱ類、582は1類、583～585は2類、586は3類。568は腹面の中軸に狭い幅で断続的に光沢がみられる。570は腹面中軸の下半に強い光沢が、上半は淡い光沢が部分的にみられる。571・574は背面中軸の中ほどに光沢がある。577は両端に刃部をもつ。578は腹面中軸中ほどに光沢がある。579は背面刃部側右寄りと、腹面の最厚部に断続的に光沢がみられ、特に刃部端では強い光沢となる。584は右側面に大きく平坦な面が残り、粗雑な作りである。刃部の背面側が明瞭に窪み、丸のみ状を呈する。585は腹面刃部に強い光沢があり、縦方向の線条痕が観察される。

カ）その他の形態のもの（587～591）

刃部形態は587・588は1類、589は4類、590・591は3類。587は三角形の右下部を欠損したような不整形であるが、この部分は古い段階での折れである。全体は両面調整で、下端の幅の狭い部分に篦状石器としての刃部が作られる。「折れ面」の刃部に隣接する部分に光沢があるほか、両面の広範囲にも光沢がみられる。左側縁はスクレイパーとして利用されたとみられ、背面の左側縁ぎわの光沢が強い。588は全面が摩耗した破片を再加工したもの。背面両端の剝離を除く部分と、腹面の全体が著しく摩耗して光沢を帯び、剝離稜線がなだらかになっている。篦状石器の側縁あるいは刃部の破片とみられる。刃部を作出後、左側面と基部に剝離が加えられる。589は断面が三角形で背面の稜が鋭く、非常に厚みがある。右側面を打面、左側面を作業面とする石核から剝離された横長剝片を素材としている。590・591は横長の三角形のもの。

体側に段をもつもの（592～594）

刃部形態は592は1類、593・594は3類。594は腹面のリングの高まりに光沢がみられる。593・594は後期前葉の土層から出土している。

スクレイパー（595～790・2001・2003・2013～2016・2031・2040・2079・2107、図Ⅵ－38～54、表Ⅵ－7、図版228・229・382～387・432～434・438）

6,949点出土し、196点を図示、10点は写真と一覧表のみ掲載した。出土した6,949点のうち、約3,800点については器種・石材・使用痕などの再検討を行い、そのうち約2,700点について細別を行った。

刃部の平面形態によって、以下の細別を設けた。

A類：外湾刃をもつもの（595～641）

B類：直刃をもつもの（642～660）

C類：内湾刃をもつもの（661～669）

D類：急角度の刃部をもつもの（750～764）

E類：抉入石器。おおむね幅2.5cm以下の凹部を抉入とした（774～782）

F類：鋸歯縁石器。3突起以上もつものを鋸歯状とした（783～788）

G類：折断面の直角な角を利用したもの（610・670・671）
H類：その他のもの、破片、未成品など（789・790）

複数形態の刃部をあわせもつものも多い。外湾刃・直刃・内湾刃をあわせ持つ場合は、以下のように区分し、表Ⅵ－7に記載した。

① 相対する長辺にあるもの（670～675・690～692・696～699）
② 長辺から短辺に連続するもの（677～683・693・694・700・701）
③ 同一縁辺にあるもの（684～686・695）
④ 長辺・短辺に直刃、角が外湾刃（687～689）

刃部の平面形態以外の属性として、以下のものがある。

Ⅰ：ほぼ全周に刃部調整がなされるもの（702～739）
Ⅱ：平面形がD字形を呈し、一側縁に緩い外湾～直線～緩い内湾の刃部をもつもの（740～749）
Ⅲ：長軸端に一対の抉入部をもち、一側縁に外湾～直線的な刃部をもつもの（765～773）
x：腹面に調整がなされるもの（600～603など）
y：両側縁に刃部をもち、一方は背面、もう一方は腹面に刃部加工がなされるもの（625・626など）
z：縦長剥片の末端辺に刃部をもつもの（631～638、750～762・764など）

Ⅰ～Ⅲは全体の平面形態に関するもので、ある程度定型的なものといえる。x・y・zについては主に表Ⅵ－7に記載した。

長辺に刃部のある削器が主体であるが、刃部の位置・形態の組み合わせが多様である。細別したものでみると、刃部の平面形態は、外湾刃60%、直刃43%、内湾刃5%、急角度2%、抉入刃3%、鋸歯状1%で、外湾刃と直刃が主体であり、内湾刃、急角度のもの、抉入刃、鋸歯状のものも一定程度用いられている。外湾刃と直刃をあわせもつものは全体の11%、外湾刃と内湾刃は2%、直刃と内湾刃は0.5%でみられる。全体の平面形態をみると、定形的なものとしたⅠ類は5%、Ⅱ類は0.5%、Ⅲ類は0.7%である。Ⅰ類はある程度一般的で、Ⅱ・Ⅲ類は定形的だが少数であり、特殊なものと言える。x類は7%、y類は1%、z類は1%にみられた。

石材は、頁岩が88%、珪質砂岩が10%で大多数を占め、チャートと珪化岩が0.3%ずつのほかは、黒曜石0.1%、玉髄・緻密安山岩・安山岩などがわずかずつみられる。定形剥片石器全体でみた石材の組成と比較して、黒曜石の比率が明瞭に低い。

光沢は1,036点で確認された。直刃・外湾刃では3割前後にみられる。鋸歯状の刃部にも1割程度にあるが、783のような鋸歯状の加工が光沢より新しいとみられる場合もあり、外湾刃・直刃の使用の際に光沢が形成され、その後鋸歯状に再調整された可能性もある。他の形態の刃部には非常に少ない。また、全体形態ではⅡ類には9割、Ⅲ類では4割と非常に高い比率を示す。光沢の位置は、通常は調整剥離の反対面であるが、刃部両面にみられる場合もある（611・660・673・674）。また、器体の最厚部であるバルブの周辺や、背面の中軸付近などに光沢のある場合があり、着柄ないしは鞘の装着などによるものと考えられる（601・645・657・709・714・730・744・774など）。

摩耗は76点で確認され、主に外湾刃・直刃にみられる。位置は、刃縁、刃縁を挟んだ両面（調整剥離側にやや多い）、背面（主に中軸部や最厚部周辺の剥離稜線）がある。前二者は使用によるもの、後者は着柄や鞘の装着によるものと考えられる。刃部の摩耗が明瞭なものには、以下のａ～ｃの類型が認められる。また、摩耗面に線条痕が観察されるものが8点あり（648・688・709・728・746・775・790・2079）、688・709・728・746・775では光沢を伴う。摩耗形態ａ・ｂでは線条痕は刃縁に直交するものと並行するものがあり、ｃでは直交するもののみである。線条痕の方向や摩耗形態の違

いは、使用方法の違いによるものと考えられる。

a：刃縁に摩耗面があるもの。断面形は緩やかな凸形（633側縁・640・648・695・738側縁・746外湾部）。線条痕は、746外湾刃は刃縁に直交、648は刃縁に並行する。

b：刃縁から両面あるいは片面にかけて摩耗面があるもの。断面形は先の丸いV字～U字形（630・639下端・640・709・715・728・738下辺・746直刃部・775・790）。線条痕は、709・746では刃縁に直交、728・775・790では刃縁に並行する。

c：腹面の刃縁から1～2㎜の範囲に平面的に摩耗面があるもの。摩耗面と腹面とで稜をなす（688・2079）。線条痕はいずれも刃縁に直交する。

以下の記載は、まず主体をなす外湾刃・直刃・内湾刃をそれぞれ単独でもつものを掲載し、次にやや定型的なⅠ・Ⅱ・Ⅲ類を刃部の平面形態に関わらず一括した。その後に、急角度の刃部をもつもの・抉入石器、鋸歯縁石器をまとめた。

外湾刃をもつもの（595～641）

ア）1側縁に外湾刃をもつもの（595～618・623・624・639）

595～603は楕円形を呈するもの、604～607は長方形状のもの、608～618・639は不整形のもの。597は腹面に刃部加工がなされ、背面に光沢がみられる。609は刃縁が明瞭に摩耗する。摩耗部の断面形はU字形で、刃縁に並行する線条痕が観察される。610は腹面下端に微細剝離痕がみられ、折れ面の縁を利用したG類の刃部をあわせもつ。616のスクリーントーン部分には褐色半透明の付着物がみられる。617・618は右側縁下半が刃部となる。639は上辺と右側縁～下辺で摩耗が明瞭。上辺は、折れ面と腹面が尖鋭な稜をなしている。調整はなされないが、稜が摩耗し、折れ面では稜に接する幅1㎜ほどの範囲に光沢があり、腹面には微細剝離痕がみられる。側縁～下辺では、縁辺から背面の剝離稜線にかけて摩耗面が形成され、断面は先の丸いV字形を呈する。

イ）2側縁あるいは側縁と短辺に外湾刃をもつもの（619～622・625～630）

619～622・625・626は2側縁が刃部のもの、627～630は側縁と短辺が刃部のもの。621はつまみ付きナイフとしても良いかもしれない。628は側縁の刃部は腹面に加工がなされる。630は側縁～末端辺に連続的に摩耗がみられる。変換点付近では摩耗は正面におよび、断面形はU字形。滑らかで光沢があり、線条痕は観察されない。

ウ）短辺に外湾刃をもつもの（631～638）

632は短辺の刃縁は摩耗し、刃縁の両面に光沢がみられる。633はほぼ全周で刃縁の摩耗が明瞭。摩耗は、側縁では刃縁にみられ断面形は緩やかな凸形、末端辺の刃部調整のある部分や右側縁上端では、刃縁～背面にかけてみられ、断面形は凸～U字形。摩耗面は滑らかで、線条痕は観察されない。635は刃縁から正面の刃部調整の剝離稜線にかけてわずかに摩耗がみられる。

エ）破片（640・641）

640は右側縁の刃縁から正面にかけて明瞭に摩耗し、断面形態は丸みのある角形。641は被熱により左半部を欠失する。

直刃をもつもの（642～660）

ア）1側縁に直刃をもつもの（642～655）

642～648は縦長の長方形状のもの、649・650は長方形状のもの、651～655は大形で不整形のもの。645は広範囲に光沢がみられ、左側縁が摩耗する。648は左右側縁と両面の最厚部に摩耗がみられる。摩耗面の広い部分は斜線で示した。左側縁の摩耗は刃縁から背面にかけて、器体の厚い部分に広範囲にある。刃縁と並行する線条痕が観察される。649は右側縁部中ほどの剝離面にアスファルトが付着

するが、偶発的なものとみられる。654は右側縁、655は右側縁の一部にのみ刃部加工がなされる。

イ）2側縁に直刃をもつもの（656～660）

659は全面が著しく摩耗したもの。全体に丸みを帯び、剝離稜線やリングは不明瞭である。折れ面は摩耗していない。

内湾刃をもつもの（661～669）

661・663は右下端が先鋭で厚みがあり、石錐の機能部である可能性がある。665は正面中軸の最厚部に光沢がある。

外湾刃と直刃をもつもの（670～689）

670・671は折れ面の縁を利用した刃部（G類）をあわせもつ。670は打点側折れ面と腹面のなす稜が摩耗し、腹面側に微細剝離痕がみられる。671は腹面の光沢が非常に強い。末端側の折れ面と腹面との稜に微細剝離痕がみられる。676・678の末端辺の刃部、679の打点側の刃部は急角度である。687は腹面の光沢より新しい剝離がみられる。背面の最厚部にも光沢がある。688は腹面の刃縁から1㎜ほどの狭い範囲に摩耗がみられる。摩耗面は平坦で、腹面とは稜で画される。刃縁に直交する線条痕が観察される。下辺の凹部の剝離は摩耗面より新しい。689は背面右側縁、腹面右側縁に光沢がある。

外湾刃と内湾刃をもつもの（690～695）

690は、背面の最厚部の剝離稜線が摩耗する。695は左側縁上部が摩耗する。摩耗は刃縁からわずかに両面におよび、断面はU字形。

直刃と内湾刃をもつもの（696～700）

700は上下とも折れ面で、上面では腹面との稜線に接して微細剝離痕がみられる。下面では背面からの剝離により内湾刃が形成されている。

外湾刃・直刃・内湾刃をもつもの（701）

701は背面の最厚部である中央の剝離稜線が摩耗し、その左側中ほどに光沢がみられる。

ほぼ全周に刃部調整がなされるもの（702～739）

腹面に調整が加えられるもの（x類）が多い（702・704・708など）。

ア）外湾刃をもつもの（702～717）

702は円形に近いもの、703～712は楕円形～長楕円形のもの、713～715は長方形状のもの、716は正方形状のもの、717は不整形のもの。702は腹面左上部の調整剝離との境界付近の最厚部に光沢がある。705は腹面に光沢があり、図示した右側縁のほか、左側縁に沿ってごく幅の狭い光沢がみられる。709は左側縁下半が明瞭に摩耗する。摩耗部分の刃部はやや急角度。摩耗は刃縁から両面におよび、断面形は先が丸いV字形。刃縁では、刃縁と直交する方向の線条痕がある。714・715は下辺に摩耗がある。714では摩耗は刃縁から背面にかけてみられ、腹面にはごく幅の狭い光沢がある。715では、摩耗は刃縁から両面におよび、先が丸いV字形。線条痕は観察されない。

イ）外湾刃と直刃をもつもの（718～731）

718～724は長辺の一方が外湾刃、もう一方が直刃のもの、725～729は両長辺が直刃、短辺が外湾刃のもの、730・731は両長辺が外湾刃、短辺が直刃のもの。720は下部が摩耗する。721は図示した部分の光沢が強く、ほかにも腹面左側縁と背面の大きな剝離の左半部にも光沢がある。727は背面中軸最厚部の剝離稜線、腹面下半のパルプのふくらみによる最厚部にも光沢がある。背面中央部に赤褐色物質が5㎜角ほどの範囲に付着しており、赤色顔料の可能性がある。728は左側縁から上部にかけて刃縁が摩耗する。摩耗は両面におよび、断面は先が丸いV字形。刃縁に並行する線条痕がわずかに観察される。

ウ）外湾刃と内湾刃をもつもの（732～735）

732は背面の最厚部にあたる中央の剝離の稜線が摩耗し、腹面パルプの左方に光沢がある。腹面の剝離は背面の剝離及びこの光沢よりも新しい。735は末端辺の刃部角度がやや急。

エ）外湾刃・直刃・内湾刃をもつもの（736～738）

737は背面の下半と腹面の左側縁の光沢が強い。左側縁～末端辺の刃縁がわずかに摩耗する。738は腹面縁辺の1㎜以下のごく幅の狭い範囲に、わずかな摩耗・光沢があり、打点側を除く全周に及んでいる。腹面末端辺左側の縁辺には、最大幅1㎜ほどの平坦な摩耗面がみられ、腹面とは稜で画される。摩耗面に接して光沢がみられる。摩耗は正面の刃部調整剝離の剝離稜線にもおよび、断面形は先が丸いV字形である。左側縁の突出部の摩耗は、腹面とは滑らかに連続し、断面形態は先の丸いV～U字形。

オ）直刃をもつもの（739）

D字形を呈し、一側縁に外湾刃・直刃・内湾刃のいずれかをもつもの（740～749）

図右側辺が刃部であり、図上辺～左側辺～下辺を背縁と呼称する。719・720・724も含めても良いかもしれない。刃部は、緩く外湾するもの（740～742）、直線状のもの（743～748）、緩く内湾するもの（749）がある。背縁は弧状に整形され、両面が調整されるものが多い（741・742・745～749）。掲載したすべての刃部裏面に光沢がみられ、742・743・744・749では特に顕著である。正面中央の最厚部で、剝離稜線の摩耗やリングの高まり部分の光沢があるものが目立つ（740・742・743・745・746・747）。740は刃部腹面に幅の狭い光沢があり、背面中軸最厚部の剝離稜線がわずかに摩耗する。741は腹面に刃部調整がなされ、背面に光沢がある。745は腹面背縁側にも光沢がある。746は右側縁の刃部から背縁にかけて連続的に摩耗する。右側縁の摩耗は刃縁から両面におよび、断面形は先が丸いV字形である。背縁の摩耗は、その範囲の左端部で著しい。断面形は凸形で、刃縁に直交する方向の線条痕が明瞭である。744は背縁の加工が粗く、直刃あるいは鋸歯縁石器とした方が良いかもしれない。両面の刃部寄りに明瞭な光沢があり、未加工のまま刃部として使用されたとみられる。

長軸端に一対の抉入部をもつもの（765～773）

長辺の一方に、外湾刃ないしは直刃を形成する。抉入部は両面調整が多く、刃部はほぼ片面調整である。刃部の腹面に光沢があるものも多い（769・770・773）。769では背面の中軸最厚部の剝離稜線に摩耗がみられる。抉入部には使用痕とみられるような痕跡は観察されなかった。765・767・771は背縁が未加工のもの、766・768・769・770・772・773は背縁にも調整がなされ、768・773は比較的入念に整形される。765～768は刃部が外湾するもの、769～772は刃部が直線的なもの、773は直刃と外湾刃が複合するものである。766は上半が極端に厚い素材を用いたいびつなもの。771は横型のつまみ付きナイフの可能性もある。刃部の調整剝離は腹面が新しい。772は台形状を呈するもの。773は、図の白抜き部にツノガイ？の化石を含む石材である（図版229）。

急角度の刃部をもつもの（750～764）

750～762・764は短辺に刃部をもつ掻器様のもので、750～758・760～762・764は外湾刃、759は直刃。750・756は背面の中軸最厚部の剝離稜線に摩耗がみられる。750では背面の中央最厚部の剝離稜線上に微細剝離痕がみられる。752は不整形の剝片の幅の狭い末端に刃部調整がなされる。757は腹面右下端にわずかに光沢がある。761はほぼ全周に加工がなされる。762は背面右半部、腹面左下辺にも光沢がある。763は側縁に刃部をもつもの。左側縁上半部は鋸歯状に調整される。764は両面に光沢があり、左側面の折れ面・右側面の剝離・下端の調整剝離は光沢より新しく、スクレイパー等を再加工したものとみられる。

抉入石器（774～782）

他の形態の刃部をあわせもつもの（774・775など）と、抉入刃のみのもの（776・778など）がある。775は直刃の左側縁が摩耗する。摩耗は刃縁から両面におよび、背面では刃部の剝離稜線に部分的に、腹面では最大で幅2㎜ほどの広い範囲にみられる。断面形態は先が丸いV字形。刃縁に並行する線条痕が特に腹面で明瞭に観察される。777は2か所の抉入部をもつ。782は3か所の抉入部をもつ、異形石器にも類似した形態のもの。黒曜石製であるが、被熱のため光沢を失っている。

鋸歯縁石器（783～788）

783は腹面の光沢より鋸歯状の加工が新しいとみられる。784・785は腹面に調整剝離がなされる。784は両側縁が鋸歯状に調整される。786は腹面に光沢があり、上端で途切れている。鋸歯状の調整は光沢より新しく、スクレイパーの破片を転用したものとみられる。787の刃部は急角度である。

その他（789・790）

789・790は大形で側縁に段をもつもの。790は光沢のある魚鱗？の化石を含む石材（図版229）。左側縁が摩耗する。摩耗は刃縁から両面の刃部調整の剝離稜線におよび、断面形態は先が丸いV字形。刃縁と並行する方向の線条痕がわずかに観察される。

写真掲載の2079は線条痕の明瞭なもの。

両面調整石器（791～851、図Ⅵ－55～62、表Ⅵ－7、図版387～389）

906点出土し、61点図化・掲載した。形態により以下の細別を設けた。器種・石材・使用痕などの再検討は全点について行い、細別は掲載遺物について行った。

Ⅰ類：粗雑な木葉形
- A：8cm以上（808～819）
- B：5cm以上8cm未満（797～807）
- C：5cm未満（791～796）

Ⅱ類：粗雑な両面調整体
- A：細長のもの（820～828）
- B：楕円形のもの（829～834）
- C：その他（835～851）

未掲載遺物も含め、ⅠA類が主体である。

石材は86％が頁岩、10％が珪質砂岩で、他に珪化岩・黒曜石・白色泥岩などが少数みられる。定形剝片石器全体でみた石材組成に近い様相である。

光沢は1点、摩耗は3点で確認された（827・828・842）。位置はいずれも、折れ面と図正面・裏面とがなす稜の周辺で、折れ面の縁辺を利用するスクレイパーG類とみられるが、ここで扱った。

粗雑な木葉形のもの（791～819）

791～796はⅠC類、797～807はⅠB類、808～819はⅠA類。便宜的に大きさで区分したが、CとBは比較的漸移的で、BとAはやや明瞭に区分される。797・798は比較的整った形態である。800は縁辺にやや入念な加工がなされ、図右側縁～上辺～左側縁上半は刃部状となる。803・806は図右側縁下半に平坦部を大きく残す。808は図左半がほぼ未加工で、厚みが残る。図裏面下部に二枚貝化石を含む石材（図版229）。809～813は特に大形で、比較的整った形態のもの。811はTFC－10から出土した2点が接合しており、加工途中で折損したため廃棄されたものと考えられる。814・815・818も比較的整った形態で、厚みがある。819は全体に有孔虫化石が散在する石材である。

粗雑な両面調整体（820～851）

ア）細長のもの（820～828）

820は全面が著しく摩耗している。縁辺や剝離稜線は丸みを帯び、全体に弱い光沢がある。図下端の折れ面も摩耗しており、図正面からの微細剝離がみられる。マキヤマ・チタニィ化石を斑状に含む。

821・822はやや平たく、図上端はやや先鋭に整形される。824は周縁の加工が粗雑であるためここに含めたが、図下辺は丁寧に加工され刃部状であり、棒状を呈し、舌状で角度の緩い刃部をもつ篦状石器としてもよいかもしれない。827・828は折れ面縁辺を刃部としたもの(スクレイパーG類)。827は、図正面下辺の左半、折れ面に接する部分にごく幅の狭い摩耗がみられる。折れ面では、この摩耗に接して微細剥離がみられる。828は、側縁と折れ面が摩耗する。側縁の摩耗は折れ面との変換点にも及ぶ。図右側縁の摩耗部の断面形は凸、左側縁の摩耗はわずかである。折れ面では、図正面側の縁辺の右半部、裏面側の縁辺の左半部が摩耗する。摩耗と重複して微細剥離痕がみられる。

イ）楕円形のもの（829～834）

833・834は比較的入念に加工され、周縁が刃部状を呈する。834は図上面に平坦面を大きく残す。

ウ）その他の形態のもののうち、三角形基調のもの（835～839）

835は両面の図上端部に左右からの樋状剥離がみられ、楔形石器とされた可能性がある。836・838・839は一短辺に平坦面を残す。835～838は比較的入念に加工され、835の右側縁、836・838の両側縁は直線的な刃縁状を呈する。838は図裏面右側縁中ほどに微細剥離痕があり、使用痕の可能性がある。

エ）その他の形態のもの（840～851）

楕円形ないしは木葉形基調のやや不整形なもの、折損したとみられるものが多い。841は折れ面からの剥離痕が顕著なもの。細かい剥離の重なりや階段状剥離がみられ、楔形石器として利用された可能性がある。842は折れ面の裏面と接する縁辺にわずかな摩耗と微細剥離痕が、正面に接する縁辺の右半に微細剥離痕がみられる（スクレイパーG類）。また、図裏面の下端にも微細剥離痕がみられる。847は全面に鉄分の付着が著しく、詳細な観察は困難である。848は黒曜石製で長方形状のもの。849は体部破片で形態が不明なためここに含めたが、石槍またはナイフ、石錐などの破片とみられるもの。850は横長の三角形状のもので、比較的入念に加工され、図下辺は刃部状を呈する。

楔形石器（852～863、図Ⅵ－63、表Ⅵ－7、図版390）

88点出土し、12点図示・掲載した。両面調整体を素材とするもの（852・853・856）、剥片などを素材とするもの（854・855など）がある。断面形は凸レンズ形のもの（852・853など）、一面が平坦で楔形を呈するもの（857・861・862）などがある。側面に樋状剥離のあるもの、対向する位置につぶれや階段状剥離のあるものを楔形石器としたが、両面調整石器や両極技法のRフレイクなども含まれる可能性がある。大きさは、高さで1cm前後から7cm近くまでみられ、幅がある。

光沢が2点で確認された。いずれも裏面にみられ、スクレイパーなどを転用したものとみられる。

石材は、頁岩64点（73%）、黒曜石13点（15%）、珪質砂岩6点（7%）、他は珪化岩・チャート・玉髄・斑糲岩・石材不明が各1点である。定形剥片石器全体の石材組成と比較して、黒曜石の比率が明瞭に高い。なお、黒曜石製の852・853は原材産地同定の結果、赤井川産との結果を得た（Ⅸ章7節）。いずれも微細な球顆が目立ち、852は球顆が層状に含まれる石材。

852～858は小型（高さ1.5cm未満）、859～861は中型（1.5cm～2.0cm未満）、862・863は大型（2.0cm以上）のもの。852・853・856は粗雑な両面調整体を素材とする。855は断面三角形で図裏面が調整された素材を用い、中央部に上下からの剥離がみられ、そこで折損している。857は断面形が薄い楔形の素材を使用したもの。図上下・左右の対向する位置に剥離がみられる。855はTH－22床面、857はTH－22HP1出土で、同一母岩の可能性がある。858は図裏面の光沢を右からの剥離が切っており、スクレイパーなどを転用したものとみられる。859は上下端の階段状剥離が著しく、左側面には樋状剥離がみられる。860は図下面が平坦で、左下角のつぶれが著しい。左側面には樋状剥離がみら

れる。861は図上面が平坦となるもの。862は図下辺の階段状剥離が著しく、左側縁の突出部にもつぶれがみられる。863は図正面上下端のほか、正面右上部、裏面右下部にもつぶれがみられる。なお、856・860はアスファルトが斑状に付着するが、偶発的なものと考えられる。

剥片石器片

8点出土した。掲載したものはない。比較的丁寧な調整がなされ、剥片石器のいずれかの破片とみられるが、小片のため器種分類に至らないもの。石材は頁岩3点、珪質砂岩1点、黒曜石4点。

Rフレイク（864～870、図Ⅵ－63、表Ⅵ－7、図版390）

13,473点出土し、7点図示・掲載した。器種・石材等の記載には誤認が含まれる可能性がある。散漫な二次加工がみられるもの（狭義のRフレイク）と微細剥離がみられるもの（Uフレイク）があり、スクレイパー的な使用・加工によるもの、石器の未成品、偶発的に剥離が起きたとみられるものがある。

光沢は10点で確認された。スクレイパーと同様に、側縁や器体の最厚部・中軸部にみられる。

石材は頁岩88%、珪質砂岩10%、黒曜石0.4%で、他に0.5%未満のチャート・珪化岩・玉髄・珪質岩などがある。定形剥片石器の石材組成と比較して、黒曜石の比率が明瞭に低く、剥片と類似した傾向である。なお、黒曜石製の867・868は原材産地同定を行い、867は所山産、868は赤井川産との結果を得た（Ⅸ章7節）。867は透明度が高く、微細な含有物が靄状に見える石材、868は球顆を多く含む石材である。

864・870は散漫な調整がなされるもの。864は背面右下角の急角度部分に細かい剥離があり、腹面にはわずかに光沢がみられる。870は図上辺右半～右側縁～下辺に微細剥離痕がみられる。背面左側縁と、腹面の上端部には散漫な剥離がみられる。両面に光沢がみられる。

865・867～869は縁辺に微細剥離痕がみられるもの。865・867は左側縁、868は末端辺に微細剥離痕がある。869は右側縁に微細剥離痕があり、両面に使用光沢がみられる。

866は黒曜石製で全面が著しく摩耗するもの。摩耗面は斜線で示した。特に縁辺や剥離稜線の摩耗は顕著で、調整状況が不明瞭である。全体に曇りがある。

剥片（871・2065～2067・2096～2098・2109・2111～2113、図Ⅵ－63、表Ⅵ－7、図版229・230・390・437・439）

373,970点出土し、原材産地同定を行った1点を図示、遺構に伴うものなど10点を写真と一覧表で掲載した。器種・石材等の記載には誤認が含まれる可能性がある。

石材は、頁岩が88%、珪質砂岩11%、黒曜石0.3%で、以下珪化岩・チャート・玉髄が少数、安山岩・粘板岩・玄武岩・泥岩・花崗岩・ホルンフェルス・珪質岩・白色泥岩・礫岩などがわずかにある。黒曜石は、定形剥片石器全体では2%であったのに対し、剥片では0.3%と、明瞭に比率が低い。安山岩・玄武岩・花崗岩・礫岩などは主に礫石器に用いられる石材であり、扁平打製石器や北海道式石冠の加工に伴うものとみられる。

871は黒曜石製で、両極技法によるもの。正面に亜角礫状の自然面を残す。透明度が高く、全体に靄状の模様のある石材。原材産地同定の結果、青森県の出来島・鶴ヶ坂産との結果を得た（Ⅸ章7節）。2096～2098は滑石製の剥片。剥離方向は不明瞭である。

石核（872～937・2023・2032・2068・2108、図Ⅵ－64～80、表Ⅵ－7、図版229・390～393・433・437）

4,269点出土し、66点を図示、4点は写真と一覧表のみ掲載した。4,269点のうち、374点について器種・石材等の再検討を行った。その際、大形の剥片などを石核と誤認していたものが1割程度認められ、再検討を行っていないものにも同様の誤認が含まれる可能性がある。

掲載したものについては形態により、以下の細別を設けた。

1類：直方体状のもの（872～891）

2類：盤状のもの（892～925）

3類：両極剥離によるもの（926～928・934）

4類：打面を一面に固定するもの（929～932）

5類：その他（933・935～937）

直方体状のものが主体である。特徴的な形態のものとして、2類のうち、高さの低い円錐形状を呈し、平坦面と頬斜面とで交互に剥離を行うものがある（910～913）。出土層位から、前期～中期のものとみられる。

石材は頁岩が89%、珪質砂岩10%、黒曜石0.1%で、チャート・珪化岩・玉髄・泥岩・珪質岩が0.1～0.5%、他に凝灰岩・粘板岩などがわずかにある。黒曜石は、定形剥片石器全体では2%であったのに対し、石核では0.1%（4点）と非常に少ない。大きさは、掲載した934は23 g、935は10 g、未掲載の2点は10 g・9 gと非常に小形である。石核を残すほどの大きさの黒曜石は、ほとんど入手していなかったものと考えられる。対して、頁岩・珪質砂岩・珪化岩・玉髄などでは、重さが1000 gを越えるものが31点、500 g～1000 gのものは84点と大形のものも多い。また、剥離が進行しない段階で廃棄されたものも多く、石材の入手の容易さを反映しているとみられる。

黒曜石製の934は原材産地同定を行い、赤井川産との結果を得た（Ⅸ章7節）。ほぼ不透明で、肉眼的には混入物の目立たない石材である。

直方体状のもの（872～891）

ア）最終形態に至るまで頓繁に打面・作業面を入れ替え、典型的な直方体状になったもの（872～883）。

872・874は小型（5cm未満）、873・875～877・880は中型（5cm～9cm未満）、878・879・881は大型（9cm～15cm）、883は超大型（24cm以上）。

876は図左側面と下面に円礫状の自然面を残す。878は図上面に作業中に露出した節理面がみられる。879は図右側面と裏面に自然面を残す。880は円礫素材で、図下面から裏面にかけて大きく自然面を残す。883は超大形で、882を剥離して作業を終えている。882のような大ぶりのフレイクの剥離痕を多く残す。

イ）打面・作業面を入れ替えるものの、一面で集中的に剥離を行ったため、やや扁平な形態となったもの（884～889）。

ウ）最終段階で打面を固定し、その周縁で剥離を行うもの（890・891）

890は角礫を素材とし、図右側面・上面・裏面に自然面が残る。鈍い赤褐色（2.5YR4/3）を呈し、最大1.5cmほどの灰色の角礫状の岩片を多量に含む石材。石材同定を依頼し、珪質凝灰岩との結果を得た（Ⅸ章10節）。891は珪質砂岩製で、図右側面・裏面・下面に亜円～亜角礫状の自然面を残す。作業中に露出した節理面が多くみられる。

盤状のもの（892～925）

ア）作業面がほぼ1面に固定されるもの（892～895）

892の図上面は平坦な自然面、右側面・裏面は風化した剝離面である。風化した剝離面は、剝離方向が不明瞭で、偶発的なものとみられる。

イ）作業面・打面を入れ替えるもの（896～913）

900は図裏面右側縁が外湾する刃部状に加工されており、スクレイパーに転用された可能性がある。902は主に図正面・裏面が作業面となるもの、903・904は図上面と正面が打面・作業面となるもの。903は摩耗の著しい大形の剝片あるいは石核を素材とする。905～913は断面形が三角形を呈するもので、そのうち910～913は正面観が円～楕円形で側面観は円錐形状となり、整った特徴的な形態である。図正面と周縁での剝離が主体となる。912は図正面上端が外湾する刃部状に調整されており、スクレイパーに転用された可能性がある。

ウ）扁平な礫から剝片を剝離したもの（914～925）

いずれも扁平な礫の平坦面を主な作業面とし、自然面を大きく残すものが多い。素材は、914は円礫、919～921・923・924は亜円礫、925は亜円～亜角礫、915・918・922は亜角礫。915・922は裏面に風化した剝離面があるが、偶発的なものとみられる。

919は同一地点から出土した2点が接合したもの。図正面・上面に風化した剝離面が広範囲にみられ、それを切って剝離が行われている。中央部で折損後も、双方で折損面を打面にして多少の剝離がなされている。921・922・923・925は1000ｇを越える大形のもの。922は図正面の大きな剝離がやや風化している。922・923・925は平坦面と側面が作業面となる。

両極剝離によるもの（926～928・934）

926は図裏面下端に階段状剝離が著しい。934は黒曜石の円礫を素材としたもの。剝離稜線が摩耗し、器表面に傷がある。図上辺中央部にはつぶれがみられる。

打面を一面に固定するもの（929～932）

929は断面が台形状の亜角礫を素材としたもので、図正面と左側面で剝離が行われる。932は図右側縁に突出部があり、それより下位の縁辺には調整が加えられている。石錐とした可能性がある。

その他（933・935～937）

933は剝片剝離が進行したもの。935～937は数枚の剝片を剝離したのみのもの。935は黒曜石の角礫を、936は扁平な亜角礫、937は亜円礫～亜角礫を素材としている。

3　礫石器

6,674点出土した。石斧が500点（礫石器内の比率8％、以下同）、石斧以外の礫石器は6,173点で、扁平打製石器1,940点（29％）、たたき石2,037点（31％）、すり石731点（11％）、北海道式石冠505点（8％）、石錘54点（1％）、礫器9点（0.1％）、石鋸19点（0.3％）、砥石194点（3％）、台石石皿685点（10％）である。扁平打製石器・たたき石がそれぞれ3割を占め、すり石・北海道式石冠をあわせると8割近くに及ぶ。

石材の組成は器種によって異なっており、使用方法や、扁平打製石器・北海道式石冠への成形に対する適性によって、石材の選択が行われたことがうかがえる。石斧を除く礫石器全体でみると、安山岩50％、玄武岩17％、砂岩・チャート各7％、凝灰岩3％。結板岩・白色泥岩・閃緑岩・花崗岩各2％、ひん岩・泥岩・片麻岩・頁岩・斑糲岩各1％で、他にホルンフェルス・石英岩・流紋岩・ドレライトなどがある。

石斧は緑色泥岩（アオトラ石）主体で青色片岩も多く、ドレライトなどもみられる。たたき石は安山岩主体で、チャートの比率が他の礫石器より高い。扁平打製石器は玄武岩・安山岩の板状節理の礫が主体。北海道式石冠は安山岩が主体であるが閃緑岩・片麻岩・玄武岩も多い。石錘と礫器は安山岩主体で、他に白色泥岩・粘板岩・砂岩・チャート・閃緑岩・花崗岩・珪質岩など多様な石材が用いられる。石錨は板状節理の安山岩と玄武岩および凝灰岩からなる。砥石は砂岩・凝灰岩主体。すり石・台石石皿は安山岩が7～8割を占め、砂岩・玄武岩がやや多い。台石石皿で花崗岩・凝灰岩がやや多く使用されるのは、大形素材の入手しやすさによるものと考えられる。安山岩と玄武岩は、円磨されたものと板状節理のものがあり、器種により使い分けられている。

使用面の平滑さについて、掲載したすり石・扁平打製石器・北海道式石冠・台石石皿では以下のⅠ～Ⅴ類に区分し、表Ⅵ－7に記載した。Ⅰ類：非常に滑沢なすり面。手触りはつるつるしている。Ⅱ類：滑らかなすり面。手触りは滑らかで引っ掛かりがない。Ⅲ類：粗いすり面。比較的滑らかであるが、たたきによる窪みがあり、手触りはざらつく。Ⅳ類：ざらざらの平坦面。平坦な面をなすが、たたきによる窪みの集合であり、手触りがざらざらで引っ掛かりを感じる。Ⅴ類：たたき面。使用面は平坦ではなく凹凸をなし、たたきによる窪みの集合。平滑さと使用方法との関係は、おおむね、Ⅰ・Ⅱ類はすり使用、Ⅲ類はすりとたたきの並行使用、Ⅳ類はたたき使用中心ですり使用も伴うもの、あるいは、台石石皿上でのたたき使用、Ⅴ類はたたき使用が想定される。ただし、使用方法が同じ場合でも、石材によって平滑度が異なることも想定される。

石斧（938～978、図Ⅵ－81～86、表Ⅵ－7、図版393～395）

500点出土し、41点図示・掲載した。平面形態により、以下の細別を設けた。

Ⅰ類：撥形：148点（30%）

Ⅱ類：紡錘形：14点（3%）

Ⅲ類：短冊形：32点（6%）

Ⅳ類：左右非対称（片側辺は直線的、片側は外湾）：9点（2%）

Ⅴ類：破片など：242点（48%）

Ⅵ類：未成品：50点（10%）

Ⅶ類：製作に関連するもの。擦り切り残片が3点、擦り切り溝のある礫が2点。

このほか刃部について、平面形態は、ⅰ：偏刃、ⅱ：円刃、ⅲ：弧刃、ⅳ：直刃、断面形態は、a：片刃、b：弱凸強凸片刃、c：両刃とし、表Ⅵ－7に記載した。

大きさについては、長さは、超小型：5～7.5cm、小型：7.5～10cm、中型：10～12.5cm、大型12.5～15cm、超大型：15cm以上とした。厚さは、超薄手：1cm以下、薄手：1～1.5cm、中厚：1.5～2cm、厚手：2cm以上と区分した。

整形方法については、1：擦り切り、2：打ち欠き、3：敲打、4：研磨として、表Ⅵ－7に記載した。

破損品が238点で出土点数の48%、未成品が50点で10%を占める。完成品で形態のわかるⅠ～Ⅳ類203点でみると、撥形が主体で148点（73%）、短冊形が32点（16%）、紡錘形が14点（7%）、左右非対称なものが9点（4%）である。大きさでは、小型～中型が主体となる。ア）超小型・小型で超薄手・薄手のもの、イ）小型～中型で中厚～厚手のもの、ウ）中型以上で厚手で2.7cm以上のもののまとまりがみられた。また、長さ：幅は全体に2.1～2.3：1程度が主体であるが、小型・超小型のものには幅2cm前後の縦長で細身の形態も特徴的にみられる。極端に幅広の1点はロジン岩製（972）で、出土層位は中期前半相当層であるが、形態と石材から、早期のものの可能性がある。

石斧形態と刃部断面形態の関係は、いずれにおいても両刃と弱凸強凸片刃が多く、片刃はやや少ない。紡錘形では他よりは両刃が少なく、片刃・弱凸強凸片刃が多い。石斧形態と刃部平面形態の関係は、撥形では偏刃・円刃・弧刃が約3割ずつで、直刃も少数ある。紡錘形・短冊形では円刃が多く、偏刃・弧刃もやや多い。短冊形では直刃も少数ある。左右非対称のものでは偏刃が多数、直刃がやや多く、円刃・弧刃は少数である。刃部の断面形態と平面形態の関係は、片刃は弧刃が多数で円刃が少数、弱凸強凸片刃では弧刃がやや多く、円刃・偏刃もあり、両刃では円刃・偏刃が多く弧刃が少数である。

整形方法については、擦り切り溝の痕跡は21点（4％）で確認した。石斧形態による偏りは明瞭ではない。適用される石材は、緑色泥岩（アオトラ石）19点、青色片岩・黒色片岩各1点に限られる。側辺に擦り切り溝の痕跡があるものがほとんどであるが、964では図正面に左右方向からの擦り切り溝がみられる。敲打整形は48点(10％)で確認され、これも形態による偏りはみられない。石材によって比率に違いがみられ、ドレライトでは49点中11点（22％）、安山岩では26点中11点（42％）、砂岩では11点中6点（55％）と、敲打整形の比率が比較的高く、緑色泥岩（アオトラ石）では249点中8点（3％）、青色片岩では98点中2点（2％）と、ごく少ない。

石材は、緑色泥岩（アオトラ石）が299点（60％）で主体であり、青色片岩が97点（19％）、ドレライト49点（10％）がやや多い。他に安山岩26点（5％）、泥岩21点（4％）、砂岩10点（2％）、黒色片岩9点（2％）、玄武岩5点（1％）、斑糲岩5点（1％）、ひん岩・閃緑岩・緑色片岩・片岩各3点(0.6％)などがある。957・961・969は石材同定を行い、いずれもドレライトとの結果を得た(Ⅸ章10節)。緑色の濃淡および白色からなる細粒モザイク状の組織の石材である。ドレライトや安山岩などの石材では、石材の性質のためか、刃縁に微細な欠けがみられ、丸みを帯びるものが多い。

石斧形態と石材の関係は、緑色泥岩（アオトラ石）・青色片岩・ドレライト・安山岩の上位4種でみると、撥形では緑色泥岩74点（50％）、青色片岩17点（11％）、ドレライト29点（20％）、安山岩8点（5％）で、ドレライトの比率がやや高い。紡錘形では同様に、4点（29％）、6点（43％）、1点（7％）、2点（14％）と、緑色泥岩が少なく、青色片岩主体である。短冊形では、18点（56％）、3点（9％）、0点、4点（13％）と、緑色泥岩主体で、石斧全体でみた石材組成に近い。左右非対称のものは2点（22％）、3点（33％）、2点（22％）、1点（11％）で、青色片岩・ドレライトがやや多い。

使用痕は刃部と体部にみられ、刃部では摩耗が7点（938・946・964・962）、線条痕が19点（938・943・946・953・962・965・968）、摩耗と線条痕が伴うものは4点(938・962・946)である。線条痕は、刃部両面にあるものが17点、片面が2点、刃縁の平坦面が1点である。両面のものは、刃縁に直交するもの15点、斜行するもの3点で、斜行するものには、3cmほども長く明瞭なものがある。片面のものは刃縁に直交する。片刃・弱凸強凸片刃の凸面にみられる。また、刃縁に使用によるとみられる平坦面が形成されるものがあり（951・953・968）、953では刃縁に直交する線条痕が観察される。体部では光沢が16点でみられ（942・946・950・952・958・960・963）、着柄によるものと考えられる。

研磨後の加工痕・使用痕のあるものが多く、再加工・転用が頻繁であったことがうかがえる。刃部や器体の欠損部に剝離・敲打痕のあるものは再加工とみられる。欠損部以外に、器体の平坦部や、側面、上面の左右端などにたたき痕がみられる場合がある。これらはたたき石にみられる使用部位と共通しており、石斧からたたき石に転用されたものとみられる。石斧に適しない形状にまで変形したものはたたき石とし、石斧の形態を維持しているものは石斧として分類した。たたき痕の形態には、窪み状のものと、研磨面で観察される、細く短く鋭いものがある（965）。後者は、滑らかな自然面をもつたたき石でも観察されるたたき痕である。すり石への転用は、礫を分割した割れ面を使用面とす

るもので3点確認された。使用面はざらつくすり面となる。また、後述する抉入すり石と扁平打製石器の一部（1109・2081、1139・1153・1154・1169・2086・2087）と同様の、割れ面に残る特徴的なすり面が4点で確認された。割れ面の凹凸に沿って、滑らかなすり面が波打って残されるもので、すり石・扁平打製石器では接合資料の両割れ面にみられるものが多いが、石斧では接合するものは確認されなかった。

以下の記載は、大きさごとに、形態を一括して行う。

超小型・超薄手のもの（938～940）

938は撥形、939は紡錘形、940は短冊形。いずれも縦長で細身である。938は刃部正面がやや窄むように整形されており、丸のみ状の刃部をもつ。刃縁は明瞭に摩耗して丸みがあり、裏面の刃縁から2㎜ほどの範囲では、体部とは稜で画される摩耗面が形成されている。両面の刃縁から2㎜ほどの範囲で、刃縁と直行する線条痕が明瞭。939は弱凸強凸片刃で、図正面に鏨がある。正面・両側面は滑らかで光沢があるが、裏面のみ研磨がやや粗く、ざらついている。940は上下に弱凸強凸片刃の刃部をもつ。下端の刃部は図正面に、上端の刃部は裏面に鏨がある。

超小型・薄手（941）

941は左右非対称形の縦長細身のもので、上下に刃部をもつ。いずれも弱凸強凸片刃で、図正面に鏨がある。刃部はどちらもつぶれており、上端ではわずかに平坦化し、下端の裏面には微細剝離痕が連続している。

小型・超薄手（942）

942は撥形で片刃。両面の中ほどに光沢がみられる。図正面の光沢部位には、縦方向の疎らな線条痕が確認でき、着柄部のずれによるものと考えられる。

小型・薄手（943～948）

943～947は撥形、948は紡錘形。947・948は縦長で細身のもの。刃部は、943・946は片刃、944・945・948は弱凸強凸片刃、947は両刃。943は刃部両面に刃縁と直交する線条痕がみられ、図裏面の線条痕のある範囲は、体部とは稜で画される面をなしている。944は両面で刃部のみ擦痕が粗く、再加工とみられる。図正面に鏨をもつ。946は図正面に明瞭な鏨をもつ。体部に光沢がみられ、正面で特に明瞭である。刃部は、刃こぼれ状の微細剝離痕も含めて摩耗して丸みを帯びる。両面に刃縁と直交する線条痕があり、裏面で特に明瞭である。裏面右下から基部に伸びる剝離がみられ、剝離後に研磨されている。使用による欠損と再調整と考えられる。

小型・厚手（949～953）

949・950は短冊形、951～953は撥形。刃部は、949・950は弱凸強凸片刃、951は片刃。952・953は両刃。949は刃部を大きく再加工したもので、両面ともに鏨が明瞭。図裏面に光沢がみられる。951の刃部は打ち欠き・研磨により再加工され、図正面の鏨が明瞭。刃縁の中央付近には、研磨あるいは摩耗によりわずかな平坦面が形成されている。両面の体部中央やや上に、横方向の明瞭な線条痕が観察される。952は両面に光沢がみられる。953は上面と刃部の広範囲に敲打痕がある。上面の敲打痕は、両面・側面の研磨に先行する加工痕である。刃部の敲打は、研磨後の刃部からの剝離部分に形成されており、再加工とみられる。刃縁には、幅1～2㎜の平坦面が形成され、刃縁に直行する線条痕が明瞭である。正面観は内湾する。

中型・中厚（955）

955は撥形あるいは短冊形で、刃部は弱凸強凸片刃。図正面に鏨をもち、刃縁は裏面に凸で、丸のみ状に近い。

中型・厚手（954・956～961）

954は紡錘形、956・957は撥形、958～960は短冊形、961は非対称形。刃部は、960・961は弱凸強凸片刃、954・956～959は両刃。954は安山岩製で、スクリーントーン部分は研磨面より滑沢で擦痕が観察されない。緑色泥岩等にみられる光沢と同様のものとみなされる。刃部は欠損あるいは再加工の剝離により欠失する。956・957・961はドレライト製で、956・961の刃縁は使用による欠けのためか丸みを帯びる。956は研磨のきめが細かく、擦痕が見えない。958は両面に光沢がみられ、図正面は明瞭、裏面はやや弱い。959は敲打調整が目立つもので、左側面では全面に及ぶ。960の刃部左半正面側は研磨による再加工がなされる。磨り減りのため刃縁は大きく裏面側へ偏り、平面形では偏刃となる。両面に光沢がある。

大型・中厚（962・963）

いずれも撥形で片刃である。962の刃縁は摩耗して丸みを帯び、特に図裏面で刃縁と直交する線条痕が明瞭である。正面の刃縁には摩耗した微細剝離痕がみられる。963は図正面中軸の広範囲と裏面右側縁近くに淡い光沢がみられる。

大型・厚手（964～968）

965は撥形、966は紡錘形、964・967・968は短冊形。刃部は、964・966は弱凸強凸片刃、965・967・968は両刃。964・965は偏刃。964は図正面に左右からの擦り切り溝が残る。刃縁の右半が摩耗する。965は図正面刃部近くに鏨をもつ。刃縁の右寄りの両面に微細剝離痕があり、その周辺に微細剝離痕を覆う線条痕がみられる。正面下寄りに細く鋭いたたき痕が集中しており、たたき石としても利用されている。966は横断面が台形状を呈する。ドレライト製としては刃縁が比較的先鋭。967は普通角閃石岩製。刃縁は欠けのためか丸みを帯びる。968は刃縁に直交する線条痕が刃部両面にみられる。刃縁には平坦面が形成され、左右方向の線条痕が部分的に観察される。平坦面は、刃縁の左右では非常に平坦で、中央部ではやや凸面になる。平坦面からの微細剝離痕が刃部両面に形成されており、前述の線条痕より新しい。

超大形・厚手（969・970）

いずれも撥形で、両刃。969はドレライト製で、図裏面の刃部近くに鏨をもつ。刃縁は欠けによるものか、丸みを帯びる。970は砂岩製で、刃部両面に刃縁にやや斜行する粗い線条痕がみられる。

たたき石に転用されたものとして、ドレライト製の1073がある。刃部・基部がたたき石として使用される。平面形態は撥形、大きさは大型～超大型・超厚手で、柱状に近いものである。

幅広の長方形状（971・972）

971は扁平な円礫をほとんど整形せず、刃部のみ調整したもの。軟質の白色泥岩製であり、通常の石斧としての使用には適していないため、模造品等と考えられる。972は青灰色（10BG5/1）～灰白色（10Y7/1）を呈するロジン岩製。刃部は弱凸強凸片刃。裏面刃縁には正面からの微細剝離痕と、加撃したが剝離に至っていない潜在剝離もみられる。また、裏面刃部右端部からの加撃による潜在剝離も認められ、刃部の再加工の可能性がある。

未成品など（973～978）

973～975は未成品。973は緻密安山岩製で、打ち欠き整形されている。974は安山岩製で、打ち欠き・敲打・研磨により整形されるが、刃部は未調整。975は緑色泥岩（アオトラ石）製で、右側縁近くの両面に擦り切り溝がみられる。擦り切り・打ち欠き・敲打で整形されており、刃部は未調整。976は青色片岩の扁平な亜円礫に、ごく浅い擦り切りとみられる溝があるもの。図正面はわずかに研磨され、裏面は平滑な自然面である。下辺には剝離がみられ、突端部の小剝離以外では剝離面は摩耗している。

両面に光沢があり、その位置は完成品と共通する。明瞭な刃部は形成されていないため未成品としたが、この状態で着柄・使用された可能性もある。977は擦り切り溝のある緑色泥岩（アオトラ石）製の礫。擦り切り溝は図正面にみられ、その上端は裏面に回り込む。器表面の擦痕は不明瞭で、全体に凸部が摩耗している状態である。978は複数の擦り切り溝がみられ、研磨整形されるもの。緑色泥岩（アオトラ石）製で擦り切り・研磨がなされるためここに含めたが、石斧の未成品か否かは判然としない。長軸方向の断面U字形の擦り切り溝が3条、短軸方向の断面V字形の擦り切り溝が1条みられる。長軸方向の溝は、図正面と左側面に形成される。正面の溝は、左斜め下方向からと右斜め下方向から、左側面の溝は正面方向から作業進行し、折断される。折断部はそれぞれ研磨されている。短軸横方向の擦り切り溝は長軸方向の溝より新しく、下端部を一周する。折断部は未研磨である。右側面穀部には、細く短いたたき痕がみられる。図裏面には、中央付近に長軸方向の細い擦痕があり、この位置でさらに擦り切りを意図した可能性がある。

たたき石（979～1083・2002・2004・2005・2007・2017～2022・2024～2028・2033～2039・2041・2042・2044・2069～2071、図Ⅵ－87～97、表Ⅵ－7、図版395～399・432～434・437）

2,037点出土し、105点を図化、27点は写真と一覧表のみ掲載した。素材の形態と使用部位によって、以下の細別を設けた。

1類：礫の短辺を使用するもの（979～997など）。使用が進んでたたき減りの顕著なものでは、複数の平坦な面が形成されるものが多い。

1'類：平面形が三角形や四角形を呈する厚手の扁平礫の端部を使用するもの（987・991・1016）。使用部位は鈍角である。使用が進むと5類や9類へ移行する場合がある。

2類：礫の長辺を使用するもの（998～1003など）。

2'類：たたき痕が幅広の平坦な面をなし、すり石と類似する形態となるもの。

3類：礫の平坦面を使用するもの（1004～1013など）。いわゆるくぼみ石が主体である。自然礫を用いるものと、礫を意図的に分割して用いる場合がある。後者にはほぼ白色泥岩・凝灰岩が用いられ、分割面である側面・上下面にもたたき痕がみられることがある。

4類：礫の平坦面の縁辺寄りを使用するもの（1014・1056・1057・1060・1061・1064～1067・1069・1071）。

5類：亜角礫の稜を使用するもの（1026～1030）。大部分がチャート製で、安山岩製なども少数みられる。使用面は比較的滑らかで、軸に斜行する場合も多い。

6類：先鋭な稜を使用するもの（1074～1083）。両面調整石器・石核などを転用するもの、打ち欠いて先鋭に加工するもの、礫の割れ面の縁辺を利用するものなどがある。

7類：礫の長辺と短辺の変換部を使用するもの（1015・1017）。使用が進み、両側の使用面が面をなした結果、上端が尖頭状となるものがある（1060など）。

8類：挟入すり石の未成品の可能性があるもの（1031）。扁平な礫の長辺に幅広のたたき痕があり、長軸端にたたき痕あるいは打ち欠き・敲打による調整をもつ。

9類：扁平礫の縁辺を広く使用するもの（1018～1025）。周縁のおおむね3/4以上に使用痕がみられるものとした。

使用部位は複合することが多く、その組み合わせは多様である。1類は1,009点、たたき石の50%にみられ、そのうち1類単独のものは563点で1,008点の56%。以下同様に、2類は479点、24%（145点、30%）、3類は580点、28%（326点、56%）、4類は157点、8%（53点、34%）、5類は127点6%（124

点、98%）、6類は22点、1%（20点、91%）、7類は352点、17%（108点、31%）、8類は9点、0.4%（9点、100%）、9類は52点、3%（49点、94%）である。すり石と複合するものは135点あり、すり石に含めている。

他石器からの転用品が29点あり、内訳は両面調整石器6点、石核7点、石斧9点、扁平打製石器3点、砥石2点、台石石皿片2点。両面調整石器と石核は6類に利用され、両面調整石器転用の6点は珪質砂岩製でTH－4HP1からまとまって出土した。砥石2点と台石石皿1点は、分割して3類に利用されたもの。

使用面は、素材の平坦面や縁辺を利用する場合が多いが、平坦面と縁辺の変換部を利用したものが1・2・7・9類でみられる（988・989・1024・1025・1063など）。表Ⅵ－7の細別欄に「i」と記載した。使用面は平坦な面をなすものが多い。石斧を転用したものが4点みられた。

石材の組成は細別ごとに異なっている。たたき石全体では、安山岩が964点（47%）で主体であり、チャート412点（20%）がやや多い。他に、砂岩184点（9%）、粘板岩103点（5%）、凝灰岩75点（4%）、泥岩49点（2%）、白色泥岩47点（2%）、花崗岩39点（2%）、玄武岩37点（2%）、閃緑岩26点（1%）、石英岩21点（1%）、ホルンフェルス13点などがある。細別ごとの石材について、使用面が単独のものを例としてみると、安山岩主体のもの、チャート主体のもの、安山岩・チャート主体のもの、その他がある。安山岩主体のものは2類の101点（70%）、4類41点（77%）、7類69点（64%）、8類9点（100%）。チャート主体のものは5類94点（76%）、9類28点（57%）・安山岩8点（16%）。安山岩・チャート主体のものは、1類は安山岩203点（36%）、チャート202点（36%）。3類は砂岩・凝灰岩・白色泥岩が多い組成で、安山岩154点（47%）、砂岩51点（16%）、凝灰岩62点（19%）、白色泥岩29点（9%）。6類は両面調整石器・石核の転用が主体であるため、珪質砂岩8点（40%）、頁岩7点（35%）となる。なお、986は石材同定を依頼し、細粒砂岩・泥岩の互層の石材との結果を得た（Ⅸ章10節）。

使用面の形状は、平坦・凹面・凹凸面など多様である。3類の白色泥岩・凝灰岩製のものでは、明瞭に窪む使用痕が特徴的である。粘板岩や一部の泥岩は、石材の自然面が滑沢で、細く短く鋭い使用痕が良好に観察される例がある（1035・1061・1064・1069・1070など）。チャートの自然面も滑沢であり、自然面と比較するとわずかに毛羽立ったような細かなざらつきとして、使用痕が確認される場合がある。たたき石のなかでは滑らかな使用面であり、特に5類に顕著である。

1037は土坑墓TP－18の坑底から人骨に伴って出土した。1043はTH－17床面出土の2点が接合したもの。1076～1079・1081・1082はTH－4HP1からまとまって出土した。

短辺を使用するもの（979～997・1016）

979～981は棒状礫を使用するもの、982～987・1016は厚みのあるやや扁平な礫を使用するもの、988～992は不整形の亜角礫～亜円礫のチャートを使用するもの、993～996は扁平な礫を使用するもの、997は球状礫を使用するもの。987・991・1016は、1'類：正面観が三角形や四角形でやや厚みのある素材の端部を使用するもの。使用部位は鈍角である。988・989・997は平坦面と縁辺の変換部を利用する。

980・982の使用面は複数の面からなる。984はTH－4覆土出土の破片とTH－7覆土下層出土の破片が接合したもの。約40mの距離がある。985は縦断面が逆三角形状の礫を素材としており、握りやすい形状である。

長辺を使用するもの（998～1003）

998～1000は扁平礫を使用するもの、1001は三角錐状、1022は三角柱状、1003は厚手の扁平礫を使

用するもの。1000・1001は大形である。999は平坦面と縁辺の変換部を利用する。1002はすり石6類の未成品の可能性もある。1003は正面観が三角形の亜円礫の一端を欠くものを素材とし、側縁と割れ面を使用するもの。このような、側縁の一部が窪む使用痕は他のたたき石にはなく、あるいは、図の右側縁を底面とする北海道式石冠の未成品初期の可能性も考えられる。

平坦面を使用するもの（1004～1013）

1004～1007は棒状礫を使用するもの、1008・1009は扁平な円礫を使用するもの。1010～1013は白色泥岩・凝灰岩製で、1010・1011は円礫を、1012・1013は分割した礫を使用するものである。使用部は、小範囲のものや、明瞭に窪むあるいは凹凸するものが多いが、1009は広範囲で平坦である。扁平なものでは両面が使用されるものも多く、横断面が三角形のものでは3面が使用される場合もある。1010は横断面が三角形の素材を用い、2つの側縁に擦痕がみられる。擦痕は長軸方向に長く、右側縁では特に明瞭で、削られたような平坦な単位がみられる部分がある。石製品とした1497・1498の加工痕にも類似する。1011はたたき痕に重複して、明瞭な細い溝と擦痕がみられる。

平坦面の縁辺寄りを使用するもの（1014）

1014は素材の平坦面の長辺寄りを使用している。1014以外では、平坦面の短辺寄りを使用するものが多い（1056・1057など）。

長辺と短辺の変換部を使用するもの（1015・1017）

扁平礫の縁辺を広く使用するもの（1018～1025）

1018～1023は厚手の礫を素材とするもの、1024・1025は扁平礫を素材とするものである。1024・1025は平坦面と縁辺の変換部に使用面がある。1022は多面体状の素材を用いており、使用面は周縁に限られているが、形態は亜角礫の稜を使用するものに近い。1025の使用面は複数の平坦面からなっており、部分的にやや滑らかな部分がみられる。スクリーントーンで示した。

亜角礫の稜を使用するもの（1026～1030）

1027は使用が進み、稜が平坦化して、全体が球状に変形している。使用面は複数のやや平坦な面からなっている。1028は小形。稜にごくわずかに器表面がざらつく使用痕がみられる。1029は上面の裏面側の使用面は明瞭なたたき痕があるが、他の部位は器表面がざらつく程度である。1030も使用面は凹凸が少なく比較的滑らかである。平坦面と縁辺の変換部に使用面があり、下辺では正面と裏面の使用面が鋭角の稜をなしている。

扶入すり石の未成品の可能性があるもの（1031）

1031は図の下辺に幅広のたたき面が形成され、左右の長軸端にはたたき痕とそれに伴う剝離がみられる。

使用面が複合したもの（1032～1071）

ア）2部位に使用面があるもの（1032～1061）

1302～1036は1・2類が複合するもの。1032は使用面の凹凸が著しい。1035は細く短い明瞭な使用痕が斜位にみられる。1036は三角柱状の素材を用い、3稜に使用痕がある。1037～1039は1・3類が複合するもの。1037・1038は大形である。1039の下端の使用面は平坦面と縁辺の変換部にあり、両面からの使用によって鋭角の稜をなす。1040～1050は1・7類が複合するもの。1040～1043は厚みのある楕円体状の素材を用いるもの、1044・1045は不整形の亜角礫を用いるもの、1046～1050は扁平礫を用いるもの。亜角礫を用いるものには5類の前段階のものが、扁平礫を用いるものには9類の前段階のものが含まれると考えられる。1040の使用面は複数の平坦な面からなる。1049は下端の使用面と右下角部の使用面は別の平坦面をなす。1041・1044の使用面は凹凸がほとんどない。特に

1044では器表面がざらつく程度。1050の下端の使用面は部分的に突出している。1051～1054は2・3類が複合するもの。1051・1052は扁平な円礫を使用するもの、1053・1054は分割した礫を使用するもの。1051・1053は白色泥岩、1054は凝灰岩、1052は安山岩製。1051・1052は正面と左右側縁に使用痕がみられる。1053・1054は、図正面のほか、左右側面・上下面の自然面・分割面にも使用痕があり、1053の左側面と1054の上下面では明瞭に窪む。1055は2・7類、1056は3・4類が複合するもの。1057は2・4類が複合するもので、側縁の使用面は細かい凹凸があるが面をなしており、図左側面では平坦な面、右側面では上下方向に緩やかな凹面を形成する。1058は3・7類が複合するもので、層理の明瞭な板状の泥質頁岩を用いるもの。1059は3・9類が複合するもの、1060・1061は4・7類が複合するもの。1060の使用面は細かい凹凸があるが滑らかで、たたき使用とすり使用が並行していたと考えられる。図下端は、両面からの使用によって鋭角の稜をなす。上端では、両面・両側面の平坦な使用面によって四角錐状をなす。裏面～右側縁の使用面はなだらかで、たたき滅りは顕著ではない。正面と左側面の使用面は平坦で、ほぼ直角に接しており、使用が進んだ状態とみられる。

イ）3部位に使用面があるもの（1062～1068・1073）

1062は1・3・7類、1063・1068は1・2・3類、1064は1・3・4類、1065は1・2・4類、1066は1・4・7類、1067は2・3・4類、1073は1・2・3類が複合する。1062の上端左側の使用面は、細かい凹凸があるが比較的滑らかで緩やかな凸面をなす。1064の下端の使用面は両面で鋭角の稜をなす。1066は下端の使用面は素材の形状に沿って緩やかな凸面となる。1067の正面の使用面は、細かい凹凸があるがやや滑らかで平坦な面。半円形の板状の素材を用いており、北海道式石冠の未成品初期段階の可能性も考えられる。1068は大形のもの。正面左側縁寄り下方に、太く浅い溝が多数並列し、単位の短い擦痕のような痕跡がみられる。1073は厚みのある柱状に近い石斧を転用したもので、上下端がたたき滅りのため変形している。上端は3つの平坦な面からなる。下端には、欠損あるいは打ち欠きの後、凸部にごく細かい凹凸のある滑らかな使用面が形成されている。両面・両側面には、研磨後のたたき痕が散在する。研磨は非常にきめ細かく、図示はしたが、擦痕は不明瞭である。

ウ）4部位に使用面があるもの（1069～1072）

1069は1・2・3・4類、1070は1・2・3・7類、1071は1・2・4・7類、1072は1・2・3・7類が複合する。1069・1072は細く短い使用痕が明瞭。1071はたたき滅りが顕著で、素材が大きく変形している。1072は石斧に多用される緑色泥岩（アオトラ石）製で、石斧に似た形状の礫を素材とする。下端裏面は平坦面と縁辺の変換部を使用する。肩部の使用面は左右それぞれ平坦面をなし、正面観が尖頭状となる。

先鋭な稜を使用するもの（1074～1083）

素材は、1074は被熱して弾けた礫、1075はたたき石の破片、1076～1079・1081・1082は両面調整石器、1080・1083は石核。1076～1079・1081・1082はTH－4HP1から、1080・1083はTH－4覆土から出土したもの。1076～1082は珪質砂岩製。図化したもの以外は、1083のような頁岩製の石核を転用したものが多い。1075は、剝片様に剝落した破片の末端辺を使用するもの。上部のたたき痕は、剝落前に1類として使用された際のものである。1076～1082の使用部位は直線～内湾し、1076～1080ではたたき滅りが顕著。1083は直方体状の石核の各辺を使用し、上部のたたき滅りの顕著な部分では稜が消失している。

すり石（1084～1131・2008・2029・2080・2081、図Ⅵ－98～102、表Ⅵ－7、図版399～401・432・433・438・440）

731点出土し、46点を図化、5点は写真で掲載した。使用部位により、以下の細別を設けた。

1類：礫の平坦面を使用するもの：305点（42%）：1084～1096

a：すり面が滑沢なもの：1084～1093

b：すり面にわずかなざらつきのあるもの：1093～1096

すり面の形態は、i：凸面、ii：平坦、iii：凹面、とした。

2類：礫の平坦面の縁辺寄りを使用するもの：10点（1%）

3類：礫の長辺を使用するもの：130点（18%）：1097～1099

3'類：やや厚みのある素材を用いるため、使用面が幅広になったもの：24点（3%）：1123～1125

4類：礫の短辺を使用するもの：4点（0.5%）：1107

5類：礫の長辺を使用するもので、長軸両端に調整がなされるもの。いわゆる抉入すり石：125点（17%）：1108～1122・2081

使用面全体に刃部状の調整がなされるものは扁平打製石器とし、部分的に調整されるものはここに含めた。

6類：三角柱状の礫の稜を使用するもの：39点（5%）：1100～1102

a：板状・柱状節理面の明瞭な角～亜角礫を素材とするもの：17点（2%）：1100

b：節理面が風化・円磨した亜角礫を素材とするもの：4点（0.5%）：1101

c：節理によらない円～亜円礫を素材とするもの：15点（2%）：1102

d：その他：3点（0.4%）

7類：分割面を使用するもの：66点（9%）：1103～1106

a：扁平で横長のもの：33点（5%）：1103

b：扁平で縦長のもの：18点（2%）：1104・1105

c：棒状のもの：8点（1%）：1106

d：その他：9点（1%）

すり面の形態は、i：正面観の縦軸とすり面が直交するもの（28点）、ii：正面観の縦軸に対し、すり面が左右に傾くもの（25点）、iii：すり面が正面ないし裏面側に傾くもの（7点）がある。

8類：多面体状の礫の面を使用するもの：46点（6%）：1126～1131

10類：その他、破片：15点（2%）

使用部位を複数もつものがあるため、上記の点数には重複がある。また、たたき石と複合するものは135点である。

平坦面利用が40%と主体であり、長辺利用も多く、分割面利用もやや多い。平坦面利用は、中期前葉の住居跡TH－25の中央ピットから出土している一方、後期前葉の土層を含むm1層出土すり石の51%と高い比率を占める。中期前葉・後期前葉ともに使用された形態であるとみられる。三角柱状稜利用は、4点がm3層、2点がⅢ層下部出土であり、早期に伴うとされる形態であることと整合的である。3'類と8類は、素材の形態にやや差があるが、素材に厚みがあり、すり面は幅広や楕円形状である点で共通しており、面の広さや平滑さが北海道式石冠に類似する。

石材は、すり石全体でみると、安山岩が583点（80%）で主体をなし、玄武岩56点（8%）がやや多く、他に、砂岩25点（3%）、閃緑岩14点（2%）、花崗岩13点（2%）、斑糲岩8点（1%）、泥岩5点（1%）などがある。細別による組成の違いは目立たないが、5類・6類では特徴的な組成を示す。抉入すり

石の５類は安山岩61％、玄武岩16％で玄武岩の比率が高く、扁平打製石器に近い組成である。三角柱状すり石の６類は玄武岩の板状節理を主な素材とするため、玄武岩が52％、安山岩が38％である。

５類の２個体において、短軸で分割したとみられる破片の割れ面に特徴的なすり面の残るものが確認された。それぞれ２点が接合して完形となっている（1109・2081）。すり面は割れ面の凹凸に沿って波打って形成されており、断続的で、滑らかである。同様のすり面をもつものは扁平打製石器・石斧にも確認されている。７類とは、分割した素材の割れ面を使用する点で類似するが、７類の使用面はざらつきがあり、分割面全体に平坦～やや凸に形成されるため、区別される。

なお、７類の計測は、主体である横長のものを基準とし、左右方向を「長さ」として統一した。

礫の平坦面を使用するもの（1084～1096）

厚みのある楕円体状の礫を用いるものが主体である。すり面は、素材の形態に沿った平坦～凸面を呈し、すり減りは顕著ではない。滑沢で擦痕のみられないものが多いが、数本単位の短い擦痕が疎らに観察されるものもある。擦痕は、左右方向が多く、上下方向は少ない。器表面がややざらつく安山岩を素材とするものが多く、不明瞭な使用痕と自然面との区別の難しいものがあった。

ア）使用面が滑沢なもの（1084～1092）

1084～1088は使用面が凸面のもの、1090～1092は使用面が平坦なもの、1089は凸面の使用面と平坦な使用面をあわせもつもの。1086～1089・1092はたたき石と複合する。1087の正面には断面Ｖ字形を呈する深いたたき痕がある。裏面にたたき痕とその延長上のひびがみられ（図版438）、分割を意図した可能性がある。１類の中では大形であり、深いＶ字形のたたき痕は台石石皿に多く見られるため（1306・1307など）、台石石皿としても良いかもしれない。

イ）使用面にわずかなざらつきのあるもの（1094～1096）

いずれも使用面は平坦である。

ウ）滑沢な使用面と、ざらつきのある使用面をあわせもつもの（1093）

1093は、正面と裏面下半に滑沢なすり面、裏面上半にざらつきがあり緩やかな凹面のすり面をもつ。滑沢なすり面は緩やかに波打つ部分もあるが、おおむね平坦。

礫の長辺を使用するもの（1097～1099）

三角柱状の礫の稜を使用するもの（1100～1102）

素材は、1100は板状・柱状節理の明瞭なもの、1101は節理面が風化しているもの、1102は円～亜円礫。1102は器表面の剝落が著しく、本来の形態の詳細は不明である。

分割面を使用するもの（1103～1106）

使用面は凹凸のある分割面に形成されるため、使用の進まない段階では凸部のみ磨滅し（1105・1106）、使用が進むと全面に使用面が広がる（1103・1104）。使用面は、ややざらつきのある～ざらつきのあるすり面で、平坦～やや凸面に形成される。両面の下辺にはすり面縁辺からの細かい剝離のあるものが多く、たたき使用によるものとみられる。素材は礫のほか、たたき石やすり石、石斧、小形の台石石皿を分割して使用したものもある（1103：裏面にたたき痕のあるたたき石３類、1104：すり石３類・たたき石３類複合）。北海道式石冠とした1229は、すり石７類に敲打帯を付したような形態であり、両者は関連するものの可能性がある。扁平で横長、すり面が正面側にやや傾くものに該当する。

1103は扁平で横長のもの、1104・1105は扁平で縦長のもの、1106は棒状のもの。使用面と素材の関係は、正面観の長軸と直交するものは1103右半・1104・1106、正面観の長軸と斜交するものは1105、正面側ないし裏面側に傾くものは1103の左半である。

礫の短辺を使用するもの（1107）

1107は厚みのある礫の末端に、滑らかなすり面が小範囲にみられる。すり面は平坦で、素材の軸に対して、図の左・正面側に傾く。

礫の長辺を使用するもので、長軸両端に調整がなされるもの（1108～1122・2081）

幅の広いすり面が形成されるものをすり石とし、使用面全体が打ち欠きにより刃部状にごく幅狭く調整されたものを扁平打製石器とした。部分的な調整のものはすり石に含めた。ただし、使用によるすり面からの剝離が多数みられるものもあり（1116・1118など）、調整との区別の難しい場合もある。上辺は未調整のものが多いが、部分的に調整される場合もある（1120～1122）。長軸両端（図の左右辺）の調整は、打ち欠きによるもの、敲打によるもの、打ち欠きと敲打が併用されるものがある。正面観は抉入・内湾・平坦・外湾がみられ、また左右で異なる場合もある。調整・形態の組み合わせにより多様な様相を示す。1115・1117はたたき石と複合する。

1108の正面には広いすり面があり、太く短い擦痕が明瞭で、砥石を転用したものとみられる。1112の下辺の敲打痕は、端部の調整と一連であり、使用痕ではなく、使用面を整形する調整とみられる。1113は1830ｇと大形である。1114は下辺からの打ち欠き調整が多数みられる。下面の一部に、敲打で幅広く整形される部分があるためすり石５類未成品としたが、扁平打製石器の未成品の可能性もある。1115～1122はすり面に打点をもつ剝離が多くみられるもの。1115・1116・1119・1121では、すり面の打点周辺に1116に図示したような皺状の溝がみられ、その周辺はざらつきやたたき痕がみられる場合がある。すり面からの剝離や皺状の溝は、たたき使用によって形成されたものものと考えられる。同様の状況は北海道式石冠でも確認される（1217など）。1120はすり面形成後に、すり面からの打ち欠きにより下辺が先鋭な稜線状に加工され、扁平打製石器に類似する形態となっている。あるいは、扁平打製石器への転用を意図したものかもしれない。1121は側辺から上辺途中までの両面が、1122は裏面のほぼ全周と正面の半周ほどが剝離調整される。平面形は扁平打製石器と類似するが、すり面は調整されず、幅広である。

1109・2081は割れ面にすり面が残されるもの。1109はTH－４とTH－17覆土出土の破片が接合したもの。上辺にはたたき痕がみられ、あるいはすり使用のための整形かもしれない。接合面に沿って小さな窪みが並んでおり、意図的に分割したものとみられる。すり面の接合部には段差があり、図左の破片の割れ面付近は分割後にも使用されている。双方の割れ面のほぼ対称位置にすり面が形成されている。すり面は、左破片では割れ面の凸部分に、右破片では凹部分にみられ、滑沢で縦方向の擦痕が観察される。左破片では下方から割れ面への剝離が、右破片では割れ面から下辺への細かい剝離がみられる。磨滅のため接合面には隙間ができており、下方で明瞭である。2081は、左の破片では下辺に使用痕がみられず、分割前には使用されていないとみられる。分割後に、右の破片のみをすり石として使用している。その使用面は、右半では滑らかな面が水平に形成され、左半ではややざらつく面が左上がりに形成される。割れ面のすり面は、左右とも大きく窪んだ部分を除き広範囲に形成される。凸部が滑らかに摩耗し、割れ面の凹凸に沿って波打つ形状をなす。

やや厚みのある礫を用い、使用面が幅広のもの（1123～1125）

1123は使用面の周縁にたたき痕が複合する。同様の使用状況は北海道式石冠でもみられる。1124は同一平面上に位置する２つのすり面をもつもの。単一の使用によって形成されたものとみられる。1125のたたき痕は1112と同様、使用痕ではなく使用のための調整とみられる。

多面体状の礫の面を使用するもの（1126～1131）

1126の使用面は凸部のみ磨滅している。1128は砂岩と石英脈が互層になった石材。砂岩部が風化

し、石英脈が突出した「くびれ石」である。すり面は石英脈部にみられる。1129は緩やかな凸面をなす底面の凸部が磨滅して平坦なすり面となる。1130は角のとれた直方体状の円礫を素材としている。1131は節理による6面体の素材を用いたもの。下面は全面すり面となっているが、自然面が部分的に残る。正面も広範囲にすり面が形成される。

扁平打製石器（1132～1196・2072・2082～2088・2110・2114、図Ⅵ－103～109、表Ⅵ－7、図版230・401～404・437・438・440）

1,940点出土し、63点を図化、10点は写真と一覧表のみ掲載した。使用面が刃部状に調整されるもの、あるいは素材の細い縁辺を利用するものを扁平打製石器とした。使用面以外の調整部位と形態により、以下の細別を設けた。

Ⅰ類：全周が加工されるもの：414点（21%）：1132～1153
　A：半円形：141点（7%）：1132～1141・（1148）
　B：横長の二等辺三角形：1点：1142
　C：長方形：129点（7%）：1143～1147
　D：側辺が抉入するもの：70点（4%）：1149～1154
　E：台形：13点（1%）
　F：不整形：60点（3%）
Ⅱ類：主に側辺が加工されるもの：385点（20%）：1155～1178
Ⅲ類：主に上辺が加工されるもの：26点（1%）：1179
Ⅳ類：散漫で不規則な加工のもの：190点（10%）：1180・1181
Ⅴ類：側辺・上辺とも未加工のもの：214点（11%）：1182～1191
Ⅵ類：未成品：254点（13%）：1148・1196
Ⅶ類：破片：415点（21%）
Ⅷ類：その他：42点（2%）：1192～1195・2087・2088
　上下辺を使用するもの：22点（1%）：1194・2087・2088を含む。

入念な加工で定形的なⅠ類が21%、加工が簡略化されたⅡ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ類が42%と、簡略化されたものが主体である。Ⅱ類では、左右辺の加工は不定形なものが多く、整形を目的としているというより、「調整を加えること」が目的であるような印象である。上辺を一か所だけ打ち欠くようなもの（1157）は、上辺の加工が簡略化されたものとも考えられる。

素材には、板状の角～亜円礫と、扁平な円礫がある。板状の礫は、玄武岩・安山岩の板状節理の角～亜角礫が主体である。板状節理の素材を用いるものでは、折断により、長さや高さの調整を行うものがある（1146・1167など）。薄い素材を選択する、あるいは、節理を利用して薄く分割することにより、使用面の調整をほとんど行わないものもある（1162・1165・1171など）。まれに、北海道式石冠・扁平打製石器の破片や、台石石皿を転用したものがみられる（1195）。

石材は、玄武岩866点（45%）、安山岩717点（33%）の2種で大半を占める。他には、ひん岩67点（3%）、白色泥岩55点（3%）、砂岩38点（2%）、粘板岩31点（2%）、凝灰岩26点（1%）、泥岩21点（1%）、流紋岩19点（1%）、頁岩（層理）18点（1%）、頁岩14点（1%）などがある。玄武岩は板状節理の角礫がほとんどで、安山岩は板状節理が8割程度、円礫が2割程度みられる。板状節理の礫はほとんど円磨されておらず、露頭かその近辺から採取したものと考えられる。頁岩は、層理が明瞭な珪質のもので、剥片石器に利用されるものとは異なる。植物の葉の化石を含むことも多い（図版230）。

石材組成は細別によって違いがみられる。Ⅰ類では、安山岩250点（60%）、玄武岩107点（26%）で、安山岩が主体。Ⅱ類では玄武岩165点（42%）、安山岩142点（37%）で2種がほぼ同数、Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ類では玄武岩が48～62%、安山岩が26～33%で、玄武岩が多くなる。安山岩は比較的入念に加工されるものに、玄武岩は板状節理を利用して加工を簡略化したものに用いられる傾向がある。

使用面は概して幅が狭く、下辺の全長に及ぶものは多くはない。ややざらつく面をなすものが多数を占め、たたき・すりの並行使用が想定される。使用面には皺状の亀裂（1158・1161など）や潜在的な剝離（1169・1183など）がみられるものがあり、たたき使用に起因するものと考えられる。少数であるが、やや滑らかな使用面をもつものもある（1135・1150・1164・1186左半）。

短軸で分割された破片の割れ面に特徴的なすり面が残されるものが6個体確認され、うち5個体は2点が接合し完形となっている（1139・1153・1154・1169・2083・2086、図版440）。滑らかで断続的なすり面が、割れ面の凹凸に沿って波打って形成されるものである。また、分割後にも当初の使用面が再利用されているものが多く、特に、使用面の分割面付近にたたき痕が形成される傾向がある。細別では、Ⅰ類3点、Ⅱ類3点で、整形が比較的入念なものに偏っている。同様のすり面をもつものは他にすり石5類（抉入すり石）・石斧で確認されている。

1133・1134・1136はTH－4HP1から出土し、接合したもの。

全周が加工されるもの（1132～1153）

ア）半円形基調のもの（1132～1141・（1148））

1132・1133は半円形のもの、1134～1141は横長の半円形のもの、1148は半円形のものの未成品。1136の左破片は折損後にも使用され、右側の破片よりも明瞭に磨滅している。1139はK 6区A・B盛土相当層、F 2区B・C′盛土相当層出土の破片が接合したもので、約25mの距離がある（図Ⅵ－187）。暗緑色を呈し、左破片がやや暗色である。短軸で分割し、その割れ面にすり面がみられる。両破片とも分割後に、下辺の使用面からの剝離が加えられる。割れ面のすり面は主に下端に形成され、滑沢で凹凸があり、上下方向の擦痕が観察される。上半部では、ざらつきがある平坦なすり面が、凸部に散在する。正面では接合線に沿って、分割の際に生じたとみられる小剝離が並ぶ。1140はTH－54床面出土で、被熱による斑状の黒色部がみられる。1141は大形で、すり面がやや内湾する。1148は未成品で、両面がほぼ全面加工されるが、使用面には自然面の平坦面が残る。

イ）横長の二等辺三角形のもの（1142）

ウ）長方形基調のもの（1143～1147）

1143・1144は上辺が直線的で側辺が外湾するもの、1145～1147は上辺が外湾し、側辺が直線的なもの。1147は裏面では使用面の調整がなされず、上辺の加工も一部で途切れている。すり面は他と比較して幅広く、すり石5類とした方が良いかもしれない。

エ）側辺が抉入するもの（1149～1154）

1149は抉入の明瞭な特徴的な形態である。1150～1154の側辺の抉入は弱い。1150のすり面は比較的滑らかで、正面下縁中央部にもすり面がみられる。下辺のすり面とは稜で画される。1151はTH－4HP1から出土したもので、被熱により黒色・赤色化している。1153・1154は割れ面にすり面が残されるもの（図版440）。1153の割れ面のすり面は下端の1～1.5cmほどの範囲に形成され、滑沢で凹凸がある。1154は折れ面の下端にすり面が形成される。左破片のすり面は滑らかで凹凸がある。右破片のすり面は凸部がやや平坦化する程度。他の例では接合線は直線的であるが、1154では屈曲している。正面右寄りに、左右方向の擦痕がみられる。

主に側辺が加工されるもの（1155～1178）

側辺の加工は打ち欠きによるものがほとんどで、敲打によるもの（1155左）、打ち欠きと敲打が併用されるもの（1159右）などはわずかである。側辺加工の形態は抉入・内湾・直線的・外湾・不整形がある。両側辺が抉入するものが比較的定形的であるが、左右で加工方法・形態が異なる場合も多く、また、一方が加工されるがもう一方は未加工の例もあり、多様な様相を示す。上辺は散漫な加工がみられるもの（1157・1158・1165など）と、未加工のもの（1155・1159など）がある。前者を1、後者を2として表Ⅵ－7の細別欄に記載した。

ア）左右辺の一方あるいは双方に抉入する加工がなされるもの（1155～1159）

1157は三角形状を呈し、頂部の両面に打ち欠きが加えられる。1158の上辺は、断面位置では先鋭であるが、これより左側では厚みがあり、自然面を残している。1159は直角三角形状の平面形で、右端にのみ明瞭に抉入加工がなされる。

イ）側辺に内湾・直線的・外湾・不整形の加工がなされるもので、板状節理による素材を用いるもの（1160～1165・1167～1169・2086）

1161は正面下寄りに、砥石様の滑らかでやや窪むすり面がみられる。接合位置を境に下辺のすり面に明瞭な段差があり、折損後も使用が継続されたものとみられる。1164のすり面は比較的滑らかでやや幅が広く、下辺の全体に広がる。1162・1165の正面は未風化の節理面。1165は板状節理の素材をさらに薄く分割しており、器体も使用面も非常に薄い。1167はG6区出土の2点が接合したもの。下辺の接合部に明瞭な段差があり、破損後にも使用されたものとみられる。左破片の使用面は緩やかに内湾する。1168・1169は上辺を折断し大きさを調整したとみられるもの。1169・2086は割れ面にすり面が残る。1169は両面で、接合線に沿った小さな窪みが連続しており、意図的に分割されたと考えられる。右側破片は分割後も使用され、使用面が左破片よりも明瞭に磨滅している。割れ面の下端部にはすり面が残され（図版440）、下端へいくほど滑らかで磨滅が顕著になっており、接合面にすき間ができる。割れ面は下端から1cmほどの位置で図の右へ屈曲しており、すり面はこの屈曲に沿って観察され、凹凸がみられる。2086は、右破片の接合部付近は左破片より明瞭に磨滅しており、接合部に段差ができる。分割後にも使用されたとみられる。割れ面のすり面は、左破片では下部に平滑なすり面が、上部にも凸部が磨滅するすり面がみられる。右破片は下半と上端近くに平滑なすり面がみられる。右破片では比較的平坦であるが、いずれも割れ面の形状に沿って凹凸がある。

ウ）側辺に内湾・直線的・外湾・不整形の加工がなされるもので、円磨された亜角～亜円礫を素材とするもの（1166・1170～1178）

1166の上辺は、中央部では先鋭であるが、他の部分では厚みがあり平坦な自然面を残している。1170は右半の正面側と、左半の裏面側が加工される。1171の使用面は調整されず、素材の先鋭な形状をそのまま利用している。1173～1176は左右辺の加工が軽微なもの。1173の使用面は左端の一部のみ滑らかである。1177の使用面は平坦で敲打痕が目立つ。

上辺を加工するもの（1179）

1179は上辺が両面とも半周ほど加工される。

散漫で不規則な加工のもの（1180・1181）

1180は素材の形状を利用し、部分的な加工により整形するもの。使用面は左端で外湾し、中央部では内湾する。1181は長方形の板状の素材を用い、右端を折断し、正面側の上辺のみ加工するもの。

側辺・上辺とも未加工のもの（1182～1191）

1182は両面ともに未風化の節理面で、板状節理の原石をさらに薄く分割したものを素材としてい

る。体部・使用面ともに非常に薄い。1184は素材の先鋭な辺を利用し、さらに調整を加えている。使用面にはわずかなつぶれ・摩耗がみられる程度で、面をなすには至らない。1186の使用面は外湾している。1187は断面が菱形の素材の先鋭な辺を利用したもの。上辺にはたたき痕がみられ、たたき石と複合する。1188は使用面の調整に凹凸があり鋭く、未成品かもしれない。1189・1190は白色泥岩製の小形のもので、1189は使用面が幅広く、敲打主体で凹凸がある。

未成品・その他（1192～1196・2087・2088）

1192・1193は下辺のほか側辺あるいは上辺に幅広の使用面をもつもの。いずれも断面が縦長三角形で、三角形の頂点にあたる下辺と、底辺にあたる側辺・上辺を利用している。側辺・上辺の使用面はすり石3'類にあたる。1194は上下辺を使用するもの。1195は北海道式石冠の破片を利用したもの。割れ面を打ち欠きと敲打により整形する。裏面の敲打面に一部すり面がみられる。下辺の使用痕はわずかであり、未成品の可能性がある。1196はTH－18床面直上出土の未成品。2087・2088は、上下辺が調整されるが、上辺の使用痕は不明瞭で、Ⅲ類の可能性もある。2087は割れ面にすり面が形成されるもの。一方の破片のみ出土した。上部からの加撃により分割している。割れ面のすり面は下半にみられ、下に向かうほど顕著になり、下端では非常に滑沢である。元のすり石の使用面右端部にたたき痕がみられる。2088は線刻のあるもの。石材は非常に軟質な凝灰岩で、後述する線刻礫と共通する。上下辺に刃部状の加工がなされるが、軟質な石材であるため使用面は不明瞭である。右側辺は散漫な加工がなされ、左側は欠損する。線刻は正面にみられ、素材の稜線に沿った直線的なものと、その末端に接する曲線的なものがあり、いずれも複数の線が描かれる。

北海道式石冠（1197～1237・2006・2043・2073・2074、図Ⅵ－110～115・180、表Ⅵ－7、図版404・405・432・434・437）

505点出土し、39点を図化、4点は写真と一覧表のみ掲載した。整形部位・形態により、以下の細別を設けた。整形は主に敲打による。図Ⅵ－180に縦断面形などの模式図を示した。

1類：全面が整形されるもの：200点（39%）：1197～1203・1205～1215・1225

a：握り部が小さく、使用面の幅が広く裾広がりのもの：66点（13%）：1197～1203・1225

b：半円形・台形基調で、溝が一周するもの（図Ⅵ－180の溝ⅰ）：46点（9%）：1205～1209

c：半円形・台形基調で、溝が両側面で途切れるもの（図Ⅵ－180の溝ⅱ）：75点（15%）：1210～1214

b・c：一方の側面で溝が途切れ、もう一方では途切れないもの：7点（1%）

d：上下面が使用されるもの：1点：1215

e：その他：5点（1%）

2類：溝が作出され、握り部も整形されるもの：65点（13%）：1204・1216～1220・1222～1224。

このうち、4類と併用されるものは30点（6%）：1216・1218・1220・1222・1223。

整形の部位は以下のようなものがある。

a：握り部の全面が整形されるもの：5点（1%）

b：握り部の上面が長軸方向の帯状に、平坦に敲打されるもの：34点（7%）：1222・1223・1224

c：握り部の上面が長軸方向の溝状に、窪んで敲打されるもの：6点（1%）：1216・1217

d：握り部の上面が整形されるもの：9点（2%）：1204

e：握り部の左右端が整形されるもの：5点（1%）：1218・1219・1220

f：握り部の両面が整形されるもの：7点（1%）：1219・1220

g：その他：4点（1%）

3類：溝が作出され、それ以外の整形がなされないもの：53点（10%）：1226～1229
4類：溝が作出され、体部にも整形がなされるもの：49点（10%）：1204・1216・1218・1220～1223。
　2類と併用されるものは上記のとおり。
　a：体部の全面が整形されるもの：21点（4%）：1204・1216・1223
　b：体部の両面が整形されるもの：6点（1%）：1221
　c：体部の左右端が整形されるもの：23点（5%）：1218・1220・1222
5類：礫を整形せず、そのまま使用したもの：3点：1236
6類：北海道式石冠の破片を再利用した小形のもの：22点（4%）：1232～1235
7類：未成品：46点（9%）：1237・2006
8類：破片：72点（14%）
9類：その他。再加工・欠損が著しく元の形態が不明なものなど：25点（5%）：1230・1231
なお、計測については、左右方向を「長さ」として統一した。

平面形態では、大きく、握り部が小さめで裾広がりの形態、半円形基調の形態とがある。半円形基調のものには、溝の形態に、溝が一周し、側辺の輪郭が溝の部分で窪むもの、溝が側面でわずかに途切れ、側辺の輪郭が窪まないもの、がある（図Ⅵ－180）。縦断面形については、体部が裾広がりの台形状で、握り部より使用面が厚いもの、体部が方形状で、握り部と使用面の厚さの差が少ないもの、がある（図Ⅵ－180）。

細別と溝の形態の関係は、以下のとおりである。

1類	：溝が一周するもの（1b類）46点	＜	溝が途切れるもの（1c類）75点	
2～4類	：溝が一周するもの　87点	＞	溝が途切れるもの	38点

細別・溝の形態と縦断面形態の関係は、以下のとおりである。

1類で溝が一周するもの（1b類）	：台形状18点	＜	方形状25点	（形態不明3点）
1類で溝が途切れるもの（1c類）	：台形状36点	＞	方形状30点	（形態不明9点）
2～4類で溝が一周するもの	：台形状14点	＜	方形状72点	（形態不明1点）
2～4類で溝が途切れるもの	：台形状6点	＜	方形状31点	（形態不明1点）

1類の全面整形のものは溝が途切れるものが多く、2～4類の調整の簡略化されたものは溝が一周するものが多い。また、溝が一周するものは縦断面形が方形状の傾向がある。

道南部の北海道式石冠については、全面を敲打した大形のものは円筒下層c・d式期にみられ、中期のものは小型化し敲打による溝状加工によって把手を作出しているとされる（小島1999）。前者には1a類が、後者には2～4類が相当する。全面整形・途切れる溝・（台形の縦断面形）は比較的古手の要素、調整の簡略化・一周する溝・方形の縦断面形は比較的新しい要素であるといえる。

使用面は通常、平坦～緩やかな凸面を呈し、滑沢なすり面が広範囲を占め、たたき痕を伴うものが多い。当初の使用面は体部の軸と直交するが、使用が進むにしたがって磨滅し、傾斜していくものもあると想定される（図Ⅵ－180）。使用面の傾斜については表Ⅵ－7に記載した。また、使用面が大きく湾曲する場合や(1202など)、稜で画される複数の面からなることがある(1197など)。後者の場合は、使用面の平滑さ・たたき痕の疎密に差があることが多い。

使用面の傾斜は、全体でみるとA：体部軸と直交するものが44%、B：図正面側にやや傾くものが33%、C：大きく傾くものが6%、D：図正面側に傾き、かつ右半が片減りするもの2%、E：図正面側に傾き、かつ左半が片減りするもの2%、F：図正面側への傾きがなく左右一方が片減りするもの2%で、複合する場合もある。細別ごとにみると、以下のとおりである。

1ａ類	：全面調整で裾広がり	Ａ30％	Ｂ24％	Ｃ5％	Ｄ11％	Ｅ9％	Ｆ6％
1ｂ・ｃ	：全面調整で半円形	Ａ38％	Ｂ38％	Ｃ7％	Ｄ0％	Ｅ3％	Ｆ2％
2～4類	：調整簡略化	A45～57％	B26～34％	C3～8％	D0～3％	E0～5％	F0～3％

使用面の顕著な傾きや片減りは、全面整形される1類、特に1ａ類に比較的多くみられ、対して2～4類では減少する傾向があるといえる。

使用面のたたき痕は、長軸端や周縁にみられることが多く、皺状の亀裂を伴うものもある（1217など）。まれに、使用面が変形するようなたたき面もある（1199）。局所的な深い窪みが、使用面の中央部にみられる場合がある（1231など）。台石石皿にみられる同様の窪み（1306・1307）を小さくした形状である。また、たたき痕は両面や側面にみられることもある。

欠損部が再整形される例が多くみられる。握り部から使用面に及ぶ大きな欠損後に再整形されたものは69点確認された。欠損部周縁の鋭利な角を面取り状に敲打整形し（1206など）、欠損面に溝や握り部を作り直すもの（1211など）や、残存部に溝を作り直すもの（1225など）がある。使用面からの大きな剥離は、未成品・破片を除いたうちの7割近くで観察された。使用面の再整形の場合と、たたき使用に伴う場合があるとみられる。また、半割より小さい破片を再利用する例は22点あった。

破片は72点（14.3％）であるが、大きな欠損部を再加工した69点、小さい破片を再加工した22点を合わせると163点で、出土点数の32％に上る。再整形・再利用が頻繁に行われ、廃棄せずに使用し続けたものと考えられる。

未成品は、溝が先行するもの、使用面の整形が先行するもの、側面・全体の整形が先行するものがある。素材の礫を分割するものと、礫の形状を生かして整形するものがある。石皿を転用した未成品が1点みられた。また、全面が著しく摩耗した北海道式石冠の破片に、未風化の打ち欠きと使用面がみられるものが1点ある。風化・摩耗した破片を採集して再利用したものと考えられる。

石材の組成は、全体では安山岩が304点（60％）で主体であり、片麻岩48点（10％）、玄武岩43点（9％）、閃緑岩26点（5％）がやや多い。ほかに、花崗岩19点（4％）、ひん岩17点（3％）、閃緑岩（緑色）11点（2％）、ドレライト11点（2％）、斑糲岩7点（1％）、砂岩5点（1％）などが少数ずつみられる。細別ごとにみると、全面整形で裾広がりのものは、安山岩31点（47％）、片麻岩9点（14％）、閃緑岩・ドレライト各8点（12％）、玄武岩2点（3％）と、北海道式石冠全体と比較して、安山岩・玄武岩が少なく、閃緑岩・ドレライトの比率が高い組成である。一方、溝以外の整形が部分的なものでは、安山岩101点（74％）、玄武岩・片麻岩各11点（8％）で、この3種に偏った組成となる。

全面が整形されるもの（1197～1203・1205～1215・1225）

ア）握り部が小さく、使用面の幅が広く裾広がりのもの（1197～1203・1225）

1197～1202は高さがあるもの、1203は高さが低く、やや横長のもの、1225は左右辺が不均等なもの。1197～1199は上辺が平坦なもの、1200～1203は上辺に丸みがあるもの。1197はすり面に稜で画される2つの面があり、右端部のすり面は体部の軸と直交し、中央～左側のすり面は正面側に大きく傾く。1199の使用面は右端部を残してたたき面が大半を占める。すり面の後にたたき面が形成される。すり面は体部の軸に対して直交、たたき面は緩やかな凹面で、かつ裏面側にやや傾く。1200は使用面の右縁辺部が上方に傾斜する。1201のすり面は正面側に大きく傾き、かつ左側が片減りする。1202の使用面は周縁部ではたたき痕が主体となり、上方に傾斜する。1225は左端の欠損部を使用面からの打ち欠きにより再整形している。裏面では、欠損部に沿うように溝が作り直されている。

イ）半円形・台形基調で、溝が一周するもの（1205～1209）

1205は縦断面形が台形状、1206～1208は方形状。1206の左側面は欠損しており、すり面からの打

ち欠きと、面取り状の敲打整形により再加工されている。1209は溝が作り直されるもの。左半部の両面で、水平に一周する溝の下位に新たに溝が作出されている。

ウ）半円形・台形基調で、溝が側面でわずかに途切れるもの（1210～1214）

1210～1212は縦断面形が台形状、1213・1214は縦断面形が方形状。1211は左端部の欠損後、すり面からの打ち欠きと面取り状の敲打整形により再加工される。1212の使用面は、中央部は平坦で平滑、周縁は緩やかに上方に傾斜し、ややざらつきがある。

エ）上下面が使用されるもの（1215）

1215は溝が一周する。上下面が使用されるため、正面観は長方形を呈する。

溝以外の整形が部分的なもの（1204・1216～1224）

1204・1218～1223は溝が一周するもの、1216・1224は溝が側面で途切れるもの。縦断面形は、1204・1216は台形状、1217～1224は方形状。

1204は整形は部分的であるが、形態は整っており、1ａ類に類似するもの。1216・1217は握り部上面が長軸方向の溝状に敲打されるもの。1216は握り部と体部を区画する溝の幅が広く、幅の狭い体部の全面が敲打整形される。1217はすり面からの剝離が著しく、使用面は握り部とは軸が斜交する長方形状を呈する。1218は握り部の端部が、1219・1220は握り部の左右端部と両面が敲打整形されるもの。1219の握り部左側の敲打は、欠損とみられる剝離の縁辺に沿っており、あるいは溝の再生とも考えられる。1220の握り部は左右端部と正面、体部は左右端部のみ敲打整形され、上面は未加工。厚さを分割するように割れており、Ｅ５区とＨ６区から別々に出土した。接合部は、使用面では欠けのためにすき間ができており、上面はすき間なく接合する。欠けは使用面からの加撃により発生しており、使用面から意図的に分割した可能性がある。1221は体部正面のみが敲打整形されるもの。使用面の敲打はすり面に先立つもので、使用面の調整とみられる。1222～1224は握り部の上面を帯状に敲打するもの。1222の体部は左右端、1223は体部全面が調整され、1224は未加工。1221は溝と、体部の正面の一部、おそらくは素材の突出部のみ敲打整形されるもの。使用面も未加工で、自然面は体部軸と直行、使用面はやや斜行する。あるいはまだ調整段階であるのかもしれない。

溝以外の整形がなされないもの（1226～1229）

1226・1227は溝が一周するもの、1228・1229は溝が側面で途切れるもの。縦断面形はすべて方形状である。1227はやや扁平なもの。1229は北海道式石冠の溝に類似する敲打帯をもつためここに含めたが、形態・大きさ・使用面の状況などは、分割した礫の分割面を使用するすり石７類と共通する。

再整形が進行し、元の形態が不明なものなど（1230・1231・1237）

1230は使用面の傾斜が著しく、左端部は体部軸と直交、中央～右部は正面側かつ右側に大きく傾斜する。傾斜面は直交面よりたたき痕が多い。

北海道式石冠の破片を再利用した小形のもの（1232～1235）

1232は側縁部の破片を、1233は縦位の半割に近い破片を利用している。1232の左側面の割れ面には溝が作られ、部分的に敲打調整がなされる。1233の割れ面では、溝は明瞭には作られず、縁辺の角が面取り状に敲打される。1234は大形の北海道式石冠の体部の半割状の破片を利用したもの。右側面の割れ面が、すり面からの剝離で再加工される。1235は厚さを分割するように割れた破片を利用したもの。割れ面の凸部を敲打で平坦化している。たたき使用に伴う使用面からの小剝離が割れ面側にもみられる。

礫を整形せず、そのまま使用したもの（1236）

1236はくびれをもつ円礫をそのまま利用したもの。使用面はたたき痕のみであり、あるいは使用面調整段階の未成品かもしれない。

未成品（1237・2006）

1237は小形の未成品とみられるもの。2006は正面～側面・使用面が敲打整形されており、裏面に大きく割れ面が残る。溝は未作出である。また、1003・1067・2042はたたき石としたが、北海道式石冠の未成品の可能性がある。未成品とした場合、1003・2042は右側面、1067は左側面が使用面と想定される。

石錘（1238～1250、図Ⅵ－115～117、表Ⅵ－7、図版406）

54点出土し、13点を図化・掲載した。長辺全体にすり面・たたき面をもつものはすり石・たたき石とした。平坦面などにすり痕・たたき痕をもつものは、兼用あるいは転用と考え、石錘に分類した。貫通孔を有するものが1点出土しており、結索を意図したと想定し、石錘に含めた。形態により、以下の細別を設けた。

A類：長軸端に抉入部をもつもの：44点（82%）：1238～1248

B類：短軸端に抉入部をもつもの：2点（4%）

C類：長軸端・短軸端双方に抉入部をもつもの：2点（4%）：1249

D類：貫通孔をもつもの：1点（2%）：1250

E類：破片、その他：5点（9%）

このほかA～C類について、素材の形状と大きさについては以下のとおりである。

a：扁平なもの：34点（A～C類48点中71%）：1238・1239・1242・1244・1245・1247～1249

b：厚みのあるもの：8点（17%）：1240・1241・1246

c：細長いもの：4点（8%）：1243

極小：～7cm：4点（A～C類48点の8%）：1238　大：～15cm：8点（17%）：1244・1246

小：～10cm：11点（23%）：1239～1241　特大：15cm以上：5点（10%）：1245・1247

中：～13cm：14点（29%）：1242・1243・1249　超特大：15cm以上で1kg以上：3点（6%）：1248

大形以上のものは扁平なものにほぼ限られる。

石材は、安山岩が23点（全体の43%、以下同）で主体であり、白色泥岩6点（11%）がやや多く、ほかに粘板岩4点（7%）、玄武岩・砂岩・閃緑岩・ホルンフェルス各3点（6%）などがある。他の礫石器と比較して安山岩の比率が低く、多様な石材が使用されている。

長軸端に抉入部をもつもの（1238～1248）

1240は白色泥岩の不整形の円礫で、有孔礫を素材としている。左側面は厚みがあり、敲打により抉入部を作り出している。1243・1246はたたき痕をあわせもつ。1244は両面に細かい擦痕のあるすり面が形成されており、砥石あるいはすり石1類の転用とみられる。1248は正面の上辺の幅3cmほどの範囲に被熱による赤色部がみられる。側縁の加工痕・使用痕がないため石錘としたが、大きさからはすり石5類の可能性も考えられる。

長軸端・短軸端双方に抉入部をもつもの（1249）

上下辺の抉入部周辺と正面にたたき痕が複合する。左端部の抉入部は、横方向の擦痕が明瞭である。

貫通孔をもつもの（1250）

図の右上から左中ほどに貫通する自然の穴があり、開口部の周縁を敲打で拡張・整形している。穴に紐を通すタイプの石錘と考えられる。貫通孔以外にも、自然の窪みが多数みられる。また、1516は石製品としたが、1250と同様に自然の貫通孔の開口部を拡張・整形しており、石錘に含めても良いかもしれない。

礫器（1251～1255、図Ⅵ－117、表Ⅵ－7、図版406）

9点出土し、5点を図化・掲載した。扁平な円礫の側縁の一部を打ち欠いて刃部状にしたもの。刃部は短辺に作られるものが多く、片面からの打ち欠きによる片刃状のもの（1251・1255）、両面からの打ち欠きによる両刃状のもの（1253・1254）、弱凸強凸片刃状のものがある（1252）。形態は、縦長のもの（1152～1153）、横長のもの（1255）、素材の軸と刃部が斜交するのものがある（1254）。

石材は、安山岩5点、砂岩・チャート・粘板岩・斑糲岩各1点である。

1251は刃部につぶれと裏面からの小剝離がみられる。1252は両側縁と下辺が連続的に調整される。刃部平面形はやや鋸歯状である。刃部の両面は摩耗し、縦方向の線条痕がみられる。正面では剝離のリングの高まり部分も摩耗する。1253は刃部につぶれがみられる。1254は両面の上部に被熱による赤色部がみられる。1255は刃部縁辺がつぶれ、刃部両面に使用に伴うとみられる小剝離が連続する。正面左側の小範囲に、明瞭な擦痕がみられる。

石鋸（1256～1261、図Ⅵ－118、表Ⅵ－7、図版407）

19点出土し、6点を図化・掲載した。素材の縁辺に、主に断面U字形のすり面をもつもの。すり面の高さは最大で1.5cmほどになる。平坦面にもすり面が形成され、砥石と複合するものも多い。

石材は、凝灰岩8点、安山岩6点、玄武岩3点、頁岩・珪質岩各1点である。安山岩と玄武岩は板状節理のものである。

1256・1258は板状節理の安山岩製、1257・1259は板状節理の玄武岩製。1257は節理面を利用して薄く打ち割って利用している。1259のすり面は太い線条痕が明瞭。1260・1261は凝灰岩製。1260は薄い板状の円礫を用いている。下辺のすり面の断面形は浅いU～V字形。1261は4辺を石鋸として使用し、両面の砥石としての使用も顕著である。周縁や裏面は、器体を薄く調整するための剝離がなされている。すり面の断面形は、V字形を呈する部分が多い。

砥石（1262～1274、図Ⅵ－118～121、表Ⅵ－7、図版407・408）

194点出土し、13点を図化・掲載した。比較的大きな礫にすり面が形成されるもののうち、主に砂岩・凝灰岩製で、すり面が溝状・帯状のもの、すり痕が部分的なものなどを砥石としたが、台石石皿との明瞭な区分は難しい。台石石皿としたものの中にも、石材のきめの細かいもの、器表面に沿った凹凸のあるものなどは、砥石として利用されたものも含むと考えられる。

すり面の形状の細別は、台石石皿と共通とし、表Ⅵ－7に記載した。複数の形態のすり面が複雑に形成されるものが多い。溝状のすり面には、幅広のもの：5cm以上（1262・1263・1265・1267・1268）、やや幅広のもの：1cm前後（1263・1266・1270）、細いもの：0.5cm以下（1266・1267・1269）がある。また、敲打痕をもち、たたき石あるいは台石石皿と複合するものもある。

最大のものは、52.7×14.0×9.7cm、すり面範囲32.0×10.0cmの棒状礫を素材としたものがある（未掲載）。

石材は、砂岩114点（59％）、凝灰岩44点（23％）、安山岩14点（7％）、白色泥岩8点（4％）、泥岩7点（4％）、玄武岩3点（2％）、閃緑岩2点（1％）、頁岩（層理）1点、ドレライト1点である。

すり面が幅広で明瞭な溝状のもの（1262～1264）

1262は正面に幅広の溝状のすり面がある。裏面には、幅広の溝状や平坦なすり面が小面積の複数の面をなしており、すり面より新しいたたき痕もみられる。1263の中央部は、磨滅により欠失している。幅広の溝状のすり面が顕著で、その内部に幅1cm前後のやや幅広のすり面や、幅数mmの細いす

り痕がある。また、幅広の溝の外側にも平坦・やや凸・溝状などのすり面が広範囲にみられる。中ほどで折損するが、接合部には両面とも段差があり、少なくとも下半の破片は、折損後も使用されている。1264は1263と同様のものの破片。

すり面が幅広で緩やかな溝状のもの（1265～1268）

1265は正面一面にすり面がみられ、中央部が緩やかな溝状となる。裏面には平坦なすり面とその後のたたき痕があり、たたき石に転用されたものとみられる。1266は両面とも一面に緩やかに窪むすり面がある。その内部に、正面では、左寄りにみられる縦方向のやや幅広の溝のほか、緩やかな溝状・緩やかな凹面など複数のすり痕がみられる。裏面はやや幅広と細い溝状のすり痕が複数みられ、左寄りの位置には、線刻状のごく細い溝が斜めにみられる。また、すり面より新しい敲打あるいは焼け弾けによる窪みが部分的にみられる。1267は緩やかな凹～凸面をなすすり面の内部に、細い溝と、それに並行する多数の擦痕がある。裏面には敲打痕がある。1268は両面に幅広の溝状のすり面がみられ、溝の軸は両面で直交する。正面上端には細い溝状のすり痕が重なる。

すり面が緩やかに窪むもの（1269～1273）

1269の正面は、広いすり面中に細い溝状のすり痕が重なるもの。裏面は、凸凹のある自然面の凸部にすり面がみられる。1270は緩やかに窪むすり面にやや幅広の溝が重なる。溝の断面形は「レ」字状である。裏面と右側面にたたき痕がみられる。1271の側面には、礫の形状に沿った凹凸のあるすり面がみられる。

すり面が平坦なもの（1272・1273）

1272は層理のある頁岩製。両面に平坦なすり面が残され、交差する擦痕がみられる。1273は正面に広く平坦なすり面が残される。左右側面と裏面は節理による割れ面で、断面は平行四辺形を呈する。左側面には裏面からの打ち欠きが加えられる。左側面の節理面は凸部が磨滅し、緩やかな凹凸のあるすり面が残されており、また、打ち欠きの剥離面にも別のすり面が残される。

すり面に凹凸のあるもの（1274）

1274は礫表面に凸凹のある板状の礫を素材としている。正面のすり痕は滑らかで、礫表面の形状に沿って波打って残され、部分的には溝状となる部分もある。裏面のすり痕はややざらつきがあり、凸部に形成され、たたき痕もみられる。右側面のすり面は溝状であるが、内部はやや凹凸がある。右側面上半部は、横方向の浅い溝が多数みられ、一部両面にも回り込む。何らかの使用痕と考えられる。

台石石皿（1275～1324・2045～2056・2075～2078、図Ⅵ－122～139、表Ⅵ－7、図版409～415・434・435・437）

685点出土し、50点は図化、16点は写真と一覧表のみ掲載した。比較的大きな礫の表面にたたき痕・すり痕をもつもので、据え置いて使用したと想定されるもの。たたき痕とすり痕は双方ともにみられる場合が多いため、台石と石皿は一括して扱った。

使用痕の種類等により以下のA～E、使用面の形状により1～8の細別を設けた。使用痕の種類・形状の組み合わせは多様である。複数の使用面が形成されるものもあるため、以下の点数には重複がある。

A類：たたき痕をもつもの：142点（21%）

B類：すり面をもつもの：436点（64%）

AB類：ざらついたすり面をもつもの：139点（20%）

C類：明瞭な使用痕はないが、住居跡床面に据え置かれたもの、床面から出土したもの：3点

D類：明瞭な使用痕はないが、平坦な面をもつ台石・石皿様の礫：74点（11%）

E類：破片：118点（17%）
1類：使用面が明瞭に窪むもの：43点（6%）：1275～1277・1299
2類：使用面が緩やかに窪むもの：245点（36%）：1278～1285
3類：使用面が平坦なもの：325点（47%）：1286～1298
4類：使用面が礫表面の形状に沿って波打つもの：26点（4%）：1309～1312
5類：使用面が礫表面の形状に沿って緩やかな凸面となるもの：61点（9%）：1296・1321など
7類：整形された窪みをもつもの：4点：1322～1324
8類：使用面が溝状のもの：3点：1305

このほか使用面の広さについて、a：面の1/2を超えるもの、b：面の1/2以下のもの、c：散漫なもの、として表Ⅵ－7に記載した。なお、表Ⅵ－7の細別の項において、「/」で区切られたものは、両面が使用されるものである。

定型的な使用面として、①緩やか～明瞭に窪む広い使用面の一縁辺が急斜面となりたたき痕が集中し、他は緩やかな傾斜となるもの（1276・1299）、②広い使用面の片側寄りに緩やか～明瞭に窪むすり面をもつもの（1300・1301・1303）、③広い使用面の内部に、1～2か所の楕円形に窪むすり面をもつもの（1277裏面・1302・1306～1308）、がある。③は31点にみられ、楕円形のすり面の内部に、径1～2cmほどの局所的な深いたたき窪みが伴うものがある（1306・1307）。たたき窪みは、楕円形の窪みの中心付近に1～2か所の場合（1307）や、窪み内に散在する場合（1306）がある。同様の深い窪みは、他の形状のすり面にみられる場合もあり（1304）、また、やや小さいものが北海道式石冠にもみられる（1231）。窪んだ使用面の周縁には、平坦～やや凸面の使用面が残される場合も多い（1275・1276・1280など）。

大形の欠損品の中には、割れ面の縁辺が小剝離や敲打で面取り状に整形されたものがあり（1281・1283・1284・1299）、接合したものの中には、接合面に沿って加撃によるとみられる小さな窪みが並ぶものがある（1282）。意図的な分割や分割・欠損後の再利用がうかがえる。

最大のものは、配石列2に属する2点が接合した閃緑岩製で（配石列2・遺物№62・65）、約46×40×20cm、重さ49kgである。

石材は、安山岩481点（70%）が主体である。他には、砂岩81点（12%）、玄武岩34点（5%）、花崗岩32点（5%）、凝灰岩25点（4%）、斑糲岩11点（2%）、閃緑岩10点（2%）などがある。安山岩の比率が高く、花崗岩が他の器種より多く使用されている。

特徴的な出土状況として、前期末葉～中期前葉の住居跡床面に据え付けられていたものが18点（17個体）ある（図Ⅵ－181）。TH－4（6点）・5（3点）・15（1点）・18（旧）（2点）・19（5点）は前期末葉、TH－49（1点）は中期初頭～前葉であり、前期末葉に集中し、複数出土する住居跡がある一方で、全く出土しない住居跡もある。使用痕の明瞭なものが多く、両面が使用されるのものも4点あるが、わずかなたたき痕のみのもの、使用痕の不明瞭なものもみられる。出土状況から台石であることは明らかであり、使用痕が不明瞭な台石様の礫については注意が必要である。

明瞭に窪む使用面をもつもの（1275～1277）

1275は裏面にも平坦なすり面をもつ。割れ面の縁辺は正面では未整形、裏面では小剝離により面取り状に整形される。側面と裏面には、被熱による弾けがみられる。1276は使用面上端のたたき痕の集中する部分は急傾斜で、ほかの部分は緩やかな傾斜面である使用面①をもつもの。1277の正面左側縁近くに小範囲の摩耗がみられる。裏面は平坦な使用面の中央部に楕円形の緩やかに窪む使用面③が残される。

緩やかに窪む使用面をもつもの（1278～1285・1299）

1278は素材の上部の厚い部分を避け、広い平坦面のみ利用している。1280の正面と1281の両面には、割れ面に沿って面取り状の小剝離が連続する。1281の使用面は、ざらついた使用面が割れ面まで広がり、滑らかな使用面は現存部におさまっている。当初はざらついた使用面が残され、割れの後に滑らかな使用面が残されたものと想定される。1282は中央部で割れており、割れ目に沿って加撃によるとみられる窪みが並ぶ。TH－4の中央ピットから出土しており、意図的な分割の可能性がある。上の破片では分割後に割れ面に打ち欠きがなされている。1283は、3つの破片に割れているが、接合した状態でTH－15床面から、図の正面を上にして出土した。左側縁は欠失しており、欠損面の縁辺は敲打や小剝離で面取り状に整形され、欠損面の突出部は敲打で平坦化されている。正面の使用面は欠損以前のもの、裏面のたたき面は、その位置から欠損後に残されたと考えられる。現存部の2か所の接合部には、割れ面からの打ち欠きが観察される。再利用のための面取りなどが想定されるが、接合状態で出土しているため、意図は不明である。1284の右側縁の割れ面の縁辺は、正面側に小剝離が連続し、面取り状の整形がなされる。裏面側は未整形である。1285はTH－7床面の石囲炉の炉石として使用されたもの。上位の破片、中・下位が接合した破片が、別々に設置されていた。右側縁の10cmほどの部分と、上位の割れ面の上下それぞれ4～5cmほどの部分が被熱し赤色化している。割れ以前に右側縁を上にして埋設し、割れ後にそれぞれ上位の割れ面を上にして埋設し、再利用されたものとみられる。1299は下部を欠損しており、正面では欠損部の縁辺が小剝離によって面取り状に整形されるが、裏面側では不明瞭。正面は使用面の左緑部は急角度で、たたき痕が集中する使用面①となる。中央～右側は傾斜が緩やかで、ざらつきのあるすり面が広範囲に残される。左側縁を上として見ると、1276と全体形・使用面ともに類似する形態である。裏面には滑沢なすり面が残され、礫表面に沿った凸凹がみられる。中央部のたたき痕は、素材の突出部の平坦化を意図したものかもしれない。

平坦な使用面をもつもの（1286～1298）

1286の正面には被熱による弾けが複数みられる。左側縁近くのすり面は非常に滑沢である。1287は花崗岩製で、周縁の大部分に風化による剝落がみられる。使用面中にも同様の小さな剝落がある。1288は上半が平滑なすり面、下半はざらつきのあるすり面。1290はすり面中に、礫の自然の窪みが残る。側面と裏面の大半に被熱による弾けがみられる。正面下部の割れ面縁辺には、左側2/3ほどの範囲で、小剝離による面取り状の整形がなされる。1291の素材は左上隅がせり上がる形状で、その急傾斜の部分にたたき痕が集中し、使用面①に類似する。裏面の下部には平坦で滑沢なすり面が帯状に残される。1292の裏面のたたき面は、凹凸が著しい。1293はすり面と重複して褐色の不明付着物がみられ、スクリーントーンで示した。裏面のたたき面は凹凸が著しく、正面下端のたたき面は比較的平坦である。1294の両面は、上半は滑沢なすり面、下半はざらつきのあるすり面となる。1296の正面は、上半はややざらつきのあるすり面、下半はざらつきのあるすり面である。裏面は、滑沢で礫表面に沿った凸形のすり面に、凹凸の顕著なたたき面が重複する。正面と側面に被熱による弾けがみられる。1297は滑沢なすり面の上端部にたたき痕がわずかにみられる。

広い使用面の片側寄りに緩やか～明瞭に窪むすり面が形成されるもの（使用面②）（1300～1304）

1300・1301はすり面全体が明瞭に窪むもの。1301は2種の使用面をあわせもつ。正面の上半部は使用面左側の急斜度部にたたき痕が目立つ使用面①。下半は平坦なすり面が広がり、全体として使用面②の形態となる。裏面のすり面は滑沢で、縦長の明瞭に窪むすり面の右上方に、礫の形状に沿った凸形のすり面が広がる。1302～1304はすり面全体が緩やかに窪むもの。1302の右側面の割れ面縁辺に面取り状の小剝離・敲打が疎らにみられる。正面の楕円形に窪む使用面は、窪みの位置から、右側

面の割れの後に残されたものと考えられる。正面上端部に裏面からの打ち欠きがあり、その内部の凸部に平坦～凸形の小面積のすり面が形成されている。砥石1273のすり面と類似する。裏面のすり面の周囲は広範囲に敲打調整されている。1303は被熱による弾けがみられる。1304は使用面中に局所的な深いたたき窪みがみられる。最も深いものは左上部のもので、深さ1.5cm。

溝状の使用面をもつもの（1305）

安山岩製できめが粗いためここに含めたが、砥石の可能性もある。縦方向の擦痕が明瞭である。溝状すり面の外周には、礫表面に沿った凸形のすり面が残される。

楕円形の緩やか～明瞭な窪みをもつもの（使用面③）（1306～1308）

1306～1308はいずれも2か所の楕円形の窪みをもち、窪みは滑沢なすり面である。1306は窪みの周囲には平坦でざらつきのあるすり面が広がる。窪みの内部に局所的に深いたたき痕が伴い、裏面中央部のものが最も深く、深さ2.2cmである。1307は窪みの周囲にたたき痕がわずかにみられる。窪みの内側には深いたたき痕があり、上のものは深さ1.9cm。裏面の使用面は平坦で、滑沢なすり面の周囲にざらつきのあるすり面が残される。1308は2つの窪みをつなぐように、平坦で滑沢なすり面が残される。わずかにたたき痕を伴う部分がある。

凹凸のある使用面をもつもの（1309～1312）

礫表面に沿った凹凸をもつもので、広い面が大きく緩やかに波打つようなもの（1309・1310・1311正面）や、5cm前後の間隔の凹凸をもつもの（1311裏面・1312）がある。使用面はいずれも滑沢である。1309は石材のきめが細かく、非常に滑沢なすり面をもつ。礫の形状に沿って大きく波打っている。右上部に特に滑沢な部分がある。1310は縦横に細かい擦痕がみられる。1311・1312は板状節理の亜角礫を素材としたもの。1311の正面はごく緩やかに波打つ面、裏面はやや小さな間隔で凹凸のある面である。1312は5cm前後の間隔の凹凸のある面が残される。

使用痕がごく部分的なもの（1313）

1313はごく部分的なたたき痕がみられるもの。欠損部は打点が比較的明瞭であり、意図的に打ち割られたものの可能性がある。

中～小形のもの（1314～1321）

1314・1315・1316は緩やかに窪む使用面をもつのもの。1317は溝状の使用面をもつもの。溝状の使用面の周縁には凸形のすり面と、その後のたたき痕がみられる。たたき痕は、正面では緩やかに窪む形状に、裏面ではすり面の凸部を平坦化するように残される。1318～1320は使用面が平坦なもの。1319は縦方向の擦痕がみられる。1320の石材は火山礫凝灰岩で、暗灰色の安山岩や白色・灰色・赤灰色・褐色などの岩片を含み、石基が緑色に変質しており、色彩豊かである。1321は円柱状の礫を素材とし、礫表面に沿った凸面のすり面をもつもの。縦方向の擦痕がみられる。

整形された窪みをもつもの（1322～1324）

全体が敲打により整形された、いわゆる脚付石皿である。出土層位は後期前葉相当層及びⅠ層。1324はTH－7とC11区が接合したもので、約25mの距離がある。いずれも裏面には脚の欠損痕が認められる。1322は安山岩製。被熱して全体に赤色・黒色化している。1323・1324は砂岩製で、同一個体の可能性がある。1324は2か所に脚の欠損痕がみられる。

写真掲載のもの（2045～2056・2075～2078）

2045は正面上部の径約5cmの範囲にたたき痕が10か所程度みられる。2046は破片で、わずかに滑らかなすり面が残る。左上辺付近は被熱して赤色化している。2047・2048は正面左上部に平坦でざらつきのあるすり面がみられる。2050・2051は破片。2050の両面は滑らかで平坦なすり面。2051は

左側辺に縁辺が残る。上下辺の割れ面縁辺には、面取り状の加工がなされる。正面は全面が緩やかに窪む滑らかなすり面で、窪みの最奥部は破片の中央部と一致し、あるいはこの状態でも使用された可能性がある。2052は正面やや上寄りに、礫の形状に沿って緩やかに窪む滑らかなすり面が残される。上下方向の傾斜は目立たず、溝状に近い形態。2053は平坦でざらつきのあるすり面をもつ。2055は板状の安山岩の亜角礫素材。破片は離れて出土しており、割れ面は鋭利である。左上の縁辺部を除き全面が平坦で滑沢なすり面である。裏面はほぼ全面に被熱による弾けがみられ、わずかに残るすり面は滑沢で、平坦な部分と明瞭に窪む部分がある。2076は正面から側面の変換部にかけて、広く滑沢なすり面が広がる。正面のすり面は平坦で、側面への変換部は礫の形状に沿って緩やかな凸面となる。右下部の径約3cmの範囲はざらついたすり面となる。2077は平坦で滑らかなすり面が正面の広い範囲を占めている。花崗岩製で、風化による窪みが目立つ。2078も花崗岩製で、礫表面の大部分が風化により剝落し、左下部・右上部は割れている。正面の器表面の残存部には、緩やかに窪む滑らかなすり面が痕跡的に残る。2049・2054・2056は使用痕が不明瞭であるが、住居跡の床面から出土したもの。2049は緩やかに窪む面、2054・2056は平坦な面をもつ。2075はTP－7から出土した使用痕の不明瞭な台石石皿様の礫。

4　石製品

345点出土した。内訳は、岩偶4点、玦状状耳飾56点、垂飾11点、玉類7点、円板状石製品19点、三角形石製品3点、三脚石器4点、四脚石器2点、異形石器32点、鳥帽子形石器9点、側縁有溝石器12点、長板状石製品15点、石棒23点、軽石製品101点、線刻礫10点、その他の石製品37点。出土層位から、多くは前期～中期のものとみられる。また、後期相当の土層から出土したものも、玦状耳飾（1345）のように、形態から前期～中期のものと判断されるものもある。後期前葉に特徴的な青竜刀形石器等は出土していない。図Ⅵ－186・187に鳥帽子形石器等の分布図を示した。

岩偶（1325～1328、図Ⅵ－140・141・184、表Ⅵ－7、図版214・215・416）

1325～1328は岩偶。ほかに岩偶に関連する可能性のある遺物として、板状の凝灰岩に加工痕のみられるもの2点（2057・2059）と、未加工の礫1点（2058）があり、TP－66から出土している。

1325は残存長37.1cmの大形のもの。いわゆる「肩パッド型岩偶」（稲野1997など）である。図Ⅵ－184に類例との比較を示した。頭部と図の右側縁の一部を欠失する。出土位置は前期末葉の竪穴住居跡TH－54（J3区）覆土中層、円筒土器下層d1式が主体の土層である。平面形は五角形を呈し、腕部が張り出し、脚部へ向かってすぼまる。脚部である下辺は幅広く平坦で、類例のV字形に近い脚部形態とは異なっている（図Ⅵ－184）。緑灰色を呈する凝灰岩製で、板状の礫を素材とし、側縁と上辺は打ち欠きで整形される。首～肩部分では部分的に研磨も併用されているようであるが、擦痕は不明瞭である。それ以外の面と下辺は未整形で、原石の形状をそのまま用いている。

正面には線刻が刻まれている。裏面には中央やや上に浅い窪みがあり、敲打されたものとみられる。

線刻は、首ないし頭部にあたる上辺中央部には上辺に沿った線が、腕にあたる最大幅部には横位のU字・V字形の線刻が刻まれる。線刻の屈曲部などに線のつなぎ目がみられる。最大幅以下の縦位の線刻は、複数の短い線をつなげて1本の線を描いている。2本一組で構成されており、中央の2組は垂直、左右の各1組はおおむね側縁に並行する。下端部では線が枝分かれし、浅くやや不明瞭になる。線刻の太さは大きく3種類ある。①最も太いものは器体の最大幅から上の線刻で、部分的に斜めに削り取ったような手法がみられる。②やや細いものは最大幅より下位の縦位の線刻である。③最も細い

ものは、下書きとみられるごく細く浅い線刻で、①の太い線刻の周囲に認められる。①～③の線刻の断面形はおおむねU字形で、部分的に底面がやや尖る部分、やや平坦になる部分があり、また、①の「削り取ったような」部分では、「レ」字形を呈する。

石材の本来的な色調は明緑灰色（5G7/1前後）であるが、風化のため灰白色（7.5Y8/2前後）を呈する部分が多く、さらに鉄分の沈着によるとみられる黄褐色（10YR5/8前後）の広範囲な斑と、暗褐色（10YR2/3前後）の点状の斑が全体に散在している。3つに割れているが、側縁の欠失部も含め、割れは新しい。頭部の割れ面も摩耗などは不明瞭で、新しい可能性もある。なお、本資料は脆弱であったため、強化処理としてOH－100の含浸を行った。

1326は岩偶あるいは岩偶未成品の可能性のあるもの。1325と類似する色調の板状の素材を用い、側縁は研磨により整形されているようである。図正面は凹凸があり、加工痕は不明瞭。裏面は比較的平坦で、石製品1498のような、幅数mmほどの削られたような痕跡がみられる。V字形を呈するとみられる平面形態は、図Ⅵ－184の類例の形態に近い。

1327は小形の肩パッド型岩偶の肩～腕付近の片側の破片。白色泥岩製で、深い線刻による浮き彫り状の「腕」の表現が両面にみられる。裏面では、「腕」の中間点にあたる位置に、敲打による窪みが形成されている。腕部分の幅を復元すると9.6cm程度で、東北地方の類例を参考に全長を復元すると、14～15cm前後になるものと推定される。Ｅ３区ｍ２(２)層出土で、Ｂ盛土相当、円筒土器下層ｄ２式主体の土層から出土している。

1328は凝灰岩製の板状のもの。三角形を呈する岩偶の破片とみられる。全体が整った板状に整形され、縁辺に沿って線刻が１条めぐり、角には貫通孔が２か所ある。外側の孔は正面からの片面穿孔、内側の孔は両面穿孔である。孔壁や周辺に摩耗はみられない。出土層位はＣ盛土相当、円筒土器上層ｂ～ｃ式主体の土層である。八雲町栄浜１遺跡、函館市（旧南茅部町）臼尻Ｂ遺跡の類例が中期とされることと整合的である（長沼1999第９・11図）。

玦状耳飾（1329～1375、図Ⅵ－142～145・180・185・187、表Ⅵ－３・７、図版216～223・225～227）

玦状耳飾は56点出土し、全点を掲載した。すべて破片で出土した。接合するもの等があり、個体数は46である。欠失が少なく全体の形態がわかるものは７個体（1329・1330・1332・1333・1338・1344・1349）、おおむね半分以上が残存し、全体形を復元できたものは15個体ある。

出土層位は前期末葉のＢ盛土相当層が主体で、平面分布もＢ盛土の範囲とおおむね一致する（図Ⅵ－187）。盛土相当以外の遺構覆土から出土したものは、TH－４覆土下層から１点（1366）、TH－５覆土下層から３点（1354～1356）、TH－18覆土下層から１点（1363）、TP－26覆土から１点（1369）がある。

図Ⅵ－180に部位名称と各部の形態などの模式図、図Ⅵ－187に出土分布図、表Ⅵ－３に観察表を示した。部位名称は原則的に樋口（1933）に依った。図は、正面の右側に側面図を配置することを基本とした。破片の場合は右側の破片として図化し、図の左側辺が切目となる。また、図版216・217に中央孔・切目部の加工痕拡大写真、図版225～227に二次穿孔などの拡大写真を示した。計測は、主体である横長三角形のものを基準とし、左右を「幅」として統一した。

同一個体には、ⓐ隙間なく接合するもの、ⓑ接合面が摩耗して接合が不明瞭なもの、ⓒ接合しないが同一個体であるもの、がある。ⓐは、1330・1337・1338・1344の左破片と中央破片・1349・1363＋1366。1330・1337・1344左破片と中央破片・1363+1366は、折損とみられる。1338と1349は切目

作出中に破損したもの。ⓑは1332・1344。結束孔による結束のために折れ面同士が接触して摩耗したものとみられる。ⓒは1329・1333。1329は折れ面が研磨されているため接合しないが、ごく近接する位置の破片とみられるもの。1333は欠失部があり接合しないが同一個体と判断されたもの。なお、1355と1356は石質が非常によく似ており、大きさ・形態が近似し、二次穿孔の数・位置が共通するため、同一個体の可能性もあるが、厚みが異なること、下辺と切目のなす角度が異なることから、断定できなかった。同一母岩による別個体の可能性もある。

側面観の形態、縁辺の断面形態、中央孔・切目の断面形態は、滑石製かネフライト製かによって異なる。滑石製では、側面観は、Ⅰ：頭部が厚く、肩部で曲線的に薄くなり、脚部はごく薄く扁平で、脚部の下辺近くで緩い稜をなすもの（1331・1332・1341など）、Ⅱ：頭部から脚部近くまで厚さの変化が少ないもの（1339・1342など）、がある。縁辺の断面形態は部位によって変化があるが、概して丸みが強く、U字形～やや尖る形状である。一方ネフライト製は、側面観では頭部から脚部まで厚さの変化が少なく、縁辺の断面形状は角形ないしは「く」字形である。こうした形態の差は、石材の硬度の差によるものと考えられる。滑石はモース硬度1であり爪で傷がつくほどに軟らかく、加工が容易な反面、破損しやすい。そのため、破損率の高い頭部は厚く作られ、縁辺は入念に整形されて、全体として丸みのある曲線的な形態となるものと考えられる。一方、ネフライトのモース硬度は6～6.5と言われ、破損しにくいため全体に薄く作られる反面、細部の加工は難しいため縁辺は角形基調となり全体として直線的な形態となるものと考えられる。

成品に残る加工痕から、器表面・中央孔・切目・二次穿孔の整形等について観察されたことをまとめる。

器表面の研磨は全般に滑らかである。細かい擦痕もみられるが、目立たない。光沢をもち、やや透明感がある。一方、一部の破片などにみられる光沢のないもの、器表面にざらつきがあるもの、明瞭な擦痕が多く残るものなどは、未成品ないしは「粗雑な成品」と考えられる。

中央孔の穿孔について、確認できた例では、1343は片面穿孔、ほかは両面穿孔である。孔の壁面に、円周方向で半周程度の単位の線条痕がみられるが（図版217）、その後の整形により残らないことが多い。「抉り穿孔」（寺村1971）に相当する。孔の外周に沿った線条痕がみられることがあり、穿孔工具が接触したことを示している。滑石製では、中央孔の断面形態は、筒形～鼓形を呈する（図Ⅵ－180）。両面穿孔により砂時計形の孔が穿孔された後、突出部を取り除くように整形されたとみられる。整形の際には、中央孔の壁面に、穿孔方向の特徴的な溝・擦痕が残される（図版216）。①：明瞭な2本組の溝がほぼ等間隔に並び、中央孔の輪郭に歯車様の凹凸があるものと、②：細い擦痕が並行し、中央孔の輪郭が滑らかなもの、がある（図Ⅵ－180）。双方ともに、正面側・裏面側などの単位がみられることや、単位が重複して斜交することがある。また、①と②が双方みられる場合や、凸部が摩耗していることがある。摩耗は孔壁の上部で比較的明瞭にみられる場合があり（1332・1333・1341）、紐ずれなどの痕跡の可能性も考えられる。

切目の作出は、確認できたものはすべて擦り切り技法により、両面からの例が多い。擦り切り時の溝や擦痕が中央孔を挟んで頭部にまで及ぶ「切目突出」（藤田1983）が、頭部の残存する15個体中9個体で確認された。滑石製では、切目部の断面形は、凸形・先細りの角形を呈する（図Ⅵ－180）。擦り切り時には粗く上下方向に長い擦痕が残されるが、その後の整形によりみられない場合が多い。整形時には、上下方向で非常に細く、多数が並行する特徴的な擦痕が残される（図版216）。中央孔と同様の等間隔の溝がみられる場合や、凸部に摩耗がみられる場合がある。

ネフライト製の1329・1330・1350は、中央孔・切目部の断面形が滑石製のものと異なり、中央孔

は両面穿孔の砂時計形、切目部は両面擦り切りの「く」字形を呈し（図Ⅵ－180）、穿孔・擦り切り後の整形はなされない。

二次穿孔は、成品で全体形のわかる17個体中11個体（1329・1330・1332～1334・1337・1341・1344・1345・1347・1348）、ほかに破片等9個体（1338・1339・1340・1352・1355・1356・1359・1360・1368）にみられる。確認できた例ではすべて両面穿孔である。中央孔の穿孔と同様、壁面には半周程度を単位とする擦痕がみられるものが多い。穿孔後の整形がなされるものは少ない。

二次穿孔の目的には、㋐破損した破片を結び繋ぐための結束孔、㋑破片を再利用して玦状耳飾を製作する際の新たな中央孔、㋒垂飾に転用する際の垂下するための孔、が想定される。

㋐は1329・1330・1332・1333・1344・1348・1359・1368が該当する。原則的に紐ずれの痕跡が観察されるものとした。1329は紐ずれの痕跡は確認できないが、折損部の両側に位置することから含めた。紐ずれの痕跡は、孔の壁面が摩耗するものと、2つの孔の間の器表面が摩耗するものがある。孔壁面の摩耗は、もう一方の孔に近接する部分にみられ（図版225－1332）、器表面の摩耗は、明瞭な場合は細い溝状に観察される（図版226－1344）。1330以外は折損部に近接しており、ほとんどが外径2.5～4.0㎜、内径1.0～2.0㎜に収まる。穿孔後の整形はなされない。

㋑は1338・1340・1352が該当する。穿孔位置と、切目作出が伴うことから判断した。孔の外径は5.0㎜、8.0㎜、6.0㎜と、㋐より大きく、成品の中央孔に近い。1338は穿孔後の整形痕が明瞭、1340は未整形。1352は穿孔後に整形されるとみられるが、整形痕は不明瞭。1352は吊り下げによる紐ずれの痕跡と思われる摩耗がわずかに観察され、玦状耳飾への再加工を中断して垂飾に転用したようであり、㋒にも該当する。

㋒は、垂飾1382・1383が該当する。玦状耳飾を転用した可能性があるもの。孔の径は、1382は外径7.5㎜－内径3.5㎜、1383は8.5㎜－5.0㎜と大きい。孔の断面形は筒形～鼓形で、穿孔後に整形されるとみられるが整形痕は不明瞭で、1352と共通する特徴をもつ。

㋐～㋒以外の二次穿孔には、㋓：㋐に類似するが、紐ずれの痕跡がみられないもの、㋔：㋐～㋓に該当しないもの、がある。㋓は1337・1339・1345・1347・1360が該当する。折損部に隣接して位置し、穿孔後の整形がなされないもので、外径が4.0㎜以下のもの。結束孔の可能性がある。㋔は1334・1341・1355・1356が該当する。1334・1341は、折損部に隣接して位置し、穿孔後の整形がなされないが、㋐の大部分より径が大きい。1355・1356は位置が折損部と対応しないもの。

石材は、滑石が大多数で43個体、ネフライト（トレモライト岩）が3個体（1329・1330・1350）である。全個体について石材分析を実施した（Ⅸ章9・10節）。滑石は、黄緑灰色（5GY5/3～6/2）～黄灰色（10Y6/3）の基質に黒色不透明のクロムスピネルが点在するものが多い。色調はほかに、黄色味の強いもの（5Y7/4等）、暗灰黄色（褐色）（5Y5/3等）、黒色（5Y2/1等）などがあり、ほとんどでクロムスピネルを含む。丁寧に研磨されたものでは光沢・透明感がある。石質にも影響されるが、ざらつきのあるやや粗い研磨面では白濁したような色調を呈し、深い擦痕が明瞭に残るような粗い研磨面では不透明になる傾向がある。クロムスピネルは基質の滑石よりも硬いため、研磨の際には砥ぎ残された状態になり、器表面に点状に突出することがある。ネフライトは、緑黄灰色（5GY6/2）～黄灰色（10Y5/3）の濃淡の細かい網目状・流紋状の組織がみられ、不透明である。

製作段階から大別すると、成品、未成品、未成品の可能性のあるもの、とがある。成品の条件について、形態が整っており、仕上げ研磨がなされ、器表面が滑沢で光沢があるものとすると、35個体が該当する。確実に未成品と判断されるものには、㋕切目作出の際に欠損あるいは作業中断したもの4個体（1338・1340・1349・1352）がある。このほか未成品の可能性のあるものとして、㋖器表面に明瞭な

擦痕が残るもの（1338・1340・1343・1357・1362・1369）、㋐器表面は比較的平滑であるが、擦痕が目立つ、あるいはざらつきがあり、光沢のないもの（1339・1353・1365）、㋒整形の粗雑なもの（1338・1339・1340・1343・1349・1353・1357・1362・1369）、㋓器体の厚いもの（1340・1365・1369）があげられ、㋑に含まれるものを除くと7個体である。㋔～㋖に関しては、いずれも中央孔穿孔・切目作出はなされているが、中央孔・切目は未整形か、整形が不明瞭である。あるいは、「粗雑な成品」である可能性もあるかもしれない。

未成品・未成品の可能性のあるものを素材からみると、㋔玦状耳飾の成品の破片を再利用するもの（1338・1352）、㋑擦痕が明瞭で器体の厚い、玦状耳飾の未成品ないしは「粗雑な成品」の破片を再利用するもの（1340）、㋕玦状耳飾以外の石製品を転用したもの（1349）、㋖：㋔～㋕に該当しないもの7個体（1339・1343・1353・1357・1362・1365・1369）となる。製作段階の明瞭な未成品である㋐切目作出段階のものは、㋔・㋑玦状耳飾の破片の再利用、㋕他の石製品の転用であり、今回出土した玦状耳飾の主体をなす、いわば「精巧品」の未成品と判断できるものは出土していないといえる。

破片に対する再加工は、玦状耳飾・垂飾への再加工の意図が明瞭なもの（1338・1340・1352）のほか、部分的なものもみられる。1351・1365では、頭部～肩部の破片の下端に、鋸歯状の打ち欠きや摩耗がみられる。1355・1356は、中央孔付近で折損した破片の上部と中央付近に二次穿孔がみられる。上位の孔は上半を欠失した状態で、上端の欠損部には摩耗ないしは研磨がみられる。孔は摩耗していない。また、垂飾とした1382・1383は、玦状耳飾の破片を利用した可能性があるものである。

形態により、福田（2006）を参考に、以下の細別を設けた。

A類：横長三角形。縦：横＝1：1.3～1.7（19個体）：1329～1341・1351～1356

B類：正三角形。縦：横＝1：1.0～1.3（4個体）：1342～1344・1359

C類：超横長三角形。縦：横＝1：2.0以上（5個体）：1345～1347・1357・1358

D類：縦長。縦：横＝1：1.0未満（6個体）：1348～1350・1360～1362

E類：三角形基調であるが、小片のため形態が不明なもの（12個体）：1363～1375

横長三角形と正三角形の境界は漸移的で、横長三角形と超横長三角形の境界は明瞭である。

三角形基調のものが多数を占め、なかでも横長三角形が主体である。正三角形・超横長三角形・縦長のものがそれぞれ4～6個体と少数ずつみられる。横長三角形のものには、辺の曲線的なものと直線的なものがあり、後者に大形が多い。また、正三角形のものには頭部がやや平坦で台形に近いものも含まれる。

1329～1350は全体の形状を復元できたもので、1329～1341は横長三角形、1342～1344は正三角形、1345～1347は超横長三角形、1348～1350は縦長のもの。1351～1375は破片で、1351～1356は横長三角形、1357・1358は超横長三角形、1359は正三角形、1360～1362は縦長のもの。1363～1375は三角形基調とみられるが、全体形状の不明な破片。

横長三角形のもの（1329～1341）

1329～1333・1338は完形ないしは完形に近いもの、1334～1337・1339～1341は頭部付近で折損した破片である。

1329・1330はともにTH－4の覆土出土で、頭部で折損している。ネフライト（トレモラ閃石岩）製。側面観は頭部～脚部まで厚みの変化が少なく、直線的である。縁辺の断面形は角形基調。中央孔は両面穿孔で、穿孔後の整形はなされない。孔の壁面は滑らかで、回転方向の細かい線条痕がわずかにみられる。切目は両面からの擦り切りにより作出され、断面形態は明瞭な「く」字形である。1329は正面がやや凸、裏面が平坦に整形される。右破片の切目寄りの部分は、他の部分よりやや薄い。頭

部の折損部は両破片とも研磨されているため、接合しない。折損部の研磨面は、左側破片ではやや凸、右側破片では平坦で、凹部をやや残す。右側破片の上端部はわずかに欠損し、欠損面は研磨される。正面右脚部の外側端付近に擦り切りとみられる溝が残る。中央孔の正面側では孔の左側に、穿孔時の工具の接触による、外周に沿った浅い窪みがある。切目部には、両面からの擦り切りの稜線が明瞭に残る。切目の右側正面、左側裏面では、わずかに面取り状の整形がなされる。頭部には切目突出がある。二次穿孔は一対あり、折損部との位置関係から結束孔とみられる。紐ずれはみられない。1330は、頭部の折損面の凸部が明瞭に摩耗しており、接合面にやや遊びがある。表裏とも全体に平坦に整形される。中央孔の裏面左壁と、左結束孔の下位に、穿孔の初期段階のような小さな浅い円形の窪みがみられる。頭部には切目突出がある。結束孔は一対。左孔正面側と右孔裏面側のそれぞれ内側方向の孔縁がわずかに摩耗しており、紐ずれの痕跡とみられる。また、正面では左結束孔と中央孔の間にごく細い溝が2本みられるが、明瞭であるため紐ずれとは考えにくい。

1331は左脚部を欠く。欠損面は明瞭に摩耗し、縁辺や凸部が丸みを帯びている。研磨は丁寧で光沢があるが、明瞭な擦痕もみられる。また、右半部には、研磨後の引っ掻いたような粗い擦痕が上下・左右方向にみられる。中央孔の壁面は光沢がなく、やや白濁する色調である。孔の壁面の整形痕には、正面側・裏面側の単位がある。なお、右端部の窪んだ欠損は新しいものである。

1332は肩部で折損する。2つの破片はB盛土相当層中でやや離れて出土した（図版204）。接合部の両面には細い溝の痕跡が認められ、擦り切りにより意図的に折られた可能性がある。また、右の二次穿孔と重複する細い溝が両面で複数みられる。折損面は明瞭に摩耗し、かなり平坦化している。中央孔の壁面は全体に摩耗している。孔の上端付近では摩耗により整形時の擦痕が消失し、正面では孔の縁辺は上方にやや広がって丸みを帯びている。二次穿孔は一対あり、紐ずれの痕跡が観察されるため、結束孔である。紐ずれは孔壁と孔の間の器表面にみられる。2つの孔の対向する側の壁面では穿孔時の擦痕が消失し、滑らかで光沢のある摩耗面がみられる。また、孔の間の器表面には、孔を結ぶ方向の浅い溝が複数みられる。（図版225）。

1333は右破片の頭部を新しい割れにより欠失する。左破片の折損面は明瞭に摩耗し、平坦化が進んでいる。中央孔の上部は左破片で明瞭に摩耗している。切目面には、整形による上下方向の細く長い擦痕がみられるが、左側の擦痕は他の例と比較してやや太い。左破片の折損部近くに二次穿孔があり、孔の右側の器表面に、斜め上方に伸びる浅く光沢のある溝が複数観察される。紐ずれの痕跡とみられることから、結束孔である。対応する孔は欠失部にあったとみられる。

1334は黄灰色～暗青灰色（2.5Y4/1～5PB3/1）を呈するもの。折損面は明瞭に摩耗し、縁辺と凸部が丸みを帯びる。研磨は比較的入念だがやや擦痕が残り、特に裏面で上下方向の擦痕が目立つ。裏面の中央付近にはクロムスピネルの縦長の大きな結晶があり、研磨の方向に制約があったためと考えられる。中央孔の右上の二次穿孔は上半部が欠失し、欠損面は摩耗する。折損部に近接することから結束孔の可能性があるが、紐ずれの痕跡はみられず、他の結束孔の例より径が大きい。

1335は、中央孔の壁面の整形痕が明瞭で、正面側・裏面側の単位がみられる。仕上げ研磨の後に、裏面上半部に上下方向の粗い擦痕が、上端付近に斜め方向の浅い溝が形成されている。切目面の中央付近には、整形時の細く長い擦痕を切って、厚さ方向の明瞭な溝がみられる。裏面側の粗い擦痕と溝、切目面の溝は、1338のような、破片を再利用した玦状耳飾の製作を意図した加工であるとみられる。

1336は器表面は滑らかだが光沢がなく、やや白濁した色調を呈する。

1337は現存長さ6.3cm、現存幅5.2cm、推定幅10.4cmで、今回出土した中では最大のものである。同一調査区出土の大小2点の破片が接合しており、接合面はほとんどすき間なく接合するが、縁辺がわ

ずかに摩耗しており、器表面にはわずかにすき間ができる。中央孔は横長になるようである。中央孔の整形痕は、裏面側・中央部・正面側の単位が明瞭である（図版216）。中央孔の右上部に二次穿孔が1か所ある。紐ずれの痕跡はみられないが折損部に近接しており、結束孔の可能性がある。

1338は玦状耳飾の成品の破片を再利用した未成品。切目作出の際に頭部で折損している。B盛土相当層の隣接調査区から出土しており、左右の破片で色調がやや異なる。玦状耳飾の片側肩～脚部の破片を再利用している。図の左側辺が元の玦状耳飾の切目部にあたる。左半部では、元の成品の仕上げ研磨より新しい粗い擦痕がみられる。元の玦状耳飾の頭部付近の厚い部分を薄く調整するために、粗い研磨が行われたと理解される。この調整により元の切目面はほぼ消失し、左側辺の上端部にわずかに残るのみになる。この部分は、断面形は角形に近く、並行する細い擦痕がみられるなど、切目部の加工の特徴を示している。再加工の工程は、粗い研磨による厚さ調整→中央孔穿孔・整形→切目作出であり、切目作出の最終段階で折損している。正面頭部には切目突出がみられる。両面合わせて6か所に二次穿孔の穿孔初期と思われる小さな窪みがみられ、器表面の粗い研磨より新しい（図版227）。左破片上部、右破片中央付近の窪みは、両面の対応する位置にある。窪みの形態は、円形で回転方向の線条痕がみられるものと、抉られたような不整形のものがある。

1339は上辺が平坦で、台形に近いもの。全体の研磨がやや粗く擦痕が目立ち、やや白濁した色調を呈し、光沢がない。全体に整形が粗雑で、縁辺の断面形態が角ばっている。中央孔は穿孔後の整形はなされない。切目面には、擦り切り時の粗い擦痕を切って、幅数mmの単位で削ったような跡が観察される。（図版217）。頭部両面に切目突出がある。頭部には、内径1mmと非常に細い二次穿孔が1か所ある。紐ずれの痕跡はみられないが、折損部に近接しており、結束孔の可能性がある。全体の整形・研磨が粗く器表面に光沢がないため未成品とも思われるが、結束孔とみられる二次孔があることから、「粗雑な成品」の可能性も考えられる。

1340は、玦状耳飾の片側の破片を再利用した未成品。元の玦状耳飾は、器表面の研磨が粗く明瞭な擦痕が残り、器体は厚く、中央孔・切目面の整形がなされない状態であり、未成品ないしは「粗雑な成品」と考えられる。再加工は、中央孔穿孔後、切目作出の途中で中断されている。中央孔は器体中央部に穿孔され、整形はなされない。中央孔の位置が他の玦状耳飾とは異なっている。擦り切り溝は正面にのみ形成され、中央孔の下位に3条ほど、上位に1条みられる。上位の溝はごく細く、下位の溝と一直線に並ばないため切目突出ではなく、別につけられたものとみられる。下位の複数の溝は擦り切り時の作業のぶれによるものとみられ、最も明瞭な溝は幅0.5mmほど、深さは器表面から1～2mmまで達している。工具はごく薄いものと想定される。

1341は淡黄色（7.5Y8/3）とオリーブ黄色（7.5Y6/3）が斑状となる、全体に他より黄色味の強い色調の石材。頭部・側辺の湾曲が強い形態である。中央孔の壁面は上半部で摩耗している。切目部は1344と同様、下端がやや幅狭になるとみられる。正面頭部に上下方向の細い溝がある。溝は明瞭で、切目の延長線とはややずれることから、切目突出ではなく、折断を目的とした擦り切り溝の可能性がある。

正三角形のもの（1342～1344）

1342は石質の違いにより、白濁した色調の部分と、黄緑灰色（5GY6/3）を呈する部分が混在する。裏面の研磨はやや粗く擦痕が目立つ。正面頭部に切目突出がみられる。

1343は器表面に粗い擦痕が目立ち、全体に整形が粗く、未成品とみられるもの。中央孔は正面からの片面穿孔により、穿孔後の整形はなされない。片面穿孔は今回の出土した中ではこれのみである。切目面も整形はなされず、切目作出の最終段階で頭部で折損した可能性もある。両面で切目に並行する擦り切り溝がみられ、擦り切りが何度か試みられたようである。今回の出土例では1355・1356と

並び最小の部類である。

1344は3つに割れている。左脚部と頭部の破片はTH－11（K４・Ｊ４区）覆土から、右脚部の破片はＪ３区Ａ盛土相当層から出土した。左脚部と頭部はすき間なく接合する。折損部と裏面の未貫通孔が重複しており、穿孔が折損の原因と考えられる。頭部と右脚部の接合面は、双方とも明瞭に摩耗しかなり平坦化しているため、接合しない。全体は丁寧に研磨され光沢があるが、頭部周辺のみややざらつきがあり白濁した色調を呈しており、仕上げ研磨後に粗い研磨がなされたものとみられる。特に、右破片正面では、折損部から7㎜ほどの範囲が折損後に粗く研磨されて薄くなっており、頭部の破片との接合面に段差ができる。中央孔は穿孔後の整形はなされない。頭部破片では、中央孔の上部に接するように半円形の抉入部がみられる。孔の壁面は明瞭に摩耗しており強い光沢がある。孔の右半が欠失したような形状であるが、右破片には対応する部分はなく、折損後に形成されたものと考えられる。切目は、上端と下端では幅が狭く、中央部でやや広い。二次穿孔は頭部の折損部を挟んで一対ある。紐ずれがあり、結束孔である。紐ずれは、孔の対向する壁面と孔の間の器表面において、滑らかで光沢の強い２～３条の浅い溝や、線状の強い光沢部として観察される。左の結束孔の下位には未貫通の穿孔があり、両面から穿孔されるが、わずかに貫通しない状態で折損している。

超横長三角形のもの（1345～1347）

1345は頭部と側辺の湾曲が強い形態。中央孔の整形時の擦痕は、正面側・裏面側の単位がある。裏面には孔の外周に沿った擦痕がみられる。切目面の整形痕は、上下方向の細く並行する擦痕と、厚み方向の２本組で等間隔に並ぶ明瞭な擦痕がみられる。後者には正面側、裏面側の単位がある。二次穿孔が１か所ある。

1346の両面、1347の正面には左右方向の擦痕がやや目立つ。1346の切目面には細い擦痕が並行しており、正面側・裏面側の単位があり、互いに逆方向に斜行して交差している。

縦長のもの（1348～1350）

1348は２つの破片がすき間なく接合する。左脚部は欠損しており、欠損面は明瞭に摩耗する。器表面はややざらつきがあり光沢に乏しい。特に裏面ではやや白濁した色調を呈する。中央孔の穿孔後の整形はなされず、穿孔時の擦痕は明瞭だが不規則である。切目は下端で幅が狭く、中ほどでは幅が広くなるとみられる。切目部の断面形態は角形で、下端では先細りでやや丸みを帯びる。切目面の整形痕は不明瞭で、不規則な擦痕が少数みられる。頭部の両面に切目突出がある。二次穿孔は１か所あり、裏面では孔の折損部側の壁面に光沢のある細い不明瞭な溝があり、紐ずれの痕跡とみられる。折損部との位置関係から、一対の結束孔であったと想定される。裏面では、中央孔の右に横方向の溝がみられ、折断を目的とした擦り切り溝の可能性がある。器表面は光沢に乏しいが、形態が整っており、紐ずれのある結束孔をもつことから、完成品とみられる。

1349は切目作出の最終段階に頭部で折損した未成品。下辺は器表面の研磨後に折断されており、玦状耳飾以外の石製品を転用したとみられる。下辺には擦り切り溝と折り取り部の凹凸が残る。両側辺と頭部の縁辺断面形は丸みが強い。中央孔は穿孔後の整形はなされない。両面とも、孔の外周にひと回り大きい窪みが形成されており、側縁に段差のある工具を用いたとみられる。切目の擦り切り溝の断面形はＶ字形で、主に正面からの擦り切りによる。裏面からの擦り切り溝は浅い。切目の中央孔側3㎜ほどの部分が擦り切りによらない折れである。正面の頭部には切目突出がある。正面右肩部には円形で回転痕のある浅く小さな窪みがあり、二次穿孔の穿孔初期とみられる。この窪みの周囲と、裏面の対応する位置には敲打痕がみられ、穿孔前のアタリの可能性がある。

1350はネフライト（トレモラ閃石岩）製。平面形は長方形ないし五角形を呈するとみられる。頭

部の折損面には摩耗はみられない。縁辺の断面形は全体に角張る。中央孔は穿孔後の整形はなされない。孔の外周に沿った擦痕がみられる。切目は両面からの擦り切りにより、擦り切り後の整形はなされず、断面形は「く」字形を呈する。頭部両面に切目突出がみられる。

横長三角形の破片（1351～1356）

1351は頭部の破片。脚部の欠損部は打ち欠きと研磨で再加工されている。下端やや上の両面には敲打痕があり、分割を目的としたものかもしれない。1352は肩～脚部の破片を利用して再加工したもの。上端付近は、元の珠状耳飾の頭部の厚みを薄く整形するため、比較的きめの細かい研磨がなされ、上端の割れ面も研磨される。穿孔が3か所ある。上位の孔は残存部がわずかで、断面形は砂時計形で、穿孔後は未整形。あるいは元の珠状耳飾の中央孔かもしれない。中位の孔は断面形が筒形に近く、未整形。図左に向かって開口している。穿孔時に欠損した可能性もある。下位の孔は断面形が鼓形で、穿孔痕がわずかに残るが大部分で摩耗して消失する。整形痕は観察されない。再加工の中央孔を意図したものとみられる。裏面の孔上部の縁が明瞭に摩耗しており、吊り下げによる紐ずれの痕跡と考えられる。下半部には、切目作出途中とみられる溝がつけらている。溝は正面から裏面に連続しており、正面ではほぼ垂直、裏面では側辺と並行する。下端では1㎜ほどの切目となっている。下辺付近の両面には敲打痕がみられる。下辺左右端の欠損部は明瞭に摩耗する。当初は珠状耳飾への再加工を意図して、中央孔穿孔、切目作出を始めたものの中断し、垂飾に転用したものと考えられる。1353は肩～脚部の破片。研磨が粗く、側辺の断面形態が角ばる。整形が粗雑なため、未成品ないしは「粗雑な成品」の可能性がある。器表面は平滑だが光沢はなく、ざらつきがある。下辺付近のみ滑沢で光沢がある。切目面は水平方向の擦痕がわずかに見られるのみで、全体に平坦である。1354は中央孔の1/3ほどを残す破片。側辺の2つの傷は新しいものである。1355・1356は小形の肩～脚部の破片。他よりやや黄色味を帯びた黄灰色（7.5Y4/2）の石質が非常によく類似しており、大きさも近似するため同一個体の可能性があるが、厚さでは1355がやや厚く、下辺と切目のなす角度が異なるため、別個体として扱った。ただし、2か所の二次穿孔の位置・大きさ・形態が共通しており、同一個体の折損後に個々に再加工された可能性、あるいは、同一母岩による別個体の可能性がある。いずれも2か所の二次穿孔がある。上位の孔が半分欠失するように欠損しており、割れ面は摩耗する。1356の表面はやや丁寧に研磨されるが、粗い擦痕もみられる。

超横長三角形の破片（1357・1358）

1357・1358は脚部の破片。1357の器表面は粗い研磨の単位が確認でき、白濁した色調を呈する。平面形状から、図左辺が切目の珠状耳飾と想定したが、左辺の断面形が「く」字形で、切目面特有の擦り切り痕・整形痕はみられず、右側辺との加工の差はない。また、左下角に丸みがあるなど、他の珠状耳飾とは異なっており、珠状耳飾の破片ではない、あるいは再加工が進行した状態である可能性がある。1358は、切目部に擦り切り溝の痕跡が残る。

正三角形の破片（1359）

1359の上端の折損面は明瞭に摩耗する。欠損部に両面からの二次穿孔の半分ほどが残る。孔の壁面は特に上部で滑らかで、紐ずれと考えられる。研磨は丁寧で光沢があるが、研磨前の敲打痕とみられる凹凸が残る。

縦長の破片（1360～1362）

1360は肩付近の破片。上端に二次穿孔の一部が残る。上端の欠損面には摩耗はみられず、下端では凸部が明瞭に摩耗する。1361は脚部端破片。器体は薄く、下端で肥厚する。正面側は平坦に、裏面側は凸に整形される。1362は粗い擦痕の残る脚部端とみられる破片。切目面は未整形。裏面右辺

には切目とはややずれた擦り切り溝がみられる。下面は面取り状に研磨されている。未成品ないしは「粗雑な成品」とみられる。

横長三角形の小破片とみられるもの（1363～1375）

1365～1371・1373は中央孔を含む破片、1363・1364・1371・1372は切目部を含む破片、1374・1375は下辺と側辺を含む破片である。1364・1371は超横長三角形の破片の可能性がある。

1363は1366の下位に接合する（図版222）。中央孔・切目面は未整形。1364の右端は右側辺に近い。上端は厚く、中央孔に近い部分とみられる。超横長三角形の破片である可能性がある。切目の整形はほとんどなされず、擦り切り時の形態・擦痕が明瞭である（図版217）。1365は肩部の破片で、器表面は平滑だがややざらつきがあり、器体に厚みがある。未成品ないしは「粗雑な成品」とみられる。正面が平坦、裏面はやや凸面をなす。中央孔と切目面は未整形。剝離あるいは欠損により薄くなった下端部が鋸歯状に加工され、摩耗している。1368は黒色（5Y2/1）と暗オリーブ色（5Y4/3）の斑状の石材。正面では、仕上げ研磨後の斜めの明瞭な擦痕がみられる。頭部の折損面は、切目と一直線をなすように平坦に研磨される。下端欠損面の裏面側の縁辺には摩耗がみられる。中央孔は未整形。二次穿孔の裏面右縁は摩耗しており、紐ずれの痕跡とみられる。折損面に隣接することも合わせ、結束孔と判断される。1369は肩部の破片で、器表面の研磨が粗く擦痕が目立ち、白濁した色調を呈する。全体に厚みもあるため、未成品ないしは「粗雑な成品」とみられる。上端の破損面は研磨され、凸部が平坦化する。上部に中央孔の一部が残る。切目部にあたる左辺の断面形は丸みがあり、平坦面と連続的に粗い擦痕がみられる。折損後に粗い研磨により再加工されたものとみられる。正面下部には明瞭な溝があり、折断を意図した擦り切り溝の可能性がある。1370は肩部の破片。中央孔は整形痕が明瞭。1371は切目部の上端に中央孔がわずかに残る。1372は正面に仕上げ研磨後の粗い擦痕がみられる。器体が非常に薄い。1373は上部に中央孔がわずかに残る。右下の欠損面は明瞭に摩耗する。1374の割れは新しいもの。1375は脚部外側角の破片。下辺の研磨はやや粗く、成形時の擦り切りとみられる溝を残す。器表面は青黒色（5PB2/1）、内部はオリーブ黄色（5Y5/3）を呈する。器表面と内面の色調の差は、石材の風化の影響、あるいは意図的な加工の可能性が考えられる。

垂飾・玉類（1376～1395、図Ⅵ－145・146、表Ⅵ－7、図版223・224・227）

垂飾が11点、玉が7点4個体、玉類の破片等が5点出土し、すべて掲載した。石材は、1378～1390・1394は滑石、1376はネフライト（トレモラ閃石岩）、1377はヒスイ（オンファス輝石岩）、1391～1393はコハク、1395は緑色泥岩（アオトラ石）である。コハク・緑色泥岩（アオトラ石）以外は石材分析を実施した（Ⅸ章8～10節）。

1376は緒締形の垂飾。出土層位は（TH－57）覆土（H1区）で、B・C'盛土相当、前期末葉～中期中葉の土層であるが、H1区はこの層の分布の末端に近く、薄く不明瞭であったため、Ⅲ層上位相当、後期前葉に属する可能性もある。打ち欠きなどの痕跡がやや残るが、全体に丁寧に研磨され擦痕は目立たず、光沢がある。穿孔は、図の上面から裏面へ貫通し、上面からの片面穿孔である。孔の断面形は筒形で、棒状工具によるものとみられる。断面図にみられるように、正面側の孔壁の下端はL字形で、棒状工具による穿孔作業はここまでであったとみられる。上面では、孔の開口部を囲むように、縁の明瞭な浅い窪みがある。窪みの底面は研磨されているが、敲打の痕跡のような凹凸が残る。孔の穿孔初期のアタリの可能性がある。裏面でも孔の周辺が皿状に窪むが、縁辺は不明瞭である。窪みの底面は細かい凹凸があり、凸部にのみ研磨が及ぶ。穿孔の最終段階で、残りわずかとなった未穿孔部が弾けたか、あるいは、裏面から敲打で貫通させたような痕跡かもしれない。裏面の孔の下位の

白抜き部分は、非常に光沢が強く滑らかな範囲で、紐ずれによる摩耗の可能性があるが、自然に垂下した際の紐の位置とは一致しない。紐で結びつけるなど、単純な垂下以外の着装方法が想定される。

1377はヒスイ製で、灰白色の風化層が厚く生成し、鮮緑色（10G7/4）部が斑状にが散在する。また、風化層の剝落部は緑灰色（10G5/1）を呈し、本来の色調に比較的近いものとみられる。風化のため、器表面の整形痕などは確認できない。穿孔は両面穿孔である。1378は環状で、多数の止まり穴（未貫通孔）で装飾される。中央の孔の壁面は滑らかに整形される。上部に2か所の貫通孔をもち、ほかに正面に7か所、裏面に6か所の止まり穴がある。貫通孔の断面形は筒形で、壁面は滑らかである。正面では、貫通孔の縁が上方やや外向きに摩耗しており、紐ずれの痕跡とみられる。側面には2/3周ほどで溝が巡る。1379は上部左右端に貫通孔をもつ。貫通孔の壁面と縁は、正面では内側へ向かって水平方向に、裏面では上方外側方向に摩耗しており、紐ずれの痕跡とみられる。図版227のような装着方法が想定される。下面には両面からの擦り切り溝が明瞭に残る。1380は褐灰色～黒褐色（10YR1/4～1/3）を呈する。縁辺は比較的丁寧に整形されるが、両面はやや粗雑で、厚さが一定しない。孔の下半には穿孔時の回転方向の擦痕がみられるが、上半では摩耗により消失しており、紐ずれの痕跡とみられる。1381は両面の中央部や上面・側面は非常に滑らかで光沢がある。両側面と下面に、刻みないしは削ったような痕跡が多数みられる。裏面側と正面側で対向しているように見える部分もあるが、概して不規則であり、意図的な加工とは考えにくい。類似する痕跡のある玉類は恵庭市西島松5遺跡などにみられる（注1）。西島松5遺跡ではネズミのかじり痕と同定されており、本例も同様のものの可能性もある。

1382・1383は玦状耳飾を転用した可能性のあるもの。1382の平面形は、左側縁はやや曲線的で左下角は丸みがあり、対して右側縁下半は直線的で右下角は角ばっている。側面観は上部が厚く、下部は薄い。こうした形態は、玦状耳飾の左側破片と想定した場合と整合的であり、右側縁が切目にあたる。垂飾としての孔は両面穿孔とみられ、穿孔痕は摩耗により消失する。玦状耳飾の中央孔にみられるような特徴的な整形痕は観察されない。擦痕等の痕跡は不明瞭で、孔の縁は、正面では右上方向、裏面では左上方向にやや広がっており、紐ずれの痕跡とみられる。両面の中心部に十字形の浅い溝があるが装飾としては粗雑であり、あるいは玦状耳飾への再加工のための擦り切り溝とも考えられる。1383は青黒色（5PB1/2）を呈する。上部はM字形で、谷部分には玦状耳飾の中央孔と同様の、2本組みで等間隔に並ぶ、厚さ方向の明瞭な擦痕がみられる。M字の右上端の突出部は体部よりやや厚い。右側縁の断面形はやや角張り、左側縁の断面形は先細りで丸みがある。器体は右から左に向かって薄くなる。下辺やや上方に左右方向の稜をもつ。こうした形態は、玦状耳飾の左側破片と想定した場合と整合的であり、右側縁が切目にあたる。右側縁上方にはわずかな窪みが残り、中央孔の痕跡とみられる。垂飾としての孔は両面穿孔とみられ、摩耗により穿孔痕はほぼ消失する。整形痕はみられない。孔の正面側左上と裏面側右下の縁に紐ずれの痕跡とみられる摩耗がある。左下端の欠損面は明瞭に摩耗している。

1384はいわゆる筒状垂飾、1385・1386は筒状垂飾に類するもの。1384は下端を欠失する。滑石製であるが、オリーブ灰色（10Y4/2）基調の不透明で、微細な流紋模様があり、他の滑石とは外見の異なる石材である。非常に丁寧に研磨され、光沢がある。孔は、正面側上部が明瞭に摩耗し、上方にやや広がる。裏面側はやや左上方に広がり、いずれも紐ずれとみられる。1385は全体に非常に滑らかで光沢があるが、正面右側には研磨後の粗い擦痕が多数ある。下面には擦り切り溝が残り、意図的に折断されたものとみられる。孔の下半には穿孔時の回転方向の擦痕が明瞭であるが、上半では紐ずれとみられる摩耗により消失している。1386は長身の二等辺三角形を呈し、厚みがあるもの。研磨が粗く擦痕が明瞭で、光沢はない。孔は両面穿孔で整形はなされない。裏面の孔縁上部が部分的に摩

耗しており、紐ずれの可能性がある。1387は丸玉の破片。径2cmほどのものと想定される。器表面は滑沢で強い光沢がある。1388は部位不明の破片。図の上端はやや平坦である。図正面は緩く湾曲し、丁寧に研磨されており、大形の製品の破片と想定される。1389は比較的大形の製品の破片を再加工したものとみられる。正面がやや丁寧に研磨され、右側面と裏面は欠損面が研磨され、やや平坦化している。正面に3か所、裏面に1か所の未貫通孔がみられる。1390は1面に粗い研磨痕のある破片。未成品の破片、あるいは製作破片などとみられる。

1391～1393はコハク製の玉類。1391は器表面の風化が著しく、欠失部がある。内部には未風化部が残る。形態は不整な直方体状とみられる。パラロイドB 72の7％溶液を含浸して強化処理を行った。1392は小形の丸玉の破片。内面に穿孔時の回転方向の線条痕が明瞭に残る。1393は破片の再利用品。図の上面を穿孔面とする臼玉あるいは丸玉の半分ほどの破片を利用して、その側面から新たに穿孔したもの。割れ面（図の裏面右上部）は研磨されて平滑である。裏面左側と右側下部の欠損面は新しい。

1394は滑石製で、円盤状を呈する。打ち欠き・研磨整形がなされた状態であり、何らかの石製品の未成品とみられる。下辺はやや直線的で、断面形は裏面のやや平坦な凸レンズ状。裏面は緩く湾曲しており、非常に滑沢で光沢が強く、擦痕がみられる。箔理面を研磨した可能性がある。正面側は、滑らかで弱い光沢のある研磨面で、剥離面が残る。1395は緑色泥岩（アオトラ石）の原石を大きくは変形させずに、全面を研磨したもの。垂飾等の未成品の可能性を考え、ここに含めた。

注1『西島松5遺跡（6）』（北埋調報260）第1分冊P278、第2分冊P173他、第3分冊図版284

円板状石製品（1396～1409、図Ⅵ－146、表Ⅵ－7、図版416）

平面形が円形を呈する板状のもの。19点出土し、14点を図化・掲載した。

周縁は主に打ち欠きで整形され、さらに研磨される例もある（1398・1406）。貫通孔をもつもの（1396～1407）と、もたないもの（1408・1409）がある。貫通孔は、人為的に穿孔されたもの（1397～1399・1401～1407）と、自然の穴を利用したもの（1396・1400）がある。人為的な穿孔はいずれも両面穿孔。孔に紐ずれの痕跡はみられない。石材は、凝灰岩10点、頁岩（層理）3点、泥岩2点、流紋岩1点、白色泥岩1点、白色泥岩の有孔礫1点、珪藻化石を含む泥岩1点である。出土層位はB盛土相当層がやや多いが、A・C盛土、D盛土・Ⅲ層上部相当層などもみられる。

1396は孔のある板状の流紋岩を利用したもの。1397は両面で穿孔位置がずれたために孔が楕円形となったもの。素材の形状をそのまま利用しており、下端を欠失する。あるいは垂飾のようなものであった可能性もあるが、孔に紐ずれはみられない。1399は扁平な円礫を素材としたもの。右下部に素材の縁辺を残す。1400は板状の有孔礫を利用したもの。上辺に素材の縁辺を残す。1401は軟質の石材で摩耗が著しいが、側面の打ち欠きの単位は明瞭。1403は珪藻・海綿骨針を多量にふくむ泥岩ないしは凝灰岩を素材とするもの。非常に軟質で固結の弱い石材であり、加工痕は摩耗して不明瞭である。1404・1405の両面には擦痕がみられる。1405は左右上部の直線部分の側面には打ち欠き痕が明瞭である。1406の下縁は研磨調整の擦痕が明瞭。1408は全周が打ち欠きにより成形され、他の円板状石製品と比較して厚みがある。1409は層理ある頁岩製で、正面は自然面、裏面は層理面である。下辺右半、右上辺には素材の縁辺を残す。裏面の中央部には敲打痕とみられる小さな窪みがあり、あるいは穿孔前段のアタリの可能性がある。

三角形石製品（1410～1412、図Ⅵ－147、表Ⅵ－7、図版417）

平面形が三角形を呈するものを一括したが、形態は多様である。3点出土しすべて掲載した。

1410は両面からの打ち欠きで整形したもの。軟質の白色泥岩製で全体に摩耗が著しい。下辺は刃部状で、扁平打製石器の機能部にも類似する。1411は火山礫凝灰岩製。基質は緑色に変質し、白・灰・赤褐色などの岩片が密集し、色彩豊かである。正面観では側縁が内湾し、側面観では正面がやや膨らむ形態。加工痕は不明瞭であるが、側面・下面は面をなす。1412は固結の弱い砂岩製。比較的軟質な石材であり、加工痕は不明瞭である。

三脚石器・四脚石器（1413～1417、図Ⅵ－147・148、表Ⅵ－7、図版417）

打ち欠きで抉入部を作出することにより、3ないし4か所の脚部を作り出したもの。6点出土し、5点を図化・掲載した。三脚石器は東北地方の中期前葉～中葉、後期初頭～前葉に定形的なものが出土している（榎本2012）。今回出土したものは、形態や加工方法に定形的なものと異なる部分もある。いずれも前期末～中期前半の土層から出土している。

1413～1415は三脚石器。1413は頁岩製で、両面調整される。脚部は断面が凸レンズ状に整形される。右下脚は末端部も調整されるが、上方・左下の脚部の末端は未加工である。1414は、赤褐色と黄褐色の斑状のチャート製。正面の大部分と、脚部の末端はすべて自然面を残しており、厚みを調整した後はほぼ抉入部のみの加工である。側面観は正面側がやや凸に湾曲する。1415は非常に軟質の白色泥岩製で、全体に摩耗している。上端は欠失した可能性がある。下端の抉入部が深く整形される。

1416・1417は四脚石器。1416は正方形の素材の4辺に抉入部を作出し、脚部が対角線上に位置する。正面に自然面を大きく残す。1417は全体が両面調整されるもので、左側を欠失している。長方形状の素材の辺に抉入部を作出しており、やや横長である。右側面観は凸レンズ形で、稜線は中央に位置する。

異形石器（1418～1444、図Ⅵ－148・149・187、表Ⅵ－7、図版417）

黒曜石・頁岩など剝片石器と共通の石材を用い、両面調整によって整形されたもののうち、機能部を想定し難いもの。32点出土し、27点を図化・掲載した。図Ⅵ－187に平面分布図を示した。B盛土・C盛土の範囲の一部と重なる。出土層位は、A盛土相当層も含むが主体はB盛土相当層、特に中期初頭の土層に多い。

石材は黒曜石が21点、頁岩8点、珪質砂岩2点、赤色珪化岩1点である。黒曜石が主体となっており、剝片石器とは異なる石材組成である。掲載遺物の石材は、1429・1430・1433・1440は頁岩、1434は珪質砂岩、1437は赤色珪化岩、他は黒曜石。黒曜石製の1428・1431・1444は原材産地同定を依頼し、1431・1444は赤井川産、1428は十勝産との結果を得た（Ⅸ章7節）。

平面形は三日月形を基調とするものが多い（1418～1434・1440～1443）。岩田（2015）を参考に、以下の細別を設けた。両面や縁辺に、稜・剝離稜線の摩耗、器表面の擦痕・傷・景りがみられるものが多い。

A類：三日月形（1443）

B類：三日月形基調でつまみ付き（1418～1434）

C類：三日月形基調で角（つの）付き（1440～1442）

D類：直線状でつまみ付き（1435～1439）

E類：直線状（1444）

三日月形基調でつまみをもつもの（1418～1434）

1418～1427は湾曲が緩やかなもの。1423は末端部で稜線や縁辺の摩耗が顕著。1428・1429は湾曲が強くU字形に近いもの。1430～1432は三日月形の最奥部が太くなり縦長になるもの。1432は肩が

張る形態である。1433・1434は大ぶりで調整の粗雑なもの。模倣品の可能性がある。石材は頁岩・珪質砂岩。

直線状でつまみをもつもの（1435～1439）

調整のやや粗雑なものが多い。1435はつまみ上端部で摩耗が顕著。1436・1438は全面で摩耗・擦り・擦痕が顕著で、特に1436の左右端、1438の下辺の摩耗が著しい。1439は下辺が鋸歯状となる。

体部が三日月形基調で角をもつもの（1440～1442）

1440・1442は頁岩製。全面の摩耗が顕著で剝離稜線は丸みを帯び、全体に淡い光沢がある。

三日月形のもの（1443）

1443は下辺の中央がさらに弱く抉入する。抉入部を境に、右半部は全面が摩耗し、器表面の擦りや擦痕、縁縁の摩耗が顕著である。左半部の剝離は未風化であり、右半部よりやや細く作られる。もとは全体が摩耗していたものを、左半のみ再加工した可能性もある。

直線状のもの（1444）

1444は中央部がややくびれる。全面が摩耗しており、剝離稜線が丸みを帯び、器表面の擦りや擦痕が著しい。剝離稜線が磨滅により消失した部分は斜線で、摩耗の顕著な部分はスクリーントーンで示した。くびれ付近は器表面の擦りが比較的少ない。

鳥帽子形石器（1445～1453、図Ⅵ－150～154・180・186・188、表Ⅵ－4・7、図版418・422・423）

上辺に稜をもち、底面が平坦なもので、三角錐状～三角柱状を呈するもの。9点出土し、すべて掲載した。図Ⅵ－180・186・188に模式図・平面分布図・集成図を、表Ⅵ－4に観察表を示した。図の展開方法は、斎藤（2001）に準じた。出土層位はC盛土相当層が主体で、主に中期前半に属するものと考えられる。

整形程度でみると、整形がほぼ全面に及ぶもの（1445・1447・1448）、整形が部分的なもの（1446・1449～1451）、整形がなされないもの（1452・1453）がある。

形態でみると、左右の高さの差については、高さの差のあるもの（1445・1447・1450・1451・1453）と、差のないもの（1446・1448・1449・1452）とがある。また、左右の端面の形状の違いについては、形状が異なるもの（1445・1446・1449～1453）と、形状が類似するもの（1447・1448）とがある。形状が異なるものは、左端面は平坦に、右端面は頭頂部から続く稜となることが多い。高さ・形状の左右差と、整形程度の関係は明瞭ではない。

石材は、白色系の凝灰岩（1445・1448）、灰色系の安山岩・礫岩（1446・1447・1453）、黒色系の砂岩・泥岩・粘板岩（1449～1452）がある。凝灰岩は整形が比較的入念なものに、砂岩・泥岩は部分的な整形のものに用いられる。

1445は全体が敲打・研磨により入念に整形されるもの。左右の高さに差があり、左右端面の形状は異なる。左端面から底面にかけては、敲打による溝が連続して形成され、左右は小高く突出する。溝は底面中央部ではわずかに窪む程度になる。右端面は平坦に整形され、中央に敲打による円形の窪みが作られる。左側面中央部に打撃による窪みがあり、四方へひびが伸びている。底面から左側面にかけて、剝落したような凹凸のある欠損面がある。被熱の痕跡はない。石材は細粒部と粗粒部が縞状をなし、細粒部では擦痕が観察される。

1446は、板状節理の安山岩を素材とし、部分的に整形されるもの。左右の高さの差はないが、左右端面の形状は異なる。両側面は風化した節理面でにぶい黄橙色（10YR6/4）、それ以外は灰白色

（2.5Y7/1）を呈する。縦断面が二等辺三角形の素材を利用し、頭頂部、底面と左端面との角、底面右端は研磨整形され、ほかは部分的な打ち欠きと敲打で整形される。図の白抜き部分が研磨範囲で、きめ細かく擦痕はみられない。左端面と底面との角では、左右が小高く、中央が窪むように整形される。

1447は全体が研磨により整形されるもの。部分的に自然面の窪みが残り、ややいびつである。左右の高さの差があり、左右端面の形状は類似する。左側面は凹凸があり、右側面は凸面、底面・左右端面はやや凸面である。両側面・両端面には敲打痕と、それに伴う剝離があり、研磨よりも新しいとみられる。右端面の欠損部は強い打撃によるとみられる。石材分析を実施し、輝石安山岩との結果を得た（Ⅸ章10節）。流理構造をもち、緑色に変質した基質中に緑灰色（5G5/1）の鉱物結晶を多量に含む特徴的な石材である。

1448はほぼ全体が打ち欠き・敲打・研磨により整形されるもの。左右の高さの差はなく、左右端面の形状は類似する。両側面・底面に自然面が広く残る。底面は平坦であるが、打ち欠き部分が大きく窪み、整形途中のようにも見える。左端面はおおむね平坦で、打ち欠きの後に部分的に敲打される。右端面はいびつな凸面で、打ち欠き後に全面が敲打されるが、打ち欠きの輪郭が残る。左側面～左端面～裏面にひびが巡る。

1449～1551は整形が部分的なもの。いずれも頭頂部が研磨されることは共通する。1449は頭頂部・底面・両端面が敲打・研磨で整形され、自然面を大きく残す。左右の高さの差はなく、左右端面の形状は異なる。底面は両端が敲打され中央部は自然面で、大きく外湾しており、未成品の可能性もある。左端面は自然面で平坦。右端部は敲打整形され、左側面側・右側面側で面をなし、右端部で接して稜となっている。1450は頭頂部と両端面が敲打・研磨で整形され、自然面や大きな剝離を残しており、いびつである。左右の高さの差があり、左右端面の形状は異なる。左側面上部の敲打は研磨前のもので、左側面中央部・左右端面・頭頂部の敲打は研磨より新しい。左端面はやや外傾し、上下端が敲打されて平坦面をなす。右端面は研磨の後の敲打により小さな平坦面が形成される。頭頂部は丸みを帯び中央部に研磨後の敲打がみられる。1451は頭頂部のみ研磨で整形されるもの。縦断面形が縦長二等辺三角形の円礫を素材とする。左右の高さの差があり、左右端面の形状は異なる。底面は平坦であるが、素材の軸とやや斜交しており、自立しない。

1452・1453は明瞭な整形がみられないもので、2点ともH6区のB・C盛土相当層から出土した。1452は左右の高さの差はなく、左右端面の形状は異なる。底面から左端面にかけて、中央部が浅く溝状に窪み、1445・1446と類似する形態を示す。頭頂部は幅広で丸みが強い。青灰色部とやや白色味帯びた部分とが縞状となる石材。1453は左右の高さの差はないが、底面が左端部でせり上がる形状で、左右端面の形状は異なる。他の鳥帽子形石器より大形である。底面から1/3ほどの部分を自然の溝が横位に巡る。底面はやや凹凸があるがおおむね平坦で安定して自立する。

側縁有溝石器（1454～1465、図Ⅵ－155～158・180・186・188、表Ⅵ－5・7、図版419・420・423・424）

扁平な楕円形の礫に敲打帯・窪みなどの加工が施されたもの。12点出土し、すべて掲載した。図Ⅵ－180・186・188に模式図・平面分布図・集成図を、表Ⅵ－5に観察表を示した。図の展開方法は斎藤（2001）に準じた。鳥帽子形石器との対比のため、従来の研究例とは異なる展開・部位名称を用いた部分がある。出土層位はC盛土相当層が主体で、主に中期前半に属するものと考えられる。

素材の形態は、底面が平坦で上面がやや凸面をなすもの（1454など）と、面の形態差が顕著でないもの（1457など）がある。側縁の敲打は溝を形成するまでには至らず、平坦になる程度のものが

多い。敲打帯は、ほぼ全周するもの（1454～1458・1465）、全周しないもの（1459～1461）、もたないもの（1462～1464）がある。平坦面の窪みは、底面にあるものが多いが、上面にも小ぶりで浅い窪みのあるもの（1458・1463）もある。窪みの平面形は円形～やや楕円形のものが多く、ほかに楕円形（1462）、卵形（1456・1461・1464）のものがある。後2者は敲打の範囲が広く、素材の平面形と相似形で、比較的浅いものが多い。窪みの壁面～底面は、敲打の凹凸の明瞭なもの（1456など）と、凹凸が少なくやや滑らかなもの（1454など）がある。底面・上面に、窪み以外の敲打（1454）や研磨の可能性のある平滑な部分（1454など）がみられるものがある。

側縁の敲打帯と底面の窪みの組み合わせをみると、双方をもつもの（1454～1461）、側縁の敲打帯をもたず、底面の窪みのあるもの（1462～1464）、側縁の敲打帯をもち、底面の窪みのないもの（1465）があり、底面の窪みがより重視されているとみなせる。

石材はすべて安山岩である。

1454～1458は側縁の敲打帯と底面の窪みをもつもの。1454は底面に窪みの左側に、不整形の敲打痕がある。窪みの右側には平滑な部分がみられる。1455は側縁の敲打帯が浅い溝状をなす。1456は器体に厚みがあり断面楕円形の礫を素材とする。底面を広範囲に敲打して皿状の窪みを作ることにより、底面全体を平坦化させている。側縁の敲打帯は幅広い。上面は敲打により、凸部を除くように整形される。1457は側縁の敲打帯は右端部で途切れ、1458は3/4周程度にとどまる。1458の上面はやや凸面で、敲打による小さく浅い窪みが形成される。

1459～1461は側縁の一部に敲打帯をもち、底面の窪みがあるもの。1459は下側縁の右半部のみ敲打される。1460は左端面が敲打と研磨により、おおむね平坦に整形される。1461は底面に広く浅い卵形の窪みが形成され、底面全体が平坦～やや窪む形態となる。左端面下部～下側縁左端が敲打されており、白抜き部分は粗く研磨されている。底面の窪みの右側から下側にかけて平滑部がみられる。

1462～1464は側縁の敲打帯をもたず、底面の窪みがあるもの。1463は上面の中央部にも不整形の敲打痕がある。1464は底面に卵形の広く浅い窪みをもつ。

1465は側縁に敲打帯をもち、底面の窪みのないもの。図の主面がやや膨らみがある上面、図化していない面が平坦な底面である。上下の側縁の敲打痕の疎らな部分は、敲打の後に粗く研磨されている。

長板状石製品（1466～1475、図Ⅵ－158～161・180・186・189、表Ⅵ－6・7、図版420・421・424・425）

15点出土し、13点10個体を掲載した。図Ⅵ－180・186・189に模式図・平面分布図・集成図を、表Ⅵ－6に観察表を示した。出土層位はB盛土相当層が主体で、主に前期末葉～中期初頭に属するものと考えられる。

扁平で長い板状の礫を素材とし、一方の長辺（図の上辺、「頭頂部」）をやや尖鋭に、もう一方の長辺（図の下辺、「底面」）をやや平坦に成形することを特徴とする。頭頂部の断面形はU字形・V字形、底面の断面形は幅の広いU字形である。側面は、素材の形状により、両面とも平坦なもの（1468～1471・1474・1475）、片面は平坦、もう片面は長軸方向に稜をもつ山形のもの（1466・1467・1472）、両面とも曲面のもの（1473）がある。縦断面形は、下部が厚くなる板状（1468～1471）、縦長の三角形・二等辺三角形（1466・1467・1472）、下部が膨らむ長楕円形（1473）、板状（1474・1475）がある。

整形は、頭頂部は研磨によることが多く、1466～1469などでは非常に滑沢である。1470・1471では研磨が弱く、敲打痕が明瞭に残り、凹凸がある。底面は敲打主体で整形され、1467・1469・1473では研磨も併用されやや滑らかである。頭頂部・底面の研磨面にみられる擦痕は、おおむね長軸方向

である。側面は、整形されないもの（1467～1469・1474・1475）、研磨されるもの（1470～1473）、稜が敲打されるもの（1466・1472）があり、いずれも素材の形状を変化させるほどではない。研磨面には、長軸方向の太く短い擦痕がみられる（1470・1471など）。また、両側面には、頭頂部・底面の敲打に伴う小剝離がみられるものも多い（1466・1467など）。

大部分が折損しており、確実に端部が確認できるのは1466・1468のみである。接合したものが3個体あり、1466はＥ１区とＨ４区、1472はＩ７区とＫ９区、1474はＤ１区（２点）と（TH－58）覆土（Ｆ２区）で、比較的離れた位置から出土したものが接合している。

石材はすべて板状節理の安山岩である。

頭頂部は石鋸の機能部に類似することがある（1467～1469）が、石鋸とするには機能部が厚いこと、例外なく底面がやや平坦に製形されること、大部分が折損していることから、石製品として扱うこととした。

1466・1467・1472は縦断面形が三角形のもの。1466は右端が残存し、左端は欠損する。右端面は凸部分が敲打と粗い研磨により平坦化されている。頭頂部は右半に研磨後の敲打がみられる。側面の素材の稜は、敲打と粗い研磨によりつぶされる。右破片では、左破片よりも稜がやや低く滑らかであり、折損後にさらに研磨されたとみられる。図右側面に部分的な研磨面がみられる。1467は、大きさは異なるが、断面形、整形、色調は1466と共通する。1468は薄手のもの。頭頂部は内湾しており、断面形はやや尖る。左右端面から両側面に打ち欠きが加えられており、完形品あるいは再加工品と考えられる。1469は側面に稜のある板状の素材を用いている。両側面の上部1/4ほどの部分は頭頂部から連続して弱く研磨される。頭頂部付近の両側面に左端面からの打ち欠きがあり、左端部は欠損していない可能性もある。1470は両側面が広範囲に研磨される。図左側面の研磨は頭頂部からの剝離より新しい。1471は1470とほぼ同じ形態である。頭頂部の右半は研磨が顕著で断面形はＶ字形、左半は研磨が弱く断面形はＵ字形である。両側面ともほぼ全面が研磨され、図左側面では自然面の窪みが残り、図右側面では緩やかな凹凸面となる。1472は２点が接合したもの。頭頂部は、左半では研磨整形され明瞭な稜があり、右半では敲打整形され断面形はＵ字形である。中央部では整形後に敲打により窪められ、両側面には敲打に伴う剝離がみられる。側面の素材の稜は敲打されている。右端では、稜の下位の平坦面がやや粗く研磨面される。図下の側面には部分的な研磨面がある。折損面の縁辺はやや丸みを帯びている。頭頂部の接合部には段差があり、折損後に左破片が敲打されたとみられる。あるいは、折損後に破片が弱々に再利用された可能性もある。1473は断面形が楕円形を呈するもの。頭頂部は、右半はよく研磨され断面はＶ字形を呈し、左半では研磨が弱くＵ字形である。側面は敲打・研磨調整されるが、部分的に素材の窪みを残す。1474・1475は整形が粗雑であり、未成品と考えられる。石材・整形・大きさなどが良く類似しており、同一個体の可能性がある。1474は今回出土した中で最も長いもので、３点が接合している。頭頂部は、節理面の形状を利用し、打ち欠きと組み合わせて断面Ｖ字形に整形する。底面は打ち欠き後に敲打・研磨により、おおむねＵ字形に整形するが、やや不整である。1475は、頭頂部は打ち欠きにより断面Ｖ字形に整形され、部分的に研磨される。底面は打ち欠き後に稜を敲打している。左端面は凸部が平坦化しており、両側面への剝離がみられることから、端部が残存している可能性がある。

石棒（1476～1490・2101～2105、図Ⅵ－162～166・186・190、表Ⅵ－７、図版425～427・439）

23点出土し、17点15個体は図化、６点５個体は写真と一覧表のみ掲載した。図Ⅵ－186に平面分布

図を示した。

形態により、以下の細別を設けた。

A類：端部を作り出すもの：2点：（1476・1477）

B類：円柱状のもの：5点4個体：（1478～1481）

C類：紡錘形のもの：1点：（1482）

D類：明瞭な加工痕がみられるが、部分的なもの：7点6個体：（1483～1488）

E類：棒状・柱状を呈し、加工が不明瞭なもの：8点7個体：（1489・1490・2101～2105）

全体に均整のとれた棒状を呈し、被熱するものもあることから、石棒として扱った。

加工の明瞭なA～C類がやや少なく、部分的な加工のD類、加工の不明瞭なE類がやや多い。A・B類はすべて破損しており、C～E類は完形のものが多い。

出土層位は、B・C・C'盛土相当が主体で、主に前期末～中期中葉のものとみられる。土坑出土のものが4点あり（1480・1481・1484・1486）、1480・1481は後期前葉の土坑である。しかし、1480の端部の形態は中期にみられるものであり、また、1481は前期末葉～中期初頭の住居跡TH－18出土の破片と接合しており、いずれも前期～中期の遺物の混入とみられる。1490は前期末葉～中期初頭の竪穴住居跡TH－23（旧）床面出土。また、前期末葉のTH－5の覆土（B盛土相当ないしは覆土下層）からは1482・1489の2点が出土している。

石材は安山岩11点、花崗岩2点、凝灰岩3点、玄武岩3点、砂岩2点、閃緑岩1点、粘板岩1点。

1481は前期末葉～中期初頭の住居跡TH－18覆土下層と後期前葉の土坑TP－123覆土出土で、約40m離れて接合した。1485はTH－34（旧）覆土出土のものが接合、1484は中期初頭～前葉のフラスコ状土坑TP－66覆土から出土したものが接合している。

端部を作り出すもの（1476・1477）

1476は小形のもの。扁平で、上端部に段差が明瞭に作出される。下面からの剥離が加えられている。1477も段差の明瞭なもの。軟質の凝灰岩製のため摩耗しており、加工痕が不明瞭である。

円柱状のもの（1478～1481）

1478は両端を欠損している。石材が1477と非常によく類似しており、同一個体の可能性がある。1479はほぼ全面が敲打で整形される。1480は上面には円形の窪みとそれを囲む環状の溝を作出することで、二重の環状の浮線が表現される。体部の整形は判然としない。両面には、帯状の明瞭なすり痕がある。後期前葉の土坑TP－3からの出土であるが、形態的には中期にみられるものであり、あるいは、中期に製作された石棒を後期前葉に砥石として転用した可能性もある。1481は正面以外の器表面の大部分が焼け弾けで欠失しているため、全体の形状は不明であるが、円柱状あるいは紡錘形と考えられる。器表面の残存部は研磨されており、石材に由来する窪みはあるが、滑らかである。

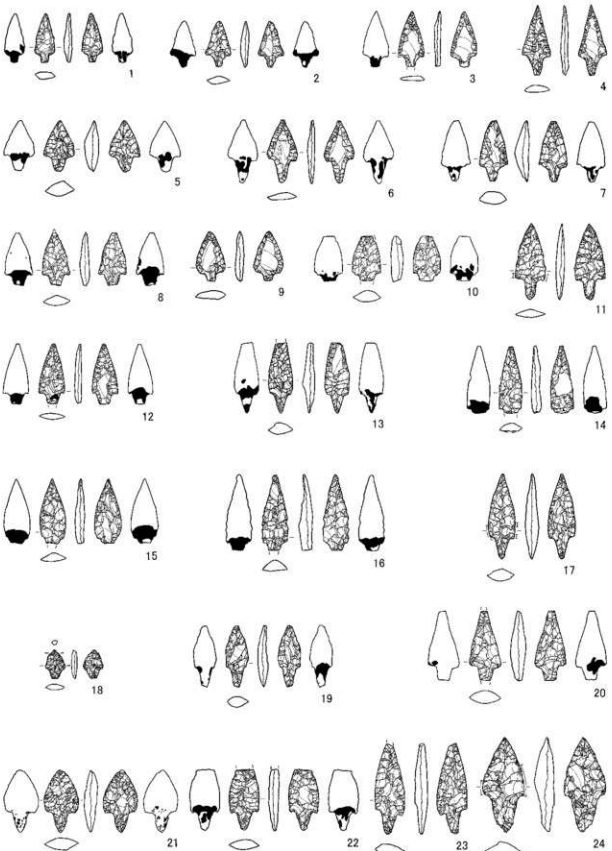
紡錘形のもの（1482）

1482は敲打により全体が紡錘形に整形される。上下面は小さな平坦面をなす。不明瞭であるが、すり痕のようにも見える滑らかな部分が点在する。右側面には大きな自然の窪みが残る。

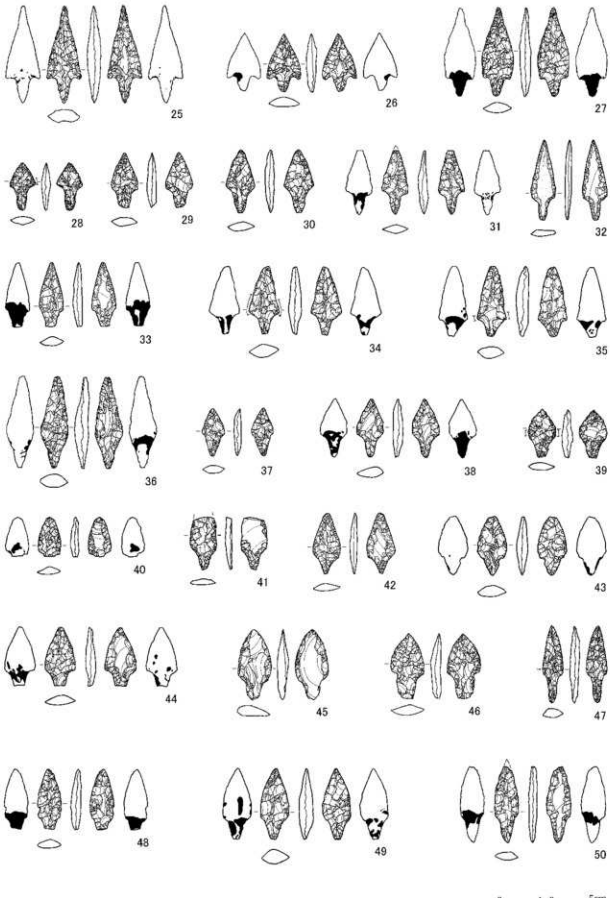
明瞭な加工痕がみられるが、部分的なもの（1483～1488）

1483は柱状節理の四角柱状の素材を用いたもの。3つの稜では、同一面からの剥離が連続しており、敲打整形に伴う剥離あるいは打ち欠き整形とみられる。器表面には部分的にすり痕がみられる。上下面では敲打により凸部が平坦化されている。1484は横断面形が菱形を呈する角柱状の素材を用い、稜が敲打されるもの。正面左側の面は、もとが節理面であったためかやや凹凸があり、他の面は

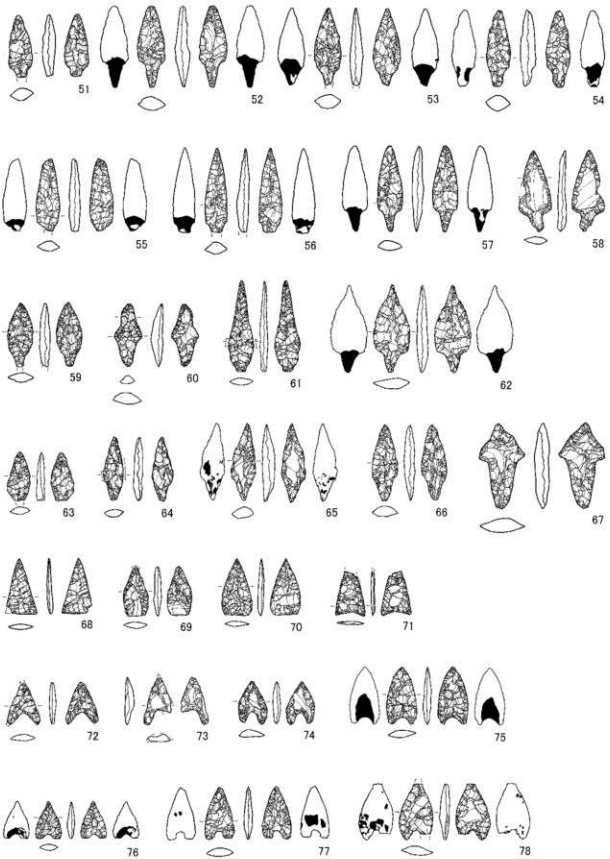
（81ページへ）



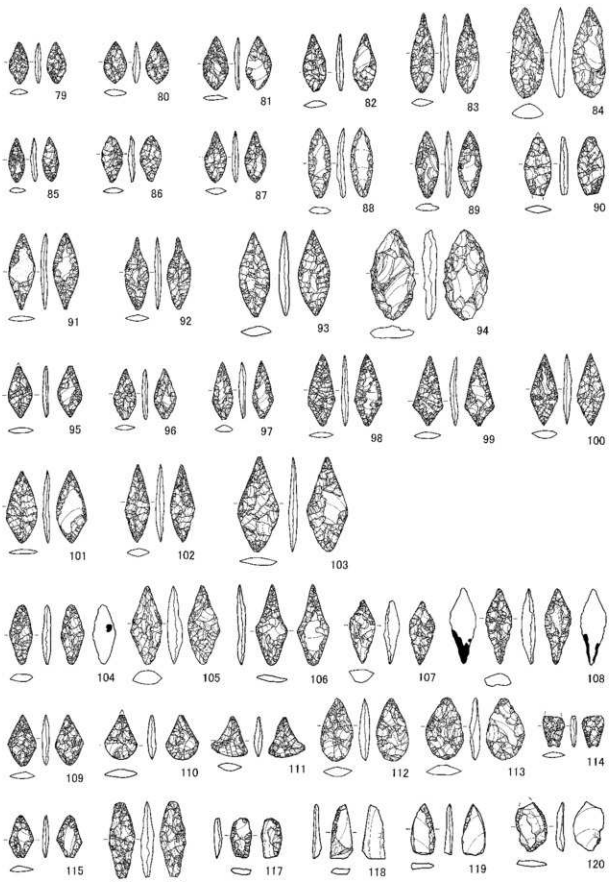
図Ⅵ－１　石鏃（１）


25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
0　1:2　5cm

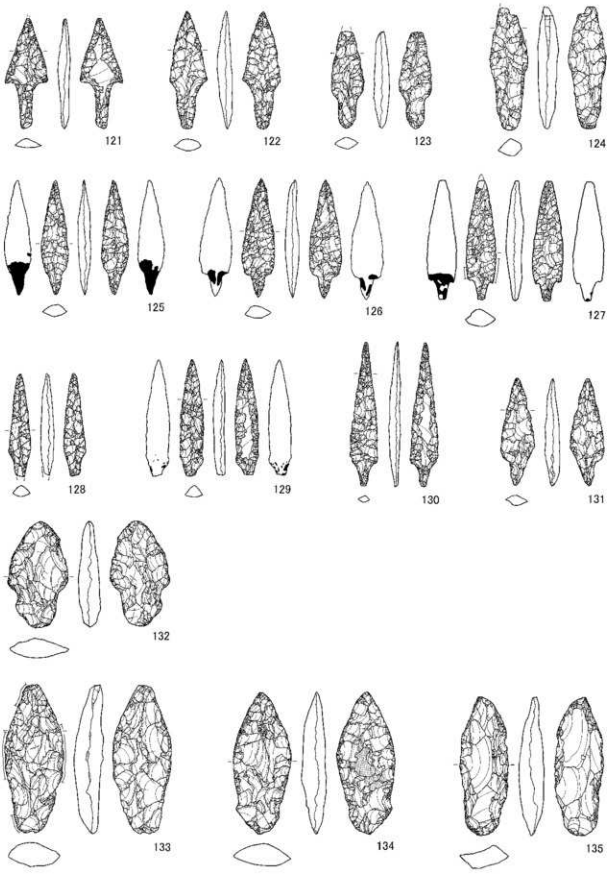
図Ⅵ－２　石鏃（２）


51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
0　1:2　5cm

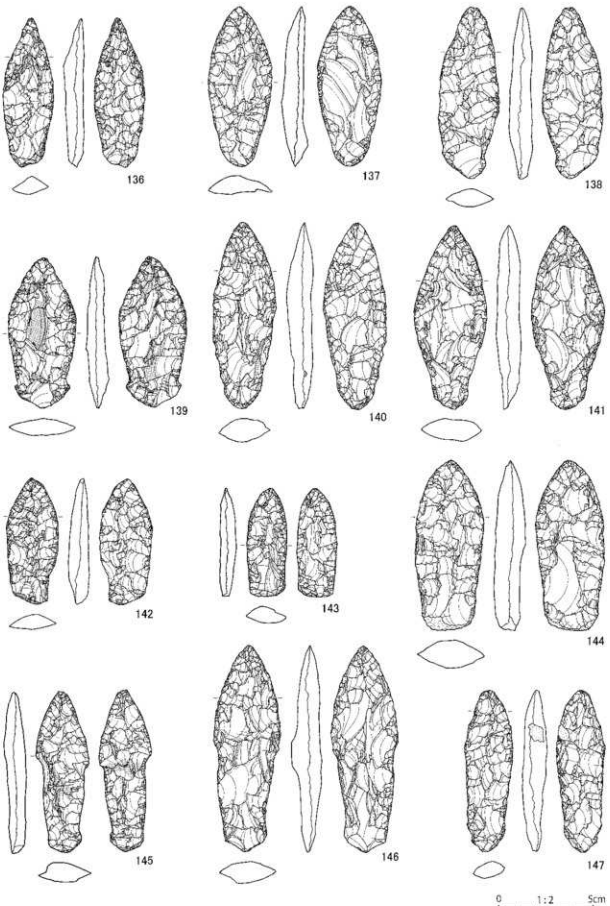
図Ⅵ－３　石鏃（３）


79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
0
1:2
5cm

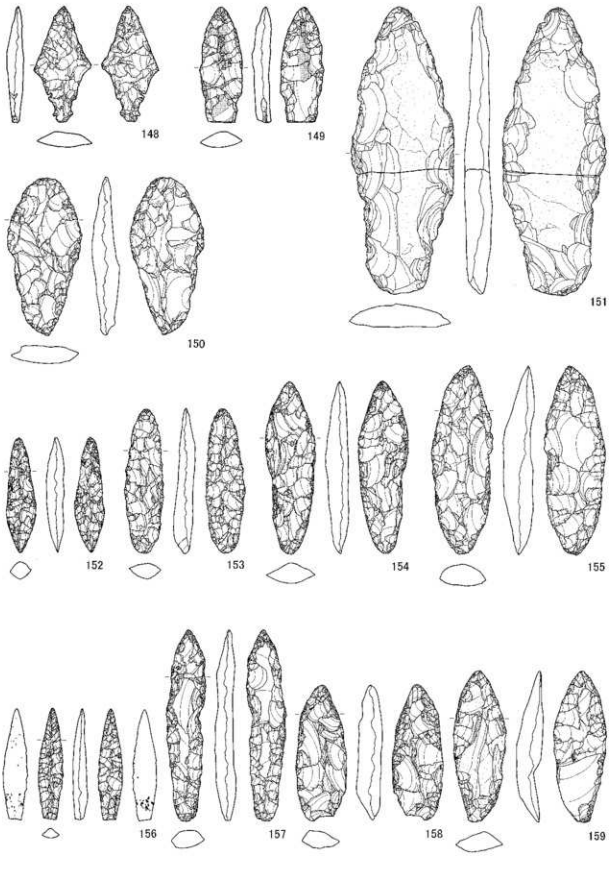
図Ⅵ－４　石鏃（４）



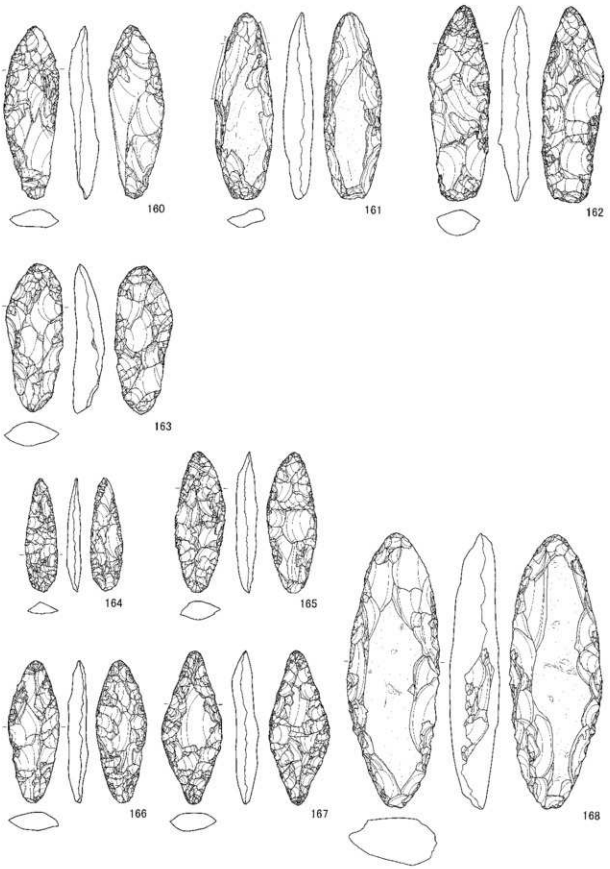
図Ⅵ－５　石槍またはナイフ（１）



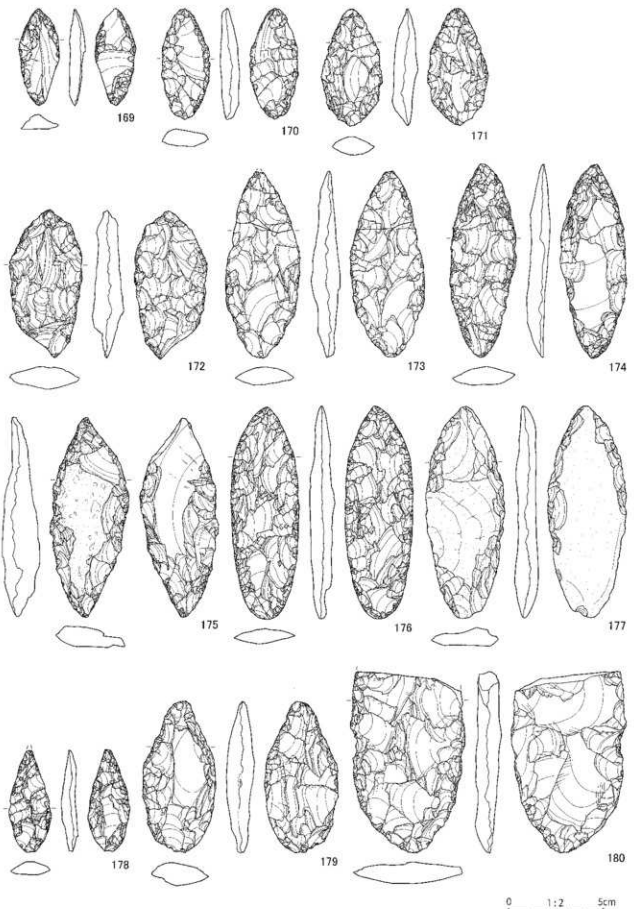
図Ⅵ－６　石槍またはナイフ（２）



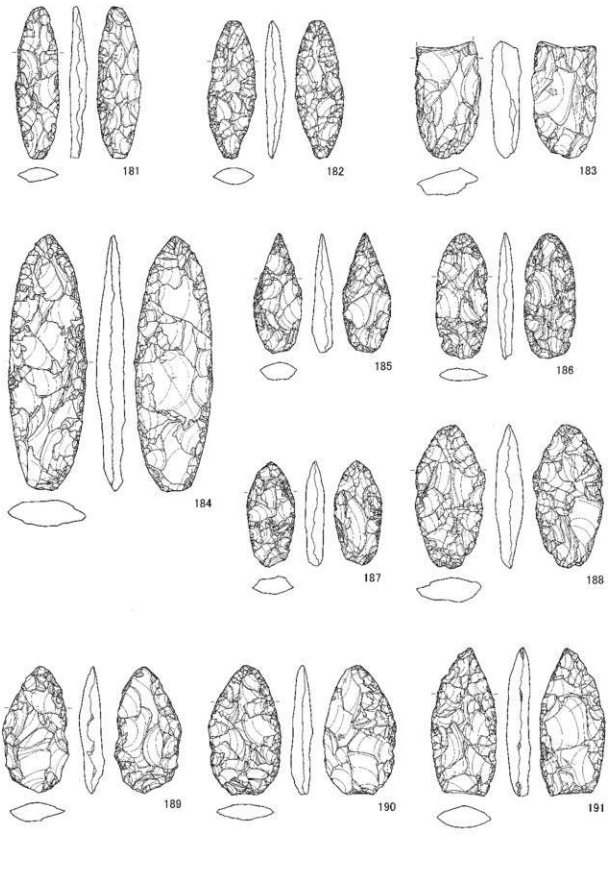
図Ⅵ－７　石槍またはナイフ（３）



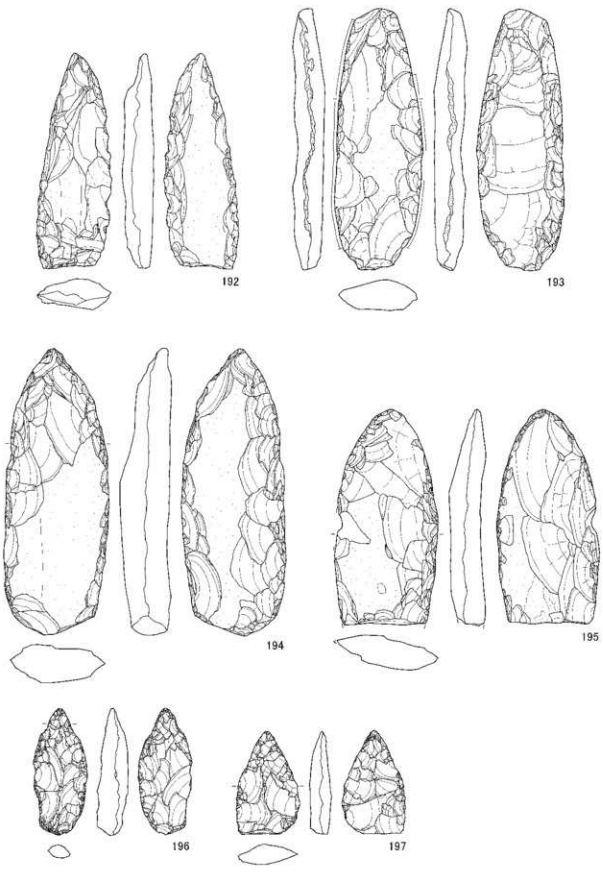
図Ⅵ－８　石槍またはナイフ（４）



図Ⅵ－９　石槍またはナイフ（５）



図Ⅵ－10　石槍またはナイフ（6）

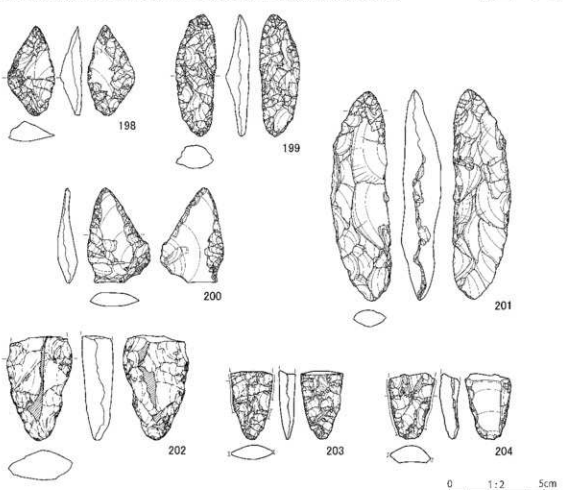


図Ⅵ－11　石槍またはナイフ（7）

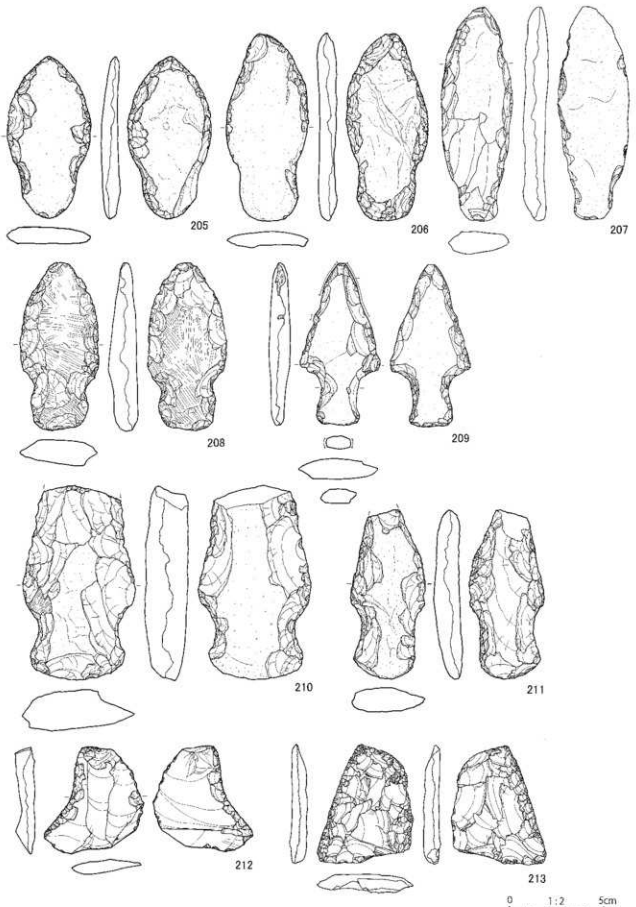
平滑である。1485は角柱状のもの。明瞭な加工痕は少ないが、全体に平坦で比較的滑らかな面が多く、整形されているものとみられる。両面は平坦で、上端部に研磨痕がみられる。裏面の中央部は平坦でざらついており、上半部と下端部は緩やかな凹凸があり滑らかである。右側面の下端部は両面と連続的に研磨され、丸みがあり滑らかである。1486・1487は上下端周辺を除いた器表面の全体が比較的滑らかで、不明瞭なすり痕のようにも見える。1486は、正面に不整形の滑らかなすり痕がある。左側面・裏面の中央付近にも正面より狭い範囲に同様のすり痕がみられる。上端にはわずかな敲打痕とそれに伴う剝離がある。1487は正面の中央付近に、敲打痕と滑らかなすり痕がみられる。左側面には不整形の滑らかなすり痕がある。1488は正面右下部と左側面に滑らかなすり痕が、正面中央付近に弱い敲打様の窪みがある。正面下部にも不明瞭であるが、やや滑らかな部分がある。被熱による割れが、正面と左側面の一部を除く全面に及んでいる。

棒状・柱状を呈し、加工が不明瞭なもの（1489・1490・2101～2105）

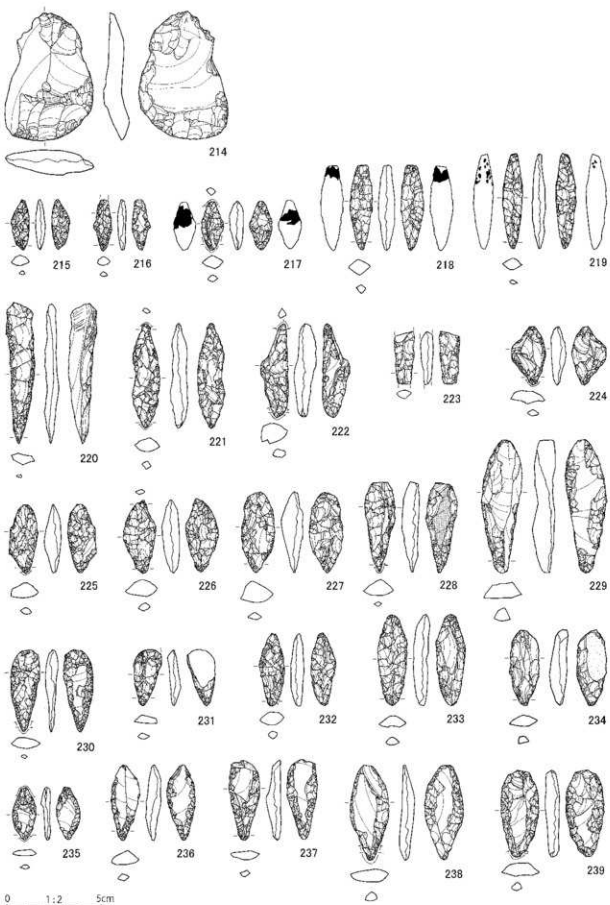
1489は上端部にわずかに敲打痕がある。器表面は全面が滑らかで、自然面とみられる。1490は未加工の三角柱状のもの。2101は三角形に近い楕円柱状で、正面右半部は被熱して赤色・黒色化し、大きく焼け弾けがみられる。上端にはたたき痕がある。2102は花崗岩製で、正面以外の器表面はほとんど風化により剝落している。円柱状で、器表面の残存部は未加工である。2103は紡錘形のもの。正面右側に焼け弾けがみられる。2104は折損して同一調査区から別々に出土したもの。円柱～楕円柱状の礫で、写真右側縁は被熱して赤色・黒色化し、上部に焼け弾けがみられる。2105は花崗岩製で、器表面は全面が剝落する。正面が平坦で、断面がD字形の柱状を呈する。（84ページへ）



図Ⅵ－12　石槍またはナイフ（8）



図Ⅵ－13　石槍またはナイフ（9）、ナイフ（1）



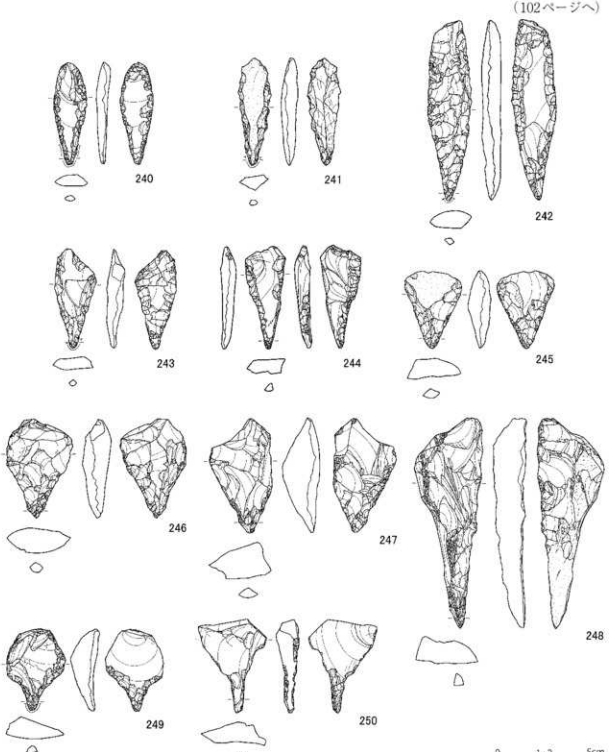
図Ⅵ−14　ナイフ（2）、石錐（1）

石製品（1491～1501・1520・1521、図Ⅵ－167～169・172、表Ⅵ－7、図版428・429）

不定形の石製品を一括した。玉類に関連する5点を含めて37点出土し、13点掲載した。

1491～1499は、凝灰岩・白色泥岩などの軟質石材を素材とするもの。1491・1492・1495・1496は側縁を鋸歯状に作出するもの。1491は板状の凝灰岩製。1492は白色泥岩の扁平な円礫を素材とする。下辺は打ち欠きと敲打がみられ、左端部は抉入を意図したようにも見える。下辺の様相はすり石7類のすり面にも類似するが、側縁の加工がすり石としては特異であり、石製品とした。1495は板状の

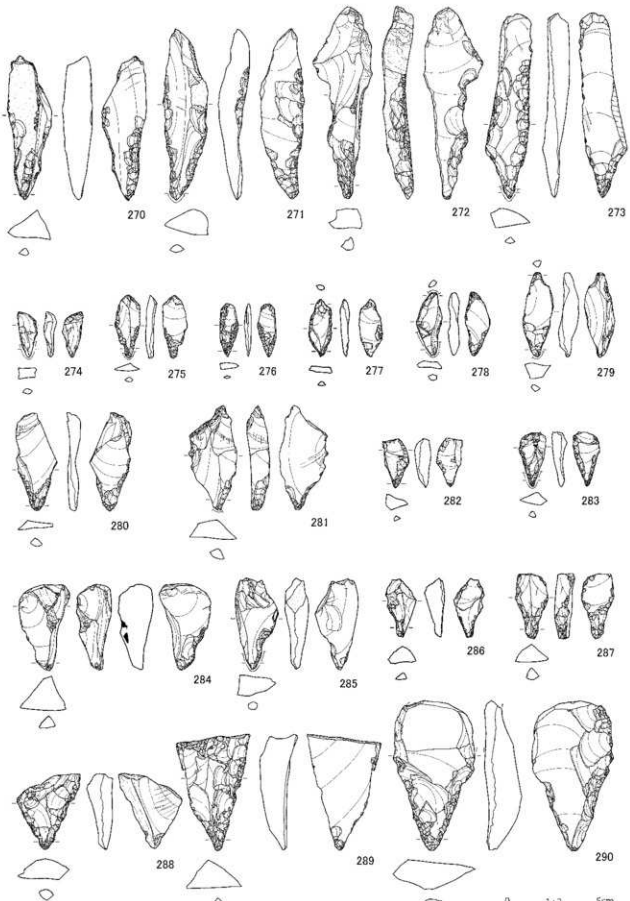
（102ページへ）



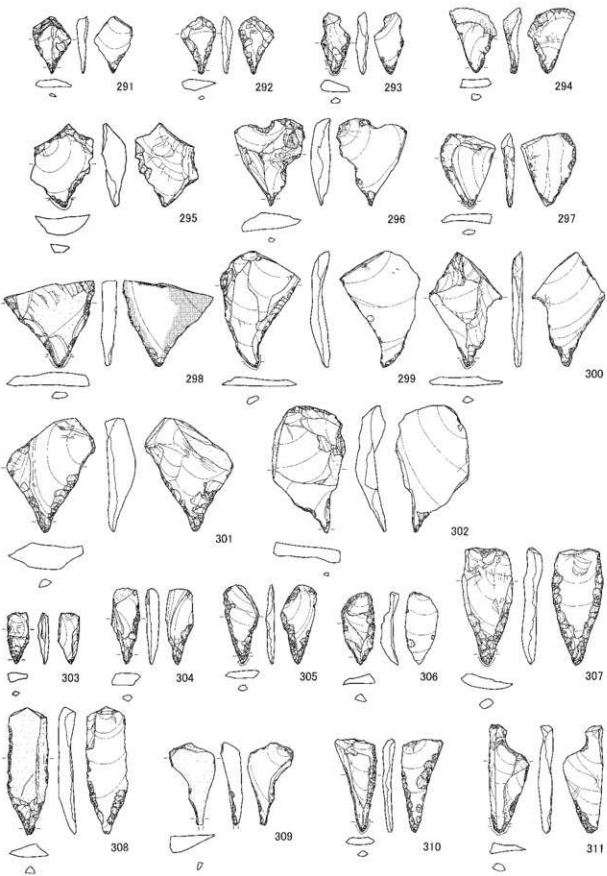
図Ⅵ－15　石錐（2）

251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
0　1:2　5cm

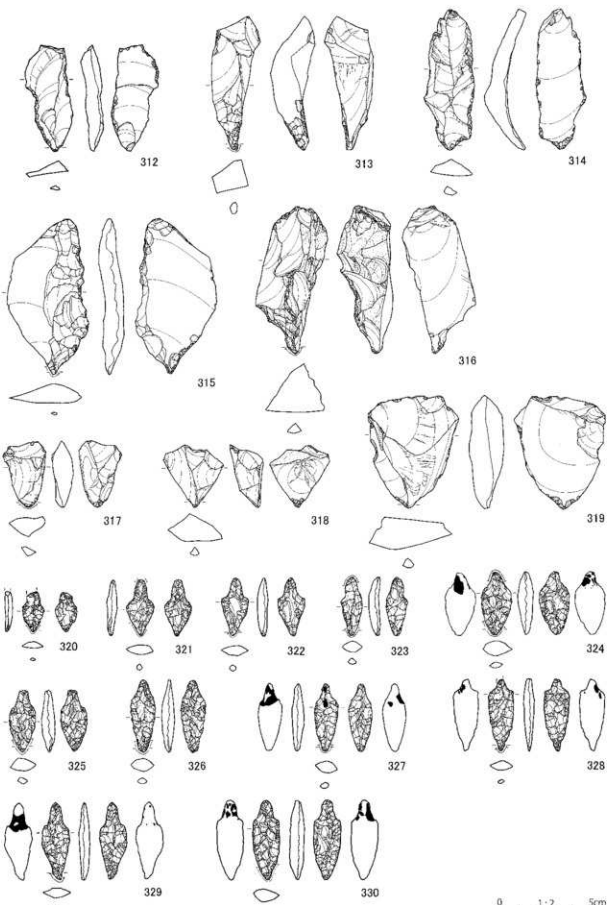
図Ⅵ−16　石錐（3）


270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
0
1:2
5cm

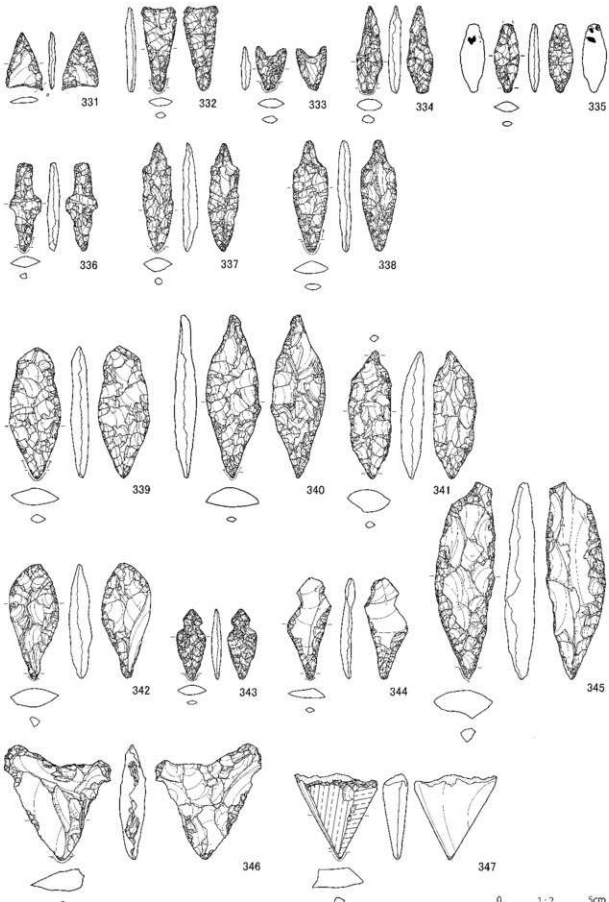
図Ⅵ－17　石錐（4）


291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
0　1:2　5cm

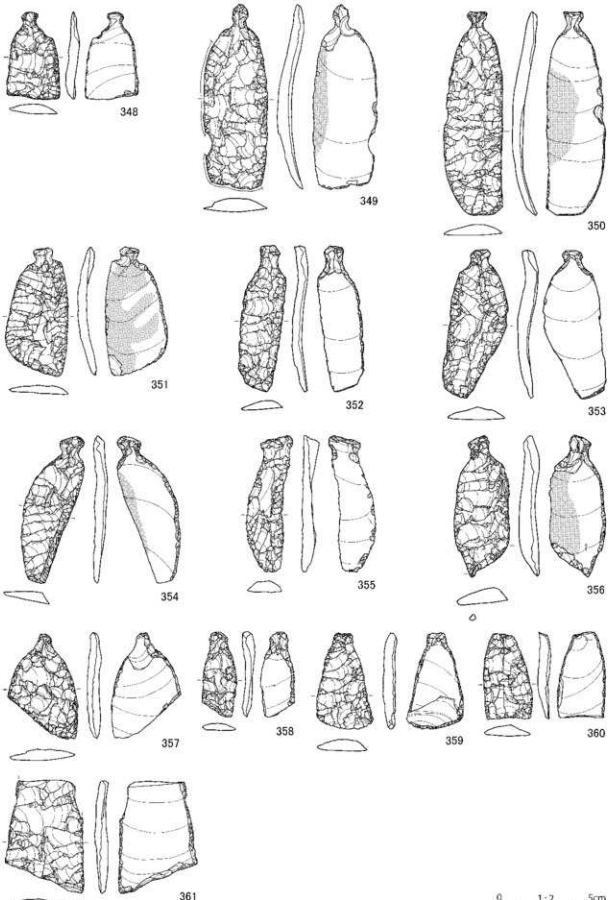
図Ⅵ－18　石錐（5）


312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
0
1:2
5cm

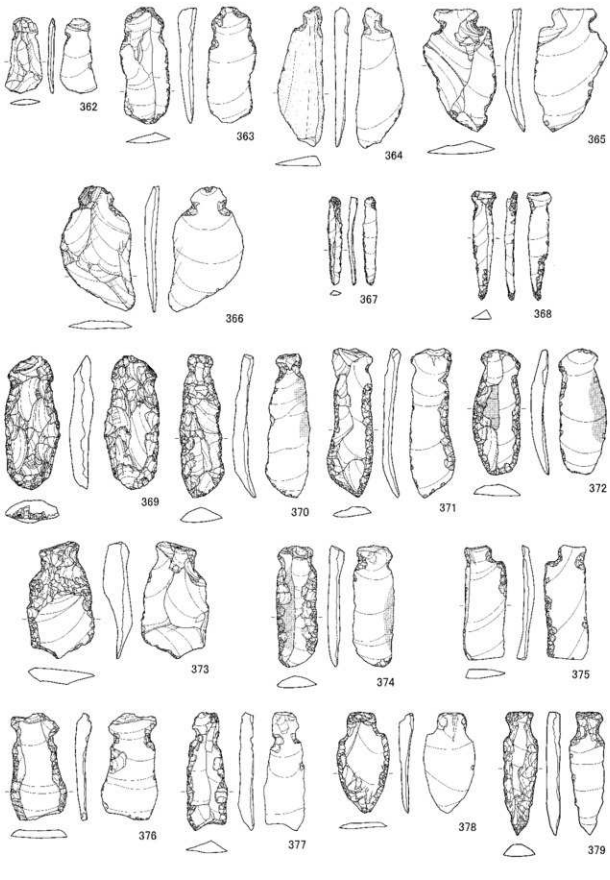
図Ⅵ−19　石錐（6）


331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
0　1:2　5cm

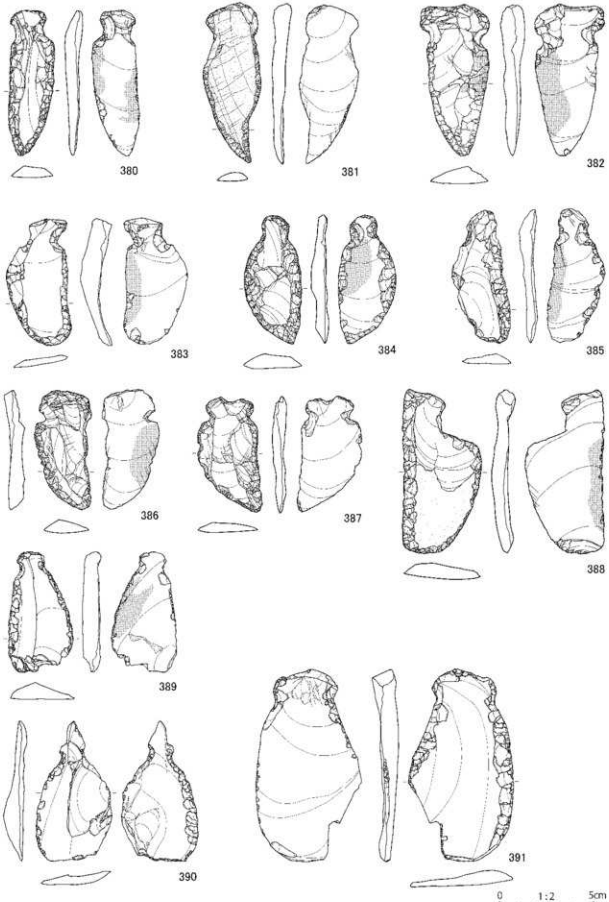
図Ⅵ−20　石錐（7）



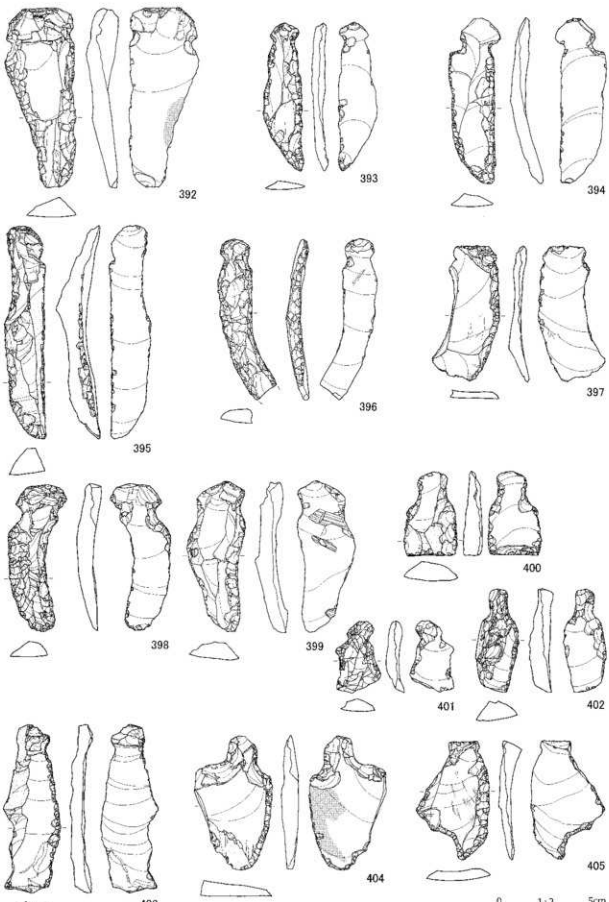
図Ⅵ−21　つまみ付きナイフ（1）



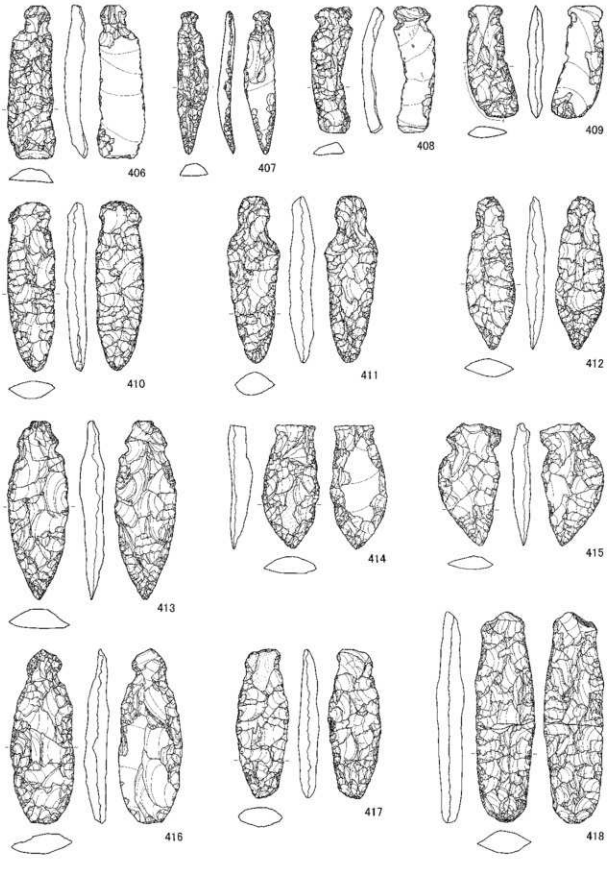
図Ⅵ−22　つまみ付きナイフ（2）



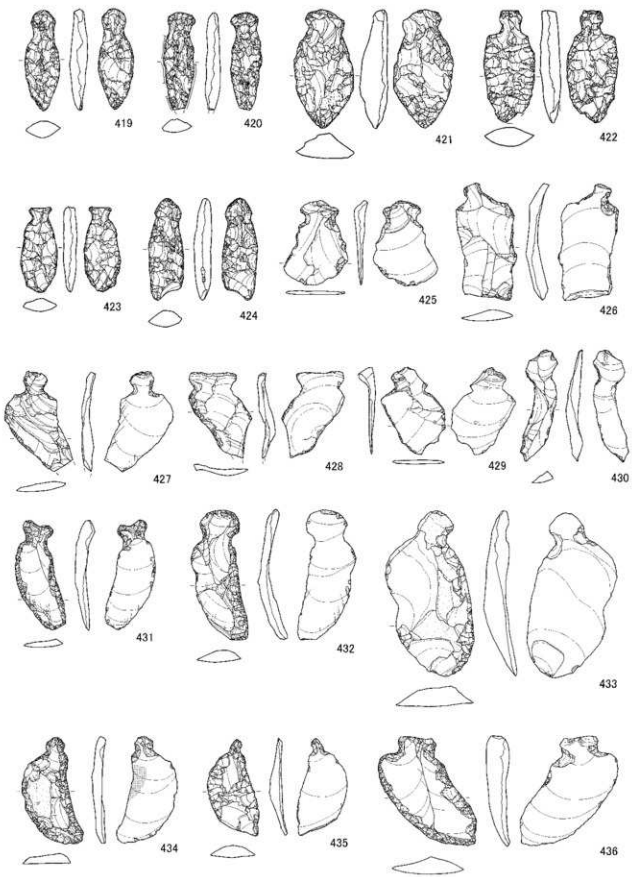
図Ⅵ－23　つまみ付きナイフ（3）



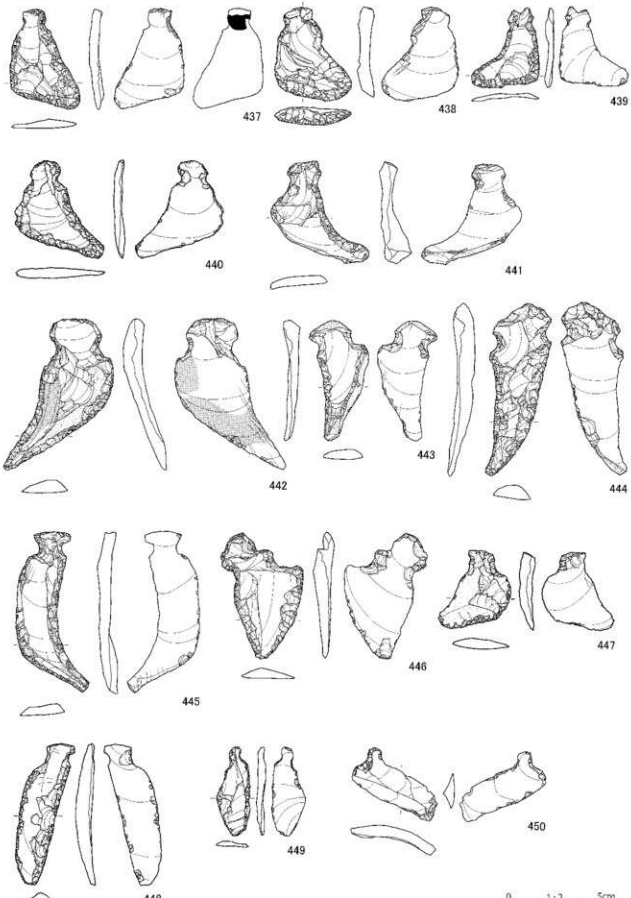
図Ⅵ−24　つまみ付きナイフ（4）



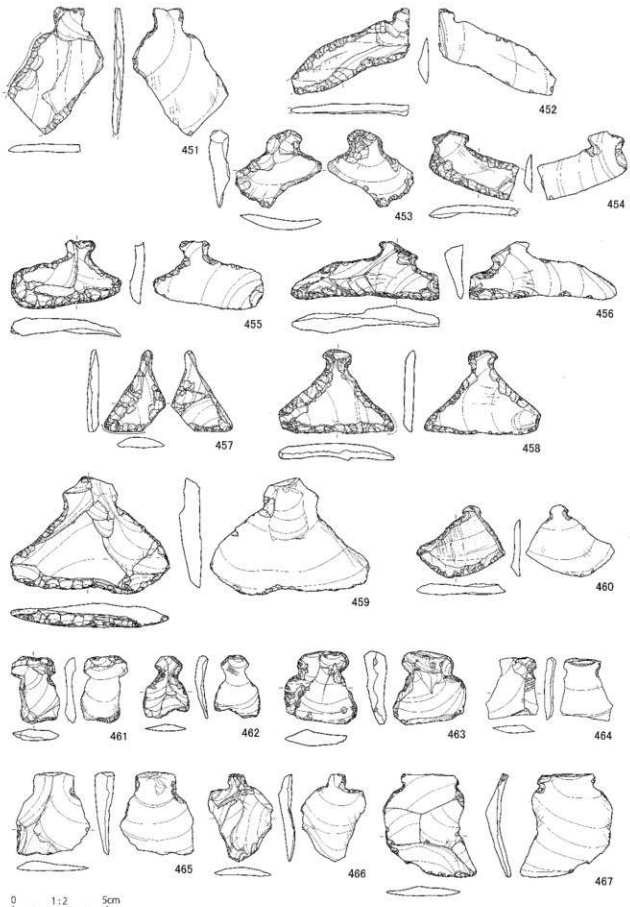
図Ⅵ－25　つまみ付きナイフ（5）



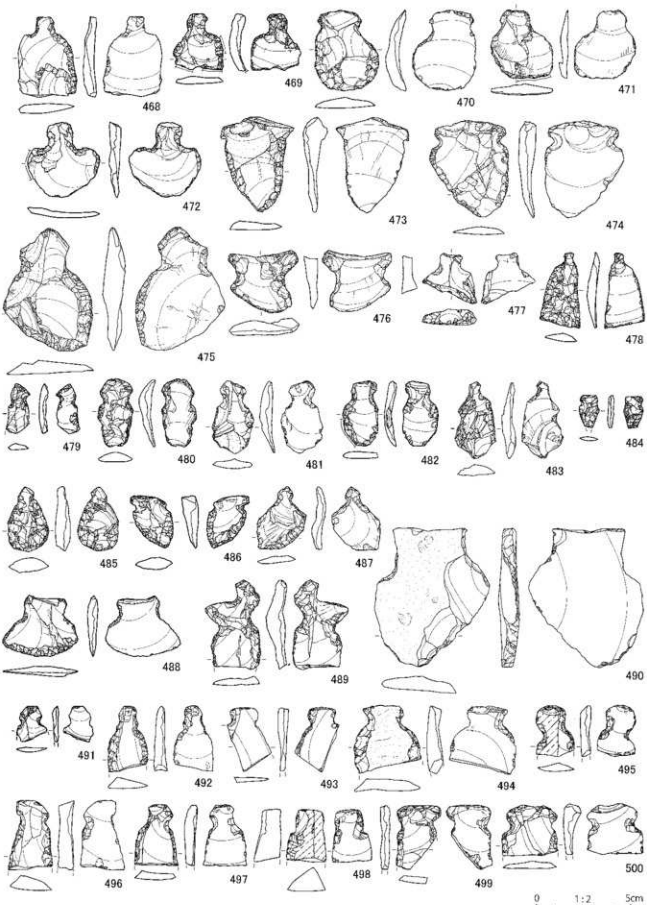
図Ⅵ－26　つまみ付きナイフ（6）



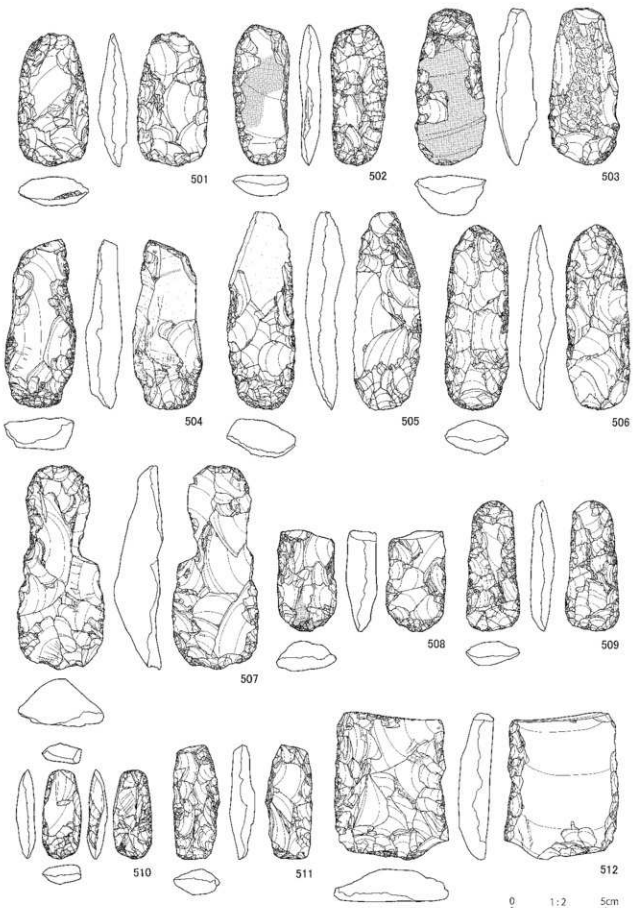
図Ⅵ−27　つまみ付きナイフ（7）



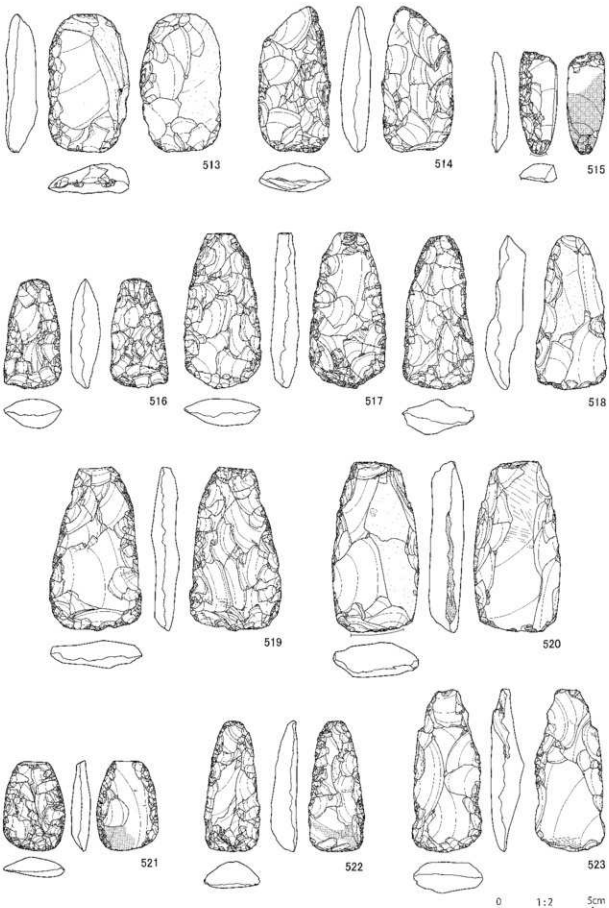
図Ⅵ−28　つまみ付きナイフ（8）



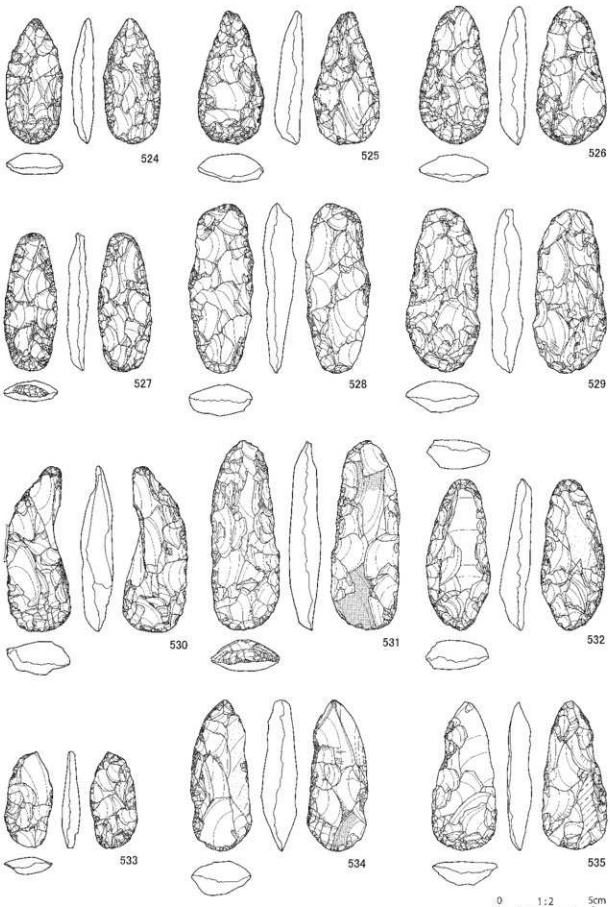
図Ⅵ－29　つまみ付きナイフ（9）



図Ⅵ－30　箆状石器（1）



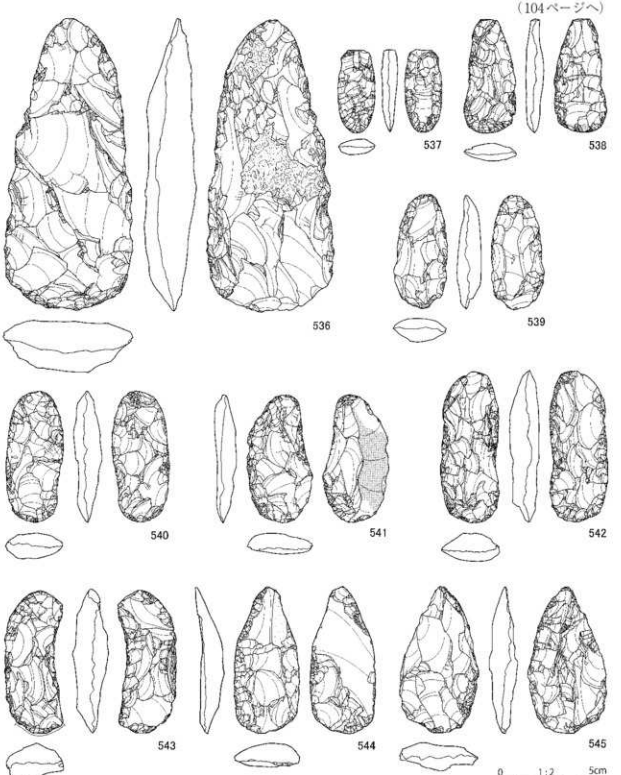
図Ⅵ－31　箆状石器（2）



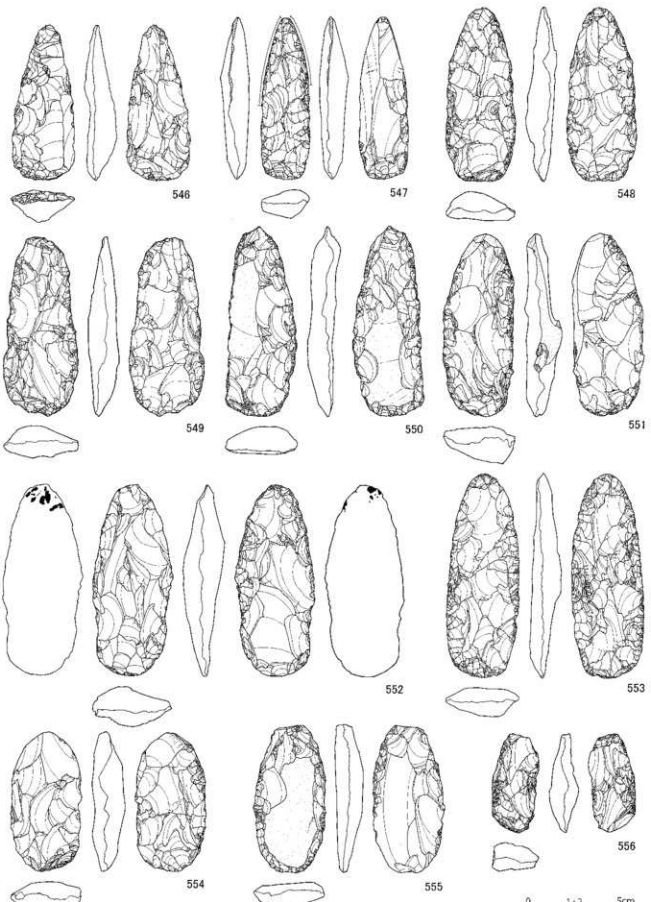
図Ⅵ－32　箆状石器（3）

凝灰岩製。正面右下部に放射状に線刻のようなものがみられるが、成因は不明である。1496は白色泥岩の円礫を素材とする。1493は凝灰岩製で、基部がつまみ状に加工されるもの。先端は尖頭形になるとみられる。1494は尖頭状のもの。非常に軟質の凝灰岩製のため摩耗しており、加工痕は不明瞭である。1497・1498は白色泥岩の棒状の礫に、幅数㎜の削ったような痕跡がみられるもの。1499は白色泥岩の扁平な円礫に、たたき痕とすり痕がみられるもの。たたき痕は使用痕にも見えるが、す

（104ページへ）



図Ⅵ－33　箆状石器（4）

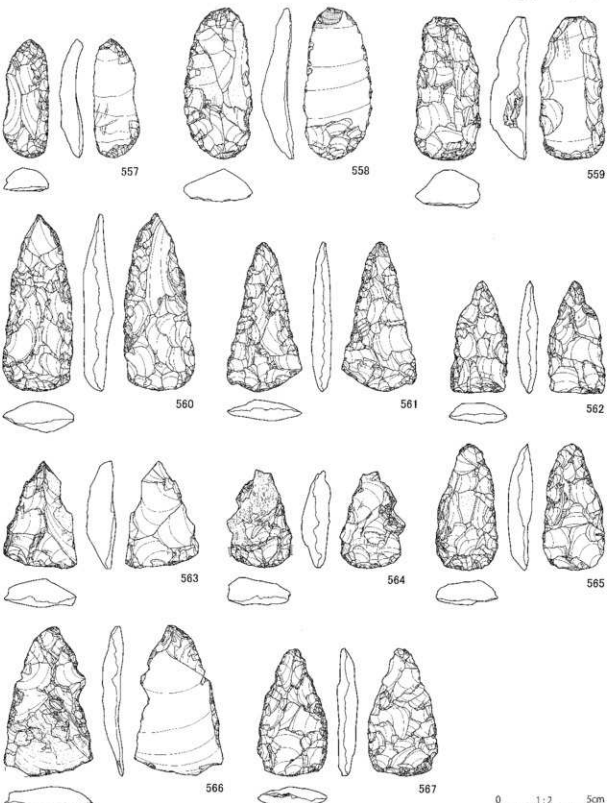


図Ⅵ－34　箆状石器（5）

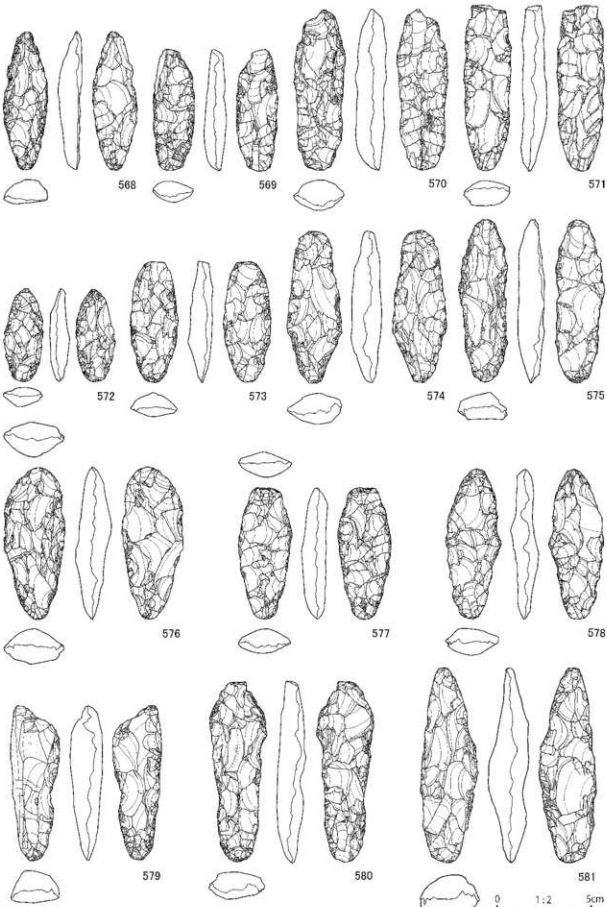
り痕は意図が不明瞭であり、石製品とした。割れ面に植物化石を含む。

1500・1501は研磨された礫。1500はホルンフェルス製で、非常に細かい擦痕が全面にみられる。1501は棒状製品の破片とみられる。泥岩製で、石斧の破片の可能性もあるが、該当する形態・大き

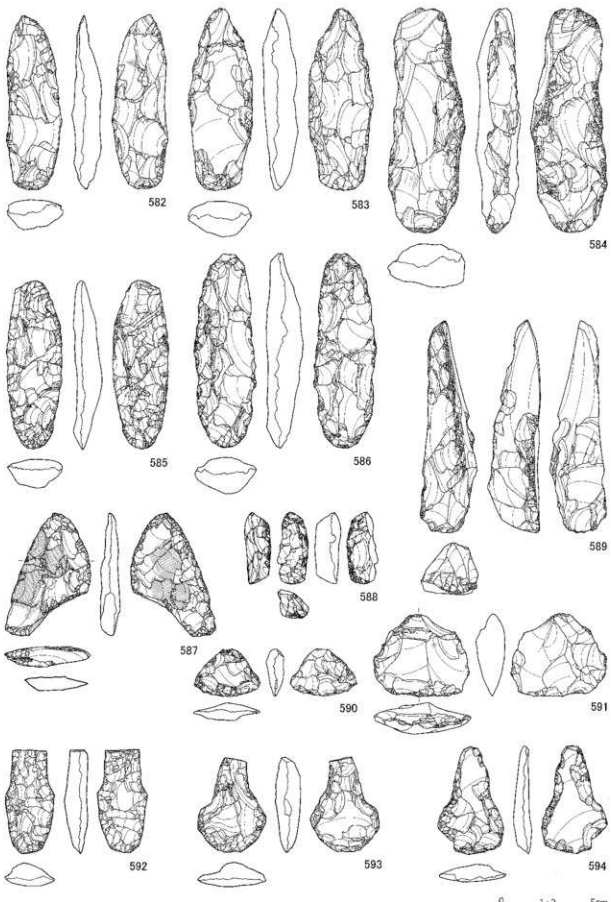
（123ページへ）



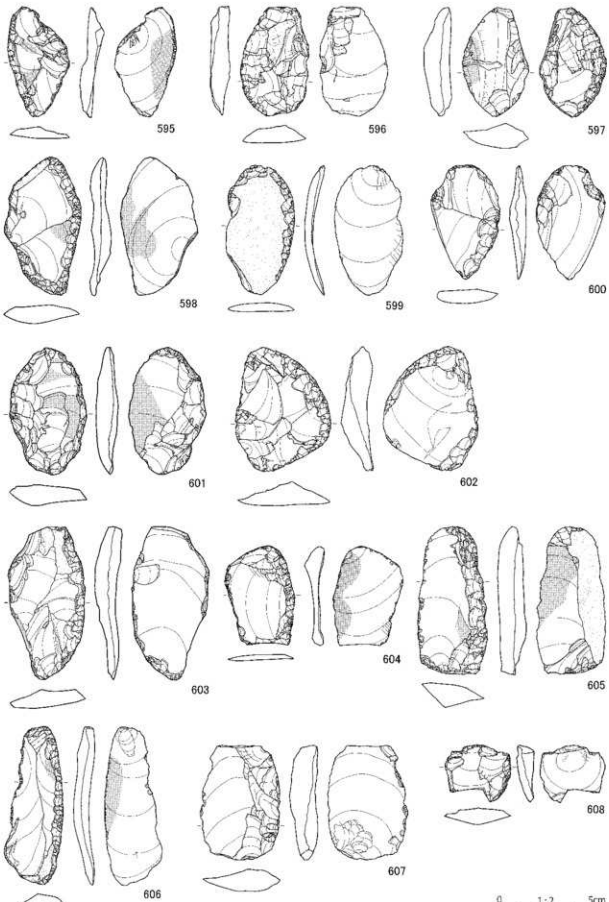
図Ⅵ－35　篦状石器（6）



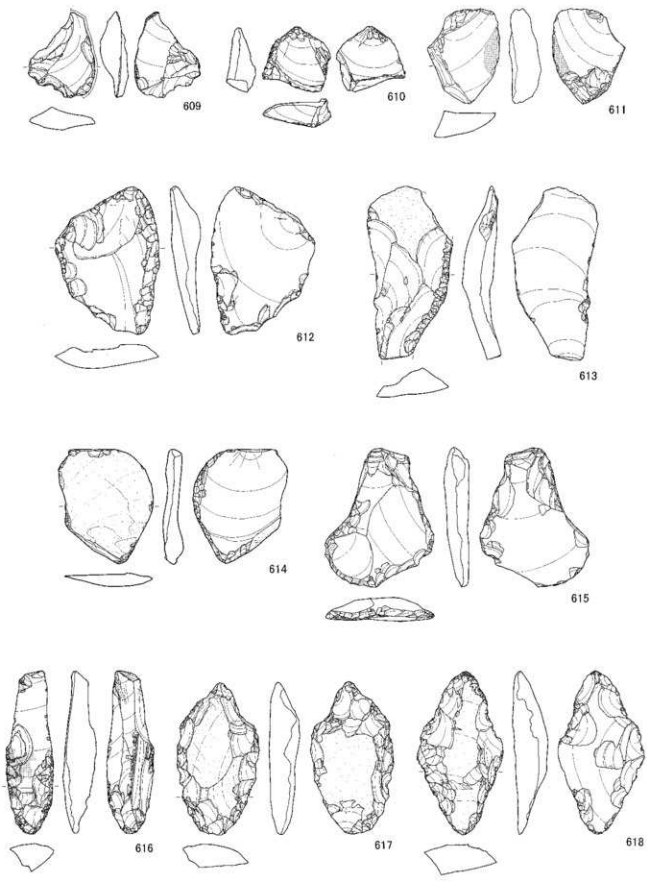
図Ⅵ－36　箆状石器（7）



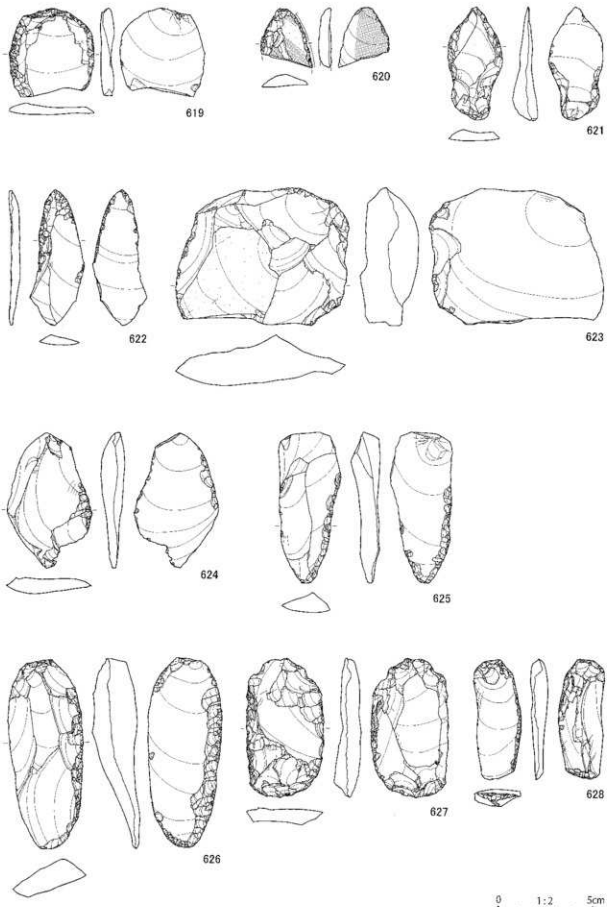
図Ⅵ－37　篦状石器（8）



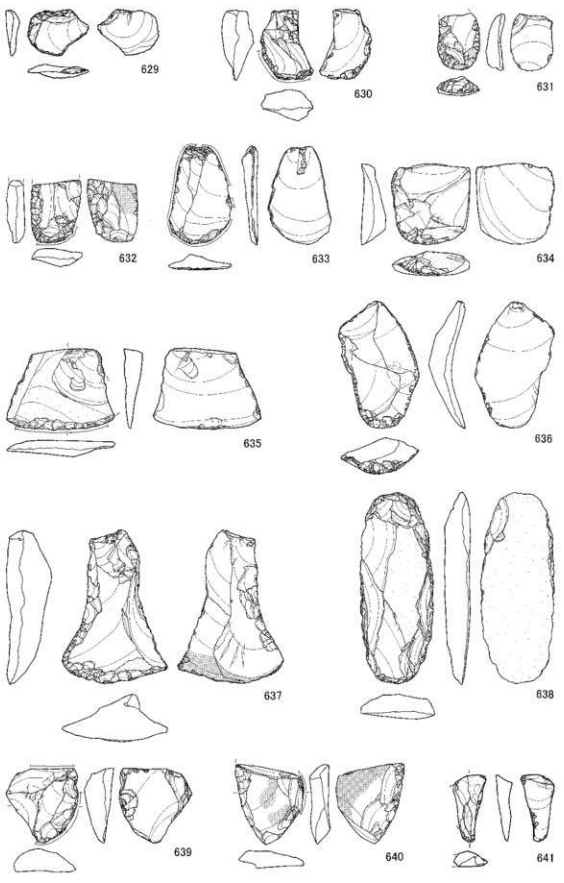
図Ⅵ−38　スクレイパー（1）



図Ⅵ−39　スクレイパー（2）

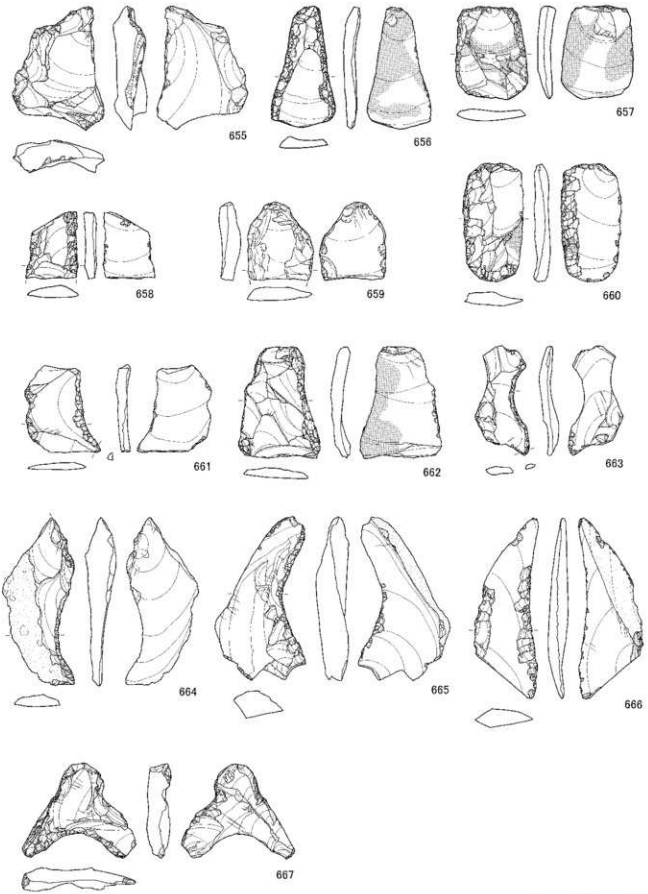


図Ⅵ−40　スクレイパー（3）

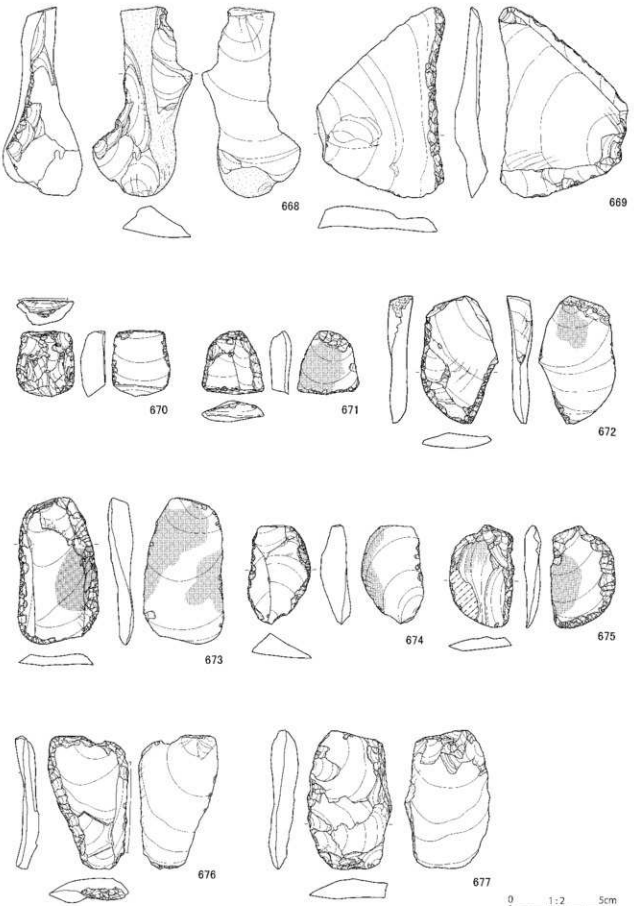


図Ⅵ−41　スクレイパー（4）

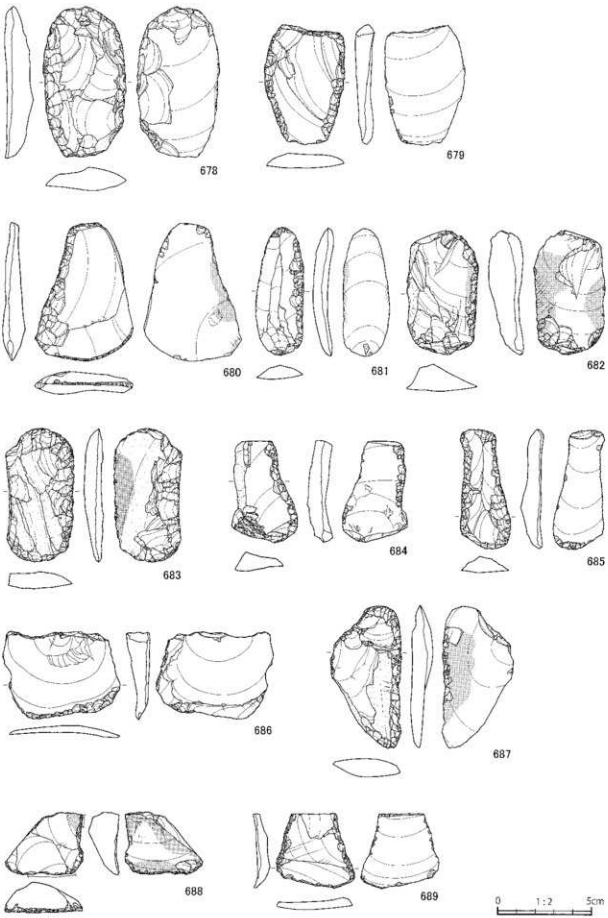
図Ⅵ−42　スクレイパー（5）



図Ⅵ−43　スクレイパー（6）

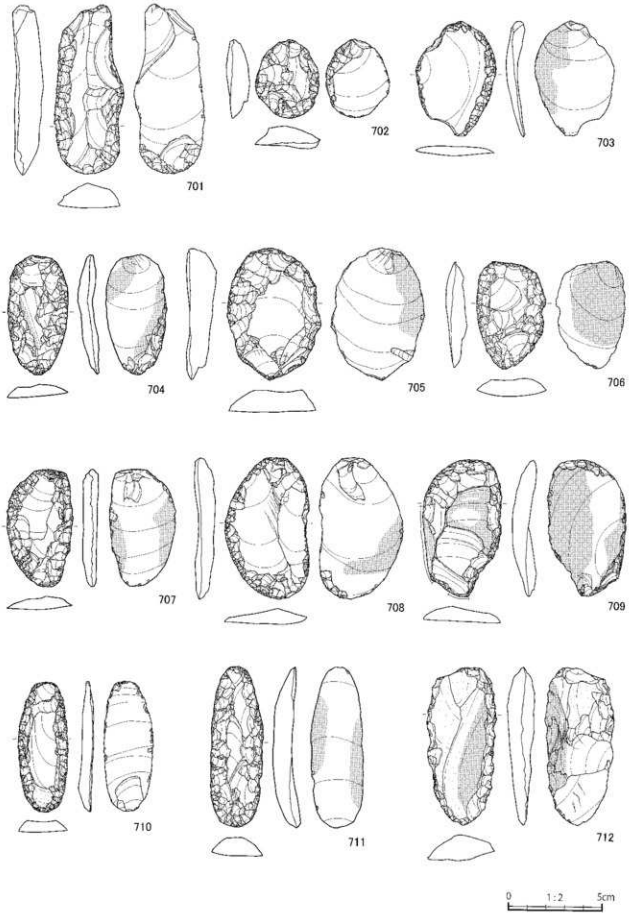


図Ⅵ−44　スクレイパー（7）

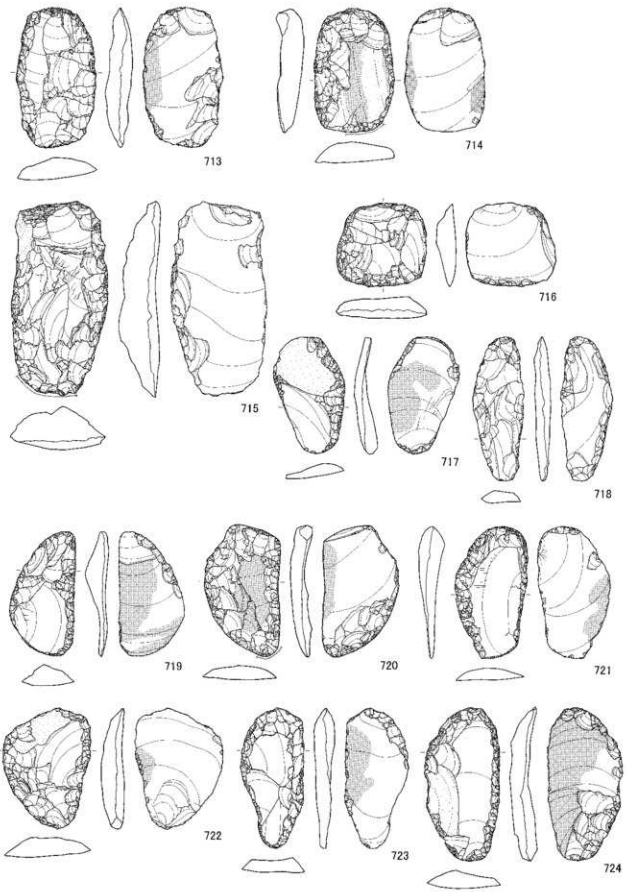


図Ⅵ−45　スクレイパー（8）

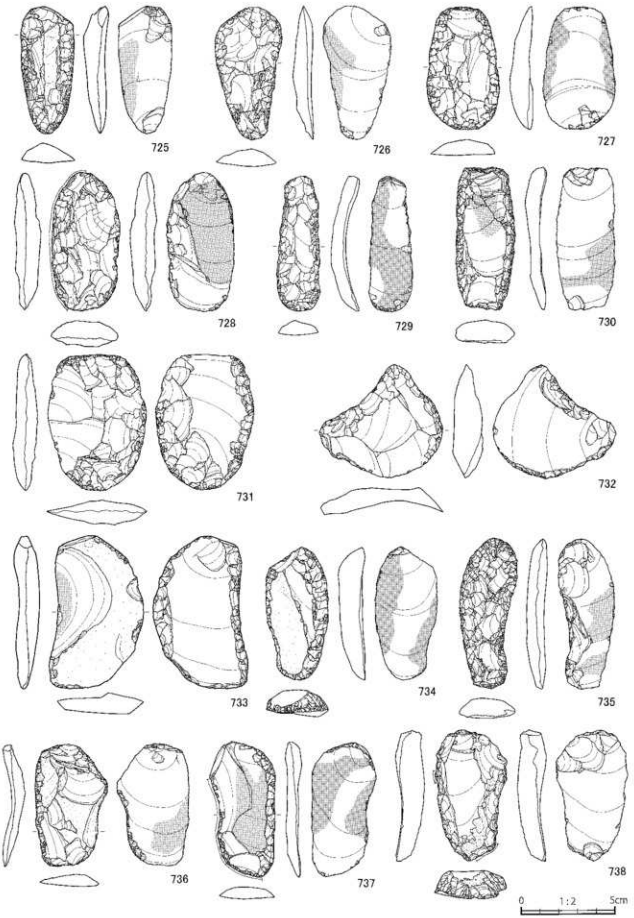
図Ⅵ−46　スクレイパー（9）



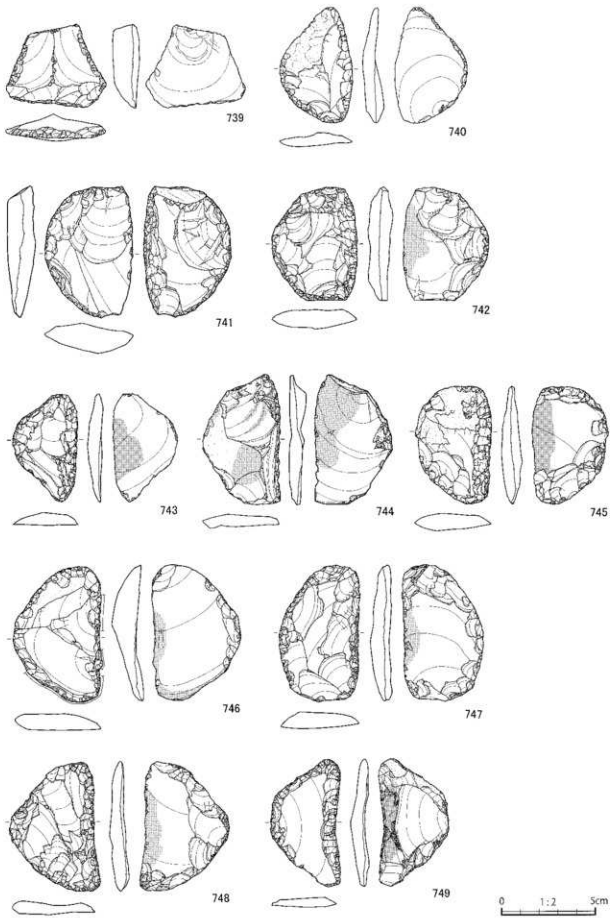
図Ⅵ−47　スクレイパー（10）



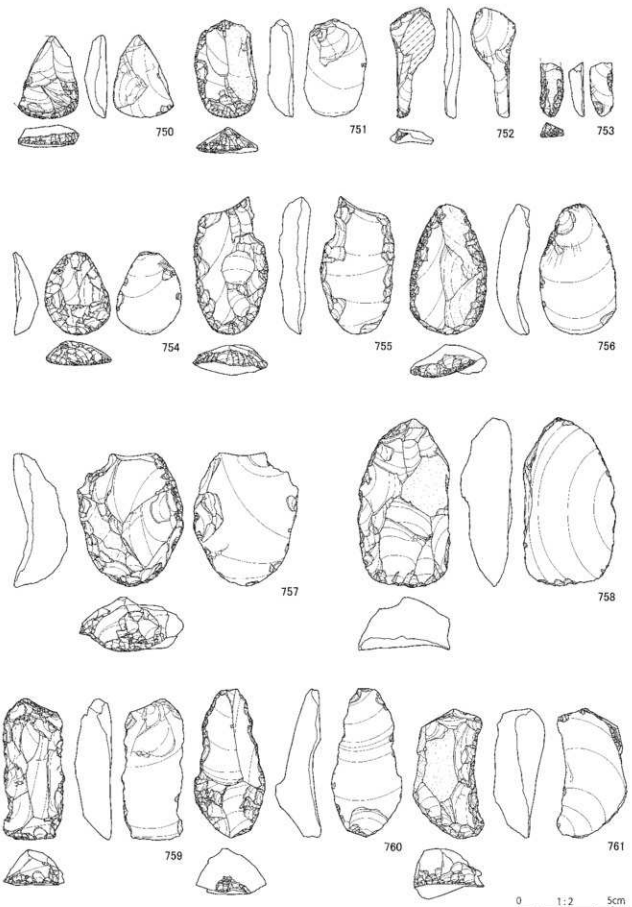
図Ⅵ−48　スクレイパー（11）



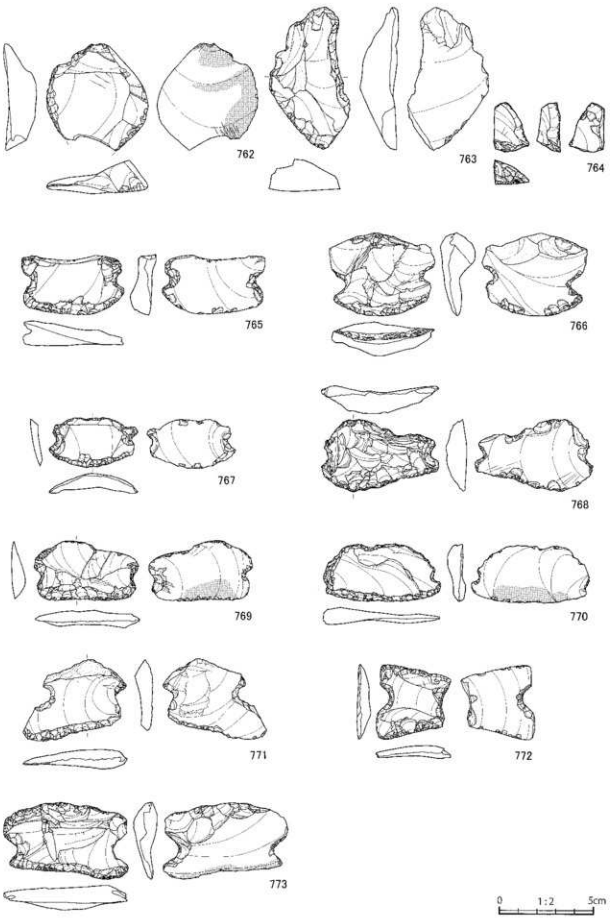
図Ⅵ−49　スクレイパー（12）



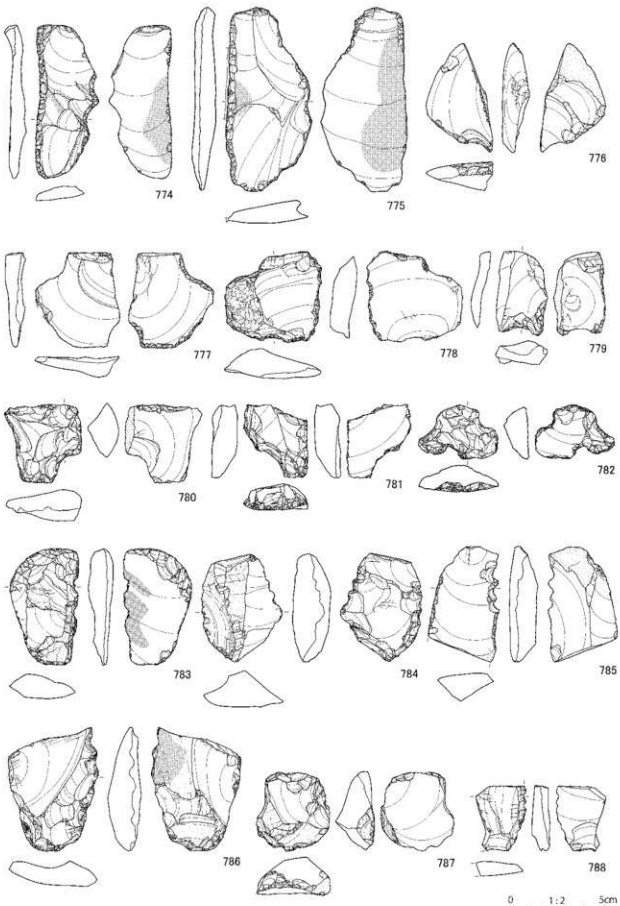
図Ⅵ−50　スクレイパー（13）



図Ⅵ−51　スクレイパー（14）



図Ⅵ−52　スクレイパー（15）



図Ⅵ−53　スクレイパー（16）

さの石斧は出土していない。下端が小剝離により鋸歯状を呈しており、あるいは篦状石器・スクレイパーなどとして再利用した可能性がある。

1520は扁平な円礫の2か所に敲打による抉入部が作出されるもの。1521は脚付き石皿様のもの。加工痕は不明瞭。裏面には明瞭に窪む敲打痕がみられる。

線刻礫（1502～1509、図Ⅵ－169・170、表Ⅵ－7、図版428）

10点出土し、8点掲載した。凝灰岩・白色泥岩・砂岩の軟質な礫に、線刻が付されたもの。線刻の配置は不規則である。1503は固結の弱い砂岩製で、線刻は中央を縦に走る。位置から擦り切り溝の可能性もある。1504は扁平な縦長の円礫の礫表面に、横位に太く明瞭な溝・擦痕が、縦位に擦痕がみられる。横位の溝は上下2本あり、下位の溝で擦り切り状に折れている。1505は礫表面に窪みがあり、その周囲に不規則な線刻がみられる。1506は三角柱状の礫にたたき痕と縦横の線刻がみられる。たたき痕は、たたき石3類の使用痕とみられる。1509は、長方形を呈する砂岩の薄い板状素材の一角を区切るように、細い線刻が両面にみられる。なお、写真掲載2080は、扁平打製石器に線刻が刻まれたものである。

穿孔された礫（1510～1513、図Ⅵ－170、表Ⅵ－7、図版429）

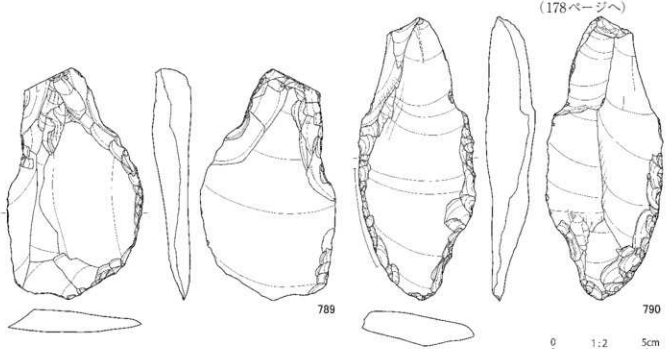
白色泥岩・泥岩の亜円～円礫に人為的に穿孔したもの。穿孔以外の加工が顕著ではなく、穿孔部に紐ずれ痕も認められないため垂飾とは区別した。4点出土し、すべて掲載した。

1510～1513はいずれも両面穿孔で、1512を除き穿孔時の回転痕が明瞭である。1511の右側面には、1497・1498と同様の削り痕のような擦痕がみられる。1512は左面上部、裏面下端部右半および下面に刻みのような痕跡がみられ、ネズミなど小動物のかじり痕とみられる。

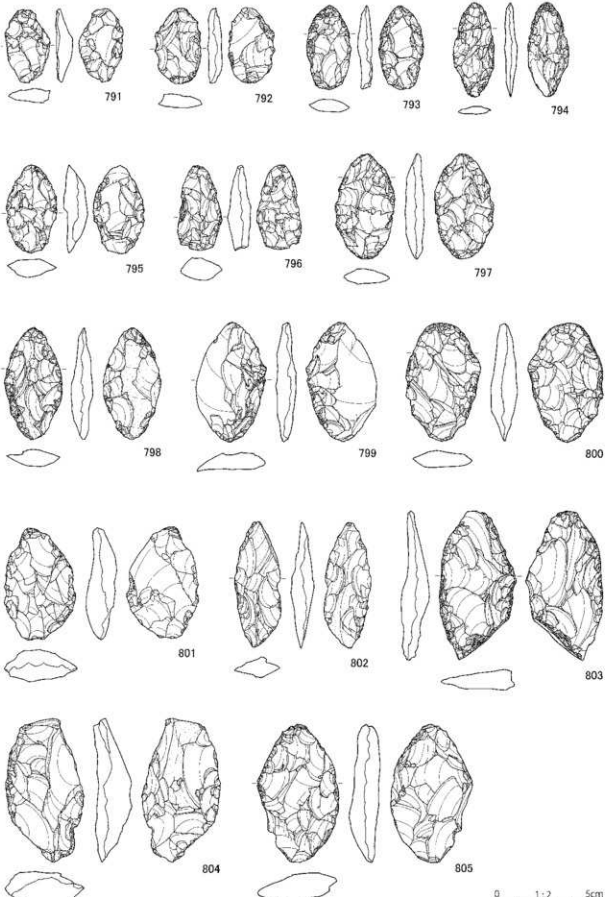
軽石製品（1526～1577、図Ⅵ－173～179、表Ⅵ－7、図版430・431）

軽石を素材とした石製品。101点出土し、形態の明瞭な52点を掲載した。管玉形（1526）、滑車形

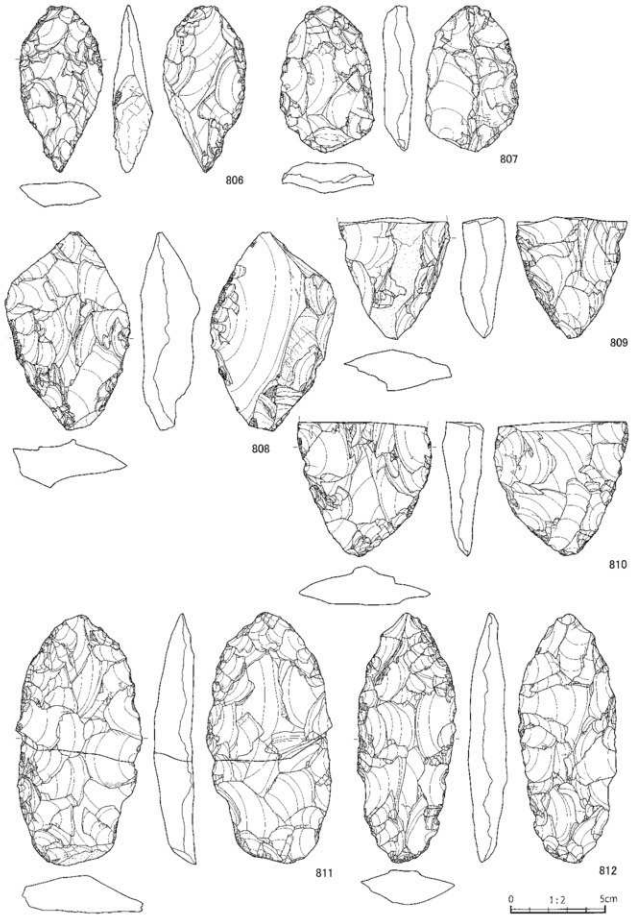
（178ページへ）



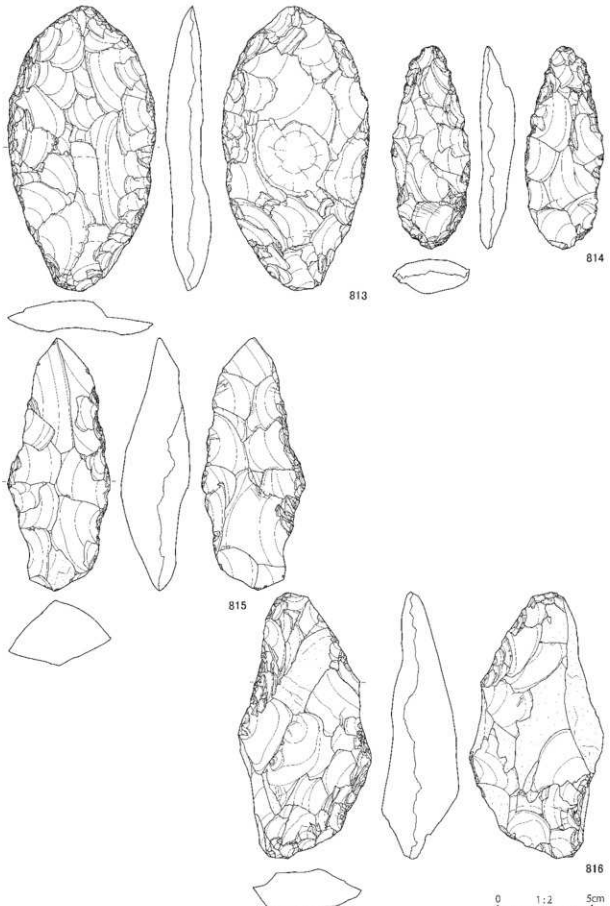
図Ⅵ－54　スクレイパー（17）



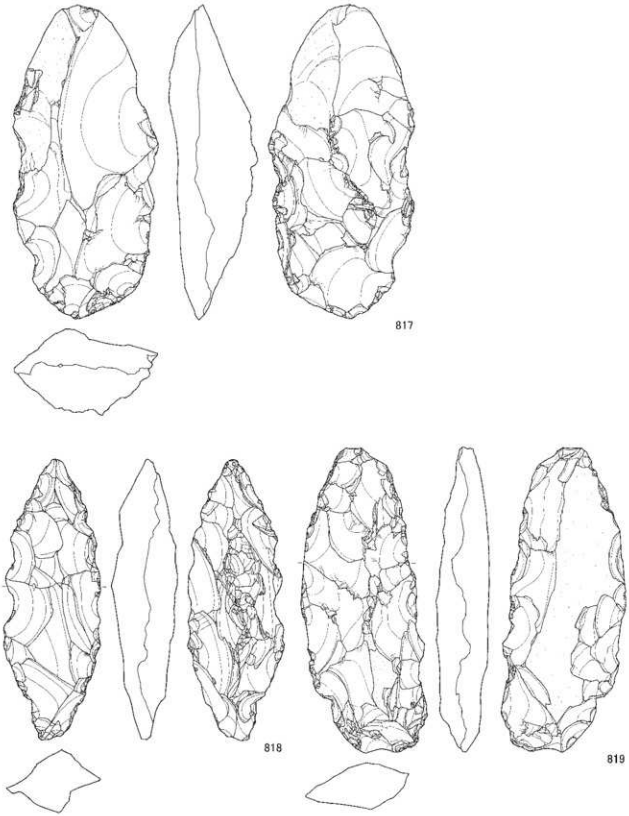
図Ⅵ－55　両面調整石器（1）



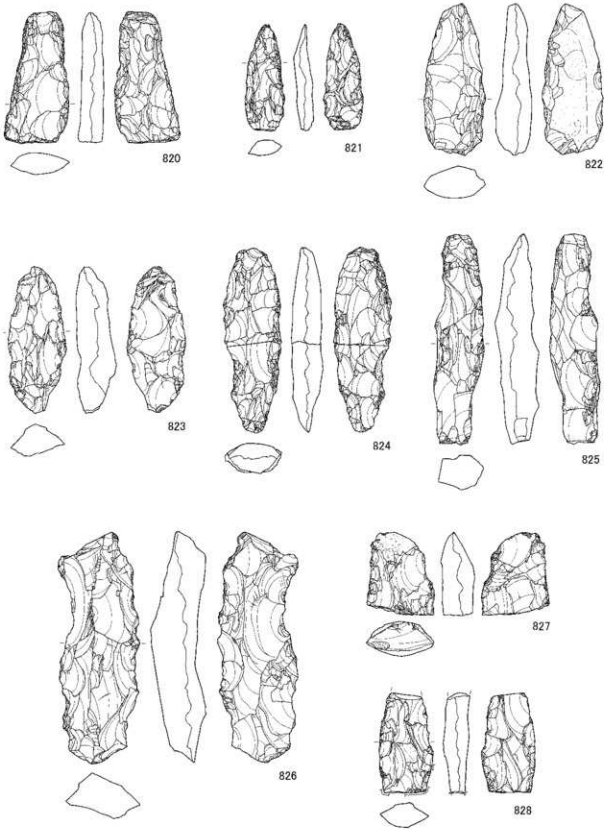
図Ⅵ－56　両面調整石器（2）



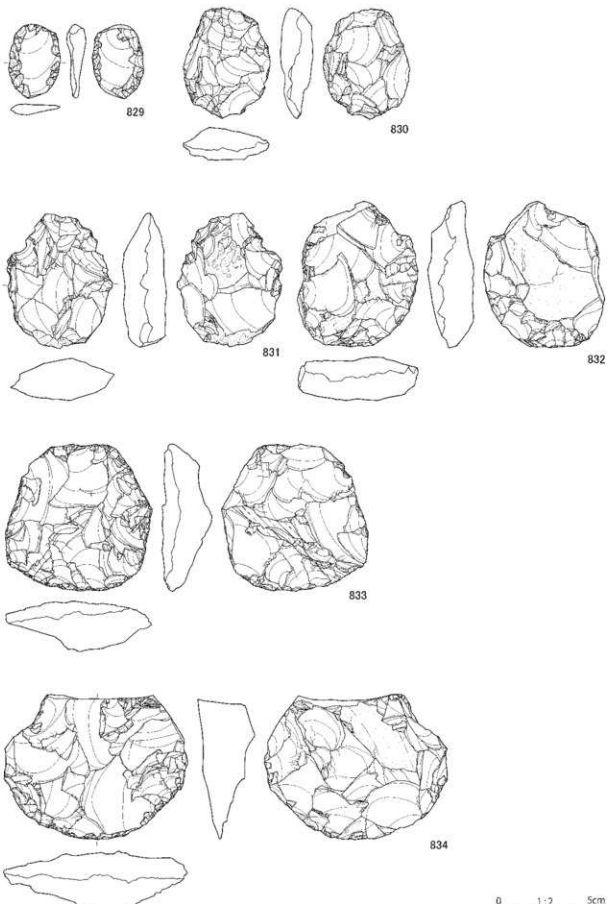
図Ⅵ－57　両面調整石器（3）



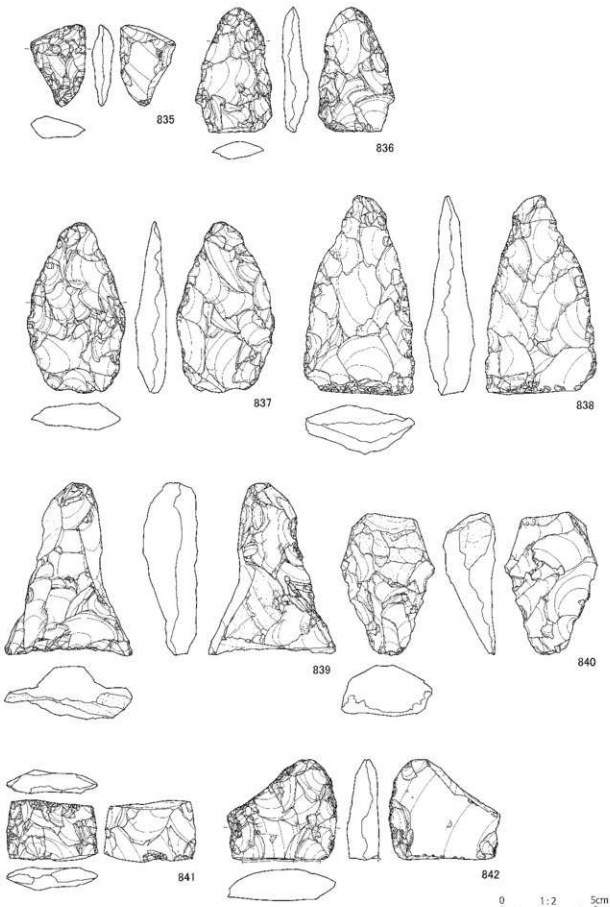
図Ⅵ－58　両面調整石器（4）



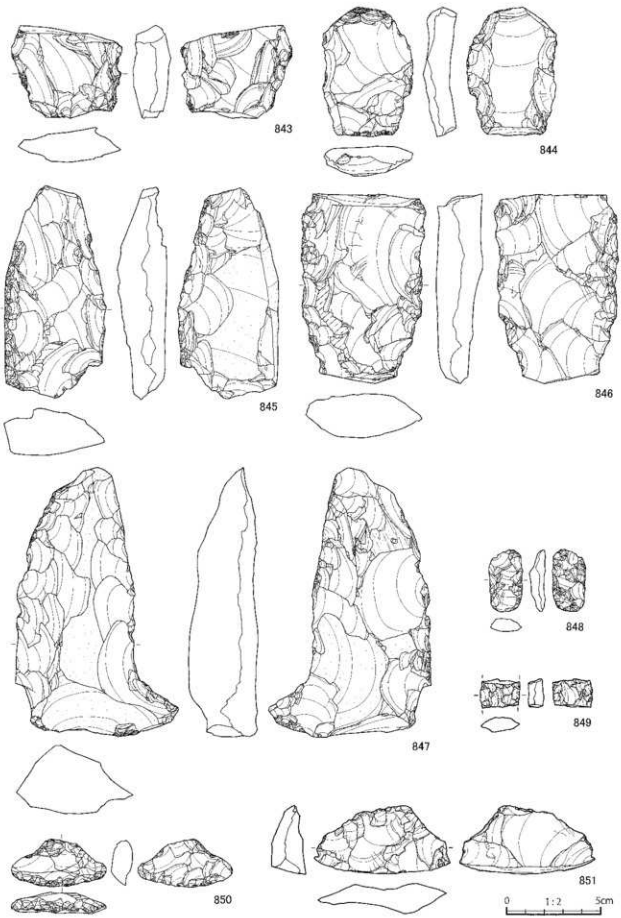
図Ⅵ－59　両面調整石器（5）



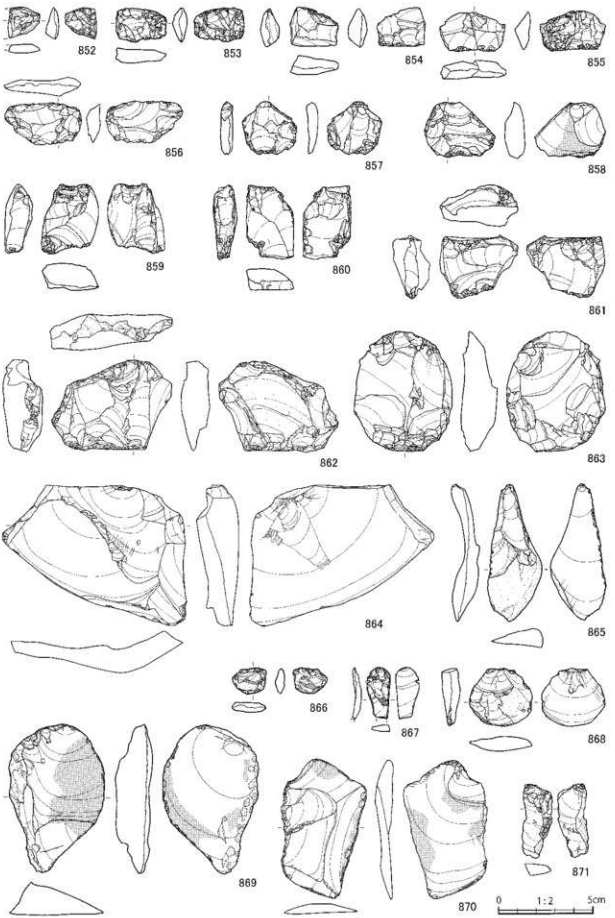
図Ⅵ－60　両面調整石器（6）



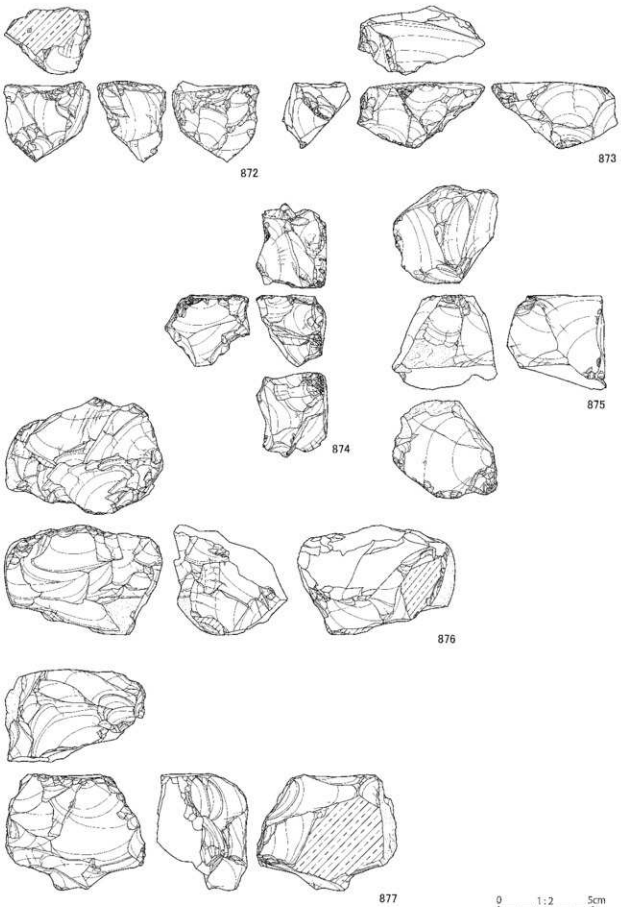
図Ⅵ－61　両面調整石器（7）



図Ⅵ−62　両面調整石器（8）

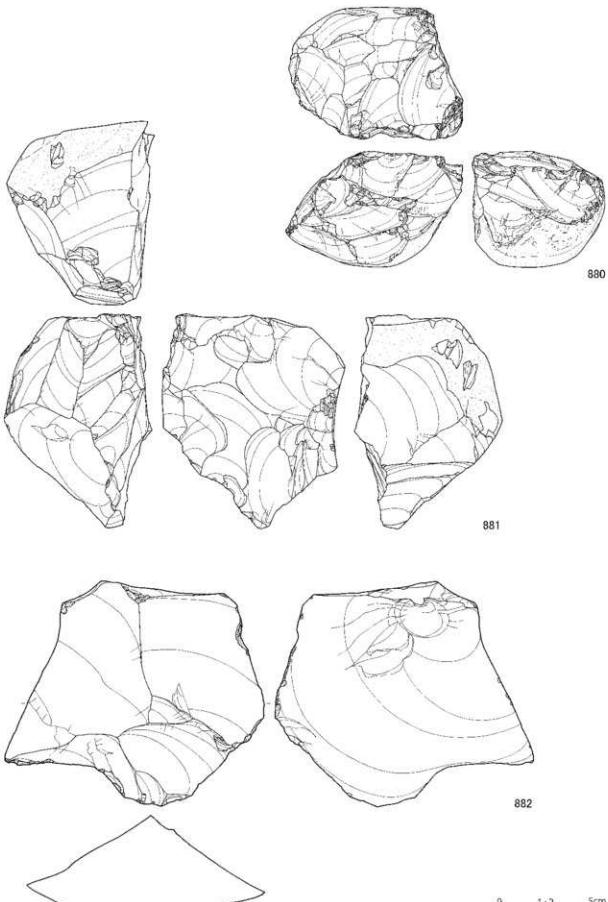


図Ⅵ−63　楔形石器、Rフレイク、フレイク

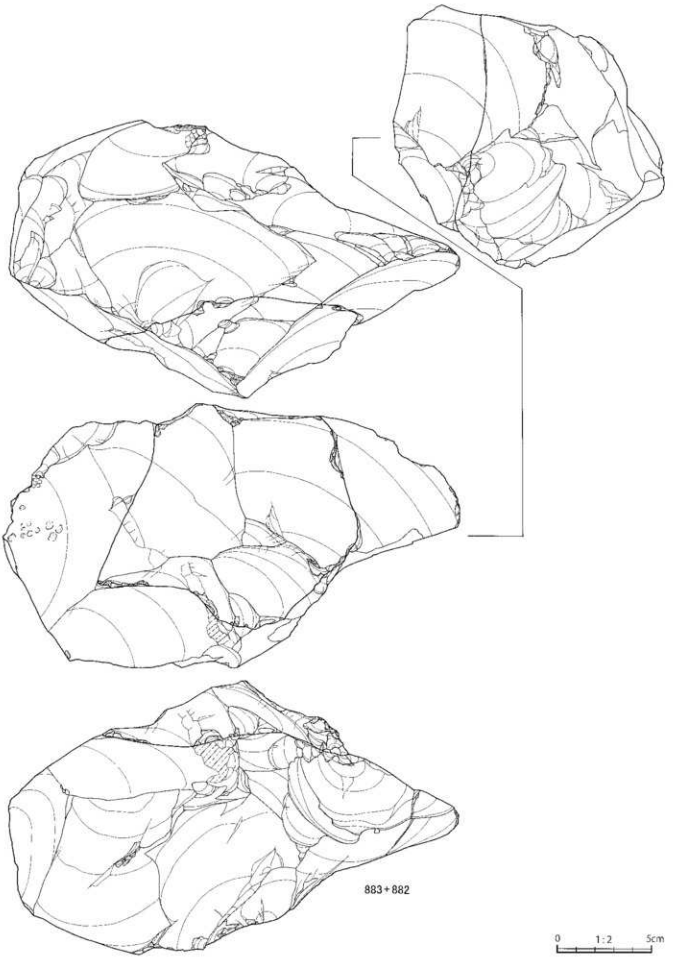


図Ⅵ－64　石核（1）

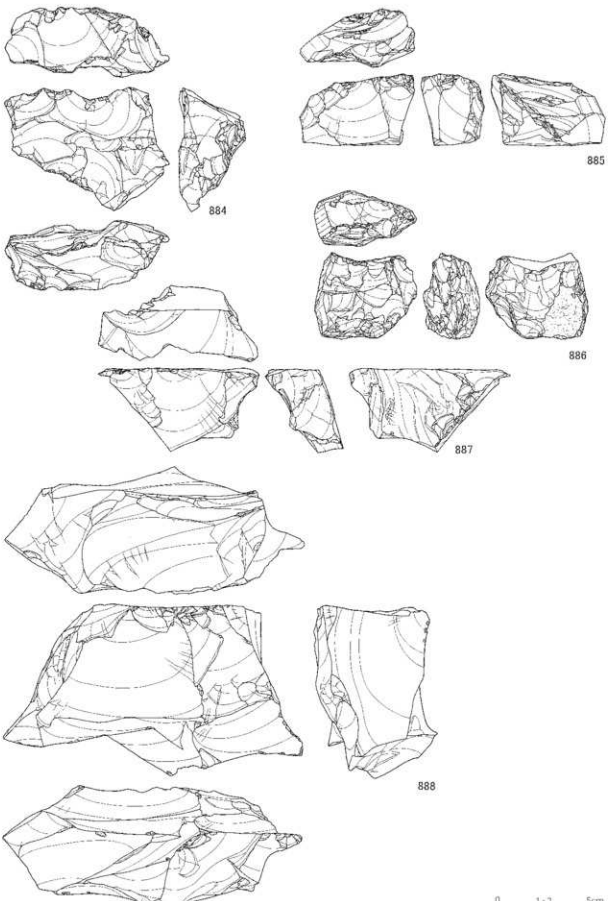
図Ⅵ-65　石核（2）



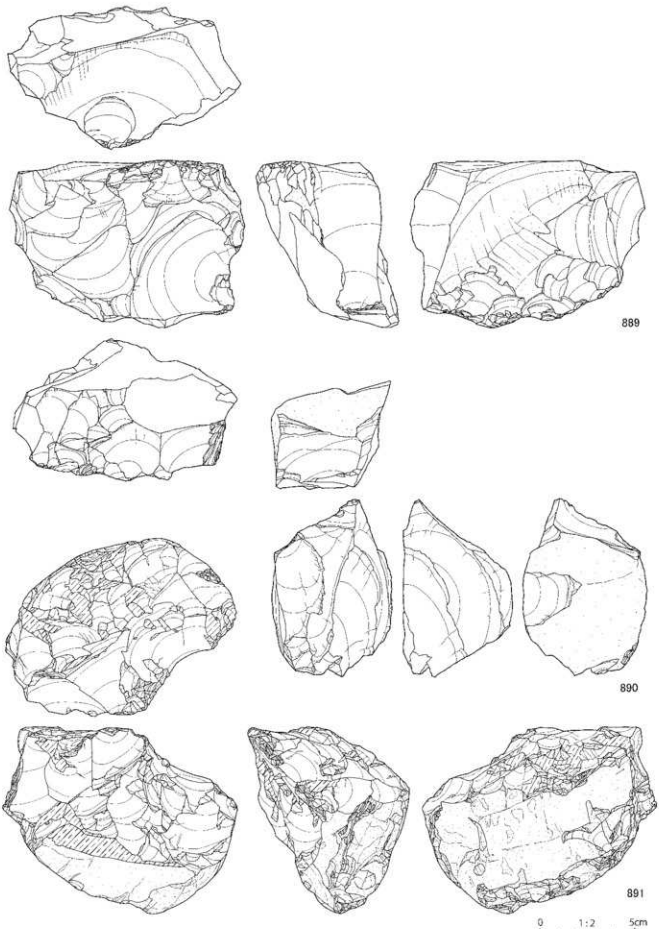
図Ⅵ−66　石核（3）



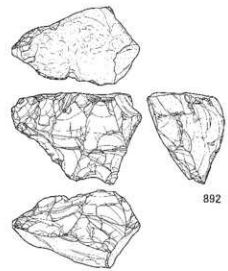
図Ⅵ－67　石核（4）

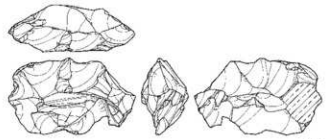


図Ⅵ－68　石核（5）

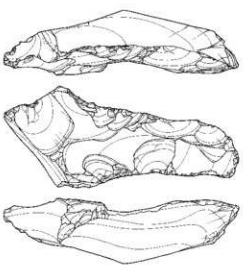


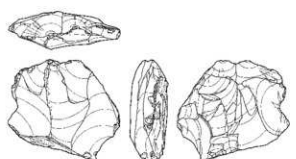
図Ⅵ－69　石核（6）

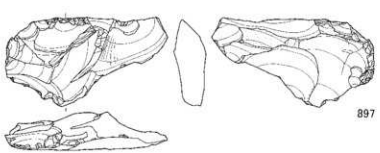

892

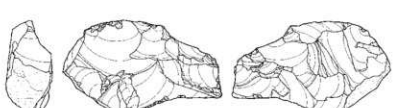

893

894


895

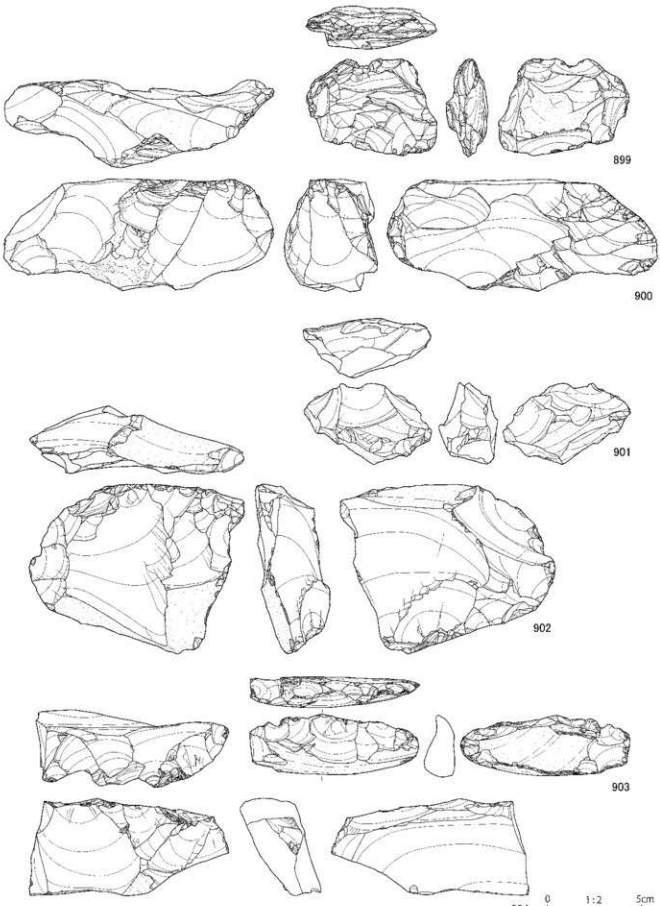

896


897

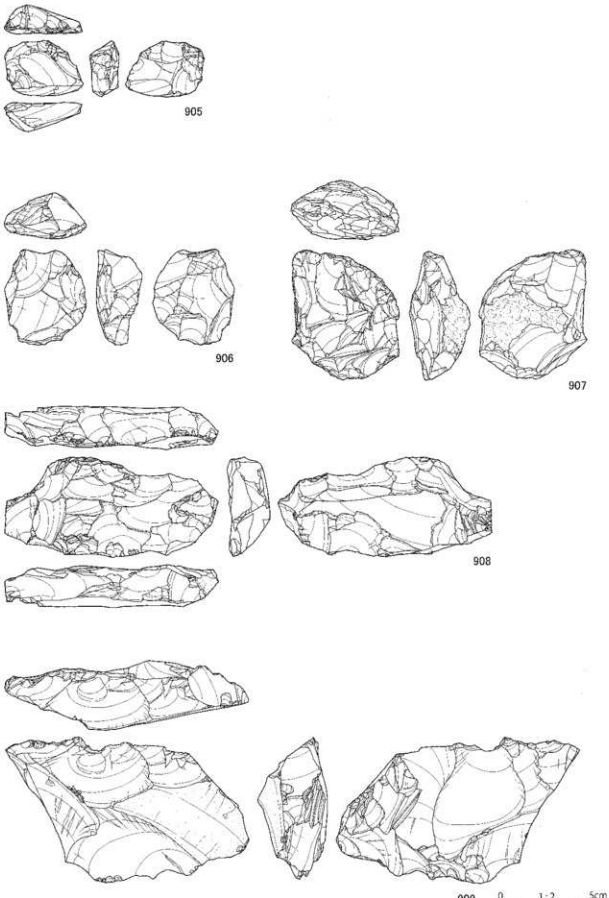

898

0　1:2　5cm

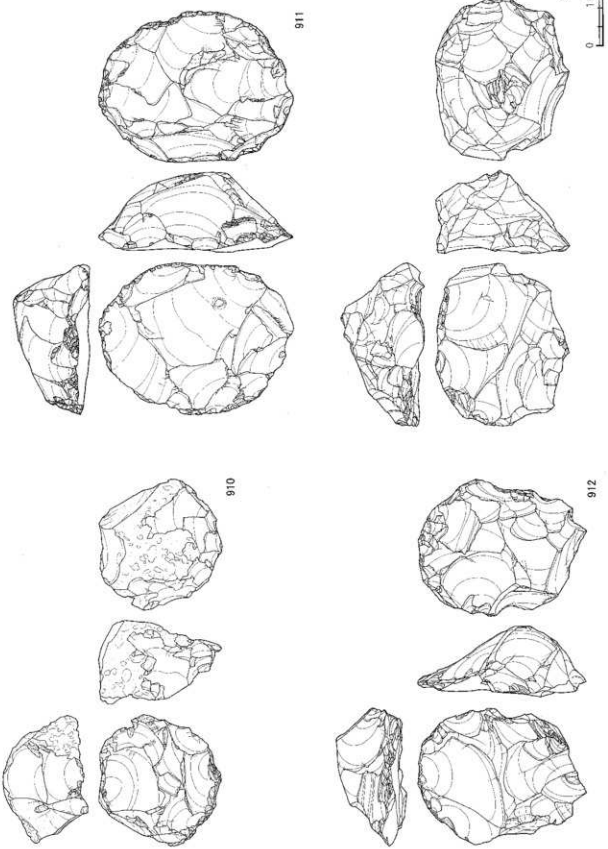
図Ⅵ−70　石核（7）



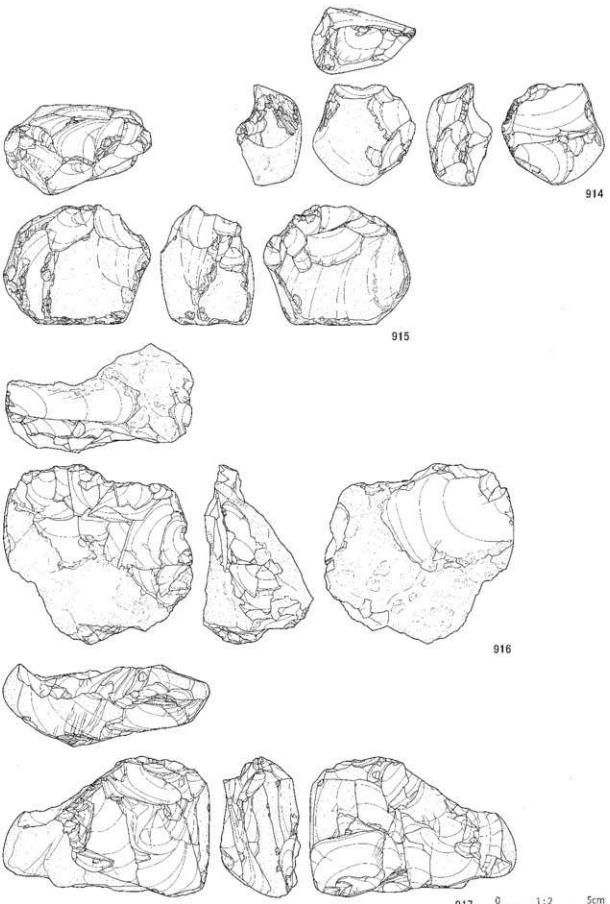
図Ⅵ−71　石核（8）



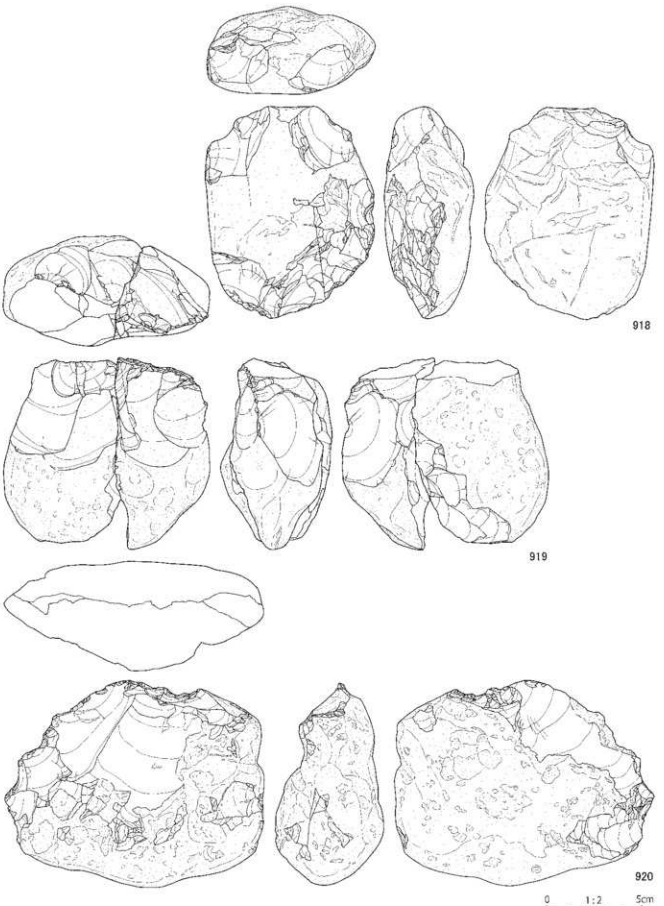
図Ⅵ−72　石核（9）



図Ⅵ-73　石核（10）

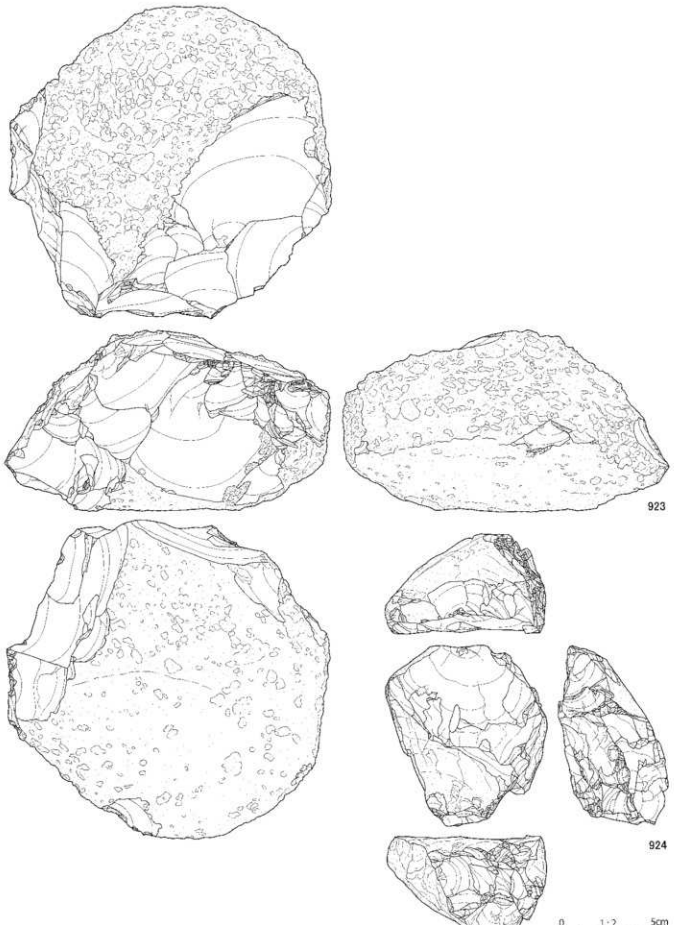


図Ⅵ−74　石核（11）

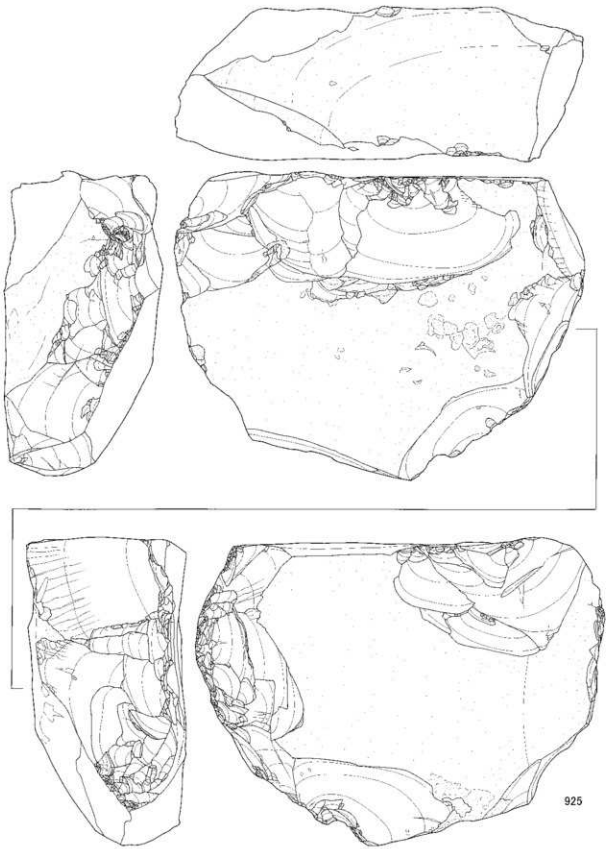


図Ⅵ－75　石核（12）

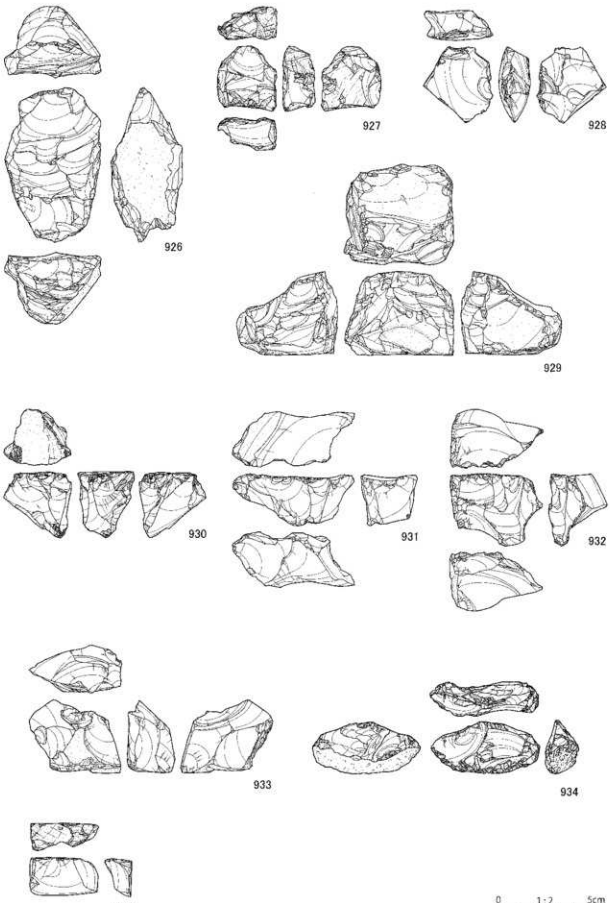
図Ⅵ−76　石核（13）



図Ⅵ－77　石核（14）

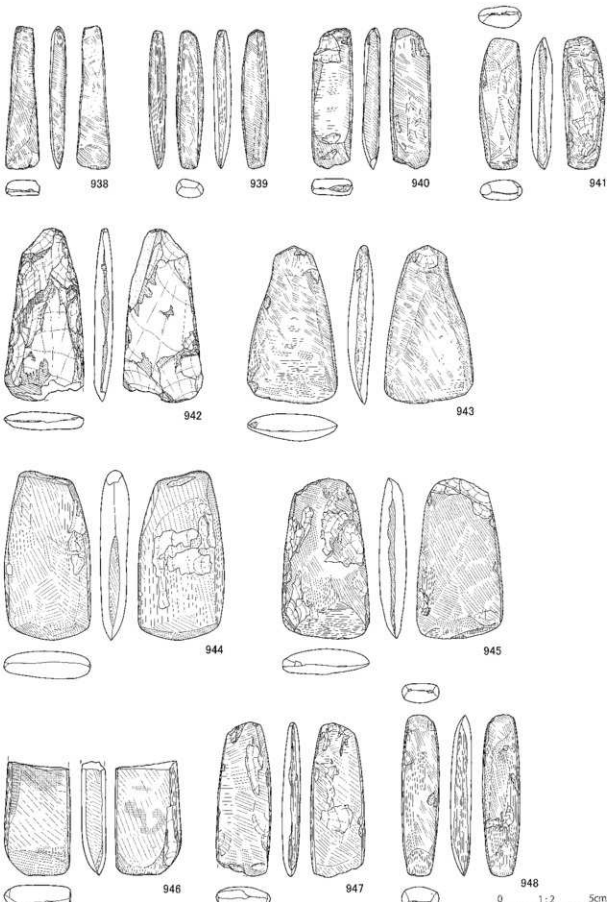


図Ⅵ－78　石核（15）

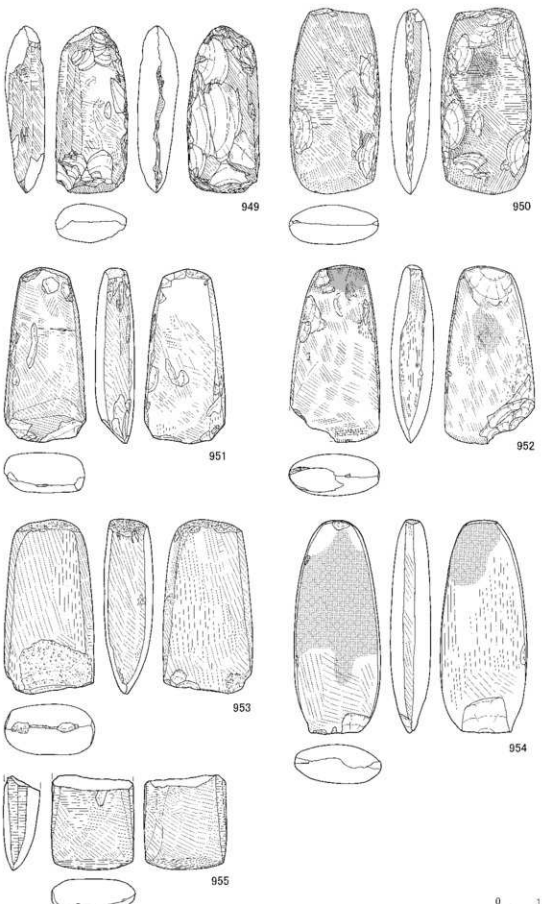


図Ⅵ－79　石核（16）

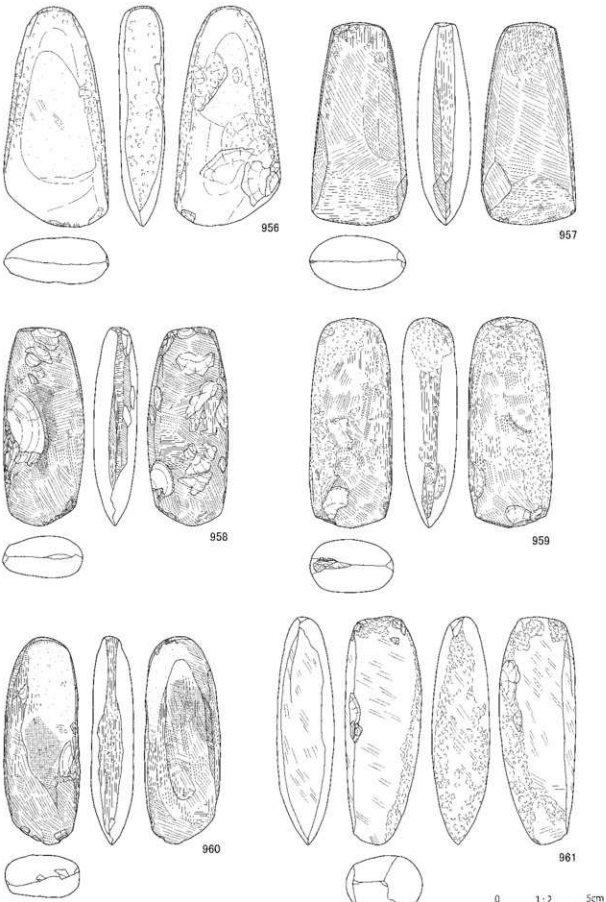
図Ⅵ-80　石核（17）



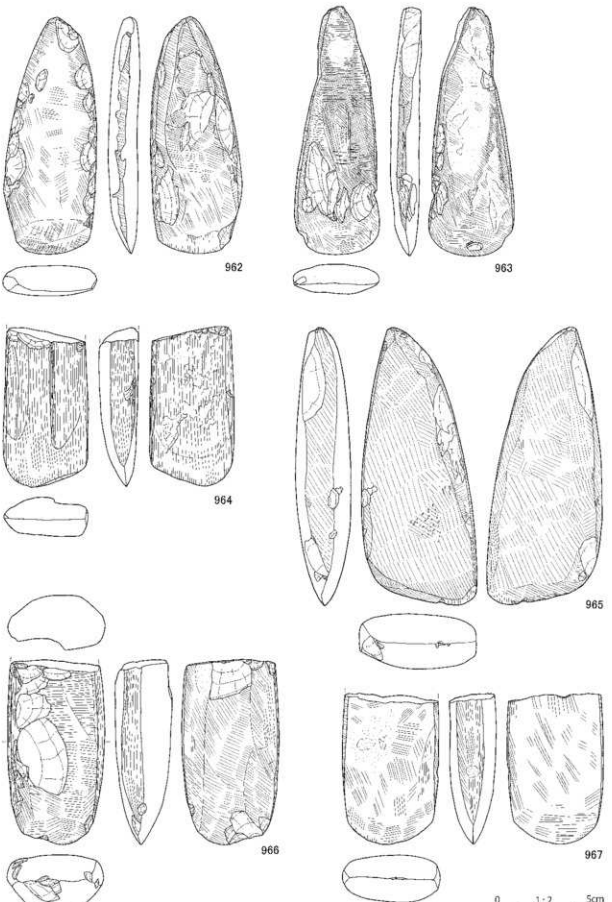
図Ⅵ－81　石斧（1）



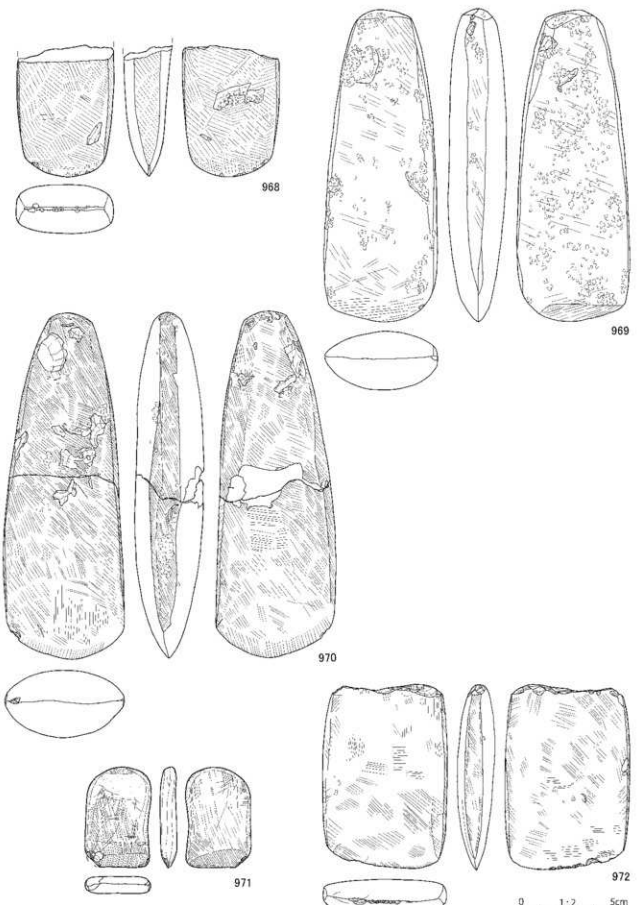
図Ⅵ−82　石斧（2）



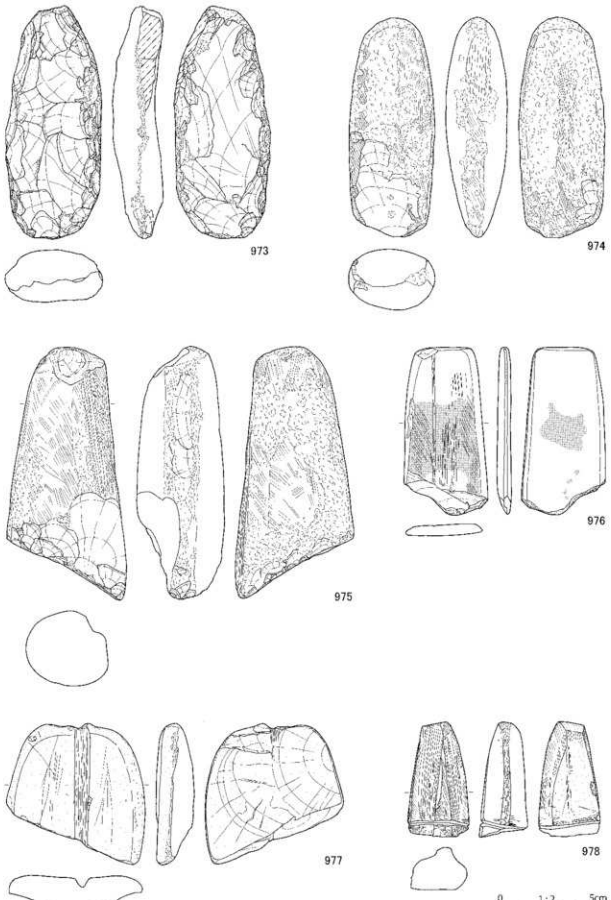
図Ⅵ－83　石斧（3）



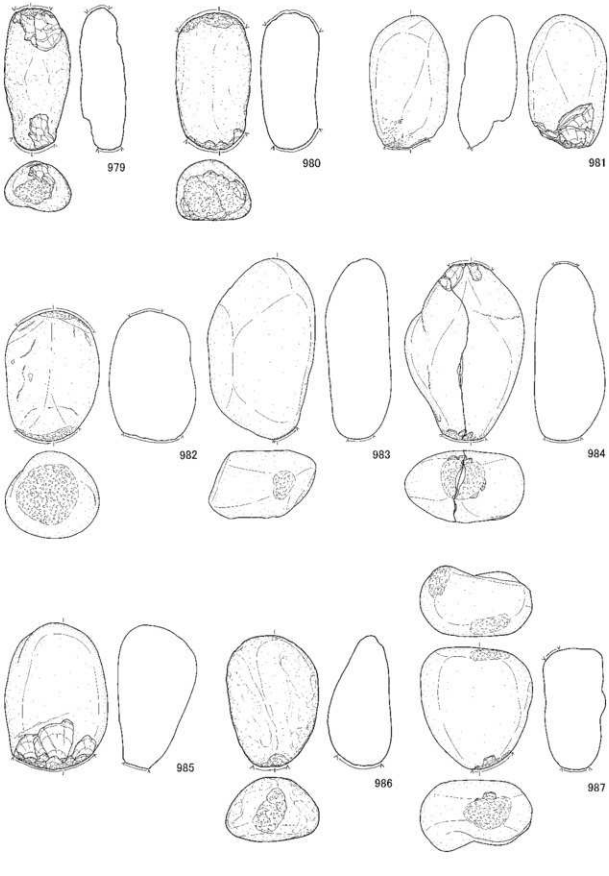
図Ⅵ－84　石斧（4）



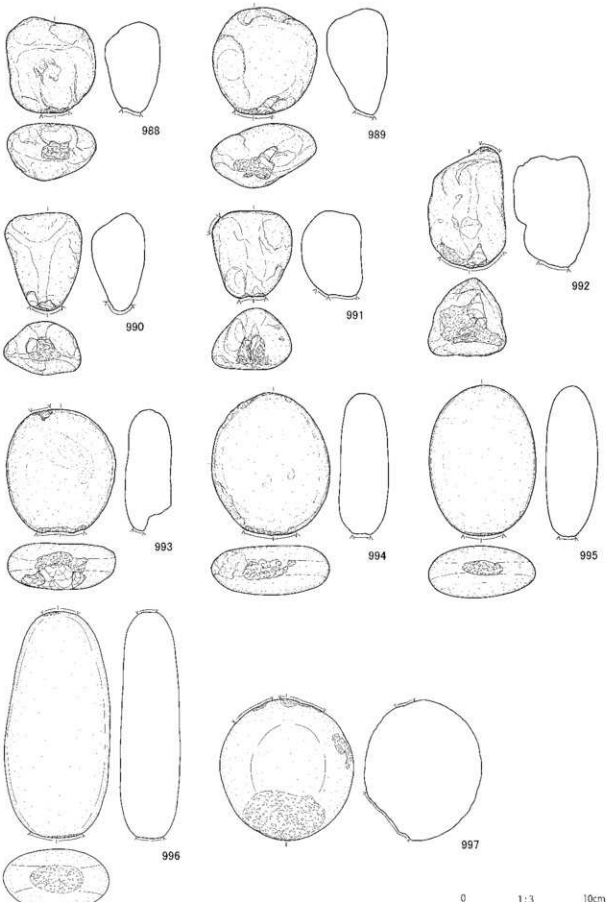
図Ⅵ－85　石斧（5）



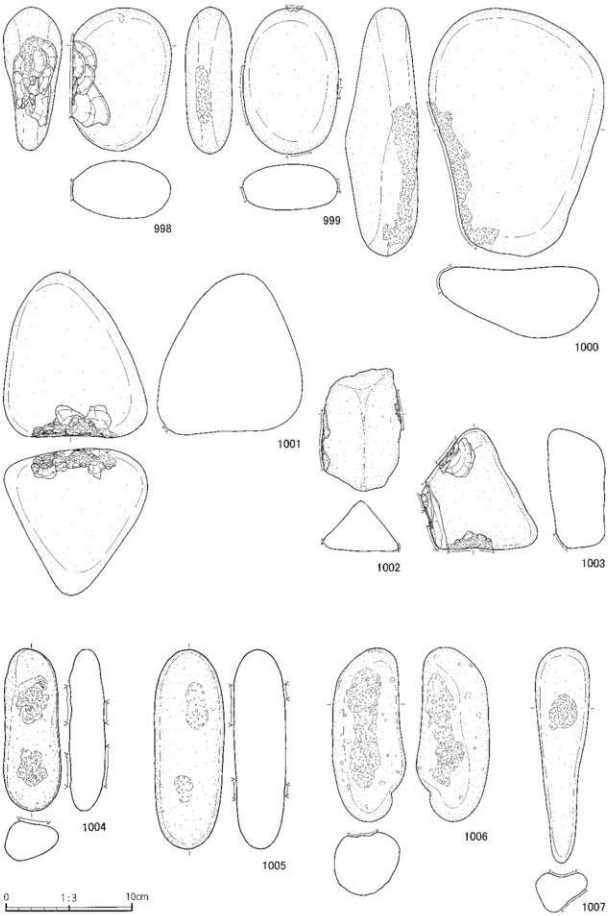
図Ⅵ－86　石斧（6）



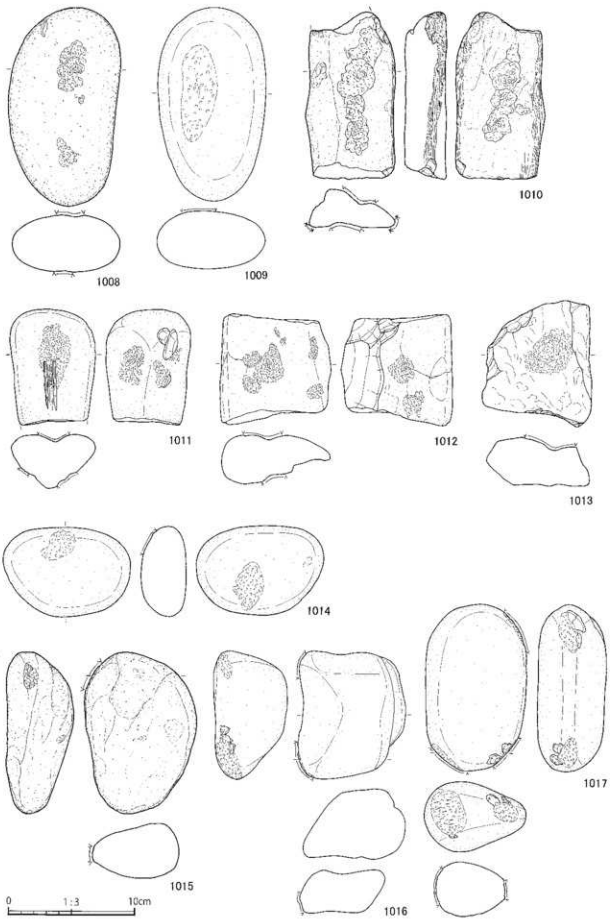
図Ⅵ－87　たたき石（1）



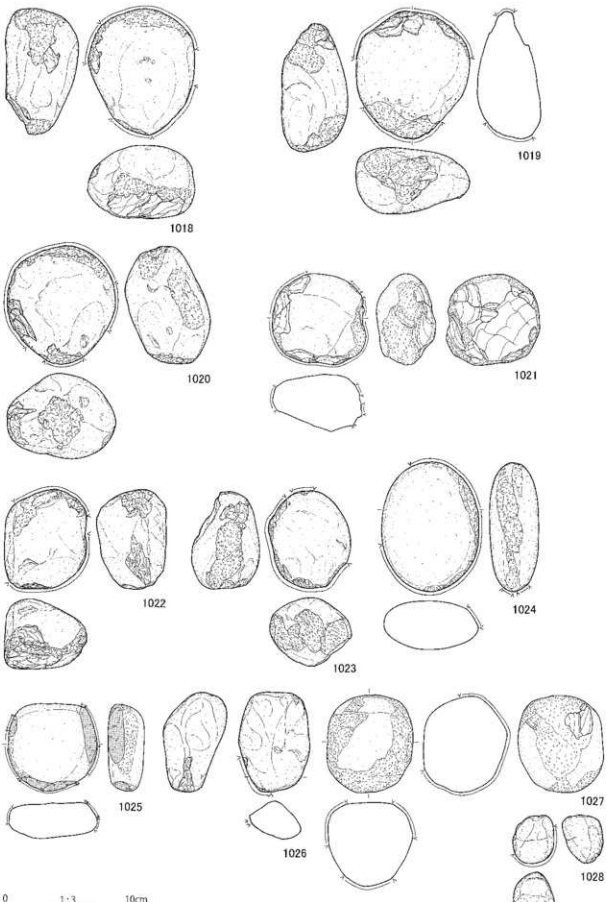
図Ⅵ－88　たたき石（2）



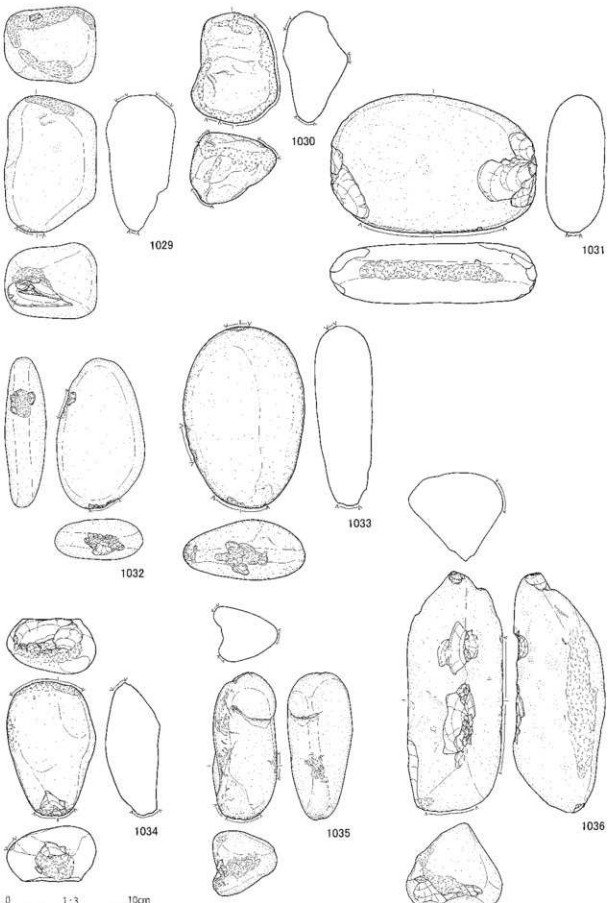
図Ⅵ－89　たたき石（3）



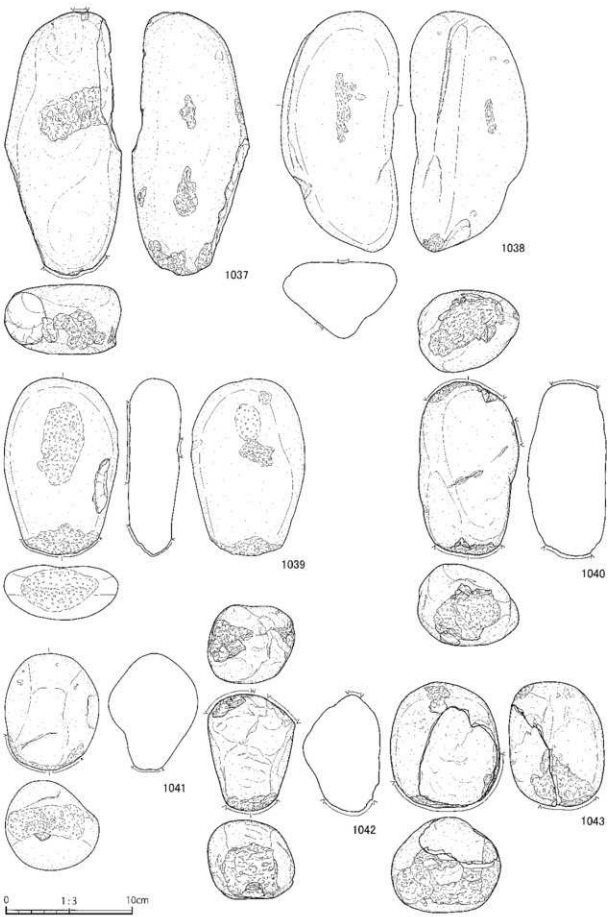
図Ⅵ－90　たたき石（4）


1018
1019
1020
1021
1022
1023
1024
1025
1026
1027
1028
0
1:3
10cm

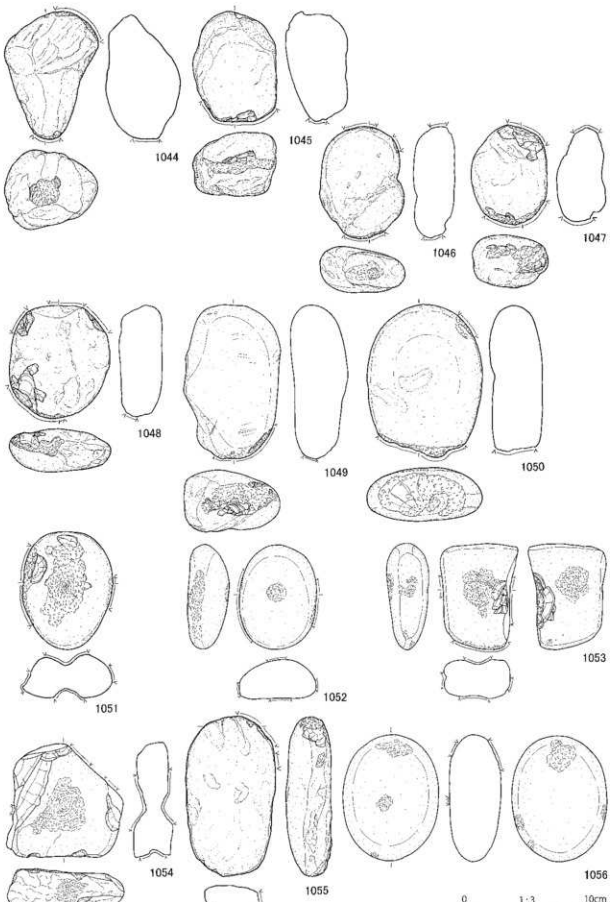
図Ⅵ－91　たたき石（5）



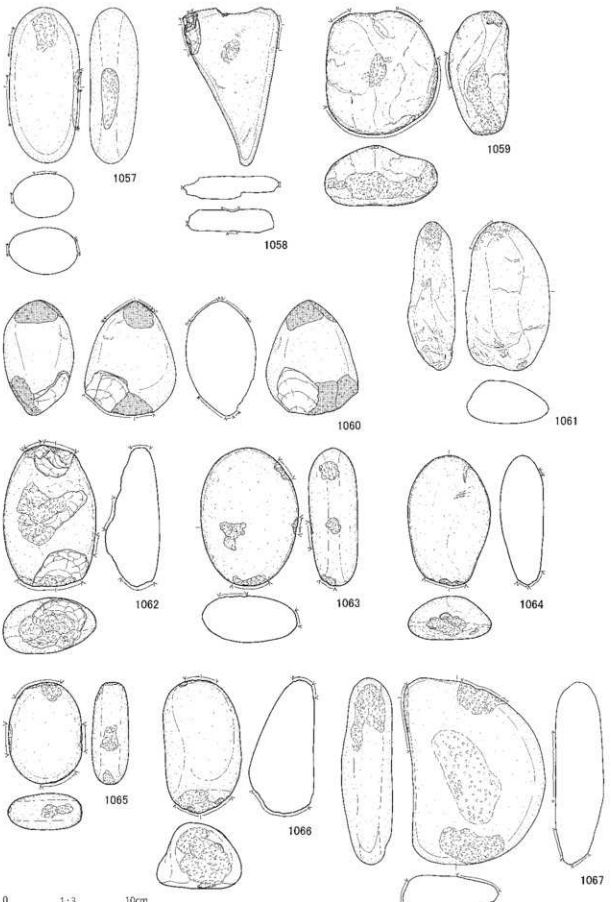
図Ⅵ−92　たたき石（6）



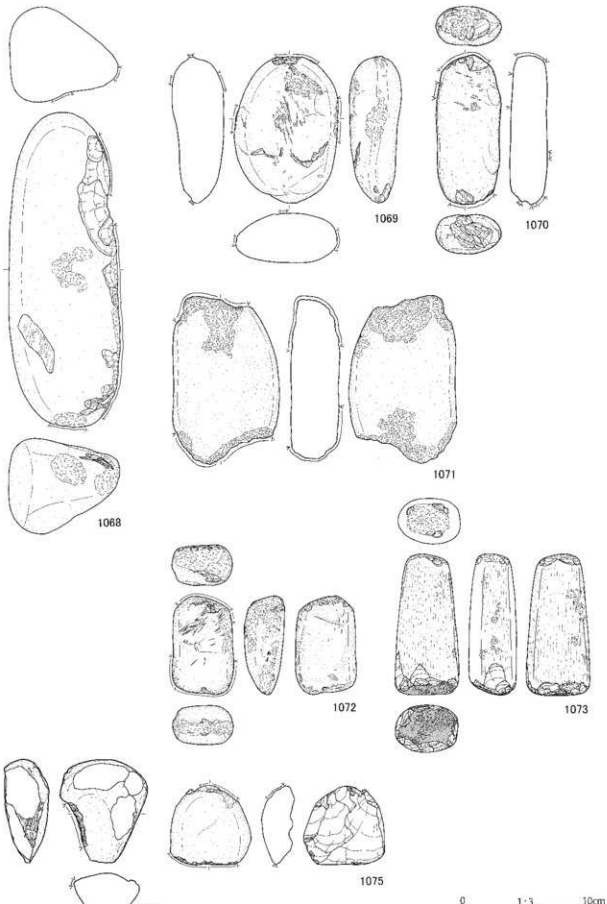
図Ⅵ－93　たたき石（7）


1044
1045
1046
1047
1048
1049
1050
1051
1052
1053
1054
1055
1056
0
1:3
10cm

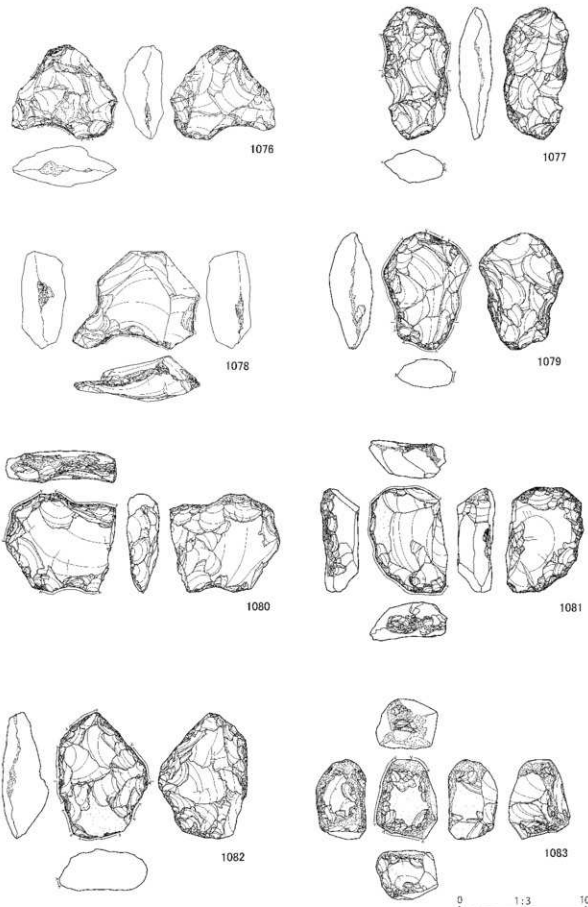
図Ⅵ－94　たたき石（8）


1057
1058
1059
1060
1061
1062
1063
1064
1065
1066
1067
0
1:3
10cm

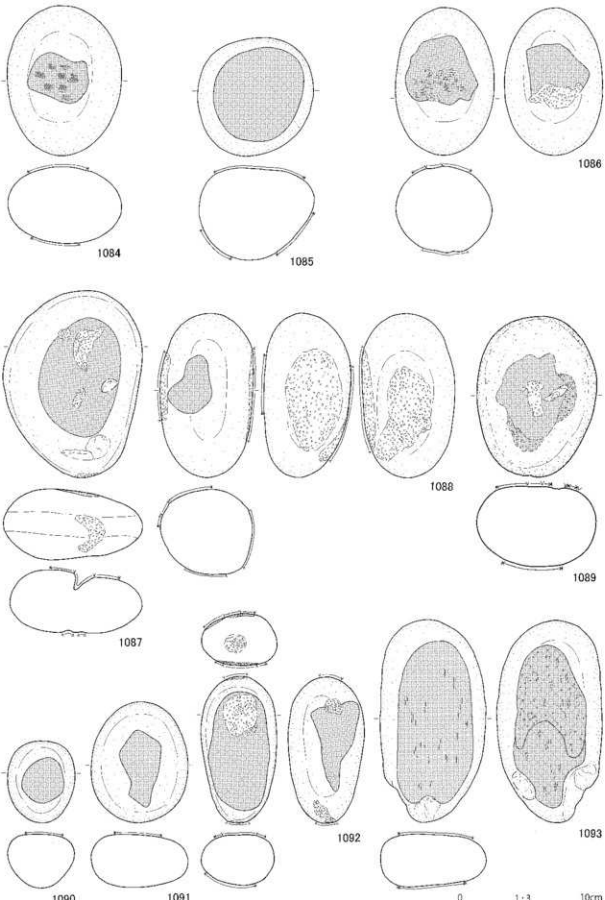
図Ⅵ－95　たたき石（9）



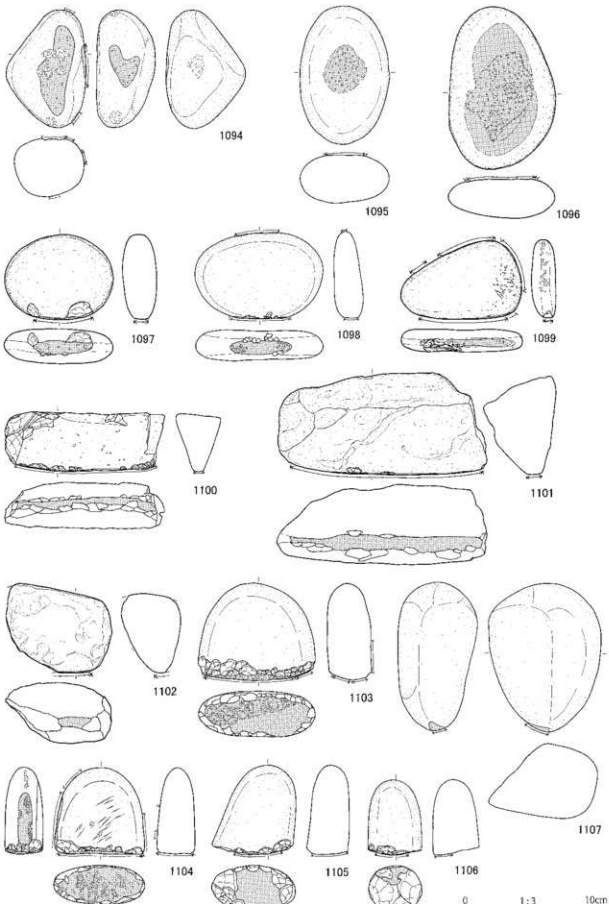
図Ⅵ－96　たたき石（10）



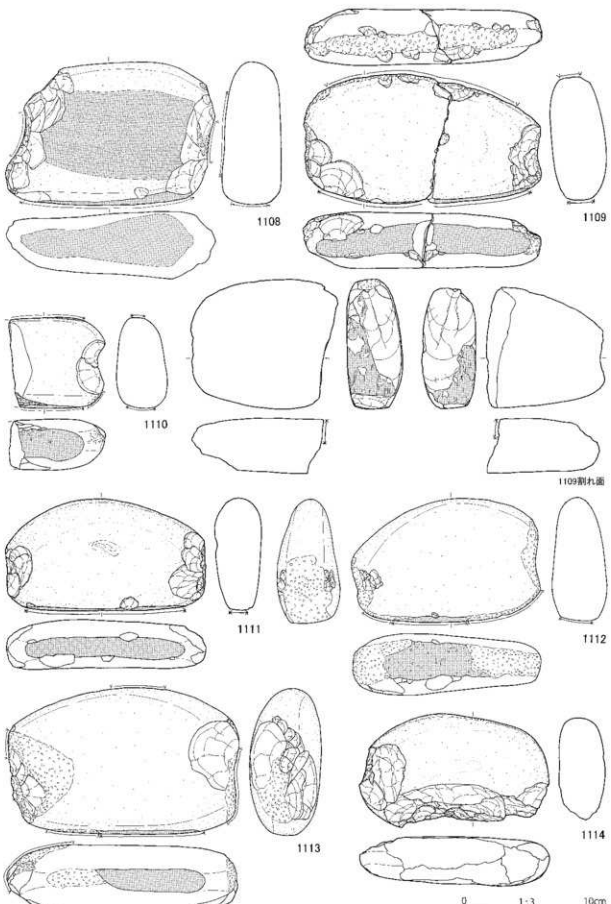
図Ⅵ－97　たたき石（11）



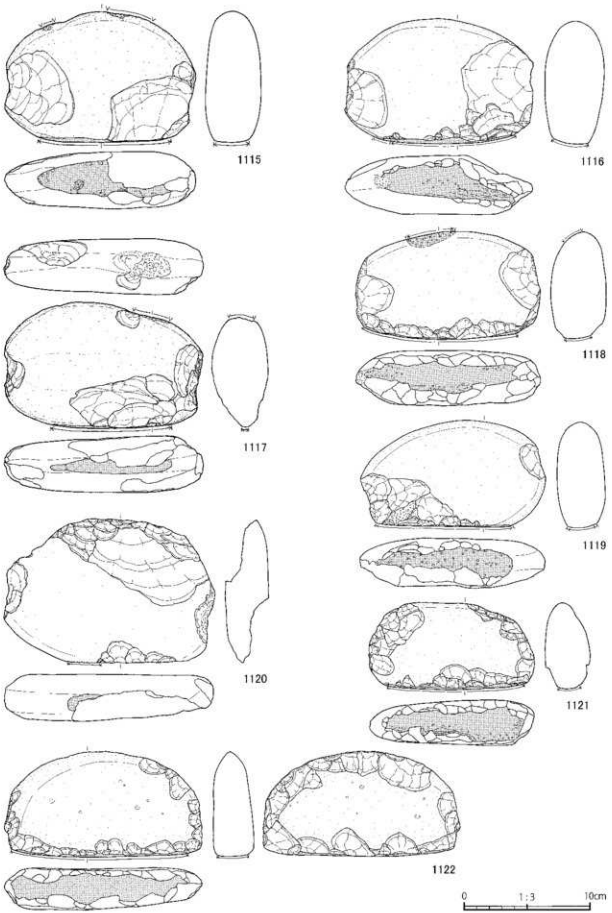
図Ⅵ－98　すり石（1）


1094
1095
1096
1097
1098
1099
1100
1101
1102
1103
1104
1105
1106
1107
0
1:3
10cm

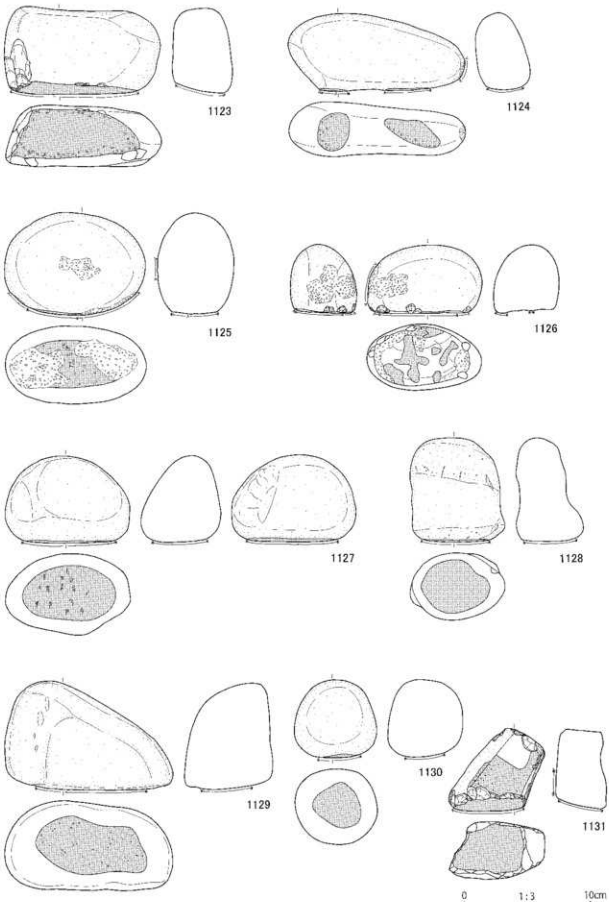
図Ⅵ－99　すり石（2）



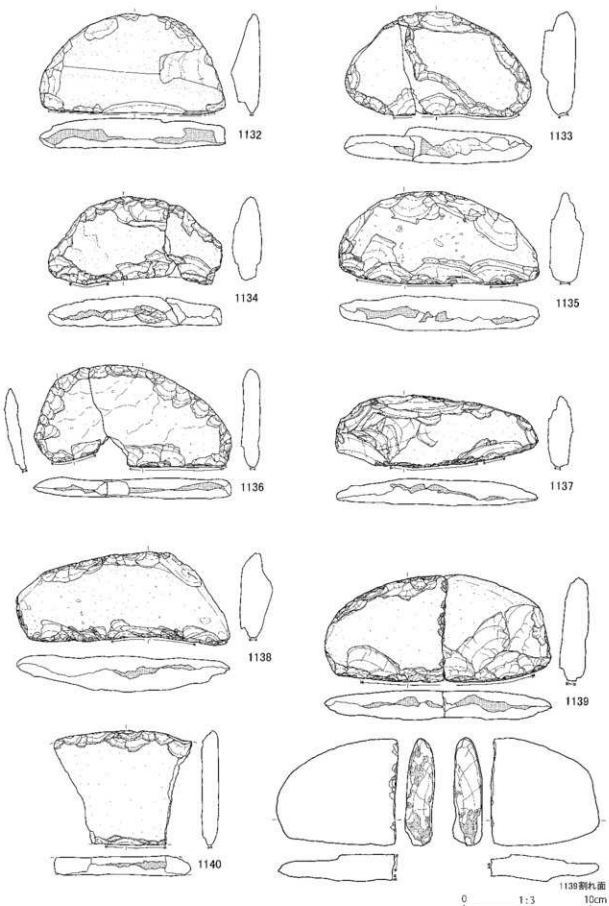
図Ⅵ－100　すり石（3）



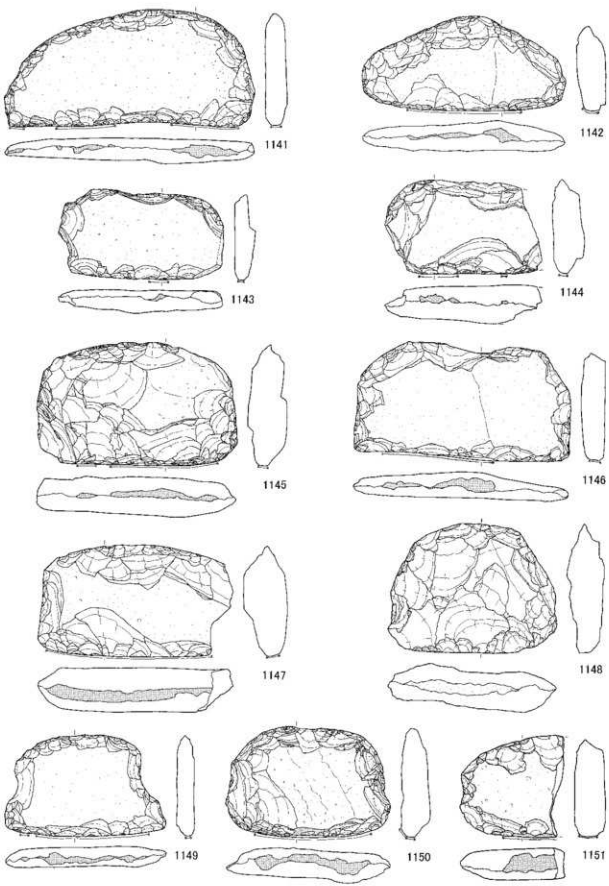
図Ⅵ－101　すり石（4）



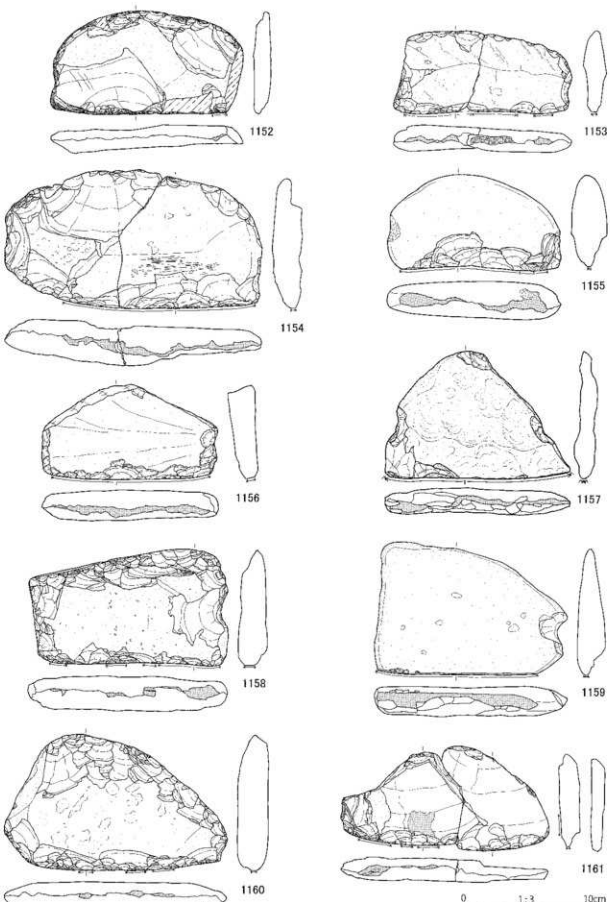
図Ⅵ－102　すり石（5）



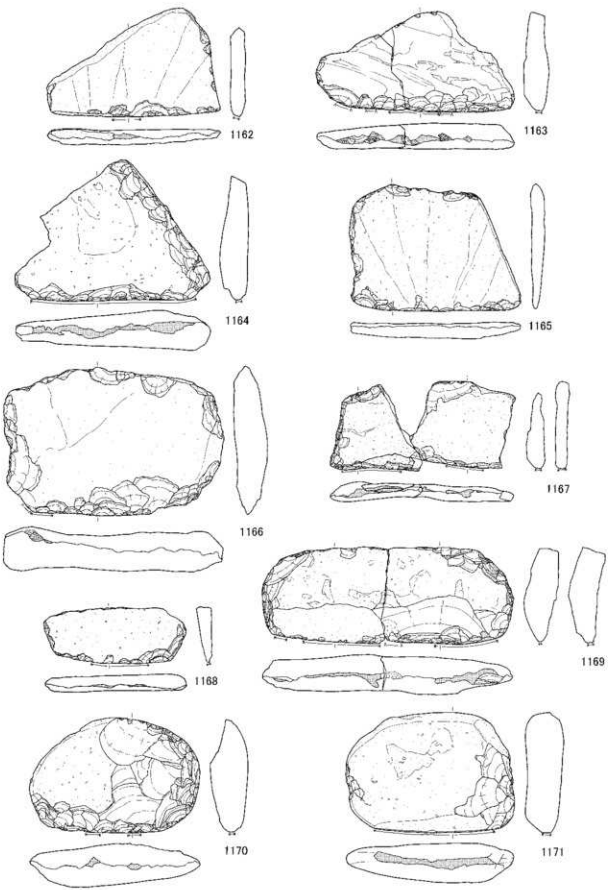
図Ⅵ－103　扁平打製石器（1）



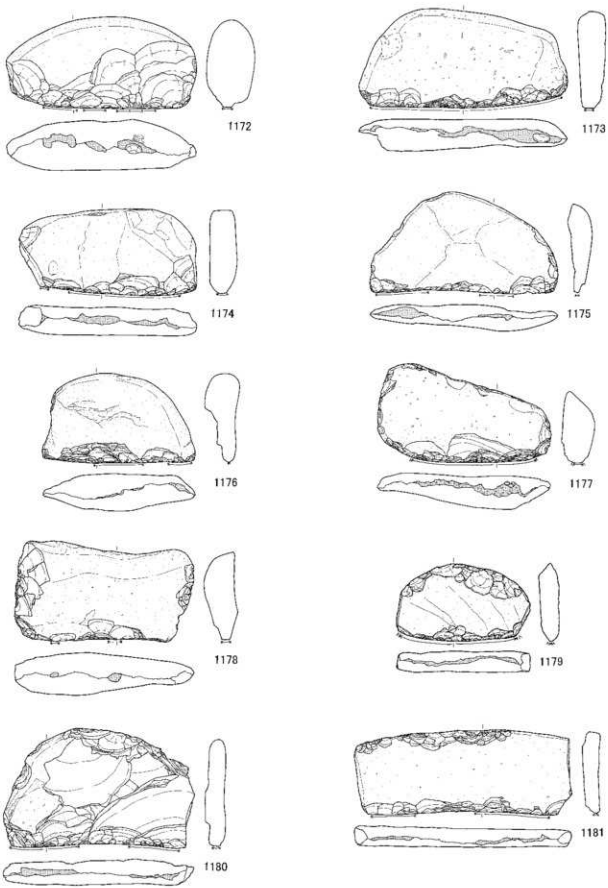
図Ⅵ－104　扁平打製石器（2）



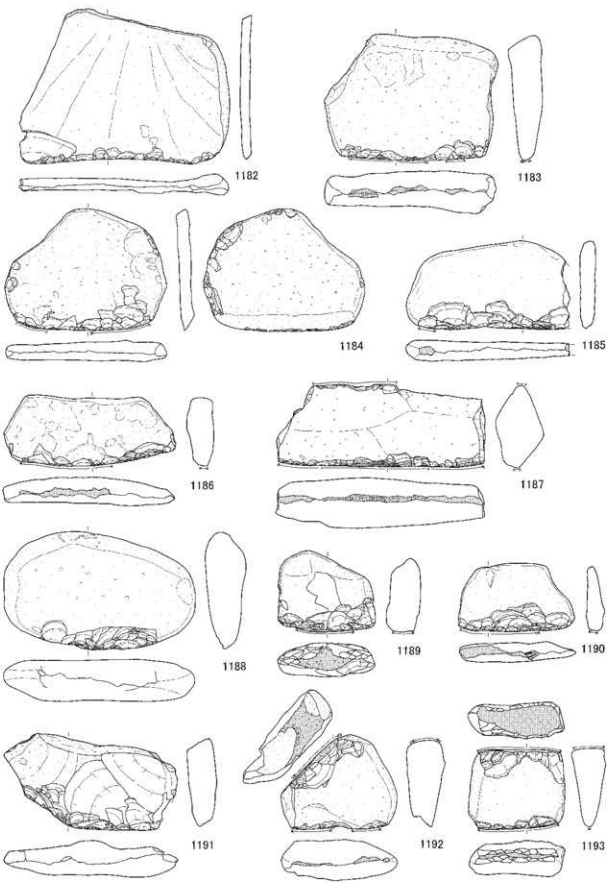
図Ⅵ－105　扁平打製石器（3）



図Ⅵ－106　扁平打製石器（4）



図Ⅵ－107　扁平打製石器（5）



図Ⅵ－108　扁平打製石器（6）

（1528～1531）、北海道式石冠形（1532～1548）、ドーム形（1549～1561）、扁平～楕円体形（1562～1572）、直方体状（1573～1575）、不定形（1576・1577）がある。

管玉形（1526）

1526は丸みを帯びた三角柱状を呈するもの。

滑車形（1527～1531）

いずれも側面に溝が巡る。1527～1529は有孔で、1528・1529は両面穿孔、1527は穿孔方向は不明である。側面観は1528・1531のように平行四辺形状のものと、1529・1530のように長方形～楕円形状のものがある。1527は接合しない同一個体片で、穴が大きく、環状に近い。正面の平坦面にも溝が巡る。1528はやや緻密な石材で、やや重い。1529は摩耗してやや不明瞭ながら、右側面に短い左右方向の溝が2本みられる。1530の正面には窪みと、その中心部の突起が同心円状に作出され、石棒1480の端部と類似する。

北海道式石冠形（1532～1548）

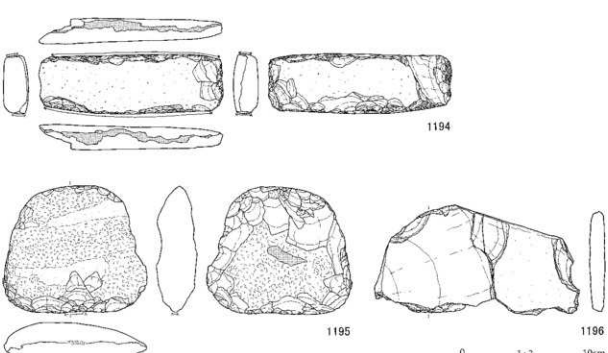
上部に握り部が作出され、平坦な底面をもつ。握り部と体部の境界は、溝状のくびれとなるものが多い（1534・1537など）。底面は平坦で、器表面の調整よりも滑らかなものが多い。両面や側面との角は明瞭で、1542・1548のように鋭角なものがある。

典型的な形態は1532・1533・1543のようなものとみられるが、1534～1542、1544・1546・1548のような体部が極端に小さい、あるいは体部のほうが小さいものの方が多い。1532・1533と1534・1537・1546、また、1543と1542を比較すると、前者の体部が底面からすり減って、上部のみが残存した状態が後者の形態であると見なせる。

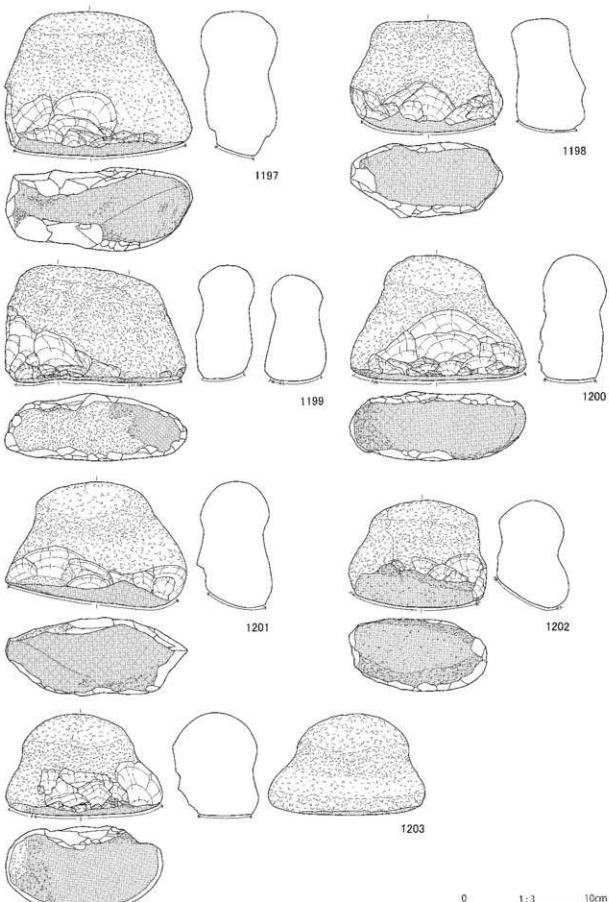
石製品としたが、体部の極端に小さいものはすり減った形態とみなせること、下面が滑らかで両面・側面と明瞭な角をなすことから、底面はすり行為の機能面であると考えられる。用途は不明である。

1532～1539は上面観が長方形～楕円形のもの。1532・1533は体部上面に平坦面をもつ。1535・

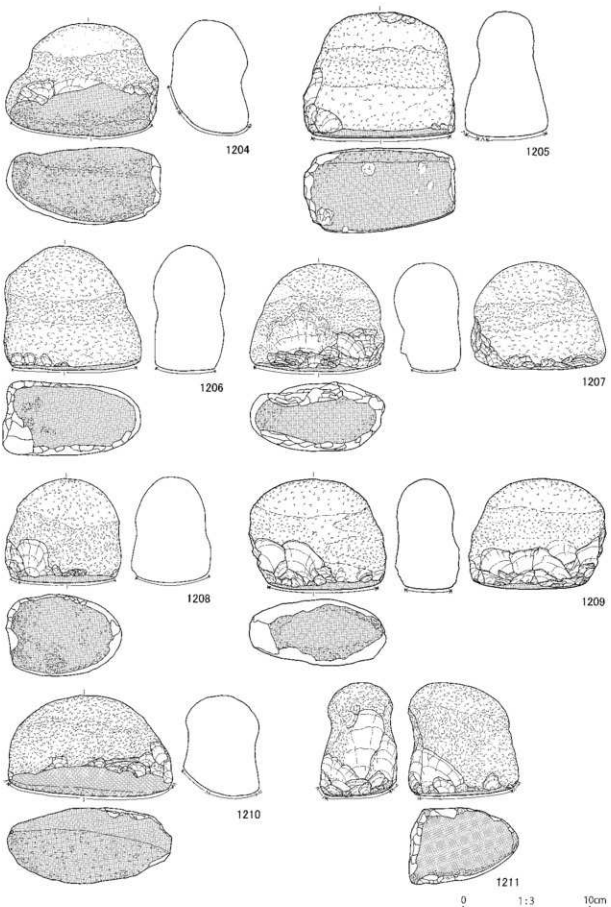
（191ページへ）



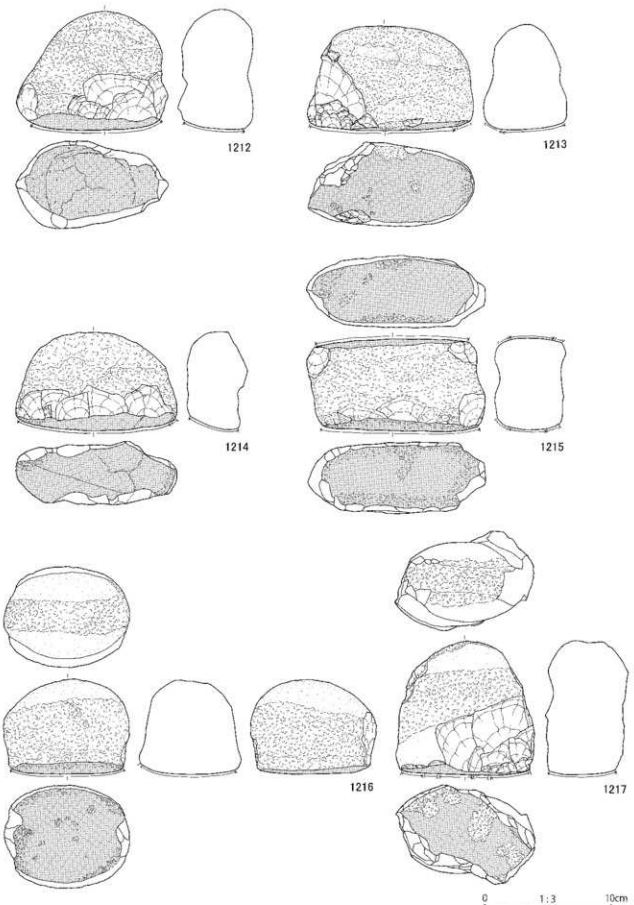
図Ⅵ－109　扁平打製石器（7）



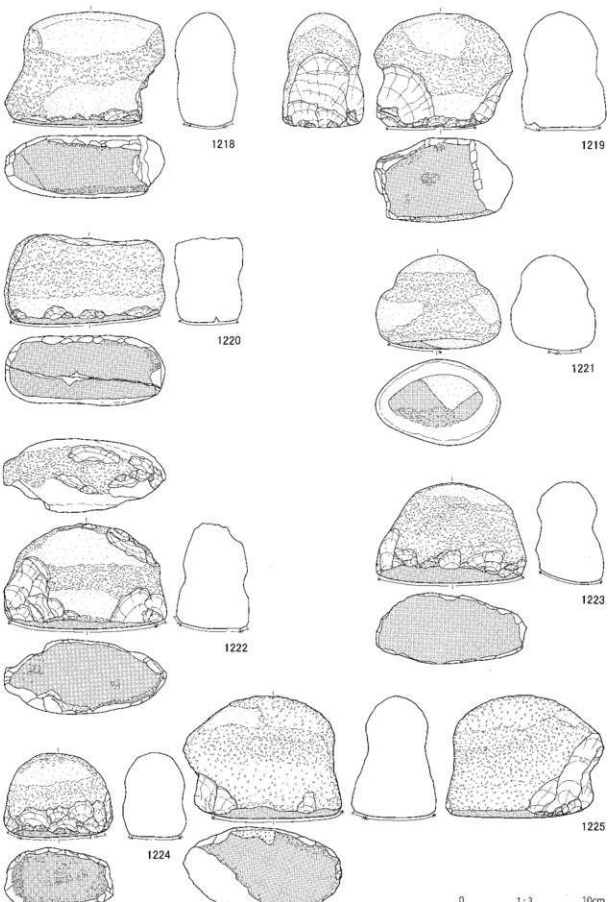
図Ⅵ－110　北海道式石冠（1）



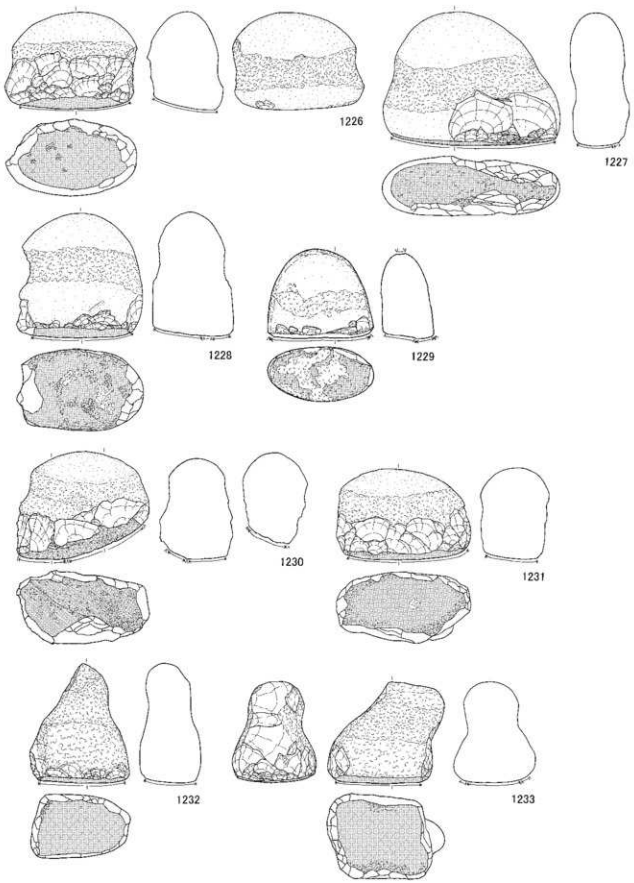
図Ⅵ－111　北海道式石冠（2）



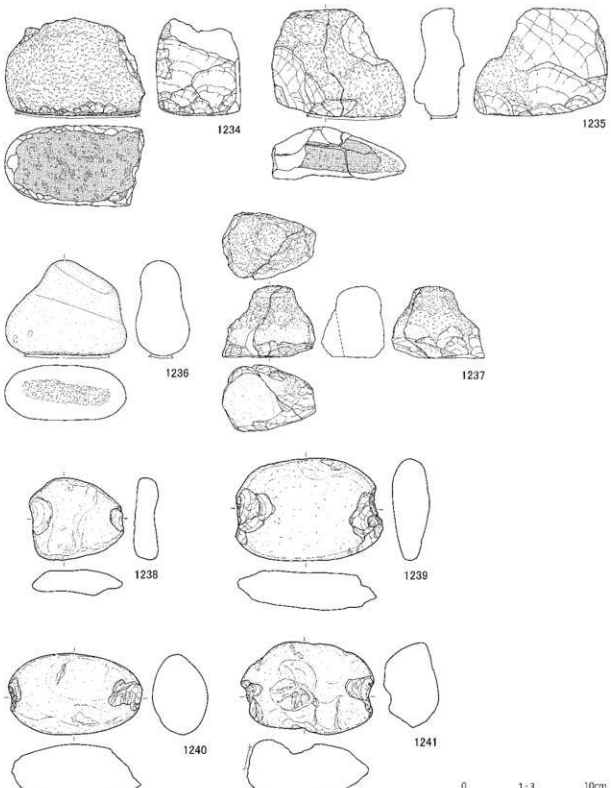
図Ⅵ－112　北海道式石冠（3）



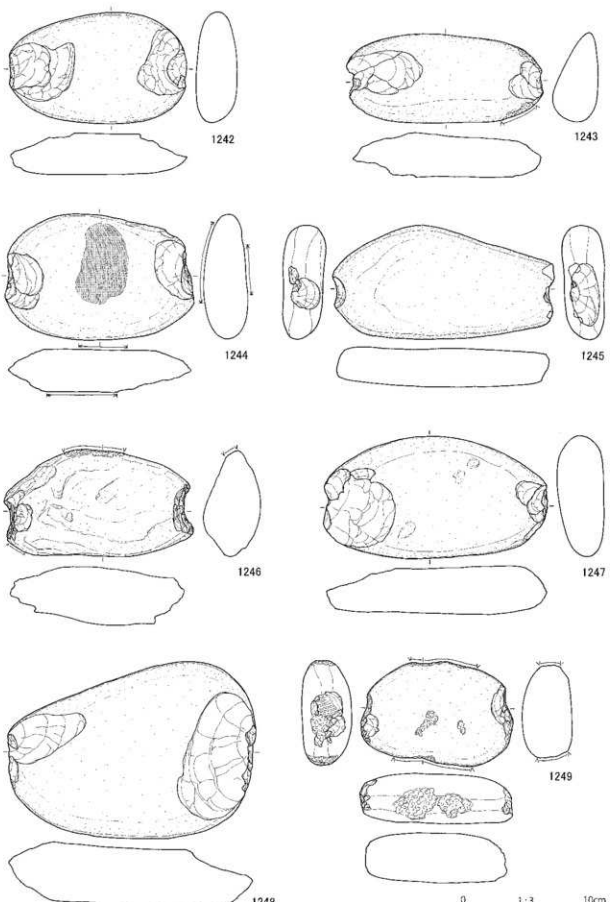
図Ⅵ－113　北海道式石冠（4）



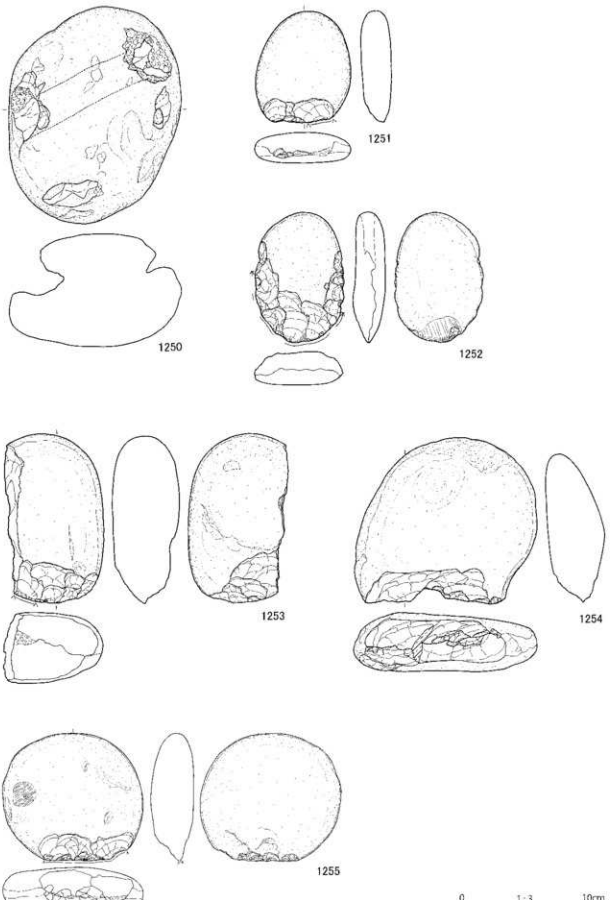
図Ⅵ－114　北海道式石冠（5）



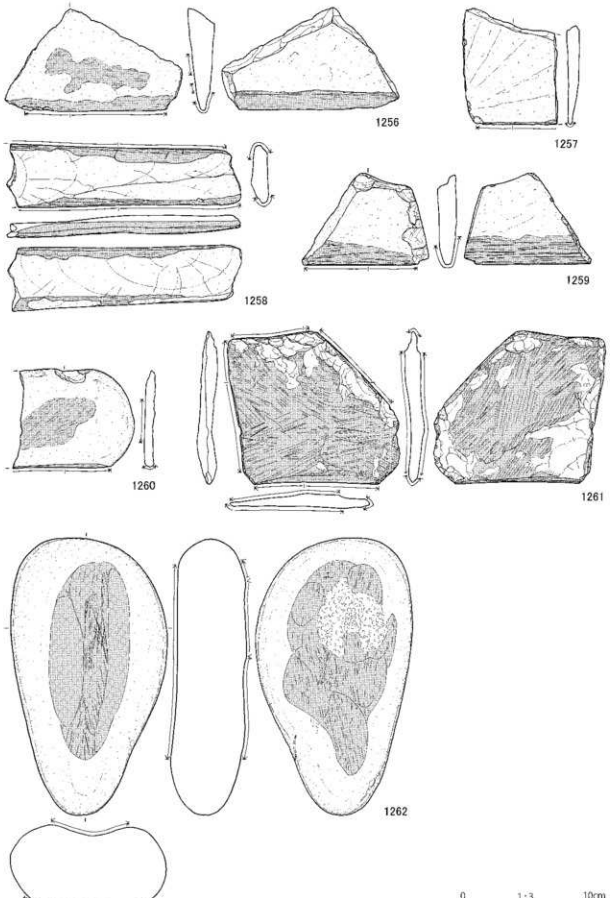
図Ⅵ－115　北海道式石冠（6）、石錘（1）



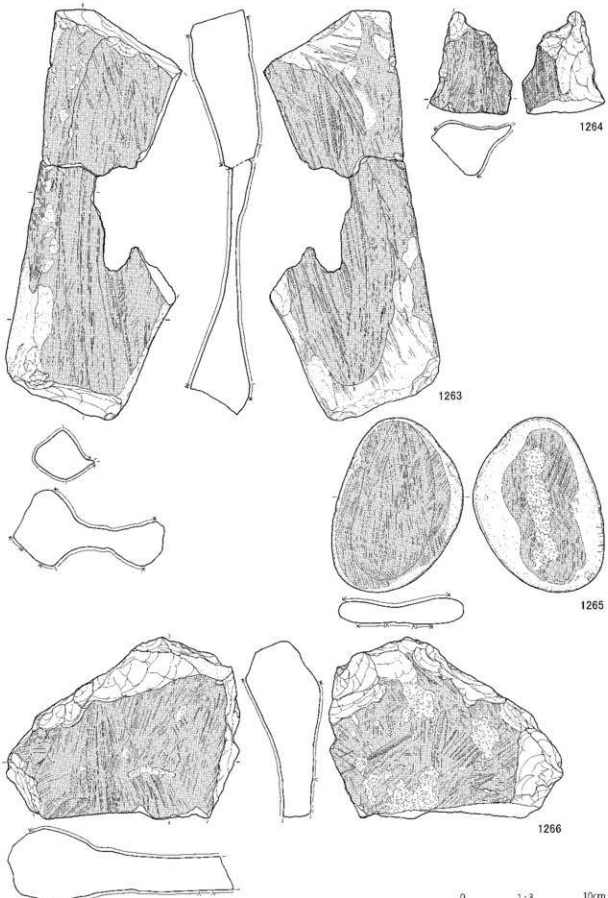
図Ⅵ−116　石錘（2）



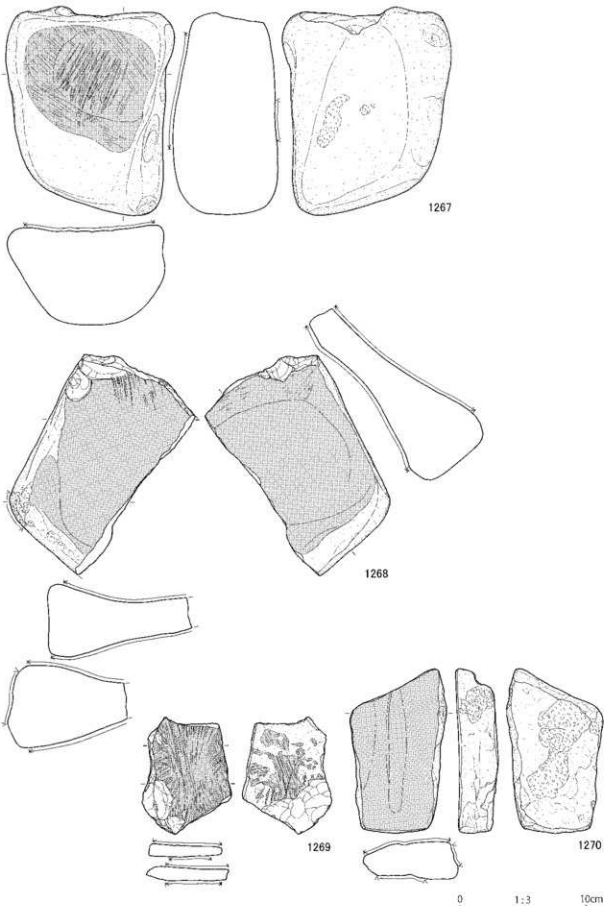
図Ⅵ－117　石錘（3）、礫器



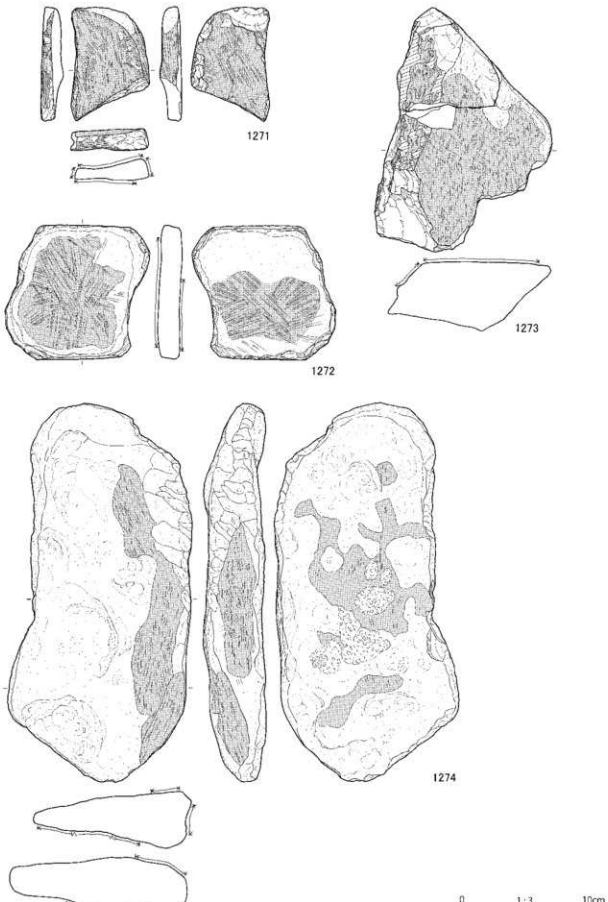
図Ⅵ－118　石鋸、砥石（1）



図Ⅵ－119　砥石（2）

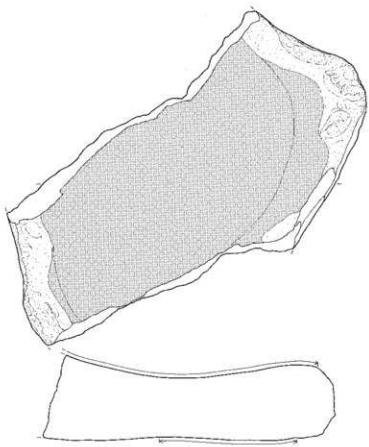


図Ⅵ－120　砥石（3）



図Ⅵ－121　砥石（4）

1539は底面にやや凹凸があり、それ以外では底面は非常に平坦である。1540～1545は上面観がほぼ円形を呈するもの。1545の下面はやや凹凸があり、それ以外では底面は非常に平坦である。1540は上面に刻み状の溝がみられるが、意図的なものかどうかは不明。1546は上面観が正方形のもの。1547は縦に分割された形態のもの。裏面には握り部の整形はなされない。1548はすり減りにより本来の上面観が不明である。底面は非常に平坦で滑らかで、正面右半～右側面では握り部の溝まで磨滅している。（192ページへ）



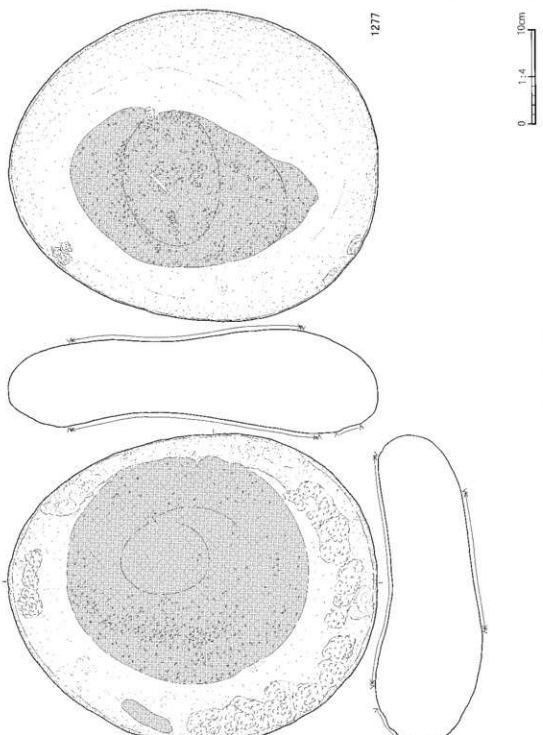
図Ⅵ－122　台石石皿（1）

ドーム形のもの（1549〜1561）

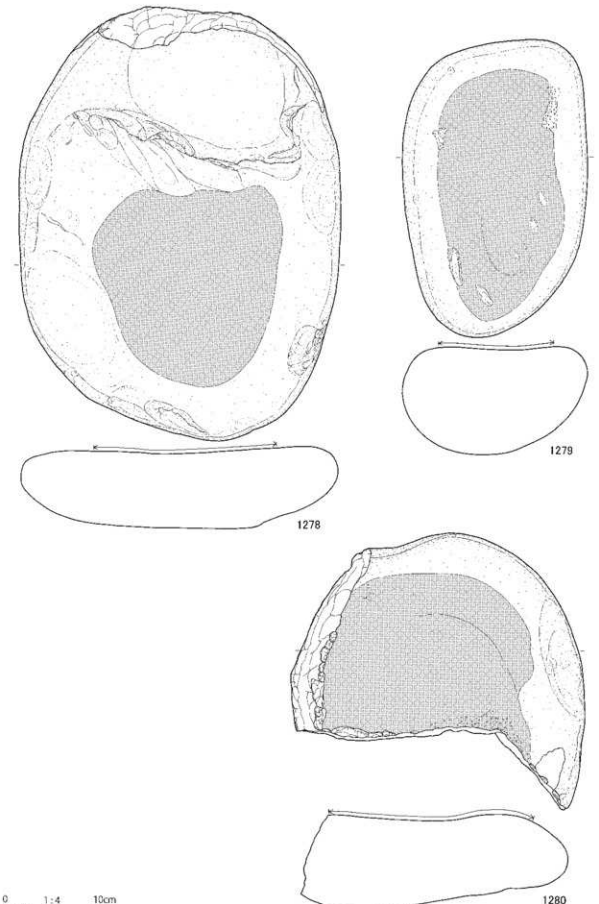
上面観はおおむね楕円形。底面は北海道式石冠形と同様に平坦なものが多く、北海道式石冠形と同様、底面が機能面であるとみられる。

1549〜1551は北海道式石冠形のものを再利用したもの。北海道式石冠形とした1547もここに含めてよいかもしれない。1549・1551は側縁部の破片の割れ面を底面としたもので、右側面に1552のような体部上面の平坦面や、半割された握り部がみられる。1550は右側面に平坦面と握り部状の突起

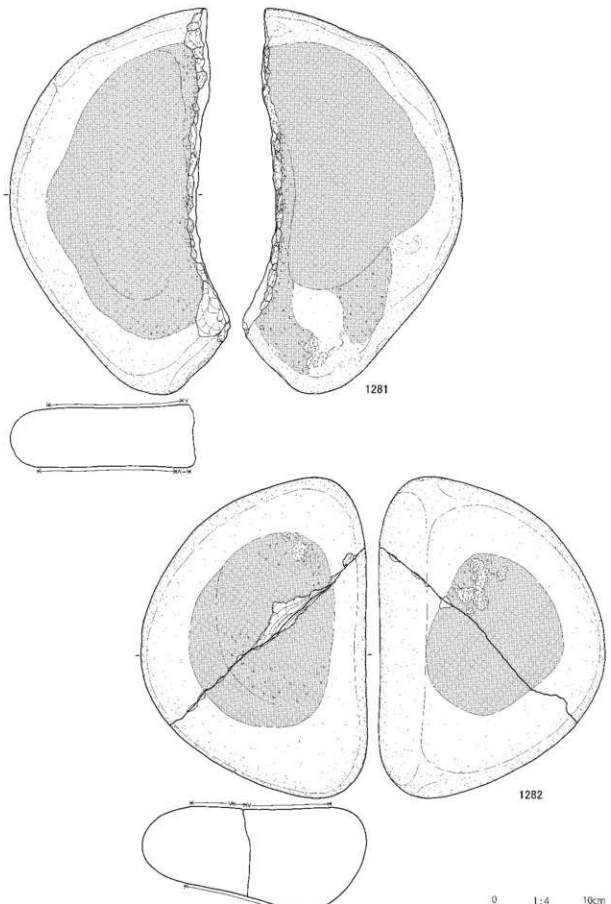
（204ページへ）



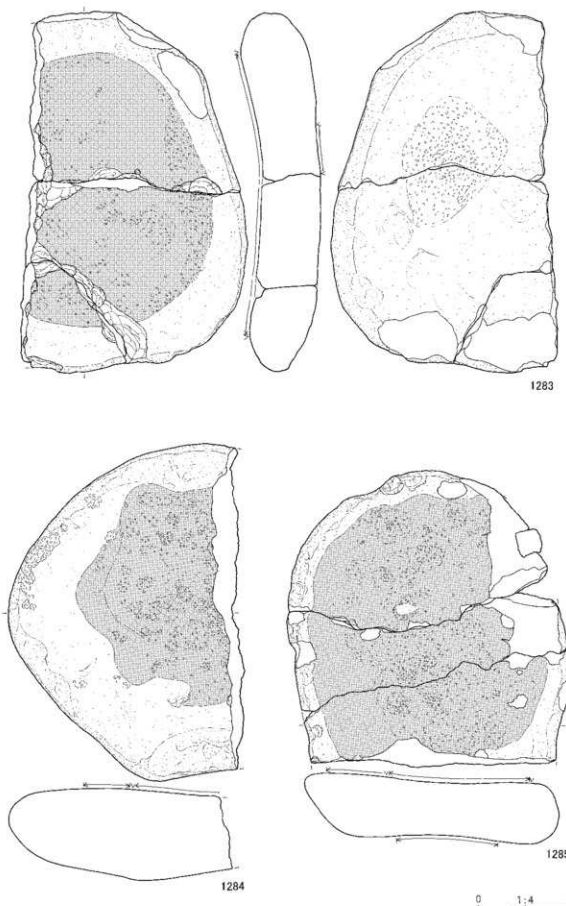
図Ⅵ−123　台石石皿（2）



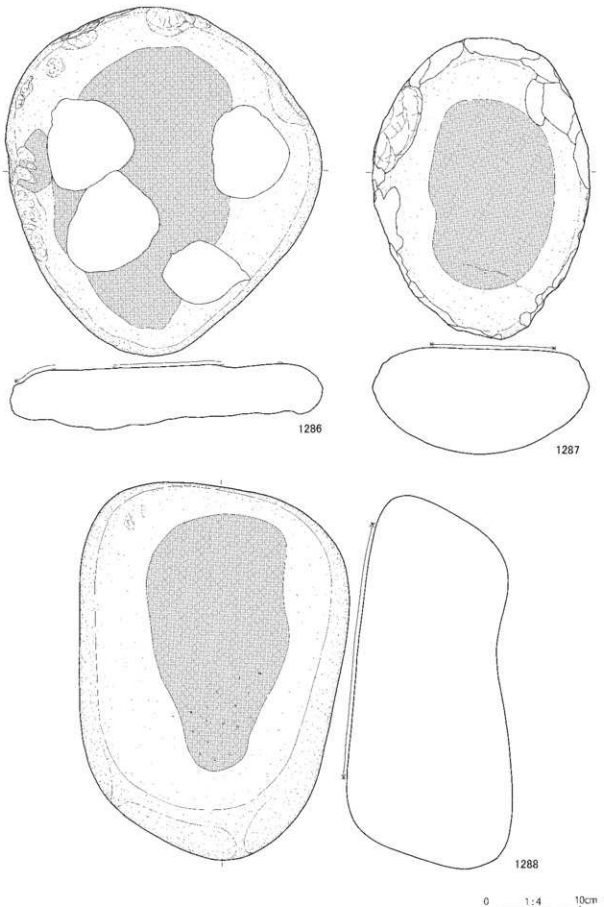
図Ⅵ－124　台石石皿（3）



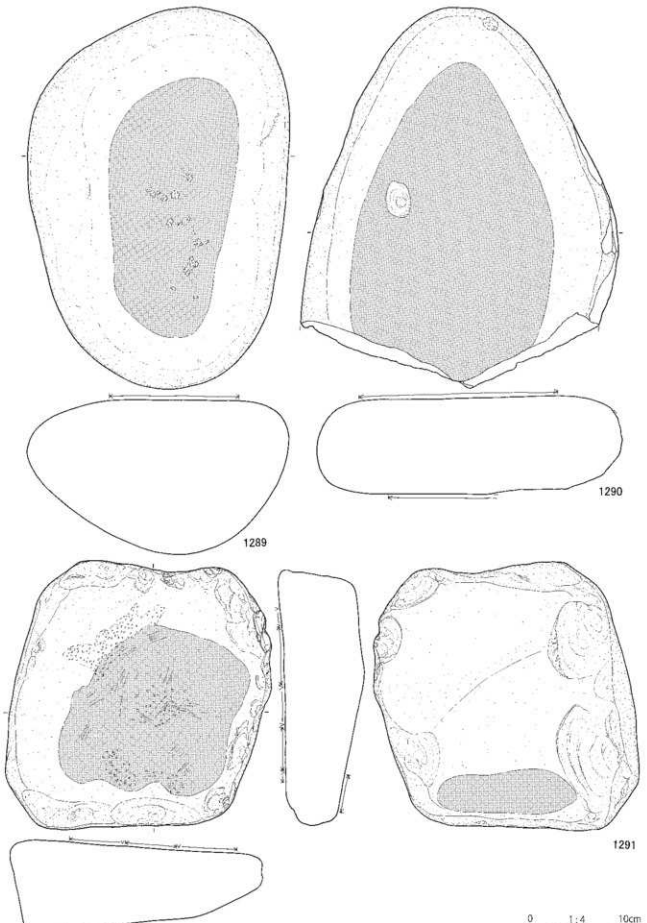
図Ⅵ－125　台石石皿（4）



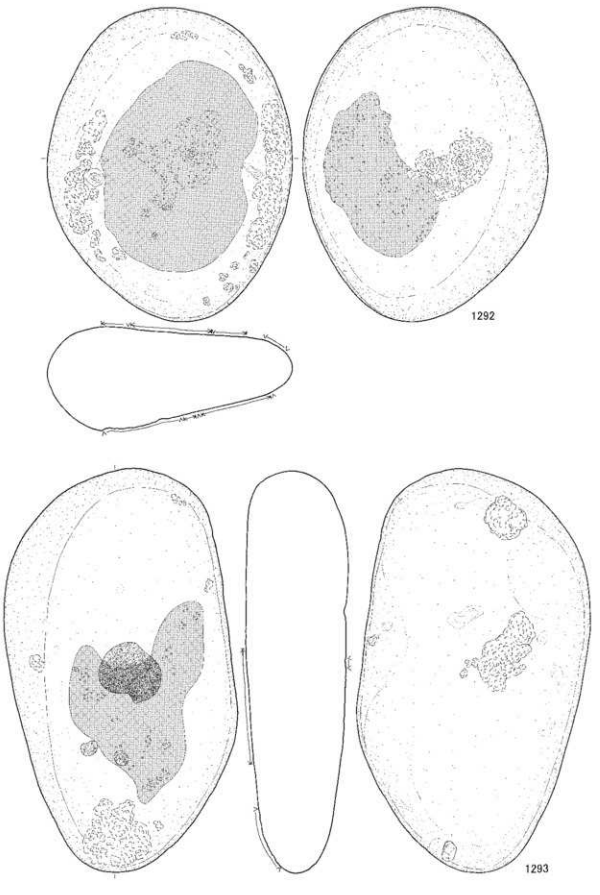
図Ⅵ－126　台石石皿（5）



図Ⅵ－127　台石石皿（6）

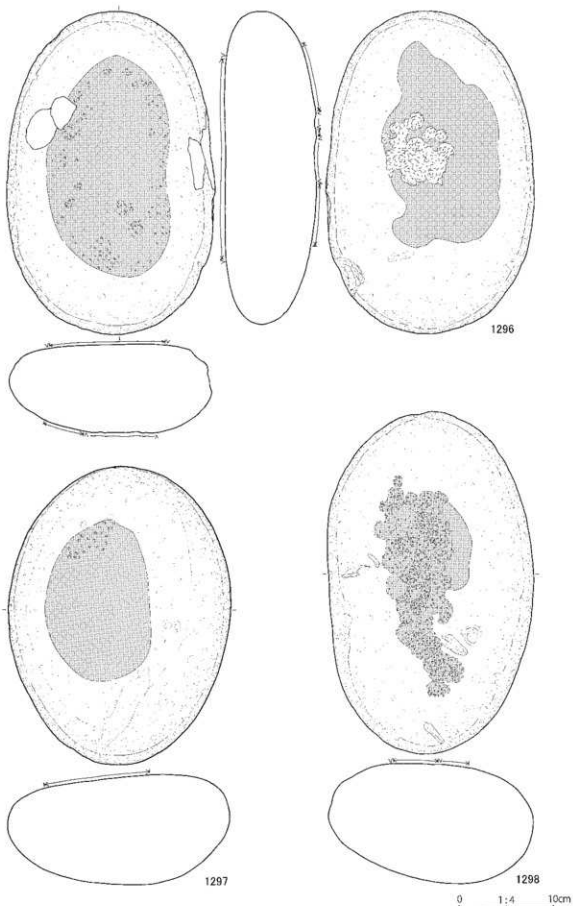


図Ⅵ－128　台石石皿（7）

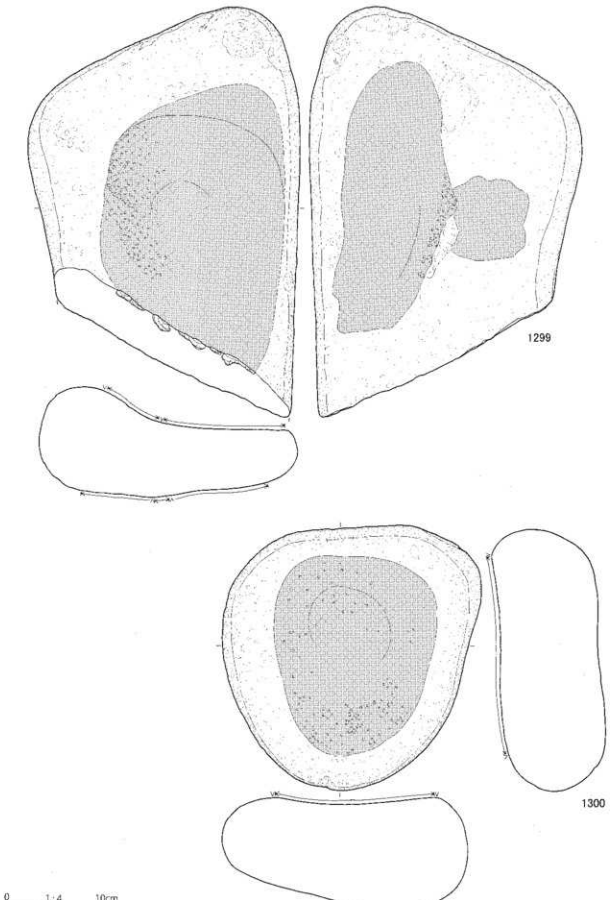


図Ⅵ－129　台石石皿（8）

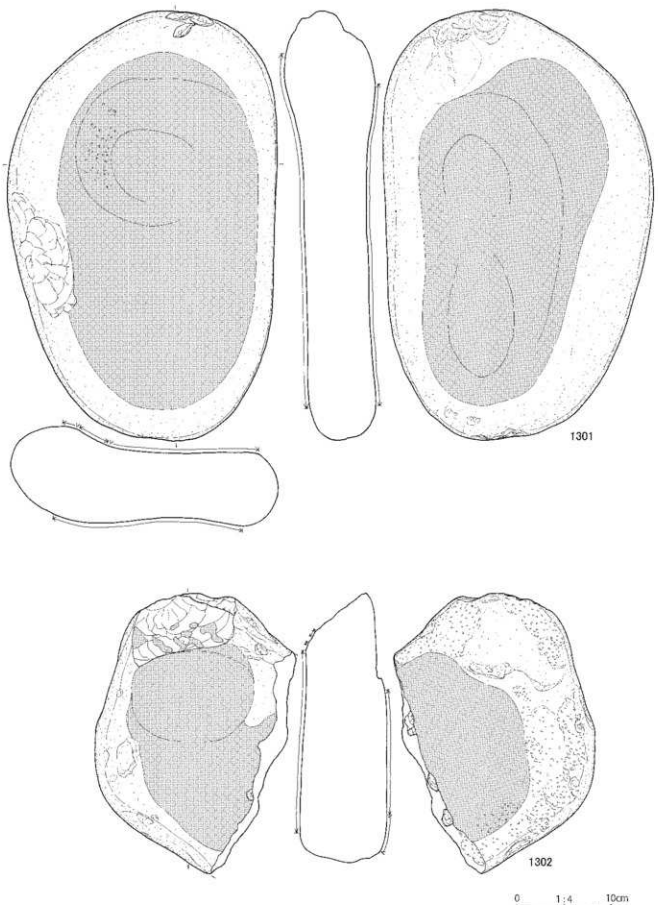
図Ⅵ－130　台石石皿（9）



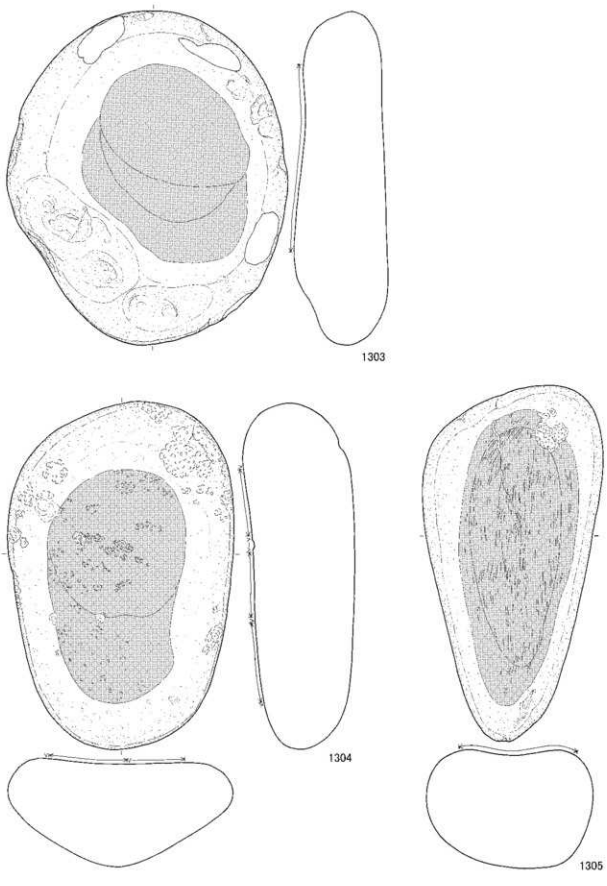
図Ⅵ－131　台石石皿（10）



図Ⅵ－132　台石石皿（11）

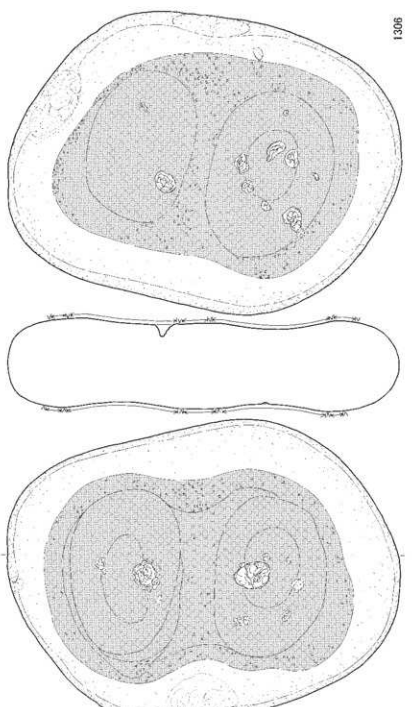


図Ⅵ－133　台石石皿（12）



図Ⅵ－134　台石石皿（13）

がみられるが、底面にあたる左側面は平坦ではないため、未成品を再利用したとみられる。1552・1554・1558はおおむね半球状に整形されるもの。1558の底面は丸みがあり、中央に溝がみられる。溝部分は被熱により黒色化し、周囲の素材の空隙に炭化物が充填している。1553は四角錐状で底面に丸みがある。1555・1557はやや不整形で、1555は底面と正面下半の2つの平坦面をもつ。1556は多面体状。1559は扁平なドーム状で、底面は他と同様に平坦。1560・1561は有孔のもの。1560は短軸方向に、底面と平行する穿孔がなされる。1561は底面から垂直方向の穿孔がなされる。上面観がややくびれるように整形される。



図Ⅵ－135　台石石皿（14）

扁平～楕円体形のもの（1562～1572）

1562～1564は裏面が平坦なもの。北海道式石冠形と同様、平坦面が機能面である可能性がある。1565～1572は明瞭な平坦面をもたないもの。1567は平面形が五角形。1568は平面形が三角形で、中央に穿孔がある。1569は紡錘形状。正面に溝状の浅い窪みが2か所ある。1572も紡錘形状になるかもしれない。

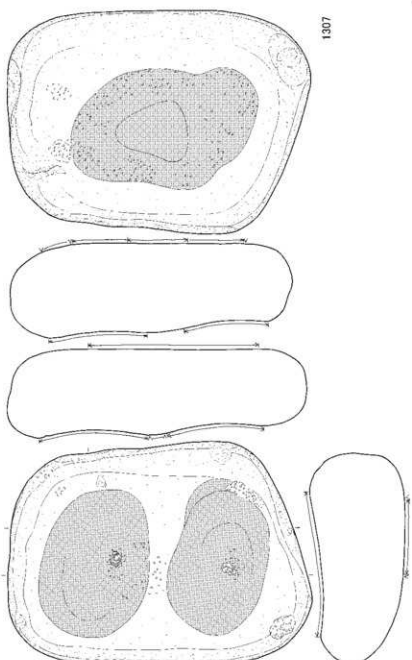
直方体状のもの（1573～1575）

1573は上面～右側縁に線刻様の溝がみられる。1574は上下面に丸みのある角柱状で、4面に窪みが形成される。1575の正面には溝と溝の末端に窪みがあり、意図的なものとみられる。

不整形のもの（1576・1577）

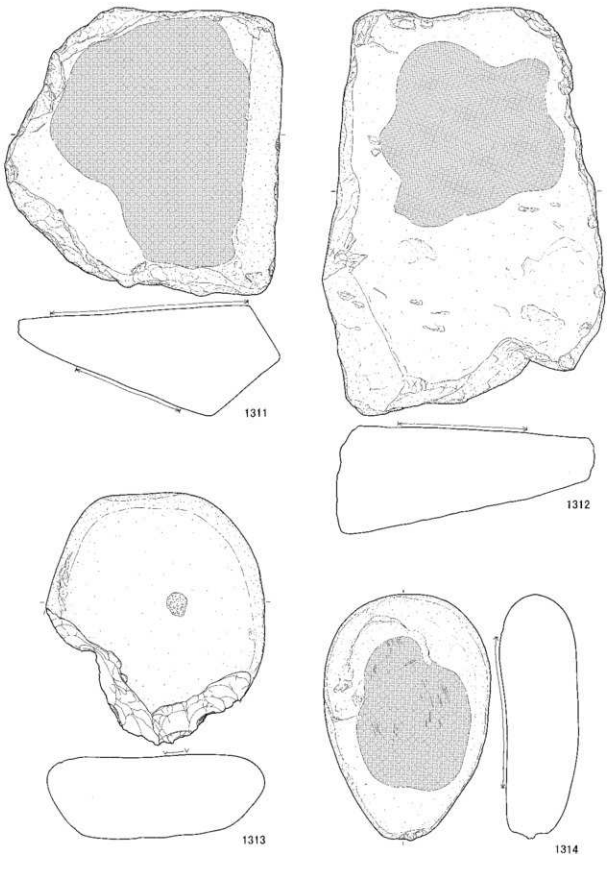
1576は多面体状。1577は両面・側面に横方向の多数の溝状の加工がなされ、とぐろのような形態

（219ページへ）

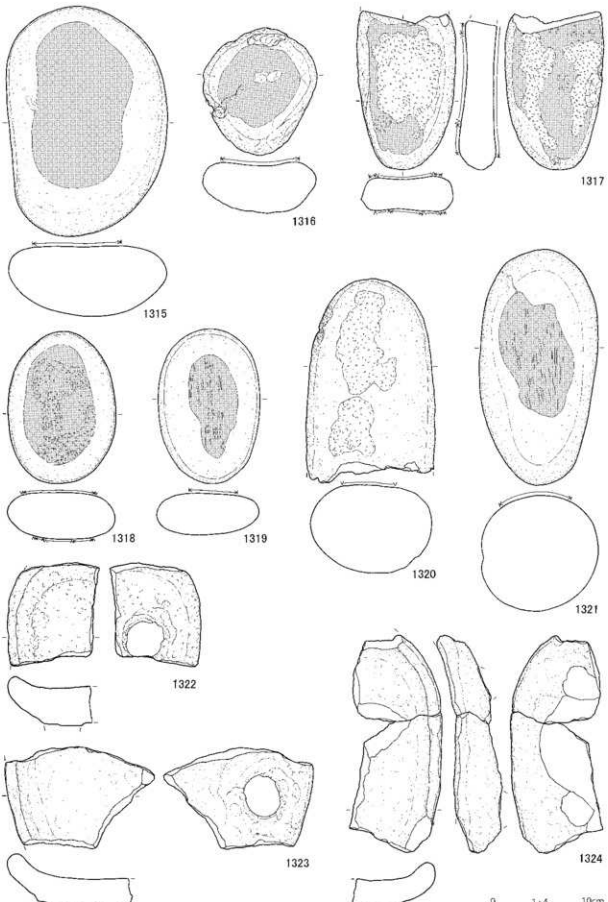


図Ⅵ－136　台石石皿（15）

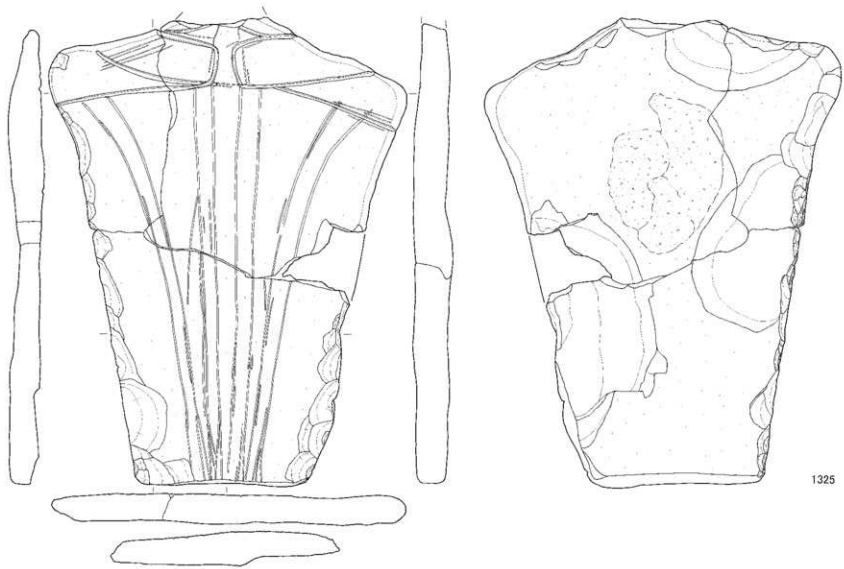
図Ⅵ－137　台石石皿（16）



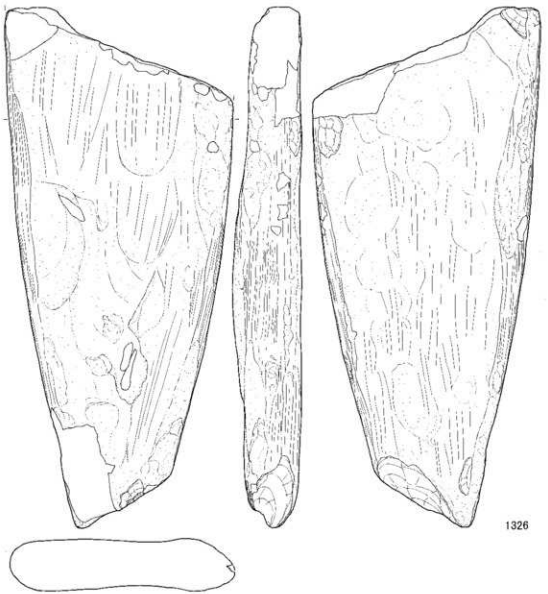
図Ⅵ－138　台石石皿（17）



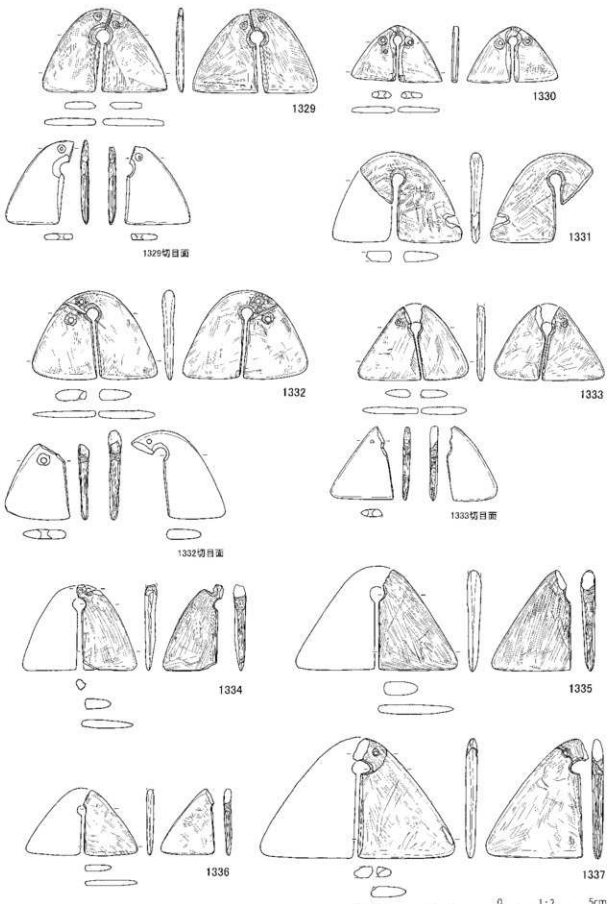
図Ⅵ－139　台石石皿（18）



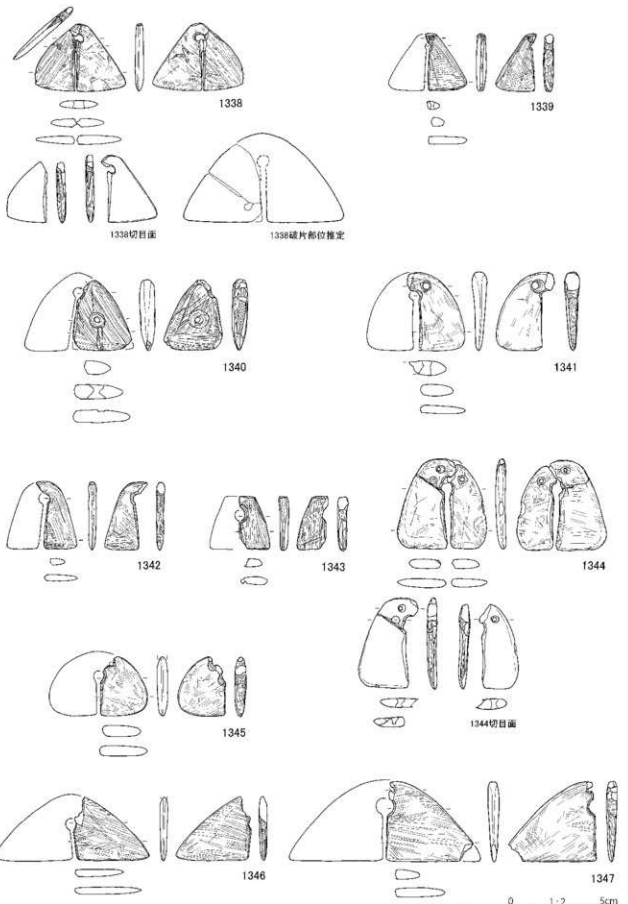
図Ⅵ－140　石製品等（1）　岩偶（1）



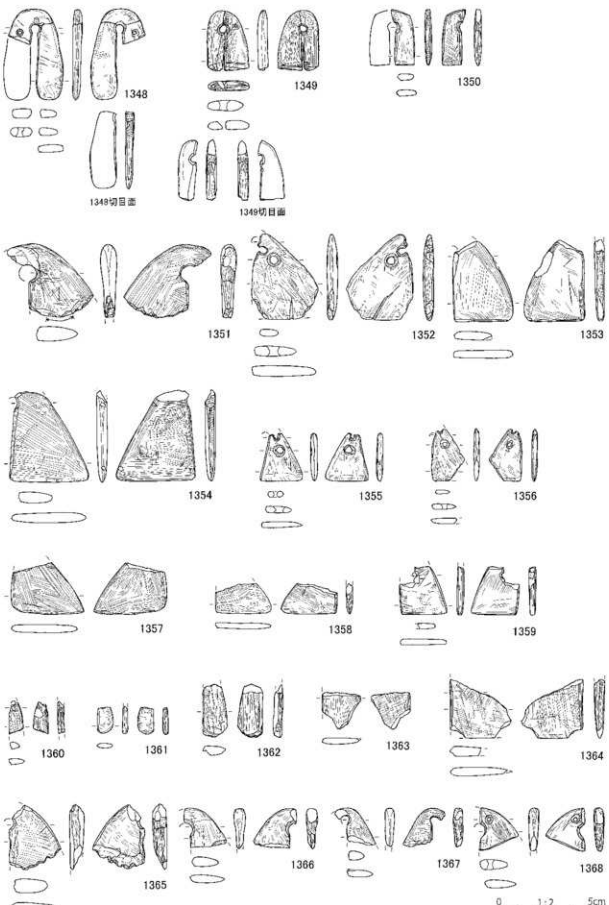
図Ⅵ－141　石製品等（2）　岩偶（2）



図Ⅵ－142　石製品等（3） 玦状耳飾（1）

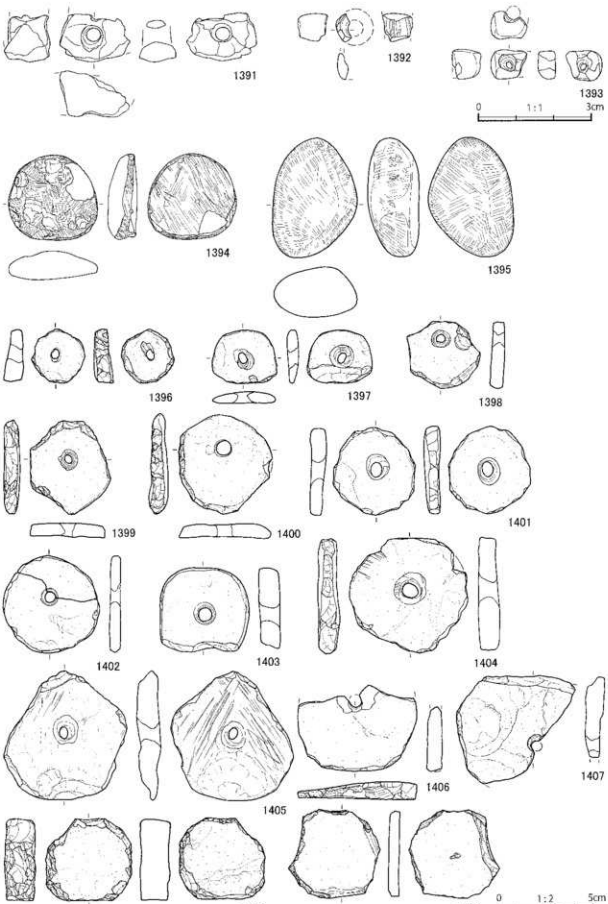


図Ⅵ－143　石製品等（4）　玦状耳飾（2）

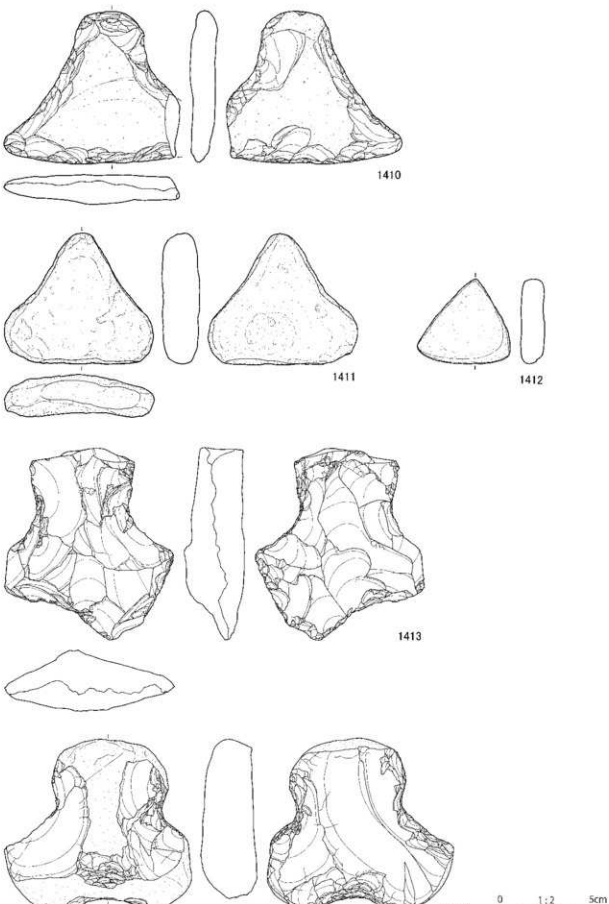


図Ⅵ－144　石製品等（5） 玦状耳飾（3）

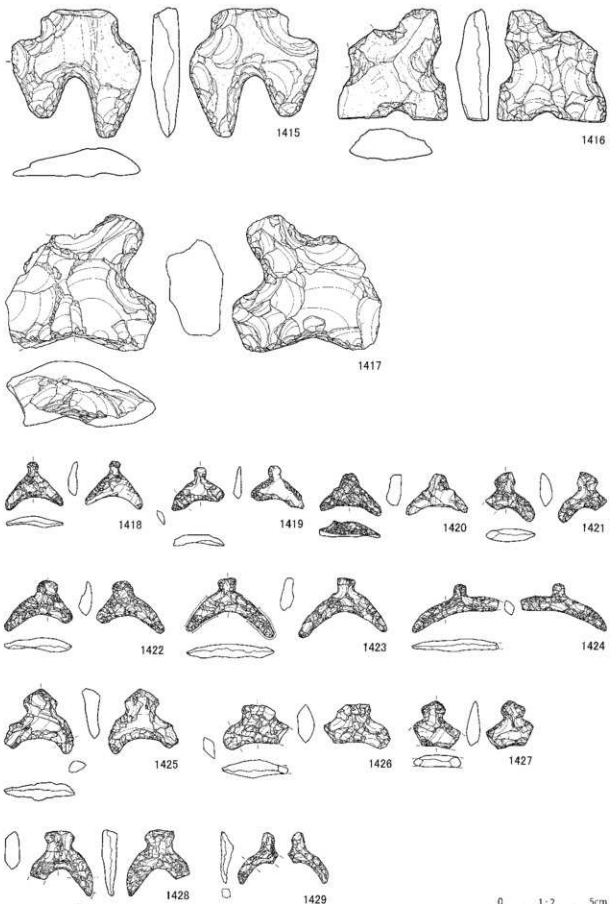
図Ⅵ－145　石製品等（6）　玦状耳飾（4）、垂飾・玉類（1）



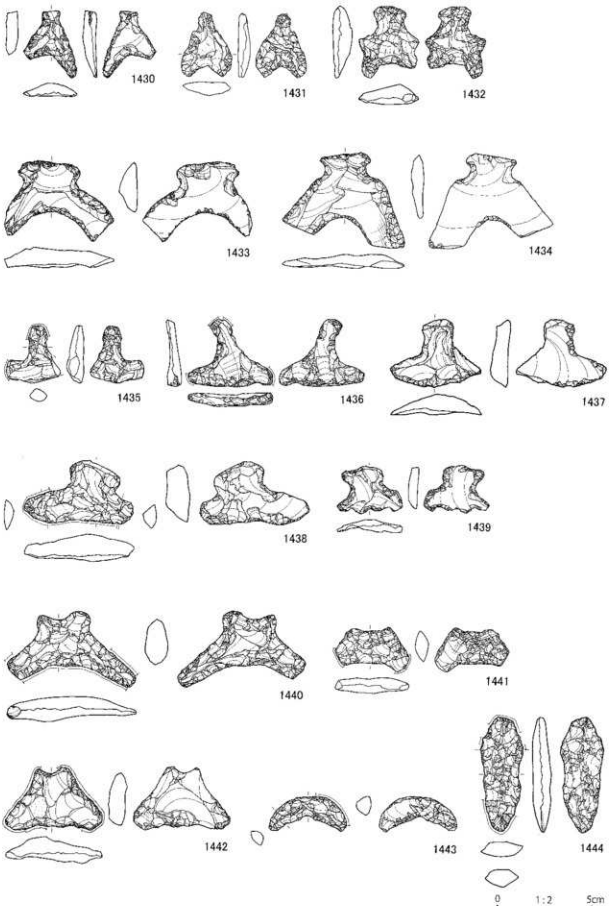
図Ⅵ－146　石製品等（7）　垂飾・玉類（2）、円板状石製品



図Ⅵ－147　石製品等（8）　三角形石製品、三脚・四脚石器（1）



図Ⅵ－148　石製品等（9）　三脚・四脚石器（2）、異形石器（1）

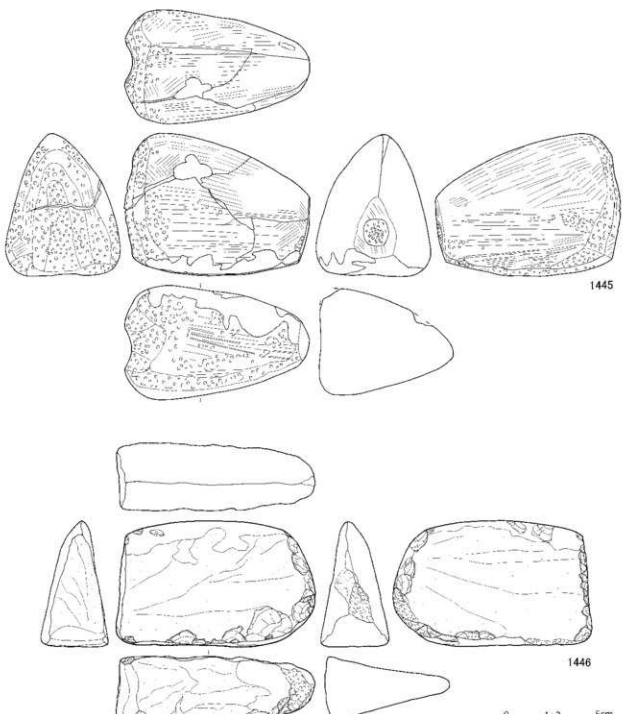


図Ⅵ－149　石製品等（10）　異形石器（2）

を呈する。底面は段差のある複数の面からなり、傾いた状態で自立する。

5　有意の礫・礫・その他、写真掲載の石器等

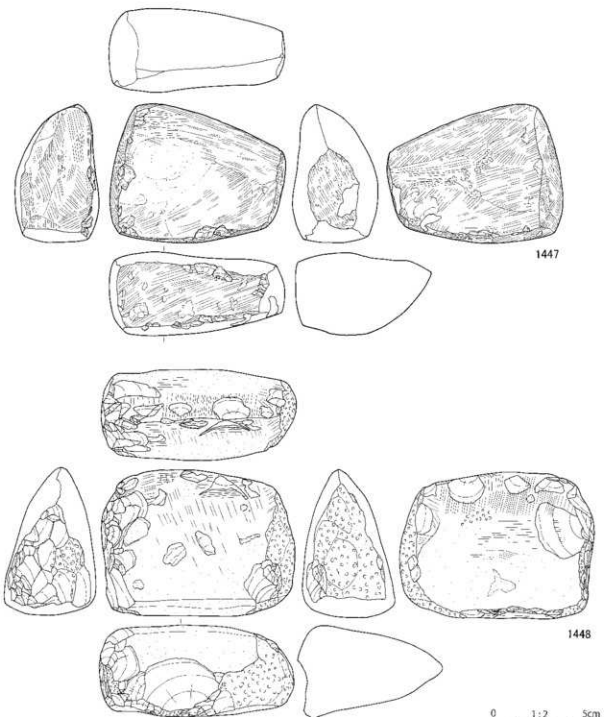
有意の礫としたものは、加工痕のある礫175点、原石122点、変わり石20点、球状礫７点、有孔礫308点、軽石礫100点、スコリア礫27点、含珪藻礫４点、アスファルト付着礫２点、赤色顔料原材の可能性のあるもの３点、マンガン？の付着した礫３点がある。このうち、加工痕のある礫２点、原石２点、変わり石３点、球状礫７点、有孔礫６点、スコリア礫１点を掲載した。　（220ページへ）



図Ⅵ－150　石製品等（11）　鳥帽子形石器（１）

礫は72,507点出土した。このうち2,664点は配石列を構成するもの、44,766点は集石（TS）を構成するもの。集石のうち43,656点は径2cm以下の小礫である。このうち、人骨に共伴した礫などを掲載した。

石材組成は安山岩が主体であることは礫石器と礫で共通するが、それ以外の組成はやや異なっている。礫石器では安山岩51%、玄武岩17%、砂岩・チャート7%が上位を占めるのに対し、小礫を除いた礫では、安山岩48%、チャート16%、泥岩10%、凝灰岩8%、粘板岩・砂岩6%、玄武岩は3%となる。礫では玄武岩が非常に少なく、チャート・泥岩・凝灰岩の比率が高い。小礫では、安山岩が



図Ⅵ－151　石製品等（12）　鳥帽子形石器（2）

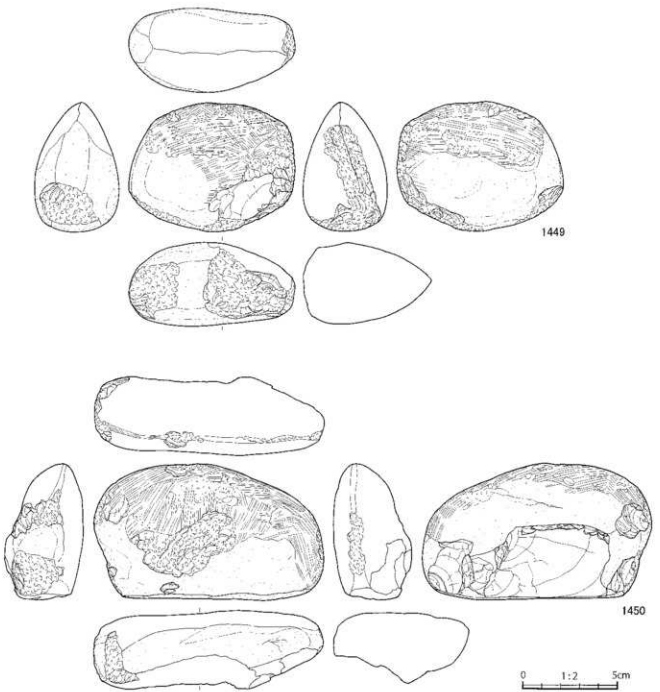
79%を占め、粘板岩15%、チャート3%であり、安山岩・粘板岩に大きく偏る。

被熱した礫は、小礫を除く28,851点中981点で3.4%。小礫には被熱したものはみられない。チャートには被熱して破砕した礫が多く、4,724点中364点と7.7%を占める。意図的に礫を加熱したものと考えられ、調理などへの利用が想定される。

加工痕のある礫（2030・2057・2059、表Ⅵ－7、図版433・436）

2030はTH－25中央ピットから出土した。白色泥岩製で、左右辺に敲打・剝離がわずかにみられる。たたき石の可能性もある。2057・2059は淡緑色を呈する板状の凝灰岩が素材で、同素材の礫2058と

（222ページへ）



図Ⅵ－152　石製品（13）　烏帽子形石器（3）

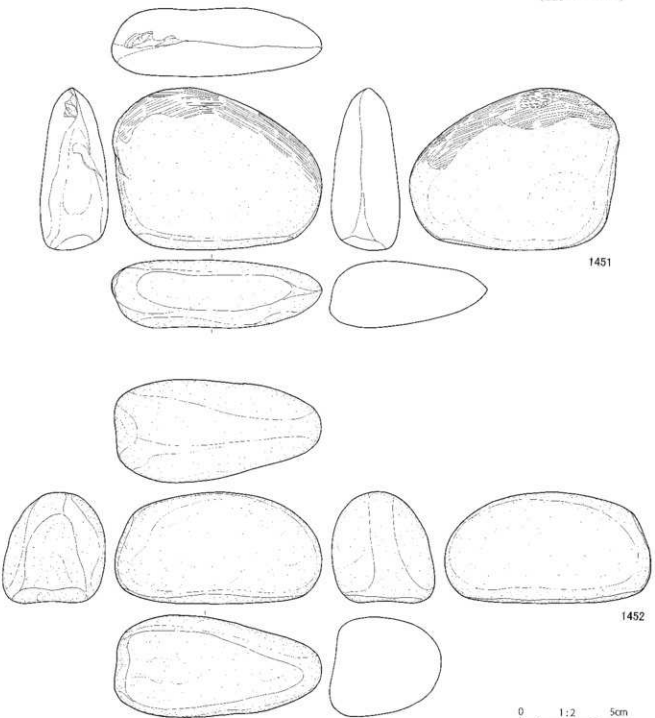
ともにTP－66から出土しており、岩偶の未成品の可能性もある。2057は正面の稜部が敲打される。2058は不明瞭ながら剥離が加えられているとみられる。

原石（2099・2100、表Ⅵ－7、図版439）

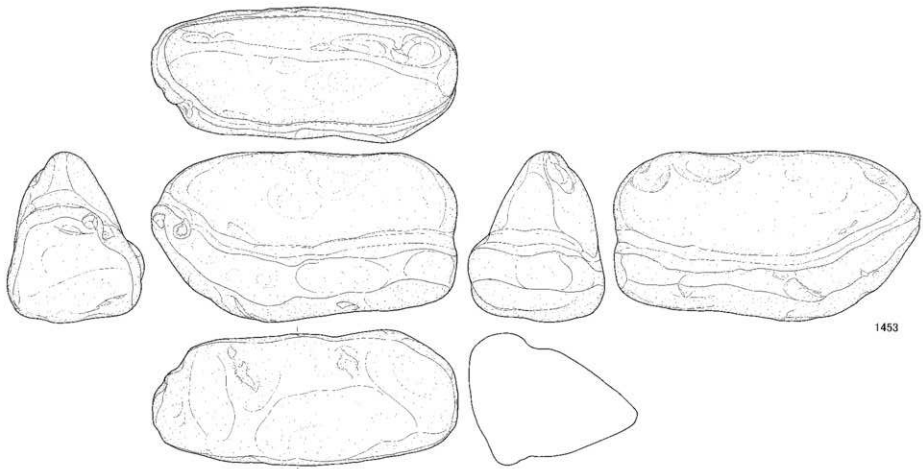
頁岩70点、玉髄24点、珪化岩9点、玄武岩5点、珪質砂岩2点、滑石1点などがある。

2099・2100は石材分析を行い、それぞれ滑石・強珪化岩（緑色ジャスパー）との結果を得た（Ⅸ章10節）。2100は緑色と白色のまだらな石材で、2099とともに玉類の原石の可能性がある。

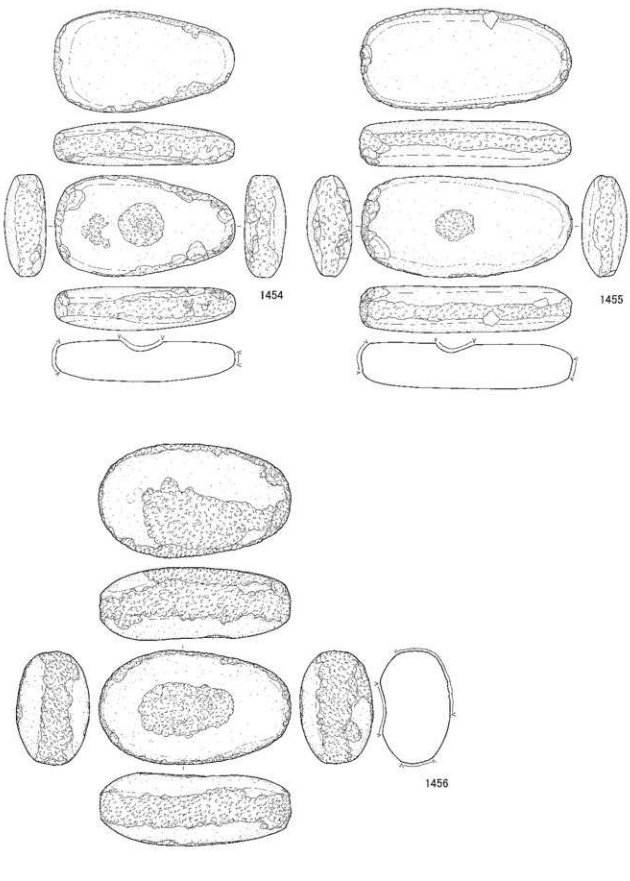
（229ページへ）



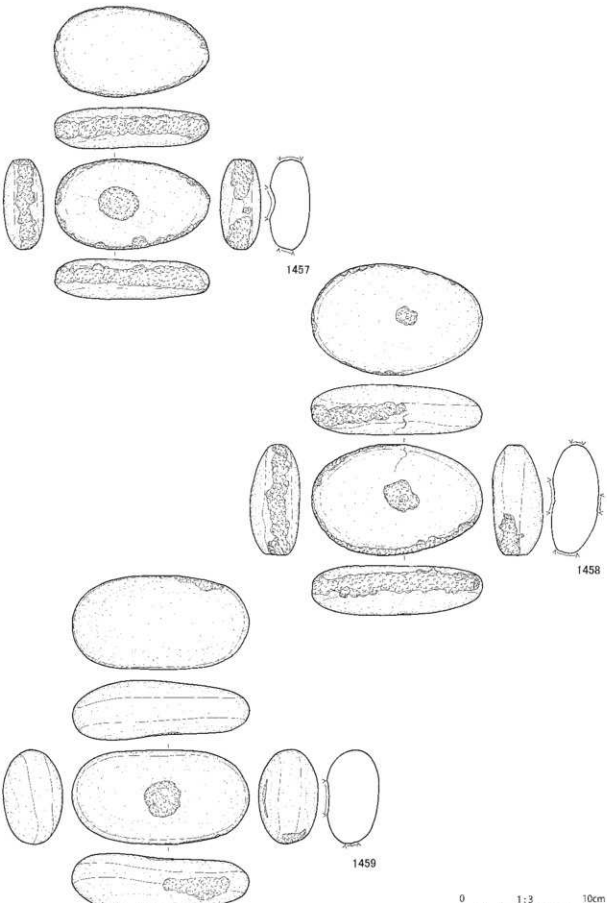
図Ⅵ－153　石製品等（14）　鳥帽子形石器（4）



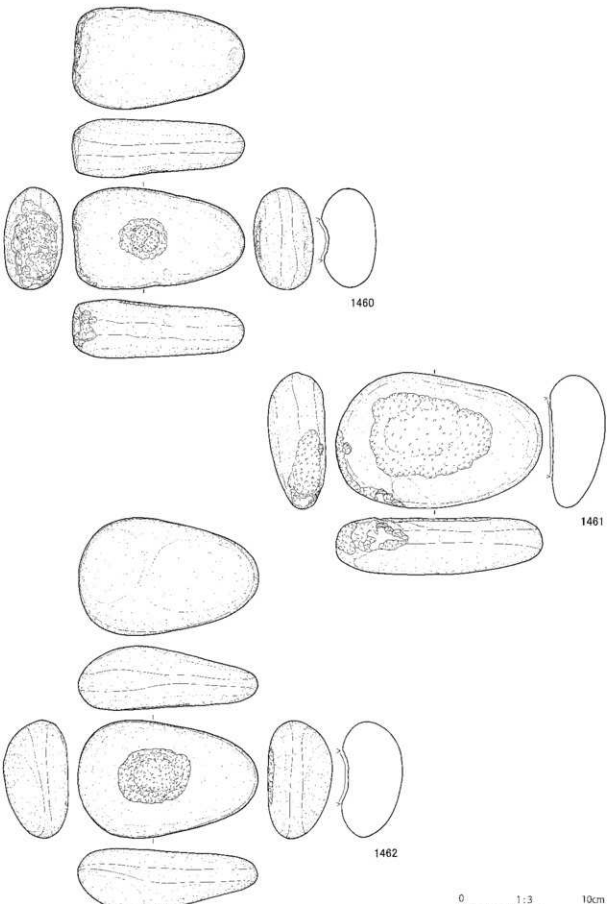
図Ⅵ－154　石製品等（15）　鳥帽子形石器（５）



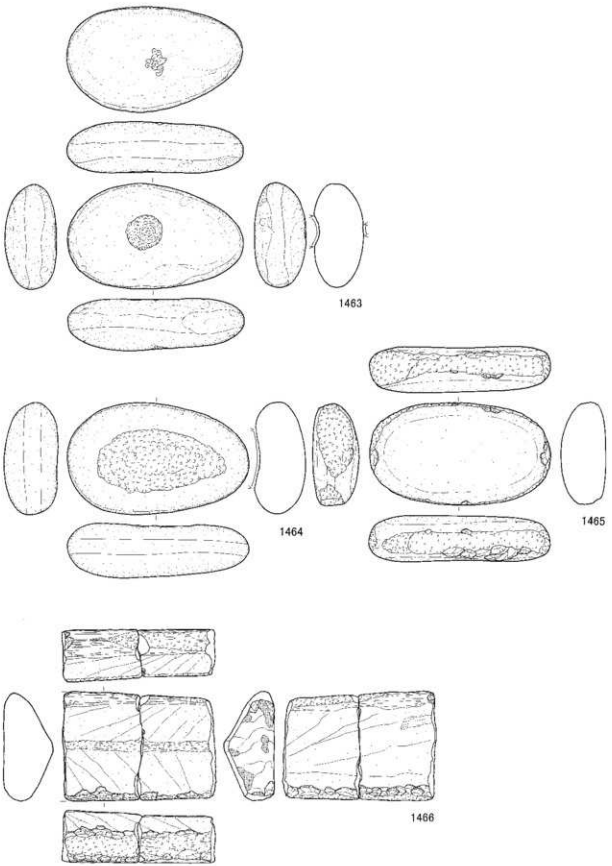
図Ⅵ－155　石製品等（16）　側縁有溝石器（1）



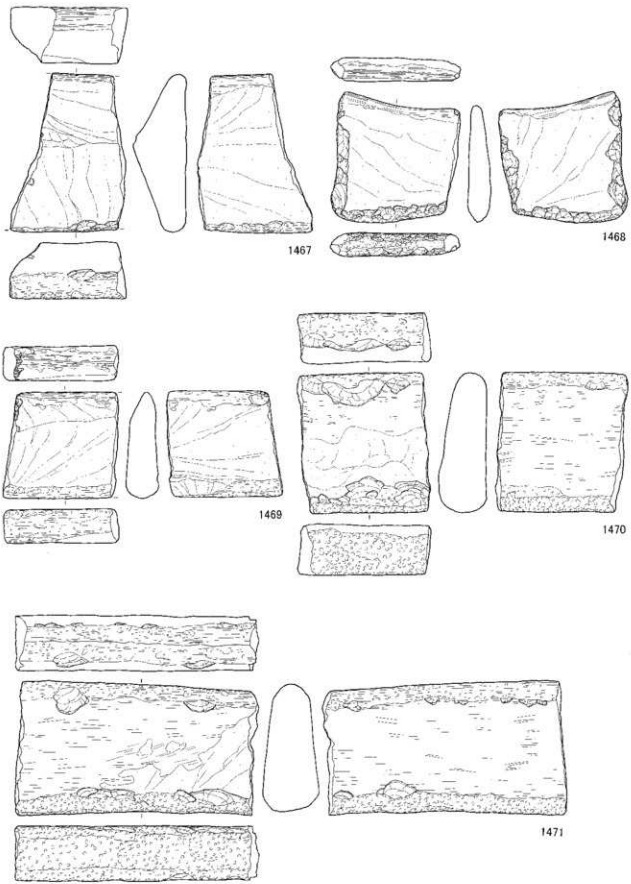
図Ⅵ－156　石製品等（17）　側縁有溝石器（２）



図Ⅵ－157　石製品等（18）　側縁有溝石器（３）



図Ⅵ－158　石製品等（19）　側縁有溝石器（4）、長板状石製品（1）

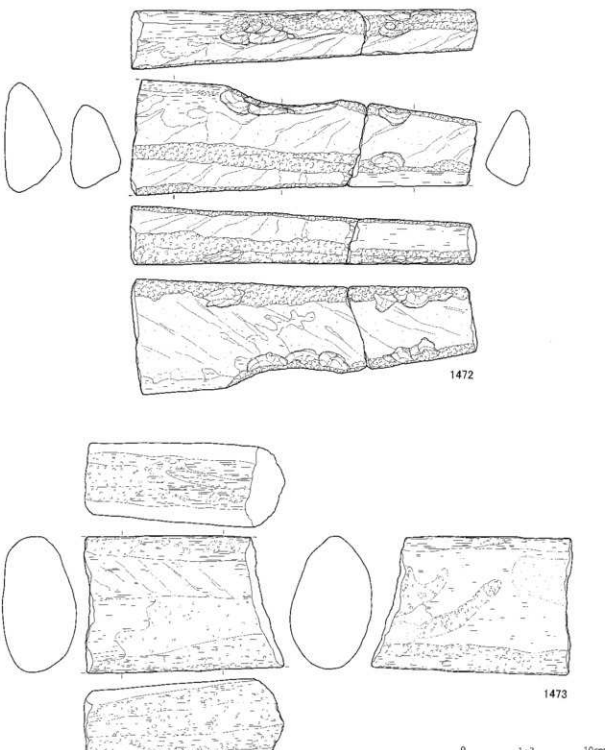


図Ⅵ－159　石製品等（20）　長板状石製品（２）

球状礫（2089～2095、表Ⅵ－7、図版438）

球状の非常に整った形態の礫である。径2～3cmのもの（2089～2092）と、4～5cmのもの（2093～2095）がある。石材は、玄武岩、白色泥岩、花崗岩、凝灰岩、安山岩と多様。2091・2092は礫表面に鉄分が厚く付着しており、石材は不明である。北斗市押上1遺跡ではまとまった数の球状礫が出土しており、投石・ボーラとしての使用が想定されている。

（230ページへ）



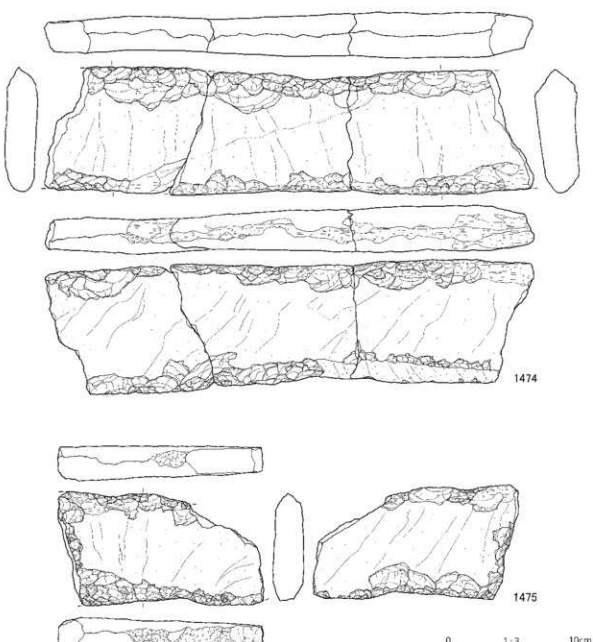
図Ⅵ－160　石製品等（21）　長板状石製品（3）

有孔礫（1514～1519、図Ⅵ－170～172、表Ⅵ－7、図版429）

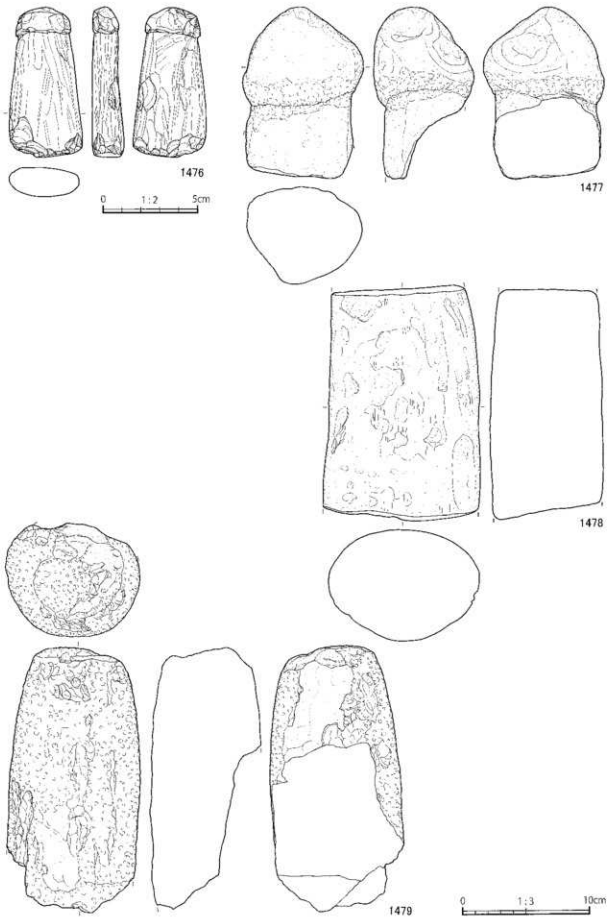
368点出土し、6点掲載した。主に、二枚貝により穿孔された白色泥岩や凝灰岩の岩塊が、破砕・円磨されたもの。凝灰岩・白色泥岩以外の石材で、二枚貝によらない貫通孔をもつものが少数みられる（1250・1396・1516など）。ほとんどが未加工であるが、部分的な加工がなされる場合（1514・1516など）や、石器の素材とされる場合（1241など）、孔を利用して石製品の素材とされる場合（1396）がある。

1514は側縁が敲打され、正面にわずかに擦痕がみられる。1515はTP－18出土の副葬品の可能性があるもの。1516は断面Ｖ字形の自然の穴の狭い方の開口部を敲打で拡張・整形している。1250同様、石錘の可能性もある。1517は側縁にわずかに打ち欠きがみられる。1518は大形の未加工の有孔礫。1519は風化して不明瞭ながら、敲打様・剝離様の痕跡がある。

（232ページへ）



図Ⅵ－161　石製品等（22）　長板状石製品（4）



図Ⅵ－162　石製品等（23）　石棒（1）

変わり石（1522・1523・1525、図Ⅵ－172、表Ⅵ－7、図版429）

形態の特異な自然礫で、くびれ石が16点、タマネギ状風化礫が4点である。

1522・1523はタマネギ状風化礫で、皿状を呈する。1525はくびれ石で、北海道式石冠様の形態である。

スコリア礫（2106、表Ⅵ－7、図版439）

2106は長さ30.6cmと大形のスコリアの礫。出土した軽石・スコリアの中で最大のもの。これ以外のものは、小片からソフトボール大程度である。

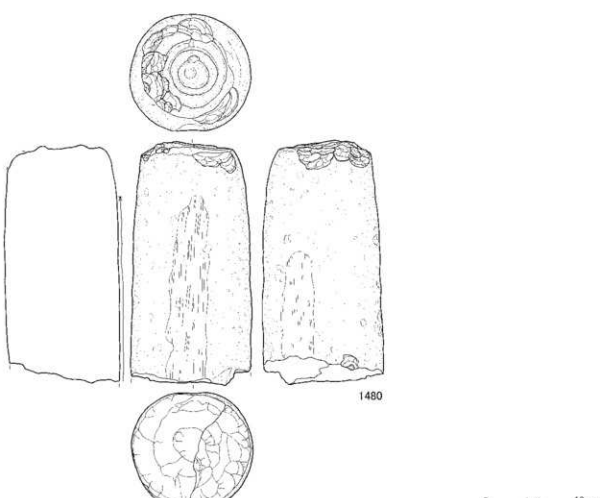
礫（1524・2058・2060～2064、図Ⅵ－172、表Ⅵ－7、図版429・436）

1524は土坑墓TP－33から出土した副葬品。板状ないしは柱状節理の安山岩で、正面中央部が被熱により黒色化している。上面は摩耗しているが、下面は鋭利な割れ面で、打ち割られた可能性がある。図示していないが、正面の右側辺の上半部には右側面からの小剝離が並ぶ。

その他の遺物（1578、図Ⅵ－179、表Ⅵ－7、図版430）

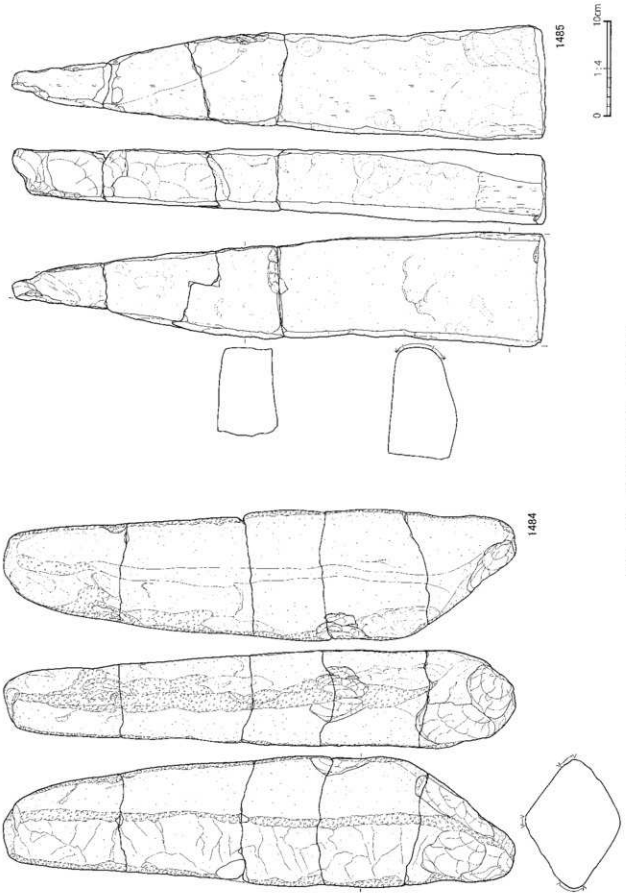
その他の遺物には、赤色顔料の小塊4点と、Ⅰ層出土の寛永通宝1点がある。

（248ページへ）



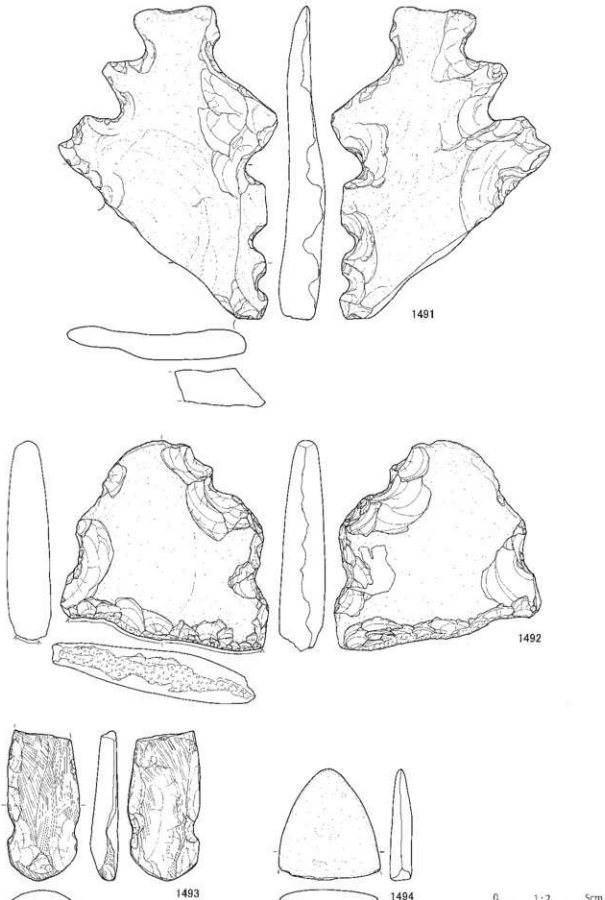
図Ⅵ－163　石製品等（24）　石棒（2）

図Ⅵ－164　石製品等（25）　石棒（3）

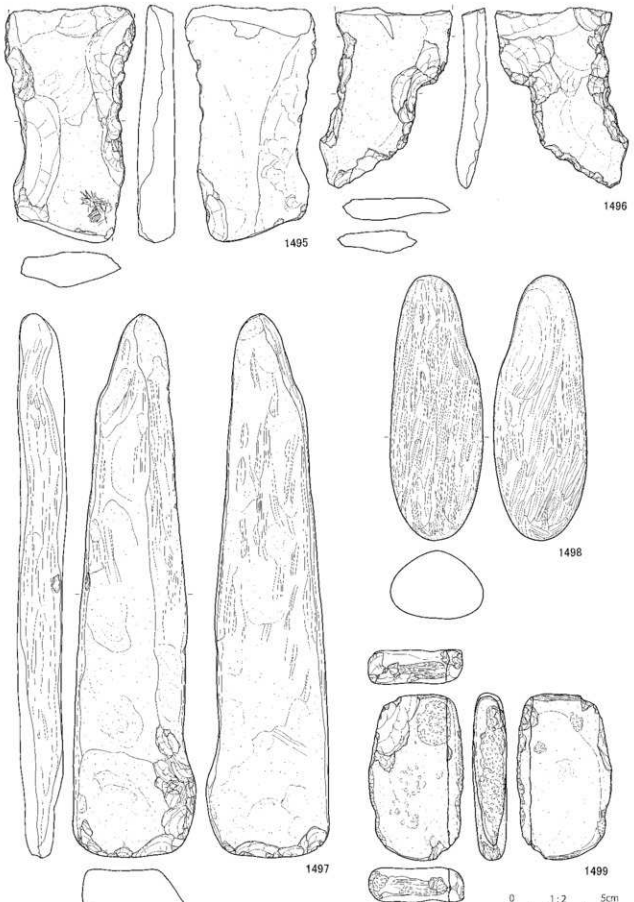


図Ⅵ－165　石製品等（26）石棒（4）

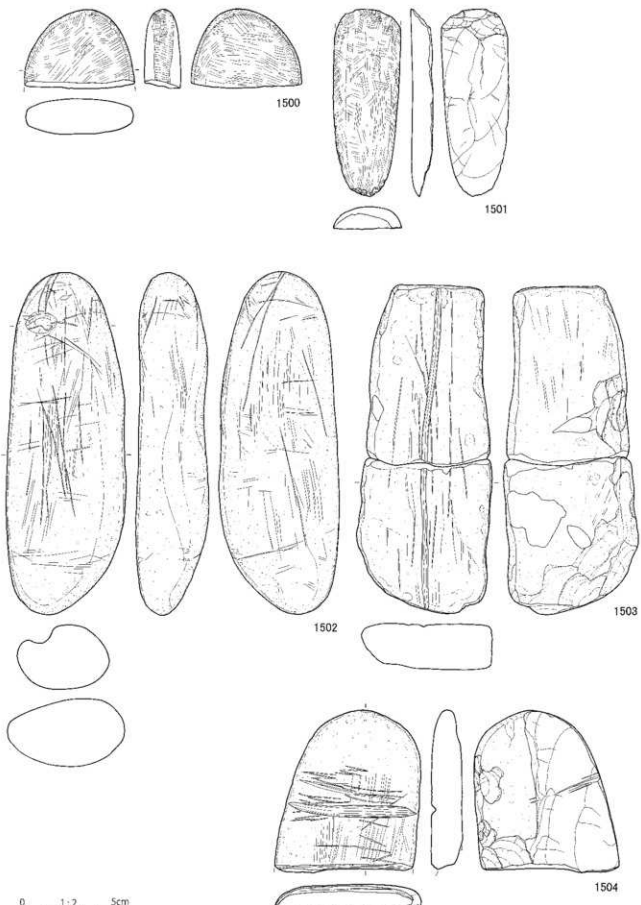
図Ⅵ－166　石製品等（27）　石棒（5）



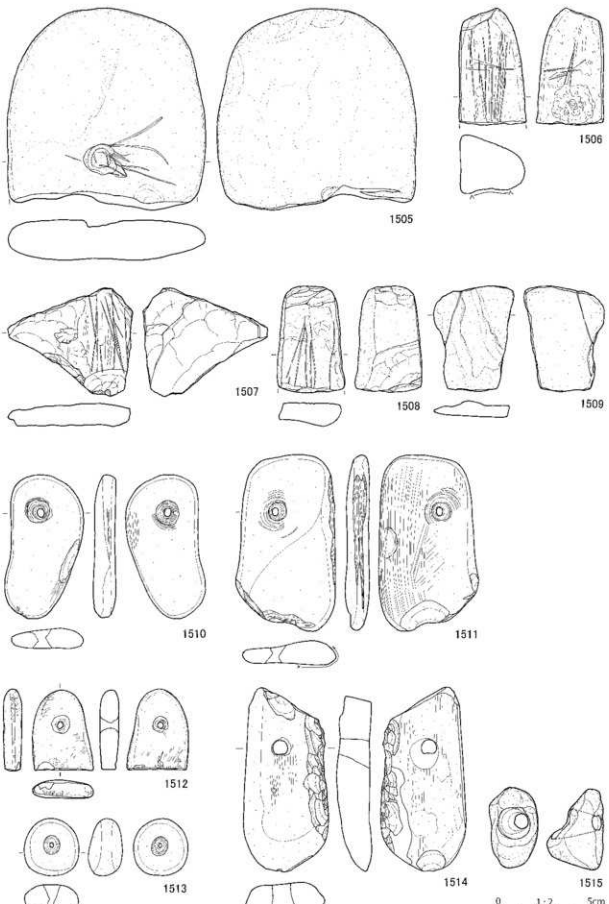
図Ⅵ－167　石製品等（28）　石製品（1）



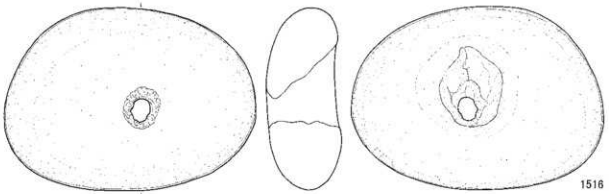
図Ⅵ－168　石製品等（29）　石製品（2）

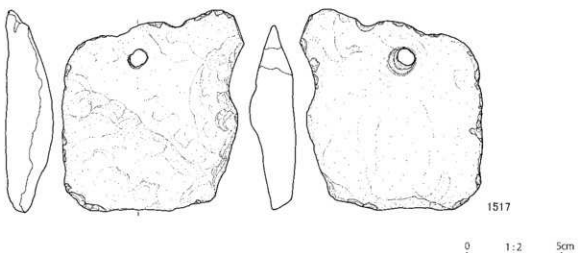


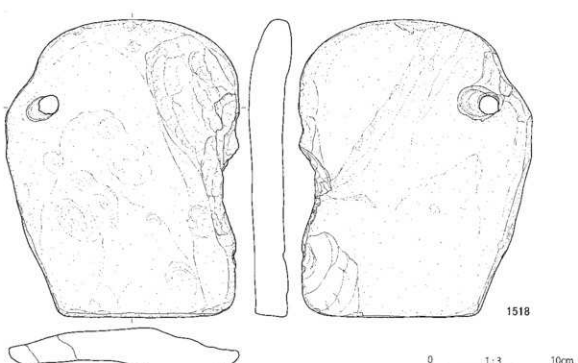
図Ⅵ－169　石製品等（30）　石製品（3）、線刻礫（1）



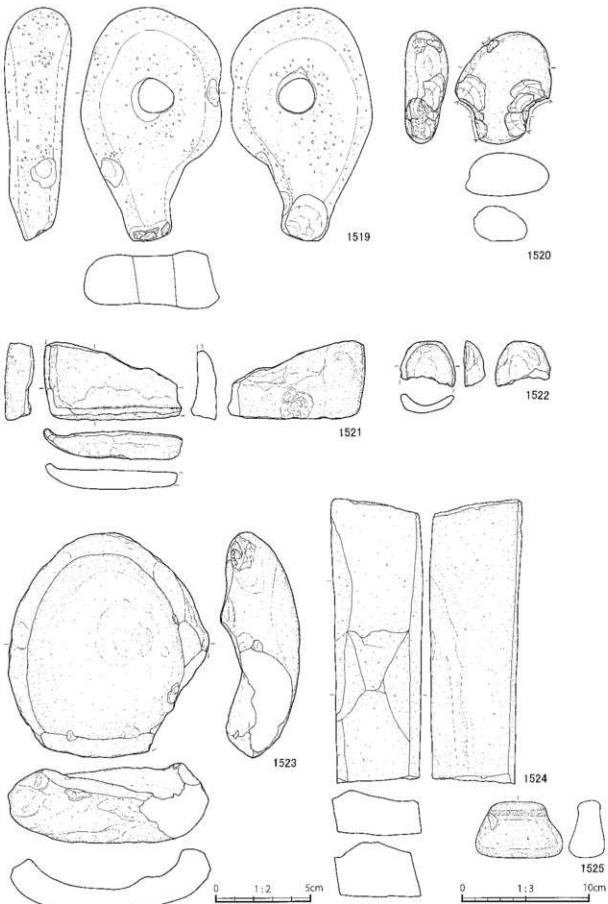
図Ⅵ－170　石製品等（31）　線刻礫（２）、穿孔された礫、有孔礫（１）



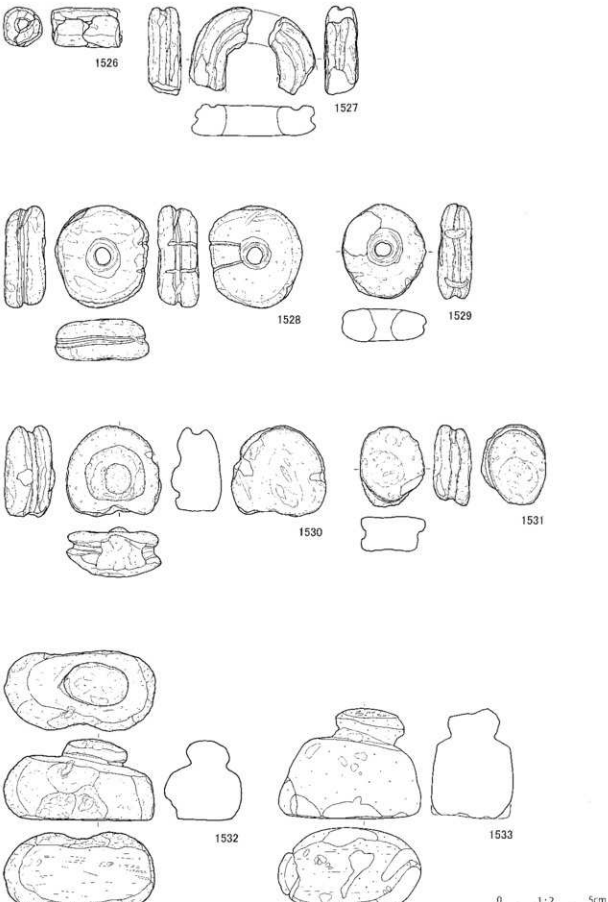




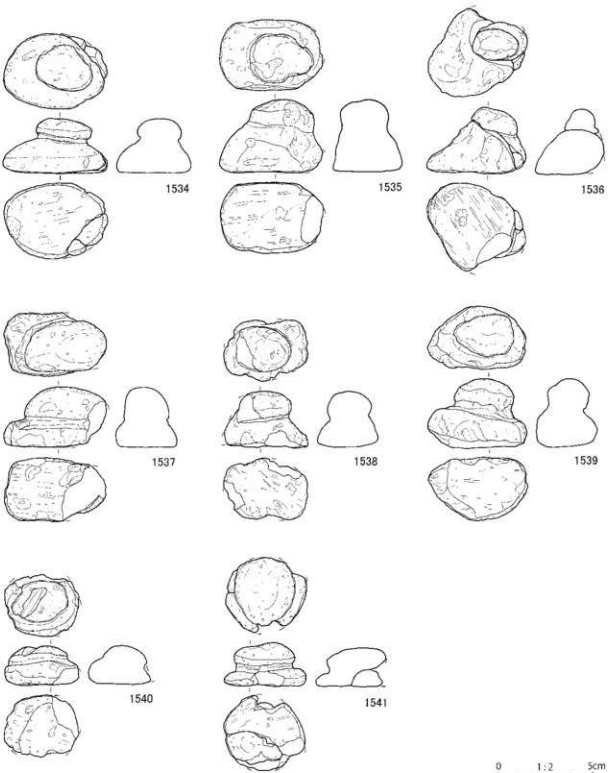
図Ⅵ－171　石製品等（32）　有孔礫（2）



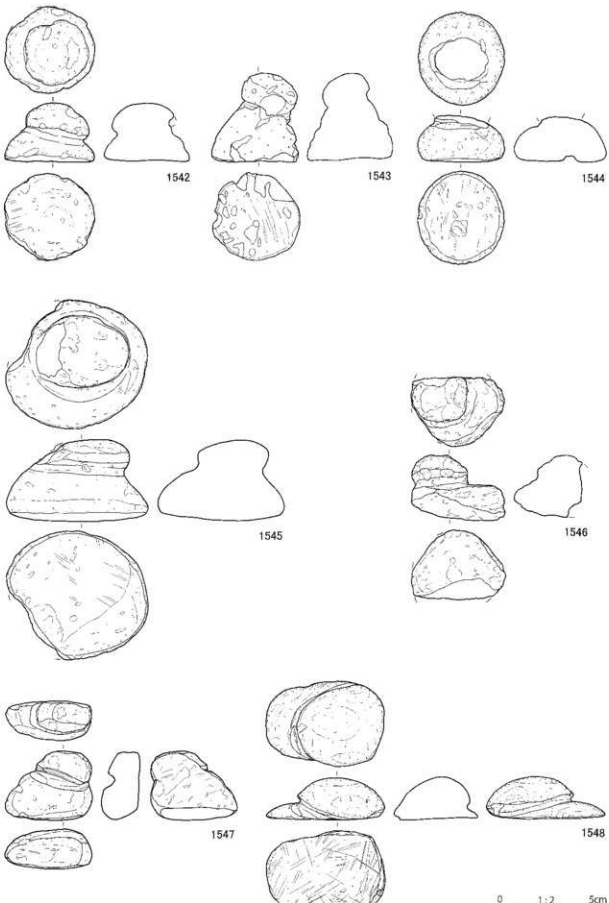
図Ⅵ－172　石製品等（33）　有孔礫（3）、石製品（4）、変わり石、礫



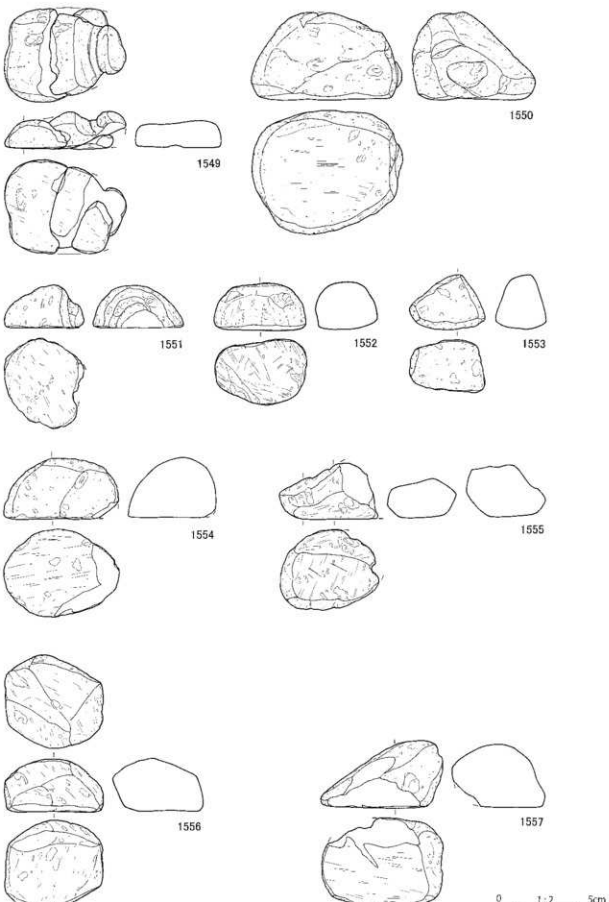
図Ⅵ－173　石製品等（34）　軽石製品（1）



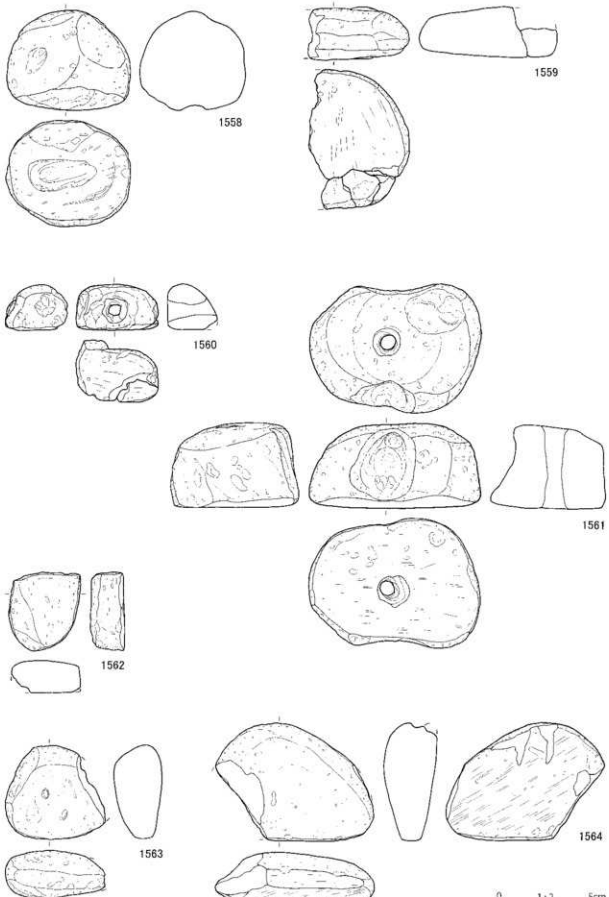
図Ⅵ－174　石製品等（35）　軽石製品（2）



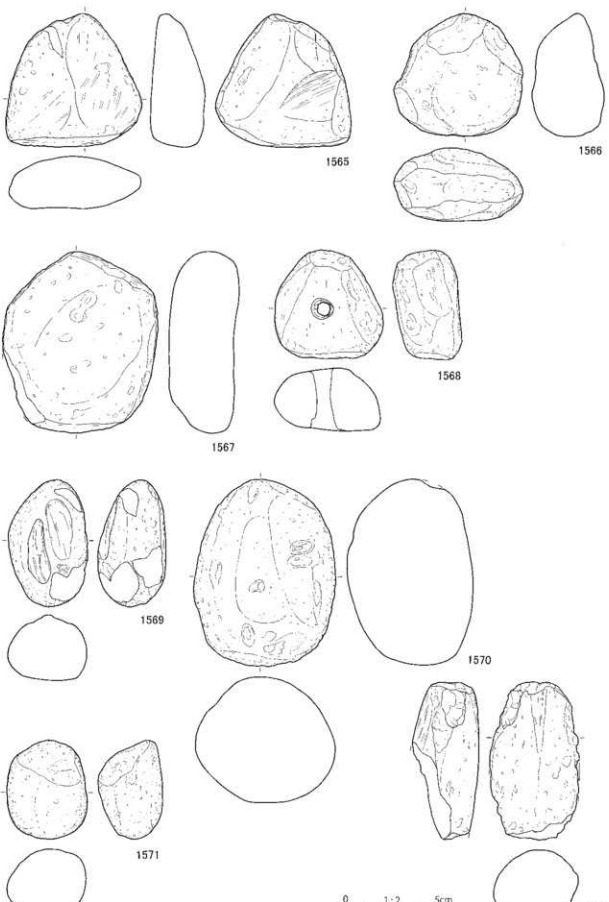
図Ⅵ－175　石製品等（36）　軽石製品（3）



図Ⅵ－176　石製品等（37）　軽石製品（4）



図Ⅵ－177　石製品等（38）　軽石製品（5）



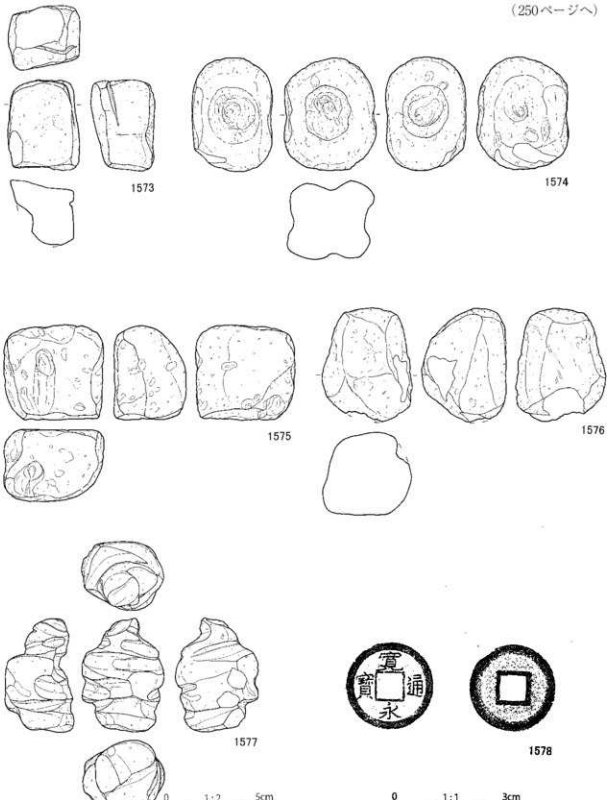
図Ⅵ－178　石製品等（39）　軽石製品（6）

1578は寛永通宝。大きさは、外径23㎜、厚さ1㎜、重さは2.3ｇ、内郭の内径は7㎜。以下の特徴とあわせ、鋳期は元文期、鋳地は江戸・葛飾郡小梅村と推定される。各字の特徴は次の通り。

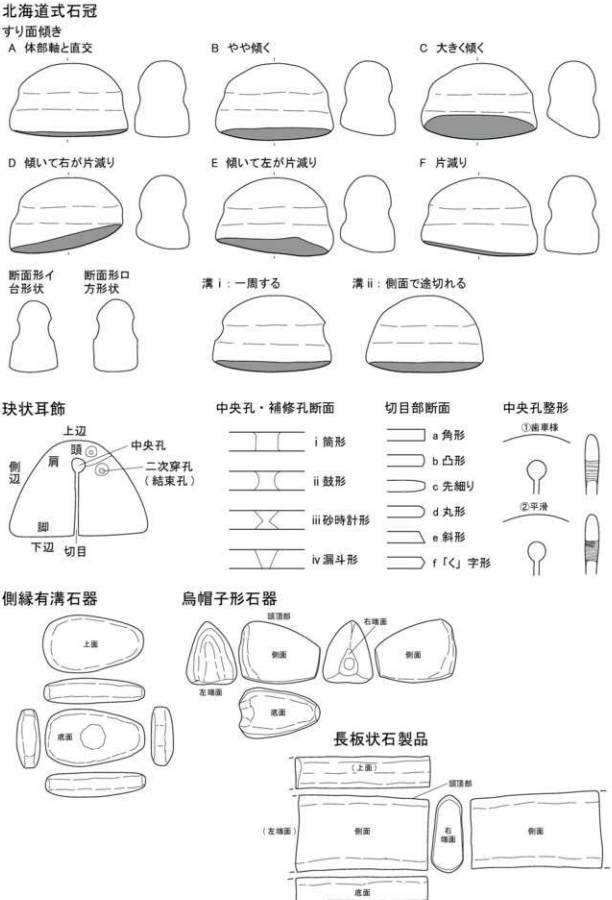
寛：「仰寛」・抱冠、永：草点、脩フ。通：コ頭通、辶1～3画切れる。寶：「脩宝」、脩冠。

なお、以上の記載は、当センター第1調査部第2調査課長鈴木　信の指導に拠った。

（250ページへ）



図Ⅵ－179　石製品等（40）　軽石製品（7）、寛永通宝



図Ⅵ－180　石器・石製品模式図

写真・一覧表のみ掲載した石器等（2001～2114、表Ⅵ－7、図版432～440）

図化していないが、出土状況、個別の属性などに特徴のあるものについて、写真と一覧表に掲載した。概要は以下のとおりで、個別に記載の必要なものについては、各器種の項目に記載した。

2001～2005・2007～2044・2046・2047・2050は住居跡中央ピットから出土したもの。2045はTH－4、2048はTH－5、2052～2054はTH－19の床面に据え付けられた台石石皿。2006・2051はTH－18床面、2049はTH－16、2055・2056はTH－54床面から出土したもの。2057～2059はTP－66から出土した大形の凝灰岩の加工痕のある礫・礫で、岩偶素材の可能性があるもの。2060～2064はTP－73出土の礫、2065～2067はTP－82出土の剝片で、人骨に共伴したもの。2068～2074はTP－119からまとまって出土したもの。2075はTP－7、2076・2077はTP－46、2078はTP－134の坑底などから出土した台石石皿。2079は線条痕の明瞭なスクレイパー。2080・2082～2085・2096～2100は石材分析（Ⅸ章9・10節）を行ったもの。2081・2086・2087は割れ面にすり面が残るすり石・扁平打製石器。2088は線刻のある扁平打製石器。2089～2095は球状礫。2101～2105は石棒のうち整形の不明瞭なもの、2106は出土した中で最大のスコリア礫。2107～2114は化石を含む石材を用いた石器。

6　小括

住居跡中央ピットの石器等の出土状況（図Ⅵ－182・183、表Ⅵ－2、図版231）

今回調査した竪穴住居跡には、いわゆる「中央ピット」を伴うものが多く、その一部に多数の石器が出土する例があった。出土する石器は、たたき石・Rフレイクが多く、石鏃・石錐・スクレイパー・両面調整石器・すり石・扁平打製石器・台石石皿がやや多く、剝片・礫も多数出土している。以下にみるように、これらは出土石器全体の組成と比較すると偏りがあり、選択されたものであることがうかがわれる。また、中央ピットの覆土は埋め戻しとみられる例が多く、石器等は埋納された可能性がある。

図Ⅵ－181・182、図版231に代表的な中央ピットの出土石器を、表Ⅵ－2に中央ピットの出土石器点数を示した。図・表中の「住居型式」は図Ⅹ－3に拠る。大きくは、前期末葉では器種が豊富で出土点数も多く、中期初頭以降は器種・点数ともに減少することが見てとれる。

出土石器全体の組成と比較して、中央ピットからの出土比率の高い器種は、石鏃・石錐・両面調整石器・たたき石で、特にたたき石が顕著である。同様に、器種ごとに細別の組成をみると、たたき石では、出土たたき石全体と比較して、両面調整石器などを転用し、その縁辺を使用するもの、礫の全周を使用するものの比率が高い。また、石材ではチャートの使用率が約5割を占め、安山岩は2割にとどまっており、たたき石全体でみた比率とは逆転している。すり石では挟入すり石が半数を占め、北海道式石冠では破片の再加工品、再加工が進行したもの、および破片の比率が高い。

遺構ごとにみると、概して、出土点数が多い場合には多様な器種が含まれ、点数の少ない場合はRフレイク・たたき石・剝片・礫が主体となる傾向にある。しかし個々にみると、器種組成は住居跡によって多様であり、それ以上の傾向は見いだせなかった。

特徴的な出土状況をみると、たたき石が多出する例はTH－4・22・28・25にみられる。TH－4では、たたき石9点のうち6点が珪質砂岩製の両面調整石器を素材とするものである。扁平打製石器9点はすべて折損しており、うち6点は2点ずつ接合して完形の3個体となる。意図的な折断がうかがわれる。TH－22・23・28・25では、たたき石の細別は各種あるが、石材はチャートが多数を占める。TH－22の石鏃4点はすべて未成品である。TH－18（旧）では水洗選別により多数の砕片が得られており、うち黒曜石が点数で13%、重量で0.4%を占めている。出土剝片全体に占める黒曜石の比率は点数で0.3%、重量で0.2%であり、TH－18（旧）中央ピットでの比率は明瞭に高い。

こうした石器等の出土状況に対し、土器は少量が断片的に出土したのみで、混入と判断される。土製品では、円板状土製品がTH－21から９個体、TH－22から１個体出土している。特にTH－21では土器片の出土点数に対して明らかに多い。

以上をまとめると、今回の中央ピットの出土石器等の特徴は以下のとおりである。①中央ピットには石器と円板状土製品が埋納された可能性がある、②埋納される石器は器種・細別や石材によって選択されている、③器種・点数ともに、前期末葉には多く、中期初頭以降は減少する、⑤石器が出土する例と出土しない例、出土点数の多い例と少ない例がある。

竪穴住居跡の中央ピットからは、選択された石器が出土することがわかった。今回は、石器の出土した中央ピットについてのみ取り上げ、住居跡における中央ピットの有無や、中央ピットからの石器の出土の有無などに関する検討は行わなかった。中央ピットの位置付けを考えるためには、今後、こうした要素とともに、中期中葉以降の中央ピットの例も合わせて検討する必要がある。

扁平打製石器・すり石・石斧の割れ面に残るすり面（図版440）

抉入すり石・扁平打製石器・石斧において、半割面にすり面が残される例が確認された（図版440）。抉入すり石で４点２個体（1109、2081）、扁平打製石器で11点６個体（1139・1153・1154・1169・2086・2087）、石斧で４点４個体（未掲載）にみられ、扁平打製石器2087および石斧を除き、接合して完形になる。今回は主に掲載遺物の観察中に偶然見つかったものであり、未掲載遺物にはまだ多く含まれていると予想される。

すり石・扁平打製石器では、割れ面のすり面は、元のすり面側を中心に、左右の破片で対称位置に残されることが多い。すり面は滑らかで、割れ面の凹凸に沿ってすり面も波打ちながら、断続的に広がっている。磨滅が進んだものでは、接合した際にすき間ができるものもある。正面・裏面において接合線に沿って小さな窪みの連続するものがあり（1109・1169など）、意図的に分割したものと考えられる。また、1109・1139・1169・2081・2086のように、分割後に元のすり石の使用面がさらに使用されることがある。特に接合部付近で顕著であり、接合部に段差ができる例もある。

石斧では、すり面の広がりが断続的ながら割れ面全体に及ぶ点では相違するが、それ以外はすり石・扁平打製石器の例と共通した特徴をもつ。

同様のすり面は、青森県・岩手県の前期中葉～中期中葉の遺跡から出土した「すり石」で確認されている（茅野2000）。ここで「すり石」とされているものは、今回は扁平打製石器としたものも含まれており、すり面の特徴は共通している。「折れ面に観察される特徴的な使用痕」をもつ「すり石」の分布が、北海道の津軽海峡沿岸部にも広がることが確認できたものであり、さらに、石斧においても同様なすり面が確認された。このような割れ面に残されたすり面は、通常の観察では発見されにくく、本遺跡も含め未発見の類例も多くあると予想され、留意する必要がある。

岩偶（図Ⅵ－184）

岩偶と岩偶に関係する遺物としては、頭部を欠損した大形の岩偶が１点（1325）、岩偶あるいは岩偶未成品とみられるものが１点（1326）、小形の岩偶の破片が１点（1327）、板状の岩偶とみられる破片が１点（1328）、岩偶未成品の可能性がある加工痕のある板状の凝灰岩礫が２点（2057・2059）、岩偶の素材の可能性のある板状の凝灰岩礫が１点（2058）出土した。完形に近い1325と特徴的な肩部の破片である1327は、円筒土器に伴う「肩パッド型岩偶」（稲野1997など）である。

1325は現存長37.1㎝で、現在までに出土している肩パッド型岩偶の中で最大のものとみられる。頭

部を欠失するが平面形は五角形で、腕部分が張り出し、脚部に向かってすぼまり下辺は平坦で幅広い。図正面には身体表現とみられる線刻が刻まれ、裏面の中央部には敲打による浅い窪みがある。出土層位から、前期末葉の円筒土器下層ｄ１式に伴う可能性が高い。

石材は、明緑灰色～灰白色を呈する板状の凝灰岩である。同様の石質の礫は、板状のものや不整形のものが盛土遺構・遺構覆土から大量に出土しており、近隣に産出すると考えられる。

正面の上半部では、最大幅の左右端から内側へ向かう三角形の表現と、その上部に接する横Ｕ字形の表現がある。この表現は、線刻と浮き彫りの手法の違いはあるが、肩パッド型岩偶において腕・肩パッドと呼ばれる浮き彫りの表現と類似する。最大幅より下部では、中央に２本組で計４本のほぼ垂直な並行線、左右に２本一組で側縁と並行する線がみられる。こうした縦縞状の装飾は、津軽地方の肩パッド型岩偶の特徴とされる（福野2006）。裏面には敲打による浅い窪みがある。肩パッド型岩偶の片面にのみ窪み・未貫通孔のある場合、その面が「背面」とされている（福野2012）。平面形態は、類例が菱形を呈するのに対し、1325は下辺の幅が広い五角形を呈しており、相違している。

1327は肩部分の破片で、深い線刻により腕部分が浮き彫り状に表現される。裏面には敲打による窪みがある。石材は白色泥岩。出土層位はＢ盛土相当、円筒下層ｄ２式が主体の土層である。最大幅を類例と比較すると、秋田県大岱遺跡・秋田県内岱遺跡の類例に近く、これらを参考に推定すると高さは14cm前後とみられる。

２つの岩偶の大きさについて福野（1993）に拠ると、1325は大形、1327は中形に含まれる。肩パッド型岩偶については、渡島半島から東北地方で出土しており、「大形のものは津軽地方・渡島半島に多」く、「一遺跡から複数点を出土する遺跡が多」く、「異なった大きさの組み合わせとなっている」（福野1997）と指摘されており、今回の出土例はこの傾向に合致している。一方で、「渡島半島では、肩あるいは腕に比較的細かい装飾がなされる」「これに対し津軽半島では縦縞状の装飾を特徴とする」との指摘（福野2005）とは相違しており、津軽半島に多い縦縞状の装飾がなされている。これまでの渡島半島の出土例の最西端は本古内町釜谷遺跡であり（福野2005）、あるいは地理的条件から、より津軽半島に近い様相を示しているのかもしれない。また五角形の平面形態は類例がなく、館崎遺跡独自のものと言える。

玦状耳飾（図Ⅵ－185・187、図版216・217・225～228）

玦状耳飾は56点、関連する可能性のある遺物として、滑石の剝片が３点、原石が１点出土した。また、玦状耳飾とセット関係にあるとされる篦状垂飾が１点、それに類するものが２点出土した。出土層位は、前期末葉のＢ盛土相当が主体である。

玦状耳飾はすべて破片で出土している。接合するもの、同一個体のものがあり、個体数は46である。石材は、滑石が主体で43個体、ネフライト（トレモラ閃石岩）が３個体（1329・1330・1350）。形態は三角形基調のものが主体である。横長三角形が19個体、正三角形４個体、超横長三角形５個体、縦長のもの６個体、三角形基調とみられる破片12個体である。図Ⅵ－185に集成図を示した。上２段が横長三角形で側縁が曲線的なもの、中２段が横長三角形で側縁が直線的なもの、下から２段目が正三角形と縦長のもの、最下段が超横長三角形のものと篦状垂飾である。

製作段階で大別すると、①成品35個体、②切目作出の際に欠損あるいは作業中断した未成品４個体（1338・1340・1349・1352）、③器表面に明瞭な擦痕が残るもの（1338・1340・1343・1357・1362・1369）、④器表面は比較的平滑であるが、擦痕が目立つ、あるいはざらつきがあり、光沢のないもの（1339・1353・1365）、⑤整形の粗雑なもの（1338・1339・1340・1343・1349・1353・1357・

1362・1369)、⑥器体の厚いもの（1340・1365・1369）があげられる。③～⑥は未成品の可能性があるもので、重複を除くと7個体である。いずれも中央孔穿孔・切目作出はなされているが、中央孔・切目は未整形あるいは整形が不明瞭である。あるいは、「粗雑な成品」である可能性も残る。②～⑥を素材からみると、a 玦状耳飾の成品の破片を再利用するもの（1338・1352）、b 擦痕が明瞭で器体の厚い、玦状耳飾未成品ないしは「粗雑な成品」の破片を再利用するもの（1340）、c 玦状耳飾以外の石製品を転用したもの(1349)、d 素材不明のもの7個体である。確実な未成品である②の4個体は、すべて玦状耳飾あるいは石製品を転用したものである。

玦状耳飾に関連する可能性のある滑石製の遺物は、剝片3点（2096～2098）、原石1点（2099）がある。剝片は小片で、剝離方向は不明瞭。原石は未加工の扁平な円礫である。

今回出土した玦状耳飾56点46個体は、2010年段階の北海道の出土総点数63点（阿部・澤田2010）に迫る数量である。三角形玦状耳飾の一遺跡の出土点数としては現時点でおそらく最多であり、また、玦状耳飾の製作遺跡である新潟県大角地遺跡などに匹敵する出土点数である。早期末葉～前期前葉の玦状耳飾製作遺跡である大角地遺跡では、「少なくとも60点近く」出土した玦状耳飾の「大半が製作途中の破損品」であり「仕上げ砥までなされた製品が少なく」、「表面が平滑に研磨された資料」は5点のみである（加藤2009 a・2009 b）。こうした製作遺跡の状況と比較すると、今回の未成品の比率は明らかに低い。そのため、館崎遺跡では、出土した完成品の数を賄うような集約的な玦状耳飾の製作を行っていたとは判断できない。未成品の存在から、破片を利用した二次的な製作などを行っていたと推定される。

三角形玦状耳飾の形態と加工・加工痕については、以下のことが確認された。

形態に関しては、

1　滑石製のものは、縁辺の断面形が曲線的。
2　ネフライト製のものは、縁辺の断面形が角ばる。
3　滑石製の側面観は、頭部が厚く、肩部で曲線的に薄くなり、脚部は薄く扁平で、下辺近くで緩い稜線をなす、曲線的な形態が典型的。
4　滑石製で、頭部から脚部まで厚さの変化が少ないものもある。
5　ネフライト製のものは、頭部から脚部まで厚さの変化が少なく、側面観は直線的である。

こうした形態の違いは石材に起因するものであり、滑石は加工が容易な反面破損しやすいために、曲線的な形態と厚い頭部をもち、ネフライトは加工が困難な反面破損しにくいために、直線的な形態で全体が比較的薄く作られるものと考えられる。

同様に、加工と加工痕に関しては以下のことが確認された（図版216・217・225～228）。

① 中央孔穿孔は、両面穿孔が基本。
② 中央孔は穿孔後に整形され、穿孔方向の特徴的な溝・擦痕が残される。
③ 切目の作出は擦り切りによる。
④ 頭部に、擦り切りの際の溝のはみ出しである「切目突出」がみられることがある。
⑤ 切目部は擦り切り後に整形され、非常に細く多数並行する上下方向の特徴的な擦痕が残される。
⑥ ネフライト製のものは②・⑤に該当せず、穿孔・擦り切り後の整形は原則的になされない。
⑦ 結束孔とみられる二次穿孔は中央孔より明瞭に小さいものが多く、穿孔後に整形されない。紐ずれによる摩耗がみられる。
⑧ 垂飾へ転用するための二次穿孔は、径が中央孔と同程度で、穿孔痕は摩耗により消失し、整形痕は不明瞭。

上記のうち、滑石製の玦状耳飾にみられる中央孔と切目部の整形に注目した。中央孔の壁面にみら

れる穿孔方向の溝・擦痕は、図版216－1333・1345・1347が典型である。切目面にみられる、非常に細く長く、多数並行する上下～斜め方向の擦痕は図版216－1332・1333・1335・1341・1347が典型である。

中央孔と切目部の整形痕は、滑石をトクサで加工した実験結果と、それに類似するとして挙げられた出土例（堀江2009）に酷似する。中央孔・切目部ともに狭小部であること、整形後は滑らかであることから、工具は細く柔軟で、きめが細かいものと想定され、トクサはこの条件に合致する。そこで、簡易的な実験を行い加工痕を比較した（図版228）。素材には、遺跡から直線距離約20kmに位置する松前町大鴨津川中流から採取した滑石を打ち割った剝片を用いた。トクサは江別市大麻地区で採取した。a）中央孔の整形を想定して、剝片の縁辺を縦位置に、トクサを横位置に直交するように置き、トクサを剝片に強めに押し当て、左右方向＝トクサの長さ方向に運動させた（「縦使い」、堀江前掲書）。数回往復させるごとにトクサを移動させることを繰り返すと、剝片の縁辺が削れ、トクサの長さ方向に延びる凹凸に対応する溝と、その底面に2本組みの明瞭な擦痕が形成された（図版228②）。a'）押し当てる強さをやや弱くし、1回往復するごとにトクサを移動させると、溝は浅くなり、2本組みの明瞭な擦痕が形成された（同①手前側）。b）切目部の整形を想定して、a）と同様に剝片とトクサを置き、トクサを上下方向＝トクサの幅方向に運動させる（「横使い」、堀江前掲書）と、剝片の縁辺が削れて平坦化し、非常に細く並行する擦痕が形成された（同③）。c）仕上げ研磨を想定し、トクサを開いて剝片の平坦面に置き、平面的に四方八方に運動させた。剝片は研磨されて非常に滑らかな面が形成された。細かい擦痕は確認されるが、目立たない（同「正面」）。

以上のように、a）・a）'の痕跡は中央孔の加工痕に、b）の痕跡は切目面の加工痕に、c）の痕跡は仕上げ研磨の滑らかさに良く類似する結果が得られ、これらの加工にはトクサが使用されていたものと考えられる。今回は剝片を素材とした簡易的な実験であるが、玦状耳飾の加工を想定した場合、トクサの柔軟性が重要となる。特に、切目部は非常に幅が狭く、トクサがやや押しつぶされて切目に収まり、両面で作業ができることは好都合である。また、滑石製の玦状耳飾は、頭部が厚く、肩部で曲線的に急激に薄くなる。この部分は凹面をなしているため、研磨に使用する工具は柔軟である必要があり、この点でもトクサの柔軟性が適している。さらに、玦状耳飾の器表面には基質より硬いクロムスピネルが砥ぎ残されて突出していることも、研磨工具の柔軟性を示している。

トクサによる実験では、加工痕や研磨面の滑らかさはよく類似するものが得られたが、玦状耳飾にみられる光沢は再現されなかった。滑石の質にも左右されるであろうが、おそらく、トクサによる研磨の後に光沢をもたせるための工程があったものと思われる。なお、今回の実験の所要時間は約1時間、トクサは節で折断して使用して7節、ほぼトクサ1本分を消費した。中央孔や切目部の加工を想定した「縦使い」では、採取から数日後の乾燥したトクサが使いやすく、平面を研磨する際には乾燥状態による差はさほど感じられなかった。

今回の観察において、滑石製の玦状耳飾とネフライト製の玦状耳飾は形態と製作方法にやや相違があることがわかった。滑石製で厚みの変化がある曲線的な形態の三角形玦状耳飾は、館崎遺跡以外で確実なものとしては、前期後半の盛土遺構を伴う集落である木古内町大平遺跡で3点出土している（北埋321・328）。

三角形玦状耳飾は、津軽海峡域に濃密に分布すること（福田2006、阿部・澤田2010）、さらには東北地方から鹿児島県に至るまで散発的ながら広域に分布することが明らかにされている（福田2006）。しかし、56点が出土した館崎遺跡も製作遺跡ではなく、また、岩石学的分析の結果からは、松前産以外の石材を多く含む可能性も指摘されている（Ⅸ章9・10節）。今後はX章3節で触れるよ

うに、原石産地の分析の進展と共に、製作遺跡の発見が期待される。同時に、遺物の石材に関する情報は製作地を推定する上でも重要であるが、玦状耳飾など装身具に使用される石材は、とりわけ肉眼観察だけでは同定の難しいものも多い。使用石材についての自然科学的な情報の蓄積も重要である。

なお、トクサの使用に関しては、堀江武史氏・川崎保氏にご教授いただいた。記して感謝いたします。また、堀江氏はすでに、長野県飯島町歴史民俗資料館「飯島陣屋」における縄文講座の玦状耳飾製作体験において、糸切り技法による切目作出とトクサによる仕上げ研磨を導入されていることを付記しておく。

鳥帽子形石器・側縁有溝石器・長板状石製品・石棒（図Ⅵ－180・186・188～190）

鳥帽子形石器が9点、側縁有溝石器が12点、石棒が23点と、これらに類すると考えられる「長板状石製品」が15点出土した。鳥帽子形石器・側縁有溝石器の出土点数は、1遺跡の出土点数としては突出して多いといえる。また、長板状石製品は、管見の限り類例のないものである。

平面分布と出土層位を図Ⅵ－186に示した。平面分布図では、鳥帽子形石器・側縁有溝石器はおおむね中期前葉～中葉のC盛土の範囲（図Ⅳ－18～23）に、長板状石製品は前期末葉～中期前葉のB盛土の範囲に、石棒はほかの3者より広い分布範囲を示し、B・C盛土の範囲と重なっている。

出土層位でみると、鳥帽子形石器・側縁有溝石器はB・C盛土主体で、前期の土層から出土したものはなく、中期前半に属するものである。これに対し長板状石製品はB盛土主体で、主に前期末葉～中期初頭ないしは前葉に属するものである。石棒はB・C盛土主体で、前期末葉ないしは中期初頭～中期前半のものが主体で、後期前葉の土層から出土したものもあり、所属時期の幅が広い。石棒の形態による出土土層の時期の違いは顕著ではない。ほかの3種と比較して、遺構からの出土がやや多い。

鳥帽子形石器・側縁有溝石器・石棒には、後期の土層から出土したものもあるが、例えば後期前葉のTP－3から出土した石棒1480は、柱状で端部に二重丸状の加工がなされており、形態的には中期に比定される。また、1481は後期前葉の土坑TP－123出土の破片と前期末葉～中期初頭の住居跡TH－18覆土2層出土の破片が接合しており、前期～中期のものと判断される。つまり、後期の土層から出土したものについては後期に所属するものか、前期～中期の混入かは、判断が難しい。

出土層位と平面分布から、長板状石製品が前期末葉～中期初頭が主体でやや古く、鳥帽子形石器と側縁有溝石器は中期前半主体でやや新しいことがわかった。石棒は前期末葉～中期中葉と長期間に及ぶとみられる。

図Ⅵ－180には鳥帽子形石器等の模式図を示した。特に側縁有溝石器において、現在までの研究例と異なる名称の部分があるが、今回は斎藤（2001）にならい、鳥帽子形石器との対比を重視した。

鳥帽子形石器（図Ⅵ－188）

上辺に稜をもち、底面が平坦で、三角錐状～三角柱状を呈するものである。形態的には、①側面観での左右の高さの差、②左右端面の形状の違い、の組み合わせが多様であり、整形の程度は入念なものから部分的なもの、また整形されないものまで様々である。

側面観での高さの差があるものは、図Ⅵ－188上段の4点。1445は入念に整形され、左右端面が作り分けられ、左端面から底面に続く溝が作られる。今回出土した中で最も精巧である。1447は整形は比較的入念だが、左右端面の作り分けはなされない。1450・1451は、整形は部分的だが、左右端面の形状は異なっている。

側面観の高さの差のないものは、中段の4点。1446は整形は部分的であるが、左右端面の作り分

けがなされ、左端面と底面の角には窪みが作られる。1448は整形は比較的入念であるが、左右端面の作り分けがなされない。1449は調整は部分的だが、左右端面の形状が異なる。1452は調整がなされないが、左右端面の形状は異なり、左端面と底面の角が窪んでいる。

このように、形態と整形程度の組み合わせは多様である。そのなかで共通しており、最も重視されたとみなせるのは、頭頂部は尖鋭で底面が平坦である、断面三角形状を呈することである。この要素が満たされていれば、形態的な自由度は高かったものと考えられる。そのことは、大きな整形を加えずに、素材の形状を生かして整形される例が多いことにも現れている。

側縁有溝石器（図Ⅵ－188）

扁平な楕円形の礫に敲打帯などの加工を施したものとして認識される。属性は、①側縁敲打帯（溝）、②敲打による底面の窪み、③卵形の平面形、④底面が平坦で上面が凸面をなす形態、がある。

①の側縁敲打帯が全周するもののうち、①～④すべての属性をもつ精巧なものは1454である。1455は①～③、1456・1457は①・②、1465は①・④（図は底面・上面が逆）の属性をもつ。②窪みの形態は多様である。

①の側縁敲打帯が全周しないものには、半分以上巡る1458、1側縁のみでわずかな研磨を伴う1460、ごく部分的な1459・1461がある。これらはすべて②の窪みがあり、③・④のいずれかの属性もあわせもつ。

①の側縁敲打帯がなく、②の窪みをもつものは1462・1463・1464で、いずれも③・④の属性もあわせもつ。窪みが両面にみられる、あるいは大きく楕円形であり典型的ではないが、1458や1456と類似することにより、側縁有溝石器に含まれると考える。

側縁有溝石器の主属性は、①側縁の敲打帯、②底面の窪みであるものの、そのあり方は多様であり、従属性③・④との組み合わせも多岐にわたる。一定程度の形態を示していれば、同一器種と認識して良いと考えられ、その形態的な自由度には烏帽子形石器との共通性もうかがえる。

長板状石製品（図Ⅵ－189）

扁平で長い板状節理の礫を素材とし、一辺がやや尖鋭、もう一辺がやや平坦なものと認識される。両辺は、上下の幅の差や研磨－敲打の整形方法の差など、何らかの作り分けがなされている。断面形は、1470のような下方が厚くなる板状、1467のような幅の狭い三角形がある。ほとんどが破損して出土しており、接合例では、発掘区で4～6区画（8m～20数m）と、やや離れた位置から出土している（図Ⅵ－187）。また、破損後に加工されている例がある（1466）。1468のような左右の短い完形品とみられるものもあるが、掲載したほとんどは欠損しているとみられ、本来は長いものが多いと考えられる。

先鋭な頭頂部と平坦な底面の対応関係は、烏帽子形石器でも重視されている形態であり、両者に共通性がうかがわれる。また、破損を伴うことは石棒などにも多くみられる状況であり、儀礼的な結果と考えられている。以上のことから、長板状石製品は、前期末葉を主体とした「第二の石器」の一種と位置づけられる。

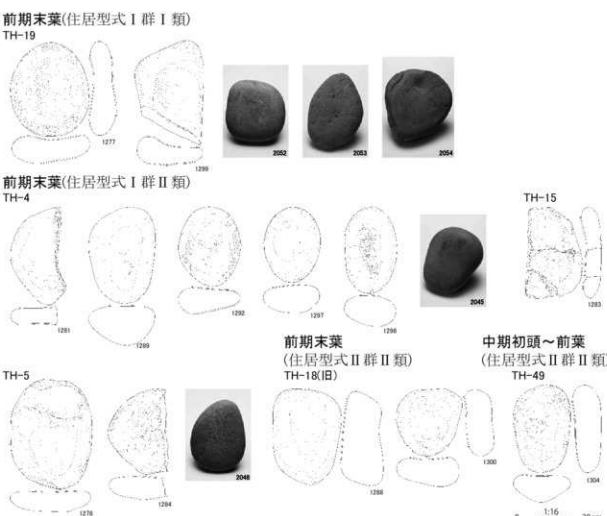
長板状石製品の類例については、少なくとも石製品として注目されたものは見つけられなかった。しかし、本来的には出土がないわけではなく、特徴的な形態・要素に乏しく、さらに破片で出土することが多いために、今まで認識されていなかったものと考えられる。今回の整理作業においても、当初は石鋸、扁平打製石器、台石石皿などに分類されていたものが多い。館崎遺跡での出土点数が側縁

有溝石器や烏帽子形石器と近いことを考えると、今後は類例が増加するものと予想される。なお、北斗市館野市館野６遺跡（北埋調報327）図Ⅳ－２－69の「石鋸様石器」５点は、長軸で線対象に整形されている点が長板状石製品とは異なるが、長く薄い「長板状」の形態は共通しており、関連する可能性がある。

石棒（図Ⅵ－190）

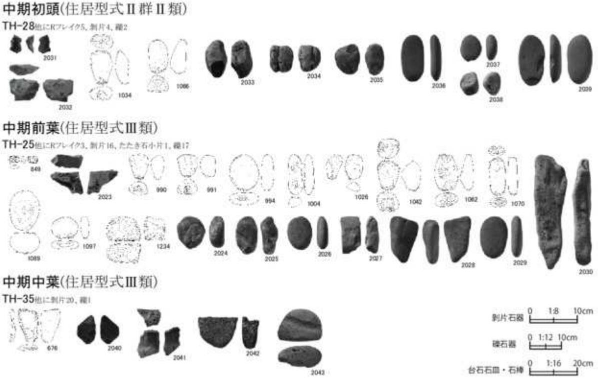
23点出土し、端部を作り出すもの２点、円柱状のもの５点、紡錘形のもの１点、部分的な加工のもの７点、加工の不明瞭なもの８点がある。ほとんどは前期～中期のものとみられる。時期を問わず、各形態が継続的に使用されたとみられる。端部を作り出すもの、円柱状のものはすべて破片であり、紡錘形のもの・部分的な加工のもの・加工の不明瞭なものは完形が多く、破損している場合も同一遺構内で接合する例が多い。また、前期～中期の土坑出土例が２点、住居跡床面出土例が１点みられる。烏帽子形石器・側縁有溝石器には遺構からの出土例はなく、長板状石製品には住居跡中央ピット出土例が１点のみであり、石棒は遺構からの出土例がやや多いといえる。

（柳瀬）



図Ⅵ－181　住居跡床面据え付けの台石石皿

図Ⅵ－182　住居跡中央ピット出土石器（1）

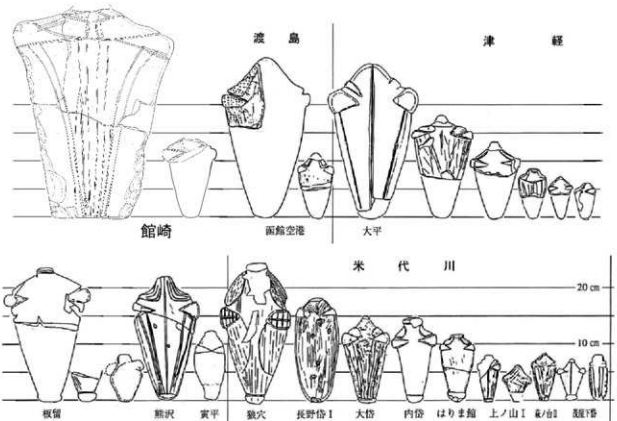


図Ⅵ－183　住居跡中央ピット出土石器（2）

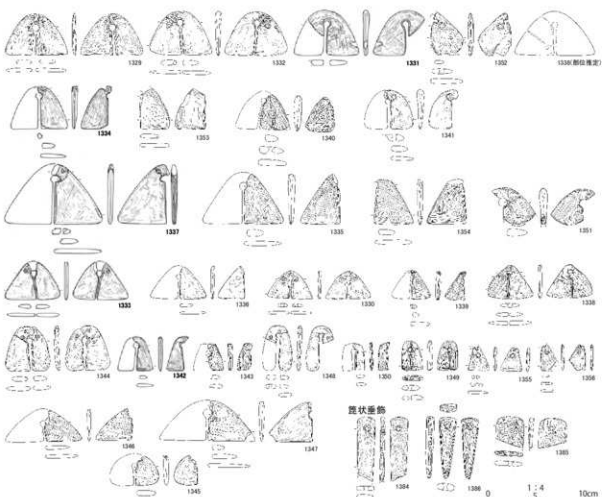
表Ⅵ－2　住居跡中央ピット出土石器等点数一覧

			剥片石器											礫石器									剥片														有意の礫			礫									
住居型式時期	遺構名	取り上げ遺構名	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	砥石	台石石皿	頁岩	黒曜石	珪質砂岩	珪化岩	緻密安山岩	玉髄	安山岩	粘板岩	チャート	角礫岩	珪質岩	砂岩	石英岩	剥片計	加工痕のある礫	有孔礫	スコリア礫	チャート	安山岩	粘板岩	泥岩	凝灰岩	砂岩	玄武岩	珪質岩	石英岩	礫計	総計
Ⅰ群Ⅰ類 前期末葉	TH-19	TH-19HP29									8			2	1			1			2	30		1											31						3	1	2	1	1			8	53
	TH-24	TH-24HP1									1			6								108						13		8					129				2				1					3	139
Ⅰ群Ⅱ類 前期末葉	TH-4	TH-4HP1	1		2			1	2			6		1	9	3	9	1				5	518		35											553								2					2	595
	TH-5	TH-5HP1													1			1					112	5			7									124				1	1					1			3	129
Ⅱ群Ⅱ類 前期末葉	TH-2	TH-2HP1														1		1																																	2
	TH-8(旧)	TH-8(旧)HP18													2		1	1					3													3				1	8	1	1	1		1			13	20
	TH-9	TH-9HP29						1				6			2								22		13										1	36														45
	TH-12	TH-12HP16						3				6	1		3								21		25	1					1	2				50		1						1					1	65
	TH-18(旧)	TH-18HP26				1		3				1											1227	203	10				33	65	6					1564				61									61	1630
	TH-21	TH-21HP1	3	2	2			5				9			4					1		2	51	1						1		1			54				19	20	20	18	10	2	2		1	92	174
	TH-22	TH-22HP1	4		7			7	4	1		7	6		9			1			1	2	84	2	5						1			1		93					5		1	1	2	2	1		12	154
	TH-23(旧)	TH-23HP1				1		2	1			2			7		2						9		1											10				2	8	1							11	36
		TH-23(旧)HP1										1										1													1														2
	TH-29	TH-29HP1													1								3		1											4									1				1	6
	TH-32	TH-32HP23				1				1			4			2	1							12		2			1						1		16				2	2					1			5	30
Ⅱ群Ⅱ類 中期初頭～前葉	TH-3	TH-3HP1																																											1				1	1
	TH-8(新)a	TH-8(新)HP27							1					1									3													3			4											9
	TH-18(新)	TH-18HP1	1										1		1								9		1											10				1	1			1					3	16
	TH-23(新)	TH-23(新)HP1																																																0
	TH-27	SP-19																																							1								1	1
		SP-20													1	1		1																								1								1	4
		SP-21						1						1																																						2
	TH-28	TH-28HP1						1				5	1		10								4													4					1			1					2	23
	TH-49	SP-350													1																									1									1	2
Ⅲ類 中期前葉	TH-25	TH-25HP1							1			3	1		14	3		1					13		3											16	1			3	8	2			2		2		17	57
	TH-33	TH-33HP5										1		1	1								5		1											6														9
Ⅲ類 中期前葉～中葉？	TH-17	TH-17HP1																				1																												1
		TH-17床													6																																			6
Ⅲ類 中期中葉	TH-13	TH-13HP10																																																0
	TH-34(新)	TH-34(新)HP6																																							3								3	3
	TH-34(旧)	TH-34(旧)HP1										2											1													1					1								1	4
	TH-35	TH-35HP7						2							2			1					19		1											20					1								1	26
	TH-39	TH-39HP8										1				1							4													4		1			1				1				2	9
	TH-48	TH-48HP2																																																0

網掛けは水洗選別による微細遺物が多数を占めるもの



図Ⅵ－184　岩偶の大きさの比較図（稲野1997　図４を改変）



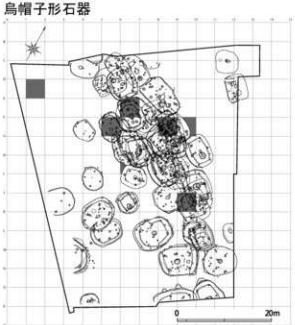
図Ⅵ－185　玦状耳飾・筒状垂飾

表Ⅵ－３　玦状耳飾観察表

掲載番号	未成品	器表面研磨	中央孔 断面形	中央孔 壁面整形	中央孔 大きさ(mm)(長径-短径)	切目部断面形	切目面 擦り切り痕、摩耗	切目面 整形痕、摩耗	切目突出	二次穿孔 数	二次穿孔 種別	二次穿孔 断面形	二次穿孔 大きさ(mm)(外径	－内径)	二次穿孔 段ずれ/整形	折れ面の摩耗等	備考	厚さ(mm) 頭部	厚さ(mm) 脚部
1329		丁寧	iii	なし	11.0−7.5	f	あり	なし	両面、浅い溝・擦痕	一対	㋐	iii	3.0−1.0	3.0−1.0	なし	研磨	ネフライト(トレモラ閃石岩)	3.0	3.5
1330		丁寧	iii	なし	8.0−5.0	f	あり	なし	両面、浅い溝・擦痕	一対	㋐	iii	4.0−1.5	5.0−2.0	孔縁摩耗わずか	摩耗明瞭	ネフライト(トレモラ閃石岩)	3.0	3.0
1331		丁寧→ひっかき傷	ii	②	8.5−6.0	b	なし	縦・斜、下部摩耗	なし	(なし)	−	−	−	−	−	摩耗明瞭		7.0	3.5
1332		丁寧	ii	②	10.0−6.5	a〜b	あり、下部摩耗	なし	なし	一対	㋐	ii・i	5.0〜6.0−3.0	3.0−2.0	孔壁面、孔間器表面	摩耗明瞭、平坦化	接合部に擦り切り溝、中央孔摩耗	6.5	3.0
1333		丁寧	i	①	9.0−6.0	a	なし	左：やや太い縦→横溝、摩耗 右：縦→横溝、下端摩耗	−	(一対)	㋐	iii	3.0−1.5	−	孔壁面、孔間器表面	摩耗明瞭、平坦化	中央孔上部に摩耗	(4.0)	3.0
1334		丁寧	i	②	(8.5)−(7.5)	a〜b	部分的にあり	縦・斜、下部摩耗	−	1	㋔	iii	6.0−2.0	−	(なし)	摩耗明瞭		(7.0)	3.0
1335		丁寧→擦痕・溝	i	②	(9.5)−(7.5)	c	部分的にあり	縦・斜→横溝	−	(なし)	−	−	−	−	−	摩耗	玦状耳飾へ再加工？	(8.0)	4.0
1336		やや丁寧(平滑だが光沢弱い)	i	①	(6.0)−(5.0)	e	なし	縦横斜、摩耗	−	(なし)	−	−	−	−	−	縁辺・凸部摩耗		(3.5)	2.5
1337		丁寧	ii	②	(12.5)−(10.0)	d	あり、摩耗	斜わずか	−	1	㋓	ii	3.0−2.0	−	(なし)	縁辺わずかに摩耗	推定幅10.4cm 中央孔楕円形？	−	5.0
1338元		丁寧	−	−	−	b	−	あり	−	1	㋑	i			なし/整形有	(下に同じ)		−	−
1338再加工	未成品㋐	丁寧→粗い擦痕	i	①	5.5−4.0	a	あり	なし	正面、浅い溝・擦痕	穿孔途中？6	−	−	−	−	−	摩耗	完成品の破片を再利用した未成品	4.0	4.0
1339	未成品？㋒㋓	やや粗い、やや白濁	ii	なし	(4.5)−(3.0)	a	部分的にあり	幅広カンナ削り状(擦痕なし)、摩耗	正面溝明瞭、裏面溝	1	㋓	iii	2.5−1.0	−	−	わずかに摩耗		4.0	4.0
1340元	未成品？㋑㋒㋔	粗い	ii	なし	(8.5)−(5.5)	a	あり	なし	−	1	㋑	iii	8.0−2.5	−	−	摩耗or研磨		−	7.5
1340再加工	未成品㋐	粗い	iii	なし	−	−	−	−	正面明瞭な溝	(なし)	−	−	−	−	−	摩耗or研磨	未成品？の破片を再利用した未成品	7.0	7.0
1341		丁寧	ii	②	(8.5)−(5.5)	a	なし	斜、下部摩耗	なし？	1	㋔	ii	6.0−3.5	−	なし	凸部摩耗		8.5	3.5
1342		丁寧、裏面擦痕目立つ	ii	①	(8.0)−(6.0)	b	部分的にあり	縦・斜→横溝	正面溝	(なし)	−	−	−	−	−	なし		4.0	3.0
1343	未成品？㋑㋒	粗い	iv	なし	(6.5)−(5.0)	不整形	あり	なし	−	(なし)	−	−	−	−	−	なし		5.0	3.5
1344		丁寧	ii	なし	8.5−6.5	d	部分的にあり	縦、摩耗	なし	一対+未貫通1	㋐	ii	4.0−2.0	3.0−2.0	孔壁面、孔間器表面	摩耗明瞭、平坦化		5.0	4.0
1345		丁寧	ii	①	(8.5)−(6.5)	a	なし	縦わずか、横溝多数、摩耗	−	1	㋓	iii	4.0−1.5	−	−	凸部摩耗		(6.0)	5.0
1346		丁寧、やや擦痕目立つ	i	①	(7.0)−(6.0)	a	部分的にあり	斜交差	−	(なし)	−	−	−	−	−	なし		(4.5)	2.5
1347		丁寧、やや擦痕目立つ	ii	①	(11.5)−(9.5)	a	なし	縦、摩耗	−	1	㋓	iii	2.0−1.5	−	(なし)	頭部：なし、右下端：やや摩耗		(5.5)	3.0
1348		やや丁寧、やや白濁	i〜ii	なし	7.0−4.5	a	部分的にあり	不明瞭、下端摩耗	両面溝・擦痕	(一対)	㋐	i	3.0−1.5	−	孔壁面、孔間器表面	摩耗明瞭	意図的な擦り切り溝？	4.5	4.0
1349	未成品㋐	丁寧	i	なし	6.0−4.0	左e 右a	あり	なし	正面明瞭な溝	穿孔途中？1	−	−	−	−	−	なし	石製品等を転用した未成品	5.0	5.5
1350		丁寧	iii	なし	(8.0)−(5.0)	f	あり	なし	両面溝・擦痕	(なし)	−	−	−	−	−	なし	ネフライト(トレモラ閃石岩)	2.5	2.5
1351		丁寧	i	なし	(11.5)−(9.5)	c	あり、摩耗	なし	(なし)	(なし)	−	−	−	−	−	頭部：縁辺摩耗わずか	下端部再加工	8.5	(5.0)
1352元		丁寧	−	−	−	a	あり	なし、摩耗	−	3	㋑	ii	5.5−3.5	6.0−4.0	なし/整形有	(下に同じ)		(5.5)	3.5
1352再加工	未成品㋐→垂飾へ転用	丁寧→擦痕	ii	なし	−	−	−	−	なし	−	−	−	−	−	−	頭部：研磨、下端：摩耗明瞭	完成品の破片を再利用した未成品を、垂飾へ転用	(5.5)	3.5
1353	未成品？㋒㋓	やや丁寧、やや白濁	−	−	−	a	なし	横わずか	−	(なし)	−	−	−	−	−	凸部摩耗		(5.0)	4.0
1354		丁寧	ii	①	−	dやや尖る	なし	縦・斜、下端摩耗	−	(なし)	−	−	−	−	−	凸部摩耗わずか		−	4.5
1355		丁寧	−	−	−	a	あり、摩耗	なし	−	2	㋔	iii	2.5−1.0	5.0−3.0	なし	摩耗明瞭	1356と同一母岩？	(3.0)	3.0
1356		丁寧、やや擦痕目立つ	−	−	−	d	あり、摩耗	なし	−	2	㋔	iii	2.5−1.0	4.0−2.0	なし	上：摩耗明瞭or研磨、下：摩耗明瞭	1355と同一母岩？	(2.5)	2.5
1357	未成品？㋑㋒	粗い	−	−	−	f	なし	なし	−	(なし)	−	−	−	−	−	なし	再加工？	−	−
1358		丁寧	−	−	−	b傾く	なし(溝の刻整残る)	縦→横溝	−	(なし)	−	−	−	−	−	なし		−	3.0
1359		丁寧	−	−	−	a	なし	縦、摩耗	−	(一対)	㋐	iii	2.5−1.5	−	孔壁上部	上端：摩耗明瞭	研磨前の敲打による？凹凸あり	−	3.0
1360		丁寧	−	−	−	a(段差あり)	あり	横溝	−	1	㋓	iii？	−	−	−	上端：なし、下端：凸部摩耗明瞭		−	−
1361		丁寧	−	−	−	c	なし	斜	−	(なし)	−	−	−	−	−	縁辺摩耗わずか		−	2.5
1362	未成品？㋑㋒	粗い	−	−	−	f？	あり	なし	−	(なし)	−	−	−	−	−	縁辺摩耗わずか		−	−
1363+1366		丁寧	iii	なし	(10.5)−(7.0)	c	あり	なし	−	(なし)	−	−	−	−	−	頭部・下面とも摩耗わずか		6.0	(2.5)
1364		丁寧	−	−	−	f	あり	横溝わずか	−	(なし)	−	−	−		−	上端角摩耗		(5.0)	3.0
1365	未成品？㋒㋔	やや丁寧、白濁	iii	なし	−	e	あり、摩耗	なし	−	(なし)	−	−	−	−	−	上：なし、下：鋸歯状加工・摩耗	下端部再加工	−	−
1367		丁寧	i	②	(5.5)−(4.5)	a(段差あり)	あり	斜	−	(なし)	−	−	−	−	−	なし		5.0	(4.0)
1368		丁寧→粗い擦痕	iii	なし	−	a	なし	−	−	(一対)	㋐	iii	3.5−1.5	−	表面孔縁	研磨or摩耗	再加工	5.0	−
1369	未成品？㋑㋒㋔	粗い、白濁	−	−	−	c	なし	なし	−	(なし)	−	−	−	−	−	頭部：研磨、下端：摩耗	再加工	−	−
1370		丁寧	i	①	−	e	−	−	−	(なし)	−	−	−	−	−	頭部・下端とも縁辺・凸部摩耗		−	−
1371		丁寧	−	①	−	d	なし	縦→横溝	−	(なし)	−	−	−	−	−	上下とも縁辺摩耗わずか		(5.0)	3.0
1372		丁寧→粗い擦痕	−	−	−	b	あり、摩耗	なし	−	(なし)	−	−	−	−	−	なし		−	3.0
1373		丁寧	−	−	−	−	−	−	−	(なし)	−	−	−	−	−	上：摩耗or研磨、下：摩耗明瞭		−	2.5
1374		丁寧	−	−	−	−	−	−	−	(なし)	−	−	−	−	−	なし		−	2.5
1375		やや丁寧	−	−	−	−	−	−	−	(なし)	−	−	−	−	−	凸部摩耗		−	−

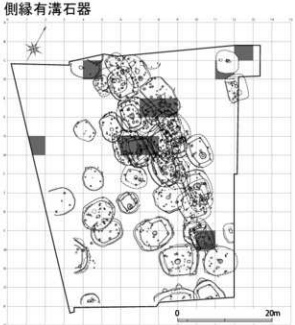
項目内容　(未成品)　㋐：切目作出段階、㋑：明瞭な擦痕、㋒：器表面にざらつきがあり、光沢がない、㋓：整形粗雑、㋔：器体厚い(本文55・56ページ)
(研磨)「丁寧」：擦痕目立たず光沢あり、「やや丁寧」：比較的滑らかだがざらつきがあり光沢なし、「やや粗い」：擦痕目立ち光沢なし、「粗い」：明瞭な擦痕
(中央孔断面形)・(二次穿孔断面形)　図Ⅵ-180「中央孔・二次穿孔断面」i〜iv、(中央孔壁面整形)　図Ⅵ-180「中央孔整形」①・②、(切目部断面形態)　図Ⅵ-180「切目部断面」a〜f
(切目面整形痕)「縦・横・斜」：細く多数が並行する擦痕、「溝」：2〜3本単位の(等間隔に並ぶ)明瞭な擦痕
(二次穿孔種別)　㋐：結束孔、㋑：再生中央孔、㋒：垂飾転用、㋓：結束孔類似、㋔：その他(本文55ページ)
(頭部・脚部厚さ)　頭部：頭部最厚部、脚部：脚部下部の厚さ変化点、()：現存最厚部・最薄部
−：該当部位が残存しない、()：残存部位からの推定

烏帽子形石器



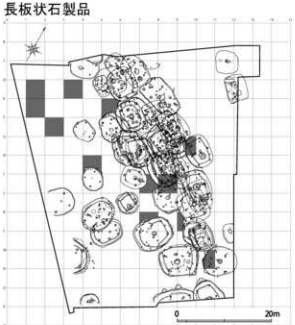
掲載番号	遺構名	調査区名	層位	盛土区分	時期
1452		H6	H2上	B-C	中前半
1453		H6	H2上	B-C	中前半
1447		D1	H2(2)	B-C'	中前
1449		J8	H2上	C	中前半
1451		F9	H2下	C	中前半
1445		J8	H2下	C	中前
1448		F9	H2上	C-盛上部	中後期
1450		F1	H1a	盛上部	後期前
1446		J8	I	-	-

側縁有溝石器



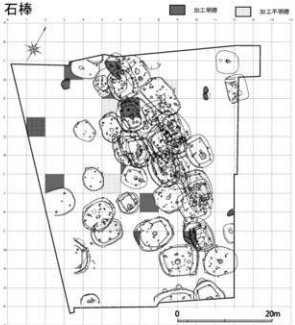
掲載番号	遺構名	調査区名	層位	盛土区分	時期
1465		G4	H2下	B-C	中前半
1454	TH-5(6)	G1	盛土	B-C'	中前
1456		G6	H2	C	中前半
1461		G7	H2下	C	中前半
1458		E9	H2上	C-盛上部	中後期
1459		E7	H2上	C-盛上部	中後期
1457	TH-6(6)	G12	盛土	C-D	中後期
1455	TH-6(5)	G12	盛土	C-D	中後期
1460		不明	表面	-	-
1462	溝1	G4	盛土	-	-
1463		G11	溝底	-	-
1464		L10	I	-	-

長板状石製品



掲載番号	遺構名	調査区名	層位	盛土区分	時期
---		K7	H2上	B	前末
1468		E1	H2下	B	前末中前
1466		H4	H2(3)	B	中前
1472		J7	H2上	B	中前
1474		G1	H2(4)	B	中前
---		H4	H2(2)	B	中前
1475		E1	H2(4)	B	中前
1469		K9	H2	B-C	前末中前
1472		K9	H2上	B-C	前末中前
1474	TH-5(6)	J12	盛土	B-C'	中前
1467		D5	H2(3)	C	前末中前
1473		J8	H2上	C	中前半
1470	TH-19	M10	盛土1	-	前末
1471	TH-28(P4	C8	盛土	-	中前
1469		E5	I	-	-

石棒

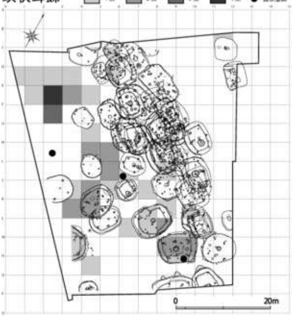


掲載番号	遺構名	調査区名	層位	盛土区分	時期
2108		E5	H2下	A-B	前末中前
1476	TH-6(6)	F7	盛土最下	A-B	前末中前
2101		J5	H2	C-B	前末中前
1482	TH-5	L8	盛土	C-B-盛土下層	前末中前
1480	TH-5	L8	盛土	C-B-盛土下層	前末中前
1478		H6	H2下	B-C	中前
1483		J7	H2上	D-B-C	中前
2104	TH-5(6)	F7	盛土下	B-C'	中前
1487		G3	H2(1)+(3)	D-B-C-盛上部	前末中前
1479		D5	H2上	B-C	中前半
1485	TH-34(5)	G3	盛土	D-C	中前半
1486		E8	H2上	D-C	中前半
1485	TH-34	G5	盛土	D-C-盛土下層	中前半
1481	TH-18	L9	盛土2	中	前末
2103	TH-17	H5	盛土	B	前末中前

掲載番号	遺構名	調査区名	層位	盛土区分	時期
1484	TP-66	D10	盛土	D	中前
1488	TP-134(D10	盛土	D	中前
1490	TP-23	保護	E	中前
1491	TP-13(C	盛土	中前	後期前
2100	配石	D16	H1a	盛上部	後期前
1480	TP-3	J11	盛土	D	後期前
1477		32	I	A	-

図Ⅵ－186　石製品出土分布（1）

玦状耳飾



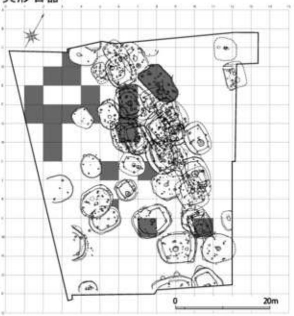
掲載番号	遺構名	調査区名	層位	盛土区分	時期
1344	TH-11	K4	覆土	P～A・覆土下層	前後末
1344	TH-11	J4	覆土	P～A・覆土下層	前後末
1364		L6	掘り上げ土	P	前末
1331		M8	掘り上げ土	P'	前末
1343		K3	m2(2)	A	前末
1344		J3	m2上	A	前末
1362		K3	m2	A	前末
1348	TH-14	–	覆土1c	A?	前末
1333		H4	m2(5)	A・B	前末
1341		D2	m2下	A・B	前末
1346		H4	m2(5)	A・B	前末
1350		J4	m2(2)下	A・B	前末
1367		E2	m2下	A・B	前末
1372		D1	m2下	A・B	前末
1334		E4	m2下	A・B	前末中初
1332		E2	m2(5)	B	前末
1333		H5	m2(6)	B	前末
1332		E2	m2(5)	B	前末
1337		E3	m2(2)	B	前末
1336		F2	m2(6)	B	前末
1338		E2	m2(5)	B	前末
1340		G4	m2下	B	前末
1349		K4	m2	B	前末
1335		I5	m2(3)～(6)	B	前末中初
1353		J7	m2下	B	前末中初
1358		I5	m2(3)～(6)	B	前末中初
1373		D3	m2(4)	B	前末中初
1329	TH-4	M8	覆土1	B	前末中葉
1329	TH-4	–	覆土1	B	前末中葉
1330	TH-4	M9	覆土	B・覆土下層	前末中葉
1339		K8	m2上	B	前末中葉
1347	TH-4	N8	覆土1	B	前末中葉

掲載番号	遺構名	調査区名	層位	盛土区分	時期
1368	TH-4	M8	覆土1	B	前末中葉
1338	(TH-63)	E1	覆土下	B	中初
1359		D8	m2下	B	中初
1360	(TH-63)	-	覆土下	B	中初
1365		I6	m2下	B	中初
1374	TH-5	K7	覆土1	B	中初
1337	TP-72	E3	覆土	B	中前
1349		J5	m2(2)	B-C	前末中中
1342		F2	m2	B-C'	前末
1357		F2	m2	B-C'	前末
1351	TH-32	D5	覆土	C・覆土下層	前末中初
1370		H5	m2(2)	C	中前
1352	TH-34(旧)	C5	覆土	C	中前半
1345		B11	m1a(2)	D	後期前
1354	TH-5	L7	覆土2		前末
1355	TH-5	L8	覆土2		前末
1356	TH-5	L8	覆土2		前末
1363	TH-18	K9	覆土2		前末
1366	TH-4	L9	覆土2		前末
1369	TP-26	J6	覆土		前末
1371		不明	m2	–	–
1375		N4	Ⅰ	–	–
1381		I8	Ⅰ	–	–

管状垂飾

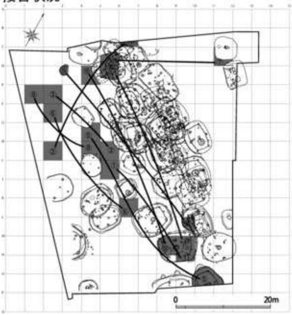
掲載番号	遺構名	調査区名	層位	盛土区分	時期
1384	TH-4	N9	覆土1	B	前末中葉
1386	(TH-63)	H2	覆土中	B	中初
1385		I6	m2上	B・C	中前

異形石器



掲載番号	遺構名	調査区名	層位	盛土区分	時期	土器型式
1430		K5	m2	A	前末	下d1
1438		D3	m2下	A・B	前末	
1421		G3	m2(5)	B	前末	
1437		D2	m2(5)	B	前末	下d2
1419		I5	m2	B	前末中初	
1422	(TH-63)	E1	覆土下	B	中初	上a
1423		F1	m2(4)	B	中初	上a
1424		F1	m2(4)	B	中初	上a
1427		F1	m2(4)	B	中初	上a
1432		D1	m2(4)	B	中初	上a
1434	(TH-63)	G2	覆土下	B	中初	上a
1439	(TH-63)	G2	覆土下	B	中初	上a
1442		I7	m2	B	中初	上a
—		F1	m2(4)	B	中初	上a
—		I5	m2(3)	B	中初	上a2
1433		E1	m2(4)	B	中前	上a～b
—		E4	m2上	B	中前	上b?
1428		F4	m2	B・C	前末中中	
1431		F3	m2(2)	B・C	中前半	上a2～サ古
—		F3	m2(2)	B・C	中前半	上a2～サ古
1436	(TH-57)	H2	覆土?	B・C'	前末中前	下d2～上b
1429		F2	m2上	B・C'	中前	上b
1418		E1	m2(2)	B・C'	中前半	上b～サ古
1425		G6	m2下	C	中前	上b
1426		F6	m2下	C	中前半	上b～サ新
1443	TH-39	-	覆土	C・覆土下層	中前半	上b～サ新・見
1420	TH-5	L7	覆土2		前末	下d1主
1444		E6	m1	盛上部	後期前	涌元
1435		G2	攪乱	–	–	–
1440		L10	Ⅰ	–	–	–
1441		G2	攪乱	–	–	–
—		不明	排土	–	–	–

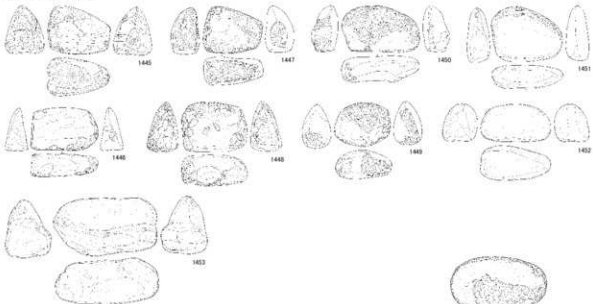
接合状況



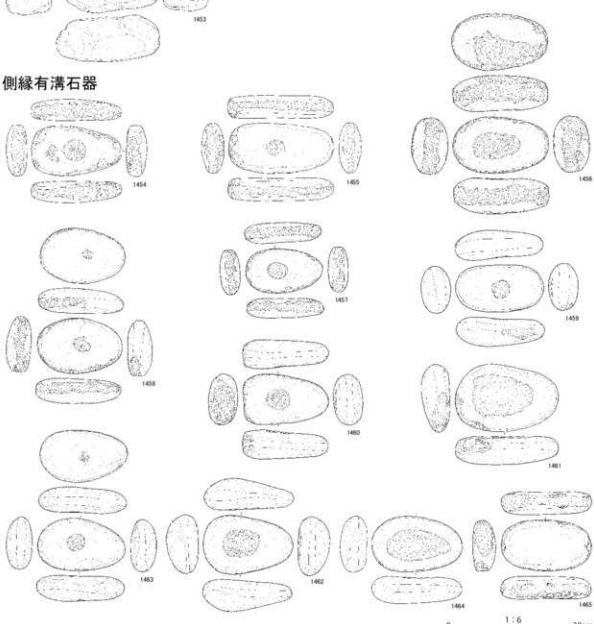
分類	掲載番号	石材	遺構	調査区	遺物番号	層位	盛土区分	時期
① 石槍またはナイフ	173	頁岩	TH-4	N9	1117	覆土2		前末
				I5	361	m2(3)～(6)	B	前末中初
② 石斧		ドレライト	(TH-57)	H2	1139	覆土上	B-C'	中前半
				B6	7	m1	盛上部	
③ 石斧		片岩		E2	1029	m2(3)	B	前末
				H5	39	m2(3)	B	前末中初
④ たたき石	984	砂岩	TH-4	M9	1261	覆土	B・覆土下層	
			TH-7	D5	1334	覆土下		
⑤ すり石	2061	玄武岩	TH-2	-	377	覆土1	B-C	中前半
				G4	549	m2(8)	B	前末
⑥ 扁平打製石器	1139	緑色岩?		F2	286	m2(4)	B-C'	中前
				K8	182	m2(4)～(6)	A・B	前末
⑦ 台石石皿	1324	砂岩	TH-7	D5	1259	覆土下		
			TH-7	C5	1274	覆土		
				C11	10027	m1a	D・盛上部	後期前
⑧ 長板状石製品	1466	安山岩		E1	363	m2下	B	前末中初
				H4	764	m2(3)	B	中初
⑨ 石棒	1481	玄武岩	TH-18	L9	417	覆土2		前末
			TP-123	D2・3	188	覆土中		後期前
⑩ 軽石製品	1527	軽石	TH-4	M8	45	覆土1	B	前末中葉
				D4	40	m2下	B	前末
A すり石	1109	安山岩	TH-4	M8	1316	覆土2		前末
			TH-17	K8	445	覆土	A・B・覆土下層	前末中初
B 北海道式石冠	1220	片麻岩		E5	84	m2上	C	中前半
				H6	63	m2下	B-C	中前
C 長板状石製品	1472	安山岩		I7	371	m2上	B	中初
				K9	167	m2上	B-C	前末中葉
D 長板状石製品	1474	安山岩	(TH-58)	F2	911	覆土	B-C'	中前
				D1	91	m2(4)	B	中初

図Ⅵ－187　石製品出土分布（2）、石器・石製品接合状況

烏帽子形石器

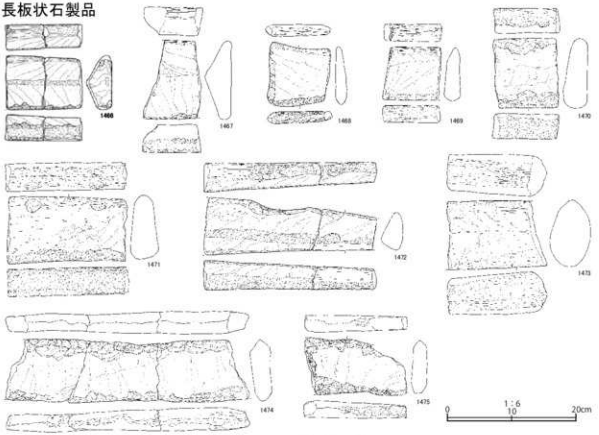


側縁有溝石器



図Ⅵ－188　烏帽子形石器・側縁有溝石器

長板状石製品



図Ⅵ－189　長板状石製品

表Ⅵ－4　鳥帽子形石器観察表

掲載番号	加工	表面	左側面	右側面	石材	石材構造	色調	焼変
1465	全面剥打・研磨	やや窪む・左端に左側面へ続く凹、剥打・研磨	表面へ続く凹、剥打・研磨	平坦＋凹み、剥打・研磨	凝灰岩	やや粗	灰白色(10YR7/1)	剥打？
1466	剥打・研磨・自然面	平坦・左端に左側面へ続く凹み、研磨・自然面	平坦、下端に表面へ続く凹み	凸、剥打	変油岩(板状節理)	緻	にぶい黄橙色(10YR7/4)・黒化面 灰白色(10YR7/1)・内面	なし
1467	剥打・研磨・自然面	やや凸、剥打・研磨	やや凸、剥打・研磨	平坦、剥打・研磨	変油岩(緑色変質)	緻	オリーブ灰色(2GY6/1)	剥打・剥離？
1468	打ち欠き・剥打・研磨・自然面	全体平坦、打ち欠き・剥打・自然面	平坦、打ち欠き・剥打	凸、打ち欠き・剥打	凝灰岩	やや粗	灰白色(5Y8/2)	なし
1469	剥打・研磨＋自然面	凸、剥打・自然面	やや凸、自然面	一部、剥打	石英	緻	暗青灰色(5B4/1)	なし
1470	剥打・研磨＋自然面	平坦、自然面	平坦、剥打・自然面	平坦面、剥打	粘板岩	緻	暗青灰色(5B4/1)	剥打？
1471	研磨＋自然面	平坦、自然面	全周研磨、粗敲剥打	一部、剥打	砂岩	緻	青灰色(5B5/1)	なし
1472	なし	やや窪む・左端に左側面へ続く凹み、自然面	やや窪む・下端に表面へ続く凹み、自然面	一部、自然面	粘板岩	緻	青灰色(5B5/1)	なし
1473	なし	やや平坦・左端せりとがり、自然面	自然面	やや平坦、自然面	頁岩	緻	明赤褐色(10YR5/1)・上部 明褐灰色(7.5YR5/1)・下部	なし

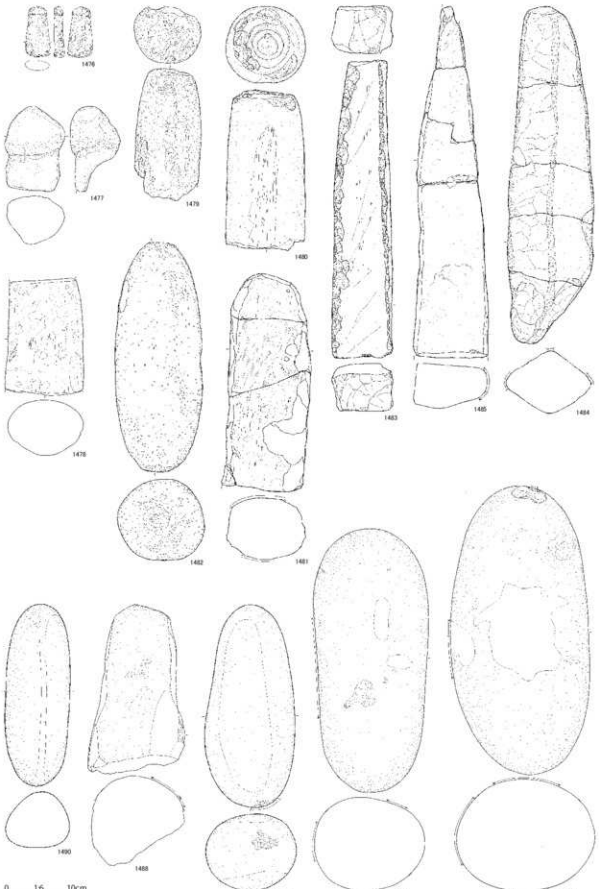
表Ⅵ－5　側縁有溝石器観察表

掲載番号	器縁剥打痕	平面形	断面形	上・表面のひの産	表面の湾み	湾み度・研磨	基本面の平滑部	その他
1454	全周	菱形	扁平	やや高い	円形	浅しか	あり	表裏に剥打痕
1455	全周	長い菱形	扁平	やや高い	やや楕円	浅しか	なし	
1456	全周	やや菱形	楕円形	なし	菱形、広範囲	凹凸	あり	上面剥打整形
1457	頂部全周、右端部直切れる	菱形	扁平	なし	やや楕円	やや浅しか	なし	
1458	3/4周	やや菱形	カマボコ形	あり	両面に円形	浅しか、凹凸	なし	
1459	下側縁右半	楕円形	扁平＋楕円形	あり	円形	浅しか	あり	
1460	左側縁剥打＋研磨	菱形	左側研磨、右側剥打	なし	円形	浅しか	あり	
1461	左側縁下半～下側縁全半、右端部	菱形	カマボコ形	あり	菱形、広範囲	浅しか	あり	
1462	なし	菱形	カマボコ形	あり	楕円	凸状	なし	
1463	下側縁中央部に剥打痕わずか	菱形	カマボコ形	あり	円形	浅しか	不明瞭	上面に剥打痕
1464	なし	菱形	カマボコ形	あり	菱形、広範囲	凸状	なし	
1465	頂部全周、左下縁で直切れる	楕円形	カマボコ形	あり	なし	—	不明瞭	面は上・底面部

表Ⅵ－6　長板状石製品観察表

掲載番号	素材形状	剥離調整	整形形加工	表面加工	側面加工
1466	基平三角柱	基平二等辺三角形	研磨→剥打	剥打・研磨	敲製打、右側面一部研磨
1467	基平三角柱	基平二等辺三角形	研磨	剥打→研磨	なし
1468	板状	下に向かって薄くなる板状	研磨	剥打	なし
1469	板状	平行四辺形板状	研磨	剥打・研磨	なし
1470	板状	下に向かって薄くなる板状	剥打・研磨	剥打	右側面上半・右側面全面研磨、太く鋭い稜線
1471	板状	下に向かって薄くなる板状	剥打・研磨	剥打	頂部全面研磨、太く鋭い稜線
1472	三角板状	三角形	左側面研磨、右側剥打	剥打	敲製打、右側下部敲い研磨、左側面凸部研磨
1473	楕円板状	楕円形	剥打・研磨	剥打・研磨	頂部全面剥打・研磨
1474	板状	板状	打ち欠き	打ち欠き・剥打・研磨	なし
1475	板状	板状	打ち欠き・剥打・研磨	打ち欠き・剥打	なし

表Ⅵ－4～6　部位名称は図Ⅵ-180参照


1476
1477
1479
1480
1483
1485
1484
1478
1482
1481
1490
1488
1489
1487
1486
0 1:6 10cm

図Ⅵ－190　石棒

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（１）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(礫石器)	備考
1	1	370		A1a	頁岩		E7	m1a	23	Ⅲ上部	後期前	26	11	4	0.8	○			
2	1	370		A1a	頁岩		E9	m1a	20	Ⅲ上部	後期前	24	14	4	0.9	○			
3	1	370		A1a	頁岩		H8	m2下	13	C	中前半	(30)	14	3	(1.1)	○			
4	1	370		A1a	黒曜石		J6	m2(2)下	26	B	前末中初	37	15	4	1.4				被熱
5	1	370		A1b	頁岩		H9	m2下	7	C	中前	27	16	8	2.4	○			
6	1	370		A1b	頁岩		H8	m2下	18	C	中前半	33	16	4	1.4	○			
7	1	370		A1b	頁岩		E6	m1	75	Ⅲ上部	後期前	32	16	8	2.4	○			
8	1	370		A1b	玉髄		K9	m2(2)	4	B・C	前末中前	28	15	5	1.7	○			
9	1	370		A1b	頁岩		E6	m1	77	Ⅲ上部	後期前	26	16	5	1.7				
10	1	370		A1b	頁岩		K9	m2(2)	6	B・C	前末中前	(24)	15	6	(2.1)	○			
11	1	212 370		A1b	黒曜石		I6	m2上	16	B・C	中前	40	16	5	2.0			側縁両面	Ⅸ章(7)№13
12	1	370		A1b	頁岩		K9	m2(2)	3	B・C	前末中前	(32)	14	4	(1.3)	○			
13	1	370		A1b	頁岩		F9	m2下	1	C・Ⅲ上部	中・後期	(37)	13	7	(2.3)	○			
14	1	370		A1b	頁岩		K9	m2(2)	2	B・C	前末中前	(36)	12	5	(1.9)	○			
15	1	370		A1b	頁岩		E7	m2上	35	C・Ⅲ上部	中・後期	(34)	14	5	(2.2)	○			
16	1	370		A1b	頁岩		H7	m2下	26	C	中初	(40)	14	7	(2.9)	○			
17	1	370		A1b	頁岩		E4	m2	4	A・B	前末中中	45	15	7	3.0	○		側縁	
18	1	370		A1d	黒曜石	TH-4	M8	覆土1	37	B	前末中前	15	11	3	0.4				石錐へ転用？
19	1	370		A1d	頁岩		G6	m2(2)	48	C	中前半	33	12	6	1.6	○			
20	1	370		A1d	珪質砂岩		H6	m2上	37	B・C	中前半	(37)	17	8	(3.9)	○			
21	1	370		A2b	玉髄	TH-33	G5	覆土	38	C・覆土下	中前	33	18	7	2.9	○			
22	1	370		A2b	玉髄		D4	m1a	16	Ⅲ上部	後期前	(32)	16	6	(2.7)	○			
23	1	370		A2b	頁岩		J7	m2上	6	B・C	中前	(48)	16	7	(4.6)				
24	1	370		A2b	頁岩		E3	撹乱	31	-	-	50	22	11	7.4			側縁	
25	2	370		A2d	頁岩		M7	Ⅰ	8	-	-	51	18	8	3.9	○			
26	2	370		A2d	玉髄	(TH-60)	C13	覆土下	411	C	中	30	18	6	1.9	○			
27	2	370		A2d	頁岩		C13	m2	10039	C・Ⅲ上部	中前	47	17	7	3.5	○			
28	2	370		A3a	黒曜石		D11	m1a	33	D・Ⅲ上部	後期前	25	14	5	1.0			側縁・両面	
29	2	370		A3a	黒曜石		F4	m2上	51	B・C	中前半	29	14	5	1.4				
30	2	370		A3a	赤色珪化岩		H5	m2(6)	2	B	前末	33	16	5	2.0				
31	2	370		A3a	頁岩	TH-7	C5	床面	1070		後期前	(34)	14	5	(1.4)	○			
32	2	370		A3a	頁岩		E5	m1a	4	Ⅲ上部	後期前	42	13	4	1.4				
33	2	370		A3a	珪質砂岩		G5	m1a	5	C・Ⅲ上部	中・後期	34	13	5	1.8	○			
34	2	370		A3a	頁岩		I10	m1a	1	Ⅲ上部	後期前	36	16	7	2.8	○		側縁両面	
35	2	370		A3a	頁岩		C6	m2下	34	C・Ⅲ上部	中・後期	37	16	7	2.9	○		側縁正面	
36	2	370		A3a	珪質砂岩		G7	m2上	29	C	中前半	48	14	8	4.2	○			
37	2	370		A3b	黒曜石		H7	m2上	11	C	中前半	25	12	4	1.0			側縁	
38	2	370		A3b	頁岩		G5	m2(2)	16	C	中前半	31	14	5	2.0	○			
39	2	370		A3b	黒曜石		E2	m2(2)	1471	B・C'	中前	25	14	6	1.5			側縁	
40	2	370		A3b	頁岩		D4	m2下	42	B	前末	21	12	5	0.9	○			有孔虫化石含む
41	2	370		A3b	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	21		前末	(28)	14	3	(1.3)				中央ピット
42	2	370		A3b	頁岩		K9	m2(2)	5	B・C	前末中前	32	15	4	1.4				
43	2	370		A3b	頁岩		H9	m2下	2	C	中前	31	16	6	2.0	○			
44	2	370		A3b	頁岩		H6	m2上	36	B・C	中前半	31	16	5	2.1	○			
45	2	370		A3b	緻密安山岩		H6	m2	7	B・C	中前半	37	18	6	3.5				
46	2	370		A3b	頁岩	(TH-63)	F3	覆土上	3712	B	中初	34	17	6	2.8				
47	2	370		A3b	頁岩		E1	m2(2)	1287	B・C'	中前半	41	11	5	1.7				
48	2	370		A3b	頁岩		I8	m2下	20	C	中前	32	13	6	1.8	○			
49	2	370		A3b	頁岩		E4	m2下	32	A・B	前末中初	37	15	8	2.7	○			
50	2	370		A3b	頁岩		F6	m2下	96	C	中前半	(41)	13	5	(2.4)	○			
51	3	370		A3b	頁岩		J6	m1	2	Ⅲ上部	後期前	(33)	13	7	(2.7)				
52	3	370		A3b	頁岩		I8	m1a	24	Ⅲ上部	後期前	44	14	8	3.2	○			
53	3	370		A3b	頁岩		F5	m1a	1	Ⅲ上部	後期前	(41)	14	7	(3.3)	○			
54	3	370		A3b	頁岩		F7	m2下	34	C	中中	41	12	8	3.5	○			
55	3	370	石鏃	A3b	頁岩		E4	m2上	33	B	中前	(38)	12	6	(2.7)	○			二枚貝化石含む
56	3	370		A3b	頁岩		F5	m1a	29	Ⅲ上部	後期前	(45)	12	6	(2.8)	○			
57	3	370		A3b	頁岩		G7	m2下	13	C	中前半	46	14	6	3.1	○			
58	3	212 370		A3b	黒曜石		G5	m2下	45	B	前末中前	43	17	5	2.4				Ⅸ章(7)№7
59	3	370		A3b	頁岩		C3	m2	11	A・B・C・Ⅲ上部	前末中中	(34)	13	6	(2.3)				
60	3	370		A3c	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	22		前末	33	14	6	2.1				中央ピット
61	3	370		A3d	黒曜石		E2	m2(4)	1478	B	中前	48	13	4	2.0			側縁両面	
62	3	370		A3d	頁岩		E2	m2(4)	1485	B	中前	46	19	6	4.4	○			
63	3	370		A4a	黒曜石	TH-32	D6	覆土	206	C・覆土下	前末中初	(25)	12	5	(1.2)				
64	3	370		A4a	黒曜石		D4	撹乱	26	-	-	34	11	4	1.4			両面	
65	3	370		A4a	頁岩	(TH-60)	B12	覆土上	407	C	中中	41	13	7	2.8	○			
66	3	370		A4b	頁岩		D7	m2上	32	C・Ⅲ上部	中前半	40	14	6	2.4				
67	3	370		A1-	頁岩		H6	m2下	19	B・C	中前	45	24	8	5.5				石槍またはナイフの再加工品
68	3	370		B1a	白色珪化岩		G5	m2	4	B・C	前末中前	29	(15)	3	(0.7)				
69	3	370		B1b	褐色珪化岩	TH-54	J2	覆土上	861	A・B	前末中前	26	13	4	1.0				
70	3	370		B1b	頁岩		C3	m2(5)	265	B	前末	30	16	3	1.4				
71	3	370		B2a	頁岩		F2	m2(4)	991	B・C'	中前	(23)	15	3	(0.7)				被熱
72	3	212 370		B3a	黒曜石		J7	m2下	10	B	前末中初	(22)	(18)	4	(0.9)				Ⅸ章(7)№14
73	3	370		B3a	頁岩		J6	m2(2)	23	B・C	前末中前	(25)	(13)	5	(0.9)				被熱
74	3	370		B3b	白色珪化岩		F2	m2(4)	989	B・C'	中前	23	15	4	0.8				
75	3	370		B3b	頁岩		C3	Ⅰ	19	-	-	30	16	5	1.8	○			
76	3	370		B3b	頁岩		C6	m2下	122	C・Ⅲ上部	中・後期	20	13	4	0.7	○			
77	3	370		B3b	頁岩		H8	m2下	8	C	中前半	28	15	5	1.6	○			
78	3	370		B3b	頁岩		F2	撹乱	981	-	-	(29)	18	6	(2.4)	○			
79	4	370		C木葉形	黒曜石		C1	m2(4)	466	B	前末中前	22	10	4	0.6				
80	4	370		C木葉形	頁岩		C1	m2(2)	466	B・C'	中前	22	12	4	0.8				
81	4	370		C木葉形	黒曜石	(TH-63)	-	覆土下	3735	B	中初	28	13	3	0.8				
82	4	370		C木葉形	頁岩		L6	m3	1	Ⅲ	前後	31	12	4	1.1				
83	4	370		C木葉形	頁岩		E2	m2下	1500	A・B	前末	41	13	5	1.9				
84	4	370		C木葉形	珪質砂岩		E1	m2(2)	1285	B・C'	中前半	48	18	8	5.8				
85	4	370		C木葉形	白色珪化岩		F3	m2(2)	10186	B・C	中前半	23	8	4	0.2				
86	4	370		C木葉形	頁岩	TH-4HP1	-	覆土	46		前末	24	11	3	0.7				中央ピット
87	4	370		C木葉形	頁岩	TH-54	I3	覆土上	859	A・B	前末中前	27	12	3	0.8				
88	4	370		C木葉形	珪質砂岩	TH-14	L3	覆土1	612	A ?	前末	36	12	4	1.7				
89	4	370		C木葉形	頁岩	TH-10	I4	覆土下	112		前末	35	12	4	1.4				
90	4	370		C木葉形	頁岩		F6	m1a	47	Ⅲ上部	後期前	(31)	14	4	(1.9)				
91	4	370		C木葉形	頁岩		D2	m3	824	A	前末	40	14	4	1.6				
92	4	370		C木葉形	頁岩	TH-11	K5	覆土2	76		前後	38	13	4	1.3				
93	4	370		C木葉形	頁岩		J7	m2下	25	B	前末中初	45	16	5	3.1				
94	4	370		C木葉形	チャート		D7	m2上	78	C・Ⅲ上部	中前半	48	24	8	7.9				
95	4	371		C菱形	頁岩		K7	m2	13	B	前末	(28)	13	3	(0.8)				
96	4	371		C菱形	珪質砂岩		C3	m2(3)	17	C	中前	26	12	3	0.8				
97	4	371		C菱形	頁岩		E2	m2(2)	1474	B・C'	中前	30	11	4	1.0				
98	4	371		C菱形	頁岩	(TH-63)	H3	覆土上	3719	B	中初	38	14	4	1.6				
99	4	371		C菱形	頁岩		C1	m2(4)	467	B	前末中前	36	16	5	1.6				
100	4	371		C菱形	頁岩	(TH-63)	F2	覆土下	3753	B	中初	37	14	5	1.8				
101	4	371		C菱形	頁岩	TH-54	J2	覆土中	472	A・B・覆土下	前末	38	16	4	1.7				
102	4	371		C菱形	頁岩		E3	m2(5)	10437	B	前末	41	13	5	1.7				
103	4	371		C菱形	頁岩		I2	m2	276	B	前末中初	50	22	4	3.7				
104	4	371		C菱形	頁岩	TP-18	-	床	4		中前	32	12	5	1.5	○			人骨共伴、アスファルトは黒褐色
105	4	371		C菱形	珪質砂岩	TH-12	E6	覆土	84	B'・覆土下	前末	42	17	8	4.3				
106	4	371		C菱形	頁岩		F4	m1	2	B	中前半	43	17	4	2.0				
107	4	371		C菱形	黒曜石		G6	m2上	69	C	中前半	32	12	5	2.2				
108	4	371		C菱形	頁岩		G8	m2上	8	C	中前半	40	14	7	3.2	○			

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（２）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(礫石器)	備考
109	4	371	石錐	D	黒曜石		G5	m2(6)	39	B	前末	27	15	4	1.1				
110	4	371		D	黒曜石		J5	m2(2)	7	B·C	前末中中	(24)	17	5	(1.3)				
111	4	371		D	珪化岩		F10	m1a	31	Ⅲ上部	後期前	21	19	5	1.2				鋸歯複数?
112	4	371		D	黒曜石		E2	m2(5)	1495	B	前末	33	17	6	2.4				被熱
113	4	371		D	頁岩	TH-22	I8	盛土	161	C·盛土下	前末中前	32	20	6	1.9				
114	4	371		G	黒曜石	TH-4	M10	盛土1	644	B	前末中前	(16)	11	3	(0.5)				
115	4	371		H	頁岩		J7	m2上	2	B·C	中前	23	13	3	0.8				
116	4	371		H	頁岩	TH-14	M3	盛土1c	25	A ?	前末	40	14	7	3.1				
117	4	371		E	頁岩	TH-22HP1	H8	盛土	23		前末	21	11	4	1.0				中央ピット、未成品
118	4	371		E	頁岩	TH-22HP1	H8	盛土	42		前末	28	12	4	1.2				中央ピット、未成品
119	4	371		E	頁岩	TH-22HP1	H8	盛土	43		前末	26	13	4	1.2				中央ピット、未成品
120	4	371		E	頁岩	TH-22HP1	H8	盛土	44		前末	32	(25)	16	(1.4)				中央ピット、未成品
121	5	371	石槍またはナイフ	A1	頁岩	(TH-58)	F1	盛土下	963	B·C'	中前	(58)	23	7	(5.1)				
122	5	371		A1	頁岩	(TH-63)	F2	盛土下	3772	B	中初	62	20	8	6.9				
123	5	371		A1	頁岩		K7	Ⅰ	38	-	-	(51)	17	8	(6.1)				
124	5	371		A1	頁岩		H2	攪乱	245	-	-	(64)	20	11	(13.1)				
125	5	371		A1	頁岩		I7	Ⅰ	30	-	-	60	14	7	4.4	○			
126	5	371		A1	頁岩		H6	m2(3)	25	B·C	中前	62	17	7	6.2	○			
127	5	371		A1	頁岩		F5	m2下	57	C	中前	(63)	16	9	(8.0)	○		側縁・裏面	
128	5	371		A1	頁岩		H6	m2	5	B·C	中前半	(54)	12	7	(3.4)				
129	5	371		A1	頁岩		E2	m2(4)	1505	B	中前	61	13	6	4.6	○			
130	5	371		A1	頁岩		E1	m2(4)	1303	B	中前	76	14	6	4.9				
131	5	371		A1	頁岩	TH-17	K5	盛土	11	A·B·盛土下	前末中初	57	18	8	5.3				
132	5	371		A2	黒曜石		E1	m2(4)	1361	B	中前	56	32	12	16.6				
133	5	371		A4	頁岩	TH-28	G8	盛土	43	C·盛土下	中前半	78	31	15	32.8			側縁	縦方向の線条痕
134	5	371		A4	頁岩		D2	m2下	877	A·B	前末	75	31	13	28.1		両面		
135	5	371		A4	緻密安山岩	TH-44	G4	盛土	183	B·C·盛土下	中前	73	26	14	22.4				
136	6	371		A4	頁岩		E2	m2(5)	1563	B	前末	79	27	11	19.6				
137	6	371		A4	頁岩		D4	m1a	1	Ⅲ上部	後期前	85	34	12	28.7				
138	6	371		A4	頁岩(多孔質)	TH-5	L7	盛土2	796		前末	91	32	13	20.2				
139	6	371		A4	頁岩		J6	m2(2)	46	B·C	前末中前	80	36	12	26.9		両面		
140	6	371		A4	頁岩	(TH-63)	G2	盛土下	3932	B	中初	98	34	14	41.6		裏面		
141	6	371		A4	頁岩		D2	m2(5)	875	B	前末	96	38	13	41.8				
142	6	371		A4	頁岩		F1	m2(4)	609	B	中初	66	28	11	19.4				
143	6	371		A4	頁岩		F3	m3	6	A·Ⅲ下部	前末	57	22	9	12.1				
144	6	212 371		A4	頁岩		F3	m2(4)	38	B	前末	90	36	17	55.4				
145	6	371		A5	頁岩		H5	m2	1	B·C	前末中前	85	28	11	23.5		両面稜部		
146	6	371		A5	頁岩	(TH-63)	F2	盛土上	3937	B	中初	109	36	17	45.6				
147	6	371		A5	頁岩	TH-5	K8	盛土	2	B·盛土下	前末中初	85	26	13	25.6				
148	7	212 371		A3	黒曜石		C4	m1a	1	Ⅲ上部	後期前	61	30	9	10.2			両面	器表面荒り、 Ⅸ章(7)№1
149	7	372		A3	頁岩		D7	m1a	28	Ⅲ上部	後期前	61	23	10	12.4		両面		
150	7	372		A3	頁岩	TH-35	E5	盛土	129	C·盛土下	中前半	83	39	14	34.2				
151	7	372		A3	白色泥岩	TH-2 TH-2	N10 O10	盛土1 盛土1	208 199	B·C B·C	中前半 中前半	152	55	15	73.2				上破片(40.7g) 下破片(32.5g)
152	7	372		B1	頁岩		D0	m2下	323	B	中初	60	16	9	7.7				
153	7	372		B1	頁岩	(TH-63)	F3	盛土上	3924	B	中初	76	21	12	13.3				
154	7	372		B1	頁岩		D1	m2(4)	1479	B	中初	91	27	12	26.4				
155	7	372		B1	頁岩	(TH-63)	-	盛土下	3923	B	中初	100	33	17	46.2				
156	7	372		B1	白色珪化岩		E1	m2(4)	1302	B	中前	59	13	8	4.8	○			
157	7	372		B1	頁岩		C11	Ⅰ	10234	-	-	101	21	11	20.5				
158	7	372		B1	頁岩		E2	m2(4)	642	B	中前	72	44	26	24.6		両面稜部		
159	7	372		B1	頁岩		E0	m2下	155	B	前末中初	80	28	14	23.7				
160	8	372		B1	頁岩		H9	m2下	14	C	中前	91	29	16	28.6				
161	8	372		B1	チャート		F2	m2	1059	B·C'	前末	98	31	16	50.8			側縁・正面	正面に縦方向の線条痕
162	8	372		B1	頁岩		C1	m2(5)	499	B	前末	103	32	18	52.2				
163	8	372		B1	頁岩	(TH-58)	F1	盛土下	647	B·C'	中前	78	30	17	35.2		裏面稜部		有孔虫化石少量含む
164	8	372		B2	珪質砂岩		J7	m2上	7	B·C	中前	60	17	8	6.4				
165	8	372		B2	頁岩	TF-33	G5	焼土	2	B	中前	75	27	12	19.6				
166	8	372		B2	頁岩		K4	m2(2)下b	3	A·B	前末	75	27	10	19.6				
167	8	372		B2	頁岩		E0	m2上	153	B·C'	中前	81	32	14	26.7		正面稜部		
168	8	372		B2	白色泥岩	TH-11	K4	盛土1	933	A	前末	145	48	27	146.6				
169	9	372		B2	頁岩	TH-4	M8	盛土2	528		前末	51	22	8	5.9				
170	9	372		B2	頁岩(多孔質)	(TH-63)	F2	盛土下	3933	B	中初	58	26	10	7.3				
171	9	372		B2	頁岩	(TH-63)	H3	盛土下	3921	B	中初	62	32	14	21.5				
172	9	372		B2	頁岩		M10	m2上	12	B·C	前末中中	78	38	16	40.3				
173	9	372		B2	頁岩	TH-4	N9 I5	盛土2 m2(3)~(6)	1117 361	 B	前末 前末中初	(98)	40	16	(41.3)				上破片(6.2g) 下破片(35.1g)
174	9	372		B2	頁岩		I2	m2	287	B	前末中初	102	35	12	35.8				
175	9	372		B2	頁岩		C0	m2(5)	301	B	前末	105	42	20	63.7				
176	9	372		B2	頁岩		D2	攪乱	830	-	-	112	36	13	47.5				
177	9	372		B2	白色泥岩		E1	m2(4)	1363	B	中前	111	42	11	42.0			正面剥離内	
178	9	372		B2	頁岩		D1	m2(4)	1420	B	中初	(54)	23	9	(7.4)		正面稜部		
179	9	372		B2	頁岩	(TH-57)	H1	盛土中	1198	B·C'	前末中中	80	39	15	36.3				
180	9	373		B2	頁岩		J3	m2(2)	89	C'	中前半	(95)	61	14	(75.9)				
181	10	373		B3	頁岩	TH-25	I9	盛土	145	C·盛土下	中初	80	23	9	13.3				
182	10	373		B3	頁岩	TH-22	I8 H8	盛土 m2下	150 240	C·盛土下 C	前末中前 中前半	73	26	10	17.3				上破片(11.8g) 下破片(5.5g)
183	10	373		B3	赤色珪化岩		N5	Ⅰ	8	-	-	(62)	35	16	(39.7)				
184	10	373		B3	頁岩		K4	m2(2)	1	A·B	前末	134	41	15	80.3				
185	10	373		B3	頁岩		E1	m2(4)	1362	B	中前	63	25	11	13.6				
186	10	373		B3	頁岩		G2	攪乱	294	-	-	66	27	9	15.1				
187	10	373		B3	頁岩		E3	m2(5)	10446	B	前末	55	25	11	14.4				
188	10	373		B3	頁岩		H5	m2(5)	54	B	前末	75	36	14	37.7				
189	10	373		B3	頁岩	TH-54	J2	盛土下	609	A·B·盛土下	前末	67	35	13	26.2				
190	10	373		B3	頁岩	TH-4	M8	盛土2	527		前末	69	39	11	26.6		両面		スクレイパー再利用?
191	10	373		B3	頁岩	(TH-57)	G2	盛土下	1202	B·C'	中前	78	35	13	35.7	○			アスファルトは偶発的
192	11	373		B3	白色泥岩		F3	不明	37	-	-	113	40	17	61.9				
193	11	212 373		B3	白色泥岩		F2	m2	1060	B·C'	前末	138	47	17	93.4			側縁・両面	縦方向の線条痕
194	11	373		B3	白色泥岩		E1	m2(4)	1365	B	中前	152	51	28	162.5				
195	11	373		B5	白色泥岩		H6	m2下	518	B·C	中前	113	55	20	85.8				
196	11	373		B4	頁岩		H6	m2上	17	B·C	中前半	66	28	17	24.0				
197	11	373		B4	頁岩		G7	m2下	37	C	中前半	55	34	11	19.0				
198	12	373		D	頁岩		N4	不明	17	-	-	47	25	12	9.1				
199	12	373		D	頁岩	TH-14	L3	盛土1	613	A ?	前末	64	22	13	13.4				
200	12	373		D	頁岩		C2	m2(2)	468	C	中前	50	33	11	12.8				
201	12	373		D	頁岩	TH-19	M10	盛土2	1		前末	110	32	22	36.8				頁岩硬質部~風化部素材
202	12	373		C	頁岩		H5	m2(3)	131	B	前末中初	(55)	34	16	(30.8)				全面摩耗
203	12	212 373		C	黒曜石		H6	m2下	18	B·C	中前	(36)	(22)	8	(6.3)			側縁・裏面	器表面荒り、 Ⅸ章(7)№9
204	12	212 373		C	黒曜石		J8	Ⅰ	26	-	-	(36)	(25)	11	(7.8)			側縁・正面	Ⅸ章(7)№17
205	13	373		F1	ホルンフェルス?		C1	m2(4)	53	B	前末中前	86	44	9	42.0				
206	13	373		F1	粘板岩		E2	m2(4)	793	B	中前	98	43	10	50.3				
207	13	373		F1	粘板岩		G7	m2	59	C	中前半	112	38	15	67.9				
208	13	373		F2	白色泥岩		C1	m2(4)	497	B	前末中前	89	42	14	45.6				両面研磨
209	13	373		F2	泥岩		G8	Ⅰ	5	-	-	86	42	11	32.4				
210	13	373		F2	白色泥岩	TH-4	M8	盛土1	1310	B	前末中前	(102)	60	22	(115.1)				
211	13	373		F2	白色泥岩		G3	攪乱	42	-	-	(89)	40	14	(37.5)				被熱

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（３）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(磨石器)	備考
212	13	374	ナイフ		頁岩		F7	m2下	196	C	中中	56	53	10	22.7				
213	13	374			頁岩		F6	m2下	482	C	中前半	63	51	10	28.2				
214	14	374			頁岩		D7	m1a	22	Ⅲ上部	後期前	68	46	13	34.1		正面		
215	14	374	石鏃	A1	頁岩		E1	攪乱	380	-	-	26	10	5	1.1				
216	14	374		A1	頁岩		L9	Ⅰ	13	-	-	(27)	10	5	(1.0)				
217	14	374		A1	頁岩		C2	m2(2)	438	C	中前	25	12	7	1.9	○		先端	
218	14	374		A1	頁岩		E1	m2(4)	1310	B	中前	45	12	9	4.0	○			
219	14	374		A1	頁岩	TH-9	H7	覆土	115	C・覆土下	中前	50	10	8	2.9	○			
220	14	374		A1	頁岩	TH-3	J8	覆土2	195		前末	74	15	8	6.3				
221	14	374		A1	頁岩	TH-5	K7	覆土1	9	B	中初	55	14	9	6.7			先端	
222	14	374		A1	頁岩		H4	m2(4)	483	B	前末	50	15	11	6.6			先端	
223	14	212 374		A1	黒曜石		G4	m2(2)	55	B	中初	(28)	(11)	6	(1.9)				Ⅸ章(7)№6
224	14	374		A2	頁岩		D2	m2(4)	202	B	中前	31	18	8	3.5		裏面	先端	スクレイパー等の再加工？
225	14	374		A2	頁岩	(TH-63)	G2	覆土下	3205	B	中初	36	15	10	4.6			先端	
226	14	374		A2	珪質砂岩		F6	m1a	98	Ⅲ上部	後期前	39	17	10	5.5				
227	14	374		A2	頁岩		E2	m2(2)	506	B・C'	中前	42	18	12	6.9				
228	14	374		A2	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	24		前末	48	17	9	6.1		裏面	先端	中央ピット、スクレイパー等の再加工？
229	14	374		A2	珪質砂岩	TH-30	H8	覆土	212	C・覆土下	中前半	70	22	12	16.2				
230	14	374		A2	頁岩		E5	m2下	83	A・B	前末中初	43	15	7	3.3			先端	
231	14	374		A2	玉髄		E1	m2(4)	830	B	中前	(29)	(15)	7	(2.0)				被熱
232	14	374		A2	緑色珪化岩	TH-29	G9	ベンチ	88		前末中初	38	13	7	3.4			先端	
233	14	374		A2	頁岩	TP-72	D6	覆土	27		中初	48	16	9	5.9				
234	14	374		A2	頁岩		I8	m2上	6	C	中前半	40	16	9	5.0				
235	14	374		A2	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	36		前末	27	12	5	1.2			先端	中央ピット、石鏃C転用？
236	14	374		A2	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	38		前末	40	15	8	3.2				中央ピット
237	14	374		A2	頁岩	TH-5	L8	覆土2	6		前末	42	16	8	4.3				
238	14	374		A2	頁岩		E1	m2下	1206	B	前末中初	50	20	8	7.0			先端	
239	14	374		A2	頁岩		D2	m2(2)	869	B・C	中前	46	20	8	7.6		両面	先端	スクレイパー等の再加工？
240	15	374		A2	頁岩	(TH-63)	G3	覆土	3770	B	前末中初	54	17	8	4.9			先端	
241	15	374		A2	粘板岩		E6	m1	61	Ⅲ上部	後期前	57	18	9	6.8			先端	
242	15	374		A2	頁岩		N5	m3	1	P'	前末	93	23	11	21.7			先端	
243	15	374		A3	頁岩		H5	m2(6)	351	B	前末	52	22	10	9.0			先端	
244	15	374		A3	頁岩		I6	m1	11	B	中・後期	53	22	8	7.3				
245	15	374		A3	珪質砂岩	(TH-63)	H3	覆土中	229	B	中初	41	30	12	11.2				
246	15	374		A3	頁岩		M5	m	43	P'	前末	52	35	16	20.0				
247	15	374		A3	頁岩		E1	m2(2)	560	B・C'	中前半	60	33	20	28.9				
248	15	374		A3	頁岩		E2	m2(5)	988	B	前末	111	36	18	45.3				
249	15	374		B	頁岩		C2	m2(6)	342	B	前末	43	31	15	12.5			先端	
250	15	374		C4	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	40		前末	49	36	12	10.8				中央ピット
251	16	374		C4	珪質砂岩	TH-25	-	覆土	76	C・覆土下	中初	33	23	9	4.7				
252	16	374		C4	珪質砂岩		I6	m2上	321	B・C	中前	40	34	11	9.0				
253	16	374		C4	頁岩	TP-89	-	覆土	12		前末中前	41	40	14	10.5				
254	16	374		C4	頁岩		H3	m2(2)	234	B	中初	47	35	11	9.9				
255	16	374		C4	頁岩		C11	m1a	10209	D・Ⅲ上部	後期前	55	29	9	8.6				
256	16	374		C4	頁岩		C4	m1a	23	Ⅲ上部	後期前	59	52	14	24.9			先端	
257	16	374		C1	粘板岩	TS-18	G8	m2下	2	C	中前半	28	14	6	2.1			先端	
258	16	374		C1	頁岩		E6	m1	18	Ⅲ上部	後期前	44	23	11	6.7				
259	16	374		C1	頁岩	TH-24	K8	覆土2	305	P以前	前末	63	37	15	17.5				
260	16	374		C1	頁岩		F2	m2上	132	B・C'	中前	75	38	15	19.4				
261	16	374		C1	珪質砂岩		N9	m2(2)	31	B・C		40	26	12	7.8			○	
262	16	374		C1	頁岩	TH-23	I10	覆土	123	C・覆土下	前末中初	45	22	11	7.0			○	
263	16	374		C2	頁岩	(TH-63)	G2	覆土中	820	B	中初	38	9	5	1.3				
264	16	374		C2	頁岩		E4	m1a	536	Ⅲ上部	後半	40	10	11	3.2			先端	
265	16	374		C2	頁岩		E3	m2上	277	B	前末	51	18	8	3.8			先端	
266	16	374		C2	頁岩	(TH-63)	G2	覆土上	588	B	中初	57	14	10	6.1			先端	
267	16	374		C2	頁岩		E7	m1a	20	Ⅲ上部	後期前	59	16	15	8.7			先端	
268	16	374		C2	頁岩	(TH-63)	F2	覆土下	1665	B	中初	61	16	12	6.3				
269	16	374		C2	頁岩		H4	m2(3)	403	B	中初	62	13	9	4.2				
270	17	374		C2	頁岩	TH-14	L3	覆土1	640	A ?	前末	76	23	16	19.3				
271	17	374		C2	頁岩	(TH-63)	H3	覆土下	626	B	中初	90	24	17	20.4			先端	
272	17	374		C2	頁岩		D1	m2下	1191	A・B	前末	101	32	18	31.1				
273	17	374		C2	頁岩	TH-10	I4	覆土上	43	A・B	前末	97	25	15	20.6			先端	
274	17	374		C2	頁岩	TH-32HP23	D6	覆土	2		前末中初	24	11	7	1.3			先端	中央ピット
275	17	374		C2	頁岩		H3	m2(3)	134	B	前末	33	13	6	1.5			先端	
276	17	374		C2	頁岩		N10	盛り上げ土	2	B・C	前末？	28	10	4	1.0				
277	17	374		C2	頁岩	TH-4HP1	-	覆土	10		前末	30	12	5	1.3				中央ピット
278	17	374		C2	珪質砂岩	TH-4	M9	覆土	386	B・覆土下	前末中前	33	13	7	2.0			先端	
279	17	374		C2	頁岩	TH-3	J6	覆土2	234		前末	44	16	11	5.3			先端	
280	17	375		C2	頁岩	(TH-57)	H2	覆土	420	B・C'	中初	52	22	7	5.2				
281	17	375		C2	頁岩		E2	m2(4)	566	B	中前	55	25	13	11.6			先端	
282	17	375		C2	頁岩		I5	m2(2)	330	B・C	中前	26	14	9	2.4				
283	17	375		C2	頁岩		C4	m2(6)	208	B・C	中前半	29	10	8	2.3			先端	
284	17	375		C2	頁岩		D7	m1a	61	Ⅲ上部	後期前	45	27	19	15.0	○			アスファルトは偶発的
285	17	375		C2	頁岩	TH-7	D6	覆土下	273	D・Ⅲ上部・覆土下	後期前	48	23	13	10.5			先端	
286	17	375		C2	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	37		前末	31	16	10	3.1				中央ピット
287	17	375		C2	頁岩		M4	盛り上げ土	59	P	前末	35	17	11	4.9				
288	17	375		C2	頁岩	(TH-65)	B10	覆土	30	D	後期前	40	34	14	11.5				
289	17	375		C2	頁岩	(TH-60)	B12	覆土下	211	C	中	61	39	20	27.6				スクレイパー B複合？
290	17	375		C2	頁岩		B11	m1a	193	D	後期前	(79)	44	20	(43.0)				被熱
291	18	375		C2	頁岩	TH-21	J9	覆土1	111	C	前末	30	20	6	1.8				
292	18	375		C2	頁岩(多孔質)		I4	m2	152	B・C	前末中中	30	18	6	1.1				
293	18	375		C2	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	6		前末	32	15	7	2.3			先端	中央ピット
294	18	375		C2	頁岩		E8	m1a	11	Ⅲ上部	後期前	34	25	10	5.3				
295	18	375		C2	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	14		前末	44	33	11	10.4			先端	中央ピット
296	18	375		C2	頁岩		H4	m2(5)	525	A・B	前末	46	37	11	11.7				つまみ付きナイフ破片転用
297	18	375		C2	頁岩		K4	m2	63	B	前末	39	29	7	5.3			先端	
298	18	375		C2	頁岩	TH-11	J4	覆土	373	P～A・覆土下	前後末	48	45	9	14.3		裏面	先端	スクレイパー AB複合
299	18	375		C2	頁岩		H5	m2(7)	237	B	前末	61	42	11	13.3			先端	スクレイパー AC複合？
300	18	375		C2	頁岩		O6	Ⅰ	8	-	-	60	39	6	8.7			先端	
301	18	375		C2	頁岩		H1	攪乱	20	-	-	60	47	16	25.8				
302	18	375		C2	頁岩		H6	m2	94	B・C	中前半	67	38	17	22.4				
303	18	375		C2	頁岩	TH-4HP1	-	覆土	9		前末	27	11	6	1.2				中央ピット
304	18	375		C2	頁岩		E1	m2(2)	1304	B・C'	中前半	40	15	7	4.1			○	
305	18	375		C2	頁岩		K4	m2	116	B	前末	41	19	5	2.7			○	
306	18	375		C2	頁岩	(TH-63)	F2	覆土中	1360	B	中初	38	18	9	3.2				
307	18	375		C2	頁岩	(TH-57)	H2	覆土	323	B・C'	中初	61	27	10	11.5			先端	
308	18	375		C2	頁岩		D1	m2(2)	425	B・C'	中前	67	22	9	11.1				
309	18	375		C2	頁岩	TH-22	I8	覆土2	277		前末中前	(43)	24	12	(4.8)				
310	18	375		C2	珪質砂岩		D1	m2下	1269	A・B	前末	49	22	7	4.0			先端	
311	18	375		C2	頁岩		F6	m2上	105	C	中前半	57	22	8	5.8		両面	先端	
312	19	375		C2	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	39		前末	56	25	12	6.9				中央ピット
313	19	375		C2	頁岩	TH-23(旧)	J9	覆土	28	C・覆土下	前末中初	71	26	24	22.8			先端	
314	19	375		C2	頁岩		E6	m1a	93	Ⅲ上部	後期前	74	27	22	15.0				
315	19	375		C2	頁岩		I5	m3	530	A	前末	82	43	14	32.4			先端	
316	19	375		C2	頁岩		E8	m1a	99	Ⅲ上部	後期前	78	38	30	49.0			先端	
317	19	375		C3	頁岩	TH-22	I8	床面上	428		前末	35	23	11	5.6			先端	
318	19	375		C3	頁岩		J6	m1	545	Ⅲ上部	後期前	33	32	18	9.8				
319	19	375		C3	頁岩	竪穴跡	-	覆土	125	-	-	59	48	18	43.9				
320	19	375		D1	黒曜石		D3	m2下	33	A・B	前末	(21)	12	4	(0.8)			先端	石鏃A3b転用
321	19	375		D1	頁岩	TH-7	D5	床面	1068		後期前	29	15	5	1.7			先端	石鏃A3a転用、線条痕あり
322	19	375		D1	珪質砂岩		G7	m2	2	C	中前半	30	15	6	2.0			先端	石鏃A3d転用

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（４）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢（剥片石器石斧）／すり面傾き（北海道式石冠）	摩耗（剥片石器石斧）／すり面（礫石器）	備考
323	19	375	石錐	D1	頁岩		I4	m2(4)	68	B	中初	31	11	6	1.4			先端	石鏃A4転用
324	19	375		D1	頁岩		E6	m2上	160	C	中前半	33	16	9	3.6	○		先端	石鏃A3b転用、線条痕あり
325	19	375		D1	頁岩		H4	m2(3)	50	B	中初	33	14	7	2.8			先端	石鏃A3b転用
326	19	375		D1	頁岩		D4	m2下	45	B	前末	38	13	7	2.8			先端	石鏃A3a転用
327	19	375		D1	頁岩		E6	m2上	140	C	中前半	36	12	7	2.5	○		先端	石鏃A3b転用
328	19	375		D1	頁岩	TH-23(旧)	I9	覆土	1	C・覆土下	前末中初	(38)	13	6	(2.5)	○		先端	石鏃A3b転用
329	19	375		D1	頁岩		G9	不明	12	-	-	40	14	6	2.7	○		先端	石鏃A3ab転用
330	19	375		D1	頁岩		G6	m2下	47	C	中前	42	14	8	4.2	○		先端	石鏃A3b転用
331	20	375		D1	黒曜石	(TH-58)	G2	覆土下	961	B・C'	中前	30	19	4	1.6				石鏃B2a転用
332	20	375		D1	頁岩		E2	m2(5)	1497	B	前末	44	19	5	3.6			先端	石鏃B2a転用
333	20	375		D1	輝石安山岩	TH-54	I2	覆土上	445	A・B	前末中前	23	16	5	1.4			先端	石鏃B3b転用
334	20	375		D1	頁岩		H6	m2下	20	B・C	中前	46	14	6	3.9			先端	石鏃H転用
335	20	375		D1	頁岩		H9	m2	8	C	中前半	(36)	13	6	(2.3)	○		先端	石鏃C転用
336	20	375		D2	頁岩		I5	m2(3)～(4)	4	B	前末中初	46	17	7	3.4			先端	石槍またはナイフA1転用
337	20	375		D2	頁岩		I8	Ⅰ	42	-	-	57	16	8	6.3			先端	石槍またはナイフA1転用
338	20	375		D2	頁岩		E1	m2(4)	1301	B	中前	58	19	7	6.5	○		先端	石槍またはナイフA1転用
339	20	375		D2	頁岩	TH-14	M4	覆土1	639	A ?	前末	69	27	10	16.2			先端	石槍またはナイフA4転用
340	20	375		D2	頁岩		M6	m1	3	P'	前末	86	28	12	22.9			先端	石槍またはナイフB2転用
341	20	375		D2	頁岩		H6	m2(6)	26	B	中初	68	23	12	18.3				石槍またはナイフ転用
342	20	375		D2	頁岩	配石列3	F11	m1a	78	D・Ⅲ上部	後期前	60	26	12	13.0			先端	石槍またはナイフ未成品転用
343	20	375		D3	黒曜石		I2	m2上	275	B	中初	37	15	5	2.1			先端	つまみ付きナイフE(A5)転用
344	20	375		D3	頁岩		H5	m2(4)	208	B	前末	53	23	7	4.8			先端	つまみ付きナイフA2転用
345	20	375		D3	頁岩		H4	Ⅰ	74	-	-	103	31	16	41.4			先端	つまみ付きナイフC4転用
346	20	375		D3	頁岩		F10	m2下	37	C	中前半	61	56	14	28.5			先端	つまみ付きナイフB転用
347	20	375		E	頁岩	TP-62	G4	覆土	26		中前・後期前	45	44	14	16.1			先端	
348	21	376	つまみ付きナイフ	A4	褐色珪化岩		M5	Ⅲ	12	Ⅲ下部	前後末	46	28	7	7.0				
349	21	376		A4	頁岩		L5	Ⅲ	2	Ⅲ	中前	97	34	14	26.9		腹面	つまみ部	
350	21	376		A4	頁岩		N6	m3	1	P'	前末	107	31	12	22.6		腹面		
351	21	376		A4	頁岩		E4	m3	67	A・Ⅲ下部	前末	68	34	10	12.1		腹面		
352	21	376		A4	頁岩		C4	m3	216	B・C	中前半	77	25	8	9.7		つまみ部		
353	21	376		A4	頁岩		J7	m2下	9	B	前末中初	78	34	11	16.7				
354	21	376		A4	頁岩		M3	Ⅲ	2	Ⅲ下部	前末？	78	33	8	12.4		腹面		
355	21	376		A4	頁岩		D4	m3	286	A	前末	72	24	10	10.5				
356	21	376		A4	頁岩		M5	m3	1	Ⅲ下部	前後末	75	28	10	19.4		腹面		石錐へ転用
357	21	376		A4	頁岩		L5	掘り上げ土	8	P	前末	56	37	8	10.9				
358	21	376		A4	頁岩		M5	Ⅲ	13	Ⅲ下部	前後末	45	18	7	4.0				
359	21	376		A4	頁岩		M5	m	44	P'	前末	51	30	7	9.0				
360	21	376		A4	頁岩		C4	m3	223	B・C	中前半	45	26	7	7.1				つまみなし
361	21	376		A4	頁岩	TH-5	L8	覆土1	671	B	中初	(59)	42	7	(16.1)				
362	22	376		A1	頁岩		H4	m2(2)	266	B	中初	40	20	3	2.0				
363	22	376		A1	頁岩		J7	Ⅰ	62	-	-	61	26	9	10.7				
364	22	376		A1	頁岩		F7	m2下	162	C	中中	74	25	8	9.9				
365	22	376		A1	頁岩		K4	m2(2)	4	A・B	前末	65	38	10	13.1				
366	22	376		A1	頁岩		I4	m2(4)	65	B	中初	66	40	7	12.4				
367	22	376		A6	頁岩		J4	m2	217	A・B	前末	47	8	5	0.9				
368	22	376		A6	頁岩		I6	m2(2)	276	B・C	中前	57	13	7	3.0				
369	22	376		A2	頁岩	TH-11	K4	覆土2	475		前後	71	29	13	24.2				
370	22	376		A2	頁岩		H6	m2上	13	B・C	中前半	76	24	12	12.5		腹面		
371	22	376		A2	頁岩		I4	撹乱	26	-	-	79	24	9	12.9				
372	22	376		A2	頁岩		K6	m2(2)	6	B・C	前末中前	66	26	9	13.3		両面		
373	22	376		A2	頁岩		H6	m2上	268	B・C	中前半	62	35	15	23.3				石錐兼用or転用？
374	22	376		A2	頁岩		G3	m2(2)	25	B	中初	64	22	9	10.4		両面		
375	22	376		A2	頁岩		F5	m2下	77	C	中前	60	23	9	6.4				
376	22	376		A2	頁岩		H3	m2(2)	235	B	中初	56	30	9	9.8		腹面		
377	22	376		A2	頁岩		I4	撹乱	64	-	-	62	22	9	9.7		腹面		
378	22	376		A2	頁岩		I8	m2上	14	C	中前半	53	28	8	7.5				
379	22	376		A2	珪質砂岩		K7	m2上	1	B	前末	65	18	7	9.1		腹面		
380	23	376		A2	頁岩		H4	m2下	562	A・B	前末	77	25	10	15.6		両面		
381	23	376		A2	頁岩		H5	m2(2)	283	C	中前	85	31	10	14.4				
382	23	376		A2	頁岩		L8	掘り上げ土	15	B・C	前末中前	80	37	14	29.2		両面		
383	23	376		A2	頁岩		H4	m2(3)	71	B	中初	67	34	17	20.9		腹面		
384	23	376		A2	頁岩		K7	m2	138	B	前末	68	30	10	15.8		両面		
385	23	376		A2	頁岩		C11	m1a	13	D・Ⅲ上部	後期前	71	31	9	14.1		腹面		
386	23	376		A2	頁岩		H4	m2(2)	285	B	中初	63	30	11	12.4		腹面		
387	23	376		A2	頁岩		E4	m2下	360	A・B	前末中初	61	34	8	12.8		腹面		つまみ二段
388	23	376		A2	頁岩		B5	m2	1	C	中前半	87	42	13	31.1		腹面		
389	23	376		A2	頁岩		D4	Ⅰ	62	-	-	64	35	10	18.1		腹面		
390	23	376		A2	頁岩		F5	m2上	139	C	中前	74	40	12	19.1				
391	23	377		A2	頁岩		E3	撹乱	41	-	-	101	56	14	55.8				
392	24	377		A2	頁岩		C5	m2下	143	B・C	中前半	95	38	17	39.7		腹面		
393	24	377		A2	頁岩		H4	m2(6)	42	A・B	前末	78	21	8	8.7				
394	24	377		A2	頁岩		H8	m2	155	C	中前半	88	28	17	15.2				
395	24	377		A2	頁岩		J6	m2	149	B・C	前末中中	112	23	22	34.8				
396	24	377		A2	白色珪化岩		J6	m2	148	B・C	前末中中	(86)	(31)	13	(15.5)				
397	24	377		A2	頁岩		H4	Ⅰ	73	-	-	71	36	10	12.1				
398	24	377		A2	頁岩		F3	m2(5)	34	B	前末	77	31	14	19.4				
399	24	377 229		A2	褐色珪化岩		E3	m2上	278	B	前末	80	31	17	25.2				植物化石含む
400	24	377		A2	頁岩		M4	Ⅰ	1	-	-	44	29	10	12.3				
401	24	377		A2	白色珪化岩		H6	m2下	370	B・C	中前	38	24	10	4.4				
402	24	377		A2	頁岩	TH-18HP26	L8	床	2		前末中初	55	23	13	12.2				TH-18(旧)中央ピット
403	24	377		A2	頁岩		E3	m2	146	B	前末	89	30	12	17.9		両面		
404	24	377		A2	頁岩		G8	m2上	30	C	中前半	71	42	9	23.0		両面		
405	24	377		A2	赤色珪化岩		J5	m2(3)	170	B	前末	62	39	12	15.8				
406	25	377		A3	頁岩		E4	m2下	43	A・B	前末中初	81	25	12	19.6				
407	25	377		A3	頁岩		E6	m1	2	Ⅲ上部	後期前	75	16	7	9.0				
408	25	377		A3	頁岩		E4	m2上	66	B	中前	66	22	12	10.4				
409	25	377		A3	頁岩		J7	m2下	24	B	前末中初	59	27	9	10.8			刃部縁辺	
410	25	377		A5	頁岩		F5	m2下	60	C	中前	90	25	11	19.2				
411	25	377		A5	頁岩		J6	m2(2)	47	B・C	前末中前	88	28	14	31.3				
412	25	377		A5	頁岩		H5	m2(4)	25	B	前末	81	27	11	18.7				
413	25	377		A5	頁岩		D2	m2下	876	A・B	前末	94	33	13	31.7				
414	25	377		A5	頁岩	(TH-57)	H2	覆土上	549	B・C'	中前半	65	30	13	19.6				
415	25	377		A5	頁岩		K8	m2下	106	B	前末	65	34	10	19.0				
416	25	377		A5	頁岩		J4	m2(2)下b	5	A・B	前末	92	34	12	33.6				
417	25	377		A5	頁岩		J9	m2上	6	C	中前半	79	28	11	22.7				
418	25	377		A5	頁岩		K2 K2	m2 m2	103 70	A A	前末 前末	111	32	15	50.4				上端片(27.7g) 下端片(22.7g)
419	26	377		A5	黒曜石	(TH-57)	H2	覆土7	1200	B・C'	前末中前	53	18	9	8.4				全面摩耗、器表面曇り
420	26	377		A5	黒曜石	(TH-57)	H2	覆土7	1199	B・C'	前末中前	(51)	17	8	(6.7)				全面摩耗、器表面曇り
421	26	212 377		A5	黒曜石		H7	m2上	9	C	中前半	63	30	15	23.4				Ⅸ章(7)No.11
422	26	212 377		A5	黒曜石		不明	排土	11	-	-	59	27	10	(15.8)			両面	器表面曇り、 Ⅸ章(7)No.19
423	26	377		A5	黒曜石		H4	m2(3)	41	B	中初	45	20	7	5.9				被熱
424	26	377		A5	黒曜石	(TH-57)	H2	覆土7	1201	B・C'	前末中前	54	18	9	9.6				全面摩耗、器表面曇り
425	26	377		C1	頁岩		H8	m2下	83	C	中前半	45	34	8	5.0				
426	26	377		C1	頁岩		M4	掘り上げ土	74	P	前末	61	32	12	12.5				
427	26	377		C1	頁岩		I7	m2	145	B	中初	(53)	(36)	8	(5.3)				
428	26	377		C1	頁岩		G4	m2(5)	366	B	前末	(46)	34	10	(6.0)				
429	26	377		C1	頁岩		F4	m2	99	B	前末中中	46	34	9	4.5				

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（５）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢（剥片石器石斧）／すり面傾き（北海道式石冠）	摩耗（剥片石器石斧）／すり面（礫石器）	備考
430	26	377		C1	頁岩		J9	m2上	110	C	中前半	59	19	9	3.8				
431	26	377		C2	頁岩		D3	m2(5)	36	B	前末	58	27	10	7.1				つまみ二段
432	26	377		C2	頁岩		K4	m2(2)	80	A·B	前末	68	30	16	11.1				
433	26	377		C2	頁岩		J4	m2(2)	146	A·B	前末	88	48	18	35.4				
434	26	378		C2	頁岩		E3	m3	35	A	前末	56	32	8	8.4		腹面		
435	26	378		C2	頁岩		G8	m2上	207	C	中前半	51	28	9	6.9		腹面		
436	26	378		C2	頁岩		E4	m2下	68	A·B	前末中初	58	52	13	23.0				
437	27	378		C2	頁岩		F3	m2	78	B·C	前末中前	53	37	8	9.3	○			
438	27	378		C2	頁岩		D11	Ⅰ	37	-	-	50	40	8	10.8				
439	27	378		C2	頁岩		I8	m2上	206	C	中前半	42	36	6	4.0				
440	27	378		C2	頁岩		I2	攪乱	36	-	-	51	47	4	7.9				
441	27	378		C2	頁岩		I4	m2(7)	106	A·B	前末	54	53	18	14.9				
442	27	378		C2	頁岩		G7	Ⅰ	10	-	-	80	58	23	26.7		両面		
443	27	378		C2	頁岩		N7	Ⅰ	11	-	-	63	31	9	10.1				
444	27	378		C2	頁岩		G6	m2(2)	116	C	中前半	91	35	15	24.9		腹面		
445	27	378		C2	頁岩		I3	m2(2)	13	B	中初	85	38	11	16.3				
446	27	378		C2	頁岩		I4	m2(2)	352	B·C	中前	67	44	11	16.1				つまみ下部に抉入部
447	27	378		C2	頁岩	TH-21	J9	覆土2	130		前末	41	39	7	7.8				
448	27	378		C2	頁岩	TH-5	K7	覆土1	8	B	中初	75	30	11	12.4				
449	27	378		C2	頁岩		E3	m2(2)	189	B	前末	47	18	5	2.7				
450	27	378		D1	頁岩		E4	m2下	341	A·B	前末中初	45	38	15	5.5				
451	28	378		D2	頁岩		D3	m2(5)以下	266	A·B	前末	(67)	(50)	6	(14.2)			側縁刃部	
452	28	378		D2	頁岩		I8	m1b	97	C	中前	(62)	46	7	(9.6)				
453	28	378		D2	頁岩		I6	m2上	194	B·C	中前	46	41	11	10.1				
454	28	378		D2	頁岩		I6	m2	126	B	中前	(47)	(36)	7	(6.5)				
455	28	378		B2	頁岩		H7	m2上	241	C	中前半	59	36	8	12.3				
456	28	378		B2	頁岩		E2	m2(5)	911	B	前末	78	31	14	15.2				
457	28	378		B2	頁岩		E2	m2(4)	826	B	中前	43	32	6	5.9			下辺刃部	
458	28	378		B2	頁岩		E6	m1	1	Ⅲ上部	後期前	60	44	7	14.3			右下角刃部	
459	28	378		B2	頁岩		K8	m2下	107	B	前末	84	62	12	46.7				
460	28	378		B2	頁岩		K7	m2	112	B	前末	47	38	6	6.1				
461	28	378		H1	頁岩		G4	m2(3)	211	B	前末中初	36	25	6	4.1				
462	28	378		H1	黒曜石	TH-23HP1	-	覆土	10		前末中初	33	24	7	2.7			背面	[illegible]
463	28	378		H1	黒曜石	TH-4	M8	覆土2	21		前末	39	38	12	13.6				全面摩耗
464	28	378		H1	頁岩		G8	m2	74	C	中前半	33	28	5	3.6				
465	28	378	つまみ付きナイフ	H1	頁岩		G8	m2上	122	C	中前半	44	39	10	10.8				
466	28	378		H1	頁岩		G4	m2(3)	256	B	前末中初	46	34	9	6.3				
467	28	378		H1	頁岩		G4	m2(3)	210	B	前末中初	55	48	14	14.8				
468	29	378		H2	頁岩	TP-73	E5	覆土	14		前末	42	32	7	8.7				人骨共伴
469	29	212 378		H2	黒曜石		J7	m2上	17	B·C	中前	30	26	9	3.8			背面・下辺	器表面曇り、下端抉入、Ⅸ章(7)№15
470	29	378		H2	頁岩		E2	m2(5)	912	B	前末	42	34	11	10.3				
471	29	378		H2	頁岩		E8	m2下	114	C	中前半	36	33	6	5.4			下辺刃部	刃部に直交する線条痕
472	29	378		H2	珪質岩	(TH-63)	F2	覆土最下	1757	B	前末中初	40	38	6	6.3		両面わずか	側縁	
473	29	378		H2	頁岩		I5	m2(2)~(6)	354	B	前末中初	50	39	13	10.6				
474	29	378		H2	頁岩		F8	m2上	26	C·Ⅲ上部	中·後期	51	42	9	14.6				
475	29	378		H2	頁岩		G3	m2(3)	111	B	中初	65	47	12	22.5				
476	29	378		H2	頁岩		I5	m2	8	B	前末中初	37	33	7	7.6				
477	29	378		H2	頁岩		H3	攪乱	37	-	-	28	26	9	3.3				
478	29	378		E(A4a)	頁岩	TH-11	J5	覆土	580	P~A·覆土下	前後末	40	21	7	3.4				
479	29	378		E(A1)	黒曜石		I3	Ⅰ	10061	-	-	(26)	12	3	(1.0)				高透明度の黒曜石
480	29	378		E(A1)	黒曜石		C6	攪乱	37	-	-	36	19	9	3.5				
481	29	378		E(A1)	頁岩		J5	m2(2)	116	B·C	前末中中	38	22	8	3.8				
482	29	378		E(A2a)	黒曜石	(TH-57)	H2	覆土7	1163	B·C'	前末中前	34	19	7	3.5			背面	器表面曇り
483	29	378		E(A2)	頁岩		G6	m2上	84	C	中前半	40	22	7	4.0				
484	29	378		E(A5a)	黒曜石		N6	m3	2	P'	前末	(17)	9	3	(0.5)				
485	29	378		E(A5b)	珪化岩		F2	m2	303	B·C'	前末	34	22	8	5.3				
486	29	378		E(C2f)	黒曜石		I2	m2上	277	B	中初	28	23	8	3.7			背面	
487	29	378		E(D2)	頁岩		H7	m2	91	C	中前半	33	26	7	3.6				
488	29	378		E(B2)	頁岩		E1	m2下	1161	B	前末中初	39	32	5	5.1				
489	29	378		F	頁岩		D2	m2下	777	A·B	前末	(47)	29	11	(9.5)				つまみ異形
490	29	378		E	白色泥岩		H6	m2下	323	B·C	中前	73	61	10	35.2				大形模造品
491	29	212 378		F	黒曜石		J9	m2上	3	C	中前半	(19)	16	3	(0.6)				Ⅸ章(7)№18
492	29	378		F	頁岩		H5	m2(2)	282	C	中前	(34)	21	7	(4.3)				つまみ部二重
493	29	378		F	頁岩		M8	掘り上げ土	158	P'	前末	(34)	(23)	6	(2.7)		両面		
494	29	378		F	頁岩		E4	m2下	430	A·B	前末中初	(36)	35	9	(9.0)				
495	29	378		F	頁岩		G7	m2	491	C	中前半	(27)	20	6	(2.8)				
496	29	378		F	頁岩		J6	m2(2)下	304	B	前末中初	(36)	23	9	(7.6)				
497	29	378		F	頁岩		H4	m2(6)	573	A·B	前末	(32)	23	7	(3.9)				
498	29	378		F	珪質砂岩		N6	Ⅰ	37	-	-	(28)	21	14	(7.6)				
499	29	378		F	頁岩		J4	m2	218	A·B	前末	(34)	24	5	(4.2)				
500	29	378		F	頁岩		H4	m2(3)	251	B	中初	29	(27)	10	(5.6)				
501	30	379		AⅠa2	頁岩		D11	m1a	71	D·Ⅲ上部	後期前	71	37	16	39.5				
502	30	379		AⅠa2	頁岩	TH-8(新)	F8	覆土	68	C·覆土下	中中	74	30	12	29.3		両面		
503	30	379		AⅠa2	頁岩	(TH-63)	H3	覆土中	246	B	中初	82	38	22	63.2		背面		
504	30	379		AⅠa2	頁岩		K7	Ⅰ	166	-	-	89	37	20	60.3				
505	30	379		AⅠa2	頁岩		D5	m2上	112	C	中前半	104	37	20	67.2				
506	30	379		AⅠa2	頁岩		C0	攪乱	300	-	-	98	34	19	54.9		刃部腹面		
507	30	379		AⅠa2	頁岩		K3	Ⅰ	13	-	-	106	45	26	85.8				
508	30	379		AⅠa3	頁岩		F7	m1a	22	Ⅲ上部	後期前	53	31	16	27.6		刃部背面		縦方向線条痕
509	30	379		AⅠa3	頁岩	(TH-63)	G2	覆土下	3779	B	中初	69	28	13	24.7				
510	30	379		AⅠa3	頁岩		G4	m3	406	A·Ⅲ下部	前末	47	20	11	10.6		上刃部背面		
511	30	379		AⅠa3	頁岩	(TH-58)	F1	覆土上	477	B·C'	中前	60	25	13	18.6				
512	30	379		AⅠa3	頁岩	TH-11	K4	覆土1	688	A	前末	78	60	19	94.5				
513	31	379		AⅠa3	頁岩		J2	攪乱	187	-	-	73	42	17	49.6				
514	31	379		AⅠa	頁岩	TH-54	J2	覆土中	517	A·B·覆土下	前末	77	38	16	45.4				
515	31	379		AIa6 ii	頁岩		D2	m2(5)	572	B	前末	54	19	9	10.9		腹面	刃部・両面	側面に横方向線条痕
516	31	379		AⅠb1	頁岩		H9	m2上	13	C	中前半	58	30	15	28.6		背面		
517	31	379		AⅠb1	頁岩		F9	m2	29	C·Ⅲ上部	中·後期	81	40	15	48.4		背面		
518	31	379		AⅠb2	頁岩		G8	m2上	208	C	中前半	80	37	22	39.7				
519	31	379	箆状石器	AⅠb3	頁岩		K3	Ⅰ	12	-	-	87	48	15	52.7				
520	31	379		AⅠb3	泥岩		D2	m2下	832	A·B	前末	90	46	19	97.2			刃部	刃縁直交線条痕、石斧転用
521	31	379		AⅠb4	頁岩		I4	m2(2)	77	B·C	中前	47	33	10	17.1		両面		
522	31	379		AⅠb4	珪質砂岩		E1	m2(4)	1360	B	中前	69	29	14	27.9		腹面		
523	31	379		AⅠb4	頁岩		H5	m2(3)	189	B	前末中初	86	37	18	37.6				
524	32	379		AⅡ1	頁岩		H8	m2下	16	C	中前半	66	30	11	23.2				
525	32	379		AⅡ1	頁岩		I8	m2下	74	C	中前	70	35	14	33.7		刃部腹面		
526	32	379		AⅡ1	頁岩	TH-14	M3	覆土	500	A·覆土下	前末	73	37	15	37.4				
527	32	379		AⅡ1	頁岩		C5	m2下	93	B·C	中前半	73	29	12	21.6		両面		
528	32	379		AⅡ1	頁岩	TH-54	J2	覆土中	516	A·B·覆土下	前末	89	34	18	44.8				
529	32	380		AⅡ1	頁岩	TH-5	L7	覆土2	661		前末	86	39	18	50.7				
530	32	380		AⅡ1	頁岩		D1	m2下	1428	A·B	前末	87	34	18	44.5			側縁	
531	32	380		AⅡ1	頁岩		H8	m2上	2	C	中前半	100	36	17	62.0		腹面		
532	32	380		AⅡ1b	頁岩	TH-54	J2	覆土下	707	A·B·覆土下	前末	80	34	17	36.6				
533	32	380		AⅡ2	頁岩		K4	Ⅰ	29	-	-	51	26	9	10.1				
534	32	380		AⅡ2	頁岩		I4	m2	183	B·C	前末中中	80	32	19	42.8		両面		
535	32	380		AⅡ2	珪質砂岩		H9	m2下	12	C	中前	78	34	13	32.1	○?			アスファルト?付着、偶発的
536	33	380		AⅡ2	頁岩	TP-15	-	覆土4	170		前後末	154	68	28	247.3				
537	33	380		AⅡ3	頁岩		J7	m3	39	B	前末	44	19	9	8.2				
538	33	380		AⅡ3	頁岩	TH-39	-	-	85	C·覆土下	中前半	60	28	10	15.4		背面・刃部腹面		

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（６）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	覆土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢（剥片石器石斧）／すり面傾き（北海道式石冠）	摩耗（剥片石器石斧）／すり面（磨石器）	備考
539	33	380	箆状石器	AⅡ3	緻密安山岩		I7	m2	103	B	中初	60	28	13	22.1				
540	33	380		AⅡ3	頁岩		J6	m2(2)	376	B·C	前末中前	69	30	15	27.8				
541	33	380		AⅡ3	頁岩		C1	m2(2)	157	B·C'	中前	67	35	12	25.9		腹面		スクレイパーから転用
542	33	380		AⅡ3	頁岩		L10	Ⅰ	13	-	-	79	30	15	38.1				
543	33	380		AⅡ3	頁岩		K4	m2	24	B	前末	76	31	19	38.0			刃部	
544	33	380		AⅡ3	頁岩		D11	m1	4	D·Ⅲ上部	後期前	78	35	13	28.6				
545	33	380		AⅡ3	頁岩	TH-54	J2	覆土中	553	A·B·覆土下	前末	77	42	16	37.1				
546	34	380		AⅡ3	珪質砂岩		D4	Ⅰ	131	-	-	82	33	18	35.1				
547	34	380		AⅡ3	頁岩	(TH-63)	H2	覆土	3837	B	前末中初	85	26	16	30.8			側縁	側縁摩耗顕著
548	34	380		AⅡ3	頁岩	TH-19	M10	覆土1	2		前末	92	36	17	44.8				
549	34	380		AⅡ3	頁岩		E6	m1a	70	Ⅲ上部	後期前	93	40	16	49.3				
550	34	380		AⅡ3	頁岩	TH-34HP23	C7	覆土	2		中中	100	38	18	55.9				
551	34	380		AⅡ3	頁岩	TH-15	-	覆土1	3	B	前末中初	96	38	20	58.3				
552	34	380		AⅡ3	頁岩	TH-45	C3	覆土	119	B·覆土下	中前半	101	43	22	63.4	○			
553	34	380		AⅡ3	頁岩		H8	m2下	23	C	中前半	107	39	17	58.1				
554	34	380		AⅡ3	頁岩	(TH-63)	H3	覆土上	3928	B	中初	73	37	18	48.3				
555	34	380		AⅡ3	頁岩		G7	m2下	275	C	中前半	77	38	15	37.1				
556	34	380		AⅡ4	珪質砂岩		K9	m2	109	B·C	前末中前	51	24	16	16.6				
557	35	380		AⅡ4	頁岩	TH-25	H8	覆土	141	C·覆土下	中初	62	24	13	14.8				
558	35	380		AⅡ4	頁岩		E4	m2下	183	A·B	前末中初	80	36	17	35.4		両面		
559	35	380		AⅡ4	頁岩		G2	m2上	285	B·C'	中前半	76	35	21	49.9				
560	35	380		AⅢ1	珪質砂岩		G8	m2上	34	C	中前半	93	37	16	48.7				
561	35	381		AⅢ3	頁岩		C2	m2(2)	467	C	中前	79	39	10	23.2				
562	35	381		AⅢ3	頁岩	TP-123	-	覆土1	64		後期前	59	30	11	16.7				
563	35	381		AⅢ3	頁岩		N4	不明	11	-	-	55	40	15	23.0				
564	35	381		AⅢ3	頁岩		N3	Ⅰ	18	-	-	51	34	16	21.9			刃部	
565	35	381		AⅢ4	頁岩	(TH-57)	G2	覆土下	848	B·C'	中前	67	33	13	26.5				
566	35	381		AⅢ5	頁岩		L6	Ⅰ	18	-	-	79	47	12	30.2		両面		
567	35	381		AⅢ	頁岩		C1	-	513	-	-	67	37	10	23.8				
568	36	381		AⅣ6ⅰ	頁岩	TH-18	L10	覆土2	9	C·覆土下	前末中前	73	24	13	19.4		腹面		
569	36	381		AⅣ6ⅰ	頁岩		G5	m2下	262	B	前末中前	64	22	12	16.8				
570	36	381		AⅣ6ⅰ	頁岩	TH-44	F3	覆土	168	B·C·覆土下	中前	84	27	17	38.1		腹面		
571	36	381		AⅣ6ⅰ	頁岩		E2	m2(5)	1561	B	前末	87	25	13	29.7		背面		
572	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩		I11	Ⅰ	4	-	-	49	20	10	8.1				
573	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩		F3	m2(2)	10196	B·C	中前半	63	25	14	17.8				
574	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩		H4	m2(3)	37	B	中初	80	29	16	32.2		背面		
575	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩		M10	m3	2	B·C		86	24	14	31.4				
576	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩		G3	m3	10061	A·Ⅲ下部	前末	80	32	19	40.2				
577	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩	TH-12	F6	覆土	86	B?·覆土下	前末	69	29	14	25.5				
578	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩		D3	m2(6)	10130	B	前末	79	29	15	25.4		腹面		
579	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩		F3	m2(4)	340	B	前末	82	26	18	33.6		両面		
580	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩	配石列3	D11	m1a	77	D·Ⅲ上部	後期前	95	30	16	36.8				
581	36	381		AⅣ6ⅱ	頁岩		J4	m2(2)下	3	A·B	前末	103	30	21	49.8				
582	37	381		AⅣ1	珪質砂岩	(TH-58)	F1	覆土上	978	B·C'	中前	92	30	16	38.3				
583	37	381		AⅣ2	緻密安山岩		F7	m2下	52	C	中中	96	34	19	62.5				
584	37	381		AⅣ2	頁岩		D2	m2(4)	873	B	中前	118	41	23	108.2				
585	37	381		AⅣ2	頁岩		F7	m2下	62	C	中中	89	30	16	37.1		刃部腹面		刃部直交線条痕
586	37	381		AⅣ3	頁岩		E2	m2(5)	1559	B	前末	102	33	20	60.2				
587	37	381		AⅤ1	頁岩	TH-4	M8	覆土1	443	B	前末中前	65	45	6	21.4		両面		スクレイパー兼用
588	37	381		AⅤ1	頁岩		E1	m2(2)	537	B·C'	中前半	38	17	14	8.7				全面摩耗の箆状石器？破片転用
589	37	381		AⅤ4	頁岩		K3	m2(2)下a	118	A	前末	111	30	28	75.4				
590	37	381		AⅤ3	頁岩		H8	m2下	210	C	中前半	35	25	9	6.2				
591	37	381		AⅤ3	珪質砂岩		J3	m2	156	C'	中前半	51	44	17	32.4				
592	37	381		B1	頁岩		I6	m2下	4	B	中初	55	26	12	16.5				
593	37	381		B3	玉髄		E6	m1	29	Ⅲ上部	後期前	50	36	14	18.8				
594	37	381		B3	頁岩	配石列3	D10	m1a	74	D·Ⅲ上部	後期前	57	35	10	14.1		腹面		
595	38	382	スクレイパー	A	頁岩		J7	m2下	14	B	前末中初	58	33	13	11.8		両面		
596	38	212 382		A	珪化岩		J2	攪乱	211	-	-	58	36	10	22.1				
597	38	382		A	頁岩	TH-44	F3	覆土	170	B·C·覆土下	中前	58	35	15	23.3		背面		腹面に刃部加工
598	38	382		A	頁岩		K7	m1	3	B	前末中前	72	40	11	22.8		両面		
599	38	382		A	珪質砂岩	TH-14	M3	覆土	1165	A·覆土下	前末	68	36	11	14.2		腹面		
600	38	382		Ax	頁岩		E1	m2(2)	530	B·C'	中前半	60	36	9	16.6				
601	38	382		Ax	頁岩		H7	m2上	3	C	中前半	66	41	12	32.8		両面		
602	38	382		Ax	頁岩		E2	m2(5)	1204	B	前末	66	50	17	33.8				
603	38	382		Ax	頁岩		F5	m1a	4	Ⅲ上部	後期前	80	40	13	33.6				
604	38	382		A	頁岩		C1	m2(5)	317	B	前末	52	37	10	11.0		腹面		
605	38	382		A	頁岩	TH-44	F3	覆土	243	B·C·覆土下	中前	78	37	16	41.0		両面		腹面に刃部加工
606	38	382		A	頁岩	TH-14	M3	覆土1c	867	A ?	前末	83	31	12	17.8		両面		
607	38	382		A	流紋岩	TH-18	L10	覆土1	111	C·覆土下	前末中前	60	42	15	33.8				
608	38	382		A	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	46		前末	35	30	9	8.8				中央ピット
609	39	382		A	頁岩		G3	Ⅰ	70	-	-	45	35	15	12.9		腹面	刃部両面	[illegible]
610	39	382		AG	珪質砂岩	TH-23HP1	-	覆土	5		前末中初	36	35	16	14.8				TH-23(旧)中央ピット
611	39	382		A	頁岩	TH-7	D5	床面	258		後期前	51	39	16	20.9		両面		腹面に刃部加工
612	39	212 382		A	褐色珪化岩		E3	m2(5)	10203	B	前末	78	56	16	49.1		腹面		
613	39	382		A	頁岩	TH-24	J8	覆土2	309	P以前	前末	(92)	(41)	21	(48.9)		腹面		
614	39	382		A	頁岩		F6	m1a	12	Ⅲ上部	後期前	60	49	10	25.7				腹面に刃部加工
615	39	382		A	緻密安山岩		J3	m2(2)	53	C'	中前半	73	58	13	45.4				
616	39	382		A	頁岩	TH-5	K7	覆土2	803		前末	86	25	18	28.2				褐色付着物
617	39	382		Ax	頁岩		H6	m2	142	B·C	中前半	79	43	16	47.0				
618	39	382		Ax	頁岩		B12	Ⅰ	69	-	-	87	45	19	50.5				
619	40	382		A	頁岩		J4	m2(2)	223	A·B	前末	47	45	7	13.9				
620	40	382		A	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	47		前末	(32)	27	7	(5.0)		両面	刃部	中央ピット
621	40	382		A	頁岩		H2	攪乱	87	-	-	60	29	14	14.0				つまみ付きナイフ？
622	40	382		A	頁岩		H2	m2	187	B	前末中初	71	29	6	8.3				
623	40	382		A	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	25		前末	92	72	31	181.4				中央ピット
624	40	382		A	頁岩	TH-23HP1	I10	覆土	4		前末中初	71	45	12	26.5				TH-23(旧)中央ピット
625	40	382		Ay	頁岩		J5	m2(2)	99	B·C	前末中中	80	33	16	23.7				
626	40	382		Ay	頁岩	TH-14	M3	覆土1c	891	A ?	前末	100	40	25	60.2		背面		
627	40	382		Ax	頁岩		C0	m2(2)	139	B·C'	中前半	73	41	15	39.4				
628	40	382		Ax	頁岩		F2	m2	421	B·C'	前末	64	25	9	13.3				長辺刃部は腹面
629	41	382		A	頁岩	TH-18HP26	L9	床	3		前末中初	32	24	8	3.9				TH-18(旧)中央ピット
630	41	382		Ax	頁岩	TH-5	K7	覆土1	1090	B	中初	37	27	17	10.2			刃部・背面	刃部摩耗明瞭
631	41	382		Az	頁岩	TH-27	H7	覆土	24		前末中初	(30)	22	10	(5.9)				
632	41	382		Azy	頁岩	TH-22	H8	覆土	309	C·覆土下	前末中前	(33)	27	10	(8.4)		両面	刃部	
633	41	382		Az	頁岩		H7	m2	513	C	中前半	52	33	9	10.6			縁辺	縁辺全周で摩耗明瞭
634	41	383		Az	頁岩	TH-5	L7	覆土2	1021		前末	43	42	13	21.1		腹面		
635	41	383		Az	頁岩		E5	m1a	43	Ⅲ上部	後期前	(57)	41	10	(23.0)			刃部縁辺	
636	41	383		Az	頁岩		E2	m2下	1253	A·B	前末	67	43	20	24.6		腹面		
637	41	383		Az	頁岩		D1	m2(4)	821	B	中初	81	56	24	59.2		腹面		
638	41	383		Az	粘板岩		G8	m2下	162	C	中前半	101	38	14	63.6			刃部縁辺	
639	41	383		A	頁岩	TH-14	L3	覆土1	617	A ?	前末	40	38	15	17.8		上刃部背面	刃部縁辺	刃部摩耗明瞭
640	41	383		A	頁岩		K9	m2(2)	46	B·C	前末中前	(42)	36	11	(14.4)		両面	刃部縁辺	刃部摩耗明瞭
641	41	383		A	頁岩	TH-18HP26	L9	床	5		前末中初	35	(18)	8	(3.5)				TH-18(旧)中央ピット、被熱
642	42	383		B	頁岩		G6	m1a	13	C·Ⅲ上部	中·後期	84	33	16	31.3		両面		
643	42	383		B	珪質砂岩		I8	m2上	1	C	中前半	73	34	10	21.9		両面		
644	42	383		B	珪質砂岩	TH-34(新)	C7	覆土	49	C·覆土下	中中	67	26	12	14.5			背面	
645	42	383		Bx	頁岩	(TH-58)	F1	覆土上	471	B·C'	中前	68	32	18	24.3		両面	刃部縁辺	
646	42	383		B	頁岩		E2	m2下	1320	A·B	前末	47	32	9	5.7				
647	42	383		B	頁岩	TH-47HP12	G6	覆土	3		中前	(29)	22	8	(6.0)		背面	背面	

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（７）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	覆土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(礫石器)	備考
648	42	383		B	珪質砂岩		D2	m2(2)	326	B·C	中前	49	19	6	6.1			刃部縁辺両面	摩耗明瞭、刃部に並行する線条痕
649	42	383		B	頁岩		E2	m2(4)	568	B	中前	52	36	10	16.1	○			アスファルトは偶発的
650	42	383		Bx	頁岩	TH-4	N8	覆土1	13	B	前末中前	58	42	12	29.1		背面		腹面に刃部加工
651	42	383		Bx	珪質砂岩	TH-22HP1	H8	覆土	6		前末	71	49	22	63.8				中央ピット、腹面に刃部加工
652	42	383		B	頁岩		D7	m1a	19	Ⅲ上部	後期前	60	59	22	68.8		両面		腹面に刃部加工
653	42	383		B	緻密安山岩	TH-48	D4	覆土	66	C·覆土下	中前半	65	48	14	45.8				腹面に刃部加工
654	42	383		B	頁岩	TH-4	L9	覆土2	728		前末	66	61	14	36.8				
655	43	383		B	頁岩	TP-65	E5	覆土	27		中前	65	48	17	35.0				
656	43	212 383		B	頁岩	TH-47HP12	G6	覆土	15		中前	64	34	8	13.0		腹面		
657	43	383		B	頁岩		G6	m1a	16	C·Ⅲ上部	中·後期	48	38	8	14.6		両面		
658	43	383		B	頁岩	TH-18HP26	L9	床	4		前末中初	(36)	28	7	(7.4)				TH-18(旧)中央ピット
659	43	383		B	頁岩	TH-11	K4	覆土2	476		前後	(42)	35	12	(16.4)				全面摩耗
660	43	383		By	頁岩		F1	m2(4)	486	B	中初	63	32	9	18.5		両面		
661	43	383		C	頁岩	TH-14	M3	覆土1c	758	A ?	前末	46	40	8	9.3				石錐兼用?
662	43	383		Cx	頁岩	TH-5	K8	覆土2	853		前末	59	43	11	18.3		腹面		
663	43	383		C	頁岩	TH-11	K4	覆土1b	740	P～A	前後	58	28	10	8.7				石錐兼用?
664	43	383		C	頁岩	TH-14	M4	覆土1b	932	A ?	前末	(89)	38	16	(26.6)				被熱
665	43	383		C	頁岩	TH-18	K10	床面上	368		前末中初	87	48	18	41.3		背面		
666	43	383		C	頁岩	TH-39(新)	D7	覆土	40	C·覆土下	中前半	95	34	11	21.8				
667	43	383		C	頁岩	TH-4HP28	-	覆土	2		前末	60	50	13	20.6				
668	44	384		C	頁岩	TH-17	K5	覆土	307	A·B·覆土下	前末中初	100	53	42	95.7				
669	44	384		C	珪質砂岩	TH-4	L9	覆土2	758		前末	101	68	7	71.7				腹面に刃部加工
670	44	384		AB①G	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	48		前末	35	31	13	16.5		背面	上端折れ面	中央ピット
671	44	384		AB①G	頁岩	TH-30	H8	覆土	176	C·覆土下	中前半	33	33	11	12.8		両面		腹面強光沢
672	44	384		AB①	頁岩		E9	m1a	13	Ⅲ上部	後期前	67	41	12	30.0		腹面		
673	44	212 384		AB①	頁岩	TH-14	L3	覆土	911	A·覆土下	前末	78	43	14	29.1		両面		
674	44	384		AB①	頁岩	TH-14	M3	覆土1c	762	A ?	前末	52	33	16	15.7		両面		
675	44	384		AB①y	頁岩	TH-14	M3	覆土1c	846	A ?	前末	54	34	9	15.0		両面		
676	44	384		AB①②	頁岩	TH-35HP7	-	覆土	6		中前半	71	43	12	15.9			刃部縁辺	中央ピット
677	44	384		AB②	玉髄		G8	m2上	132	C	中前半	73	45	15	46.7				
678	45	384		AB②x	珪質砂岩	TH-35	E6	覆土	110	C·覆土下	中前半	80	44	15	52.1		腹面		
679	45	384		AB②	頁岩	TH-32	D6	覆土	145	C·覆土下	前末中初	63	42	10	26.8				
680	45	384		AB②	頁岩		K4	m2	122	B	前末	73	52	12	38.7		腹面		
681	45	384		AB②	珪質砂岩	TH-45	C3	覆土	66	B·覆土下	中前半	67	25	11	14.4		腹面		
682	45	384		AB②x	頁岩		F7	m2下	145	C	中中	66	38	19	44.2		両面		
683	45	384		AB②x	頁岩		E2	m2(2)	441	B·C'	中前	70	36	11	28.7		背面		
684	45	384		B·AB③y	頁岩		F1	m2(4)	406	B	中初	53	35	13	16.8		腹面		
685	45	384		B·AB③	珪質砂岩	TH-21	K9	覆土2	135		前末	63	27	12	16.3				
686	45	384		AB③	珪質岩		D3	m2(6)	10066	B	前末	62	46	12	21.6				腹面に刃部加工
687	45	384		AB④	頁岩	TH-5	L7	覆土中	906		前末中初	75	37	12	28.3		両面		
688	45	384		AB④x	頁岩		N7	Ⅰ	47	-	-	41	33	16	14.6		両面	刃部腹面	刃縁に直交する線条痕
689	45	384		AB④	頁岩	(TH-58)	F1	覆土下	401	B·C'	中前	42	39	9	9.8		両面		
690	46	384		AC①	頁岩		C11	m1	3	D·Ⅲ上部	後期前	86	31	18	33.7		両面	背面	
691	46	384		AC①	頁岩		E2	攪乱	359	-	-	95	33	17	28.5				
692	46	384		AC①	頁岩		F1	m2(2)	306	C'	中前半	71	40	15	22.4				
693	46	384		AC②x	頁岩		F2	m2(2)	498	B·C'	中前	75	40	8	17.1		両面		
694	46	384		AC②	頁岩		L8	m2	43	B·C	前末中前	81	41	18	17.6				
695	46	384		AC③	頁岩		E2	m2(4)	1382	B	中前	29	28	13	10.0			刃部縁辺	刃縁摩耗明瞭
696	46	384		BC①	頁岩		G3	m2(2)	90	B	中初	76	50	16	15.2				
697	46	384		BC①	珪質岩	TH-24	J8	床面	364		前末	(73)	64	21	(64.2)				腹面に刃部加工
698	46	384		BC①x	頁岩		E5	m1a	41	Ⅲ上部	後期前	75	31	12	19.7		両面		
699	46	384		BC①y	頁岩	TH-14	M3	覆土	1040	A·覆土下	前末	61	46	19	45.6				
700	46	384		BC②	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	45		前末	28	24	7	5.1				中央ピット
701	47	384	スクレイパー	ABC②x	頁岩	TH-17	K4	覆土1	127	A·B	前末中初	90	37	16	50.8		背面	背面	
702	47	385		ⅠAx	頁岩	TH-15	-	覆土	118	B·覆土下	前末	42	34	13	15.4		腹面		
703	47	385		ⅠA	頁岩	TH-14	M3	覆土2	534		前末	61	43	11	15.9		腹面		
704	47	385		ⅠAx	頁岩		H6	m2上	12	B·C	中前半	63	32	11	18.2		両面		
705	47	385		ⅠA	頁岩	TH-23(旧)	J9	覆土	30	C·覆土下	前末中初	70	49	16	52.2		縁辺腹面		
706	47	385		ⅠA	頁岩		J7	m1上	12	B·C	中前半	56	39	10	22.4		腹面		
707	47	385		ⅠA	頁岩		J6	m1	4	Ⅲ上部	後期前	62	35	8	18.2		腹面		
708	47	385		ⅠABx	頁岩	TH-5	L7	覆土1	885	B	中初	74	44	11	30.4		腹面		
709	47	385		ⅠAx	頁岩	TP-136	D3	覆土	42	B	前末	72	42	13	30.0		両面	刃部両面	刃部直交線条痕
710	47	385		ⅠA	頁岩	TH-3	J6	覆土2	9		前末	69	26	9	14.7				
711	47	385		ⅠA	珪質砂岩		J7	m2下	15	B	前末中初	85	28	15	28.7		腹面		
712	47	385		ⅠAx	頁岩		J8	Ⅰ	28	-	-	83	37	15	40.3		両面		
713	48	385		ⅠAx	頁岩		C1	m2(2)	173	B·C'	中前	74	42	15	39.4		腹面		
714	48	385		ⅠA	頁岩		E1	m2下	1163	B	前末中初	65	42	15	38.2		両面	刃部縁辺	
715	48	385		ⅠAx	頁岩	TP-15	-	覆土4	169		前後末	102	51	22	94.4			下刃部背面	
716	48	385		ⅠAx	頁岩		B5	m1	3	Ⅲ上部		47	44	15	26.6				
717	48	385		ⅠA	頁岩	TH-17	L5	覆土	261	A·B·覆土下	前末中初	62	38	12	14.2		腹面		
718	48	385		ⅠABx	緻密安山岩		J6	m1b	458	B·C	中前	76	27	8	17.4				
719	48	385		ⅠAB	頁岩	TH-21	K9	覆土	127	C·覆土下	前末中前	66	35	13	18.2		腹面		
720	48	385		ⅠABx	頁岩		H7	m2上	2	C	中前半	69	38	12	25.5		両面	刃部	
721	48	385		ⅠAB	頁岩	TH-2	N10	覆土1	224	B·C	中前半	70	39	14	22.2		両面		
722	48	385		ⅠAB	頁岩	TH-14	M3	覆土1c	827	A ?	前末	64	46	12	35.5		腹面		
723	48	385		ⅠABx	頁岩	TH-9	G6	覆土	269	C·覆土下	中前	74	34	11	20.5		腹面		
724	48	385		ⅠABx	頁岩	TH-34	C3	覆土最下	105		中前半	81	40	14	36.8		腹面		腹面右辺光沢強い
725	49	385		ⅠAB	珪質砂岩		J5	m2(2)	2	B·C	前末中中	67	28	12	21.6		腹面		
726	49	385		ⅠAB	頁岩	TH-35	F7	覆土	162	C·覆土下	中前半	70	36	11	20.1		両面		
727	49	385		ⅠAB	頁岩		E2	m2(4)	859	B	中前	65	39	12	28.4		両面		赤色顔料?付着
728	49	385		ⅠABx	頁岩		M8	m2	57	B·C		73	38	14	35.0		腹面	刃部縁辺	刃部摩耗明瞭、刃部に並行する線条痕
729	49	385		ⅠAB	頁岩		K8	Ⅰ	54	-	-	71	23	16	16.8		腹面		
730	49	385		ⅠAB	頁岩	(TH-60)	B12	覆土	416	C·D	中·後期	75	31	12	23.2		両面		
731	49	385		ⅠABx	頁岩		B5	m2	22	C	中前半	72	52	14	43.8				
732	49	385		ⅠACx	頁岩		F2	m2下	799	B	前末中初	65	60	16	36.9		腹面	背面	
733	49	385		ⅠACx	頁岩		H7	m2上	4	C	中前半	80	50	12	45.0		背面		腹面褐色物付着
734	49	386		ⅠAC	頁岩		E2	m2(5)	916	B	前末	70	33	15	29.7		両面		
735	49	386		ⅠACx	頁岩		H4	m2(3)	324	B	中初	79	30	11	26.6		腹面		
736	49	386		ⅠABC	頁岩	TH-14	M3	覆土1c	803	A ?	前末	64	39	13	16.5		腹面		
737	49	386		ⅠABC	頁岩		F1	m2(4)	441	B	中初	71	35	9	19.8		両面	刃部縁辺	両面強光沢
738	49	212 386		ⅠABC	頁岩	TH-17	L4	覆土	172	A·B·覆土下	前末中初	69	38	15	40.4		腹面	下刃部縁辺	
739	50	386		ⅠB	頁岩	TH-21	K9	覆土2	133		前末	53	44	14	25.5				
740	50	386		ⅡAx	珪質砂岩		E2	m2(5)	928	B	前末	61	39	11	16.7		腹面	背面中軸	
741	50	386		ⅡAx	頁岩		D3	m1a	3	Ⅲ上部	後期前	69	47	15	48.5		背面		腹面に刃部加工
742	50	386		ⅡAx	頁岩	TH-30	H8	覆土	101	C·覆土下	中前半	60	46	13	32.8		両面	背面	
743	50	386		ⅡB	頁岩	TH-8	F8	覆土	42	C·覆土下	中前半	57	35	8	12.4		両面	背面	
744	50	386		ⅡB	頁岩		E7	m1a	33	Ⅲ上部	後期前	69	41	9	20.9		両面		
745	50	386		ⅡBx	頁岩		E2	m2(5)	1002	B	前末	62	40	12	23.8		両面	腹面	
746	50	386		ⅡBx	頁岩		L11	Ⅰ	6	-	-	72	47	17	31.8		両面	刃部縁辺	摩耗明瞭、刃部直交線条痕
747	50	386		ⅡBx	珪質砂岩	TH-33	F5	覆土	77	C·覆土下	中前	72	43	12	35.7		両面	背面	
748	50	386		ⅡBx	頁岩	TH-34(旧)HP1	C5	覆土	4		中中	68	48	10	25.1		腹面		
749	50	386		ⅡCx	頁岩	TH-4	M9	覆土1	1041	B	前末中前	67	37	10	15.5		背面		腹面に刃部加工、背面強光沢
750	51	386		DAz	頁岩	TH-14	M3	覆土1b	945	A ?	前末	44	(32)	12	(15.8)			背面	
751	51	386		DAz	頁岩		E2	m2下	1317	A·B	前末	52	33	13	22.0				
752	51	386		DAz	頁岩	TH-17	K5	覆土	252	A·B·覆土下	前末中初	58	24	9	6.6				
753	51	386		DAB②z	頁岩	TH-22	I8	覆土	164	C·覆土下	前末中前	(28)	12	8	(2.6)				
754	51	386		DAz	頁岩	TH-12	E7	覆土	68	B?·覆土下	前末	44	35	14	16.3				
755	51	386		DAzx	頁岩	TH-24	J8	覆土2	227	P以前	前末	78	40	17	40.8				

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（８）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面領き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(磨石器)	備考
756	51	386	スクレイパー	DAz	頁岩	TH-48	C4	覆土	59	C·覆土下	中前半	69	40	17	32.7			背面	
757	51	386		DAz	珪質砂岩		E3	m2(5)	10212	B	前末	71	56	29	86.5		腹面		
758	51	386		DAz	頁岩	TF-33	G5	埋土	3	B	中前	89	49	28	110.7				
759	51	386		DBz	頁岩	TH-11	J5	覆土	838	P～A·覆土下	前後末	75	33	20	50.7				
760	51	386		DABz	珪質砂岩		I5	m2(2)	407	B·C	中前	79	38	24	43.2				
761	51	386		DACz	頁岩	TH-22	I8	覆土	227	C·覆土下	前末中前	68	37	28	57.3				
762	52	386		DAz	頁岩		J4	m2(2)	149	A·B	前末	(56)	54	18	(32.8)		両面		
763	52	386		DAC	珪質砂岩	TH-5	L7	覆土1	928	B	中初	75	43	20	48.1				
764	52	386		DAz	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	15		前末	26	19	13	4.8		両面		中央ピット
765	52	386		ⅢA	頁岩	TH-11	K4	覆土	649	P～A·覆土下	前後末	54	31	14	15.9				
766	52	386		ⅢAx	頁岩		F1	m2(2)	362	C	中前半	56	44	18	23.1				
767	52	386		ⅢA	頁岩		E2	m2(4)	578	B	中前	47	26	11	7.8				
768	52	386		ⅢA	頁岩(多孔質)		C3	崩落土	10066		中前半	57	38	11	17.9				
769	52	386		ⅢB	頁岩		E3	m2(3)	203	B	前末	55	32	9	14.4		腹面	背面	
770	52	386		ⅢB	頁岩	TH-14	L3	覆土1	615	A ?	前末	62	30	10	11.4		腹面		
771	52	386		ⅢBx	珪質砂岩		K8	m2上	71	B	前末中前	55	43	10	17.0				つまみ付きナイフ(82?)
772	52	387		ⅢB	頁岩		E1	m2(2)	1322	B·C	中前半	39	39	7	8.7				
773	52	387 229		ⅢAB③x	頁岩	TH-4	M9	覆土1	20	B	前末中前	65	41	12	25.6		腹面		ツノガイ?化石含む
774	53	387		BE	頁岩	TH-14	M4	覆土1	647	A ?	前末	81	34	11	18.8		両面	背面	
775	53	387		BE	頁岩		H8	m2下	6	C	中前半	98	45	11	43.2		両面	刃部縁辺	刃部並行線条痕
776	53	387		E	珪質砂岩	TH-22	I8	覆土	153	C·覆土下	前末中前	57	35	15	21.9				腹面に刃部加工
777	53	387		AE	頁岩	TH-22	I8	覆土上	286	C·覆土下	前末中前	50	45	11	15.0				
778	53	387		E	頁岩	TH-4	N8	覆土1-2	881	B·覆土下	前末中前	51	48	16	32.3				
779	53	387		E	頁岩	TH-7	D6	覆土下	1317	D·Ⅱ上部·覆土下	後期前	44	28	13	11.9				
780	53	387		E	珪質砂岩	TH-23	I10	覆土	80	C·覆土下	前末中初	42	41	17	22.6				
781	53	387		BED	頁岩		C0	m2(2)	145	B·C	中前半	39	34	14	17.0				
782	53	387		E	黒曜石	TP-15	K3	覆土	90		前後末	42	31	15	12.5				被熱、裏表面光沢なし
783	53	387		Fx	頁岩		E1	m2(4)	1005	B	中前	61	36	14	27.7		腹面		
784	53	387		AF	頁岩	TH-4	M9	覆土1	692	B	前末中前	57	43	21	40.5				腹面に刃部加工
785	53	387		BF	頁岩	TH-18	L9	覆土2下	352	C·覆土下	前末中前	(61)	(37)	15	(25.7)				腹面に刃部加工
786	53	387		F	頁岩	TH-4	M9	覆土1	691	B	前末中前	66	47	18	40.2		両面		
787	53	387		FD	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	9		前末	42	39	20	29.0				中央ピット
788	53	387		F	珪質砂岩	TH-4	M8	覆土1	448	B	前末中前	(35)	(26)	9	(9.9)				
789	54	212 387		HA	緻密安山岩		J9	Ⅰ	29	-	-	122	72	21	152.5				
790	54	387 228 229		HAx	頁岩	TH-17	L4	覆土	173	A·B·覆土下	前末中初	149	62	26	139.4			刃部背面	刃縁に並行する線条痕、魚鱗?化石含む
791	55	387	両面調整石器	ⅠC	頁岩		G5	m2下	211	B	前末中前	38	24	9	6.8				
792	55	387		ⅠC	頁岩	TP-123	-	覆土3	79		後期前	40	24	8	7.5				
793	55	387		ⅠC	頁岩	TH-45	C4	覆土	62	B·覆土下	中前半	44	24	8	7.0				
794	55	387		ⅠC	珪質砂岩	TFC-24	E7	m2下	3	C	中前	50	22	7	6.0				
795	55	387		ⅠC	頁岩	(TH-60)	B12	覆土上	195	C	中中	47	27	13	11.0				
796	55	387		ⅠC	玉髄		C5	m2	100	B·C	中前半	45	23	13	11.2				
797	55	387		ⅠB	頁岩		L4	掘り上げ土	88	P	前末	55	32	10	16.7				
798	55	387		ⅠB	頁岩		D0	攪乱	340	-	-	59	31	12	14.5				
799	55	387		ⅠB	頁岩	TH-14	M3	覆土1c	5	A ?	前末	63	38	11	19.6				
800	55	387		ⅠB	頁岩		D2	m2(5)	567	B	前末	62	40	14	28.4				
801	55	387		ⅠB	頁岩		J6	m2(2)	438	B·C	前末中前	59	38	17	29.6				
802	55	387		ⅠB	頁岩		J6	m2	67	B·C	前末中中	66	25	12	13.6				
803	55	387		ⅠB	頁岩		D2	m2(5)	547	B	前末	79	41	15	33.2				
804	55	387		ⅠB	頁岩		C3	m2(5)	269	B	前末	76	42	21	43.6				
805	55	387		ⅠB	頁岩		G2	m3	295	A	前末	73	43	17	42.7				
806	56	387		ⅠB	頁岩		H4	m2(5)	526	A·B	前末	87	44	21	52.5				
807	56	387		ⅠB	珪化岩		I6	m2下	369	B	中初	77	50	17	61.4				
808	56	387 229		ⅠA	頁岩		L6	m3	76	Ⅲ	前後	105	66	32	137.1				二枚貝化石含む
809	56	387		ⅠA	玉髄	TH-45	C3	覆土	109	B·覆土下	中前半	(64)	59	24	(72.9)				
810	56	387		ⅠA	頁岩	(TH-58)	F1	覆土上	478	B·C	中前	(71)	71	22	(88.9)				
811	56	388		ⅠA	珪質砂岩	TFC-10 TFC-10	K8-9 K8-9	- -	5 4	B B	前末 前末	132	67	22	180.9				上破片(104g) 下破片(76.9g)
812	56	388		ⅠA	頁岩		F9	m2下	22	C·Ⅲ上部	中·後期	132	52	21	126.6				有孔虫化石含む
813	57	388		ⅠA	頁岩	TH-29	G9	覆土	65	C·覆土下	中前半	150	78	24	211.3				
814	57	388		ⅠA	頁岩		C1	m2(9)	500	B	前末	107	42	18	70.2				
815	57	388		ⅠA	頁岩		K8	m2下	155	B	前末	133	54	36	170.5				
816	57	388		ⅠA	頁岩		H5	m2(2)	611	C	中前	140	70	41	279.2				
817	58	388		ⅠA	頁岩	(TH-63)	G3	覆土上	3634	B	中初	166	77	47	369.4				
818	58	388		ⅠA	頁岩	TH-34(新)	D6	覆土	123	C·覆土下	中中	148	51	35	159.5				
819	58	388		ⅠA	頁岩		E1	攪乱	201	-	-	161	67	29	135.9				有孔虫化石含む
820	59	388		ⅡA	頁岩		F1	m2(5)	494	B	中初	69	35	14	34.2				[illegible]
821	59	388		ⅡA	頁岩		C12	m1a	10173	D·Ⅲ上部	後期前	56	21	10	10.2				
822	59	388		ⅡA	白色泥岩		F4	m2上	55	B·C	中前半	80	32	20	35.5				
823	59	388		ⅡA	頁岩		H5	m2(3)	473	B	前末中初	77	31	21	41.5				
824	59	388		ⅡA	珪質砂岩	TH-4HP1 TH-4HP1	- -	覆土 覆土	3 1		前末 前末	98	31	16	47.8				上破片(28.0g) 下破片(19.8g) 中央ピット、錐状石器?
825	59	388		ⅡA	頁岩		E2	m2(5)	1205	B	前末	111	27	23	58.3				
826	59	388		ⅡA	頁岩	TH-4	L9	覆土2	856		前末	122	43	29	111.5				
827	59	388		ⅡA	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	26		前末	44	36	18	27.8			折れ面	中央ピット、スクレイパーの転用
828	59	388		ⅡA	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	41		前末	(53)	29	15	(20.8)			折れ面	中央ピット、スクレイパーの転用
829	60	388		ⅡB	白色珪化岩	TH-17	L5	覆土	311	A·B·覆土下	前末中初	39	28	10	7.0				
830	60	389		ⅡB	珪質砂岩	TH-14	-	床	1030		前末	58	46	18	41.8				
831	60	389		ⅡB	頁岩	TH-5	L8	覆土2	1170		前末	71	56	23	84.7				
832	60	389		ⅡB	頁岩	TFC-16	-	TP-24覆土	8		前末	77	64	24	115.7				
833	60	389		ⅡB	頁岩	TFC-31	-	-	6	B	前末	78	77	27	127.4				
834	60	389		ⅡB	頁岩		E3	m2(5)	10310	B	前末	97	76	33	182.5				有孔虫化石含む
835	61	389		ⅡC三角形	頁岩	TH-54	J2	覆土下	715	A·B·覆土下	前末	43	29	11	10.1				楔形石器転用?
836	61	389		ⅡC三角形	頁岩	TH-8(新) HP27	F8	覆土	3		中初	66	41	14	28.1				TH-8(新)a中央ピット
837	61	389		ⅡC三角形	頁岩	(TH-63)	G3	覆土下	3500	B	中初	90	52	17	66.6				
838	61	389		ⅡC三角形	頁岩		E4	m2下	72	A·B	前末中初	105	59	27	112.5				
839	61	389		ⅡC三角形	頁岩		D1	m2下	66	A·B	前末	91	68	29	101.7				
840	61	389		ⅡC	頁岩		L6	掘り上げ土	61	P	前末	75	49	28	81.7				
841	61	389		ⅡC	珪質砂岩		E7	Ⅰ	51	-	-	48	33	13	22.8				楔形石器転用?
842	61	389		ⅡC	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	20		前末	58	53	17	59.5			折れ面	中央ピット、スクレイパーの転用
843	62	389		ⅡC	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	19		前末	58	49	20	55.4				中央ピット
844	62	389		ⅡC	頁岩	TH-4	M8	覆土1	488	B	前末中前	68	48	17	53.6				
845	62	389		ⅡC	頁岩	TFC-48	F2	m2(9)	4	B	前末	112	54	26	150.9				
846	62	389		ⅡC	頁岩		L3	m2	10079	A	前末	100	66	24	171.2				
847	62	389		ⅡC	頁岩	TH-18	L9	覆土2	3	C·覆土下	前末中前	142	86	36	308.9				
848	62	389		ⅡC	黒曜石		D7	m2上	84	C·Ⅲ上部	中前半	33	18	9	4.3				
849	62	389		ⅡC	頁岩	TH-25HP1	I8	覆土	13		中前	21	(15)	8	(3.2)				中央ピット
850	62	389		ⅡC	白色珪化岩		J6	m1	404	Ⅲ上部	後期前	50	25	11	11.7				
851	62	389		ⅡC	頁岩	TH-23HP1	-	覆土	11		前末中初	72	36	17	31.1				TH-23(旧)中央ピット
852	63	212 390	楔形石器		黒曜石		J8	m2下	3	住居覆土	前末	(17)	15	6	(1.4)				区集(7)№16
853	63	212 390			黒曜石		D3	m2下	17	A·B	前末	27	18	7	3.5				区集(7)№2
854	63	390			頁岩	TH-7	D5	床面	1302		後期前	26	20	10	4.7				
855	63	390			頁岩	TH-22 TH-22	I8 I8	床直上 床直上	430 429		前末 前末	34	20	10	5.9				左破片(3.2g) 右破片(2.7g)

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（９）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	覆土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(礫石器)	備考
856	63	390			玉髄		D0	m2(2)	212	B·C'	中前	41	22	10	6.8	○			アスファルトは偶発的
857	63	390			頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	27		前末	29	28	6	4.8				中央ピット
858	63	390			頁岩		H9	m2上	26	C	中前半	37	29	11	11.2		裏面		
859	63	390	楔形石器		頁岩		H5	m2	104	B·C	前末中前	37	29	14	14.6				
860	63	390			頁岩		C5	m1	4	Ⅲ上部	後期前	38	26	12	14.3	○			アスファルトは偶発的
861	63	390			頁岩		F5	Ⅰ	35	-	-	42	33	20	22.2				
862	63	390			頁岩	撹乱	D4	覆土	257	-	-	69	47	19	56.0				
863	63	390			珪質砂岩		E4	Ⅰ	23	-	-	63	52	18	65.6				
864	63	390			頁岩	TH-24	J8	覆土	272	A類似·覆土下	前末	97	74	22	102.6		腹面		
865	63	390			頁岩	TP-26	-	覆底	6		前末	72	28	15	13.9				人骨共伴
866	63	390			黒曜石		G5	m2下	52	B	前末中前	18	14	5	1.5				全面摩耗
867	63	212 390	Rフレイク		黒曜石		H5	m2(3)	45	B	前末中初	(27)	12	5	(0.9)				Ⅸ章(7)№8
868	63	212 390			黒曜石		I6	m2下	3	B	中初	33	31	10	8.4				Ⅸ章(7)№12
869	63	390			頁岩	TH-20	-	床	11		前末中初	79	50	19	61.1		両面		
870	63	390			頁岩		F1	m2(2)	334	C'	中前半	73	45	9	15.8		両面		
871	63	212 390	剥片		黒曜石		H6	m2下	56	B·C	中前	39	16	6	4.0				青森県産黒曜石製、Ⅸ章(7)№10
872	64	390		1ア	頁岩	TH-4	M9	覆土	391	B·覆土下	前末中前	46	42	37	57.1				
873	64	390		1ア	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	21		前末	67	36	35	60.4				中央ピット
874	64	390		1ア	頁岩	TH-17	K5	覆土	334	A·B·覆土下	前末中初	45	38	37	57.4				
875	64	390		1ア	頁岩	TH-2	N10	覆土1	231	B·C	中前半	56	50	53	149.7				
876	64	390	石核	1ア	頁岩	TH-4	M9	覆土1	699	B	前末中前	84	61	58	268.6				
877	64	390		1ア	珪質砂岩	TH-4	L9	覆土1	632	B	前末中前	74	61	48	230.6				
878	65	390		1ア	頁岩	TH-4	M9	覆土1	1065	B	前末中前	98	97	89	789.5				
879	65	390		1ア	珪質岩	TH-4	L9	覆土1	606	B	前末中前	151	113	97	1664.0				
880	66	390		1ア	頁岩	TH-19	M10	覆土2	53		前末	94	70	61	446.2				
881	66	390		1ア	珪質砂岩	TH-5	L8	覆土1	794	B	中初	113	97	78	736.3				
882	66	390	剥片	1ア	頁岩		K8	m2上	62	B	前末中前	141	125	53	574.5				883に接合
883	67	390 391		1ア	頁岩		K8	m2上	89	B	前末中前	241	134	114	3050.0				882が接合
884	68	391		1イ	頁岩	TH-14	L3	覆土7	591		前末	88	65	35	133.5				
885	68	391		1イ	頁岩	TH-4	N9	-	1093	B·覆土下	前末中前	61	38	33	62.5				
886	68	391		1イ	頁岩	TH-2	-	覆土2	261		前末中初	54	46	30	75.6				
887	68	391		1イ	珪質砂岩	TH-4	M8	覆土2	553		前末	85	44	42	96.9				
888	68	391		1イ	頁岩	TFC-8	N8	TH-4覆土2	2		前末	158	91	66	769.4				
889	69	391		1イ	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	59		前末	125	88	76	637.8				中央ピット
890	69	212 391		1ウ	珪質凝灰岩	TH-4	N8	覆土1	580	B	前末中前	94	64	58	282.7				Ⅸ章(10)№70
891	69	391		1ウ	珪質砂岩	TH-5	K8	覆土1	1244	B	中初	124	99	85	863.8				
892	70	391		2ア	珪質岩	TH-4	M8	覆土1	523	B	前末中前	111	68	48	114.5				
893	70	391		2ア	頁岩		B11	m1a	183	D	後期前	67	44	25	49.7				
894	70	391		2ア	頁岩	TH-4	M8	覆土1	475	B	前末中前	69	36	25	45.2				
895	70	391		2ア	頁岩	TH-4	M9	覆土2	1077		前末	125	53	34	139.5				
896	70	391		2イ	珪質砂岩	TH-4	N8	覆土2	841		前末	59	53	20	62.9				
897	70	391		2イ	頁岩(多孔質)	TH-22HP1	H8	覆土	30		前末	86	47	20	34.6				中央ピット
898	70	391		2イ	頁岩	(TH-60)	B12	覆土	420	C·D	中·後期	84	49	25	79.6				
899	71	391		2イ	頁岩		B11	m1a	236	D	後期前	69	51	22	54.9				
900	71	391		2イ	頁岩	TH-4	N9	覆土2	898		前末	143	59	49	296.7				スクレイパーへ転用？
901	71	391		2イ	頁岩	TH-3	J6	覆土2	263		前末	68	43	31	58.6				
902	71	391		2イ	頁岩	TH-4	M8	覆土1	522	B	前末中前	114	89	39	244.5				
903	71	391		2イ	頁岩		I7	m2下	322	B	中初	90	32	16	50.5				全面摩耗の素材使用
904	71	391		2イ	頁岩	TH-4	M8	覆土1	1013	B	前末中前	106	51	43	156.5				
905	72	392		2イ	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	31		前末	42	29	15	17.8				中央ピット
906	72	392		2イ	珪質砂岩	TH-9	G6	覆土	182	C·覆土下	中前	51	44	25	49.3				
907	72	392		2イ	頁岩	TH-4	M8	覆土2	991		前末	68	57	33	114.0				
908	72	392		2イ	頁岩	TH-14	-	床	280		前末	113	52	23	134.1				
909	72	392	石核	2イ	頁岩		H9	m2上	55	C	中前半	129	75	37	224.8				
910	73	392		2イ	頁岩	TH-4	M8	覆土1	548	B	前末中前	69	65	44	149.5				
911	73	392		2イ	頁岩	TFC-31	I4	m2(5)	20	B	前末	103	80	43	318.7				
912	73	392		2イ	頁岩	TH-4	L9	覆土1	623	B	前末中前	89	73	38	162.4				スクレイパーへ転用？
913	73	392		2イ	頁岩	TH-22	I8	覆土下	10		前末中前	86	71	44	219.1				
914	74	392		2ウ	頁岩	TH-22HP1	H8	覆土	73		前末	55	53	35	92.4				中央ピット
915	74	392		2ウ	頁岩	TH-4	M8	覆土1	1308	B	前末中前	78	63	50	267.8				
916	74	392		2ウ	頁岩	TH-4	M8	覆土2	979		前末	100	95	59	318.9				
917	74	392		2ウ	頁岩		F9	m2下	102	C·Ⅲ上部	中·後期	110	74	43	322.1				
918	75	392		2ウ	チャート	TH-9	G6	覆土	304	C·覆土下	中前	112	90	47	537.6				
919	75	392		2ウ	頁岩	TH-4	M8	覆土2	977		前末	110	101	59	618.9				
920	75	392		2ウ	玉髄	TH-17	K5	覆土	284	A·B·覆土下	前末中初	137	109	58	801.6				
921	76	392		2ウ	頁岩	TH-5	L6	覆土2	754		前末	159	116	64	1031.0				
922	76	392		2ウ	頁岩	TH-4	M9	覆土2	1078		前末	150	141	67	1345.0				
923	77	392		2ウ	頁岩	TH-12	F6	覆土	114	B？·覆土下	前末	173	169	95	2540.0				
924	77	393		2ウ	玉髄	TH-17	L5	覆土	421	A·B·覆土下	前末中初	95	85	58	422.7				
925	78	393		2ウ	頁岩	TH-11	K4	覆土1	700	A	前末	217	153	84	3250.0				
926	79	393		3	頁岩		E11	m2下	58	D·Ⅲ上部	後期前	82	51	37	123.9				
927	79	393		3	頁岩	TH-5	L7	覆土2	715		前末	34	31	17	19.1				
928	79	393		3	頁岩		C0	m2(2)	132	B·C'	中前半	41	37	16	22.8				
929	79	393		4	頁岩		B11	m1a	237	D	後期前	58	54	44	176.6				
930	79	393		4	頁岩	TH-11	K4	覆土	669	P～A·覆土下	前後末	36	34	30	26.7				
931	79	393		4	頁岩	TH-3	J6	覆土2	209		前末	64	29	27	37.2				
932	79	393		4	頁岩		C0	m2(2)	151	B·C'	中前半	49	38	31	47.7				石錐転用？
933	79	393		5ア	頁岩	TH-3	J6	覆土2	225		前末	49	39	25	41.3				
934	79	212 393		3	黒曜石		不明	m2(4)	34	-	-	57	28	18	22.8			両面剥離稜線	Ⅸ章(7)№20
935	79	393		5イ	黒曜石	TH-14	M3	覆土	400	A·覆土下	前末	36	20	15	10.3				
936	80	393		5イ	頁岩	TH-4	M8	覆土2	976		前末	106	79	50	359.1				
937	80	393		5イ	チャート	TH-22HP1	H8	覆土	70		前末	167	120	93	2322.0				中央ピット
938	81	393		Ⅰ4cⅰ	泥岩	TH-11	K4	覆土1	4	A	前末	76	18	9	14.7			刃部	刃部摩耗明瞭、両面直交線条痕
939	81	393		Ⅱ14bⅲ	緑色泥岩(アオトラ)		E1	m2(4)	1316	B	中前	73	14	9	16.6				
940	81	393		Ⅲ4b	青色片岩		F1	m2下	579	B	中初	75	22	9	30.0				
941	81	393		Ⅳ24bⅲ·ⅳ	黒色片岩		M4	掘り上げ土	9	P	前末	70	23	12	28.8				刃部つぶれ・微細剥離
942	81	393		Ⅰ24aⅲ	緑色片岩		L5	m2(2)	9	A	前末	92	42	10	46.0		両面		
943	81	393		Ⅰ4aⅲ	緑色泥岩(アオトラ)	TH-13HP3	D11	覆土	2		中前半	63	48	14	69.2				刃部両面直交線条痕
944	81	393		Ⅰ24bⅱ	緑色泥岩(アオトラ)		H6	m2下	5	C	中前半	87	45	15	102.6				
945	81	393		Ⅰ24bⅲ	青色片岩	TP-18	K8	床	70		中前	85	47	14	93.2				人骨共伴
946	81	393		Ⅰ14aⅲ	緑色泥岩(アオトラ)		L5	m3	1	Ⅲ下部	前末中前	(59)	35	13	(55.8)		両面	刃部	刃部両面直交線条痕明瞭
947	81	393		Ⅰ24cⅲ	黒色片岩		C2	m2(2)	445	C	中前	81	29	10	36.7				
948	81	393		Ⅱ24bⅲ	青色片岩		F3	m2(4)	25	B	前末	85	20	12	36.0				
949	82	393	石斧	Ⅲ24bⅳ	緑色泥岩(アオトラ)		K5	m2	86	A	前末	88	38	21	106.5		両面		刃部再加工
950	82	393		Ⅲ24bⅲ	緑色泥岩(アオトラ)	(TH-60)	B12	覆土	428	C·D	中·後期	98	48	22	158.6		裏面		刃部両面直交線条痕
951	82	393		Ⅰ24aⅲ	緑色泥岩(アオトラ)	TP-15	K3	覆土5	2		前後末	92	43	21	141.9				刃縁に平坦面
952	82	393		Ⅰ24cⅲ	青色片岩	TH-9	G6	覆土	105	C·覆土下	中前	94	(48)	23	(158.0)		両面		
953	82	393		Ⅰ234c	緑色泥岩(アオトラ)		I9	m2下	3	C	中前	90	52	27	214.0				刃部平坦面に直交線条痕
954	82	394		Ⅱ4c	安山岩		J7	m2上	16	B·C	中前	112	45	21	176.2				着柄痕
955	82	394		-4bⅲ	緑色泥岩(アオトラ)		F6	m1a	45	Ⅲ上部	後期前	(49)	44	19	(69.6)				
956	83	394		Ⅰ234cⅰ	ドレライト	TH-30(旧)HP2	F8	-	2		中前	116	56	24	232.5				
957	83	394 213		Ⅰ4cⅲ	ドレライト	TH-30(旧)HP2	F8	-	1		中前	107	51	29	227.0				Ⅸ章(10)№72
958	83	394		Ⅲ24cⅲ	緑色泥岩(アオトラ)	(TH-60)	B12	覆土	427	C·D	中·後期	105	43	23	130.1		両面		

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（10）

掲載番号	挿図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	覆土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(磨石器)	備考
959	83	394	石斧	Ⅲ234cⅲ	砂岩		E2	m2(4)	1526	B	中前	111	44	29	237.7				
960	83	394		Ⅲ234bⅰ	緑色泥岩(アオトラ)	TH-61	B11	床面	185		後期前	110	40	23	174.4		両面		
961	83	394 213		Ⅳ34bⅰ	ドレライト	TH-22	I9	覆土	2	C・覆土下	前末中前	120	41	31	244.1				Ⅸ章(10)№71
962	84	394		Ⅰ24aⅲ	緑色泥岩(アオトラ)	(TH-60)	B12	覆土	425	C・D	中・後期	125	49	17	158.4			刃部	刃部両面直交線条痕
963	84	394		Ⅰ24aⅲ	緑色泥岩(アオトラ)	(TH-60)	B12	覆土	426	C・D	中・後期	131	46	16	161.6		両面		
964	84	394		Ⅲ124bⅰ	緑色泥岩(アオトラ)		D6	Ⅰ	10	-	-	(84)	45	21	(128.8)			刃部右半	左右からの擦り切り溝
965	84	394		Ⅰ24cⅰ	緑色泥岩(アオトラ)		M11	m1a	1		中中?	147	59	29	385.6				刃部両面直交線条痕、たたき石兼用
966	84	394		Ⅱ24bⅱ	ドレライト		D1	m2下	1439	A・B	前末	(97)	52	30	(228.3)				
967	84	394		Ⅲ4cⅱ	普通角閃石岩		D3	m2(2)	548	C	前末中前	(80)	51	26	(188.0)				
968	85	394		Ⅲ24cⅱ	緑色泥岩(アオトラ)	TP-8	-	覆土	1		後期前	(68)	52	26	(146.3)				刃部に平坦面(並行線条痕あり)、刃部両面直交線条痕
969	85	395 213		Ⅰ234cⅲ	ドレライト		H6	m2下	50	B・C	中前	165	60	31	435.0				Ⅸ章(10)№73
970	85	395		Ⅰ234cⅱ	砂岩	TH-31 TH-31	H9 H9	覆土 覆土	24 23	C・覆土下 C・覆土下	中前 中前	183	64	37	626.0				基部破片(336g) 刃部破片(288g) 刃部両面斜行線条痕
971	85	395		Ⅲ4civ	白色泥岩	(TH-63)	F2	覆土下	1081	B	中初	79	52	13	68.0				
972	85	395		Ⅲ4bⅲ	ロジン岩	TH-39	D7	覆土	102	C・覆土下	中前半	97	66	20	203.5				
973	86	395		Ⅵ2	緻密安山岩	TH-54	J2	覆土上	873	A・B	前末中前	123	51	27	210.8				未成品
974	86	395		Ⅵ234	安山岩		F6	m2下	382	C	中前半	116	46	32	245.3				未成品
975	86	395		Ⅵ1234	緑色泥岩(アオトラ)	TH-54	J3	覆土中	872	A・B・覆土下	前末	134	63	46	527.8				未成品
976	86	395		Ⅵ14	青色片岩		J8	m2下	5	住居覆土	前末	88	44	8	55.4		両面		未成品?
977	86	395		Ⅶ	緑色泥岩(アオトラ)	TH-7	C5	覆土中	282	D・Ⅲ上部・覆土下	後期前	75	74	21	133.2				
978	86	395		Ⅶ	緑色泥岩(アオトラ)		I3	m2(2)	11	B	中初	61	32	25	66.0				擦り切り残片を加工
979	87	395	たたき石	1	安山岩	TH-24HP1	-	覆土	7		前末	112	53	40	283.0				中央ピット
980	87	395		1	花崗岩	TH-24HP1	-	覆土	5		前末	107	60	47	483.0				中央ピット
981	87	395		1	チャート	TH-17	-	床	477		前末中中	104	62	46	401.0				中央ピット
982	87	395		1	石英岩	TH-17	-	床	478		前末中中	102	75	69	755.0				中央ピット
983	87	395		1	粘板岩	TH-4	-	床	1254		前末	142	86	52	954.0				
984	87	395		1	砂岩	TH-7 TH-4	D5 M9	覆土下 覆土	1334 1261	D・Ⅲ上部・覆土下 B・覆土下	後期前 前末中前	139	94	56	953.0				左破片(395g) 右破片(558g)
985	87	395		1	安山岩	TH-22	H8	覆土	499	C・覆土下	前末中前	114	81	63	813.0				
986	87	395 212		1	砂岩/泥岩	TH-24	J8	床面	367		前末	104	73	51	494.0				Ⅸ章(10)№81
987	87	395		1b	チャート		L7	Ⅰ	84	-	-	97	88	55	676.0				
988	88	395		1ⅰ	チャート	TH-22HP1	H8	覆土	55		前末	86	70	45	323.0				中央ピット
989	88	395 212		1ⅰ	砂岩	TH-18	K10	床直上	509		前末中初	84	82	51	430.0				
990	88	395		1	チャート	TH-25HP1	I8	覆土	45		中前	78	61	42	224.0				中央ピット
991	88	395		1b	チャート	TH-25HP1	I8	覆土	25		中前	69	63	48	286.0				中央ピット
992	88	395		1	チャート	TH-23HP1	I10	-	15		前末中初	95	61	61	463.0				TH-23(旧)中央ピット
993	88	395		1	安山岩	TH-24HP1	-	覆土	8		前末	97	86	37	474.0				中央ピット
994	88	395		1	安山岩	TH-25HP1	I8	覆土	44		中前	112	93	39	560.0				中央ピット
995	88	396		1	砂岩	TH-22HP1	H8	覆土	57		前末	119	84	41	598.0				中央ピット
996	88	396		1	安山岩	TH-2	-	覆土2	301		前末中初	178	83	47	1125.0				
997	88	396		1ⅰ	花崗岩	TH-34	C5	覆土	154	C・覆土下	中前半	112	104	93	1435.0				
998	88	396		2	安山岩	TH-5	L7	覆土1	1238	B	中初	112	78	45	414.0				
999	88	396		2ⅰ	安山岩		B11	m1a(2)	67	D	後期前	115	75	36	440.0				
1000	88	396		2ⅰ	安山岩	SP-234	D10	覆土	3		中・後期	197	138	58	1755.0				
1001	88	396		2	安山岩	TP-114	F11	覆土	9		前末中前	130	114	111	1784.0				
1002	89	396		2	玄武岩	TH-22	H7	覆土	541	C・覆土下	前末中前	97	62	40	307.0				すり石6類未成品?
1003	89	396		2	安山岩	TP-99	D10	覆土	11		中初	97	92	47	517.0				北海道式石冠未成品?
1004	89	396		3	安山岩	TH-25HP1	I8	覆土	28		中前	128	45	32	246.0				中央ピット
1005	89	396		3	安山岩	TH-4HP1	-	覆土	42		前末	157	55	42	494.0				中央ピット
1006	89	396		3	ドレライト?	TH-4	M8	覆土2	1317		前末	137	58	49	475.0				
1007	89	396		3	凝灰岩	(TH-63)	F1	覆土最下	1128	B	前末中初	168	43	33	174.0				
1008	90	396		3	安山岩	(TH-60)	C12	床面	419	C	中前半	156	89	45	870.0				
1009	90	396		3	安山岩	TH-5	L7	覆土2	1503		前末	151	86	45	797.0				
1010	90	396		3	白色泥岩	TH-14	M3	覆土	1122	A・覆土下	前末	(132)	71	31	(290.0)				側辺に擦痕あり
1011	90	396		3	凝灰岩		C1	m2(4)	52	B	前末中前	(91)	67	42	(259.0)				溝・擦痕あり
1012	90	396		3	凝灰岩	TH-3	J6	床	93		中前	88	87	37	266.0				
1013	90	396		3	凝灰岩	TH-3	J6	床	95		中前	99	87	38	289.0				
1014	90	396		4	安山岩		B11	m1a(2)	49	D	後期前	101	71	36	349.0				
1015	90	396		7	安山岩	TH-22HP1	H8	覆土	67		前末	127	89	54	649.0				中央ピット
1016	90	396		1b	粘板岩	TH-4	M8	覆土	1328	B・覆土下	前末中前	101	86	59	706.0				
1017	90	396		7	安山岩	配石列2	E5	m2下	116			130	79	54	855.0				
1018	91	397 213		9	チャート	TH-23HP1	I10	-	17		前末中初	99	84	58	638.0				TH-23(旧)中央ピット
1019	91	397		9	チャート	TH-23HP1	I10	-	18		前末中初	101	88	52	578.0				TH-23(旧)中央ピット
1020	91	397		9	チャート	TH-22HP1	H8	覆土	68		前末	93	86	68	627.0				中央ピット
1021	91	397		9-9ⅰ	石英岩	TH-15	O8	覆土	218	B・覆土下	前末	75	74	45	317.0				
1022	91	397		9	チャート	TH-22HP1	H8	覆土	69		前末	79	65	55	414.0				中央ピット
1023	91	397		9	ホルンフェルス	TH-17	-	床	513		前末中中	77	65	54	320.0				中央ピット
1024	91	397		9ⅰ	砂岩	TH-18	K9	覆土床直上	510		前末中初	102	77	39	445.0				
1025	91	397		9ⅰ	安山岩		G4	m2(4)	553	B	前末中初	71	69	27	204.0				やや滑らかな使用面あり
1026	91	397		5	チャート	TH-25HP1	I8	覆土	26		中前	79	56	50	244.0				中央ピット
1027	91	397		5	石英岩		D2	m2下	118	A・B	前末	77	68	67	513.0				
1028	91	397		5	チャート	TH-14	-	床	284		前末	38	33	32	55.0				
1029	92	397		5	チャート	TH-12HP15	E6	覆土	1		前末	109	73	58	726.0				
1030	92	397		5ⅰ	チャート	TH-22HP1	H8	覆土	64		前末	87	68	56	378.0				中央ピット
1031	92	397		8	安山岩	TH-4	-	床	1252		前末	161	110	48	1220.0				
1032	92	397		12	安山岩	TH-30	H8	覆土	296	C・覆土下	中前半	118	70	32	378.0				
1033	92	397		12	安山岩	TH-22HP1	H8	覆土	60		前末	143	96	48	844.0				中央ピット
1034	92	397		12	チャート	TH-28HP1	G9	覆土	18		中前	105	71	44	444.0				中央ピット
1035	92	397		12	粘板岩		D3	m3上	472	A	前末	117	51	51	436.0				細く短いたたき痕
1036	92	397		12	凝灰岩		B11	m1a	10	D	後期前	191	75	73	919.0				
1037	93	397		13	安山岩	TP-18	K8	床	69		中前	208	93	55	1214.0				人骨共伴
1038	93	397		13	安山岩	TH-20HP6	O4	覆土	3		前末中初	188	94	61	1200.0				
1039	93	397		1ⅰ3	安山岩		C2	m2(2)	52	C	中前	139	90	43	700.0				
1040	93	398		17	砂岩	TH-24HP1	-	覆土	6		前末	136	79	64	944.0				中央ピット
1041	93	398		17	チャート	TH-17	-	床	479		前末中中	93	75	71	616.0				中央ピット
1042	93	398		17	チャート	TH-25HP1	I9	覆土	19		中前	92	69	62	510.0				中央ピット
1043	93	398		17	チャート	TH-17 TH-17	- -	床 床	476 512		前末中中 前末中中	99	87	75	928.0				大破片(805g) 小破片(123g) 中央ピット
1044	94	398 213		17	チャート	TH-23HP1	I10	-	16		前末中初	100	74	63	479.0				TH-23(旧)中央ピット
1045	94	398		17	チャート	TH-23HP1	I10	-	20		前末中初	87	67	50	417.0				TH-23(旧)中央ピット
1046	94	398		17	チャート	TH-24HP1	-	覆土	9		前末	88	67	36	307.0				中央ピット
1047	94	398		17	チャート	TH-24	J8	床面	366		前末	79	60	42	265.0				
1048	94	398		17	チャート	TH-24	J8	床面	365		前末	89	80	34	333.0				
1049	94	398 213		17	粘板岩	TP-72	D6	覆土	62		中初	122	75	48	655.0				
1050	94	398		17	安山岩	TH-21HP1	-	覆土	45		前末	120	91	42	618.0				中央ピット
1051	94	398 212		23	白色泥岩	TH-19HP29	M11	覆土	16		前末	93	72	34	224.0				中央ピット
1052	94	398		23	安山岩	TH-18	-	覆土2	413	C・覆土下	前末中前	82	61	31	213.0				
1053	94	398		23	凝灰岩	TH-2	-	覆土2	386		前末中初	84	61	33	160.0				
1054	94	212 398		23	凝灰岩	(TH-63)	H2	覆土下	1073	B	中初	93	90	34	270.0				
1055	94	398		27	粘板岩	TH-47HP12	H6	覆土	8		中前	126	71	37	473.0				
1056	94	398		34	安山岩		D2	m2(4)	111	B	中前	100	76	41	417.0				

表Ⅵ－7　掲載石器・石製品等一覧（11）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)/すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)/すり面(礫石器)	備考
1057	95	398	たたき石	24	安山岩	TH-5	L7	覆土1	1255	B	中初	122	54	38	355.0				
1058	95	398		37	頁岩(層理)		B11	m1a	88	D	後期前	125	75	18	167.0				
1059	95	398		39	チャート	TH-23HP1	I10	-	19		前末中初	98	88	48	594.0				TH-23(旧)中央ピット
1060	95	398		47	石英岩	TH-2	-	覆土2	338		前末中初	90	72	55	463.0				
1061	95	398		47	粘板岩		G6	m2(2)	424	C	中前半	117	66	36	392.0				細く短いたたき痕
1062	95	398		137	安山岩	TH-25HP1	-	覆土	37		中前	111	73	44	438.0				中央ピット
1063	95	398		1 i 23	安山岩	TH-22HP1	H8	覆土	61		前末	109	77	39	423.0				中央ピット
1064	95	398		1 i 34	粘板岩	TH-47HP12	H6	覆土	9		中前	102	66	35	316.0				細く短いたたき痕
1065	95	398		124	安山岩	TH-23	-	床面	184		前末中初	80	58	29	180.0				
1066	95	398		147	安山岩	TH-28HP1	H9	覆土	11		中前	105	62	53	418.0				中央ピット
1067	95	398		234	安山岩	TH-5	L7	覆土2	1357		前末	148	112	41	912.0				北海道式石冠未成品？
1068	96	398		123	安山岩	配石列2	C4	m2(2)	200	B·C	中前半	247	90	76	2008.0				被熱
1069	96	399		1234	泥岩		K11	m1a	55	Ⅲ上部	後期前	114	81	40	546.0				細く短いたたき痕
1070	96	399		1237	粘板岩	TH-25HP1	I8	覆土	27		中前	117	52	31	300.0				中央ピット、細く短いたたき痕
1071	96	399		1247	安山岩		D2	m2(4)	105	B	中前	132	84	41	631.5				
1072	96	399		1 i 237	緑色泥岩(アオトラ)	TH-32	E6	覆土	87	C·覆土下	前末中初	78	49	32	209.0				
1073	96	399 213		123	ドレライト		I6	m2上	243	B·C	中前	111	50	38	411.0				石斧転用、試掘(10)№82
1074	96	399		6	珪質岩	TH-4HP1	-	覆土	30		前末	82	69	36	220.0				中央ピット、被熱
1075	96	399		6	チャート	TH-29	G9	覆土	100	C·覆土下	中前半	64	62	25	126.0				たたき石片転用
1076	97	399		6	珪質砂岩	TH-4HP1	-	覆土	11		前末	83	74	32	161.5				中央ピット、両面調整石器転用
1077	97	399		6	珪質砂岩	TH-4HP1	-	覆土	4		前末	104	51	26	136.0				中央ピット、両面調整石器転用
1078	97	212 399		6	珪質砂岩	TH-4HP1	-	覆土	12		前末	101	77	35	220.5				中央ピット、両面調整石器転用、試掘(10)№80
1079	97	399		6	珪質砂岩	TH-4HP1	-	覆土	36		前末	92	66	33	180.0				中央ピット、両面調整石器転用
1080	97	399		6	珪質砂岩	TH-4	N9	-	1091	B·覆土下	前末中前	86	78	22	189.0				石核転用
1081	97	399		6	珪質砂岩	TH-4HP1	-	覆土	18		前末	82	61	30	179.5				中央ピット、両面調整石器転用
1082	97	399		6	珪質砂岩	TH-4HP1	-	覆土	44		前末	99	70	35	227.0				中央ピット、両面調整石器転用
1083	97	399		6	頁岩	TH-4	L9	覆土1	1386	B	前末中前	62	47	40	144.0				石核転用
1084	98	399	すり石	1a i	安山岩		C12	m1a	10005	D·Ⅲ上部	後期前	118	90	61	822.0			Ⅰ凸	擦痕あり
1085	98	399		1a i	安山岩		B12	m1a(2)	12	C·Ⅲ上部	中·後期	94	90	73	861.0			Ⅰ凸	
1086	98	399		1a i	安山岩	墾壕跡	D7	覆土	493	-	-	116	77	70	806.0			Ⅰ凸	擦痕あり、たたき石複合
1087	98	399 438		1a i	安山岩		C13	m1a	10002	C·Ⅲ上部	中前	147	108	56	1054.0			Ⅰ凸	たたき石複合、深いたたき痕
1088	98	399		1a i	安山岩		B11	m1a	11	D	後期前	129	73	69	837.0			ⅠⅣ	たたき石複合
1089	98	399		1a i・ii	安山岩	TH-25HP1	I8	覆土	52		中前	127	95	65	1059.0			Ⅰ凸Ⅲ	たたき石複合
1090	98	399		1a ii	安山岩		F1	攪乱	89	-	-	65	53	43	192.0			Ⅰ	
1091	98	399		1a ii	安山岩	(TH-63)	F2	覆土下	1065	B	中初	95	77	43	479.0			Ⅰ	
1092	98	399		1a ii	安山岩		B11	m1a	35	D	後期前	117	60	40	380.0			Ⅰ凸	たたき石複合
1093	98	399		1a ii・1b iii	安山岩		D2	m2(4)	51	B	中前	158	83	44	786.0			Ⅰ凸凹Ⅲ	擦痕あり
1094	99	399		1b ii	安山岩	TH-2	-	覆土2	325		前末中初	93	63	46	313.0			ⅡⅢ	
1095	99	399		1b ii	安山岩		C12	m2	10064	C·Ⅲ上部	中前	109	70	38	380.0			Ⅳ	
1096	99	399		1b ii	安山岩		I8	m2下	363	C	中前	129	84	34	524.0			ⅠⅣ	
1097	99	400		3	安山岩	TH-25HP1	I8	覆土	29		中前	85	67	27	233.0			Ⅲ	中央ピット
1098	99	400		3	安山岩	TH-4	M8	覆土1	1359	B	前末中前	100	68	23	221.0			ⅡⅢ	
1099	99	400		3	砂岩	TH-18	K10	床直上	511		前末中初	95	62	19	174.0			Ⅱ	たたき石1·4類転用
1100	99	400		6a	玄武岩	TH-2	-	覆土2	400		前末中初	127	48	36	311.0			Ⅱ	
1101	99	400		6b	玄武岩		G5	m2(4)	43	B	中初	166	80	63	1098.0			Ⅱ	
1102	99	400		6c	砂岩	TH-47HP12	H6	覆土	7		中前	(84)	70	48	(338.0)			Ⅱ	
1103	99	400		7a i iii	安山岩	TH-18	L10	覆土2	455	C·覆土下	前末中前	93	76	36	362.0			ⅣⅢ	たたき石3転用
1104	99	400		7b i	玄武岩	TH-2	O11	覆土1	296	B·C	中前半	71	68	30	234.0			Ⅱ	すり石3·たたき石3転用
1105	99	400		7b ii	安山岩		E4	m2下	634	A·B	前末中初	66	71	36	190.0			Ⅱ	
1106	99	400		7c i	安山岩	(TH-63)	F2	覆土中	1058	B	中初	42	59	36	126.0			Ⅱ	
1107	99	400		4	砂岩	TH-4	N8	覆土1	1207	B	前末中前	116	87	59	794.0			Ⅱ	
1108	100	400		5	安山岩		E3	m2(4)	2	B	前末	166	112	52	1520.0			Ⅰ	砥石転用
1109	100	400 440		5	安山岩	TH-4 TH-17	M8 K6	覆土2 覆土	1316 445	A·B·覆土下	前末 前末中初	187	102	45	1338.0			Ⅱ	左破片(763g) 右破片(555g) 割れ面にすり面あり
1110	100	400		5	砂岩	TH-4HP1	-	覆土	38		前末	(77)	71	41	(359.0)			ⅡⅢ	中央ピット
1111	100	400		5	安山岩	TH-7	-	覆土下	1278	D·Ⅲ上部·覆土下	後期前	157	88	41	769.0			Ⅲ	
1112	100	400 213		5	安山岩	(TH-63)	G3	覆土中	3650	B	中初	149	98	48	923.3			Ⅲ	
1113	100	400		5	安山岩	TH-4	-	床	1253		前末	182	116	54	1837.0			Ⅲ	
1114	100	400		5	安山岩	TH-4HP1	-	覆土	29		前末	150	90	39	658.0			-	中央ピット
1115	101	400		5	安山岩	TH-4HP1	-	覆土	25		前末	150	103	44	881.0			ⅡⅢ	中央ピット、たたき石2複合
1116	101	400		5	安山岩	TH-3	J6	覆土2	339		前末	146	98	47	846.0			ⅠⅢ	
1117	101	400		5	玄武岩	TH-24	J8	床面	366		前末	156	99	44	1035.0			Ⅱ	たたき石2複合
1118	101	400		5	花崗岩	TH-32HP23	D6	覆土	15		前末中初	145	85	43	856.0			Ⅱ	中央ピット
1119	101	400		5	安山岩	TH-2	O10	覆土1	123	B·C	中前半	146	84	39	616.0			Ⅳ	
1120	101	400 213		5	斑糲岩	TH-14	-	床	288		前末	166	114	37	940.0			Ⅳ	
1121	101	400		5	安山岩	(TH-63)	I3	覆土上	1026	B	中初	129	68	35	471.0			Ⅱ	
1122	101	400		5	玄武岩		E6	m2上	530	C	中前半	156	83	32	615.0			Ⅳ	
1123	102	401		3b	安山岩	TP-89	C7	覆土	31		前末中前	122	70	48	621.0			Ⅱ	
1124	102	401		3b	安山岩	TH-30	G8	覆土	284	C·覆土下	中前半	140	59	42	458.0			Ⅲ	たたき石1複合
1125	102	401		3b	安山岩	TH-5	K8	覆土	1370	B·覆土下	前末中初	110	81	61	734.0			Ⅲ	
1126	102	401		8	安山岩		D0	m2(2)	48	B·C'	中前	90	55	52	344.0			ⅠⅡ	
1127	102	401		8	安山岩		E4	m2上	557	B	中前	98	68	64	509.0			Ⅱ	擦痕あり
1128	102	401		8	砂岩·石英斑互層		H4	m2(4)	881	B	前末	84	73	54	434.0			Ⅱ	
1129	102	401		8	安山岩		G6	m2下	577	C	中前	133	86	70	925.0			Ⅲ	
1130	102	401		8	安山岩	(TH-63)	H3	覆土下	1022	B	中初	63	62	61	316.0			Ⅱ	
1131	102	401		8	玄武岩		D2	m2(4)	110	B	中前	76	65	44	278.0			Ⅱ	
1132	103	401 213	扁平打製石器	ⅠA	安山岩		H8	m2下	7	C	中前半	145	78	23	321.7			Ⅲ	
1133	103	401		ⅠA	安山岩	TH-4HP1 TH-4HP1	- -	覆土 覆土	39 31		前末 前末	147	83	29	403.0			Ⅲ	左破片(88g) 右破片(315g) 中央ピット
1134	103	401		ⅠA	安山岩	TH-4HP1 TH-4HP1	- -	覆土 覆土	41 40		前末 前末	137	70	25	256.0			Ⅲ	左破片(203g) 右破片(53g) 中央ピット
1135	103	401		ⅠA	玄武岩	TH-11	J5	覆土1b	315	P～A	前後	158	74	29	336.0			Ⅱ～Ⅲ	
1136	103	401		ⅠA	安山岩	TH-4HP1 TH-4HP1	- -	覆土 覆土	33 34		前末 前末	154	81	15	255.0			Ⅲ	左破片(67g) 右破片(188g) 中央ピット
1137	103	401		ⅠA	粘板岩		E1	m2(4)	131	B	中前	160	57	22	223.5			Ⅲ	
1138	103	401		ⅠA	不明		D2	m2下	890	A·B	前末	169	73	29	308.0			Ⅲ	風化著しく(石材不明 変質凝灰岩？)
1139	103	401 440		ⅠA	緑色岩？		F2 K6	m2(4) m2(4～6)	286 183	B·C' A·B	中前 前末	178	85	23	451.0			Ⅲ	左破片(236g) 右破片(215g) 割れ面にすり面あり
1140	103	401		ⅠA	安山岩	TH-54	J2	床面	836		前末	(108)	99	16	(207.4)			Ⅲ	被熱
1141	104	401		ⅠA	安山岩		F7	m2下	44	C	中中	198	93	21	513.0			ⅡⅢ	
1142	104	401		ⅠB	安山岩	TH-5	L7	覆土2	1312		前末	161	75	24	305.0			Ⅲ	
1143	104	402		ⅠC	玄武岩	TH-17	K5	覆土1	125	A·B	前末中初	130	71	19	215.0			Ⅲ	
1144	104	402		ⅠC	安山岩	TH-4HP1	-	覆土	45		前末	(124)	74	30	(352.0)			Ⅲ	中央ピット
1145	104	402		ⅠC	安山岩	(TH-58)	F1	覆土下	855	B·C'	中前	159	97	32	660.5			Ⅲ	
1146	104	402		ⅠC	安山岩	(TH-58)	G2	覆土中	981	B·C'	中前	171	94	23	487.0			Ⅲ	
1147	104	402		ⅠC	斑糲岩	TH-11	J5	覆土	872	P～A·覆土下	前後末	154	88	35	780.0			Ⅲ	
1148	104	402		Ⅶ(ⅠA形)	不明	(TH-58)	G2	覆土下	730	B·C'	中前	133	102	39	521.0			-	細粒深成岩？
1149	104	402		ⅠD	安山岩	(TH-58)	F1	覆土下	753	B·C'	中前	127	80	16	243.0			Ⅲ～Ⅳ	
1150	104	402		ⅠD	安山岩		E1	m2(4)	74	B	中前	130	88	28	408.0			ⅠⅡ～Ⅲ	
1151	104	402		ⅠD	安山岩	TH-4HP1	-	覆土	37		前末	(82)	80	25	(230.0)			Ⅲ	中央ピット、被熱
1152	105	402		ⅠD	粘板岩		E1	m2(2)	1370	B·C'	中前半	152	82	23	295.0			Ⅲ	
1153	105	402 440		ⅠD	安山岩	TH-11	-	覆土	298	P～A·覆土下	前後末	141	65	22	217.0			Ⅲ	割れ面にすり面あり
1154	105	402 440		ⅠD	玄武岩	TH-4 TH-4	N8 M8	覆土1 覆土2	367 386	B	前末中前 前末	203	110	36	848.0			ⅢⅡ	左破片(426g) 右破片(422g) 割れ面にすり面あり

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（12）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	覆土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(礫石器)	備考
1155	105	402	扁平打製石器	Ⅱ2	玄武岩	TH-11	K4	覆土1	1033	A	前末	135	76	29	480.0			Ⅲ	
1156	105	402		Ⅱ2	安山岩		G7	m2	438	C	中前半	139	75	24	330.0			Ⅲ	
1157	105	402		Ⅱ2	安山岩		F5	m2上	450	C	中前	146	101	21	250.0			Ⅲ	
1158	105	402		Ⅱ1	玄武岩	(TH-63)	G3	覆土下	3651	B	中初	158	92	28	584.0			Ⅲ	
1159	105	402		Ⅱ2	安山岩	TH-5	L7	覆土1	1495	B	中初	152	103	23	420.0			Ⅲ	
1160	105	402		Ⅱ1	安山岩	TH-2	O10	覆土1	310	B·C	中前半	176	108	24	610.0			Ⅳ	
1161	105	402		Ⅱ1	玄武岩	TH-4	-	床	1255		前末	164	82	19	269.0			Ⅳ	折損後再利用
1162	106	402		Ⅱ1	玄武岩	TH-11	K4	覆土1	307	A	前末	137	85	13	193.0			Ⅲ	
1163	106	402		Ⅱ2	ホルンフェルス？	TH-5 TH-4	L8 -	覆土1 床下面	1384 1154	B	中初 前末	156	79	21	308.0			ⅢⅣ	左破片(91g) 右破片(217g)
1164	106	402		Ⅱ1	玄武岩		D1	m2下	222	A·B	前末	154	112	32	578.5			Ⅱ～Ⅲ	
1165	106	402		Ⅱ1	玄武岩		E4	m2下	674	A·B	前末中初	135	100	14	232.0			-	
1166	106	402		Ⅱ1	砂岩？	TH-7	-	床	1183		後期前	174	117	36	848.0			Ⅳ	
1167	106	403		Ⅱ1 Ⅳ	安山岩		G6 G6	m1a m2(2)	511 550	C·Ⅲ上部 C	中·後期 中前半	146	71	16	(151.0)			ⅢⅣ Ⅲ	左破片(68g) 右破片(83g)、折損後再利用
1168	106	403 213		Ⅱ2	安山岩	TH-4HP1	-	覆土	32		前末	112	44	13	86.0			Ⅲ	中央ピット
1169	106	403 440		Ⅱ2	安山岩		G6 G6	m2下 m2下	503 479	C C	中前 中前	198	77	32	600.0			ⅣⅢ	左破片(290g) 右破片(310g) 割れ面にすり面あり
1170	106	403		Ⅱ1	デイサイト		E1	m2(4)	17	B	中前	135	92	35	435.0			Ⅲ	
1171	106	403		Ⅱ2	玄武岩	(TH-58)	G1	覆土中	725	B·C'	中前	133	95	32	639.0			Ⅲ	
1172	107	403		Ⅱ2	ドレライト	TH-5	K8	覆土2	1464		前末	150	72	40	600.0			Ⅲ	
1173	107	403		Ⅱ2	安山岩		E3	m2	17	B	前末	165	78	26	438.0			ⅡⅣ	
1174	107	403		Ⅱ2	玄武岩	TH-11	J5	覆土	312	P～A·覆土下	前後末	141	67	24	371.0			Ⅲ	
1175	107	403		Ⅱ2	玄武岩	(TH-58)	F1	覆土上	852	B·C'	中前	149	80	21	212.5			Ⅲ	
1176	107	403		Ⅱ1	粘板岩		G8	m2下	542	C	中前	120	71	29	287.0			Ⅲ	
1177	107	403		Ⅱ1	頁岩(層理)		G7	m2下	109	C	中前半	137	78	29	277.3			ⅡⅢⅣ	
1178	107	403		Ⅱ2	白色泥岩		E1	m2下	50	B	前末中初	142	80	34	324.0			Ⅲ	
1179	107	403		Ⅲ	安山岩	TP-67	F7	覆土	3		前末	105	61	17	161.0			Ⅲ	
1180	107	403		Ⅳ	玄武岩	(TH-58)	G1	覆土中	724	B·C'	中前	151	95	20	357.5			Ⅳ	
1181	107	403		Ⅳ	玄武岩		D1	m2(4)	1500	B	中初	172	69	17	334.0			Ⅲ	
1182	108	403		Ⅴ	玄武岩	(TH-58)	-	覆土中	798	B·C'	中前	166	123	17	307.5			-	
1183	108	403		Ⅴ	玄武岩		G7	m2下	365	C	中前半	137	100	33	610.0			ⅢⅡ	
1184	108	403		Ⅴ	安山岩		E1	m2(4)	189	B	中前	127	96	17	197.5			-	
1185	108	403		Ⅴ	安山岩	TH-23HP1	I10	-	21		前末中初	(129)	69	16	(205.0)			Ⅲ	TH23(旧)中央ピット
1186	108	403		Ⅴ	安山岩	TH-17	L5	覆土	469	A·B·覆土下	前末中初	136	56	23	230.0			ⅡⅢ	
1187	108	403		Ⅴ	玄武岩		E2	m2(4)	316	B	中前	165	66	41	565.0			ⅢⅢⅡ	たたき石2複合
1188	108	403		Ⅴ	安山岩	TH-5	L7	覆土2	1415		前末	151	94	33	652.0			-	
1189	108	403		Ⅴ	白色泥岩		H3	撹乱	10003	-	-	77	64	26	111.5			Ⅲ	
1190	108	403		Ⅴ	白色泥岩	(TH-58)	F1	覆土上	851	B·C'	中前	93	54	24	66.0			Ⅲ	
1191	108	404		Ⅴ	白色泥岩		D1	m2下	49	A·B	前末	132	76	29	202.0			-	
1192	108	404		Ⅶ	玄武岩		E4	m2下	626	A·B	前末中初	91	75	32	267.0			ⅢⅡ	すり石3'複合
1193	108	404		Ⅶ	玄武岩	(TH-58)	F1	覆土下	864	B·C'	中前	76	64	28	205.5			ⅡⅡ	すり石3'複合
1194	109	404		Ⅶ	砂岩		G5	m2下	20	B	前末中前	145	47	20	214.0			ⅢⅢ	上下辺使用
1195	109	404		Ⅶ	安山岩	TH-18	L9	覆土1	404	C·覆土下	前末中前	114	100	33	404.0			-	北海道式石冠片転用
1196	109	404 213		Ⅵ	玄武岩	TH-18	L9	床直上	74		前末中初	161	86	12	273.0			-	
1197	110	404 213	北海道式石冠	1a	閃緑岩(緑色)	TH-15	-	覆土2	66		前末	148	114	67	1571.0		AC	ⅠⅠ＋敲	
1198	110	404		1a	ドレライト？		G3	m2下	320	A·B	前末中初	120	88	60	865.0		C	ⅡⅠ	
1199	110	404		1a	ドレライト		H6	m2	46	B·C	中前半	143	92	53	993.0		A	Ⅰ	
1200	110	404		1a	安山岩	(TH-63)	-	覆土下	3912	B	中初	138	99	55	876.0		B	Ⅰ＋敲ⅢⅤ	
1201	110	404		1a	ひん岩		I5	m2(2)	42	B·C	中前	143	99	62	964.0		CE	ⅢⅡ	
1202	110	404		1a	ひん岩		H3	m2(2)	31	B	中初	108	85	57	656.0		C	ⅣⅢ	
1203	110	404		1a	安山岩		G6	m2(2)	79	C	中前半	125	80	69	947.0		B	Ⅰ＋敲	
1204	111	404		2d4a i イ	片麻岩		G5	m2下	22	B	前末中前	121	89	61	875.0		BC	ⅠⅠ＋敲	1a形
1205	111	404		1b i イ	片麻岩		E3	m2	21	B	前末	119	99	66	1171.0		AB	ⅡⅠ	
1206	111	404		1b i ロ	安山岩	(TH-63)	H3	覆土中	3917	B	中初	109	99	59	940.0		A	Ⅰ＋敲	
1207	111	404		1b i ロ	ひん岩		H6	m2(6)下	662	B·Ⅲ下部	前末中初	106	85	55	707.0		B	Ⅱ＋敲	
1208	111	404		1b i ロ	安山岩		G9	m2上	2	C	中前半	92	83	65	623.0		B	Ⅰ＋敲	
1209	111	404		1b i －	安山岩		I8	m2上	71	C	中前半	108	87	52	686.0		B	ⅢⅠ	溝追加加工
1210	111	405 213		1c ii イ	ひん岩		F5	m2上	329	C	中前	130	80	60	780.0		AC	ⅡⅡ＋敲	
1211	111	405		1c ii イ	閃緑岩(緑色)		G5	m2下	508	B	前末中前	87	90	60	712.0		B	Ⅰ＋敲少	
1212	112	405		1c ii イ	ひん岩		F5	m2下	81	C	中前	120	94	69	984.0		B	Ⅱ	
1213	112	405		1c ii ロ	安山岩		G8	m2下	464	C	中前	131	82	66	930.0		A	Ⅰ＋敲	
1214	112	405		1c ii ロ	ひん岩		G5	m2上	414	C	中前半	127	78	50	574.0		BC	ⅢⅡ	
1215	112	405		1d i －	閃緑岩(緑色)	TH-18	K10	床直上	78		前末中初	141	74	56	957.0		AB	Ⅰ＋敲多	
1216	112	405		2c4a ii イ	安山岩		E5	m2上	448	C	中前半	100	75	81	770.0		A	Ⅰ＋敲	
1217	112	405		2c-ロ	安山岩	TH-5	L6	覆土2	418		前末	106	110	78	973.0		A	Ⅰ＋敲	
1218	113	405		2e4c i ロ	安山岩	(TH-58)	F1	覆土下	974	B·C'	中前	126	89	50	824.0		A	Ⅰ＋敲	被熱
1219	113	405		2ef i ロ	安山岩		E4	m2上	710	B	中前	110	95	67	823.0		A	Ⅰ＋敲	
1220	113	405		2ef4c i ロ	片麻岩		E5 H6	m2上 m2下	84 63	C B·C	中前半 中前	128	71	56	929.0		A	Ⅰ	手前破片(555g) 奥破片(374g)
1221	113	405		4b i ロ	安山岩		G6	m2(2)	78	C	中前半	99	75	68	549.0		A	Ⅰ＋敲	
1222	113	405 213		2b4c i ロ	片麻岩		E4	m2上	39	B	中前	129	84	59	863.0		A	Ⅰ＋敲少し	
1223	113	405		2b4a i ロ	閃緑岩(緑色)		I5	m2(2)	39	B·C	中前	119	79	56	725.0		CD	Ⅰ	
1224	113	405		2b ii ロ	安山岩		I6	m2上	46	B·C	中前	82	66	53	393.0		A	Ⅱ＋敲	
1225	113	405		1a	片麻岩	TH-44	F3	覆土	228	B·C·覆土下	中前	125	97	70	1155.0		A	Ⅰ＋敲	
1226	114	405		3 i ロ	安山岩		F6	m2	511	C	中前半	104	76	61	570.0		B	ⅡⅠ	
1227	114	405		3 i ロ	安山岩		I6	m2上	40	B·C	中前	140	106	47	882.0		A	ⅡⅢ	
1228	114	405		3 ii ロ	安山岩		F5	m1a	459	Ⅲ上部	後期前	100	98	65	846.0		B	Ⅰ＋敲	
1229	114	405		3 ii ロ	ひん岩	TH-44	F3	覆土	308	B·C·覆土下	中前	83	70	43	360.0			Ⅲ	
1230	114	405		9	安山岩	TH-22HP1	H8	覆土	35		前末	104	84	58	580.5		A·CD	ⅢⅣ, Ⅱ＋敲	中央ピット
1231	114	405		9	安山岩	(TH-57)	H2	覆土上	1190	B·C'	中前半	106	72	57	660.0		B	Ⅱ＋敲少	
1232	114	405		6	安山岩	(TH-63)	F2	覆土最下	3916	B	前末中初	78	95	51	457.0		A	Ⅱ＋敲少	
1233	114	405		6	安山岩	(TH-57)	H2	覆土	1187	B·C'	中初	93	81	68	539.0		A	Ⅰ＋敲	
1234	115	404		6	片麻岩	TH-25HP1	I8	覆土	30		中前	110	77	67	829.0		A	Ⅰ＋敲多	中央ピット
1235	115	404		6	ひん岩	TH-5	L7	覆土1	413	B	中初	105	86	42	370.0		A	ⅢⅡ	
1236	115	404		5	安山岩	TH-39	E7	覆土	48	C·覆土下	中前半	96	75	44	330.0			-	
1237	115	404		7	不明	(TH-58)	G1	覆土	775	B·C'	中前	74	57	53	251.0			-	
1238	115	406	石錘	Aa極小	砂岩		C1	m2(4)	54	B	前末中前	75	65	22	99.5				
1239	115	406		Aa小	安山岩	TH-35	F7	覆土	78	C·覆土下	中前半	116	81	29	384.0				
1240	115	406		Ab小	粘板岩		J6	m1	676	Ⅲ上部	後期前	105	64	43	406.0				
1241	115	406		Ab小	白色泥岩(有孔棲)	TH-30	H8	-	307	C·覆土下	中前半	105	73	49	276.0				
1242	116	406		Aa中	玄武岩	TH-19HP29	M11	覆土	17		前末	140	88	33	622.0				中央ピット
1243	116	406		Ac中	安山岩		C8	Ⅰ	207	-	-	155	70	35	550.0				たたき石7複合
1244	116	406		Aa大	安山岩	TH-4	N9	覆土1	1381	B	前末中前	149	100	35	777.0				砥石あるいはすり石1種転用
1245	116	406		Aa特大	白色泥岩		I5	m2(3)～(4)	705	B	前末中初	175	90	35	555.0				
1246	116	406 213		Ab大	ホルンフェルス	TH-5	L7	覆土1	1227	B	中初	149	84	44	697.0				たたき石2 i 7複合
1247	116	406		Aa特大	デイサイト	(TH-63)	H2	覆土	1014	B	前末中初	176	97	39	826.0				
1248	116	406		Aa超特大	花崗岩		G3	m2(2)	316	B	中初	196	140	47	1886.0				被熱
1249	116	406		Ca中	安山岩	(TH-58)	G1	覆土	796	B·C'	中前	120	83	39	601.0				
1250	117	406		D	粘板岩		D2	m3	25	A	前末	171	136	89	2800.0				
1251	117	406	礫器		斑糲岩		C11	m1a	10075	D·Ⅲ上部	後期前	88	76	24	276.5				
1252	117	406			安山岩	TH-5	L7	覆土2	1435		前末	103	70	25	234.0				
1253	117	406			安山岩		J2	撹乱	150	-	-	133	79	56	788.0				
1254	117	406			安山岩	TH-21HP1	-	覆土	19		前末	131	144	47	1206.0				中央ピット
1255	117	406			安山岩		C12	m1a	10061	D·Ⅲ上部	後期前	100	112	34	528.0				
1256	118	407	石鋸		安山岩		E6	m1a	148	Ⅲ上部	後期前	139	80	21	221.0				砥石B4複合
1257	118	407			玄武岩	(TH-60)	B12	覆土	315	C·D	中·後期	91	(75)	11	(114.0)				
1258	118	407			安山岩	TH-11	-	床	909	C·D	前後	(184)	51	17	(189.0)				
1259	118	407			玄武岩		F2	m2	1052	B·C'	前末	100	72	15	141.3				

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（13）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(礫石器)	備考
1260	118	407	石錘		凝灰岩		K4	m2(2)下b	302	A·B	前末	(96)	78	10	(82.0)				砥石B4複合
1261	118	407			凝灰岩	TH-14	M3	覆土1c	1117	A ?	前末	136	121	16	200.0				砥石B4複合
1262	118	407	砥石	B8	砂岩		D2	m2(2)	867	B·C	中前	218	124	64	2115.0				台石石皿A1b複合
1263	119	407		B38	白色泥岩	TH-22 TH-22	- I8	覆土下 覆土下	4 11		前末中前 前末中前	322	(134)	65	(1727.0)				上破片(629g) 下破片(1098g)
1264	119	407		B8	白色泥岩	TH-22HP1	H8	覆土	54		前末	(81)	(65)	42	(134.0)				中央ピット
1265	119	407		B38	凝灰岩	TH-14	L3	覆土3	1087		前末	137	104	19	295.0				たたき石3複合
1266	119	407		B18	砂岩	TH-18	L9	覆土1	470	C·覆土下	前末中前	183	(143)	59	(1424.0)				台石石皿A25c複合
1267	120	407		B258	安山岩	TH-17HP5	-	覆土	4	B	前末中初	164	134	84	2307.0				台石石皿A5c複合
1268	120	408		B38	ドレライト		G3	m2(2)	283	B	中初	(173)	(146)	66	(1560.0)				たたき石7複合
1269	120	408		B2	砂岩		I7	m2	397	B	中初	92	71	11	87.0				
1270	120	408		B28	凝灰岩		C3	m2(5)	482	B	前末	130	76	34	334.0				たたき石23複合
1271	121	408		B2/B4	白色泥岩	TP-48	E7	覆土	20		前末	90	62	17	87.0				
1272	121	408		B2	頁岩(層理)	TH-2HP4	-	覆土	2		前末中初	114	106	18	377.0				
1273	121	408		B3a/B2b	安山岩		D0 D3	m2下 m2(2)	29 529	B C	中初 前末中前	191	140	55	1347.0				上破片(241g) 下破片(1106g)
1274	121	408		B4/B8	安山岩		E6	m1a	460	III上部	後期前	303	146	50	1910.0				被熱
1275	122	409	台石石皿	B1a/B4b	安山岩	TH-54	J2	床面	833		前末	(380)	(352)	(100)	(12600.0)			I II	被熱
1276	122	409		A·B1a	安山岩	TH-49HP9	F7	-	1		中前	333	269	100	11100.0			II～III V	
1277	123	409		AB1a/AB23a	安山岩	TH-19	-	床	84		前末	390	325	113	17500.0			I III	床面据え付け、楕円形の窪み
1278	124	409		B2a	安山岩	TH-5	-	床	1200		前末	458	341	149	25700.0			II	床面据え付け
1279	124	409		B2a+A3c	安山岩	TP-5	-	覆土	8		後期前	315	196	125	10300.0			II	
1280	124	409		B2a	安山岩	TH-22HP1	H8	覆土	52		前末	311	290	112	11600.0			I	中央ピット
1281	125	409		B2a/B3a	安山岩	TH-4	-	床	1163		前末	417	233	86	10600.0			I II	床面据え付け
1282	125	410		AB·B2a/B2a	安山岩	TH-4HP1 TH-4HP1	- -	覆土 覆土	21 23		前末 前末	338	239	117	14300.0			I II III V	上破片(7400g) 下破片(6900g)　中央ピット
1283	126	410		AB2a/A2b	安山岩	TH-15 TH-15	- -	床 床	213 214		前末 前末	382	239	85	10300.0			II～III IV V	上破片(4400g) 下破片(5900g)　被熱、床面据え付け
1284	126	410		AB2a	安山岩	TH-5	-	床	1194		前末	355	(250)	102	(11700.0)			II～III I	
1285	126	410		AB3a/A3b+B3b	安山岩	TH-7 TH-7	- -	床 床	1184 1144		後期前 後期前	(313)	300	75	(8500.0)			III II	上破片(3400g) 下破片(5100g)　被熱
1286	127	410		B3a	安山岩	TH-21HP1	-	覆土	43		前末	367	334	69	12200.0			I II	中央ピット、被熱
1287	127	410		B3a	花崗岩	TP-7	M11	底面	8		前末	317	229	117	11700.0			I	
1288	127	410		AB·B3a	安山岩	TH-18	K9	床直上	375		前末中初	399	284	180	28900.0			II～III	床面据え付け
1289	128	410		B3a+Ac	花崗岩	TH-4	-	床	1166		前末	402	277	166	25200.0			I	床面据え付け
1290	128	411		B3a/B3a	安山岩	TH-14	-	床下	1059		前末	(402)	337	105	(22200.0)			II I	被熱
1291	128	411		AB·B3a/B2b	安山岩		E2	m2(4)	59	B	中前	286	284	118	11800.0			I II III V	
1292	129	411		AB·B3a/AB3b	安山岩	TH-4	-	床	1167		前末	330	258	112	11200.0			III II I V	床面据え付け
1293	129	411		A1c+AB3b/A2c	安山岩	TH-40	H8	床面直上	49		中前	426	247	125	15300.0			II V	
1294	130	411		AB·B3a両面	安山岩		H6	m2上	587	B·C	中前半	453	298	140	24600.0			I III	
1295	130	411		AB3a	安山岩	TH-15	O8	覆土2	256		前末	294	194	63	5400.0			II III	
1296	131	411		AB3a/B5a	安山岩	TH-23	J10	覆土	162	C·覆土下	前末中初	341	220	96	10500.0			I II III V	
1297	131	411		B3b	安山岩	TH-4	-	床	1169		前末	314	235	124	12900.0			III I	床面据え付け
1298	131	412		AB3b	安山岩	TH-4	-	床	1162		前末	359	218	132	13400.0			III	床面据え付け
1299	132	412		AB1a/B4a	安山岩	TH-19	-	床	85		前末	(433)	287	116	(15400.0)			I II III IV V	床面据え付け
1300	132	412		AB15	安山岩	TH-18	L9	床直上	372		前末中初	281	274	122	14000.0			II～III	床面据え付け
1301	133	412		B13a/B15a	安山岩	TH-8(旧)	-	床面	112		前末中初	453	283	107	19800.0			I II III	
1302	133	412		B23a/B3-	安山岩		C2	m2(2)	75	C	中前	(296)	(213)	95	(9200.0)			I II III	被熱、楕円形の窪み
1303	134	412		B23a	安山岩	TH-47HP12	O6	覆土上面	6		中前	352	298	104	15900.0			I II	被熱
1304	134	413		AB23	安山岩	TH-49HP2	E7	覆土	1		中前	366	240	120	13800.0			I II	床面据え付け、浅い凹み
1305	134	413		B58a	安山岩	TH-3	-	床	291		中前	375	191	136	11400.0			I	
1306	135	413		B7·AB3a両面	安山岩		G8	m2下	133	C	中前半	415	317	100	22000.0			I II III	楕円形の窪み
1307	136	413		B2b/B·AB3a	安山岩		F5	m2下	317	C	中前	322	236	102	13100.0			I II III	楕円形の窪み
1308	137	412		B2·B3·AB3a	安山岩	TH-7	-	床	1146		後期前	444	329	156	32500.0			I III	
1309	137	413		B4a	花崗岩	TH-4HP1	-	覆土	22		前末	305	247	129	12900.0			I	中央ピット
1310	137	413		B4a	安山岩	TH-23	-	床面	163		前末中初	359	275	120	16400.0			I	TH-23(旧)
1311	138	413		B4a両面	安山岩	TP-68	E5	覆土	35		中前	305	294	121	12400.0			I	
1312	138	413		B4a	安山岩	TH-8	G8	覆土	46	C·覆土下	中前半	430	299	133	20300.0			I	
1313	138	414		A3d	安山岩	TH-35HP3	-	覆土	9		中前半	(266)	(231)	100	(7100.0)			V	
1314	138	414		B25a	安山岩	TH-19HP29	M11	-	24		前末	259	176	86	5800.0			II	中央ピット
1315	139	414		B2a	安山岩	TH-19HP29	M11	覆土	14		前末	242	171	83	4443.0			II	中央ピット
1316	139	414		B2a	不明		C3	m2(3)	388	C	中前	135	121	63	957.0			II	
1317	139	414		B85·A2a両面	砂岩		F5	m2上	324	C	中前	(168)	105	40	(1015.0)			I	
1318	139	414		AB3a/AB3b	安山岩		G6	m2下	553	C	中前	161	115	49	1253.0			III	
1319	139	414		B3a	安山岩	TH-22HP1	H8	覆土	63		前末	163	108	45	1111.0			II	中央ピット
1320	139	414		A3b	凝灰角礫岩	TH-21HP1	-	覆土	42		前末	(215)	137	100	(3704.0)			V	中央ピット
1321	139	414		B5a	安山岩	TP-1	G4	覆土	132		中中	249	124	124	5100.0			I	
1322	139	415		B7	安山岩		C12	I	10044	-	-	(110)	(97)	(53)	(563.0)				被熱
1323	139	415		B7	砂岩	TH-7	D5	覆土下	1259	D·III上部·覆土下	後期前	(107)	(159)	(57)	(502.0)				
1324	139	415		B7	砂岩	 TH-7	C11 C5	m1a 覆土	10027 1274	D·III上部 D·III上部·覆土下	後期前 後期前	(229)	(97)	(70)	(606.0)				上破片(227g) 下破片(379g)
1325	140	214 215	岩偶		凝灰岩	TH-54	J3	覆土中	940	A·B·覆土下	前末	(371)	282	32	(2413.0)				「肩パッド型」 重さは強化処理後
1326	141	416			凝灰岩		C3	崩落土	10002		中前半	(411)	(181)	55	(3247.0)				未成品
1327	141	416			白色泥岩		E3	m2(2)	10439	B	前末	(43)	(80)	(30)	(57.2)				「肩パッド型」
1328	141	416			凝灰岩		I8	m2下	15	C	中前	(64)	(41)	8	(24.7)				板状
1329	142	216 218 226	玦状耳飾	A	ネフライト (トレモラ閃石岩)	TH-4 TH-4	- M8	覆土1 覆土1	2 3	B B	前末中前 前末中前	44	66 (推定)	4	17.2				左破片(8.6g)、Ⅸ章(9)№2 右破片(8.6g)、Ⅸ章(11)№24
1330	142	218 227		A	ネフライト (トレモラ閃石岩)	TH-4	M9	覆土	1	B·覆土下	前末中前	29	47	4	6.7				Ⅸ章(9)№1、 Ⅸ章(11)№23
1331	142	216 218		A	滑石		M8	掘り上げ土	1	P'	前末	48	(54)	7	(15.8)				Ⅸ章(9)№38
1332	142	216 218 225		A	滑石		E2 E2	m2(5) m2(5)	1461 1462	B B	前末 前末	47	66	7	20.7				左破片(11.9g)、Ⅸ章(9)№19 右破片(8.8g)、Ⅸ章(11)№3
1333	142	216 219 227		A	滑石		H5 H4	m2(6) m2(5)	24 10	B A·B	前末 前末	(39)	58 (推定)	(4)	(13.2)				左破片(6.5g)、Ⅸ章(9)№31 右破片(6.7g)、Ⅸ章(9)№29、Ⅸ章(11)№6
1334	142	216 219 226		A	滑石		E4	m2下	34	A·B	前末中初	45	(29)	(7)	(9.3)				Ⅸ章(9)№23、 Ⅸ章(11)№28
1335	142	216 219		A	滑石		I5	m2(3)～(6)	1	B	前末中初	(53)	(42)	(8)	(18.3)				Ⅸ章(9)№32
1336	142	219		A	滑石		F2	m2(8)	979	B	前末	(35)	(28)	(4)	(4.6)				Ⅸ章(9)№24
1337	142	216 219		A	滑石	TF-72 	E3 E3	埋土 m2(2)	7 1	B B	中前 前末	(63)	(54)	(6)	(26.3)				上破片(1.5g)、Ⅸ章(10)№62 下破片(24.8g)、Ⅸ章(9)№22、Ⅸ章(11)№11
1338	143	217 220 225 227		A	滑石	(TH-63) 	E1 E2	覆土下 m2(5)	3696 1464	B B	中初 前末	36	48	5	9.8				左破片(5.4g)、Ⅸ章(9)№13 右破片(4.4g)、Ⅸ章(9)№21、Ⅸ章(11)№16
1339	143	217 220 227		A	滑石		K8	m2上	1	B	前末中前	30	(21)	5	(4.2)				Ⅸ章(10)№50、 Ⅸ章(11)№19
1340	143	217 220 226		A	滑石		G4	m2下	1	B	前末	(37)	(31)	(8)	(12.3)				Ⅸ章(9)№27、 Ⅸ章(11)№22
1341	143	216 220		A	滑石		D2	m2下	814	A·B	前末	41	(31)	8	(9.4)				Ⅸ章(9)№17、 Ⅸ章(11)№21

表Ⅵ－7　掲載石器・石製品等一覧（14）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	覆土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(礫石器)	備考
1342	143	217 220	玦状耳飾	B	滑石		F2	m2	977	B・C'	前末	36	(22)	4	(3.4)				Ⅸ章(10)№46、 Ⅸ章(11)№4
1343	143	217 220		B	滑石		K3	m2(2)	1	A	前末	28	(15)	5	(3.1)				Ⅸ章(10)№48、 Ⅸ章(11)№18
1344	143	220		B	滑石	TH-11	K4	覆土	1	P～A・覆土下	前後末	48	48	6	16.9				左下破片(7.8g)、Ⅸ章(9)№9
						TH-11	J4	覆土	444	P～A・覆土下	前後末								左上破片(2.2g)
							J3	m2上	10008	A	前末								右破片(6.8g)、Ⅸ章(11)№26
1345	143	216 220		C	滑石		B11	m1a(2)	285	D	後期前	(31)	(25)	(6)	(7.5)				Ⅸ章(10)№44、 Ⅸ章(11)№13
1346	143	216 220		C	滑石		H4	m2(5)	9	A・B	前末	(34)	(40)	(4)	(6.4)				Ⅸ章(9)№28、 Ⅸ章(11)№5
1347	143	216 220		C	滑石	TH-4	N8	覆土1	5	B	前末中前	42	(46)	(6)	(13.2)				Ⅸ章(9)№4、 Ⅸ章(11)№8
1348	144	217 221 226 227		D	滑石	TH-14	-	覆土1c	195	A ?	前末	48	(28)	5	(7.1)				Ⅸ章(9)№10
1349	144	217 221		D	滑石		K4	m2	20	B	前末	32	22	6	6.5				左破片(4.0g)、Ⅸ章(9)№36
							J5	m2(2)	1	B・C	前末中中								右破片(2.5g)、Ⅸ章(11)№12
1350	144	216 221 227		D	ネフライト (トレモラ閃石岩)		J4	m2(2)下	1	A・B	前末	29	(12)	4	(2.2)				Ⅸ章(9)№34、 Ⅸ章(11)№27
1351	144	217 221		A	滑石	TH-32	D5	覆土	13	C・覆土下	前末中初	(38)	(46)	9	(13.7)				Ⅸ章(9)№12
1352	144	217 221		A	滑石	TH-34(旧)	C5	覆土	37	C	中前半	(45)	(35)	(6)	(12.6)				Ⅸ章(10)№43、 Ⅸ章(11)№1
1353	144	221		A	滑石		J7	m2下	1	B	前末中初	(43)	(32)	(5)	(11.9)				Ⅸ章(9)№35
1354	144	217 221		A	滑石	TH-5	L7	覆土2	313		前末	(48)	(42)	(5)	(16.4)				Ⅸ章(9)№7、 Ⅸ章(11)№9
1355	144	221		A	滑石	TH-5	L8	覆土2	1622		前末	(26)	(23)	(4)	(2.9)				Ⅸ章(9)№11
1356	144	221		A	滑石	TH-5	L8	覆土2	314		前末	(27)	(18)	(3)	(2.0)				Ⅸ章(9)№8、Ⅸ章(11)№10
1357	144	222		C	滑石		F2	m2	978	B・C'	前末	(27)	(39)	(5)	(7.4)				Ⅸ章(9)№25、Ⅸ章(11)№17
1358	144	222		C	滑石		I5	m2(3)～(6)	5	B	前末中初	(16)	(30)	(4)	(2.6)				Ⅸ章(10)№47、Ⅸ章(11)№7
1359	144	222		B	滑石		D0	m2下	318	B	中初	(25)	(25)	(3)	(3.6)				Ⅸ章(10)№45、Ⅸ章(11)№14
1360	144	217 222		D	滑石	(TH-63)	-	覆土下	3695	B	中初	(17)	(8)	(4)	(0.6)				Ⅸ章(10)№41
1361	144	222		D	滑石		I8	Ⅰ	56	-	-	(14)	(8)	(3)	(0.6)				
1362	144	217 222		D	滑石		K3	m2	154	A	前末	(28)	(13)	(5)	(2.7)				Ⅸ章(10)№49、 Ⅸ章(11)№20
1363	144	222		E	滑石	TH-18	K9	覆土2	291	C・覆土下	前末中前	(38)	(23)	6	(4.5)				下破片(1.6g)、Ⅸ章(10)№42
1366		217 222				TH-4	L9	覆土2	6		前末								上破片(2.9g)、 Ⅸ章(9)№5
1364	144	217 222		E	滑石		L6	掘り上げ土	11	P	前末	(31)	(33)	(5)	(6.9)				Ⅸ章(9)№37
1365	144	217 222		E	滑石		I6	m2下	5	B	中初	(34)	(28)	(8)	(8.6)				Ⅸ章(9)№33
1367	144	222		E	滑石		E2	m2下	1463	A・B	前末	(21)	(22)	5	(17.2)				Ⅸ章(9)№20
1368	144	222 226		E	滑石	TH-4	M8	覆土1	4	B	前末中前	(23)	(21)	5	(2.9)				Ⅸ章(9)№3、 Ⅸ章(11)№25
1369	145	222		E	滑石	TP-26	J8	覆土	1		前末	(31)	(36)	(10)	(14.9)				Ⅸ章(10)№61
1370	145	222		E	滑石		H5	m2(2)	23	C	中前	(23)	(31)	(6)	(3.5)				Ⅸ章(9)№30
1371	145	222		E	滑石		不明	m2	1107	-	-	(39)	(38)	(5)	(9.8)				Ⅸ章(9)№40
1372	145	222		E	滑石		D1	m2下	1390	A・B	前末	(20)	(32)	(3)	(3.1)				Ⅸ章(9)№16、Ⅸ章(11)№2
1373	145	222		E	滑石		D3	m2(4)	10123	B	前末中初	(34)	(28)	(4)	(4.8)				Ⅸ章(9)№18、Ⅸ章(11)№15
1374	145	223		E	滑石	TH-5	K7	覆土1	11	B	中初	(27)	(24)	(4)	(3.0)				Ⅸ章(9)№6
1375	145	223		E	滑石		N4	Ⅰ	38	-	-	(19)	(18)	(4)	(1.6)				Ⅸ章(9)№39
1376	145	223	垂飾		ネフライト(トレモラ閃石岩)	(TH-57)	H1	覆土	1224	B・C'	中初	40	40	28	74.4				鰹節形、Ⅸ章(10)№57
1377	145	223			ヒスイ(オンファス輝石岩)		H7	m2下	25	C	中初	29	28	14	21.0				Ⅸ章(8)
1378	145	223			滑石		B10	m1a	102	D	後期前	28	27	5	5.9				Ⅸ章(9)№15
1379	145	223 227			滑石		G3	m2(2)	1	B	中初	35	18	8	10.1				Ⅸ章(10)№59
1380	145	223			滑石		F6	m1a	1	Ⅲ上部	後期前	47	26	12	18.2				Ⅸ章(9)№26、Ⅸ章(11)№29
1381	145	223			滑石		D4	m2下	41	B	前末	41	23	7	12.3				Ⅸ章(10)№52
1382	145	224			滑石		H2	m2	241	B	前末中初	37	19	7	7.5				Ⅸ章(10)№53
1383	145	224 226			滑石	TP-68	-	覆土	1		中前	41	34	6	13.4				Ⅸ章(9)№14、 Ⅸ章(11)№30
1384	145	224			滑石	TH-4	N8	覆土1	7	B	前末中前	(68)	19	5	(13.1)				弧状垂飾、Ⅸ章(10)№55
1385	145	224			滑石		I6	m2上	2	B・C	中前	(32)	30	5	(6.4)				弧状垂飾?、Ⅸ章(10)№54
1386	145	224 226			滑石	(TH-63)	H2	覆土中	3693	B	中初	65	18	9	13.9				弧状垂飾?、 Ⅸ章(10)№51
1387	145	224	玉	丸玉	滑石	TH-20	-	撹	1		前末中初	21	(12)	11	(2.7)				Ⅸ章(10)№56
1388	145	224	石製品	玉類関連	滑石		G8	m2下	3	C	中前半	(27)	(15)	(6)	(2.8)				Ⅸ章(10)№63
1389	145	224		玉類関連	滑石		E2	m2下	1460	A・B	前末	(20)	(16)	(7)	(3.5)				Ⅸ章(10)№58
1390	145	224		玉類関連	滑石		K4	m2	22	B	前末	34	20	(11)	(6.3)				Ⅸ章(10)№64
1391	146	224	玉		コハク		G5	m2上	18	C	中前半	(19)	(13)	(12)	(1.1)				
1392	146	224			コハク		H5	m2(5)	39	B	前末	(8)	(7)	(4)	(0.1)				
1393	146	224			コハク	TH-47	G6	覆土	1	C・覆土下	中前	(9)	8	7	(0.3)				
1394	146	225	石製品	玉類関連	滑石		E4	Ⅰ	646	-	-	47	45	15	48.3				Ⅸ章(10)№60
1395	146	225		玉類関連	緑色泥岩(アオトラ)		C0	m2(5)	25	B	前末	63	45	27	118.0				
1396	146	416	円板状石製品		流紋岩		G8	m2	7	C	中前半	29	28	10	8.8				
1397	146	416			白色泥岩		C1	m2(4)	472	B	前末中前	35	28	6	5.6				有孔
1398	146	416			凝灰岩		H7	m2	429	C	中前半	39	35	7	9.6				有孔
1399	146	416			泥岩	(TH-63)	I2	覆土上	3776	B	中初	49	43	9	18.1				有孔
1400	146	416			白色泥岩(有孔礫)	(TH-63)	H3	覆土中	3777	B	中初	52	50	9	19.1				有孔
1401	146	416			凝灰岩	TFC-14	-	上面	1	B	前末	46	43	9	14.7				被熱
1402	146	416			凝灰岩	TH-11	K5	覆土	16	P～A・覆土下	前後末	51	51	6	12.3				
1403	146	416			泥岩(含珪藻)		G2	m3	281	A	前末	47	45	11	14.7				有孔
1404	146	416			凝灰岩		I2	m2	268	B	前末中初	63	60	12	35.5				有孔
1405	146	416			凝灰岩		不明	排土	1237	-	-	68	65	13	42.7				有孔
1406	146	416			凝灰岩		K6	m2(3)～(6)	1	A・B	前末	63	(45)	10	(19.1)				有孔
1407	146	416			凝灰岩	TH-14	M3	覆土1c	1102	A ?	前末	(63)	(57)	9	(21.4)				有孔
1408	146	416			泥岩		F9	Ⅲ	155	Ⅲ上部	後期前	46	43	17	41.6				
1409	146	416			頁岩(層理)		C11	m1	23	D・Ⅲ上部	後期前	47	47	6	21.2				
1410	147	417	三角形石製品		白色泥岩	(TH-63)	G3	覆土	438	B	前末中初	(93)	81	16	(74.4)				
1411	147	417			凝灰角礫岩	配石列2	L10	m2(2)	188	A・B	前末中初	79	69	23	105.1				
1412	147	417			砂岩(脆い)		D2	m2下	837	A・B	前末	49	45	13	21.5				
1413	147	417	三脚石器		頁岩	TH-4	M9	覆土1	1046	B	前末中前	101	90	32	204.2				
1414	147	417			チャート		E3	崩落土	10043		前末	99	92	29	328.8				
1415	148	417			白色泥岩		E3	m2(5)	10272	B	前末	68	68	15	37.2				
1416	148	417	四脚石器		泥岩	TH-4	N8	覆土1	40	B	前末中前	59	58	18	44.7				
1417	148	417			頁岩	TH-29	G9	覆土	103	C・覆土下	中前半	(79)	72	30	(150.0)				
1418	148	417	異形石器	B	黒曜石		E1	m2(2)	1323	B・C'	中前半	30	25	7	1.9				
1419	148	417		B	黒曜石		I5	m2	7	B	前末中初	26	23	6	1.5				
1420	148	417		B	黒曜石	TH-5	L7	覆土2	684		前末	32	22	9	3.2				
1421	148	417		B	黒曜石		C3	m2(5)	39	B	前末	26	(26)	7	(2.4)				
1422	148	417		B	黒曜石	(TH-63)	E1	覆土下	3835	B	中初	36	27	8	3.2			両面	
1423	148	417		B	黒曜石		F1	m2(4)	582	B	中初	47	31	7	4.5			縁辺両面	
1424	148	417		B	黒曜石		F1	m2(4)	583	B	中初	(45)	25	6	(2.6)				
1425	148	417		B	黒曜石		G6	m2下	46	C	中前	37	34	10	6.7			稜線	
1426	148	417		B	黒曜石		F6	m2下	95	C	中前半	(35)	24	10	(5.4)				
1427	148	417		B	黒曜石		F1	m2(4)	584	B	中初	(29)	(25)	6	(3.3)			稜線	

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（15）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢（剥片石器石斧）／すり面傾き（北海道式石冠）	摩耗（剥片石器石斧）／すり面（礫石器）	備考
1428	148	212 417	異形石器	B	黒曜石		F4	m2	1	B	前末中中	(33)	35	8	(5.3)			側縁・裏面稜線	Ⅸ章(7)№5
1429	148	417		B	頁岩		F2	m2上	195	B・C'	中前	(21)	27	6	(1.5)				
1430	149	417		B	頁岩		K5	m2	183	A	前末	28	35	8	3.8				
1431	149	212 417		B	黒曜石		F3	m2(2)	41	B・C	中前半	26	34	6	4.4			両面	Ⅸ章(7)№4
1432	149	417		B	黒曜石		D1	m2(4)	1444	B	中初	32	38	10	8.8				
1433	149	417		B	頁岩		E1	m2(4)	684	B	中前	58	42	11	14.7				
1434	149	417		B	珪質砂岩	(TH-63)	G2	盛土下	3836	B	中初	65	50	7	13.9				
1435	149	417		D	黒曜石		G2	攪乱	290	-	-	(29)	30	9	(5.2)			縁辺稜線	
1436	149	417		D	黒曜石	(TH-57)	H2	盛土?	1174	B・C'	前末中前	44	35	8	6.8				全面摩耗
1437	149	212 417		D	赤色珪化岩		D2	m2(5)	613	B	前末	48	35	10	12.0			両面稜線	
1438	149	417		D	黒曜石		D3	m2下	12	A・B	前末	58	32	14	18.6			縁辺稜線	
1439	149	417		D	黒曜石	(TH-63)	G2	盛土下	3256	B	中初	34	25	7	3.5			稜線	
1440	149	417		C	頁岩		L10	Ⅰ	1	-	-	68	40	13	20.5				全面摩耗
1441	149	417		C	黒曜石		G2	攪乱	291	-	-	39	24	8	6.3			縁辺	
1442	149	417		C	頁岩		I7	m2	179	B	中初	51	33	11	15.6			両面	
1443	149	417		A	黒曜石	TH-39	-	盛土	1	C・盛土下	中前半	41	19	8	4.2				右半分全面摩耗
1444	149	212 417		E	黒曜石		E6	m1	74	Ⅲ上部	後期前	60	23	10	12.4				全面摩耗、Ⅸ章(7)№3
1445	150	418 422	烏帽子形石器		凝灰岩		E6	m2下	145	C	中中	98	73	60	435.0				
1446	150	418 422			安山岩		F9	m2上	139	C・Ⅲ上部	中・後期	105	66	36	312.0				
1447	151	418 422			安山岩		D1	m2(2)	141	B・C'	中前	93	75	45	398.0				Ⅸ章(10)№77
1448	151	418			凝灰岩		J9	Ⅰ	24	-	-	103	77	48	481.0				
1449	152	418 422			泥岩		J9	m2上	156	C	中前半	88	69	44	364.0				
1450	152	418 422			粘板岩		F5	m1a	469	Ⅲ上部	後期前	121	72	39	493.0				
1451	153	418			砂岩		F8	m2下	181	C	中前半	111	86	36	500.0				
1452	153	418 423			粘板岩		H6	m2上	599	B・C	中前半	109	59	54	540.0				
1453	154	418			礫岩		H6	m2上	600	B・C	中前半	161	90	70	1312.0				無調整
1454	155	419 423	側縁有溝石器		安山岩	(TH-58)	G1	盛土	976	B・C'	中前	142	79	34	605.0				
1455	155	419 423			安山岩	(TH-60)	B12	盛土	432	C・D	中・後期	167	79	36	662.0				
1456	155	419 423			安山岩		G6	m2	466	C	中前半	152	90	56	1040.0				
1457	156	419 423			安山岩	(TH-60)	B12	盛土	329	C・D	中・後期	121	71	32	429.0				
1458	156	419 423			安山岩		E8	m2上	148	C・Ⅲ上部	中・後期	135	88	40	625.0				
1459	156	419			安山岩		E7	m2上	233	C・Ⅲ上部	中・後期	139	74	46	651.0				
1460	157	419 424			安山岩		不明	表採	4	-	-	136	80	45	650.0				
1461	157	419 424			安山岩		G7	m2下	376	C	中前半	162	107	45	981.0				
1462	157	419			玄武岩	竪穴跡	D4	盛土	511	-	-	142	93	51	836.0				
1463	158	420			安山岩		C11	攪乱	10005	-	-	139	83	40	619.0				
1464	158	420			安山岩		L10	Ⅰ	64	-	-	143	88	43	736.0				
1465	158	420 424			安山岩		C4	m2下	360	B・C	中前半	143	81	37	634.0				
1466	158	421 424	長板状石製品		安山岩		E1 H4	m2下 m2(3)	363 764	B B	前末中初 中初	(122)	86	40	(691.0)				左破片(363g) 右破片(328g)
1467	159	421			安山岩		D3	m2(2)	444	C	前末中前	(91)	125	45	(607.0)				
1468	159	421			安山岩		K9	m2	185	B・C	前末中前	102	103	19	292.0				
1469	159	421			安山岩		E5	Ⅰ	395	-	-	(92)	84	27	(394.0)				
1470	159	421			安山岩	TH-19	M10	盛土1	89		前末	105	111	41	820.0				
1471	159	421 424			安山岩	TH-28HP4	G9	盛土	4		中前	192	106	45	1689.0				
1472	160	421 424			安山岩		I7 K9	m2上 m2上	371 167	B B・C	中初 前末中前	(273)	91	(46)	(1402.0)				左破片(1052g) 右破片(350g)
1473	160	421			安山岩		I8	m2上	384	C	中前半	(158)	109	64	(1815.0)				
1474	161	420 425			安山岩	(TH-58)	F2 D1	盛土 m2(4)	911 91	B・C' B	中前 中初	(385)	103	36	(2058.0)				左破片(526g) 右2破片(1532g)
1475	161	420			安山岩		E1	m2(4)	188	B	中前	(162)	90	28	(604.0)				
1476	162	427	石棒	A	凝灰岩	(TH-63)	F1	盛土最下	3694	B	前末中初	79	39	17	53.8				
1477	162	427		A	凝灰岩		I2	Ⅰ	278	-	-	(135)	(95)	(79)	(627.0)				
1478	162	427		B	凝灰岩		H6	m2下	2	B・C	中前	(185)	124	90	(2165.0)				
1479	162	427		B	粘板岩		D5	m2上	187	C	中前半	(209)	106	(90)	(2585.0)				
1480	163	425		B	安山岩	TP-3	J11	盛土上	1		後期前	(257)	128	123	(6100.0)				
1481	164	425		B?	玄武岩	TH-18 TP-123	L9 -	盛土2 盛土中	417 186	C・盛土下	前末中前 後期前	(348)	(143)	(98)	(7100.0)				上2破片(3800g) 下2破片(3300g)　被熱
1482	164	426		C	安山岩	TH-5	L6	盛土	1204	B・盛土下	前末中初	368	140	129	9100.0				
1483	164	427		D	玄武岩		J7	m2上	330	B・C	中前	357	73	56	2610.0				
1484	165	426		D	閃緑岩	TP-66	D10	盛土	33		中前	540	138	103	9400.0				
1485	165	426		D	砂岩	TH-34(旧) TH-34	C5 C5	盛土 盛土	24 129	C C・盛土下	中前半 中前半	(568)	122	75	(4375.0)				上3破片(1424g) 下破片(2951g)
1486	166	426		D	安山岩	TP-134	D10	盛土	17		中前	457	219	179	26900.0				
1487	166	426		D	安山岩		C3	m2①~⑤	338	B・C・Ⅲ上	前末中中	416	183	149	18100.0				
1488	166	426		D	安山岩		E6	m2上	532	C	中前半	(267)	(153)	(142)	(6700.0)				被熱
1489	166	426		E	安山岩	TH-5	L6	盛土	1203	B・盛土下	前末中初	323	145	123	8400.0				
1490	166	426		E	安山岩	TH-23	-	床面	164		中初	291	103	90	4192.0				TH-23(新)
1491	167	428	石製品		凝灰岩		F1	m2(4)	581	B	中初	(165)	(116)	(24)	(205.6)				
1492	167	428			白色泥岩		G9	攪乱	131	-	-	111	110	24	229.1				
1493	167	428			凝灰岩		N6	Ⅰ	32	-	-	(79)	38	15	(34.8)				
1494	167	428			凝灰岩	TH-32	D5	盛土	250	C・盛土下	前末中初	(59)	54	12	(29.2)				
1495	168	428			白色泥岩		D6	攪乱	151	-	-	(125)	(69)	(20)	(134.5)				
1496	168	428			白色泥岩		J7	m2下	179	B	前末中初	(95)	(71)	(17)	(63.4)				
1497	168	428			白色泥岩		D0	m2上	42	B・C'	中前	286	65	26	449.9				
1498	168	428			白色泥岩		D2	m2下	114	A・B	前末	140	49	36	226.1				
1499	168	428 230			白色泥岩	TFC-3 TFC-3	N7 N7	m3 m3	5 18	P' P'	前末 前末	88	50	18	94.7				左破片(84.5g) 右破片(10.2g)
1500	169	428			ホルンフェルス?		H8	m2上	9	C	中前半	58	(42)	19	(71.5)				
1501	169	428			泥岩	(TH-65)	B10	盛土	31	D	後期前	(99)	35	12	(46.0)				
1502	169	428	線刻礫		凝灰岩	TH-4	L9	盛土1	1312	B	前末中前	180	64	39	462.2				
1503	169	428			砂岩(脆い)	TH-11	K4	盛土	873	P～A・盛土下	前後末	173	72	24	254.6				
1504	169	428			凝灰岩		C0	m2(4)	292	B	中初	(86)	77	17	(97.2)				擦り切り痕あり
1505	170	428			凝灰岩		B12	m1a(2)	11	C・D・Ⅲ上部	中・後期	(107)	105	23	(282.3)				
1506	170	428			白色泥岩	TH-14	M3	盛土	413	A・盛土下	前末	(62)	36	31	(69.0)				たたき石3転用
1507	170	428			砂岩		L5	Ⅲ	7	Ⅲ	中前	66	57	12	34.4				
1508	170	428			凝灰岩		I4	m2(6)	61	A・B	前末	(56)	36	12	(22.3)				
1509	170	428			砂岩	(TH-63)	G2	盛土最下	3831	B	前末中初	56	43	9	15.1				
1510	170	429	石製品		白色泥岩	TH-5	K8	盛土1	389	B	中初	76	42	11	32.0				垂飾様
1511	170	429			白色泥岩	TH-5	L7	盛土1	388	B	中初	93	53	13	63.1				垂飾様
1512	170	429			白色泥岩		J5	m2(2)	8	B・C	前末中中	43	32	10	11.0				垂飾様
1513	170	429			泥岩	TP-105	H7	盛土	8		前末	30	29	18	15.8				垂飾様

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（16）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	盛土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢(剥片石器石斧)／すり面傾き(北海道式石冠)	摩耗(剥片石器石斧)／すり面(礫石器)	備考
1514	170	429	有孔礫		白色泥岩		J9	m2上	26	C	中前半	97	45	16	81.6				加工痕あり
1515	170	429			凝灰岩	TP-18	K8	床	21		中前	42	30	26	21.7				人骨共伴
1516	171	429			安山岩	TH-2	O10	覆土2	2		前末中初	133	97	40	682.0				加工痕あり
1517	171	429			白色泥岩(有孔礫)	TH-2	O11	覆土1	165	B・C	中前半	106	97	25	178.9				加工痕？あり
1518	171	429			凝灰岩	TH-11	J5	覆土1	985	A	前末	234	184	36	1123.2				
1519	172	429			白色泥岩		C3	m2(5)	24	B	前末	123	74	35	221.6				加工痕？あり
1520	172	429	石製品		安山岩		G8	m2	313	C	中前半	60	51	23	75.0				
1521	172	429			砂岩(脆い)		L7	m1	8	B・Ⅲ上部	前末中前	(73)	(41)	16	(29.3)				
1522	172	429	変わり石		砂岩		K6	m2	69	B・C	中前	29	(24)	11	(3.7)				タマネギ状風化礫
1523	172	429			泥岩	TH-32	D6	覆土	278	C・覆土下	前末中初	129	106	42	(257.6)				タマネギ状風化礫
1524	172	429	礫		安山岩	TP-33	-	覆土	1		前末	226	72	39	1133.5				人骨共伴
1525	172	429	変わり石		安山岩		J5	m2(3)	3	B	前末	69	44	28	109.3				くびれ石
1526	173	430	軽石製品	管玉形	軽石	TH-34(新)	-	覆土	43	C・覆土下	中中	37	21	20	3.7				
1527	173	430		滑車形	軽石	TH-4	M8 D4	覆土1 m2下	45 40	B B	前末中前 前末	67(推定)	(47)	18	(14.3)				左破片(8.7g) 右破片(5.6g)
1528	173	430		滑車形	軽石		E4	m2(2)	5	B	前末	53	49	22	37.8				
1529	173	430		滑車形	軽石		C6	m2下	33	C・Ⅲ上部	中・後期	50	44	18	17.5				
1530	173	430		滑車形	軽石		I8	m2下	4	C	中前	52	48	27	37.2				
1531	173	430		滑車形	軽石	TH-4	M8	覆土1	17	B	前末中前	42	34	20	7.9				
1532	173	430		北海道式石冠形	軽石		G7	m2上	12	C	中前半	80	43	43	37.9				
1533	173	430		北海道式石冠形	軽石	TH-9	G6	覆土	112	C・覆土下	中前	76	58	44	48.2				
1534	174	430		北海道式石冠形	軽石	(TH-63)	G2	覆土下	3944	B	中初	55	29	40	13.1				
1535	174	430		北海道式石冠形	軽石		J6	m2(2)	24	B・C	前末中前	(55)	39	38	(16.8)				
1536	174	430		北海道式石冠形	軽石	TH-24	-	覆土	2	A類似・覆土下	前末	52	35	(46)	(4.1)				
1537	174	430		北海道式石冠形	軽石	TH-54	J2	覆土中	920	A・B・覆土下	前末	(54)	32	34	(12.0)				
1538	174	430		北海道式石冠形	軽石		C2	m3	463	A	前末	(44)	30	(33)	(5.3)				
1539	174	430		北海道式石冠形	軽石	(TH-58)	G1	覆土	977	B・C'	中前	52	37	33	9.6				
1540	174	430		北海道式石冠形	軽石		E3	m2(5)	28	B	前末	(39)	21	(33)	(5.0)				
1541	174	430		北海道式石冠形	軽石		E2	m2(4)	1565	B	中前	43	23	(40)	(7.5)				
1542	175	430		北海道式石冠形	軽石	(TH-57)	H2	覆土	1194	B・C'	中初	48	31	45	13.3				
1543	175	430		北海道式石冠形	軽石	TH-22	H7	-	384	C・覆土下	前末中前	46	47	46	17.6				
1544	175	430		北海道式石冠形	軽石		C2	m2(6)	462	B	前末	46	(25)	49	(15.1)				
1545	175	430		北海道式石冠形	軽石	TH-61	B12	覆土	186	D・Ⅲ上部・覆土下	中・後期	75	44	67	(34.7)				
1546	175	430		北海道式石冠形	軽石		D3	m2下	34	A・B	前末	50	35	(37)	(9.0)				
1547	175	430		北海道式石冠形	軽石		J9	m2上	1	C	中前半	46	37	21	11.9				
1548	175	430		北海道式石冠形	軽石	(TH-57)	H1	覆土	1185	B・C'	中初	63	22	44	13.8				
1549	176	431		ドーム形	軽石		E2	m2下	1567	A・B	前末	64	20	50	5.5				
1550	176	431		ドーム形	軽石		不明	排土	1177	-	-	80	46	66	42.4				
1551	176	431		ドーム形	軽石		E3	撹乱	29	-	-	42	23	48	8.8				
1552	176	431		ドーム形	軽石		G3	m2(4)	326	B	中初	49	25	35	11.4				
1553	176	431		ドーム形	軽石	TH-11	K4	覆土2	301		前後	40	29	28	7.2				
1554	176	431		ドーム形	軽石		D2	m2下	868	A・B	前末	61	32	47	20.4				
1555	176	431		ドーム形	軽石		D1	m2下	1486	A・B	前末	(52)	(30)	43	(8.8)				
1556	176	431		ドーム形	軽石		C1	m2(4)	501	B	前末中前	53	28	49	21.2				
1557	176	431		ドーム形	軽石		I7	m2下	5	B	中初	64	36	50	27.2				
1558	177	431		ドーム形	軽石	(TH-63)	E1	覆土下	3918	B	中初	65	53	56	23.6				
1559	177	431		ドーム形	軽石	TP-53	H9	覆土	13		前末	(53)	28	73	(27.6)				
1560	177	431		ドーム形	軽石		E2	m2下	1568	A・B	前末	44	24	(33)	(3.2)				
1561	177	431		ドーム形	軽石	(TH-57)	H2	覆土	1196	B・C'	中初	135	67	102	282.2				
1562	177	431		扁平～楕円	軽石		D3	m2(7)	10131	B	前末	42	38	18	8.8				
1563	177	431		扁平～楕円	軽石	TP-81	F9	覆土	11		前末中初	(53)	50	26	(15.7)				
1564	177	431		扁平～楕円	軽石	TH-54	I3	覆土上	922	A・B	前末中前	(84)	62	30	(38.8)				
1565	178	431		扁平～楕円	軽石	TH-17	K5	覆土1	117	A・B	前末中初	72	70	29	40.6				
1566	178	431		扁平～楕円	軽石	(TH-57)	H2	覆土7	1203	B・C'	前末中前	68	65	39	46.0				
1567	178	431		扁平～楕円	軽石		E3	m2	18	B	前末	96	82	37	(93.9)				
1568	178	431		扁平～楕円	軽石		C4	m2上	318	B・C	中前半	58	57	37	30.4				有孔
1569	178	431		扁平～楕円	軽石	TH-54	J3	覆土上	917	A・B	前末中前	67	42	36	26.2				
1570	178	431		扁平～楕円	軽石		H4	m2(3)	36	B	中初	99	75	67	130.8				
1571	178	431		扁平～楕円	軽石		F2	m2	1064	B・C'	前末	52	43	35	19.3				
1572	178	431		扁平～楕円	軽石		I7	m2下	6	B	中初	(84)	(48)	(35)	(79.6)				
1573	179	431		直方体状	軽石		D1	m2下	1491	A・B	前末	48	(38)	34	(7.8)				
1574	179	431		直方体状	軽石	TH-9	G6	覆土	111	C・覆土下	中前	60	49	42	45.7				
1575	179	431		直方体状	軽石		E6	m1a	595	Ⅲ上部	後期前	53	50	38	31.7				
1576	179	431		不定形	軽石		H5	m2(5)	40	B	前末	60	48	45	(25.3)				
1577	179	431		不定形	軽石		G8	m2下	18	C	中前半	60	44	36	20.1				
1578	179	430	寛永通宝		-		不明	I	1345	-	-	23	23	1	2.3				
2001		432	スクレイパー	A	頁岩	TH-4HP1	-	覆土	15		前末	26	19	7	2.7				中央ピット
2002		432	たたき石	12	安山岩	TH-4HP1	-	覆土	35		前末	110	67	34	370.0				中央ピット
2003		432	スクレイパー	Ax	珪質砂岩	TH-9HP29	G6	覆土	7		前末	(47)	33	8	(16.0)		腹面		中央ピット
2004		432	たたき石	5	チャート	TH-9HP29	G6	覆土	15		前末	105	78	69	840.0				中央ピット
2005		432		5	珪質岩	TH-9HP29	G6	覆土	14		前末	112	78	65	700.0				中央ピット
2006		432	北海道式石冠	7	安山岩	TH-18	K10	床面上	384		前末中初	143	128	58	1320.0				
2007		432	たたき石	9	チャート	TH-19HP29	M11	覆土	13		前末	124	110	63	1200.0				中央ピット
2008		432	すり石	7aⅲ	安山岩	TH-19HP29	M11	覆土	15		前末	(66)	48	30	(100.0)				中央ピット
2009		432	石鏃	F	黒曜石	TH-21HP1	-	覆土	37		前末	(12)	8	4	(0.3)				中央ピット
2010		432	石槍または	G	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	5		前末	(35)	(21)	(8)	(5.9)				中央ピット
2011		432	ナイフ	G	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	30		前末	(44)	(25)	(10)	(9.9)				中央ピット
2012		432	石錐	CⅠ	珪質砂岩	TH-21HP1	-	覆土	33		前末	16	10	6	1.0				中央ピット
2013		432	スクレイパー	A	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	31		前末	53	28	6	8.2				中央ピット
2014		432		A	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	7		前末	(34)	(26)	(12)	(10.8)				中央ピット
2015		432		B	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	32		前末	47	26	8	6.5				中央ピット
2016		432		B	頁岩	TH-21HP1	-	覆土	8		前末	(23)	(18)	(7)	(3.3)				中央ピット
2017		432	たたき石	1 i	チャート	TH-21HP1	-	覆土	16		前末	90	71	40	400.0				中央ピット
2018		432		4	安山岩	TH-21HP1	-	覆土	47		前末	111	80	42	500.0				中央ピット
2019		432		237	礫岩	TH-21HP1	-	覆土	17		前末	95	71	33	320.0				中央ピット
2020		432		9	チャート	TH-22HP1	H8	覆土	71		前末	93	81	38	360.0				中央ピット
2021		432		1	チャート	TH-23HP1	I10	-	23		前末中初	99	62	52	420.0				TH-23(旧)中央ピット
2022		432		1	泥岩	TH-24HP1	-	覆土	11		前末	116	79	46	560.0				中央ピット
2023		433	石核	Ⅱ	頁岩	TH-25HP1	I8	覆土	55		中前	82	46	27	72.9				中央ピット
2024		433	たたき石	1	チャート	TH-25HP1	I9	覆土	41		中前	98	84	46	560.0				中央ピット
2025		433		1	チャート	TH-25HP1	I8	覆土	46		中前	104	59	44	400.0				中央ピット
2026		433		4	安山岩	TH-25HP1	I9	覆土	21		中前	101	74	36	360.0				中央ピット
2027		433		23	凝灰岩	TH-25HP1	I9	覆土	23		中前	116	59	41	320.0				中央ピット
2028		433		342	砂岩	TH-25HP1	I8	覆土	51		中前	144	88	52	767.0				中央ピット
2029		433	すり石	1aⅱ	安山岩	TH-25HP1	I9	覆土	50		中前	126	82	35	519.0				中央ピット
2030		433	[illegible]		白色泥岩	TH-25HP1	I9	覆土	24		中前	328	92	52	1420.0				中央ピット
2031		433	スクレイパー	ABy	頁岩	TH-28HP1	G10	覆土	9		中前	40	25	17	15.0				中央ピット
2032		433	石核	Ⅱ	頁岩	TH-28HP1	H9	覆土	4		中前	64	47	22	66.3				中央ピット
2033		433	たたき石	1	チャート	TH-28HP1	H9	覆土	21		中前	117	67	66	627.6				中央ピット
2034		433		1	チャート	TH-28HP1 TH-28HP1	G9 H9	覆土 覆土	19 20		中前 中前	83	69	69	537.0				左破片(300g) 右破片(237g) 中央ピット
2035		433		11b	チャート	TH-28HP1	H9	覆土	12		中前	94	75	57	580.0				中央ピット
2036		434		12	玄武岩	TH-28HP1	G9	覆土	15		中前	141	68	34	520.0				中央ピット
2037		434		14	安山岩	TH-28HP1	G9	覆土	17		中前	80	63	35	240.0				中央ピット
2038		434		5	チャート	TH-28HP1	H9	覆土	13		中前	73	58	57	282.7				中央ピット
2039		434		123	安山岩？	TH-28HP1	G9	覆土	16		中前	150	77	37	600.0				中央ピット
2040		434	スクレイパー	B	珪質砂岩	TH-35HP7	-	覆土	7		中前半	63	41	8	23.6				中央ピット
2041		434	たたき石	6	頁岩	TH-35HP7	-	覆土	8		中前半	70	56	35	108.5				中央ピット
2042		434		127	片麻岩	TH-35HP7	-	覆土	14		中前半	(100)	(116)	50	(680.0)				中央ピット
2043		434	北海道式石冠	2b4aⅱロ	安山岩	TH-35HP7	F7	覆土	5		中前半	132	98	66	990.0		A		中央ピット
2044		434	たたき石	1	粘板岩	TH-47HP12	H6	覆土	13		中前	148	(66)	55	(640.0)				

表Ⅵ－７　掲載石器・石製品等一覧（17）

掲載番号	図番号	図版番号	分類	細別	石材	遺構名	調査区名	層位	遺物番号	覆土区分	時期	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	アスファルト	光沢（剥片石器石斧）／すり面傾き（北海道式石冠）	摩耗（剥片石器石斧）／すり面（礫石器）	備考
2045		434	台石石皿	Ad	砂岩	TH-4	-	床	1168		前末	310	258	108	12500.0				床面据え付け、すり面径5cm
2046		434		Eb3	安山岩	TH-4HP1	-	覆土	26		前末	(230)	(106)	(66)	(1900.0)				中央ピット、被熱
2047		434		A3a	花崗岩	TH-4HP1	-	覆土	27		前末	320	180	110	(6800.0)				中央ピット
2048		434		AB3b	安山岩	TH-5	-	床	1195		前末	297	230	106	10000.0				床面据え付け、すり面18×9cm
2049		435		C2	砂岩	TH-16	-	床	34		後期前	315	200	80	6500.0				
2050		435		Eb3両面	安山岩	TH-17HP1	-	-	1		前末中中	308	(173)	96	(8500.0)				中央ピット、被熱、すり面16×6cm
2051		435		Ea2a両面	普通角閃石岩	TH-18	K10	床直上	385		前末中初	(167)	(150)	(57)	(2560.0)				
2052		435		B2b	花崗岩	TH-19	-	床	83			292	282	120	18500.0				床面据え付け、すり面14×19cm
2053		435		AB3b	安山岩	TH-19	-	床	87			313	220	100	8000.0				床面据え付け、すり面15×10cm
2054		435		C3	安山岩	TH-19	-	床	86			352	317	86	14500.0				床面据え付け
2055		435		Eb3/Eb23	安山岩	TH-54 TH-54	J2 J2	床面 覆土下	834 826	 A·B·覆土下	前末 前末	(303)	(192)	(64)	(3557.0)				左破片(2600g) 右2破片(957g)
2056		435		C3	安山岩	TH-54	J2	床面	832		前末	415	319	108	21100.0				
2057		436	石斧原材		凝灰岩	TP-46	D10	覆土	47		中前	238	141	45	1500.0				
2058		436	礫		凝灰岩	TP-46	D10	覆土	42		中前	238	(144)	50	(1600.0)				
2059		436	石斧原材		凝灰岩	TP-66	D10	覆土	41		中前	465	230	55	4780.0				
2060		436	礫		玄武岩	TP-73	E5	覆土	15		前末	175	76	17	274.0				
2061		436			泥岩	TP-73	E5	覆土	13		前末	141	80	30	272.0				
2062		436			砂岩	TP-73	E5	覆土	3		前末	-	-	-	37.3				
2063		436			泥岩	TP-73	E5	覆土	4		前末	-	-	-	2.4				
2064		436			凝灰岩	TP-73	E5	覆土	5		前末	-	-	-	28.4				
2065		437	剥片		頁岩	TP-82	-	覆土	7		前末	31	20	3	1.3				
2066		437			頁岩	TP-82	-	覆土	8		前末	23	19	2	0.7				
2067		437			黒曜石	TP-82	-	覆土	9		前末	29	28	11	7.4				
2068		437	石核		珪質砂岩	TP-119	-	覆土	6		中·後期	112	59	52	261.5				
2069		437	たたき石	1	チャート	TP-119	E5	覆土	18		中·後期	116	80	52	666.5				
2070		437		134	砂岩	TP-119	E5	覆土	11		中·後期	116	80	46	640.0				
2071		437		237	ホルンフェルス	TP-119	E5	覆土	13		中·後期	92	61	22	200.0				
2072		437	扁平打製石器	ⅡDF2	安山岩	TP-119	E5	覆土	12		中·後期	147	101	27	400.0				
2073		437	北海道式石冠	1c ii イ	閃緑岩	TP-119	E5	覆土	4		中·後期	121	103	64	1081.0		B		
2074		437		1c ii ロ	玄武岩	TP-119	-	覆土	9		中·後期	130	88	58	928.5		A		
2075		435	台石石皿	D2	安山岩	TP-7	M11	床面	12		前末	311	155	78	4540.0				
2076		437		B15a	安山岩	TP-46	F10	覆土	27		後期前	318	222	103	10500.0				すり面29×19cm
2077		437		B2a	閃緑岩	TP-46	F9	覆土	28		後期前	305	212	115	9500.0				すり面17×12cm
2078		437		B2a	花崗岩	TP-134	D10	覆土	19		中前	288	247	79	(10500.0)				
2079		438	スクレイパー	A-BD①	頁岩		不明	排土	68	-	-	103	76	26	188.0			腹面刃部	刃縁に直交する線条痕
2080		438 213	すり石	3	安山岩		E2	m2(4)	297	B	中前	127	78	42	648.5				Ⅸ章(10)№76
2081		438 440		5	玄武岩	TH-2 	- G4	覆土1 m2(6)	377 549	B·C B	中前半 前末	170	73	28	440.0			Ⅳ Ⅲ	左破片(260g) 右破片(180g) 割れ面にすり面あり
2082		438 213	扁平打製石器	Ⅰ1	玄武岩		G7	m2下	16	C	中前半	155	80	33	418.0				Ⅸ章(10)№79
2083		438 213		Ⅱ1	普通角閃石岩	TH-4	M9	覆土2	374		前末	177	85	42	993.0				Ⅸ章(10)№74
2084		438 213		Ⅱ2	安山岩		E4	m2下	53	A·B	前末中初	130	68	31	422.0				Ⅸ章(10)№78
2085		438 213		Ⅱ2	安山岩	TH-18	L9	覆土1	403	C·覆土下	前末中前	108	80	30	320.0				Ⅸ章(10)№75
2086		438 440		Ⅱ1	安山岩	TH-4 TH-4	L8 -	覆土2 覆土2	1249 1351		前末 前末	152	67	15	238.0			Ⅲ	左破片(130g) 右破片(108g) 割れ面にすり面あり
2087		438 440		Ⅷ or Ⅲ	頁岩		C7	m2下	121	C·Ⅲ上部	中·後期	(94)	76	47	(440.0)			Ⅳ	割れ面にすり面あり
2088		438		Ⅷ or Ⅲ	凝灰岩		H8	m2	33	C	中前半	(120)	80	26	(196.0)				上下辺使用、線刻あり
2089		438	球状礫		玄武岩		E3	m2下	12	A·B	前末	22	21	20	10.7				
2090		438			白色泥岩	TH-4	N9	覆土1	16	B	前末中前	28	27	24	21.0				
2091		438			不明		D3	m2(5)以下	19	A·B	前末	26	25	23	30.4				鉄分付着著しい
2092		438			不明		D3	m3上	18	A	前末	24	23	22	20.9				鉄分付着著しい
2093		438			花崗岩		J6	撹乱	579	-	-	41	37	35	70.0				
2094		438			凝灰岩	TH-2	-	覆土2	302		前末中初	52	47	46	100.0				
2095		438			安山岩		G6	m2(2)	608	C	中前半	53	48	43	138.0				
2096		212 439	剥片		滑石	TH-17	L4	覆土	232	A·B·覆土下	前末中初	34	25	8	5.9				Ⅸ章(10)№65
2097		212 439			滑石		L6	掘上土	182	P	前末	36	14	6	3.6				Ⅸ章(10)№67
2098		212 439			滑石		K6	m2(2)～(6)	132	A·B	前末	18	9	3	0.8				Ⅸ章(10)№66
2099		212 439	原石		滑石		G6	m2下	50	C	中前	136	93	29	438.0				Ⅸ章(10)№69
2100		212 439			玉髄	TP-59	F5	-	47		中前	70	65	46	290.0				Ⅸ章(10)№68
2101		439	石棒	E	安山岩		I5	m2	631	B	前末中初	369	175	123	11800.0				被熱、端部に敲打痕
2102		439		E	花崗岩		E5	m2下	383	A·B	前末中初	441	151	140	12600.0				剥落著しい
2103		439		E	安山岩	TH-17	K5	覆土	443	A·B·覆土下	前末中初	342	180	106	15500.0				被熱
2104		439		E	安山岩	(TH-58) (TH-58)	F1 F1	覆土下 覆土下	844 871	B·C' B·C'	中前 中前	325	120	101	5500.0				上破片(3400g) 下破片(2100g)
2105		439		E	花崗岩	配石列1	D8	m1a	98	Ⅲ上部	後期前	244	75	52	1220.0				
2106		439	スコリア礫		スコリア	TH-7	D4	覆土中	1150	D·Ⅲ上部·覆土下	後期前	315	280	164	5500.0				
2107		228	スクレイパー	E	頁岩	TH-23	L9	覆土2	57	C·覆土下	前末中初	(26)	22	7	(3.2)				魚類椎骨化石含む
2108		229	石核		頁岩		C4	m2下	379	B·C	中前半	163	149	79	1767.0				ツノガイ?化石含む
2109		229	剥片		泥岩		F1	m2(2)	303	C'	中前半	65	54	10	35.4				マキヤマ·チラニィ?化石含む
2110		230	扁平打製石器	Ⅵ	頁岩(層理)		E1	m2下	65	B	前末中初	206	99	14	374.0				葉化石多数含む
2111		230	剥片		泥岩	TH-44	-	覆土	272	B·C·覆土下	中前	43	34	5	8.2				葉化石含む
2112		230			泥岩	TH-14	M3	覆土	1177	A·覆土下	前末	54	32	6	12.1				葉化石含む
2113		230			頁岩(層理)	竪壕跡	D6	覆土	226	-	-	33	18	3	2.2				葉化石含む
2114		230	扁平打製石器	Ⅵ	頁岩(層理)	(TH-63)	H2	覆土中	1072	B	中初	92	(81)	12	(126.5)				葉化石含む

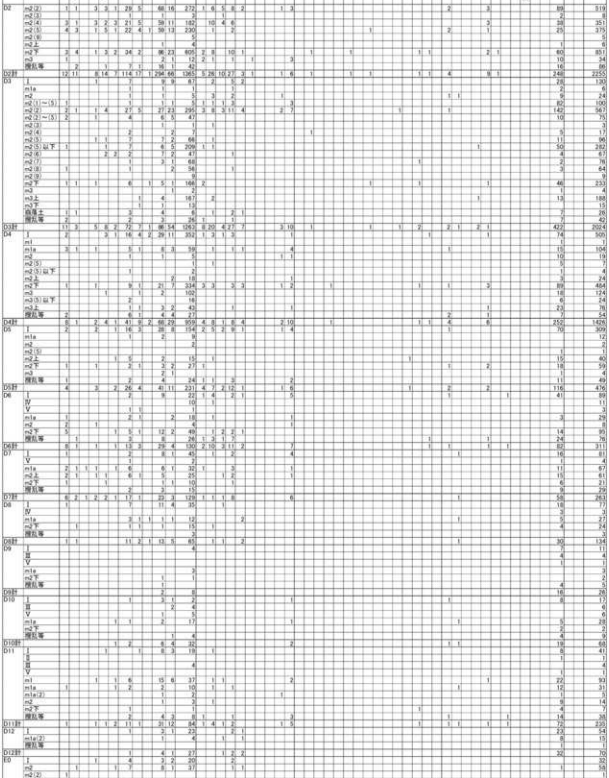
表Ⅵ－８　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（１）

調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石皿	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	アスファルト付着礫	顔料原材?	マンガンっ礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
B3	攪乱等																																																		2			2
B4	Ⅰ											3		1		1																												1							11			17
	m1																																																		2			2
	m2(4)												1																																									1
	m2(6)							4			5		18				2																																7			36
	攪乱等							1			4		7	1			1																																13			27
B4計								5			9		29	1	1		4																												1							33			83
B5	Ⅰ										2		1																																							1			4
	Ⅳ										1		1																																										2
	m1	1						3	1				14										1																												2			22
	m2					2		3			1		31		1	1	1																																4			44
	m2(4)												1																																					7			8
	攪乱等							2	1		3	4	20					1					1																												9			41
B5計		1				2		8	2		7	4	68		1	1	1	1					2																												23			121
B6	Ⅰ										5	1	15				2					1																												7			31
	m1										1	1	3	1																																					5			11
	m1a							1			3	1	10																																								15
	攪乱等													1																																				2			3
B6計								1			9	3	28	1	1		2					1																												14			60
B7	Ⅰ	1							1		4		6																																								12
	m1							1					3																																					1			5
	m1a										1		3																																								4
	攪乱等																																																		1			1
B7計		1						1	1		5		12																																					2			22
B8	Ⅰ										1					1																																				2			4
	攪乱等																																						1													1			2
B8計											1					1																						1													3			6
B9	Ⅰ							1			1	3	2																																								7
	m1a										2		1																																					1			4
	m2																						1																												1			2
	攪乱等																						1																												1			2
B9計								1			3	3	3										2																												3			15
B10	Ⅰ							2			13	3	13			1																										1										16			49
	m1a					1			1		14	2	25		1													1																									13			58
	m1a(2)							1																																															1
	m2																						1																																1
	(TH-65)覆土	3			1			2	1		9	1	13		3	3	3							2														1														5			47
	攪乱等										2	1	1			2	1																																			11			18
B10計		3			1	1		5	2		38	7	52		4	6	4							3				1										1			1										45			174
B11	Ⅰ	2						5	2		28	6	43	2	4		2					1																			1	1	1									15			113
	Ⅳ																1																																								1
	m1a	2			2			2	1		42	15	152		9	8	3					1	7																		1	1			1							58			303
	m1a(2)												1		5	2	2					1			1															1														14			27
	m2										1			1																																									2
	(TH-60)覆土	3						2			21	4	57	1										1																				1										10			100
	(TH-65)覆土	1											1																																									2
	(TH-65)覆土上	1																																																			1
	攪乱等										7		10																																							4			21
B11計		9			2			9	3		99	25	264	4	18	10	8					3	8		1																2	2	1		1							99			570
B12	Ⅰ							2			13	1	19		2	1	1																																			10			49
	m1	2									3		17	1	1																																					7			31
	m1a	1	1					2			13	1	42			2	1																																			15			78
	m1a(2)	1				1	1	1	3		12	2	78	1	1	4	4	2					1															1													20			133
	(TH-60)覆土	1	1			1	1	7			21	8	33	4	3	3	2	1			1		2											1						1													20			111
	(TH-60)覆土上	2						3	1		5	1	16										1																												3			32
	(TH-60)覆土下	3			2			2			5		38	1	3	3	1							3																												16			77
	(TH-65)覆土										1		4					1																																				2			8
	(TH-65)覆土上										3	2	4		1		2																																			2			14
	攪乱等	1						3			7	3	29		2	1	2							2																												9			59
B12計		11	2		2	2	2	20	4		83	18	280	7	13	14	13	4			1		9										1					1	1												104			592
B13	m2																						1																												1			2
	斜面											1	3																																					1			5
	(TH-60)覆土上															1																																								1
B13計											1	3			1						1																												2			8
C0	Ⅰ	1						2			2	1	16				2																										1							10			35
	m2										1		4																																					1			6
	m2(2)	1				1	2	13	2		40	5	153		1	1	6	1																																	25			251
	m2(4)							3	1		37	3	137		1	1																					1													5			189
	m2(5)		1					9	3		29		112	1	1																						1														1			158
	攪乱等	2					2	18	1	1	26	5	55		3	3	3	1					1																	1												21			143
C0計		4	1			1	4	45	7	1	135	14	477	1	6	5	11	2					1														1	1	1					1							63			782
C1	Ⅰ							1			2		2				1																																			4			10
	Ⅱ										1		1																																					4			6
	m2								1		1		9			1																																				3			15
	m2(2)	1					2	17	1		36	6	120		2		2					1																		1												22			211
	m2(3)							1	1		5	1	4				1																												1							2			16
	m2(4)	3	2		2	5	1	10	2		57	14	274	2	5	1	10	1	1											1								1																18			410
	m2(5)	1	1			3		9	1		24	3	229	1			1																						1						1							8			283
	m2(9)	1			1	2		7	2		41	5	231		1		2																																	13			306
	m2(12)					3		1			14	2	45		1														1																			1							5			73
	m3							4			3		22																																								29
	攪乱等	2				1	1	4			6	2	14		2			1																																21			54
C1計		8	3		3	14	4	54	8		190	33	951	3	11	2	17	2	1			1						2									1	1		1				3							100			1412
C2	Ⅰ	1						1	1		11	1	20			1	3																						1												10			50
	m2												4																																										4
	m2(2)	4	3		3	1	1	20	1		33	6	100	2	8	8	7	2					5																		1				1	1						30			237
	m2(3)							2			3	1	7		1			1																																	1			16
	m2(4)	2	1			1	1	12	4		23	2	85		1		2	1																										2							9			146
	m2(5)	1	1			2		5	1		10	1	74		3	1	2	1																																	4			106
	m2(6)				1			4	2		5	1	15																							1																2			31
	m2(7)							1			13	2	44	1	1																												1							4			67
	m2(8)		3			1		1			18	5	243																									1												3			275
	m2(9)											2	42																																					1			45
	m2下					1		2			1	1	113		1	1																																		3			123
	m3											2	12		1																							1																		16
	攪乱等	1				1		7			13	3	41				2																								1										19			88
C2計		9	8		4	7	2	55	9		130	27	800	3	16	11	16	5					5														2			3	1			4	1						86			1204
C3	Ⅰ	2						1	1		4	1	28		1	1	1	1					1																		1				1						1	23			68
	m1							4	1		4	6	49		1		3							2																										1							12			83
	m1a										1		4				1																																								6
	m2	2						7	2	1	10	8	138	1	1		3							1																												77			252
	m2(1)～(5)										1		4	1			1	1					1													1																				24			34
	m2(2)							1			3	2	15		3	1	3				1		2																												21			52
	m2(2)～(5)						1	4			6	3	46																																								60
	m2(3)	7			1			12	2		11	12	130	1	7		5	2				1	2																		1				1							55			250
	m2(4)	1					1	1	1	2	16	3	106		3			2					1																		1												26			164
	m2(5)	1				2		8	1		6	3	140		2		1					1									1												1	1						44			212
	m2(6)	1									5		15																																								21
	m2(7)				1	3		1			8	1	74				1																									1												2			92
	m2(8)	1									4		17706																																						4			17715
	m2上																																																		1			1
	m2下							2		1	9	3	35		3	1																																			13			67
	m3							1			1	1	35		1																																				6			45
	m3上							2					114										1																																117

表Ⅵ－8　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（2）

調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石鋸	礫器	石皿	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	アスファルト付着礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
C3	m3下											1	1																																								2
	崩落土					1		6			4	2	40		3		4						2	1															1											24			90
	撹乱等	1	1					2				1	15	1	2	2	3						1																											12			41
C3計		17	1		2	6	2	54	8	4	30	47	18695	4	27	5	28	6			1	2	14	1							1				1				4	1			4	1					1	344			19372
C1～C3	m2(5)以下							1			1	2	33																																								37
C4	I	1						7	1		16	6	144		3	1	1																																	29			209
	m1				1			6			3	1	13			2							1																											18			45
	m1a	2	1		1			9			10	5	26		4	2	5	2					1																	1										25			94
	m2											1																																									1
	m2(1)～(5)														1		1																																	8			10
	m2(2)							1				1																																						1			3
	m2(2)～(5)										1		2																																								3
	m2(4)							1			1		10																																					1			13
	m2(6)				1			2			2		9				1						2																											13			30
	m2上	1				2					2	3	29		3	1	2						1													1				2									1	31			79
	m2下	6						16	3		18	12	341	1	1		3	2				1	2										1																	68			475
	m3					2							141																											1										2			146
	m3上					1	1						6		1	1																																		4			14
	m3下																																																	2			2
	撹乱等	2											3			1	3	4				1	3																											7			24
C4計		12	1		3	5	1	42	4		53	29	724	1	13	6	16	8				2	10										1			1				4									1	209			1148
C5	I												6																										1														7
	IV										1		3																																								4
	m							1																																													1
	m1							8		1	8	2	33		3		3	2	1				2																					1						28			92
	m1a		1								2		5					1																																1			10
	m2	4						5	1		13	1	58				1						1																											11			93
	m2(2)											1																																									1
	m2(5)							1				1	7																																					1			10
	m2上												3																																								3
	m2下	2				1	1	9	1		5	3	87		5	1	1																						1	1					1					20			139
	撹乱等	1			1			4	1	1	10	11	83	2	1	1	2																				1		1	2								1		40			163
C5計		7	1		1	1	1	26	3	2	39	19	283	2	9	2	7	3	1				3														1		3	3				1	1			1		101			523
C6	I							3	1		16	4	41		2		3		1																					1										33			105
	m1							1			1		3	1																																				3			9
	m1a上面											2	1		1																																						4
	m1a							9			4	3	45	1	1								1																											7			71
	m2																1																																	15			16
	m2上							1					3				1																								1									6			12
	m2下	7				1		6	1		17	2	45	1			2					1	1													1				1			1							32			119
	撹乱等	4				2		4			8	1	17		1		2																																	13			52
C6計		11				3		24	2		46	12	155	3	5		9		1			1	2													1				2	1		1							109			388
C7	I	2						10			9	6	46			1																								1										23			98
	IV																																																	3			3
	m1a					1		4		1	6	2	42		1	1	4						2																1											13			78
	m2							2					4																																								6
	m2(2)～(5)							1					1																																								2
	m2上							2					3		1	1																																		6			13
	m2下	1					1	2			1		14		2		2																																	15			38
	撹乱等										1		18				1																																	1			21
C7計		3				1	1	21		1	17	8	128		4	3	7						2																1	1										61			259
C8	I							1			3	2	33			1																													1					15			56
	m1a										1																																										1
	m2下												3																																					1			4
	撹乱等				1			1			2	1	4																																								9
C8計					1			2			6	3	40			1																													1					16			70
C9	I							1			3	1	33			1	2	1																					1											24			67
	III												1																																					1			2
	m2												1																																					2			3
	m2上										1	1	51																																								53
	撹乱等										1	3	12		1																																			15			32
C9計								1			5	5	98		1	1	2	1																					1											42			157
C10	I							3			11	2	15			2																																		4			37
	III											2						1																																1			4
	m1a	1					1	2			6	4	23		4	3							2																1											12			59
	m2(2)	1																																																			1
	(TH-65)覆土				1			1			6		5		1	2						1	1																											10			28
	撹乱等								1		9	2	16			1	1																																	12			42
C10計		2			1		1	6	1		32	10	59		5	8	1	1				1	3																1											39			171
C11	I		1					2	1		17	4	35	1		1						1																												10			73
	m1							2			5	1	19															1												1										5			34
	m1a	3			2	1	1	6			61	4	87	2	10	8	1			1		2	1																1				2		1					69			263
	m1a(3)					1		2					4		1																																			2			10
	(TH-60)覆土																																																	1			1
	撹乱等							1			2	2	7		1		1	3															1																	10			28
C11計		3	1		2	2	1	13	1		85	11	152	3	12	9	2	3		1		3	1					1					1						1	1			2		1					97			409
C12	I							1			9	3	11										2																											9			35
	m1(2)		1																																																		1
	m1a	3						3	1		29	6	67		1	5	1			1																1				1			1							34			154
	m1a(2)	1					1	3	2		17	1	68	1	2	3	3	1					2																		1									22			128
	m2				1			1			3		17			1																																		7			30
	(TH-60)覆土	4				1		4	1		12	4	64		4	1	7	1					1																											16			120
	(TH-60)覆土上							2			5	1	35																																								43
	(TH-60)覆土下										1		2																																					1			4
	(TH-60)床面														1																																						1
	撹乱等	1						1			6	2	20		1		1																																	6			38
C12計		9	1		1	1	1	15	4		82	17	284	1	9	10	12	2		1			5													1				1	1		1							95			554
C13	m1a							1			2		7			3																																		1			14
	m2	2						3	1		9		23		1	1		1					2																											5			46
	斜面																																																	1			1
	(TH-60)覆土	1																																																			1
	(TH-60)覆土上													2		1	1	1																																2			7
	(TH-60)覆土下	2	1					5			15	2	64		2	1	1																										1							6			100
C13計		5	1					9	1		26	2	94	2	3	6	2	2					2																				1							15			171
D0	I					1		3			3		12																																					2			21
	m2										1	1	7																																								9
	m2(2)	1						8	1	1	12	3	80	1		3	3																										1							10			124
	m2(3)	1					1	7			5		37																																					1			52
	m2(4)							5			5		31		1		1					2																					1							6			52
	m2上					2	1	19			14	3	39	1			6																				1						1							7			94
	m2下	1	1			3		15			22	6	157		2	2	3					2	1		1														1				1							10			228
	m3												1																																								1
	撹乱等	2						12	4		4	3	72		4	2	6	1					1																1											22			134
D0計		5	1			6	2	69	5	1	66	16	436	2	7	7	19	1				4	2		1												1		2				4							58			715
D1	m2(2)	6	3		2	1		27	1	1	70	14	184	2	5	3	9	1					1									1																		46			377
	m2(4)	9	10		2	13	5	76	8		195	34	613	2	6	6	12	2			1	1									1			1					1	1			6	2						164			1171
	m2(5)	4	1		2	2		9	4		39	4	124		1		2		1																	2			1				1	1	1					21			220
	m2上					1		1			1	2	5										1																											1			12
	m2下	9	4		3	12	1	60	7		164	21	1162	3	4	4	9	2				3			1											3				1			3	8		1				79			1564
	m3	2			1	1		4	1		20		86			1	1				1																		1											4			123
	撹乱等	1			2	1		4			42	4	75	1			1																																	7			138
D1計		31	18		12	31	6	181	21	1	531	79	2249	8	16	14	34	5	1		2	4	2		1						1	1		1		5			3	2			10	11	1	1				322			3605
D2	I										1	1	1																																								3
	m2										1		9																																					7			17

表Ⅵ－８　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（３）



表Ⅵ－8　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（4）

調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	アスファルト付着礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
E1	m2下				1	5		18	1		49	4	190	3	4	4	10	1				1												1									1							27			320
	m3						1	1			1		13																																				1			17
	(TH-63)覆土										2		10				1																																1			14
	(TH-63)覆土下				1	2	1	15			35	9	128												1						1					1				1				3						2			202
	撹乱等	4	1		1	2	2	11	5	1	39	10	87		4	3	10					1	1																											32			214
E1計		25	12		15	19	13	174	18	2	415	105	1423	9	39	23	80	7				4	1		1						3			2		1			4	2			7	6						328			2738
E2	m2	1									3		1																																								5
	m2(2)	11	1		2	2	1	20	4	1	40	11	294	2	7	4	10	4					1																				1							42			466
	m2(3)	1						3					13									1	1																											1			20
	m2(4)	10	7		2	3	3	58	1		121	31	603	3	15	10	16	1				4	3													1														187			1079
	m2(5)	8	6		7	15	3	59	6		216	25	768	2	5	1	18					3	1		3											1			2				2	2						71			1224
	m2(7)						1			6	1	10																																									18
	m2(8)					1				7		2																																									10
	m2(9)											10																																									10
	m2下	3	2			4	2	14	5		105	16	776	4	1	2	3		1				1		1											2	1			2			1	1						11			958
	m3									5		12																																						1			18
	(TH-63)覆土下						1																																														1
	(TP-124)覆土						4			5	1					1																																	1			12
	撹乱等	5	1		1			11	3	1	32	3	94		3		3						1																											14			172
E2計		39	17		12	24	10	171	19	2	548	88	2583	11	31	17	51	5	1			8	8		4											4	1		2	2			4	3						328			3993
E3	I						3			8	3	34			1																																		3			52
	m2	1	2		2	1		14	2		13	9	473		3		5	3				2	3													1							1							71			606
	m2(1)～(5)															1																																11			12
	m2(2)	4	3			3	2	14			45	4	351	1	6	2	3						1	1	1															1				1							75			318
	m2(2)～(5)						4			2		13																																					13			32
	m2(3)						4	2		9		47				2																																	6			70
	m2(4)	1						4	2		17	4	31	1		2																																		9			71
	m2(5)	3	2		3	7	2	29	6		107	9	305	1	2		1													1						1								1						40			520
	m2(5)以下											111				1																																3			115
	m2(6)									1		3																																					1			5
	m2(7)									1		21		1																												1							3			27
	m2(8)									7	2	171																																							180
	m2(9)						1			6	2	16																																							25
	m2上				1	1		6			8	1	85		2	2	2	3																							1									50			162
	m2下	1			1		1	6	1		10	2	176		1		1	1																								1								5			207
	m3	1	1			2		5	1		8	2	358		2		1																									1	1						8			391
	m3上					1							21	1	2		1					1																											8			35
	崩落土					1	1	4			5		11		2		1													1																				4			30
	撹乱等	3			1	1		7	1		10	1	32		3		6		1																	1														30			97
E3計		14	8		8	17	6	101	15		257	39	2259	4	24	7	25	7	1			2	5	1	1					2						3			1		1	1	4	2						340			3155
E3～4	m2(2)						2			1		1																																					3			7
E4	I	3	1		1	1		10	2	1	12	5	61			1	1																				2			1										23			125
	m1a				1			5	1		4	1	44	1																																						57
	m2	4					1	3			4		25																																				2			39
	m2(2)	1						4			6	2	19		2		3	3																		1														7			48
	m2(3)												3																																							3
	m2(5)												1										1																													2
	m2(5)以下					1					1	1	11		1																																			5			20
	m2上	5	1			3	1	22	3		13	11	196	1	3	5	9	5				6	4								1									1				1						195			486
	m2下	4	1		1	9	2	49	8		66	20	838	4	7	4	15	3				1	2		1																		1	1						269			1306
	m3					1		3					17		1																																			8			30
	m3上	2						1					40	2																																				5			50
E4計		19	3		3	15	4	97	14	1	106	40	1255	8	14	10	28	11				7	7		1						1						1	2			2			1	2						514			2166
E5	I	6						26	1	1	27	15	145		5		3	1	1									1							1					1	2			1							33			270
	m1	1									1		2		1								2																															7
	m1a	5			1			11	2		5	12	124			3	7		1				1																											31			203
	m2	1									1		1																																					1			4
	m2上	4	2		1			20	4		25	16	411		8	3	6	2					4															1							2		1					87			597
	m2下	2	1		3	1	1	13	1		6	8	175	1		1	2						2												1									2							58			278
	m3上												2																																							2
E5計		19	3		5	1	1	70	8	1	65	51	860	1	14	7	18	3	2				9					1						1	1	1			1	2			5		1					210			1361
E6	I	1						3			5	7	33	1	1								2																		1										22			76
	m1	7	1		2	2	1	12	1		22	14	121	3	2	2	5	2					3								1								1				3							28			233
	m1a	6			3		1	26	1		18	11	176	1	4	2	1		1		1	3	6													1														28			290
	m2							2					5																																					1			8
	m2(2)																																																	2			2
	m2上	2	2		2			11			5	5	60		4	4	2					1	1												1															38			138
	m2下	3			1	1		17	2		17	16	204	3	1	1	5					1	1									1											1							56			331
	撹乱等		1					3			2	1	20			1																																		2			30
E6計		19	4		8	3	2	74	4		69	54	819	8	12	10	13	2	1		1	5	13								1	1			1	1			1	1			4							177			1108
E7	I	1						4	2		11	4	70	2	1	1	1	1				2																												24			124
	m1						1			4		18	1	2								1																											9			36
	m1a	1			1			8			13	3	35		1																																			11			73
	m2										2		10	1																																				1			14
	m2(2)															2																																4			6
	m2上	1					1	2			8	2	26		1		1					1	1										1																		12			57
	m2下	7						10	2		12	9	360		4		3	1					2																1					3							41			483
	撹乱等										1	2	38																																					7			48
E7計		10			1		1	25	4		51	20	565	4	9	1	7	2				3	4										1						1					3							109			821
E8	I	3	1		1	1	1	4			9	3	36			1						1	1																	1			1							16			80
	m1a				1		1	2			7	1	36		1																																			5			54
	m2							2			4		12										1																											1			20
	m2上	1						4		2	8	6	49	2	1		3																1										2							38			117
	m2下	1	2			1		3			1	2	31																																					14			55
	撹乱等		1					1					3																																							5
E8計		5	4		2	2	2	16		2	29	12	167	2	2	1	3					1	2										1							1			3							74			331
E9	I							1			6	2	25															1																						4			39
	m1a	2						4			12	2	78		1																									1										4			104
	m2上												3																																							3
	m2下							1			1	1	20				3																																	16			42
	撹乱等							2			1		26	1																																				5			35
E9計		2						8			20	5	152	1	1		3											1												1										29			223
E10	I										3	2	1																																					2			8
	II																																									1										1
	III												4																																				1			5
	m1						1				1	5										1																											2			10
	m1a									5		25				1																																	4			35
	m2												2																																				3			5
	撹乱等										2		2																																					4			8
E10計								1			10	3	39				1						1																				1							16			72
E11	I							1			5	2	182																											1										10			201
	II												6																																							6
	III												6																																				1			7
	IV		1								1		6																																							8
	m1							1				2	4																																				1			8
	m1a							3				1	34	1									1																											3			43
	m2												1				1																																			2
	m2下	1										2	127																																				11			141
	撹乱等												5		1																																					6
E11計		1	1					5			6	7	371	1	1		1						1																	1										26			422
E12	I															1																																1			2
	IV												2																																							2
	m1a												1	1		1	1																																1			5
	m1a(2)							1							1																																		1			3

表Ⅵ－８　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（５）

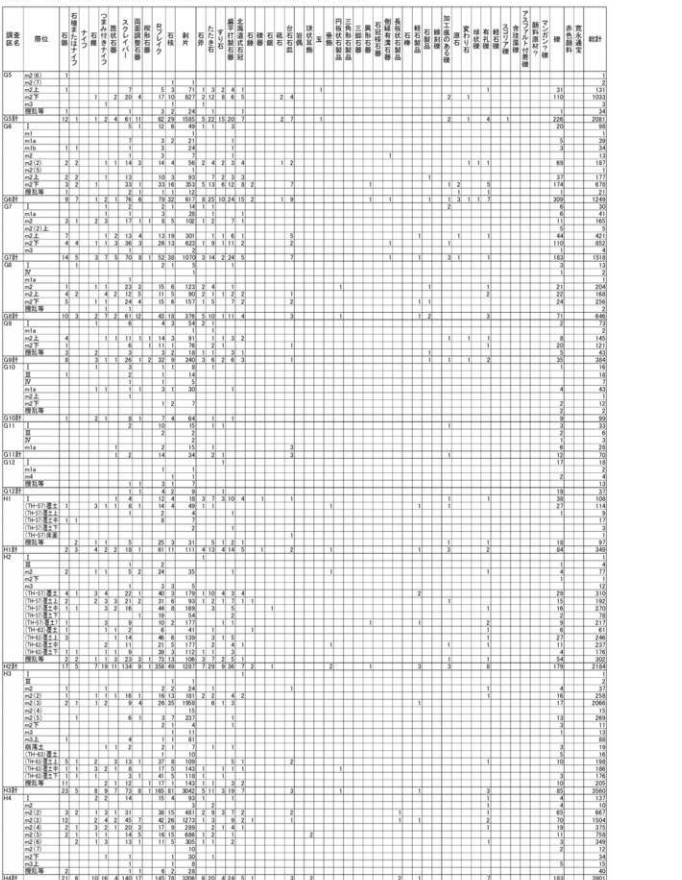
調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石皿	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	アスファルト付着礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
E12計								1					3	1	1	2	1																																	3			12
F0	Ⅰ					1																																															1
	m												2																																								2
	m2上					1		1			3	1	10																																				2			18
	m2中							2			2		14																																				12			30
F0計						2		3			5	1	26																																				14			51
F1	Ⅰ					1						4		7		7	1	4																																35			59
	Ⅲ							1					5																							1																			7
	m2(2)	4				3	1	29	1	1	66	9	163	1	11		6	2				1																						2							22			322
	m2(3)																																																		1			1
	m2(4)	8	1			5	1	24	2		44	6	203	1	3	1	8	1													4						1		1				3							28			345
	m2(5)	1				1		4	2	2	10	1	44		1	2	1																							1										5			75
	m2下													1	1	2																																		1			5
	m3										6		17																																							23
	(TH-58)覆土																	1																		1														2			4
	(TH-58)覆土上	6				1	2	16	1		17	4	114	1	2		2																							2										18			186
	(TH-58)覆土下	8	6		1	5	6	50	1		86	30	326	2	9	1	24	4				1	6												2			1	1				3							88			661
	(TH-63)覆土																																																		1			1
	(TH-63)覆土上	2	1					5	1		3	1	9				1																																				23
	(TH-63)覆土中	2						3			4	1	11	1	2		5																			2							1										32
	(TH-63)覆土下							1	1		2		2				1																											1						5			13
	(TH-63)覆土最下				1	2		2			12	4	56		1	1	1	1																	1					1										18			101
	撹乱等							10	1		27	10	34	1	15	8	10	1					4																	2								1			45			169
F1計		31	8		2	18	10	145	10	3	281	66	991	8	52	16	63	10				2	10								4				3	4	1	1	4	4			9	1			1			269			2027
F2	Ⅲ		1			1							4																																								6
	m2	1	3		2	6		25			58	14	389	1	1	2	3				2				2											1				1			4							7			522
	m2(2)	3	1		1	1	3	18	2		31	7	128	2			2						1																				1							15			216
	m2(2)上												1		2		1																							2			1							4			11
	m2(2)下							2	1				2				1	1																															11			18
	m2(3)												1																																								1
	m2(4)	10				2		31	2		58	10	192	3	3	1	11	5				5	2																1					2						70			408
	m2(5)		1			1	1	2			3		35																													1							1			45
	m2(6)				1						1	1	6																																							9
	m2(7)				1	1	1	4			28	3	133																													1		1					1			174
	m2(8)					1		4			31	3	575												1																								1			616
	m2(9)							2			8	1	72																																			2			85
	m2上	4			2	1	1	16			39	6	111	1	3		4														1												1							36			228
	m2下	7	1		1	9	1	21	3		63	6	355	2	5	1	7						1													2			2				2			1				24			516
	m3							1			2		20									1																											1			25
	(TH-58)覆土																																	1																1			2
	(TH-58)覆土上												8																																							8
	(TH-58)覆土下										1																																									1
	(TH-63)覆土上	4	3			1	2	21			40	3	128	2																																			5			212
	(TH-63)覆土中	9	4		3	3	2	26	1		37	6	165		2	2	6	2				1																					1							46			316
	(TH-63)覆土下	8	6		4	8	1	30	3		56	9	235	2		1	10					1														1							1							70			448
	(TH-63)覆土最下	3				3		7	1		16	2	92	1	1		4	1																																4			135
	(TP-124)覆土					2		5			9	2	22		1		4						1																1											9			56
	撹乱等	1			1						1	1	5		2	3																																	3			17
F2計		50	20		16	40	12	217	13		487	76	2679	14	20	10	53	9			2	8	5		3						1			1		4			4	3			13	2	1	1				311			4075
F3	Ⅰ	4	1					7	1		7	7	64																																				27			118
	m2	4	2		1	3	1	24	1		21	24	206	1	1		4						1																											46			340
	m2(2)	3				3	3	30	2		55	14	297	2	4	2	4					1										2								1				2	1						67			493
	m2(3)		1			1		4			3	1	57	1			2																																	8			78
	m2(4)	1	1			2	1	5			6	3	2489	1																													1							8			2518
	m2(5)					2		6	1		6	4	413	1			1																							1										22			459
	m2(6)												7																																							7
	m2(7)										3		15			1																																				19
	m2(8)	1									2		3																																							6
	m2上							1			5		16																																				4			26
	m2下								1				24																																				3			28
	m3		1					5			2	6	111			1	1					1																												8			136
	m3上							2	1			1	39		1																																		16			60
	崩落土										3																																						1			4
	(TH-63)覆土												1																																							1
	(TH-63)覆土上	1	1				1	7	1		10	2	35				3																										1							2			64
	(TH-63)覆土中				1			8			8	6	38				1						1																											6			67
	(TH-63)覆土下	1			1	1		8			23	7	116				3																																	2			162
	撹乱等	1	1				1	2		1	1	1	12																																				3			23
F3計		16	8		3	12	7	111	8	1	153	76	3943	6	6	4	19					2	2								2								1	1			4	1						223			4609
F4	Ⅰ	8	3					10	3	1	26	4	113		2			2																					1											25			198
	m1	1																																																		1
	m1a										2		5																																							7
	m2		1			2	1	13			7	5	354		1		2														1									1			2							27			417
	m2(2)	2						4			4	2	27	1	1	1																				1														13			56
	m2(4)		1					3			3		245		1																																		4			257
	m2(5)							3	1			1	9																																				4			18
	m2(6)							1	1		2	3	7	1																																			1			16
	m2(7)										3	1	54																													3							3			64
	m2上	1				2	1	27	2	1	18	19	347	1	1		2	1					3																						1						76			503
	m2下	5	1			3		19	1		17	9	327	2	2	1	4	1																										1							35			428
	m3								1		3	3	60																																				4			71
	m3上	2											5																																				3			10
F4計		19	6			7	2	80	9	2	85	47	1553	5	8	2	8	4					3								1					1			1	1			6	1						195			2046
F5	Ⅰ	1						14		1	10	2	44		1		3	1																																8			85
	m1	1	1					1			5	5	26	1	1	1																																				44
	m1a	3			2			10		1	15	5	79	1	1	3	4	2														1											2							33			162
	m2																	1																																		1
	m2(1)												1																																							1
	m2(2)												4		1								1																										2			8
	m2上	4				2		16	2		11	4	102		3	3	5	3					3																1				3							98			260
	m2下	1	1			2	1	32			32	6	173		2	1	9	4					5																				2							77			348
	撹乱等							3			3		5																																				4			15
F5計		10	2		2	4	1	76	2	2	76	22	436	2	9	8	21	11					9									1							1				7							222			924
F6	Ⅰ	1					1	3	1		5	4	36		1		1					1																												7			61
	m1												1																																							1
	m1a	2			2			20		2	42	10	119	4	4	4	4	1					2				1																							45			262
	m2																1	2																															6			9
	m2(2)									1					1		1	1		1																																5
	m2上	2			1			21	3	1	7	11	411	2	1	1	7																									3							56			527
	m2下	5	1	1	1	1		31			12	13	254	1	1		3						2								1						1			1			3							96			428
	撹乱等		1					1			1	1	5		1		1						1																										6			18
F6計		10	2	1	4	1	1	76	4	4	67	39	826	7	9	5	18	4		1		1	5				1				1						1			1			6							216			1311
F7	Ⅰ											1	17																											1										4			23
	m1						2			1	1	9																																			1			14
	m1a				1		1	5	1		6	6	39		2		1																																8			70
	m2							1			5	1	16																																	1		2			26
	m2(2)																					1																										1			2
	m2上	3	1				1	15	1	2	7	3	150	1	6	7	9	1					5																											97			309
	m2下	6	4	2	2	2	5	38	4		18	13	681	4	7	3	7	3					2																1				2							101			905
	撹乱等										1																																									1
F7計		9	5	2	3	2	7	61	6	2	38	25	912	5	15	10	17	4					8																1	1			2					1		214			1350
F8	Ⅰ										1		2																																			3			6
	m1a										1		5																																							6
	m1上							1					2																																			2			5

表Ⅵ－8　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（6）

調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿
F8	m2							2			3		16				1						
	m2上	4				1		2			4		57	1	1	1		1					
	m2下	4	7	1		2	1	16	4	1	25	16	282	1	6	9	6	2				1	3
	攪乱等																	1					
F8計		8	7	1		3	1	21	4	1	34	16	364	2	7	10	9	4				1	3
F9	I	2	1					2			3	1	43		1		1						2
	III										1		3										
	IV							1															
	m1	1						4			5		4										
	m1a				1			1			2		22										
	m2						1				3	2	36		3	1							
	m2上								1		5		16										1
	m2下	2						7	2		6	1	82		3		1						3
F9計		5	1		1		1	15	3		25	4	206		7	1	2						6
F10	I	1						1			4		3										
	III										1	1	6					1					
	m1	1																					
	m1a	1						4			7	1	15				1						
	m2上							1			1												
	m2下				1			2			4		7										
	(遺跡)												1										
F10計		2			1			6			17	2	34				1	1					
F11	I										1	1	3			1	1						1
	III												2										
	IV																						
	m1							2			2	1	5	1	1								
	m1a							1			2	2	9					1					
	攪乱等											2											
F11計								3			5	6	19	1	1	1	1	1					1
F12	I												6				1						
	IV												5		1								
	m1										1												
	m1a																						
	(TH-63)覆土最下											1	2										
F12計											1	1	13		1		1						
G1	I					1		2			11		20				4	1					
	III							1			3	2	9										
	m	1														1							
	m3												1										
	(TH-57)覆土	1						1			8	1	3		1		3						
	(TH-57)覆土下							2					9										
	(TH-56)覆土	8	4					8			16	3	88		3		7	1	1			1	
	(TH-56)覆土上							1			1												
	(TH-56)覆土中						1	7			14	5	32	1			5	2					
	(TH-56)覆土下				1	2		1			5	2	11		1	2	1						1
	(TH-63)覆土		1																				
	攪乱等	2				2		13	2		44	9	42		17	10	24	1				1	8
G1計		12	5		1	5	1	36	2		102	22	215	1	22	13	44	5	1			2	9
G2	I	1				1					1	1	3					1					
	III					1		3			10	2	40		1								
	m2(2)	4			1	1		5	1		18	3	82				1						
	m2(4)																						1
	m2上						3	1			7	2	18	2			2	1					
	m3		1			1	1	3	1		44	3	129			1	1						
	(TH-57)覆土							1			1												
	(TH-57)覆土上	1									11		37			1	2	1					
	(TH-57)覆土中	2			2	1	1	7			9	3	53	1		1	3						
	(TH-57)覆土下	1	1			3	2	18			18	4	61		5		7						2
	(TH-57)覆土壁																						
	(TH-58)覆土										1												
	(TH-58)覆土上											1	9										
	(TH-58)覆土中					1							5	1			1						
	(TH-58)覆土下				2	1	1	3			7	1	40		1		5						
	(TH-63)覆土上	5	1		2		2	40	2		58	5	176	2	3		10						
	(TH-63)覆土中				1		1	8	1		26	7	76	2	1		2						
	(TH-63)覆土下	6	4		3	6	1	35	1		89	20	232	1	2		11					1	
	(TH-63)覆土最下		3		1	1		5	1		12	3	45		1	2					1		
	(TH-63)攪乱等							1															
	攪乱等	1	1		1			10	1		46	7	45	1	2	2	7	1					
G2計		21	11		13	17	12	140	8		358	62	1031	10	16	7	52	4			1	1	3
G3	I							6			2		39				2					1	1
	III	1			1	2		1			4	2	18	1									
	m2	1						4			9	6	37			1	1	1				2	1
	m2(2)	3	1		1	1		14			8	2	109		4		8		1			1	1
	m2(3)		1			4		14			13	4	85			2	1						
	m2(4)	1			2	1		7	3		5	2	99				1		1				
	m2(5)				2			6	1		5	5	99			1	2						
	m2(6)												1										
	m2下							1			1		30				1	1					
	m3		1				2	2	2		14	5	105	1									
	m3(3)																1						
	m3上	1									2		22										
	崩落土						1	1					2		1								
	(TH-63)覆土				1	1		3			2		13		1								
	(TH-63)覆土上	3			2	1	1	27	1		36	8	72		3		4						
	(TH-63)覆土中					1		17			24	4	54		1	1	3						
	(TH-63)覆土下	1			1	1		7	6		45	6	123	1	1		5						
	(TH-63)覆土最下												6										
	攪乱等	4	1			2		6		2	22	3	70	1	1		2						
G3計		15	4		10	14	4	116	13	2	192	47	984	4	12	5	31	2	2			4	3
G4	I	3			3	1		17		1	20	1	51			1							
	m							1															
	m2	1			1	1		15	1		11	4	63	1	2		1	1				2	
	m2(2)	3	1		2	1		21	1		13	9	130	1	3		4						
	m2(3)	4	1		3	5		22	2		28	9	164	1	6		7						
	m2(4)	1			1	2		4	1		4	5	64		1		1						
	m2(5)					2		6	2		3	3	309		1		1					1	
	m2(6)				1				3	1	2	3	80	1	1	1	1						
	m2(7)								1		3	1	102									1	
	m2(8)							1			1	2	52	1									
	m2(9)												2										
	m2下					1		6			10	2	95		1	1	1						
	m3				1		1	3	2			5	57									1	
	m3上							1					6										
	攪乱等		1											1									
G4計		12	3		12	13	1	99	13	2	95	44	1177	6	15	3	16	1				5	
G5	I	1	1					12	2		14	3	144				1						
	m1a	1						1	1		2		9										
	m2	2					1	5			6	1	21		2								
	m2(2)	4				1	1	12	4		11	6	145		4	4	9						3
	m2(2)下	1																					
	m2(3)										1	1	158										
	m2(4)							1			2	1	37	1		1							
	m2(5)							2			1		148										

調査区名	層位	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	アスファルト付着礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
F8	m2																											7			29
	m2上																											4			76
	m2下									1								1			1							49			441
	攪乱等																														1
F8計										1								1			1							65			564
F9	I																1											2			59
	III					1																						1			6
	IV																														1
	m1																											14			28
	m1a																1											1			28
	m2																											5			51
	m2上									1																		8			32
	m2下																											57			164
F9計						1				1							2											88			369
F10	I																														9
	III																											3			14
	m1																														1
	m1a																	1										6			36
	m2上																														2
	m2下																											1			15
	(遺跡)																														1
F10計																		1										10			78
F11	I																											5			13
	III																														2
	IV																											3			3
	m1																											4			16
	m1a																											7			22
	攪乱等																														2
F11計																												19			58
F12	I																											6			13
	IV																											1			7
	m1																											6			7
	m1a																											4			4
	(TH-63)覆土最下																														3
F12計																												17			34
G1	I														1													5			45
	III																											4			19
	m																														2
	m3																														1
	(TH-57)覆土																											2			20
	(TH-57)覆土下																											2			13
	(TH-56)覆土										1			1			1				1							27			181
	(TH-56)覆土上																														2
	(TH-56)覆土中																											11			78
	(TH-56)覆土下																											11			38
	(TH-63)覆土																														1
	攪乱等																1	1										86			263
G1計											1			1	1		2	1			1							158			663
G2	I																														8
	III																											3			60
	m2(2)																											1			97
	m2(4)																											1			2
	m2上																											7			43
	m3					1																						4			190
	(TH-57)覆土																														2
	(TH-57)覆土上																											4			57
	(TH-57)覆土中																											7			90
	(TH-57)覆土下																1	1										19			143
	(TH-57)覆土壁																											3			3
	(TH-58)覆土																														1
	(TH-58)覆土上																														10
	(TH-58)覆土中																														8
	(TH-58)覆土下																											17			78
	(TH-63)覆土上													1			1				1							45			354
	(TH-63)覆土中																											31			156
	(TH-63)覆土下								2					1														66			481
	(TH-63)覆土最下															1					1							18			95
	(TH-63)攪乱等																														1
	攪乱等								2									1										30			158
G2計						1			4					2		1	2	2			2							256			2037
G3	I																											4			55
	III																											1			31
	m2																	1										17			81
	m2(2)				1																							20			175
	m2(3)																				2							9			135
	m2(4)													1														12			135
	m2(5)																1											17			139
	m2(6)																														1
	m2下																				1							4			39
	m3																				1							3			136
	m3(3)																														1
	m3上																														25
	崩落土																											4			9
	(TH-63)覆土						1																					5			27
	(TH-63)覆土上																				1							12			171
	(TH-63)覆土中																											10			115
	(TH-63)覆土下																1				1							8			207
	(TH-63)覆土最下																														6
	攪乱等																											7			121
G3計					1		1							1			2	1			6							133			1609
G4	I																1											21			120
	m																														1
	m2																1				1							11			117
	m2(2)																											76			265
	m2(3)																											37			289
	m2(4)																											6			90
	m2(5)																											6			334
	m2(6)													1														5			100
	m2(7)																											1			109
	m2(8)																														57
	m2(9)																											1			3
	m2下		1																									16			136
	m3																											3			73
	m3上																														9
	攪乱等																														2
G4計			1											1			2				1							183			1705
G5	I																						1					5			184
	m1a																														14
	m2																											6			44
	m2(2)																				3							60			287
	m2(2)下																														1
	m2(3)																											5			165
	m2(4)																											2			45
	m2(5)																											6			157

表Ⅵ－８　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（７）



表Ⅵ－8　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（8）

調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含鉄重礫	アスファルト付着礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
H5	m2	1	1			1		9	2	1	11	4	143		1		3					2																															10		189
	m2(2)	1	1			2		8	1		15	6	113		12	2	3	2				1		1															1			2							65		236
	m2(3)	2	2		1		1	11	4		15	8	466	2	2		3																													2							23		542
	m2(4)	1	2		1	2		10	1		11	3	127		1		2																																					23		184
	m2(5)		2			1		3			6	3	116			3										3											1															17		155
	m2(5)以下						1		2		2	1	1481		1		2																																					13		1503
	m2(6)	1			2			7			21	6	118													1																			1							4		161
	m2(7)				2	1		2	1		5		95		2		1																																					8		117
	m2(8)										1		5																																										6
	m2上							5				5		1	1																																					2		14
	m2下							2			2	1	15	1	3									1																			1							3		29
	m3					1		2			2	3	310	1																																						6		325
	撹乱等	2						8			8	5	43	1			3																																			1		71
H5計		8	8		6	9	2	77	11	1	117	45	3087	5	24	6	19	2						4		2	3												1			1					7							187		3632
H6	Ⅰ	3	1		1			5			13	1	38				3																																					3		68
	m1												1																																										1
	m2	5	1		3			12	3		15	6	118		7	2	3	1						50																													14		240
	m2(2)	2						3	2		4	4	73	2	1		1																																					6		98
	m2(3)	1	2					2			2	1	21					1																																					2		32
	m2(3)～(6)																																																			1		1
	m2(4)							5			1	2	42		1		1				1																																			2		55
	m2(4)下							1			6		73																																								7		87
	m2(5)										3		39																										1																43
	m2(6)	1			1		1	2			6	2	45		2																																						1		61
	m2(6)下												20		1			2																																					1		24
	m2上	7	2		1	4	1	26	3		44	21	347	1	9	4	7	2	1				4									2				1			1			1							57		546
	m2下	4	5		4	7		27	4		61	19	434	2	9	1	2	2						2											1						1		1							67		653
	m3												1																																										1
	撹乱等												64																																								2		66
H6計		23	11		10	11	2	83	12		155	56	1316	5	30	7	17	8	1			1	56									2			1	1			2		1		2							163		1976
H7	Ⅰ	1						2			1	3	31		2		2																																					9		51
	m2					1		9	1		20	2	109	1	7	1	4	1											1																1						1	1044		1203
	m2上	3			2	3		20	2		26	12	188	1	4	3	7	4	1			1	1															1		2		1							29		311
	m2下	4	1		3	5	1	28	1		55	13	367		7	3	7	2				4	1				1																		1							54		558
	m4												2																																										2
H7計		8	1		5	9	1	59	4		102	30	697	2	20	7	20	7	1			5	2				1	1										1		2		3						1	1136		2125
H8	Ⅰ										1		7																																										8
	m2	1				1	2	1	1		7	3	43				1																																						60
	m2上	4	1		1		1	10	6		21	3	112	1	2	2	4	4	1				2														1													10		186
	m2下	11	1		1	2	4	30	2		35	11	366	2	16	2	15	2	1				1																1	1	1		2							61		568
H8計		16	2		2	3	7	41	9		64	17	528	3	18	4	20	6	2				3														1		1	1	1		2							71		822
H9	Ⅰ				1			1			4		16																																									22
	Ⅳ																																																			2		2
	m2				1																																																1
	m2(3)												1																																										1
	m2上	4			2		1	14	2	1	15	5	183		4																														2							11		244
	m2下	8	1		2	1	2	14	3		32	10	489	2	7	2	7	4				2	1																				2							50		639
	撹乱等											1	3																																										4
H9計		12	1		6	1	3	29	5	1	51	16	692	2	11	2	7	4				2	1																				4							63		913
H10	Ⅰ										4	3	48		1																																						8		64
	Ⅲ				1																																																1
	m1a	1			1			3			7		23					1																																					6		42
	m2										1																																										1
	m2上																																																			2		2
	m2下	1			1			2			3	1	26		2	1																																						7		44
H10計		2			3			5			15	4	97		3	1		1																																					23		154
H11	Ⅰ	1						7			4		25				1																													1							4		43
	Ⅲ	1						4					7				2																																					2		16
	Ⅳ										2																																										2
	m1a	1									3	2	12		2				1																																			10		31
H11計		3						11			9	2	44		2		3		1																									1							16		92
H12	Ⅰ											1	3									1																													3		8
	m1a							1					1																																								3		5
	m4										1																																								2		3
	撹乱等							1			1		7			2																																					2		13
H12計								2			2	1	11			2						1																													10		29
I1	Ⅰ							1	1		8	1	10		2	2	3	1					1															1												6		37
	m2							1						1																																										2
	(TH-57)覆土										1	1	16																																						1		19
	撹乱等							1			7	1	1		1																																								11
I1計								3	1		16	3	28		3	2	3	1					1															1												7		69
I2	Ⅰ	2				1		11	2		56	4	124	1	3		4																			1								1							10		221
	Ⅱ										2		4		1																																								7
	Ⅲ												1																																										1
	m2	2	2					5	1		10	2	38	1													1																						1		63
	m2(2)							1						4																																										5
	m2上				1	1		1			6		5				1																																					2		17
	(TH-57)覆土				1	1			1		3	1	15		1																																						1		24
	(TH-57)覆土上					1		4			14	1	39									1																													2		62
	(TH-57)覆土中	1				1		1			10	3	6																																								22
	(TH-57)覆土下												1																																										1
	(TH-63)覆土	1			1			6			14	4	64																																						4		94
	(TH-63)覆土上							1			8	1	37															1																						3		51
	(TH-63)覆土中												4																																										4
	撹乱等	2	1		1	1		5	1		52	15	83	1	1	1	4					1																1	1		1							30		202
I2計		8	3		4	6		35	6		175	31	425	3	6	1	9					2					2						1				1	1		2							53		774
I3	Ⅰ					1					4		5																																										10
	Ⅱ												1																																										1
	m2	1				2		3	1		22		18	1		1																																					2		51
	m2(2)		1		1	2		17			20	14	85	1	1	3	2																					1												27		175
	m2(3)	1	1					2			5	3	77		1																																						3		93
	m2(4)										1		3																																										4
	m2(5)							2		1	3		11				1																																					2		20
	m2上								1		1		4																																										6
	m2下		1					1			1		37		1	1																																						1		43
	m3					1					1																																										2
	m3上										1		3		1																																						3		8
	崩落土										1		2																																								1		4
	(TH-63)覆土																1																																						1
	(TH-63)覆土上							4			15	7	96			1																																						3		126
	(TH-63)覆土中							1						6																																										7
	(TH-63)覆土下						1						1									1																													1		4
	撹乱等	2				2	1	17			29	2	102		1	1																									1											6		164
I3計		4	3		1	8	2	47	2	1	104	26	451	2	5	7	4					1																1	1									49		719
I4	Ⅰ	1						6			4		53		1				1																																			10		76
	Ⅱ							1			1		5																																										7
	m2	3	1		1	1	1	20	3		26	6	205	1	1	1	5																									1							8		284
	m2(d)												1																																										1
	m2(1)																1																																						1
	m2(2)	8	1		4	3	1	44	5		61	16	337		11		8	2				1	1																1		1										39		544
	m2(2)c														1																																						1		2
	m2(2)d												24																																										24
	m2(2)下							1			1		11																																								3		16
	m2(3)		1		1			6	5		13	8	107				2	1																	1																		12		155

表Ⅵ－8　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（9）

調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪質礫	アスファルト付着礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
I4	m2(3)～(6)													16																																								3			19
	m2(4)	2	1		1	2		11	2		20	7	170	1	1	1	1																																							25			245
	m2(5)						1	4			3	6	149	1	2				2																									1							6			175
	m2(6)						1	7	1		4	4	155				3																							1													8			184
	m2(7)					1		4			1		2																																										1			9
	m2(8)							1			1		13																																													15
	m2上							1					13				1																																										15
	m3上												14				1																																										15
	攪乱等		1		1	2		11	2		6	1	24		3		2	1																								1												53			108
I4計		14	5		8	9	4	117	16		141	46	1299	3	20	2	24	4	3			1	1															1		1	2		1		2						169			1895
I4～6	攪乱							1	1		1		1																																												4
I5	Ⅰ				1			5			4	1	46	1																																										58
	Ⅲ										1		9																																												10
	m1												2																																								3			5
	m2	2	2			2		20	4		31	9	325	4	6	1	4	1													1				1										2							25			440
	m2(2)	7	1		4	5		37	2		60	16	584	3	16	3	4	7					6																			1				3							67			826
	m2(2)～(6)																																																			1			1
	m2(2)下										3		14																																													17
	m2(3)							4			6	1	643				3	1														1																					9			660
	m2(3)～(6)		2		4	3		19	3		39	14	1086		3		3	1	1						2																	1											21			1202
	m2(4)									1	2		9																																											3			15
	m2(5)	1	1					2	1		3		639																														2							2			651
	m2(6)					1		7			17	7	313	1																															1							10			357
	m2上面													1																																							2			3
	m2上							1	1		2	1	6																																												11
	m3				1								61		2																																								3			67
I5計		10	6		10	11		95	11	1	168	49	3737	9	28	4	14	10	1				6		2						2				1					1	1			8							146			4331
I6	Ⅰ	5	1		2	1		9			15	4	84																																								5			126
	m1				1						3	1	30		2																																								1			38
	m2	3			1	1		15	3		28	10	233	1	8	2	1	2					1																															26	4		339
	m2(2)					1		3			1	1	28																																										1			35
	m2(3)～(6)							2			4	1	35																																										3			45
	m2上	5	1		2	3	1	30	3	1	19	22	270	1	10	2	7	5	2			1	2				1																			1							35			424
	m2下	2	1		1	1	1	31	3		24	13	255		7	2	7	4								1																					3							16			372
	m2最下						1				1																																														2
	m3							2			3		19																														1							1			26
I6計		15	3		7	7	3	92	9	1	98	52	954	2	27	6	15	11	2			1	3		1		1																			5							88	4		1407
I7	Ⅰ	4	1			1		9	5		22	8	164	1	1	2	1																																							9			228
	m1b												5																																												5
	m2		1		2	1	1	17	6		22	11	145		8	3	2					2											1									1				1							36			260
	m2上	2			2			24	2		23	19	240	3	8	1	8	3	1				1													1																			15			353
	m2下	1	2		2			21			23	11	613	3	6	2	4	1				1	1															2								2							7			702
	m3																																																			2			2
	攪乱等											1	5																																												6
I7計		7	4		6	2	1	71	13		90	50	1172	7	23	8	15	4	1			3	2									1			1		2			1				3							69			1556
I8	Ⅰ	1	1		1			12	1		5	4	89		3		5						1		1															1												17			142
	m1a	2						4					15																																												21
	m1b					1		1					2																																												4
	m2							1			4	1	11		1	1	1																													1							7			28
	m2上	2	5		1	2		24	4		23	28	425		5	3	9	5	1			1	2													1						1				4		2					54			603
	m2下	2	1		1	1	2	13	1		17	29	996	1	5	3	3	4					1	1															1								1							16			1099
	m3																																																			1			1
	攪乱等	2						4	2		6	10	45																																												69
I8計		9	7		3	4	2	59	8		55	72	1580	1	14	7	18	9	1			1	4	1	1									1		1			2				6		3					95			1967
I9	Ⅰ	1				1	1	2	1		13	10	59	1	9	2	3	2					2																													27			134
	m2							1				1																																													2
	m2(2)																	1																																							1
	m2上	1				1	1	3	1		7	8	91		1			1																										1		1					4			121
	m2下	1	1					1		1	5	1	62	2	2		2																																					4			82
	攪乱等				1			2	1		12	16	97		2		2	1				2																		2				1							43			182
I9計		3	1		1	2	2	9	3	1	37	36	309	3	14	2	7	5				2	2																	2				2		1					78			522
I10	Ⅰ											3	17																																								2			22
	Ⅳ							1					2																																												3
	m										1		10																																												11
	m1												2					1																																							3
	m1a	1										5		1								1																														1			9
	m2																																																			1			1
I10計		1						1			1	3	36		1			1				1																														4			49
I11	Ⅰ	1					1	2			5	2	34	1			1																																							2			49
	Ⅲ										3		3																										1												4			11
	Ⅳ												1																																								1			2
	m1												2																																								1			3
	m1a							2			1		4																															1							2			10
	攪乱等																																																			1			1
I11計		1					1	4			9	2	44	1			1																										1				1							11			76
I12	m1												2																																								1			3
	m1a							1					2																																								1			4
I12計								1					4																																								2			7
J1	Ⅰ																							1																																1
	攪乱等					1							1		1	1	2																																							6			12
J1計						1							1		1	1	2						1																													6			13
J2	Ⅰ					2		3	1		29	4	35	1		2	4																								2		1										9			93
	m	1				2					3		9	1	2	1	2																															1						13			35
	m2					3		6			35	4	83	1	3		2																																							10			149
	攪乱等	1			1	1	2	12			43	10	38	1	20	4	9	2		1	1		5																	4	1	1										118			275
J2計		2			1	8	2	23	1		110	18	165	4	25	7	17	2		1	1		5																	6	1	2			1						150			552
J3	Ⅰ							2			1	1	3	1																																												8
	m2		1			1	1		2		5	2	42																														1							3			58
	m2(2)	1	2					7			16	22	512																														1							6			567
	m2(2)下						1	3			8	5	212		3																																								2			234
	m2(2)下a										1	2	37				2																																								1			43
	m2(3)												3		1																																								1			5
	m2(3)～(6)												6																																												6
	m2(10)										1		29																																								2			32
	m2上																								1																																1
	m3												1																																												1
	m3上												10	1																																												11
	掘上土																	1																																								1
	崩落土										1																																														1
	攪乱等							8		1	18	10	212		1																																								4			255
J3計		1	3			1	2	20	2	1	51	42	1068	2	5		3								1																					2							19			1223
J4	Ⅰ	1				1	2	10			7	6	80			1	1													1																									4			114
	m2					2							1																																												3
	m2(2)	2	3		2	3		35			30	30	535	2	9		5	1					1																							1							33			712
	m2(2)下		1			4	1	8			15	5	142		3		3								1																												4			187
	m2(2)下a										2		7		1																																								1			11
	m2(2)下b		1			3		2			10	3	111		1		1											1																									5			138
	m2(5)							2			1		4																															1									8
	m2(10)											1	1																																												2
	m2下a							1			6		54																																												61
	m3上											2	52																																												54
	攪乱等	1						3	1		5	2	83		1	1	1																																							3			101
J4計		4	5		2	13	3	61	1		96	49	1070	2	15	2	11	1					1		1			1		1																2							50			1391
J5	Ⅰ	1			1	1		10			15	7	111	1			2																								1				1							12			163

表Ⅵ－8　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（10）

調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石皿	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	アスファルト付着礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
J5	m1a		1					20			4	1					2																								1									3			32
	m1b							3																																										1			4
	m2(2)	4	3		3	4	2	27	4		37	34	1058	2	12	2	6	1			1	1	3		1												1		7				1							41			1255
	m2(2)下		1			1		4			14	8	303	2	1							5	1																											4			344
	m2(2)下a												1																																								1
	m2(3)					1		2			6	1	42																												1									4			57
	m2(3)~(6)	1				1					3	5	183				1																																	1			195
	m3										1		1																																								2
	m3上											1	36																																								37
J5計		6	5		4	6	2	66	4		80	57	1735	5	13	2	11	1			1	6	4		1												1		8		2		2							66			2090
J6	Ⅰ	4	1			1	1	9			19	7	80	2	1	1		1																																3			130
	m1	3	1		1	2	1	9	2		10	5	82	4	5	1	4		1																															7			138
	m1b							2			2		9		1																																						14
	m2	3	1			2		15	4		24	13	302	1	7	2	3	2					1																1				3							11			395
	m2(2)	2	4		4	4	1	33	2		66	47	824	2	17	8	8	5				8	2													1							1							57			1096
	m2(2)下	1				1		4			9	2	72				1																																	1			91
	m2(3)							2	2		1	2	6																																					5			18
	m2(3)~(6)							1			4	2	54	1																																				5			67
	m2上面							1	2	1				6		1																																						11
	m2上	1						5	2		10	3	100		3	1	1																																	11			137
	m2下										1	1		7		2																																			1			12
	m3												2																																								2
	攪乱等	2						1			12	1	43	2																									1			1								2			65
J6計		16	7		5	10	4	83	13	1	158	82	1587	12	37	13	17	8	1			8	3													1			2			1	4							103			2176
J7	Ⅰ	1			1	2		10	5		21	5	90		1	1																													1					4			142
	m1	1									2		7																																					1			11
	m1上							1																																													1
	m2	1	1					1			4	5	57		1																																			3			73
	m2上	9	5		2	1		18	6	1	30	17	358	2	4		4	1																	1								2							16			477
	m2下	4				3	1	10	2		27	11	229	2	4		1	1				1			1												1						1							12			311
	m3		1				1	2			1	1	10		1																																			3			20
	m3上														1																																						1
J7計		16	7		3	6	2	42	13	1	85	39	751	4	12	1	5	2				1			1										1		1						3		1					39			1036
J8	Ⅰ	7	2					7	7		30	10	432	1	2		4																																	16			518
	m2										1	1	4																										1														7
	m2上	2	1			1	1	10	2		27	9	3816		3	2	2	1																									1							23			3901
	m2下		1			2	1	11	2	1	8	13	267	1	5		4																						2											26			345
J8計		9	4			3	2	28	11	1	67	33	4519	2	10	2	10	1																					3				1							65			4771
J9	Ⅰ							7		1	9	12	91		4	3	3	3				1	2									1																		45			182
	m2(2)																																																		1			1
	m2上	3			1	3		6	3		10	19	1190		7		3					1										1				1			1	1			1							11			1262
	m2下	1									1	2	64		1		1																																	2			72
	攪乱等	1																																																			1
J9計		5			1	3		13	3	1	20	33	1345		12	3	7	3				2	2									2				1			1	1			1							59			1518
J10	Ⅰ	1									1		6		1	1																																		1			11
	Ⅳ					1		1			2		8					1																																1			14
	m1a							2			2	1	5		1																												1										12
	攪乱等							1																																													1
J10計		1				1		4			5	1	19		2	1		1																									1							2			38
J11	Ⅰ							1			1	1	3			1																																		1			8
	m1							1		1	1	4	9	1	1			1					2																											5			26
	m1a												5	2	1																																			1			9
	攪乱等										3	1	7																										1	1										13			26
J11計								2		1	5	6	24	3	2	1		1					2																1	1										20			69
K2	Ⅰ												5																																								5
	m2					4	2	6	1		29	5	123	1		1	1						1																											3			177
	攪乱等							3			17	5	41		3		3			1			1																											6			80
K2計						4	2	9	1		46	10	169	1	3	1	4			1			2																											9			262
K3	Ⅰ	1				1	2	11		1	16	3	95				1																										2							5			138
	Ⅱ							1			1		3																																								5
	Ⅳ												9																																					1			10
	m2	2			1			6	1		33	4	150												1																		1							2			203
	m2(2)		1				1	4	1		4	2	699				2								1																		1							2			718
	m2(2)下							5			3	3	207		2								1																											12			233
	m2(2)下a						1	7	2		9		61																																					1			81
	m2(10)							1					6				1																																				8
	m2下										1		18																																								19
	m3										2	1	24																																								27
	覆上土							1			1	1	41		1																																			4			49
	崩落土												14																																								14
	攪乱等							1	1		10		17			1					1																													3			34
K3計		3	1		1	1	4	39	5	1	80	14	1344		3	1	4				1		1		2																		4							30			1539
K4	Ⅰ	4	1				1	8	2		17	1	79	2			3																							1										21			140
	m深掘りトレンチ					1		1			1		3																																								6
	m1	1	1										2		1	1		1	1																				1											2			11
	m1a										3		3																																								6
	m2	4	1		4	4	2	17	4		33	8	315		6		4								1												1													24			428
	m2(2)		3			3		6			13	4	73	1			1					1																					1							10			118
	m2(2)下							4			3		25																																					6			38
	m2(2)下a							1				1	10				1																																				13
	m2(2)下b		1			1		3	1		19	2	290	1							1																													4			323
	攪乱等												3																																								3
K4計		9	7		4	9	3	42	7		89	16	803	4	7	1	9	1	1		1	1			1												1		1	1			1							67			1086
K5	Ⅰ	1						1			2		13																																					3			20
	m1				2			1			8	3	73				1	1																																7			96
	m2	1	1		1			7	2		15	15	7139	3	2			1				2									1																			31			7221
	m2(2)							3			6	2	20			1																																		8			40
	m2(2)下							2			2	2	59																																					13			78
	m2(2)下b								3		1		151																																					5			160
	覆上土												7																																					3			10
	攪乱等								1		3		12																																					8			24
K5計		2	1		3			14	6		37	22	7474	3	2	1	1	2				2									1																			78			7649
K6	Ⅰ	1					1	5	1		15	1	67																																					21			112
	Ⅳ												2																																								2
	m2							1			3		49																												1									8			62
	m2(2)	2			1	3	1	6			20	9	506		3		2																																	12			569
	m2(2)~(6)												14																																								14
	m2(3)~(6)	1						2	1		2	1	136		1		1											1																						8			154
	m2(4)~(6)	1											6				1						1																											2			11
	m3												10			1																																					11
	覆上土		1					3	2		6	2	23					1																									1							2			41
	攪乱等							2			2	1	21		1																												1							6			34
K6計		5	1		1	3	2	21	4		48	14	836		5	1	4	1					1					1													1		1							59			1010
K7	Ⅰ	7	3	1	1	2	2	13	1	1	35	10	395					1																						1										52			525
	m1		1					4			1		44																																					3			53
	m2	3	1		1	4		5	1		8	6	221	1	2		1	2				1	2																1						1					41			302
	m2(2)							1			2		2				1																																				6
	m2(3)~(6)												4																																								4
	m2(4)~(6)											3	10																																					1			14
	m2上	1	1			1		6			11	7	117			1	2	1																1						1										28			180
	m2下	1								2				11		1																																			2			17
	m3												5			1																																		3			9
	攪乱等										2																																										2
K7計		12	6	1	2	7	2	31	4	1	59	26	809	1	3	2	4	4				1	2											1					1	2					1					130			1112

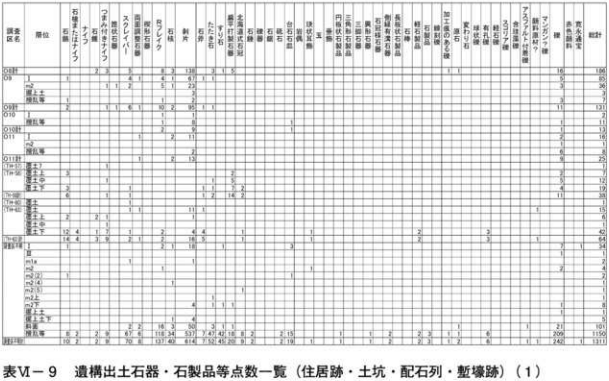
表Ⅵ－8　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（11）

調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石皿	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	アスファルト付着礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
K8	Ⅰ	5	2			1	2	11			12	4	251			2																																				6			296
	m1a							1					1																																										2
	m2	1									1		258																																							1			261
	m2(2)	1																																																			1
	m2上	2	1					10	1		13	8	187		3			5							1													1			1				1							29			263
	m2下				1	2		2	4		8	9	835		3		3																																				6			873
	m3						1				2		22																																										25
	掘上土							2			3	1	28					1																																1			36
K8計		9	3		1	3	3	26	5		39	22	1582		6	2	3	6							1													1			1				1							43			1757
K9	Ⅰ	1							7			9		23		1		3		1																															7			52
	m2						1		1		3	4	26		2	1																			1					1											4			44
	m2(2)	9	2			1	1	7			12	1	326		4	1	5	2																												1							22			396
	m2上										2	2	34		1		2																		1																		12			54
	m2下										2	2	58					1																																			2			65
	m3												33																																								33
	掘上土												33																																					1			34
	撹乱等												3		6	3	3	1	1				3																	1											22			43
K9計		10	2			1	2	14	1		28	9	536		14	5	13	4	2				3											2					2					1							70			721
K10	Ⅰ												1																																										1
	m1a												3																																										3
	m2(2)							1			2	2	45		1		1	1																																			19			72
	撹乱等				1																																															1			2
K10計				1			1			2	2	49		1		1	1																																			20			78
K11	Ⅰ	1									1		3		1																																					1			7
	Ⅲ							1			1		10																																										12
	m1a							4			5	6	14	2	1		3																									1			1							21			58
	撹乱等										2		17				1					1																															2			23
K11計		1						5			9	6	44	2	2		4					1																			1			1							24			100
L2	Ⅰ										1	1	6																																										8
	Ⅳ												2																																										2
	m2		1						1		18	2	36																																								1			59
	撹乱等							1	1		6	3	15		1	1	1					1																															16			45
L2計			1					1	1		25	6	59		1	1	1					1																															17			114
L3	Ⅰ	1			2			6	1		6	2	92		1																																					4			115
	Ⅲ								1					3																																								1			5
	m												2																																										2
	m2	1						6	3		32	3	1071		1																																					3			1120
	m3												1																																										1
	掘上土					1		2			5	4	277																																								13			302
	掘上土下					1																																																1
	撹乱等		1			2		3			7		41																																										54
L3計		2	1		2	4		17	5		50	9	1487		2																																					21			1600
L4	Ⅰ		1		2	1	1	7	1		13	1	83																																1							3			114
	Ⅲ											5	21						1																																					27
	m2(2)							1						8																																								2			11
	m3												2																																										2
	掘上土上面					1							2																																										3
	掘上土		1			1		4	1	1	7	7	366	1			2		1																						1											4			397
	トレンチ1																																																			1			1
L4計			2		2	3	1	12	2	1	20	13	482	1			2		2																						1					1							10			555
L5	Ⅰ					1		4	1		6		70																												1											9			92
	Ⅲ					1		2			4	1	29																								1																4			42
	Ⅳ												2																																										2
	m1																																																				2			2
	m2(2)							4			7	3	124	1			2																																						4			145
	m3	2						4	1		8		68	1																																							1			85
	掘上土					1		1						69																																								2			73
L5計		2				3		15	2		25	4	362	2			2																						1		1												22			441
L6	Ⅰ		1				1	9			17	6	149		1		1	1				1																		1													10			198
	Ⅲ										1	1	4																																								2			8
	m1							1			2		9																																										12
	m2															1																																									1
	m3	1						1	3		8	7	2014		1		1																																						6			2042
	掘上土		1			2		6	2		12	7	199	2	3		1					1			1																													10			247
	撹乱等												4										1																															2			7
L6計		1	2			2	1	17	5		40	21	2379	2	6		3	1				2	1		1																	1													30			2515
L7	Ⅰ	1						6	2		15	5	123		3																																					17			172
	m1							1			1	2	13																								1																			18
	m2		1					3	1		2	1	36		1																																					5			50
L7計		1	1					10	3		18	8	172		4																							1																	22			240
L8	Ⅰ	2			1			3			6	3	86		1																														1							3			106
	Ⅳ							1			2		6																																								1			10
	m1										2	1	48																																1										52
	m2	4	2			1		12	1	1	16	2	307		1																							1													33			381
	m3										2		5																																								1			8
	掘上土					1					7	3	86				1																																				14			112
L8計		6	2		1	2		16	1	1	35	9	538		2		1																							1					2							52			669
L9	Ⅰ	1	1		1			5			1	2	38				1																																				39			89
	m2										2		7																																								1			10
	m2(2)	2					1	10	2		24	10	1685	1	5	2			1																											1							44			1788
	m2上																	1	1																																		1			3
	掘上土									1	1		52																																										54
	撹乱等	1																																																			1
L9計		4	1		1		1	15	2	1	28	12	1782	1	5	2	1	1	2																											1							85			1945
L10	Ⅰ	2			1		1	4	3		2	12	159	1	1		1	1													1		1						1				1							28			220
	撹乱等												1																																										1
L10計		2			1		1	4	3		2	12	160	1	1		1	1													1		1						1				1							28			221
L11	Ⅰ							1			3		28		1		2																																					12			47
	Ⅲ							1			3		3																																										7
	m1a										2	1	2																										1						1						9			16
	撹乱等										2		5		1		2																																					4			14
L11計							2			10	1	38		2		4																								1						1						25			84
M2	Ⅰ							1			2		14		1																																							2			20
	撹乱等				2			1			7	3	4		1	1						1																															5			25
M2計				2			2			9	3	18		2	1						1																															7			45
M3	Ⅰ	1						5			15	5	114																											1												4			145
	Ⅲ		1			1		2						15																																								2			21
	m										1		2																																										3
	m3	1									2		11																																										14
	撹乱等							2			11		29																																								1			43
M3計		2	1			1		9			29	5	171																											1												7			226
M4	Ⅰ	1	1			1		5			6		117																																								3			134
	Ⅲ										2	2	32			1																																						1			38
	m2(3)												6																																										6
	掘上土				2	3	1	5	1		12	4	157	1			2					2	1																			1												21			213
M4計		1	1		2	4	1	10	1		20	6	312	1		1	2					2	1																			1												25			391
M5	Ⅰ				2	2		1			16	2	274																																								9			306
	Ⅲ		1			2								3																																										6
	m				1	3		1			2	3	44																																										54
	m1							2	1		4	6	34																																								2			49
	m2												5																																										5
	m3					2		4	1		4	3	70																																								5			89
	掘上土											1	4																																										5
M5計			1		3	9		8	2		26	15	434																																								16			514

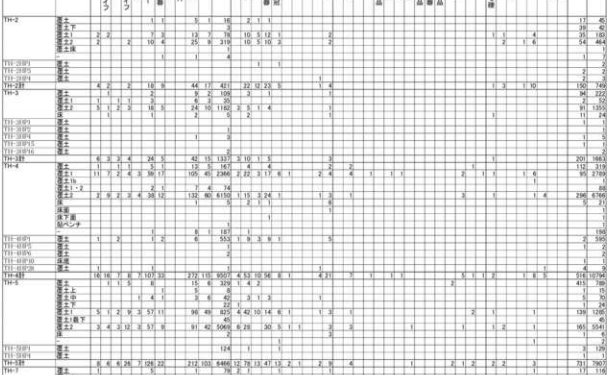
表Ⅵ－８　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（12）

調査区名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	ナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石皿	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円板状石製品	三角形石製品	三脚石器	異形石器	石冠様石器	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	アスファルト付着礫	顔料原材？	マンガン？礫	礫	赤色顔料	寛永通宝	総計
M6	Ⅰ		1					7		1	4	2	132		1																																		1			149
	Ⅲ							3			3	1	18																																								25
	Ⅳ												1																																								1
	m1				1													1																													1			3
	m1b							4			7		165									1																													8			185
	m3										2	1	3																																				3			9
	盛上土							4			5	1	121				1																																4			136
	攪乱等				1			3			8	5	215	1	3																																				7			243
M6計			1		2			21		1	29	10	655	1	4		2					1																													24			751
M7	Ⅰ	5			2	1		3			5	1	98		1	1																								1					1						11			130
	Ⅲ								1						1																																			1			3
	m1										5	4	72		2		1																																		1			85
	m2							1			1		5																																							7
	m3										2		13			1	2																								1												2			21
	盛上土	2					1	3	1		9	1	256		3		1							1																	1												4			283
M7計		7			2	1	1	7	2		22	6	444		7	2	4						1																	3					1						19			529
M8	Ⅰ	2			2			10	1	1	14	8	245		3	2	2																													1							18			309
	m2	1			2	1		8	3		7	2	123		6		3	1																																	19			176
	m3													2																																				1			3
	盛上土					2		5			6	5	161		1	1	1						1		1																													10			194
M8計		3			4	3		23	4	1	27	15	531		10	3	6	1						1		1																						1							48			682
M9	Ⅰ	2			1						3		72																																								78
	m2				1			2			7	5	140		2																																					6			163
	m2上							1					8				1		1																																		1			12
	攪乱等															1																																					1			2
M9計		2			2			3			10	5	220		2	1	1		1																																		8			255
M10	Ⅰ							1			1		13		1																																							4			20
	m2																		1																																					1
	m2上		1											5																																								3			9
	m3		1				1	2			3		18																																								1			26
	盛上土													1		1																																							2			4
	攪乱等					1		1				1	1																																										4
M10計			2			1	1	4			4	1	38		2			1																																		10			64
M11	Ⅰ							1			1	1	12			1						3																															1			20
	Ⅳ												21																																								21
	m1		1					2			5	1	70			1		1				1																															1			83
	m1a							1			1		10	1																																								1			14
	攪乱等				1								1																																								2			4
M11計			1		1			4			7	2	114	1		2		1				4																															5			142
N3	Ⅰ		1				1	2	2			1	5				1																																		1			14
	m										2		38																																								40
	m3												1																																								1
	盛上土												4																																								4
	攪乱等							3			9	2	30		1		1		1																																1			48
N3計			1				1	5	2		11	3	78		1		2		1																																2			107
N4	Ⅰ	1	1		1			5	1		16	4	112		1							1			1																												10			154
	Ⅲ						1	1			1		20			1																																								24
	Ⅳ												1																																					1			2
	m3												15																																								15
	盛上土										4	2	75																																				4			85
	攪乱等	1	1			1	1	3			13	5	209				3																							1												6			244
N4計		2	2		1	1	2	9	1		34	11	432		1	1	3					1			1																1												21			524
N5	Ⅰ	2	1		1	2		7	1		24	1	274		1				1		1																					1												15			332
	Ⅳ												2																																								2
	m3				1			3			2	1	55		1			1																																		2			66
N5計		2	1		2	2		10	1		26	2	331		2			1	1		1																			1												17			400
N6	Ⅰ					2		4	2		10	8	262				1	1																				1		1														31			323
	m3					4	1	3	3		7	8	558		2																										2												63			651
N6計						6	1	7	5		17	16	820		2		1	1																				1		1	2												94			974
N7	Ⅰ	4				1		10	2		9	7	404		2		2																									1			2							22			466
	Ⅳ								1		1		1																																								3
	m2					1		1			3	4	63																																				1			73
	m3					1		3	2		11	5	427		3	2	2																							1												7			464
N7計		4				3		14	5		24	16	895		5	2	4																							2			2							30			1006
N8	Ⅰ	3						2	1		3		140																																				2			151
	m1										1	2	11																																								14
	m2							1						12																													1										14
	m3										2	1	7			1			1																																2			14
	盛上土		1					1			1		4				1																																		3			11
N8計		3	1					4	1		7	3	174			1	1		1																										1							7			204
N9	Ⅰ					1		5			5	3	102			1																																				7			124
	m2							4	1		5	1	163	1				1																																		9			185
	m2(2)				1						1	1	7		1			1																						2												2			16
	m3		1								1		7																																				1			10
	盛上土										1		2																																				1			4
	攪乱等												7																																				5			12
N9計			1		1	1		9	1		13	5	288	1	1	1		2																						2												25			351
N10	Ⅰ	1			1			1			3	1	34																																				1			42
	m3		1					1			2	1	15				2																			2																4			28
	盛上土				1						5		43		1		1						1																														8			60
N10計		1	1		2			2			10	2	92		1		3						1													2																13			130
N11	攪乱等															1																																						1
O3	Ⅰ							1						15																																								16
	Ⅲ										1		12																																								13
	m							2				2	32				1																																				37
	m2(2)																																																			2			2
	m3										1		11																																								12
	盛上土								1				1	1																																								3
	攪乱等												2																																								2
O3計							3	1		2	3	73				1																																2			85
O4	Ⅰ	1	1					6	3	1	4	7	122																																				4			149
	m3	1						1			1	8	321		1																																					4			337
	攪乱等							1						6																																				1			8
O4計		2	1					8	3	1	5	15	449		1																																					9			494
O5	Ⅰ	1	1					1			2	3	86	1	1																																					5			101
	Ⅲ							1			1	4	32			1																																						39
	m3	1				1					1	4	104		1		1																													1						9			123
	攪乱等						1	3			4																																										8
O5計		2	1			1	1	5			8	11	222	1	2	1	1																													1						14			271
O6	Ⅰ	1	1		1			2	3		13	9	690		1		1																						1													9			732
	Ⅲ							2			1		8																																								11
	m3								1		1		50																																				2			54
O6計		1	1		1			4	4		15	9	748		1		1																						1													11			797
O7	Ⅰ	2						1	1		7	4	166	1																										1												4			187
	Ⅲ												4																																				1			5
	m1					1		2						8		1																																							12
	m1a										1		2																																								3
	m3										1		2																																								3
	盛上土												15																													1										16
O7計		2				1		3	1		9	4	197	1	1																									1			1							5			226
O8	Ⅰ				2	1		2			6	2	109		1	1	2																					1	1												10			138
	m3					1		1			1		5																																								8
	盛上土					1						13				2																																2			18
	攪乱等							2			1	1	11		2		1																																4			22

表Ⅵ－８　盛土遺構等出土石器・石製品等点数一覧（13）



表Ⅵ－９　遺構出土石器・石製品等点数一覧（住居跡・土坑・配石列・墓壙跡）（１）



表Ⅵ－９　遺構出土石器・石製品等点数一覧（住居跡・土坑・配石列・塹壕跡）（２）

遺構名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円盤状石製品	三脚石器	四脚石器	異形石器	三角形石製品	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	礫	総計
TH-8	覆土	1	1				3				5	3	29		4	1	4	1				1	1																								19	72
	-										1																																					1
TH-8HP1	覆土												2																																			2
TH-8HP3	覆土														1																																	1
TH-8HP4	覆土												2																																			2
TH-8HP12	覆土										1		7																																			8
TH-8HP29	覆土						1						1																																			2
TH-8計		1	1				4				7	3	40		5	1	4	1				1	1																								19	88
TH-8(旧)	覆土	1	1		2		6	1			15	7	188		1			5				1																					1				28	257
	床面																						1																									1
	-														1	1																															3	5
TH-8(旧)HP2	覆土										1																																					1
TH-8(旧)HP13	覆土												2																																		2	4
TH-8(旧)HP14	覆土												1																																			1
TH-8(旧)HP18	覆土												3		2		1	1																													13	20
TH-8(旧)計		1	1		2		6	1			16	7	194		4	1	1	6				1	1																				1				46	289
TH-8(新)	覆土	1				1	9				10		33		1		2	1					1																								18	77
	貼床																																														1	1
	-																																														2	2
TH-8(新)HP6	-															1																																1
TH-8(新)HP27	覆土							1					3	1																															4			9
TH-8(新)計		1				1	9	1			10		36	1	1	1	2	1					1																						4		21	90
TH-9	覆土	6	5	5	2		24	3	1		51	15	410	4	14	1	8	4	1				5													2							2				156	719
	床																																														2	2
TH-9HP1	覆土						1						2																																			3
TH-9HP5	覆土												1																																			1
TH-9HP6	覆土												1																																		1	2
TH-9HP8	覆土																																														1	1
TH-9HP14	覆土												1		1																																	2
TH-9HP18	覆土												1																																			1
TH-9HP19	覆土											1																																				1
TH-9HP22	覆土												1																																			1
TH-9HP23	覆土						1				1		1																																		1	4
TH-9HP26	覆土																																														1	1
TH-9HP29	覆土						1				6		36		2																																	45
TH-9HP33	覆土												1																																			1
TH-9HP37	覆土						1																																									1
TH-9HP39	覆土												3																																			3
TH-9HP47	覆土						4				4		40																																			48
TH-9HP48	覆土																																														2	2
TH-9計		6	5	5	2		32	3	1		62	16	498	4	17	1	8	4	1				5													2							2				164	838
TH-10	覆土	1	1		1		6	1		1	12	6	14907																							1											17	14954
	覆土上			1	1		3	1				6	82										1																								3	98
	覆土中											3	21																																		4	28
	覆土下	1											15																																		5	21
	覆土1	1									2		5																																		2	10
TH-10計		2	1	1	2		9	2		1	14	15	15030										1													1											31	15111
TH-11	覆土	4	2	3	9	2	39	6			82	25	6808	4	7	2	11	1					1		2			2								4		1	1	3			2				88	7109
	覆土b												3																																			3
	覆土1	3	1		8	2	20	4			55	12	1387	5	8	1	11					1	2																3	1			1	1			68	1594
	覆土1a												1				1																															2
	覆土1a1						2						265																																			267
	覆土1a2														1																									1								2
	覆土1b				2		3				5	2	295				1																														7	315
	覆土1b～2												40																																			40
	覆土2	2	1	2	4	1	22	2	1		25	8	395		3	1	1					3	3													1											38	513
	覆土2b						1						3		1																																1	6
	床						1														1																										10	12
	貼床下												28																																		1	29
	-																1																														1	2
TH-11HP26	覆土																					1																										1
TH-11HP28	覆土																																														1	1
TH-11計		9	4	5	23	5	88	12	1		167	47	9225	9	20	4	26	1			1	5	6		2			2								5		1	4	5			3	1			215	9896
TH-12	覆土	4	1	1	2	1	8	5			27	9	279	1	7	1	1	1					1																	1							51	401
	-												1																																		1	2
TH-12HP1	覆土														1																																	1
TH-12HP2	覆土	2						1			1		11					1																													2	18
TH-12HP6	覆土										1		14																																			15
TH-12HP8	覆土												2																																			2
TH-12HP15	覆土														1																																	1
TH-12HP16	覆土						3				6	1	50		3																												1				1	65
TH-12埋甕	覆土											1			2																																2	5
TH-12計		6	1	1	2	1	11	6			35	11	357	1	14	1	1	2					1																	1			1				57	510
TH-13	覆土	1					6	1			4		62		1		3					1	2																								36	117
TH-13HP3	覆土												1	2																																		3
TH-13HP12	覆土																																														2	2
TH-13HP14	覆土												1																																			1
TH-13HP15	覆土												1																																			1
TH-13HP16	覆土	1																																														1
TH-13計		2					6	1			4		65	2	1		3					1	2																								38	125
TH-14	覆土	4	1	1	7	5	48				69	28	793	1	7		6						2															1		1			1	1			22	998
	覆土上				1		4				15	2	91			1					1																			1							2	118
	覆土下1c		1			1	8	1			15		91									1																										118
	覆土1	4	1	2	2	1	16	1	1		46	11	293				3						1																				2				9	393
	覆土1b	2	1	2	3		12	2			20	3	174	2	1		1	2																									1				20	246
	覆土1c	7		1	6		42	2			69	12	4182	2	1	1	2		1		1				1			1															2				69	4402
	覆土1c下																																														1	1
	覆土1d					1	3				8	4	159		2		2																														6	185
	覆土2	3	2		4		12	1			48	4	322										2																	1			1				14	414
	覆土3						4	1			11	3	78					1				1																									3	102
	覆土7						2				2	1	9																																			14
	床							1			3	1	17		1	1																															2	26
	床面直上																																														2	2
	床下										1		6										1																									8
	-												5																																			5
TH-14HP1	覆土1c												412																																			412
	焼土												64																																			64
TH-14HP2	焼土												180																																			180
TH-14HP3	焼土												5																																			5
TH-14HP4	焼土												13																																			13
TH-14HP16	覆土											1					1																															2
TH-14計		20	6	6	23	8	151	9	1		307	70	6894	5	12	3	15	3	1		2	2	6		1			1										1		3			7	1			150	7708
TH-15	覆土	1	2	1			16	3			27	16	215	1	3	3	4	1																									1				19	313
	覆土1					1	3	2			16	3	294		5	1							1																								9	335
	覆土2	3	1		2	2	2				8	2	116		4			2					3																								9	154
	覆土8										1																																					1
	床												6										3																								1	10
TH-15ステップ1	覆土			1			1					1	1																																			4
TH-15計		4	3	2	2	3	22	5			52	22	632	1	12	4	4	3					7																				1				38	817
TH-16	覆土	1					1				1		9		1	1	1																							1							10	26
	覆土1	1																																														1
	床																						1																									1
	床面																																														2	2
	床面2																																														1	1

表Ⅵ－９　遺構出土石器・石製品等点数一覧（住居跡・土坑・配石列・壁壕跡）（３）

遺構名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円盤状石製品	三脚石器	四脚石器	異形石器	三角形石製品	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	礫	総計
TH-16計		2					1				1		9		1	1	1					1																		1								13	31
TH-17	覆土	2	7	1	7	3	63	3			64	36	2960	5	22	4	11	3				1													1								2				67	4262
	覆土下												2																																				2
	覆土1				2		7				14	8	102		3		4																				1												12	153
	覆土2												2																																			5	7
	床														6																																		1	7
	床面												1																																				1
	－																						1																										1
TH-17HP1	－																						1																										1
TH-17HP2	覆土												16																																				16
TH-17HP3	覆土	1					1				2	2	8																															1			1	16
	－												1																																				1
TH-17HP4	覆土																																															1	1
TH-17HP5	覆土																					1																											1
TH-17HP6	覆土												2																																			1	3
TH-17計		3	7	1	9	3	71	3			80	46	4094	5	31	4	15	3				2	2													1	1								2	1			88	4472
TH-18	覆土						2						4		3	1		1																																22	33
	覆土1	2		1	2		10	3			29	20	590		8		5						3																1								3				72	749
	覆土2	4	2	1	3	1	10	5			31	24	281	1	14	1	9	3						4		1												1												66	462
	覆土2上					1	4				1	3	82		1		1																																	11	104
	覆土2下						3				3		17				1																																4	28
	床直上						1				1		3		2	1	2	2						3																										4	19
	床																																															4	4
	－										2		13																																				15
TH-18HP1	覆土	1										1	10		1																																	3	16
TH-18HP5	覆土												1																																			1	2
TH-18HP6	覆土												1																																			1	2
TH-18HP9	覆土																																															1	1
TH-18HP10	覆土										1		1																																				2
TH-18HP21	－														1			1																															2
TH-18HP25	覆土										1																																					2	3
TH-18HP26	覆土												1553																																			61	1614
	床				1		3				1		11																																				16
TH-18HP28	覆土																						1																									2	3
TH-18HP29	覆土												1																																				1
TH-18HP31	覆土																																															1	1
TH-18HP39	覆土						1						1																																			2	4
TH-18中央HP	覆土																																															1	1
TH-18HP	覆土												4																																			1	5
TH-18計		7	2	2	6	2	34	8			70	48	2573	1	30	3	18	7				3	8		1												1	1								3				259	3087
TH-19	覆土		1				6	1			7	2	51		8		5	1																														8	90
	覆土1	1				1		1			13	4	80		1		1																		1														15	118
	覆土2		1			1					4	1	40		1		1																														1				1	51
	床																						5																									0	5
TH-19HP15	覆土												1																																				1
TH-19HP25	－							1						2		1																																		4
TH-19HP29	覆土										8		31		2	1			1				1																									8	52
	－																						1																										1
TH-19計		1	2			2	6	3			32	7	205		13	1	7	1	1					7											1												1				32	322
TH-20	覆土				1																																											1	2
	床										3		54													1																							4	62
TH-20HP2	覆土												1																																				1
TH-20HP6	覆土											1				1																																		2
TH-20計					1						3	1	55		1												1																							5	67
TH-21	覆土	4	1	3	1		5			1	16	1	123	1	7		2					1	3																						1				16	186
	覆土1			1	1		5				6	6	125	2	2			1						1																1												17	168
	覆土2				2	1	9	2	1		12	6	122		3		1	1				1																											16	177
	覆土貼ベンチ												3																																				3
TH-21HP1	覆土	3	2	2			5				9		54		4					1			2																									92	174
TH-21HP5	覆土												2						1																															3
TH-21HP6	覆土											1																																				1	2
TH-21HP9	覆土												2																																				2
TH-21HP15	覆土												1																																				1
TH-21HP23	覆土												7																																				7
TH-21HP25	覆土										1																																						1
TH-21HP29	覆土																						1																										1
TH-21計		7	3	6	4	1	24	2	1	1	44	14	439	3	16		3	3		1		2	7														1						1				142	725
TH-21・23	覆土											1	4																																				5
TH-21・23計												1	4																																				5
TH-22	覆土	7	3	2	3	2	52	7	1		55	23	706	4	14	3	3	4				1	5													1				1			2				117	1016
	覆土上					1	2				3	3	67	1	4			2	1																					1							13	98
	覆土下						1				3	2	61									2	1																									4	74
	覆土1						2				1		3		2																																	1	9
	覆土2			1										4																																				5
	床直上			1					2		4	1	7																																			3	18
	床面黒色土										1																																						1
	貼ベンチ						1						6				1																																8
	－																																		2												2
TH-22HP1	覆土	4		7			7	4	1		7	6	93		9			1				1	2																										11	153
	－																																															1	1
TH-22HP2	覆土												3																																				3
TH-22HP4	覆土						1																																										1	2
TH-22HP13	－																																															1	1
TH-22HP14	覆土																																															1	1
TH-22HP15	覆土												3																																				3
TH-22HP16	覆土						1				1																																						2
TH-22HP18	覆土												1																																				1
TH-22HP20	－												1																																				1
TH-22HP21	覆土										2		5																																			2	9
TH-22HP22	－												1																																				1
TH-22HP44	覆土										1		12																																				13
TH-22HP46	覆土											1				2																																		3
TH-22HP49	覆土																																															1	1
TH-22HP57	覆土											1																																						1
TH-22HP58	覆土																																															1	1
TH-22HP60	覆土						1																																										1
TH-22HP62	覆土		1																																														1
TH-22HP64	覆土						1				1																																						2
TH-22周溝	覆土						2						5																																				7
TH-22計		11	4	11	3	3	71	11	4		79	37	978	5	31	3	4	7	1			4	8													3				1	1		2				157	1439
TH-23	覆土	3		1			10	2		1	26	6	144	1	1		4	1					1																						1				32	234
	覆土2	1					6				5		83		1		1	1																														9	107
	床面														1								1												1												1	4
TH-23HP7	覆土												1																																				1
TH-23HP13	覆土						1				1		1																																				3
TH-23周溝	覆土																																															2	2
TH-23計		4		1			17	2		1	32	6	229	1	3		5	2						2												1								1				44	351
TH-23(旧)	覆土			3	2		9				11	2	39		3		4	2																							1							22	98
TH-23(旧)HP1	覆土				1		2	1			2		10				1																														5	22
	－										1		1		7		1																														6	16
TH-23(旧)HP5	－																2																															1	3
TH-23(旧)HP6	－												1																																				1
TH-23(旧)HP7	覆土												1																																				1
	－												1																																				1

表Ⅵ－９　遺構出土石器・石製品等点数一覧（住居跡・土坑・配石列・塹壕跡）（４）

遺構名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片
TH-23(旧)HP14	-												1
TH-23(旧)HP16	覆土												1
TH-23(旧)HP18	覆土							1			1		3
TH-23(旧)HP19	覆土				1								4
TH-23(旧)HP21	覆土										1		2
TH-23(旧)HP22	覆土												1
TH-23(旧)HP	覆土												1
TH-23(旧)計				2	4		11	2			16	2	66
TH-23(新)HP3	覆土												
TH-23(新)計													
TH-24	覆土		1	2	2		16	3			17	8	435
	覆土1			1		1	8		1		17	14	404
	覆土2			2			7			1	15	7	161
	覆土2下												712
	床面						1						
	-												
TH-24HP1	覆土										1		6
	床直上												123
TH-24HP2	覆土											1	
TH-24HP10	覆土												1
TH-24HP19	覆土												
TH-24計			1	5	2	1	32	3	1	1	50	30	1842
TH-25	覆土	3	2	4		1	11				31	1	202
	床面												
	貼床	1					1				3		11
TH-25HP1-1	焼土												597
TH-25HP1-2	焼土												51
TH-25HP1-3	焼土												58
TH-25HP2	焼土										1		375
TH-25HP4	覆土							1			3	1	16
TH-25HP7	覆土												5
TH-25HP8	覆土												2
TH-25HP10	覆土												
TH-25HP13	覆土												1
TH-25HP14	覆土	1			1								6
TH-25HP16	覆土						2				1		
TH-25HP17	-												1
TH-25HP19	-						1						
TH-25HP23	覆土												1
TH-25HP24	覆土										1		
TH-25HP25	覆土												1
TH-25HP26	覆土						1				1		1
TH-25HP30	覆土												
TH-25HP31	覆土						1						2
TH-25周溝	覆土												3
TH-25計		5	2	4	1	1	17	1			41	2	1333
TH-27	覆土			1	1		2				6		35
TH-27HP1	覆土										1		97
TH-27計				1	1		2				7		132
TH-28	覆土		1			1	11	1			19	8	87
	-	1											
TH-28HP1	覆土						1				5	1	4
	-												
TH-28HP3	-												
TH-28HP4	覆土												
TH-28HP5	覆土												
TH-28HP6	覆土										3		3
TH-28HP9	覆土										1		
TH-28HP10	覆土								1				
TH-28計		1	1			1	12	1	1		26	9	94
TH-29	覆土	3			2		10	1			11		60
	ベンチ			1									
TH-29HP1	覆土												4
TH-29HP6	覆土												
TH-29HP11	覆土												2
TH-29計		3		1	2		10	1			11		66
TH-30	覆土	3	2	4	2	1	31	3			55	5	331
	-	1						1					1
TH-30HP1	覆土										1		
TH-30HP3	覆土												6
TH-30HP5	覆土												2
TH-30HP15	覆土												2
TH-30HP	-												1
TH-30計		4	2	4	2	1	31	4			56	5	343
TH-30(旧)	覆土		2		2	1	11	2			15	1	104
	-					1							
TH-30(旧)HP1	焼土									1			912
	-												1
TH-30(旧)HP2	-												
TH-30(旧)HP3	覆土	1											
TH-30(旧)HP5	覆土		1										1
TH-30(旧)HP7	覆土												
TH-30(旧)計		1	3		2	2	11	2		1	15	1	1018
TH-30(新)	覆土	4	1	1			7	2			10		73
	-	1											
TH-30(新)HP2	焼土										1		866
TH-30(新)HP5	覆土												2
TH-30(新)HP6	-												
TH-30(新)HP20	覆土												1
TH-30(新)HP26	覆土												
TH-30(新)周溝	覆土												2
TH-30(新)計		5	1	1			7	2			11		944
TH-31	覆土	4		1			5				11		93
	貼床										2	1	5
TH-31計		4		1			5				13	1	98
TH-32	覆土	3			3	2	23	2			36	16	178
	-						2	1			1		5
TH-32HP2	覆土										2	1	5
TH-32HP3	覆土												1
TH-32HP4	覆土												
TH-32HP5	覆土												
TH-32HP9	覆土												2
TH-32HP10	覆土												
TH-32HP13	覆土												1
TH-32HP19	-												
TH-32HP23	覆土			1				1			4		16
TH-32計		3		1	3	2	25	4			43	17	206
TH-33	覆土	5			2	1	22	1			9	2	243
	旧ベンチ下												
	-	1											
TH-33HP1	焼土												132
TH-33HP3	覆土												4
TH-33HP4	覆土												
TH-33HP5	覆土										1		6

遺構名	層位	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿
TH-23(旧)HP14	-										
TH-23(旧)HP16	覆土										
TH-23(旧)HP18	覆土										
TH-23(旧)HP19	覆土										
TH-23(旧)HP21	覆土										
TH-23(旧)HP22	覆土										
TH-23(旧)HP	覆土										
TH-23(旧)計			10		8	2					
TH-23(新)HP3	覆土				1					1	
TH-23(新)計					1					1	
TH-24	覆土		9	3	2	1					2
	覆土1	2	2		1	2					1
	覆土2		2	2	3	1					
	覆土2下										
	床面		3	1							
	-										
TH-24HP1	覆土		6								
	床直上										
TH-24HP2	覆土										
TH-24HP10	覆土										
TH-24HP19	覆土										
TH-24計		2	22	6	6	4					3
TH-25	覆土	1	4	1	3	1					2
	床面										
	貼床					1					
TH-25HP1-1	焼土										
TH-25HP1-2	焼土										
TH-25HP1-3	焼土										
TH-25HP2	焼土		1								
TH-25HP4	覆土		14	3		1					
TH-25HP7	覆土										
TH-25HP8	覆土										
TH-25HP10	覆土										
TH-25HP13	覆土										
TH-25HP14	覆土										
TH-25HP16	覆土										
TH-25HP17	-										
TH-25HP19	-										
TH-25HP23	覆土										
TH-25HP24	覆土										
TH-25HP25	覆土										
TH-25HP26	覆土										
TH-25HP30	覆土										
TH-25HP31	覆土										
TH-25周溝	覆土										
TH-25計		1	19	4	3	3					2
TH-27	覆土				4						
TH-27HP1	覆土										
TH-27計					4						
TH-28	覆土	1	4	2	1					1	2
	-										
TH-28HP1	覆土		10								
	-										
TH-28HP3	-										
TH-28HP4	覆土		1								
TH-28HP5	覆土										
TH-28HP6	覆土										
TH-28HP9	覆土										
TH-28HP10	覆土										
TH-28計		1	15	2	1					1	2
TH-29	覆土		8	1	2					2	
	ベンチ										
TH-29HP1	覆土		1								
TH-29HP6	覆土					1					
TH-29HP11	覆土										
TH-29計			9	1	2	1				2	
TH-30	覆土	2	5	3	4	2				1	2
	-				1		1				
TH-30HP1	覆土										
TH-30HP3	覆土										
TH-30HP5	覆土										
TH-30HP15	覆土										
TH-30HP	-										
TH-30計		2	5	3	5	2	1			1	2
TH-30(旧)	覆土	1	2			2					3
	-	1									1
TH-30(旧)HP1	焼土										
	-				1						
TH-30(旧)HP2	-	2									
TH-30(旧)HP3	覆土										
TH-30(旧)HP5	覆土										
TH-30(旧)HP7	覆土										
TH-30(旧)計		4	2		1	2					4
TH-30(新)	覆土		1		3	1				1	
	-										
TH-30(新)HP2	焼土										
TH-30(新)HP5	覆土										
TH-30(新)HP6	-										
TH-30(新)HP20	覆土										
TH-30(新)HP26	覆土				2						
TH-30(新)周溝	覆土										
TH-30(新)計			1		5	1				1	
TH-31	覆土	3	6		3						1
	貼床										
TH-31計		3	6		3						1
TH-32	覆土	2	5	3	4	1				1	1
	-										
TH-32HP2	覆土										
TH-32HP3	覆土										
TH-32HP4	覆土										
TH-32HP5	覆土										
TH-32HP9	覆土										
TH-32HP10	覆土		1								
TH-32HP13	覆土										
TH-32HP19	-										
TH-32HP23	覆土		2	1							
TH-32計		2	8	4	4	1				1	1
TH-33	覆土	1	1	2	3	2					
	旧ベンチ下										
	-										
TH-33HP1	焼土										
TH-33HP3	覆土										
TH-33HP4	覆土										
TH-33HP5	覆土	1	1								

遺構名	層位	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円盤状石製品	三脚石器	四脚石器	異形石器	三角形石製品	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒
TH-23(旧)HP14	-												
TH-23(旧)HP16	覆土												
TH-23(旧)HP18	覆土												
TH-23(旧)HP19	覆土												
TH-23(旧)HP21	覆土												
TH-23(旧)HP22	覆土												
TH-23(旧)HP	覆土												
TH-23(旧)計													
TH-23(新)HP3	覆土												
TH-23(新)計													
TH-24	覆土												
	覆土1												
	覆土2												
	覆土2下												
	床面												
	-												
TH-24HP1	覆土												
	床直上												
TH-24HP2	覆土												
TH-24HP10	覆土												
TH-24HP19	覆土												
TH-24計													
TH-25	覆土												
	床面												
	貼床												
TH-25HP1-1	焼土												
TH-25HP1-2	焼土												
TH-25HP1-3	焼土												
TH-25HP2	焼土												
TH-25HP4	覆土												
TH-25HP7	覆土												
TH-25HP8	覆土												
TH-25HP10	覆土												
TH-25HP13	覆土												
TH-25HP14	覆土												
TH-25HP16	覆土												
TH-25HP17	-												
TH-25HP19	-												
TH-25HP23	覆土												
TH-25HP24	覆土												
TH-25HP25	覆土												
TH-25HP26	覆土												
TH-25HP30	覆土												
TH-25HP31	覆土												
TH-25周溝	覆土												
TH-25計													
TH-27	覆土												
TH-27HP1	覆土												
TH-27計													
TH-28	覆土												
	-												
TH-28HP1	覆土												
	-												
TH-28HP3	-												
TH-28HP4	覆土											1	
TH-28HP5	覆土												
TH-28HP6	覆土												
TH-28HP9	覆土												
TH-28HP10	覆土												
TH-28計												1	
TH-29	覆土							1					
	ベンチ												
TH-29HP1	覆土												
TH-29HP6	覆土												
TH-29HP11	覆土												
TH-29計								1					
TH-30	覆土												
	-												
TH-30HP1	覆土												
TH-30HP3	覆土												
TH-30HP5	覆土												
TH-30HP15	覆土												
TH-30HP	-												
TH-30計													
TH-30(旧)	覆土												
	-												
TH-30(旧)HP1	焼土												
	-												
TH-30(旧)HP2	-												
TH-30(旧)HP3	覆土												
TH-30(旧)HP5	覆土												
TH-30(旧)HP7	覆土												
TH-30(旧)計													
TH-30(新)	覆土												
	-												
TH-30(新)HP2	焼土												
TH-30(新)HP5	覆土												
TH-30(新)HP6	-												
TH-30(新)HP20	覆土												
TH-30(新)HP26	覆土												
TH-30(新)周溝	覆土												
TH-30(新)計													
TH-31	覆土												
	貼床												
TH-31計													
TH-32	覆土		1										
	-												
TH-32HP2	覆土												
TH-32HP3	覆土												
TH-32HP4	覆土												
TH-32HP5	覆土												
TH-32HP9	覆土												
TH-32HP10	覆土												
TH-32HP13	覆土												
TH-32HP19	-												
TH-32HP23	覆土												
TH-32計			1										
TH-33	覆土												
	旧ベンチ下												
	-												
TH-33HP1	焼土												
TH-33HP3	覆土												
TH-33HP4	覆土												
TH-33HP5	覆土												

遺構名	層位	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	礫	総計
TH-23(旧)HP14	-													1
TH-23(旧)HP16	覆土													1
TH-23(旧)HP18	覆土													5
TH-23(旧)HP19	覆土												1	6
TH-23(旧)HP21	覆土												3	6
TH-23(旧)HP22	覆土													1
TH-23(旧)HP	覆土													1
TH-23(旧)計						1							38	163
TH-23(新)HP3	覆土												2	4
TH-23(新)計													2	4
TH-24	覆土	2				1							38	542
	覆土1					4			2	4			56	520
	覆土2								1				16	218
	覆土2下													712
	床面													5
	-												1	1
TH-24HP1	覆土												3	16
	床直上													123
TH-24HP2	覆土													1
TH-24HP10	覆土													1
TH-24HP19	覆土												1	1
TH-24計		2				5			2	4			115	2140
TH-25	覆土	1				1							42	311
	床面												1	1
	貼床												5	22
TH-25HP1-1	焼土													597
TH-25HP1-2	焼土													51
TH-25HP1-3	焼土													58
TH-25HP2	焼土												5	382
TH-25HP4	覆土				1								17	57
TH-25HP7	覆土													5
TH-25HP8	覆土													2
TH-25HP10	覆土												1	1
TH-25HP13	覆土													1
TH-25HP14	覆土													8
TH-25HP16	覆土													3
TH-25HP17	-													1
TH-25HP19	-													1
TH-25HP23	覆土													1
TH-25HP24	覆土													1
TH-25HP25	覆土												1	2
TH-25HP26	覆土												1	4
TH-25HP30	覆土												1	1
TH-25HP31	覆土													3
TH-25周溝	覆土													3
TH-25計		1			1	1							74	1516
TH-27	覆土												3	52
TH-27HP1	覆土													98
TH-27計													3	150
TH-28	覆土									1			57	197
	-													1
TH-28HP1	覆土												1	22
	-												1	1
TH-28HP3	-												2	2
TH-28HP4	覆土												2	4
TH-28HP5	覆土												5	5
TH-28HP6	覆土													6
TH-28HP9	覆土													1
TH-28HP10	覆土													1
TH-28計										1			68	240
TH-29	覆土												44	145
	ベンチ													1
TH-29HP1	覆土												1	6
TH-29HP6	覆土													1
TH-29HP11	覆土													2
TH-29計													45	155
TH-30	覆土								3				55	514
	-												3	8
TH-30HP1	覆土												4	5
TH-30HP3	覆土												2	8
TH-30HP5	覆土													2
TH-30HP15	覆土													2
TH-30HP	-													1
TH-30計									3				64	540
TH-30(旧)	覆土												27	173
	-													3
TH-30(旧)HP1	焼土													913
	-													2
TH-30(旧)HP2	-													2
TH-30(旧)HP3	覆土													1
TH-30(旧)HP5	覆土													2
TH-30(旧)HP7	覆土												1	1
TH-30(旧)計													28	1097
TH-30(新)	覆土						1						19	124
	-													1
TH-30(新)HP2	焼土													867
TH-30(新)HP5	覆土													2
TH-30(新)HP6	-												1	1
TH-30(新)HP20	覆土													1
TH-30(新)HP26	覆土												6	8
TH-30(新)周溝	覆土													2
TH-30(新)計							1						26	1006
TH-31	覆土								2				12	141
	貼床												1	9
TH-31計									2				13	150
TH-32	覆土		1		2		1		3				68	356
	-												1	10
TH-32HP2	覆土												3	11
TH-32HP3	覆土												1	2
TH-32HP4	覆土												1	1
TH-32HP5	覆土												1	1
TH-32HP9	覆土													2
TH-32HP10	覆土													1
TH-32HP13	覆土												1	2
TH-32HP19	-												3	3
TH-32HP23	覆土												5	30
TH-32計			1		2		1		3				84	419
TH-33	覆土								3				29	326
	旧ベンチ下												1	1
	-													1
TH-33HP1	焼土													132
TH-33HP3	覆土												1	5
TH-33HP4	覆土												2	2
TH-33HP5	覆土													9

表Ⅵ－９　遺構出土石器・石製品等点数一覧（住居跡・土坑・配石列・塹壕跡）（５）

遺構名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円盤状石製品	三脚石器	四脚石器	異形石器	三角形石製品	刻線有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含油頁岩礫	礫	総計
TH-33HP9	覆土											1																																				1	2
TH-33計		6			2	1	22	1			10	3	385	2	2	2	3	2																												3				34	476
TH-34	覆土	5		1	1	1	11	1			12	2	113		4		1					1	2												1													42	196
						1																																									1
	-																																														3017	3017
TH-34HP7	覆土										3		1																																					4
TH-34HP23	覆土					1							1																																					2
TH-34計		5		1	1	2	12	1			15	2	115		4		1					1	2												1												3059	3222
TH-34(旧)	覆土										3		19	1			3					2			1										1													4	34
	-												1																																			43	44
TH-34(旧)HP1	覆土																																														1795	1795
TH-34(旧)HP1	覆土										2		1																																			1	4
TH-34(旧)HP11	覆土						1																																										1
TH-34(旧)HP12	覆土												2																																					2
TH-34(旧)HP14	覆土	1												1																																		1	3
TH-34(旧)HP15	覆土												3																																					3
TH-34(旧)計		1					1				5		26	1	1		3					2			1										1												1844	1886
TH-34(新)	覆土	11	1		3	1	15	4			17		87	1	4	1	2	2					3														1			1								36	190
	-		1								1		6										1																								2	11
TH-34(新)HP1	焼土												84																																						84
TH-34(新)HP1	覆土						1				1		2																																			1	5
TH-34(新)HP2	覆土												1																																					1
TH-34(新)HP6	覆土																																														3	3
TH-34(新)HP9	覆土												1																																					1
TH-34(新)HP12	-																																														2	2
TH-34(新)HP18	覆土						1				1		1																																				3
	-																																														2	2
TH-34(新)HP21	覆土						1	1					2		2																																		2	8
TH-34(新)HP24	覆土												2																																			1	3
TH-34(新)計		11	2		3	1	18	5			20		186	1	6	1	2	2					4														1			1								49	313
TH-35	覆土	8	3		1		14	7			40	4	980	2	17	4	5	2	1				5																		1	1		1				99	1195
	-													1	1		1																															4	7
TH-35HP1	焼土										1		20																																					21
TH-35HP1	覆土										1		1																																					2
TH-35HP2	覆土	1									1		6																																					8
TH-35HP3	覆土						2				1		2										1																								6
TH-35HP4	覆土						1				3		4																																					8
TH-35HP6	覆土																																														1	1
TH-35HP7	覆土						2						20		2			1																														1	26
TH-35HP13	覆土										1		1																																					2
TH-35HP16	覆土																																														1	1
TH-35HP22	-																																														1	1
TH-35計		9	3		1		19	7			48	4	1034	2	20	5	5	4	1				6																		1	1		1				107	1278
TH-37	覆土	1			1		11				22	7	175	1	2																																		22	242
TH-37HP6	覆土												1																																					1
TH-37HP21	覆土										1		1																																					2
TH-37HP25	覆土												1																																					1
TH-37HP32	覆土												2																																					2
TH-37計		1			1		11				23	7	180	1	2																																		22	248
TH-39	覆土	5	2		1		10	2			7	1	47	1	3	3	3	5					2								1																42	135
	-				1	1	1	1			6		20										2																				1				2	35
TH-39(新)	覆土		1		1	1	9	1			16	1	37	2	1								1																						1				9	81
	床面										1																																							1
	-																																														5	5
TH-39(旧)	覆土	1			2		8				9		67	2	2																																		26	117
	-							1	1		5		13																																					20
TH-39HP1	焼土												8803																																		1	8804
TH-39HP1	覆土						1																																							1	2
TH-39HP2	覆土				1								1																																					2
TH-39HP4	覆土										1		5																																					6
TH-39HP5	覆土																																														1	1
TH-39HP8	覆土										1		4			1																												1				2	9
TH-39HP9	覆土	1											1																																					2
TH-39HP17	覆土													1																																	1	2
TH-39HP24	覆土																																														1	1
TH-39計		7	3		6	2	29	5	1		45	2	8998	6	6	4	3	5					5								1													3				91	9223
TH-40	覆土							1			10	2	46		1																																	6	66
	床面直上																					1																								1
TH-40周溝	-												1																																			1	2
TH-40計								1			10	2	47		1							1																								7	69
TH-42	覆土										3		2																																			1	6
TH-42計											3		2																																			1	6
TH-44	覆土	4	3	1	4	4	38				51	3	221	1	5	1	7	5					2																								56	406
	床																																														2	2
TH-44HP1	焼土										1		1																																					2
TH-44HP1	覆土												2																																					2
	-																																														1	1
TH-44HP2	覆土										1		1																																					2
TH-44HP6	覆土												1																																					1
TH-44計		4	3	1	4	4	38				53	3	226	1	5	1	7	5					2																								59	416
TH-45	覆土	5	1		3	1	8	2			19	2	300	4	1	5	2	1				1	1																	2					1		2	68	429
TH-45HP2	覆土												1																																					1
TH-45HP3	覆土										2		2																																					4
TH-45HP4	覆土																1																															2	3
TH-45HP7	覆土										1																																							1
TH-45計		5	1		3	1	8	2			22	2	303	4	1	5	3	1				1	1																	2					1		2	70	438
TH-47	覆土	4			1	1	12				19	2	196	1	8	2	4	2				1	1			2																		2	1			47	306
	覆土上						3				2		20		1																																		10	36
TH-47HP1	覆土															1																																		1	2
TH-47HP2	覆土												2																																					2
TH-47HP4	-												2																																					2
TH-47HP5	覆土												1																																			28	29
TH-47HP6	覆土												4																																					4
TH-47HP11	覆土												1																																			1	2
TH-47HP12	覆土上面																							1																								1
	覆土						2						2		3	1																																		4	12
TH-47HP14	覆土												1																																					1
TH-47HP16	覆土										2		5																																					7
TH-47HP20	覆土												1																																					1
TH-47計		4			1	1	17				23	2	235	1	12	4	4	2				1	2			2																		2	1			91	405
TH-48	覆土	3			1		8				6		99	1	1		2																																10	130
	-						1				1		6																																					8
TH-48HP1	焼土												177																																					177
TH-48HP13	-																																														1	1
TH-48計		3			1		9				7		282	1	1		2																																10	316
TH-49	覆土						4				14	1	49		2		4																																12	86
TH-49HP2	覆土																							1																								1
TH-49HP9	-																							1																								1
TH-49計							4				14	1	49		2		4					2																								12	88
TH-54	覆土			1	1		3				10	3	73		2	1	1																																5	100
	覆土上	6	5	7	8	1	37	4	1		158	23	608	4		2	2				2		1													4				1				1			16	891
	覆土中	6	3	2	7	5	44	2	1		119	7	649	5	3	4	10						1	1											1								1			26	899
	覆土下	5	1		6	2	41	4			69	14	416	5	3	1	5					1	2												4	1						2	2			14	596
	床面												1				1					3																								1	6

表Ⅵ－9　遺構出土石器・石製品等点数一覧（住居跡・土坑・配石列・塹壕跡）（6）

遺構名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円盤状石製品	三脚石器	四脚石器	異形石器	三角形石製品	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	礫	総計
TH-58P3	–										1																																				1	2
TH-58P4	覆土底																																														1	1
	–												3																																			3
TH-54計		19	9	10	22	8	125	10	2		357	47	1750	14	8	8	19				2	1	7	1												9	1			1			2	4			64	2500
TH-55	覆土														1																																4	5
TH-55計															1																																4	5
TH-61	覆土	3		1			7				14	2	29																							1											9	66
	床面	1									2		9	1	3	3							3																2	2							20	46
	貼床	1					1	1			17	1	32		2		1																														12	68
TH-61P	炉										1		1																																			2
TH-61計		5		1			8	1			34	3	71	1	5	3	1						3													1			2	2							41	182
TP-1	覆土	1			3		5	1	1		21	3	1475	1	5	1	2						1																				2				44	1566
TP-2	覆土							1			2		10				3																														4	20
TP-3	覆土											2			1		2						1																								9	15
	覆土上																																		1													1
TP-3計												2			1		2						1												1												9	16
TP-4	覆土											1			2																												1				1	5
	覆土2																																														1	1
TP-4計												1			2																												1				2	6
TP-5	覆土						1				1				1	1							1																								3	8
TP-6	覆土														1																																16	17
TP-7	覆土	1									1	1	15																																		3	21
	床面																						1																									1
	底面																						1																									1
TP-7計		1									1	1	15										2																								3	23
TP-8	覆土				1						1	1	6	1	1																																2	13
	覆土上																																														4	4
	覆土中											1																																				1
	覆土下											1	1																																		2	4
TP-8計					1						1	3	7	1	1																																8	22
TP-9	覆土						1				2	1	1		2		1																														2	10
TP-10	覆土上																																												7			7
TP-14	覆土												2																																			2
TP-15	覆土						13	1			29	5	249	1								1																									11	310
	覆土上						2				9	3	40		1	1																																56
	覆土1										1	1	107																							1												110
	覆土2				1		4				6	3	77																																		2	93
	覆土4				1	1	3	1			3	1	77		1		2						1																								1	92
	覆土5				1		1				1		3	1																																		7
TP-15計					3	1	23	2			49	13	553	2	2	1	2					1	1													1											14	668
TP-16	覆土												4					1																													2	7
TP-17	覆土																																														2	2
TP-18	覆土						11		1		18	1	186	2	2		2																														45	268
	床	1												1	1																												1				3	7
TP-18計		1					11		1		18	1	186	3	3		2																										1				48	275
TP-19	覆土	1									3		4			1																															4	13
TP-21	覆土						1	1					10		1																																2	15
TP-22	覆土							1			1																																				1	2
TP-23	覆土	1					1	3			4	1	167		1																																5	183
	覆土上			1							4	1	33																																		1	40
	覆土下					1		1					12																																			14
TP-23計		1		1		1	1	4			8	2	212		1																																6	237
TP-24	覆土					1	1				2	6	132		1																																2	145
TP-25	覆土						1				6		27		2		1																														2	39
TP-26	覆土											1	6												1																							8
	坑底										1																																					1
TP-26計											1	1	6												1																							9
TP-28	覆土							1			1		11																																		1	14
TP-29	覆土																																														1	1
	床																																														2	2
TP-29計																																															3	3
TP-30	覆土										2		3		2		1																														21	29
	覆土下												1																																			1
TP-30計											2		4		2		1																														21	30
TP-32	覆土			1			2				3		1				1																														1	9
TP-33	覆土										1		8																																		2	11
TP-34	覆土										1		1				1																														1	4
TP-35	覆土										1	1	4																																			6
TP-38	覆土																																														1	1
TP-40	覆土										1		8																																		4	13
TP-41	覆土				1		1						1		1																																4	8
TP-43	覆土						1	1					8									1																									1	12
TP-44	覆土										1		16																																		1	18
TP-46	覆土						1				1	1	16		1								3																								6	29
TP-47	覆土											1			1	1	1																							1							20	25
TP-48	覆土		1				2	1			5		5				1					1																		1							4	21
TP-51	覆土		1		1		4	1			8	2	53	2	1																								1								13	87
	覆土中						1						9				1																														4	15
TP-51計			1		1		5	1			8	2	62	2	1		1																						1								17	102
TP-53	覆土						1				1	1	2	1			1																			1							1				3	12
TP-56	覆土				1								1		1																																9	12
TP-58	覆土				1						2		4	1																																	4	12
TP-59	覆土						3				4	1	20		2								1																								18	49
	–																																							1								1
TP-59計							3				4	1	20		2								1																	1							18	50
TP-61	覆土												4																																		8	12
TP-62	覆土	1		3		1	9				10	1	63		2	1	1																														13	105
TP-64	覆土						1				2	2	52	1																										1			1				2	62
TP-65	覆土												1																																		4	5
TP-66	覆土	1				1	3				1		9		3	1						1	1												1				1								15	38
TP-67	覆土												17		1	1	1					1																					1				4	26
TP-68	覆土			1			1	1			4	1	20		3		3					1	2				1																				20	58
TP-70	覆土																																														1	1
TP-71	覆土	1					4	1				1	8		1		1	1																													21	39
TP-72	覆土			1			2				4	1	17		5		1	1					5																				2				37	76
TP-73	覆土	1			1						2		4		1																													40			20	69
TP-75	覆土	1									1	1	7	1			2	1																													6	20
TP-76	覆土						3				1	1	8		3								1																								10	27
TP-77	覆土										1		8		2																																5	16
TP-79	覆土																																														1	1
TP-80	覆土		1				1				3	1	13		2																																3	24
TP-81	覆土						2						4		1		5																			1											7	20
TP-82	覆土				1						1		35				1																															38
TP-83	覆土						1					1	4					1																													2	9
TP-85	覆土						4	1			2	4	22	1	1		1																														16	52
TP-86	覆土						1	1			6	1	24		1		1					1	1																								16	53
TP-87	覆土						1				1		5									1	1																								3	12
TP-89	覆土			1							3		9			1	2	1					1																								18	36
TP-91	覆土												2																																			2
TP-92	覆土				1																																										1	2
TP-93	覆土												1					1																													1	3
TP-94	覆土																						1																									1
TP-95	覆土				1		1				1		18		1	2							1																					1			18	44
TP-97	覆土				1								2																																			3

表Ⅵ－9　遺構出土石器・石製品等点数一覧（住居跡・土坑・配石列・塹壕跡）（7）

遺構名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片	石斧	たたき石	すり石	扁平打製石器	北海道式石冠	石錘	礫器	石鋸	砥石	台石石皿
TP-98	覆土						2				2		4										
TP-99	覆土						1				1		1	1	1							1	
TP-100	覆土				1		2				1	1	20		4								
TP-101	覆土										2		3										
TP-102	覆土			2			1				1	1	1				1						
TP-103	覆土		1		1		4					2	7										1
TP-104	覆土	1									1		4		1								
TP-105	覆土										1	1	10										
TP-107	覆土										1		1										
TP-111	覆土						1																
TP-112	覆土										1												
TP-113	覆土										2				1		1						
TP-114	覆土												6		3			1					
TP-116	覆土										1		6										
TP-119	覆土										1	1	2		3		1	2					1
TP-121	覆土												4										
TP-123	覆土	2						1			5	2	93			1							
	覆土中						1				4	3	71	1	2	1	1					1	
	覆土下										3		11			1							
	覆土1					1					4	1	14										
	覆土2										3		15										
	覆土3	1				1	1	1			8	4	51		1	2	1					1	
	覆土4						1				4		4	1	1		2						
	覆土5	1											3				1						
	覆土6		1				1				1	1	7			1							
TP-123計		4	1			2	4	2			32	11	269	2	4	6	5					2	
TP-128	覆土										2		9										
TP-134	覆土												1										1
	覆土1						2	1					3				1						
TP-134計							2	1					4				1						1
TP-136	覆土	1					9				14	2	130		5	1	1						2
配石列1	m1a					1	3				6	5	35	1	3	3	2	1				1	1
	m2																						
	m2(2)																						
	m2下												3										
配石列1計						1	3				6	5	38	1	3	3	2	1				1	1
配石列2	m1																						
	m1a																	1					6
	m2											1			1	2		1					6
	m2(2)											1			2	3	1	4					13
	m2上												3		1	2	1						4
	m2下	1	1		1		2	3			3	1	246		6		4	2					4
	–																						
配石列2計		1	1		1		2	3			3	3	249		10	7	6	8					33
配石列3	m1a			1	1	2	4	1			2	1	45	1	2	2		2					
塹壕跡	覆土	3	4	2	2		24	3	2		81	17	303	3	28	5	9	7		1		3	13
	覆土上	1	1				2				1	1	32		2		1						
	覆土下												1		2	3	1						2
	覆土1	1															1						
	焼土												1										
	–										1												
塹壕跡計		5	5	2	2		26	3	2		83	18	337	3	32	8	12	7		1		3	15

遺構名	層位	岩偶	玦状耳飾	玉	垂飾	円盤状石製品	三脚石器	四脚石器	異形石器	三角形石製品	側縁有溝石器	長板状石製品	石棒	軽石製品	石製品	線刻礫	加工痕のある礫	原石	変わり石	球状礫	有孔礫	軽石礫	スコリア礫	含珪藻礫	礫	総計
TP-98	覆土																								8	16
TP-99	覆土																								8	14
TP-100	覆土																				1				13	43
TP-101	覆土																								2	7
TP-102	覆土																								3	10
TP-103	覆土																1								9	26
TP-104	覆土																								5	12
TP-105	覆土														1										1	14
TP-107	覆土																									2
TP-111	覆土																									1
TP-112	覆土																								1	2
TP-113	覆土																								6	10
TP-114	覆土																								3	13
TP-116	覆土																									7
TP-119	覆土																								6	17
TP-121	覆土																									4
TP-123	覆土																				1				1	106
	覆土中												1								1				12	99
	覆土下																								5	20
	覆土1																								2	22
	覆土2																									18
	覆土3																								9	81
	覆土4																								4	17
	覆土5																									5
	覆土6																1								2	15
TP-123計													1				1				2				35	383
TP-128	覆土																								1	12
TP-134	覆土												1												4	7
	覆土1																								7	14
TP-134計													1												11	21
TP-136	覆土																								36	201
配石列1	m1a												1								1				1746	1810
	m2																								2	2
	m2(2)																								1	1
	m2下																									3
配石列1計													1								1				1749	1816
配石列2	m1																								1	1
	m1a																								1	8
	m2																								29	40
	m2(2)									1															37	62
	m2上																								17	28
	m2下																	1							41	316
	–																								3	3
配石列2計										1								1							129	458
配石列3	m1a																1				6				786	857
塹壕跡	覆土										1						4				2				357	874
	覆土上																								7	48
	覆土下																								13	22
	覆土1																								13	15
	焼土																									1
	–																									1
塹壕跡計											1						4				2				390	961

表Ⅵ－10　遺構出土石器・石製品等点数一覧（Tピット・焼土・集石・フレイク集中・小ピット・杭列）（1）

遺構名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片	その他石器・石製品・有意の礫	礫	小礫	総計
TTP-1	覆土												1		1		2
TF-2	焼土												28				28
TF-4	焼土										1		106				107
TF-5	焼土												21				21
TF-6	焼土												34				34
TF-10	焼土												360		3		363
TF-14	焼土												17	北海道式石冠1	3		21
TF-15	焼土												78		1		79
TF-16	焼土						1						59				60
TF-17	焼土												969				969
TF-18	焼土												100				100
TF-19	焼土						1						35				36
TF-21	焼土												9				9
TF-24	焼土														3		3
TF-25	焼土						1						4	たたき石1	2		8
TF-26	焼土	1											5		2		8
TF-27	焼土						1						2	たたき石1	1		5
TF-28	焼土	1											6	扁平打製石器1	4		12
TF-29	焼土										2		10	石斧1			13
TF-31	焼土	2											2		2		6
TF-32	焼土						1						1		1		3
TF-33	焼土		1				1						2				4
TF-37	焼土										1						1
TF-39	焼土												1	軽石製品1、軽石礫1			3
TF-41	焼土												2				2
TF-44	焼土						2						21				23
TF-45	焼土												1				1
TF-46	焼土	1										1	10	石斧1、原石1	1		15
TF-47	焼土												1				1
TF-48	焼土												1				1
TF-52	焼土										1		15		5		21
TF-53	焼土			1									791				792
TF-54	焼土												63	扁平打製石器2			65
TF-56	焼土												3				3
TF-58	焼土						1						3	加工痕のある礫1			5
TF-59	焼土				1							1	12	石斧1、台石石皿1	3		19
TF-60	焼土						1	1			1		5	たたき石3、北海道式石冠1	4		15
TF-63	焼土												3		1		4
TF-64	焼土												9				9
TF-66	焼土												30				30
TF-68	焼土												4				4
TF-69	焼土												319				319
TF-72	焼土										1		15	玦状耳飾1	1		18
TF-74	焼土												2750				2750
TF-75	焼土												92				92
TF-76	焼土			1			2	1			9		367		1		381
TF-77	焼土							1			1		25				27
TF-78	焼土	1											6		1		8
TF-80	焼土												44				44
TF-81	焼土												39		306		345
TF-84	焼土												1				1
TF-88	焼土												4				4
TF-89	焼土												1				1
TF-90	焼土												2				2
TF-93	焼土												11				11
TF-95	焼土												826		1		827
TF-96	焼土											1			1		2
TF-97	焼土												4				4
TF-99	焼土														1		1
TF-100	焼土						1				1		6				8
TF-101	焼土												4	台石石皿1			5
TF-104	焼土										1	1	5	たたき石1			8
TF-107	焼土										1						1
TF-108	焼土											1	1		3		5
TF-114	焼土										1				2		3
TF-115	焼土											1					1
TF-116	焼土											1	3		1		5
TF-118	焼土										3	2	13				18
TF-120	焼土										2		3				5
TF-121	焼土										2		9				11
TF-125	焼土						1				2						3
TS-1	m上面												2		7	276	285
TS-3	–														1	131	132
TS-4	覆土上面													たたき石1	1		2
	m上面						1				2		8	たたき石2、すり石1、変わり石1	106		121
TS-4計							1				2		8	たたき石3、すり石1、変わり石1	107		123
TS-5	m2下														3		3
TS-6	m1a										1	1	1	たたき石1、すり石3	8		15
TS-7	TH-2覆土												1				1
	TH-2覆土1							1					3				4
	TH-2覆土2							1			2	2	16	たたき石11、すり石6、北海道式石冠3、台石石皿1、有孔礫1	399		442

表Ⅵ－10　遺構出土石器・石製品等点数一覧（Tピット・焼土・集石・フレイク集中・小ピット・杭列）（２）

遺構名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片	その他石器・石製品・有意の礫	礫	小礫	総計
	−											1	1	たたき石1、扁平打製石器1	381		385
TS-7計								2			2	3	21	たたき石12、すり石3、扁平打製石器1、北海道式石冠3、台石石皿1、有孔礫2	780		832
TS-8	m2下															1377	1377
TS-9	−						1				4		12		19	121	157
TS-10	覆土													すり石2	13		15
TS-12	覆土													台石石皿3	2		5
	覆土1														1		1
	覆土2														1		1
TS-12計														すり石2、台石石皿3	4		7
TS-15	覆土						3	1			1		5		4		14
	−														1	315	316
TS-15計							3	1			1		5		5	315	330
TS-17	m2下										3	2	5	たたき石1、扁平打製石器4、北海道式石冠2、軽石製品1	78		96
TS-18	m2下	1		1											1		3
TS-19	覆土						1										1
TS-20	覆土						1						7		12		20
	−														59		59
TS-20計							1						7		71		79
TS-21	覆土												276				276
	−														1	844	845
TS-21計													276		1	844	1121
TS-25	m2(7)														5		5
TS-26	m2(5)														1		1
TS-27	−										1		12		1	40592	40606
TS-29	m2(4)													たたき石2、北海道式石冠1、台石石皿2	5		10
TS-32	覆土下						1					1					2
TFC-1	m3												4		2		6
TFC-1-1	m3												93				93
TFC-1-2	m3												28				28
TFC-1-3	m3										1		19		6		26
TFC-1-4	m3														1		1
TFC-1計											1		144		9		154
TFC-2	m3上面										5	3	130				138
TFC-3	m3										6	5	9204	石製品2	9		9226
TFC-4	m3		1								3		3094				3098
TFC-5	−										6	4	310				320
TFC-6	m2						2	1			1	7	166				177
TFC-7	−		1								3	1	6479	加工痕のある礫1	4		6489
TFC-8	TH-4覆土2											2	160				162
TFC-9	m2上	2	2	1	1		6	11	2	2	22	24	29134	扁平打製石器1	4		29212
TFC-10	−			1				5			1	2	1963				1972
TFC-11	m2(2)						1						4387		1		4389
TFC-12	m2上				1						6	2	2398				2407
TFC-13	m2上											1	103				104
TFC-14	上面													円板状石製品1			1
	m2(2)下a												3820		2		3822
	−						1			1		1	5651				5654
TFC-14計							1			1		1	9471	円板状石製品1	2		9477
TFC-15	TH-22覆土						6	1			5	1	282				295
TFC-16	TP-24覆土							7			4	1	14740		1		14753
TFC-17	覆土											1	33				34
TFC-18	−										1		2577				2578
TFC-19	−												550		1		551
TFC-20	−										1		152				153
TFC-21	−										2	2	2773	加工痕のある礫1			2778
TFC-22	m2下											1	30				31
TFC-23	m2下						7				2	5	1405				1419
TFC-24	m2下							1					4685				4686
TFC-25	m2(3)	1					3	4			4	8	27702	石斧1			27723
TFC-26	m2(3)												2655	扁平打製石器2			2657
	m3上										1		1837				1838
TFC-26計											1		4492	扁平打製石器2			4495
TFC-27	m2(5)											3	253				256
TFC-28	m2(5)												102				102
TFC-29	TH-46覆土												85				85
TFC-30	−	1										4	1058				1063
TFC-31	m2(5)			1			2	2			6	5	1392		3		1411
	−							1			2	1	696	石斧1			701
TFC-31計				1			2	3			8	6	2088	石斧1	3		2112
TFC-32	m2(5)										1	2	5922				5925
TFC-33	m3					1					1	1	687				690
TFC-34	m2(5)												1951				1951
TFC-35	m3上											1	61				62

遺構名	層位	石鏃	石槍またはナイフ	石錐	つまみ付きナイフ	箆状石器	スクレイパー	両面調整石器	楔形石器	剥片石器片	Rフレイク	石核	剥片	その他石器・石製品・有意の礫	礫	小礫	総計
TFC-36	m2下	1					2				2		169				174
TFC-37	m2(4)												46				46
TFC-38	m2(3)			1							1		1678				1680
TFC-39	m3上												2660				2660
TFC-40	m3												8				8
TFC-41	m2下						1	1				2	1335	原石1	1		1341
TFC-42	m2下										1	12	144				157
TFC-43	m2下											2	152				154
TFC-44	m2(5)										2	2	318				322
TFC-45	m2(5)										8		580				588
TFC-46	m2下										4		829				833
TFC-47	覆土下						1				3	4	7555	石斧1	5		7569
TFC-48	m2(9)	1					1	1			20	2	1270				1295
SP-1	−														1		1
SP-7	覆土												1				1
SP-8	覆土										1	1	1		3		6
SP-9	覆土											1	22				23
SP-12	覆土												2				2
SP-15	覆土													台石石皿1			1
SP-19	−														1		1
SP-20	覆土													たたき石1、すり石1、北海道式石冠1	1		4
SP-21	覆土						1					1					2
SP-22	覆土												2				2
SP-40	覆土												1				1
SP-61	覆土													北海道式石冠1			1
SP-62	覆土												2		2		4
SP-67	覆土												1				1
SP-68	覆土												1	台石石皿1	3		5
SP-90	覆土														1		1
SP-91	覆土												4				4
SP-93	覆土														4		4
SP-102	覆土										1				1		2
SP-112	覆土											1					1
SP-115	覆土												4				4
SP-137	覆土														1		1
SP-150	覆土						1						1				2
SP-162	覆土												2				2
SP-163	覆土										2		5				7
SP-167	覆土										1						1
SP-169	覆土												1				1
SP-211	覆土												4	北海道式石冠1	1		6
SP-222	−														1		1
SP-229	覆土												1				1
SP-232	覆土												1				1
SP-234	覆土													たたき石1	1		2
SP-235	覆土												3	北海道式石冠1			4
SP-242	覆土													石斧1			1
SP-256	覆土												39				39
SP-259	覆土														1		1
SP-266	覆土						1						1				2
SP-267	覆土												19				19
SP-268	覆土												6				6
SP-273	覆土												1				1
SP-275	覆土				1		1				2		5				9
	−														1		1
SP-275計					1		1				2		5		1		10
SP-280	覆土												1				1
SP-283	覆土												2				2
SP-284	覆土												3				3
SP-289	覆土														1		1
SP-296	−										1						1
SP-311	覆土												1				1
SP-313	覆土												1				1
SP-314	覆土											1			1		2
SP-316	覆土														1		1
	−												2				2
SP-316計													2		1		3
SP-329	覆土														1		1
SP-335	覆土						1				1		1		2		5
SP-336	覆土													たたき石1			1
SP-345	覆土														1		1
SP-350	覆土													たたき石1	1		2
SP-359	覆土						1						1		1		3
杭穴列1-21	覆土												1				1
	m2											1					1
杭穴列1-21計												1	1				2
杭穴列2-8	m2													たたき石1			1

引用・参考文献（第４分冊との重複分を除く）

岩田安之　2015「三内丸山遺跡出土の異形石器の再検討」『特別史跡三内丸山遺跡年報』18

榎本剛治　2012「三脚石器」『季刊考古学』第119号　雄山閣

大久保雅弘・藤田至国編　1984『新版地学ハンドブック』　築地書店

加藤孝幸　2013「剥片石器に多用される珪質頁岩の成因と供給源推定の試み」北海道考古学会2013年３月月例研究会資料

（財）北海道埋蔵文化財センター　2009『西島松５遺跡（６）』北埋調報260

地学団体研究会道南班編　2002『道南の自然を歩く　改訂版』

・岩偶

稲野裕介　1999「円筒土器に伴う岩偶（３）－分布の南辺における肩パッド型岩偶の様相－」『北上市立埋蔵文化財センター紀要』第１号

稲野裕介　2002「円筒土器に伴う岩偶（４）－前期大木式土器圏の岩偶とその伴出遺物－」『北上市立埋蔵文化財センター紀要』第２号

長沼　孝　1999「北海道の土偶」『土偶研究の地平』「土偶とその情報」研究論集（３）

鈴木克彦　2003「円筒土器文化の岩偶の起源とその系譜－岩偶の類型編年－」『国学院大学考古学資料館紀要』第19輯

・玦状耳飾等

阿部明義・澤田　健　2010「北海道の玦状耳飾」『玉文化』第７号

加藤　学　2009ａ「北陸地方における縄文時代早期末葉～前期前葉の玦状耳飾－新潟県糸魚川市大角地遺跡の分析から－」『日々の考古学２』東海大学考古学研究室開設30周年記念論文集　六一書房

加藤　学　2009ｂ「新潟県大角地遺跡における縄文時代早期末葉～前期前葉の玦状耳飾－製作過程の復原を中心に－」『玦状耳飾（玦飾）の製作技術からみた玉文化交流』日本玉文化研究会　第７回シンポジウム長野大会　発表予定稿集

川崎　保　2004「玉の類型編年　玦状耳飾」『季刊考古学』第89号　雄山閣

寺村光晴　1971「石工（玉工）」『新版考古学講座第９巻特論・中』　雄山閣

樋口清之　1933「玦状耳飾考」『考古学雑誌』第23巻第１号

福田友之　1999「本州北端の玦状耳飾り」『研究紀要第４号』青森県埋蔵文化財調査センター

福田友之　2006「津軽海峡域における玦状耳飾り－三角形玦状耳飾りを中心として－」『青森県考古学』第14号

藤田富士夫　1983「玦状耳飾」『縄文文化の研究７　道具と技術』　雄山閣

堀江武史　1992「玦状耳飾の分類と製作工具に関して」『国学院大学考古学資料館紀要』第８輯

堀江武史　2009ａ「糸切り技法による玦状耳飾の製作」『玦状耳飾（玦飾）の製作技術からみた玉文化交流』日本玉文化研究会　第７回シンポジウム長野大会　発表予定稿集

堀江武史　2009ｂ「日本出土玦状耳飾の製作技法　長野県大町市、飯島町の出土品を観察して」『玦状耳飾（玦飾）の製作技術からみた玉文化交流』日本玉文化研究会　第７回シンポジウム長野大会　当日配布資料

大賀　健　2004「玉の類型編年　勾状垂飾（石製品）」『季刊考古学』第89号　雄山閣

・鳥帽子形石器等

大泰司統　2001「北海道出土の石冠－田川賢蔵氏採集の石冠－」『北海道考古学』第37輯

角田文衛　1935「鳥帽子形石器」『人類学雑誌』第50巻第７号

河野本道　1984「"謎"だらけの考古学（Ⅰ）泊村の側縁有溝石器について」『北海道文化財研究所通信　ひばり』第４号

河野本道　1985「"謎"だらけの考古学（Ⅱ）泊村の側縁有溝石器について」『北海道文化財研究所通信　ひばり』第５号

斎藤　岳　2001「三内丸山遺跡の石冠・三角柱状土製品」『特別史跡三内丸山遺跡年報』４

斎藤　岳　2014「北東北・北海道の石冠・土冠と脚付石皿について」『青森県考古学』第22号

西脇対名夫　2007「石冠とその類品」『縄文時代の考古学11　心と信仰－宗教的観念と社会秩序－』同成社

西脇対名夫　2011「形態学的な方法－"謎"の側縁有溝石器の場合－」『北海道の縄文文化研究の今』北海道考古学会2011年度研究大会

報告書抄録

ふりがな	ふくしまちょう　たてさきいせき
書名	福島町　館崎遺跡
副書名	北海道新幹線建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	（公財）北海道埋蔵文化財センター調査報告書（北埋調報）
シリーズ番号	第333集
編著者名	中山昭大・影浦　覚・福井淳一・柳瀬由佳・立田　理
編集機関	（公財）北海道埋蔵文化財センター（http://www.domaibun.or.jp）
所在地	〒069－0832　北海道江別市西野幌685番地１　（011）386－3231　mail@domaibun.or.jp
発行年月日	西暦2017年3月24日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
たてさきいせき 館崎遺跡	ほっかいどうまつまえぐん 北海道松前郡 ふくしまちょうたてさき 福島町館崎 337－11ほか	01332	B－03－2	41° 26′ 31″	140° 13′ 58″	20090507 ～ 20091127 20100412 ～ 20100819 20110509 ～ 20110831	2,171㎡	北海道新幹線建設事業に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
館崎遺跡	集落跡	縄文時代 早期後葉	土坑3	縄文土器（東釧路Ⅳ式）	
		縄文時代 前期後葉 ～ 中期中葉	盛土遺構２条、竪穴住居跡48、土坑90、焼土85、集石25、フレイク集中48、小ピット385、杭列２条、道路跡１条	縄文土器（円筒土器下層ｃ～ｄ式、円筒土器上層ａ～見晴町式） 土製品（土偶など） 石器（スクレイパー、筌状石器、たたき石、石錘、石錐、台石・石皿、北海道式石冠、扁平打製石器、石斧など） 石製品（石棒、鳥帽子形石器、ヒスイ製垂飾、玦状耳飾、岩偶など） 骨角器（銛頭、釣針、骨針、垂飾など） 動物遺存体（オットセイなど）・植物遺存体	最大級の岩偶。多量の玦状耳飾。長野県城産黒曜石製石鏃の最北例。クリ花粉多量検出。多遺体埋葬墓。廃屋葬。15体の人骨。貝層。
		縄文時代 中期～後期	土坑4、Ｔピット１、焼土2		
		縄文時代 後期前葉	盛土遺構、竪穴住居跡3、土坑21、焼土10、集石２、小ピット1、配石列２条	縄文土器（涌元式）	

要約

縄文時代前期後葉～中期中葉、後期前葉の集落。盛土遺構、竪穴住居跡、墓、土坑、柱穴、焼土などが複雑に重なり合って検出された。集落の変遷が、土層堆積状況、遺構の重複状況、住居形態、土器型式などから明らかになった。前期末葉の盛土遺構堆積の変化に従って、住居長軸が大きく変化し、散漫な土地利用から偏った土地利用へ変遷する過程をとらえることができた。遺構群は、中期中葉の時点で二本の土手状の盛土と、その間の溝状の道路という人為地形を形成するに至っている。土器は、円筒土器下層ｃ式から見晴町式まで連続的に確認されただけでなく、950個体近く復元された。出土状況は、破片状態のほか、正立・倒立・横転状態で散逸していない状態のものも多かった。剝片石器は、頁岩製主体。頁岩産地のため、多数の石核がある。また、現存長37cmと列島内最大級の岩偶、北海道初となる長野県城産黒曜石製石鏃、56点と東北以北最多量の滑石製主体の玦状耳飾などとも含まれた。骨角器には、銛頭や釣針などの漁具が多い。動物はオットセイ、ウトウ、アイナメ類、ソイ類など海産生物が主体。植物では、オニグルミ殻が多かったほか、ヒエ属種実が確認され、クリ花粉が多量に確認された。花粉の状況から集落に重なるようにクリの純林が存在したことが推定される。

（公財）北海道埋蔵文化財センター調査報告書　第333集

福島町　館崎遺跡

－北海道新幹線建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書－
第３分冊　石器編

発　　行　平成29（2017）年３月24日
編　　集　公益財団法人　北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832　江別市西野幌685番地－１
TEL（011）386-3231　FAX（011）386-3238
［E-mail］mail@domaibun.or.jp
［URL］http://www.domaibun.or.jp

印　　刷　中西印刷株式会社
〒007-0823　札幌市東区東雁来３条１丁目１番34号
TEL（011）781-7501　FAX（011）781-7516